

茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

かみざかいあさひだい

上境旭台貝塚5

中根・金田台特定土地区画整理
事業地内埋蔵文化財調査報告書 XXXV

中 巻

令和4年1月

独立行政法人都市再生機構
東日本都市再生本部
公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

かみざかいあさひだい

上境旭台貝塚5

中根・金田台特定土地区画整理
事業地内埋蔵文化財調査報告書 XXXV

中 巻

令和4年1月

独立行政法人都市再生機構
東日本都市再生本部
公益財団法人茨城県教育財団

目 次

- 中 卷 -

2 縄文時代の遺構と遺物	
(5) 斜面具層	295
(6) 遺物包含層	361
3 その他の遺構と遺物	560
(1) 火葬施設	560
(2) 溝 跡	560
(3) 土 坑	564
(4) 遺構外出土遺物	577

挿 図 目 次

第 232 図 第 2 号斜面具層実測図 (1)	295	第 258 図 第 12 号斜面具層実測図 (3)	333
第 233 図 第 2 号斜面具層実測図 (2)	296	第 259 図 第 12 号斜面具層実測図 (4)	334
第 234 図 第 2 号斜面具層実測図 (3)	297	第 260 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (1)	336
第 235 図 第 2 号斜面具層出土遺物実測図	299	第 261 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (2)	337
第 236 図 第 4・12 号斜面具層グリッド設定図	301	第 262 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (3)	338
第 237 図 第 4 号斜面具層実測図 (1)	302	第 263 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (4)	339
第 238 図 第 4 号斜面具層実測図 (2)	303	第 264 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (5)	340
第 239 図 第 4 号斜面具層実測図 (3)	304	第 265 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (6)	341
第 240 図 第 4 号斜面具層出土遺物実測図 (1)	305	第 266 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (7)	342
第 241 図 第 4 号斜面具層出土遺物実測図 (2)	306	第 267 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (8)	343
第 242 図 第 4 号斜面具層出土遺物実測図 (3)	307	第 268 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (9)	344
第 243 図 第 4 号斜面具層出土遺物実測図 (4)	308	第 269 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (10)	345
第 244 図 第 4 号斜面具層出土遺物実測図 (5)	309	第 270 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (11)	346
第 245 図 第 11 号斜面具層実測図 (1)	312	第 271 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (12)	347
第 246 図 第 11 号斜面具層グリッド設定図	313	第 272 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (13)	348
第 247 図 第 11 号斜面具層実測図 (2)	314	第 273 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (14)	349
第 248 図 第 11 号斜面具層実測図 (3)	315	第 274 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (15)	350
第 249 図 第 11 号斜面具層出土遺物実測図 (1)	317	第 275 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (16)	351
第 250 図 第 11 号斜面具層出土遺物実測図 (2)	318	第 276 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (17)	352
第 251 図 第 11 号斜面具層出土遺物実測図 (3)	319	第 277 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (18)	353
第 252 図 第 11 号斜面具層出土遺物実測図 (4)	320	第 278 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (19)	354
第 253 図 第 11 号斜面具層出土遺物実測図 (5)	321	第 279 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (20)	355
第 254 図 第 11 号斜面具層出土遺物実測図 (6)	322	第 280 図 第 5 号遺物包含層 (C 区) 実測図	362
第 255 図 第 11 号斜面具層出土遺物実測図 (7)	323	第 281 図 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (1)	363
第 256 図 第 12 号斜面具層実測図 (1)	329	第 282 図 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (2)	364
第 257 図 第 12 号斜面具層実測図 (2)	332	第 283 図 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (3)	365

第 367 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (9)	474	第 411 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (15)	533
第 368 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (10)	475	第 412 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (16)	534
第 369 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (11)	476	第 413 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (17)	535
第 370 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (12)	477	第 414 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (18)	536
第 371 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層実測図 (1)	481	第 415 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (19)	537
第 372 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層実測図 (2)	483	第 416 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (20)	538
第 373 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (1)	484	第 417 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (21)	539
第 374 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (2)	485	第 418 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (22)	540
第 375 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (3)	486	第 419 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (23)	541
第 376 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (4)	487	第 420 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (24)	542
第 377 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (5)	488	第 421 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (25)	543
第 378 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (6)	489	第 422 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (26)	544
第 379 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (7)	490	第 423 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (27)	545
第 380 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (8)	491	第 424 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (28)	546
第 381 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (9)	492	第 425 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (29)	547
第 382 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (10)	493	第 426 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (30)	548
第 383 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (11)	494	第 427 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (31)	549
第 384 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (12)	495	第 428 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (32)	550
第 385 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (13)	496	第 429 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (33)	551
第 386 図	第 5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (14)	497	第 430 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (34)	552
第 387 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (1)	502	第 431 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (35)	553
第 388 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (2)	503	第 432 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (36)	554
第 389 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (3)	505	第 433 図	第 2号火葬施設実測図	560
第 390 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (4)	507	第 434 図	第 11号溝跡実測図	560
第 391 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (5)	509	第 435 図	第 11号溝跡出土遺物実測図 (1)	562
第 392 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (6)	510	第 436 図	第 11号溝跡出土遺物実測図 (2)	563
第 393 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層実測図 (7)	512	第 437 図	時期不明の溝跡実測図	564
第 394 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層木道 1 実測図	514	第 438 図	第 335号土坑実測図	565
第 395 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層木道 2 実測図	515	第 439 図	第 337号土坑・出土遺物実測図	565
第 396 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層第 8号ピット群実測図	516	第 440 図	第 1090号土坑実測図	566
第 397 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (1)	519	第 441 図	第 1217号土坑・出土遺物実測図	567
第 398 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (2)	520	第 442 図	時期不明の土坑実測図 (1)	568
第 399 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (3)	521	第 443 図	時期不明の土坑実測図 (2)	569
第 400 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (4)	522	第 444 図	時期不明の土坑実測図 (3)	570
第 401 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (5)	523	第 445 図	時期不明の土坑実測図 (4)	571
第 402 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (6)	524	第 446 図	時期不明の土坑実測図 (5)	572
第 403 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (7)	525	第 447 図	時期不明の土坑実測図 (6)	573
第 404 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (8)	526	第 448 図	時期不明の土坑実測図 (7)	574
第 405 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (9)	527	第 449 図	C区遺構外出土遺物実測図	578
第 406 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (10)	528	第 450 図	H区遺構外出土遺物実測図	579
第 407 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (11)	529	第 451 図	H・J・K区遺構外出土遺物実測図	580
第 408 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (12)	530	第 452 図	K区遺構外出土遺物実測図	581
第 409 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (13)	531	第 453 図	L・P区遺構外出土遺物実測図	582
第 410 図	第 4・5号遺物包含層第Ⅴ層出土遺物実測図 (14)	532			

挿 表 目 次

第 210 表	第 2 号斜面貝層出土未掲載土器集計表	298	第 234 表	第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物一覧	389
第 211 表	第 2 号斜面貝層出土遺物一覧	298	第 235 表	第 4 号遺物包含層第 III 層出土未掲載土器集計表	391
第 212 表	第 2 号斜面貝層出土貝殻集計表	300	第 236 表	第 4 号遺物包含層第 III 層出土遺物一覧	391
第 213 表	第 4 号斜面貝層グリッド・土層対照表	302	第 237 表	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土未掲載土器集計表	404
第 214 表	第 4 号斜面貝層出土未掲載土器集計表	304	第 238 表	第 4・5 号遺物包含層第 III 層出土遺物一覧	404
第 215 表	第 4 号斜面貝層出土遺物一覧	310	第 239 表	第 5 号遺物包含層第 III 層出土未掲載土器集計表	429
第 216 表	第 4 号斜面貝層出土貝殻集計表	311	第 240 表	第 5 号遺物包含層第 III 層出土遺物一覧	451
第 217 表	第 11 号斜面貝層グリッド・土層対照表	313	第 241 表	第 4 号遺物包含層第 IV 層出土未掲載土器集計表	459
第 218 表	第 11 号斜面貝層出土未掲載土器集計表	316	第 242 表	第 4 号遺物包含層第 IV 層出土遺物一覧	461
第 219 表	第 11 号斜面貝層出土遺物一覧	324	第 243 表	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土未掲載土器集計表	462
第 220 表	第 11 号斜面貝層出土貝殻集計表	327	第 244 表	第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物一覧	462
第 221 表	第 12 号斜面貝層グリッド・土層対照表	330	第 245 表	第 5 号遺物包含層第 IV 層出土未掲載土器集計表	498
第 222 表	第 12 号斜面貝層出土未掲載土器集計表	332	第 246 表	第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物一覧	498
第 223 表	第 12 号斜面貝層出土遺物一覧	333	第 247 表	第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土木材一覧	511
第 224 表	第 12 号斜面貝層出土貝殻集計表	360	第 248 表	第 4・5 号遺物包含層第 V 層第 8 号ピット群ピット一覧	517
第 225 表	第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土未掲載土器集計表	367	第 249 表	第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土未掲載土器集計表	554
第 226 表	第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物一覧	367	第 250 表	第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物一覧	554
第 227 表	第 5 号遺物包含層第 I 層出土未掲載土器集計表	380	第 251 表	第 11 号溝跡出土遺物一覧	561
第 228 表	第 5 号遺物包含層第 I 層出土遺物一覧	380	第 252 表	時期不明溝跡一覧	564
第 229 表	第 4 号遺物包含層第 II 層出土未掲載土器集計表	381	第 253 表	第 337 号土坑出土遺物一覧	566
第 230 表	第 4 号遺物包含層第 II 層出土遺物一覧	382	第 254 表	第 1217 号土坑出土遺物一覧	567
第 231 表	第 4・5 号遺物包含層第 II 層出土未掲載土器集計表	384	第 255 表	時期不明土坑一覧	575
第 232 表	第 4・5 号遺物包含層第 II 層出土遺物一覧	384	第 256 表	遺構外出土遺物一覧	577
第 233 表	第 5 号遺物包含層第 II 層出土未掲載土器集計表	389			

(5) 斜面貝層

今回の調査で、斜面貝層4か所を確認した。調査方法は、残存状況や調査区域の制約等により、貝層ごとに異なることから、それぞれの本文中で記載した。貝層の解説にあたっては、層相の区分、主体となる土層、含有物、混貝率、主な貝種、破碎率などを列記した。含有量は、『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社）の「図1 面積割合」を参考に、50%を超えるものを「主体」とし、30～50%を「多量」、15～25%を「中量」、5～10%を「少量」、1～3%を「微量」とした。また、混貝率が75%以上のものを「純貝層」、75%未満のものを「混土貝層」、含有量が多量のものを「混貝土層」とし、中量以下はその他の含有物とともに記載した。以下、貝層の特徴及び遺物について記述する。

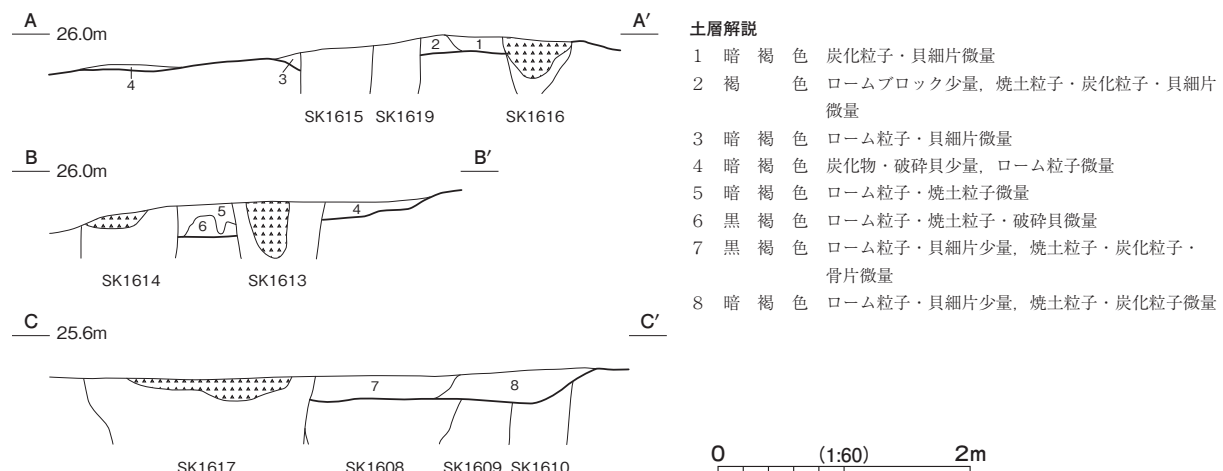
第2号斜面貝層（第232～235図 第210～212表 PL36・37・91・103）

位置 調査C区のF 3a7～d7区、標高約25.5～26mの台地縁辺部に位置し、南側の東西方向に延びる谷と西側の南北方向に入り込む小谷に向かって緩やかに傾斜している。主要な部分は平成19・21・22年度に調査B区として調査が行われており、その成果は『第325・364・368集』に掲載されている。平成22年度調査では、貝層が後期後葉（曾谷式～安行1式期）の第17・19号竪穴建物跡の上部に形成されており、南北約13m、東西約9mの範囲に広がっている状況を確認した。貝層は北部と南部の2か所に集中地点が見られ、北部ブロックが後期後葉（曾谷式～安行1式期）を主体としているのに対し、南部ブロックが後期末葉から晩期前葉（安行2式～安行3b式期）を主体としていることから、廃棄場所が北部の高所から南部の低所に移っていると報告されている。今回の調査地点は、北部ブロックの西端部に位置している。

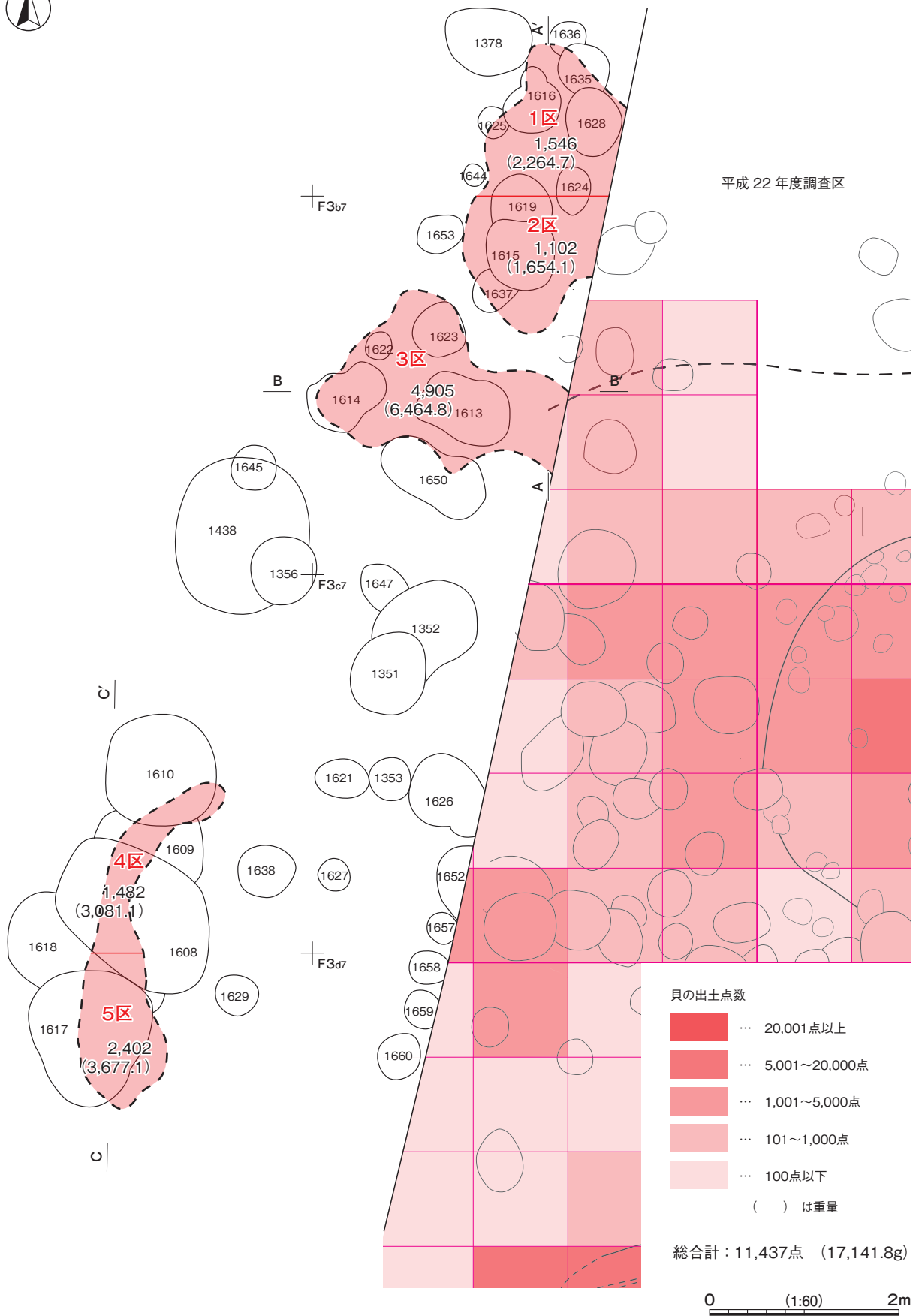
確認状況 平成22年度調査区の西側に隣接しているため、表土除去段階から貝層の分布を想定して確認作業を進めた。破碎貝を含む土層がブロック状に散布しており、貝殻のやや密なまとまりが北部と南西部に存在しているものの、貝層の面的な広がりには確認できなかった。

重複関係 第1608～1610・1618・1622～1625・1635～1637・1650号土坑、第5号遺物包含層の上部に形成されており、第1613～1617・1619・1628号土坑に掘り込まれている。

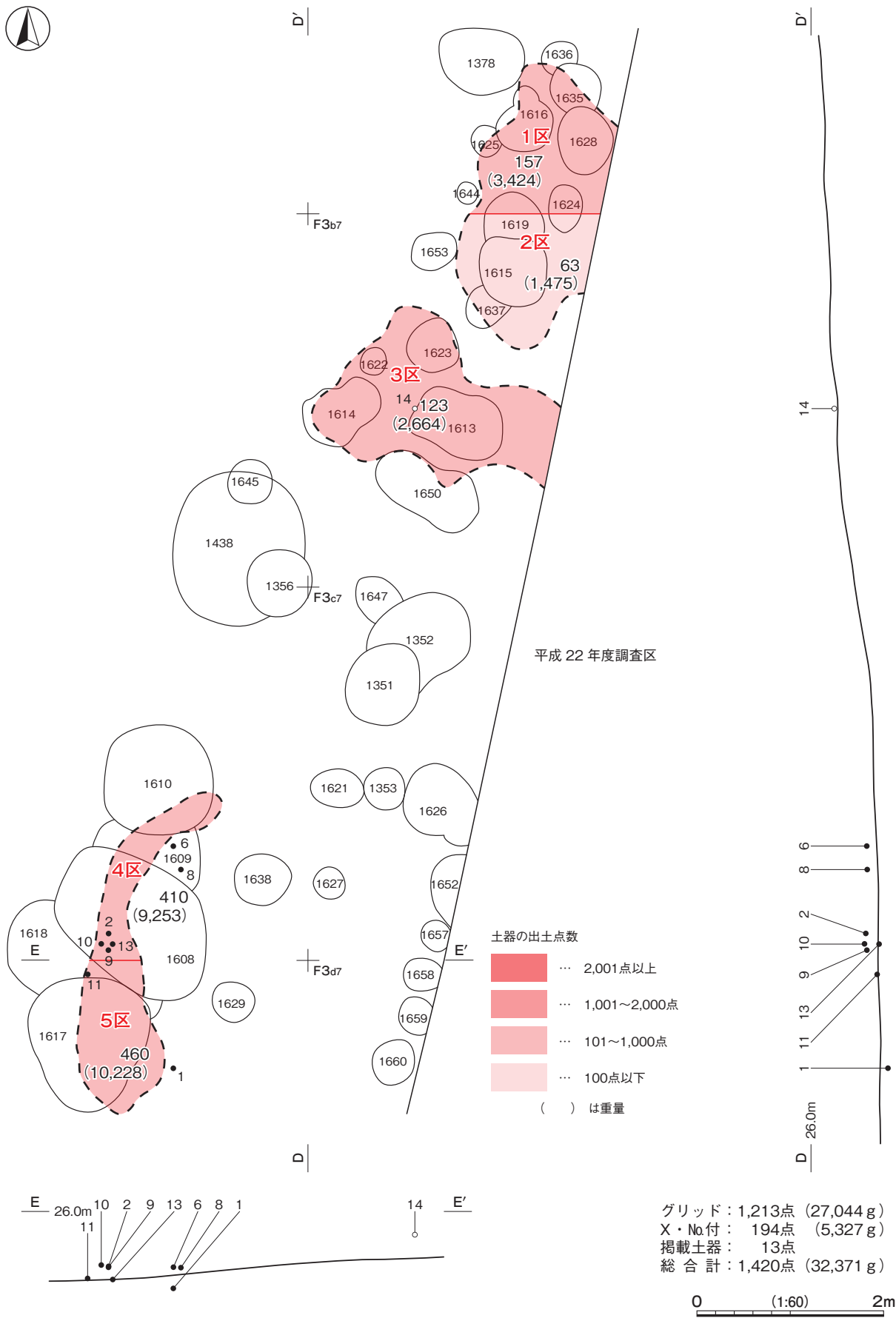
調査方法 北部と南西部のやや密に貝殻がまとまっている部分を中心に、北部を3分割（1～3区）、南西部を2分割（4・5区）する小調査区を設定し、それぞれ半截して土層観察を行いながら掘り下げを行った。貝殻がまとまっている部分は、堆積状況の観察の結果、本貝層を掘り込んでいる土坑の覆土上層にあたり、本貝



第232図 第2号斜面貝層実測図(1)



第 233 図 第 2 号斜面具層実測図 (2)



第 234 図 第 2 号斜面貝層実測図 (3)

層が再堆積したものであることが判明したが、土坑のプランが不鮮明であったことから、確認できるレベルまでは本貝層とともに平面的に掘り下げ、プランが確定した段階で土坑の調査に切り替えた。

分布範囲 破砕貝を含む土層は、南北約 12 m、東西約 3 m の緩やかな弧状の範囲にブロック状に分布している。北部と南西部にやや密な貝殻のまとまりがあり、規模は北部が南北 4.5 m、東西 2.6 m、南西部が南北 3.6 m、東西 1.0 m で、形状はいずれも不整形である。

堆積状況 8 層に分層できる。破砕貝や貝細片が少量含まれている暗褐色土が主体で、層厚は 13～25cm である。

遺物出土状況 縄文土器片 1,420 点 (32,371 g)、土製品 15 点 (土偶 1、土器片円盤 14)、石器 2 点 (磨石、砥石)、貝殻 11,437 点 (17,141.8 g)、獣骨 3,040.3 g が出土している。土器は、前期前半から晩期前葉までのものが出土しており、晩期前葉の安行 3 a 式のものが多い。ほとんどが破片の状態、接合関係も少ない。11 は、安行 3 a 式の浅鉢で、5 区の下層からはほぼ完形で正位の状態出土している。貝殻は、21 種が確認できた。主な貝種は、ヤマトシジミが 10,928 点 (最小個体数 4,798 点) で 95.6%、次いでハマグリが 385 点 (最小個体数 191 点) で 3.4% である。骨は、ニホンジカやイノシシなどの大型哺乳類の小破片で、種や部位の同定はできなかった。

所見 平成 22 年度で確認した斜面貝層の北西端部にあたる。平成 22 年度の調査成果から、時期は後期後葉(曾谷式～安行 1 式期)と想定されたが、出土土器は晩期前葉(安行 3 a 式期)のものが主体であった。したがって、貝層形成後の土坑等の掘削や耕作による土地の改変等により、大部分が消失したと考えられる。

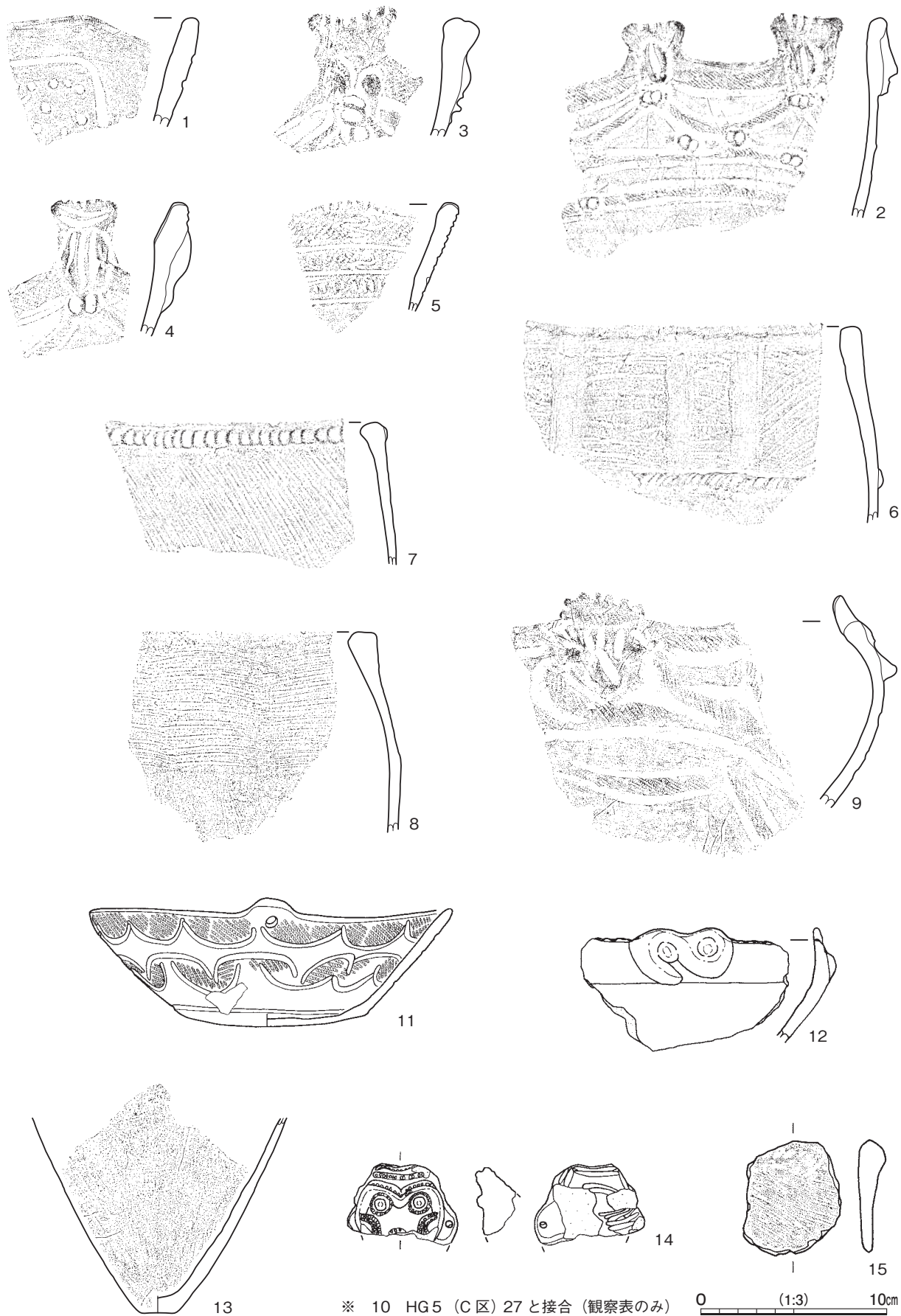
第 210 表 第 2 号斜面貝層出土未掲載土器集計表

群	第 1 群		第 2 群	第 3 群		第 4 群		第 5 群		第 6 群			第 7 群	第 8 群
	前期前半	中期後半	称名寺 II 式	堀之内 1 式	堀之内 2 式	加曾利 B 3 式	曾谷式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	後期異系統土器 (箱付土器)			
点数	7	1	5	4	7	1	6	8	7	18	5			
重量 (g)	97	17	162	67	382	45	284	235	244	517	49			

群	第 9 群								第 10 群		第 11 群			第 12 群	第 13 群	合計		
	沈線文	刺突文	磨消文	隆起帯 縄文	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢	壺	角底土器		製塩土器	細片不明
点数	66	62	94	64	27	73	3	303	146	346	17	16	7	1	1	112	-	1,407
重量 (g)	1,046	1,066	1,446	1,112	751	1,871	75	5,608	2,712	5,013	589	740	901	32	40	1,283	5,987	32,371

第 211 表 第 2 号斜面貝層出土遺物一覧 (第 235 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線による区画文 区画内列点文 内面磨き	5 区下層	称名寺 II 式
2	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	黒褐	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文 RL →瘤貼付→無文部磨き 波頂部 3～5 条の沈線 内面磨き	4 区上層	10% PL91 安行 3 a 式
3	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文 LR →瘤貼付→無文部磨き 波頂部 6 条の沈線 内面磨き	5 区覆土中	安行 3 a 式
4	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい赤褐	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文 RL →瘤貼付→無文部磨き 内面波頂部 6 条の沈線 磨き	2 区上層	安行 3 a 式
5	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面波頂部刻み 縄文 LR →蛇行沈線・並行沈線に よる区画文→刺突文 無文部磨き 内面磨き	1 区下層	安行 2 式
6	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面条線→区画文→紐線貼付 口縁部紐線文剥離 内面ナデ	4 区上層	PL91 後期後葉-晩期前葉
7	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい赤褐	普通	外面条線→紐線貼付 内面ナデ	4 区下層	後期後葉-晩期前葉
8	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面条線 内面ナデ	4 区上層	PL91 晩期前葉
9	縄文土器	鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい赤褐	普通	外面沈線による三叉文・弧線文→縄文 RL →瘤貼付 →無文部磨き 内面波頂部 5 条の沈線→磨き	4 区上層	10% PL91 安行 3 a 式
10	縄文土器	鉢	28.2	15.4	14.4	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線による三叉文・区画文→縄文 RL →無文部 磨き 内面ナデ HG 5 27 と接合	4 区上層	15% PL103 安行 3 a 式
11	縄文土器	浅鉢	19.5	6.9	9.2	長石・石英	橙	普通	外面波頂部刻み 外面沈線による弧線文→縄文 RL →無 文部磨き 内面ヘラナデ	5 区下層	90% PL91 安行 3 a 式
12	縄文土器	浅鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部刻み 外面横位の 8 字状の隆起帯貼付→磨き 内面磨き	1 区下層	加曾利 B 1～2 式
13	縄文土器	製塩土器	-	(10.5)	2.0	長石・石英	黒褐	普通	外面削り 内面ヘラナデ	4 区下層	20% 晩期前葉



※ 10 HG5 (C区) 27と接合 (観察表のみ)

第 235 図 第 2 号斜面貝層出土遺物実測図

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
14	土偶	(4.3)	(6.0)	(2.1)	(41.3)	長石・石英	黒褐	ミミズク形 頭部 沈線→刺突文	3区上層	PL91
15	土器片円盤	6.2	5.3	1.4	35.1	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい黄橙	晩期前葉粗製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	2区上層	

第212表 第2号斜面貝層出土貝殻集計表

腹足綱	点数				重量 (g)					備考
アカニシ	7				362.5					
アラムシロガイ	1				1.7					
ウミニナ	4				2.1					
カワアイ	2				1.6					
キセルガイ	2				0.1					
チリメンカワニナ	1				1.2					
ネコガイ	1				0.8					
ヘナタリ	-				1.6					破片のみ
マイマイ類	1				0.2					
ムギガイ	1				0.1					
小計	20				371.9					
二枚貝綱	左殻	右殻	左右不明	合計	左殻	右殻	左右不明	破片	合計	備考
アカガイ	1	-	-	1	4.2	-	-	-	4.2	
イシガイ	-	1	-	1	-	3.6	-	6.6	10.2	
イタボガキ	-	-	1	1	-	-	42.6	-	42.6	
オキシジミ	3	1	-	4	8.8	1.4	-	2.8	13.0	
ゴイサギ	7	6	-	13	37.2	35.1	-	9.5	81.8	
サルボウ	6	4	1	11	22.1	18.5	0.6	1.8	43.0	
シオフキ	13	9	-	22	23.0	24.6	-	2.8	50.4	
ハマグリ	191	190	4	385	472.9	510.1	3.6	98.5	1,085.1	
マガキ	-	-	2	2	-	-	1.9	-	1.9	
マツカサガイ	28	19	2	49	37.9	28.5	1.9	48.6	116.9	
ヤマトシジミ	4,522	4,798	1,608	10,928	6,631.6	6,851.5	1,064.1	773.6	15,320.8	
小計	4,771	5,028	1,618	11,417	7,237.7	7,473.3	1,114.7	944.2	16,769.9	
総合計	11,437				17,141.8					

第4号斜面貝層 (第236～244図 第213～216表 PL38～41・91～93・96)

位置 調査K区のG4a9～b0区、標高21.5～22.8mの台地斜面部に位置し、南側の東西方向に延びる谷に向かって緩やかに傾斜している。平成22年度の調査G区で、東西約4m、南北約3mに広がる貝層の末端部を確認しており、その成果は『第397集』に掲載されている。今回の調査箇所は、その西側に位置している。

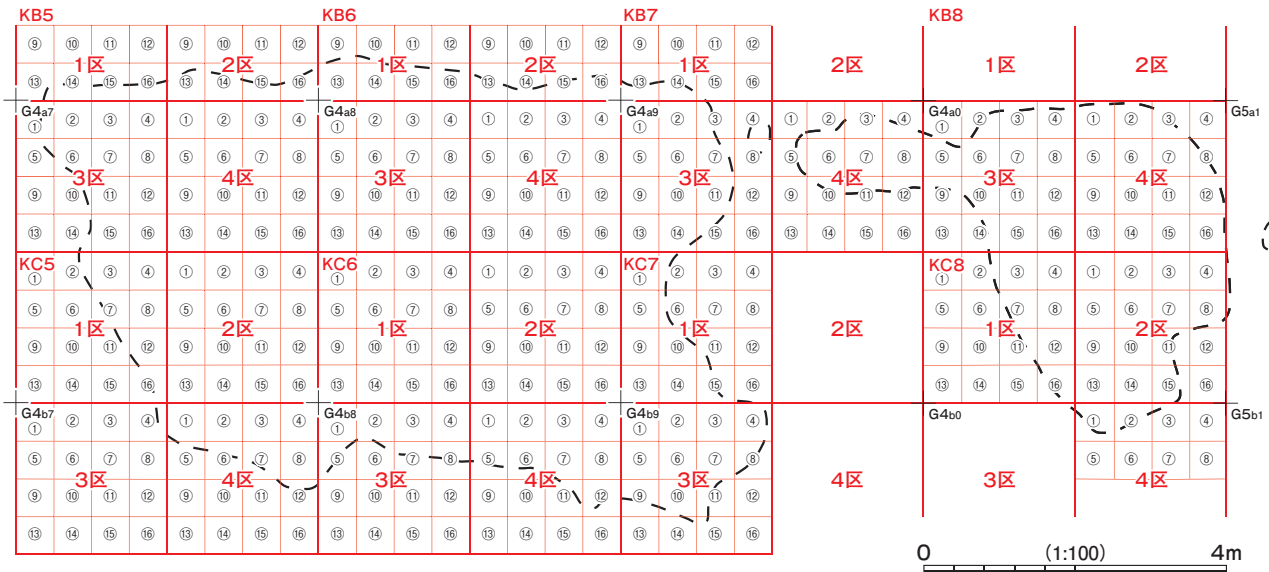
確認状況 貝層は、北部の標高が高い部分では表土を除去した段階で露出し、南へ標高が下がるにつれて谷の覆土である黒色土層(第5号遺物包含層第Ⅰ～Ⅲ層)に覆われている状況が確認できた。また、西側には第12号斜面貝層が近接しており、当初、一連の貝層の可能性が考えられたが、貝層の分布範囲が連続していないこと、基盤層となる遺物包含層の層位が異なることから、それぞれ個別の貝層と判断した。

重複関係 第1309・1312～1321号土坑、第5号遺物包含層第Ⅳ層の上部に形成されている。また、本貝層を覆う第5号遺物包含層第Ⅲ層と同質の土が貝層の下位にも介在していることから、第Ⅲ層が堆積する過程で本貝層が形成されたと考えられる。



第12号斜面具層

第4号斜面具層



第 236 図 第 4・12 号斜面具層グリッド設定図

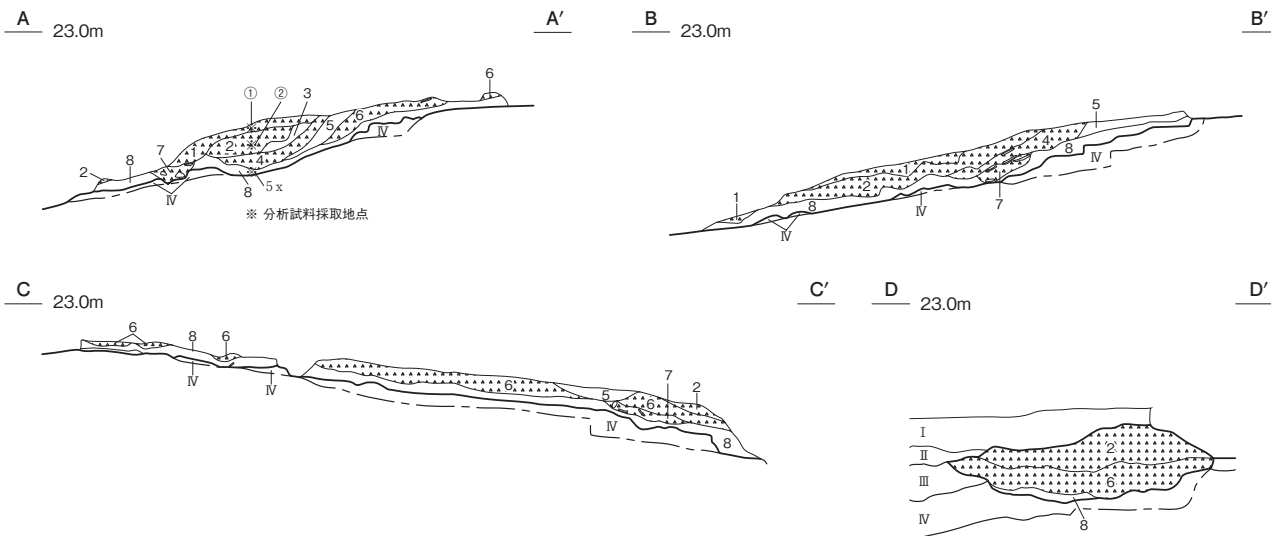
調査方法 本貝層が位置している調査 K 区は、中央部を東西方向に延びる谷が通っており、4 m 四方の基本グリッドが谷底の最深部を包括するように、既設の基本グリッドを北へ 2 m 移設して調査を実施した。基本グリッドの呼称は、調査 K 区の北西部（F 4j3 区の北西隅から北へ 2 m の点）を起点に、アルファベットと算用数字を用いて、北から南へ A, B, C…、西から東へ 1, 2, 3…とし、調査 K 区の「K」を付して、「KA1 区」のように呼称した。また、基本グリッドを 2 m 四方の単位グリッドに 4 分割し、北西部から Z 字状に 1～4 区とし、さらに、単位グリッドを 50cm 四方のカットに 16 分割して、北西隅を起点に①～⑯区とし、基本グリッドの名称を冠して「KA1-I-①区」のように呼称した。掘り込みは、50cm 四方のカットを人工層位で 5 cm ずつ掘り下げるグリッド法を採用し、人工遺物はビニール袋、貝・骨片は土嚢袋にそれぞれ回収した。なお、発掘調査での選別や整理事業での分類・集計の方法については、本項冒頭の「貝・骨の分類」（上巻 32 頁）を参照されたい。

分布範囲 平成 22 年度調査分を含めた規模は、東西 7.7 m、南北 5.7 m で、南東方向へ広がるやや不整形な扇形を呈している。貝層確認面の標高は 21.5～22.8 m で、比高差は 1.3 m であり、傾斜角は約 13 度である。

堆積状況 8 層に分層でき、上層（1・2 層）、中層（3～7 層）、下層（8 層）の 3 層に大別できる。上層は、混土貝層を主体とし、中位から下位にかけての表層を覆っている。中層は、上位から中位にかけて分布し、混土貝層と黒褐色土、灰黄褐色粘質土が互層に堆積している。下層は、破碎貝が微量含まれている暗褐色土で、貝層の下部に分布している。なお、KB8-3-⑯区の 1・2・4 層（分析＝①・②・5x 層）から試料を採取し、微細物分析を実施した（「第 3 章第 4 節 自然科学分析 4」参照）。

遺物出土状況 縄文土器片 2,680 点（56,769 g）、土製品 10 点（土偶 1、土器片円盤 9）、石器・石製品 12 点（石鏃 1、石皿 2、磨石 4、敲石 4、石剣 1）、貝製品 3 点（貝輪）、貝殻 157,179 点（281,082.1 g）、骨 2,554.4 g、炭化種子（オニグルミ、クリ、ムクロジ、トチノキ）が出土している。

土器類は、後期初頭から晩期前葉までのものが出土しており、時期的なまとまりは、後期初頭 1.2%、後期前葉 14.0%、後期中葉 17.7%、後期後葉 27.4%、晩期前葉 39.7% である。各時期の土器が一定量出土しているが、

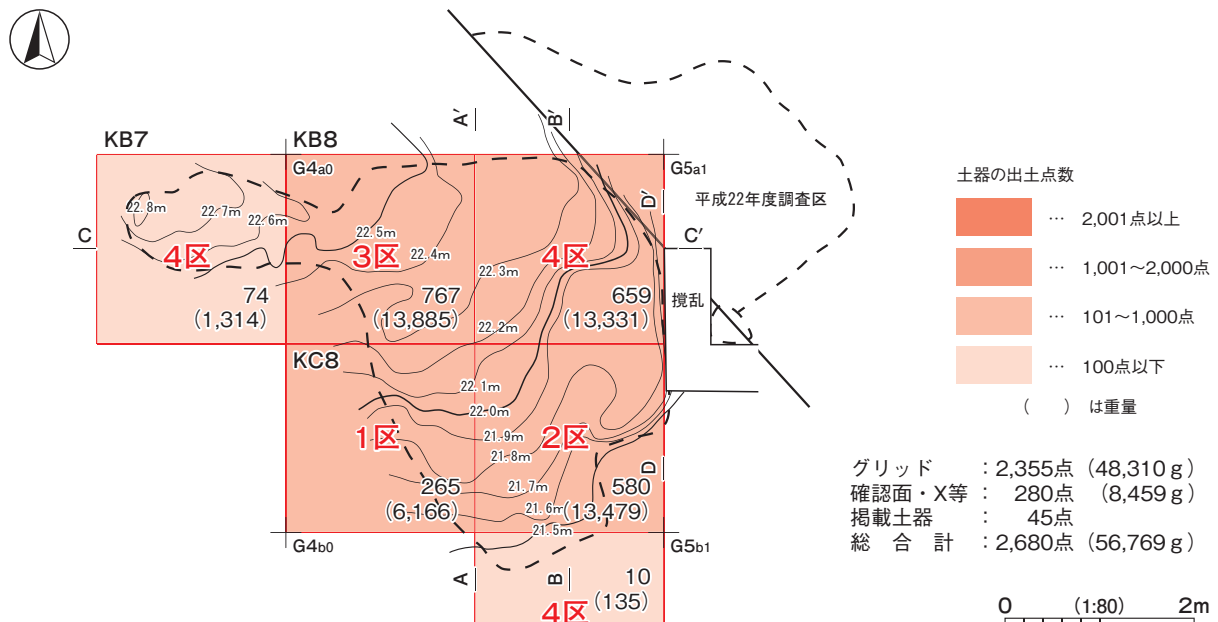
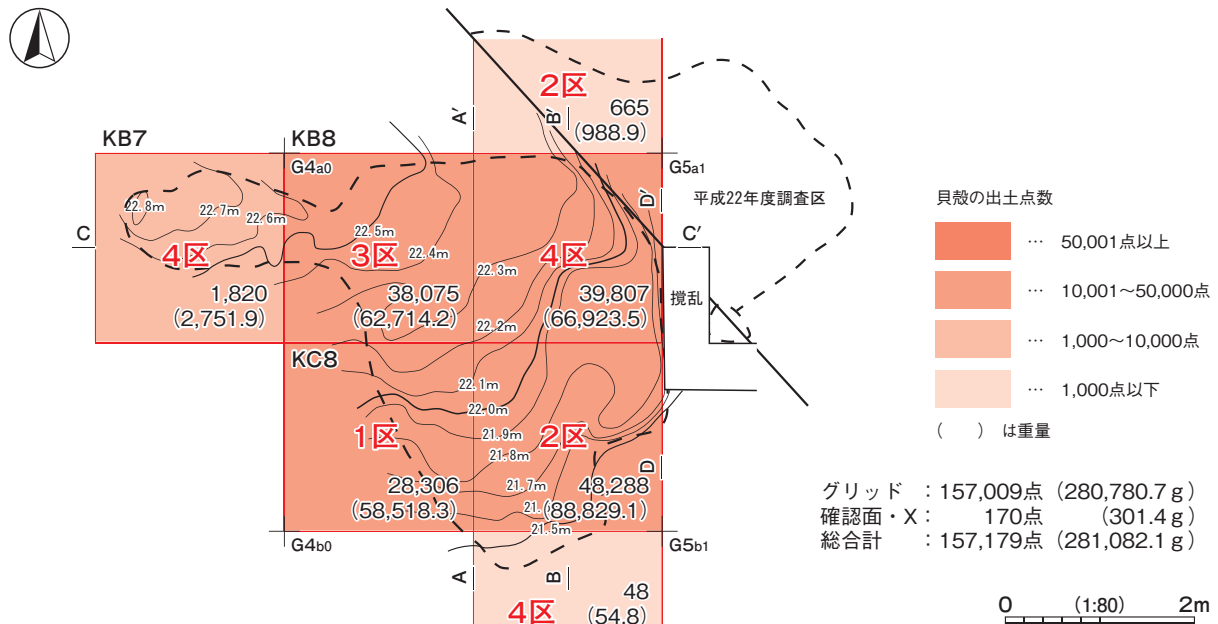


第237図 第4号斜面貝層実測図(1)

第213表 第4号斜面貝層グリッド・土層対照表

KB7																	KC8																						
区	4区																4区																						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯							
1x		6	6		8	6	6	6		6	6	8					8	8	8						8														
2x	8	8	8			8	8	8		8	8																												
KB8																																							
区	3区																4区																						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯							
1x	6	6	6	6	6	6	6			6	5		6	1	1		5				5	6	5	6	2		5	5	2		1	1	2						
2x	8	8	6	8	8	6	6	6		6	6		8	3	3		5				5	6	6	2	2		6	2	2	3	4	5	1						
3x	8	8	8			8	8		8	6	6	6		8	4	5	4	5		8	8				6	7	7	6		6	6	6	3	4	5	2			
4x				8				8	8	8	8	8			4	5	4	5		8	8	8			8	8	6		6	7	6		4	5	6	2	6		
5x								8			8	8	8		8	4	5	4	5									8	8	8	7	7	6	4	5	6	6	6	6
6x											8				8	8	8											8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
7x																												8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
8x																												8	8		8	8	8		8	8	8	8	8
KC8																																							
区	1区																2区																						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯							
1x			1	1			1	1					2				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2					
2x			2	2									8			8		2	2	2	2	1		2	2	2	2	2	2	2	2	2	8		8				
3x			2				7					8					3	2	8	8	7	2	2	2	2	2	2	2	2	8	8	8	8	8	8	8			
4x			4	4			8	7				8	8				3		8	8	7	8	8	8		8	8		8		8		8						
5x				4			8					8					4	4			7	8			8	8	8		8		8								
6x			8	8			8										8	8			8						8												
7x																	8									8													

□...上層 □...中層 □...下層 □...掘り込みなし

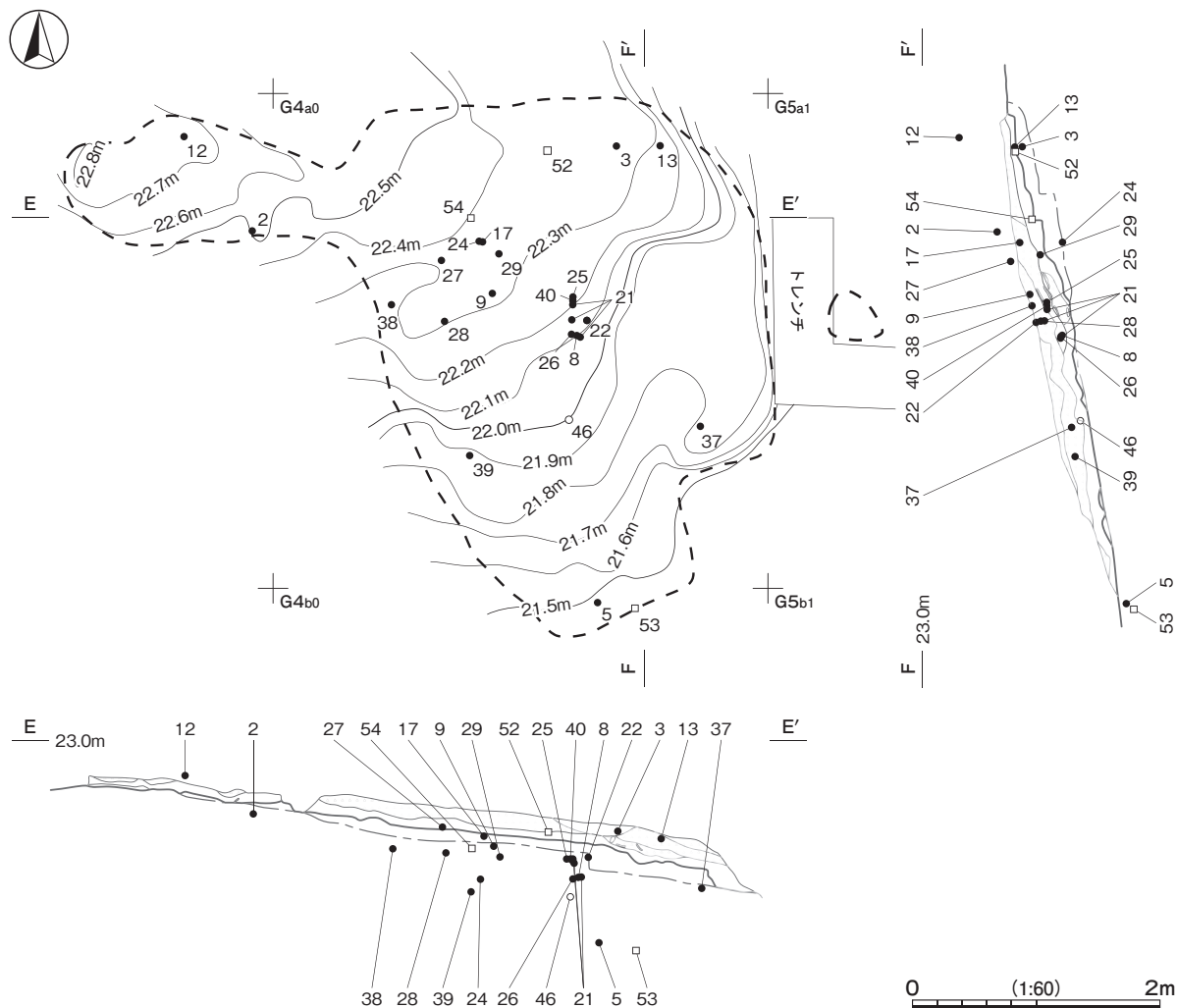


第 238 図 第 4 号斜面貝層実測図 (2)

後期前～後葉のものは主に下層から出土しており、下位の遺物包含層から混入したものと考えられる。上・中層から出土している土器は、晩期前葉が主体で、安行 3b 式、姥山 II 式のものが多い。ほとんどが小破片で、散在した状態で出土しており、接合関係も少ない。20～23 は、姥山 II 式の深鉢の大型破片で、中央部 (KB8-3-⑯・KB8-4-⑬・KC8-1-④区) の中層からまとまって出土しており、本貝層の形成時期を示す資料である。土製品、石器・石製品、貝製品類は少量で、特徴的な出土傾向は見い出せなかった。

貝は 26 種が確認できた。主な貝種は、汽水性のヤマトシジミが 150,370 点 (最小個体数 73,164 点) で 95.7%、次いで内湾性のハマグリが 6,474 点 (最小個体数 3,209 点) で 4.1%、シオフキが 190 点 (最小個体数 98 点) である。また、陸生微小貝が上層から多く出土する傾向があり、他の層準より長く地表面になっていた可能性がある。

骨は、同定分析の結果、イノシシ 54 点 (頭蓋骨 13、下顎骨 16、歯牙 2、頸椎 5、肩甲骨 5、上腕骨 5、橈骨 1、尺骨 1、中手骨 1、大腿骨 1、脛骨 1、距骨 1、中手骨/中足骨 1、基節骨 1)、ニホンジカ 31 点 (頭



第239図 第4号斜面貝層実測図(3)

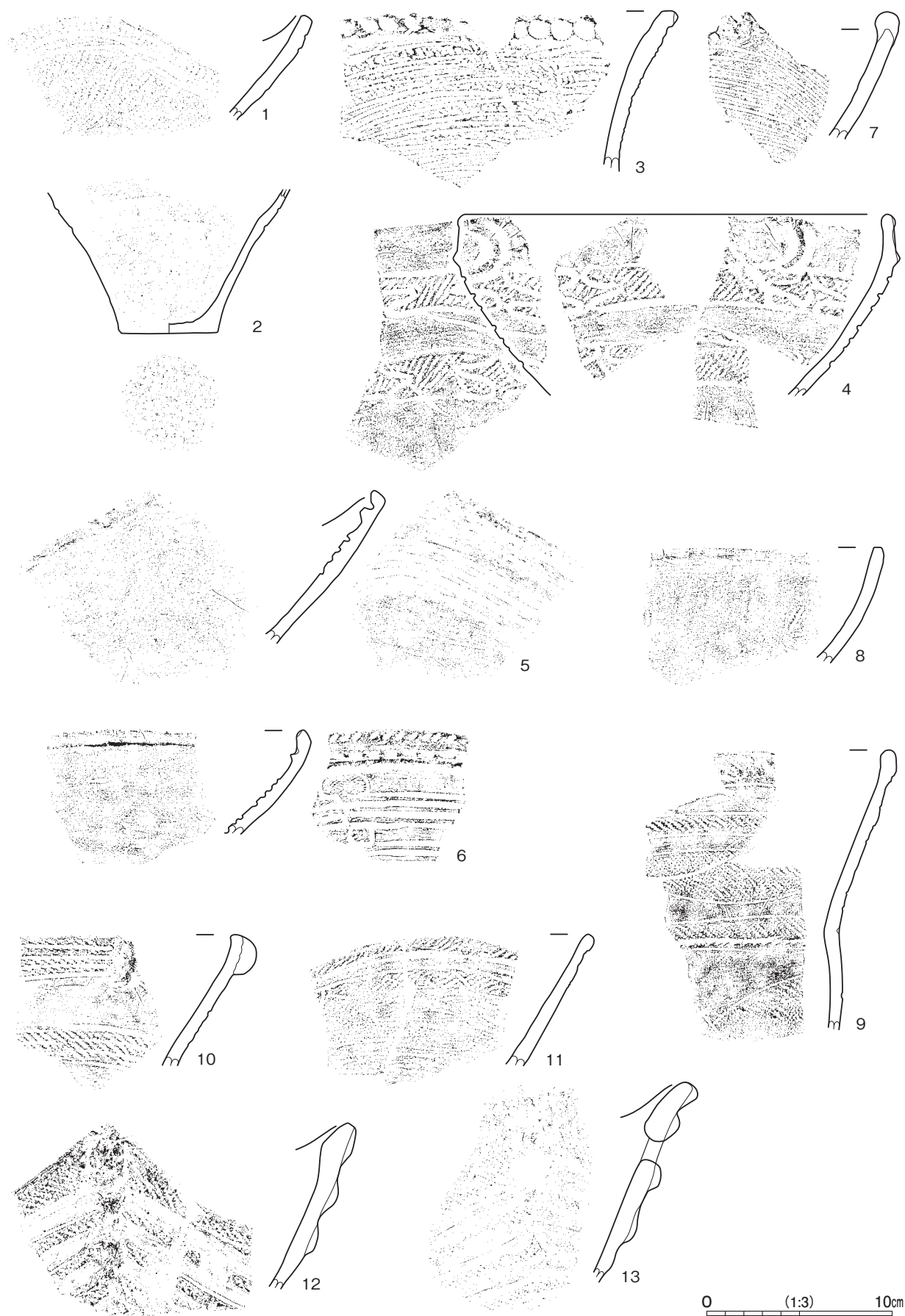
蓋骨8, 下顎骨3, 頸椎4, 肩甲骨2, 上腕骨1, 中手骨3, 寛骨1, 大腿骨1, 脛骨3, 踵骨1, 中足骨2, 基節骨2)のほか, 魚綱(ウナギ属, コイ科, サヨリ科, クロダイ属, タイ科), 両生綱(カエル類), 爬虫綱(ヘビ類)が検出されている。また, 下顎骨の歯牙の萌出状況から, イノシシは0.5歳, 1.5歳が各1個体, 4.5歳2個体の計4個体, ニホンジカは2.0歳1個体, 3.5歳2個体の計3個体が確認できた。

所見 汽水域に生息するヤマトシジミを主体とした主淡水貝層で, 同域に生息するウナギ属, コイ科の魚骨も出土していることから, 主に河川の河口付近で採貝・漁労活動が行われたとみられる。時期は, 出土土器から晩期前葉(安行3b式期)と考えられる。

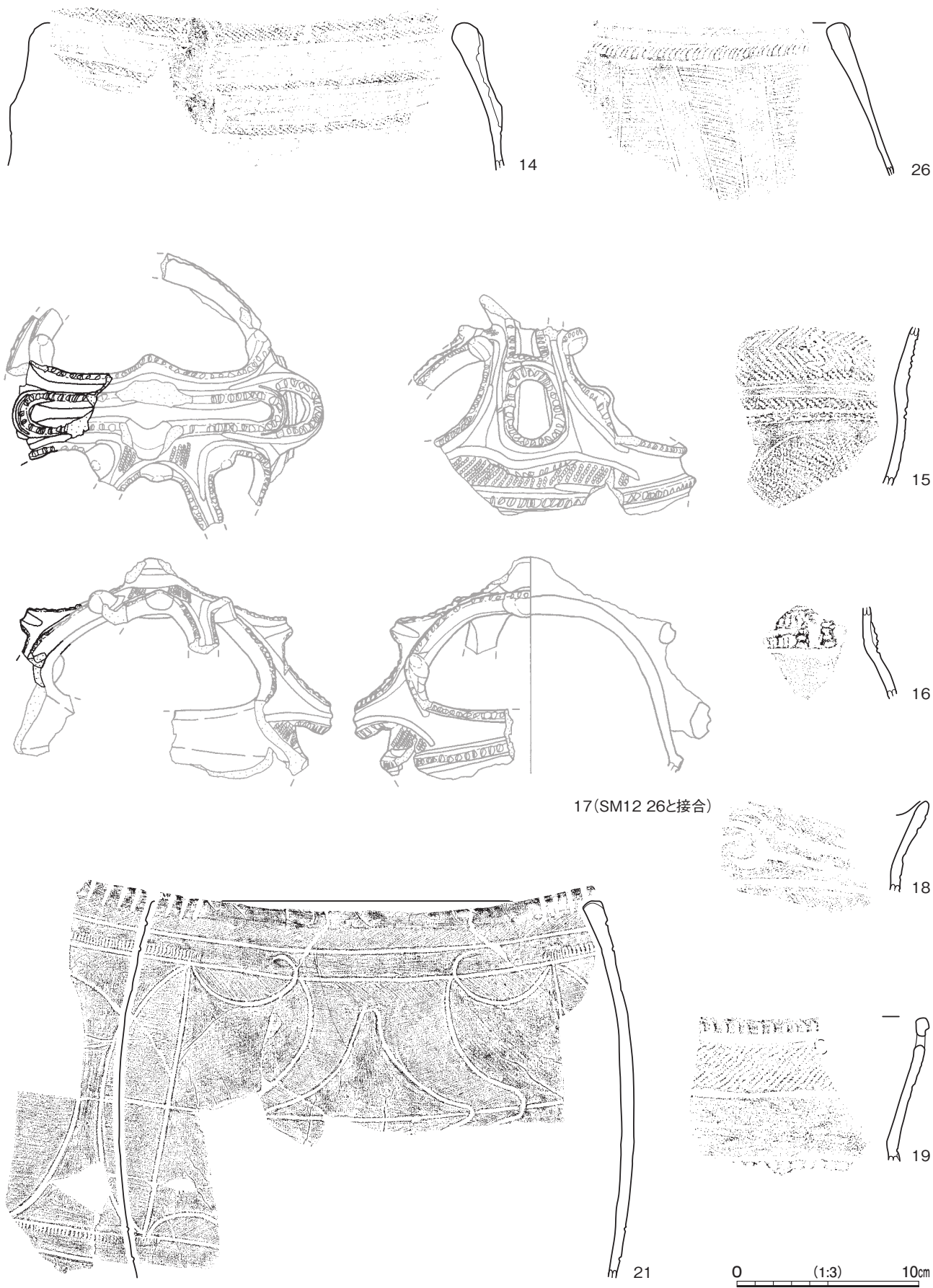
第214表 第4号斜面貝層出土未掲載土器集計表

群	第3群		第4群		第5群				第6群			第7群			第8群
	称名寺I式	称名寺II式	堀之内1式	堀之内2式	加曾利B1式	加曾利B2式	加曾利B3式	後期中葉	曾谷式	安行1式	安行2式	安行3a式	安行3b式	姥山II式	晩期 粟系土器
点数	1	1	20	3	9	4	2	12	6	15	15	15	26	12	8
重量(g)	62	15	882	133	235	97	48	180	198	553	274	354	605	270	64

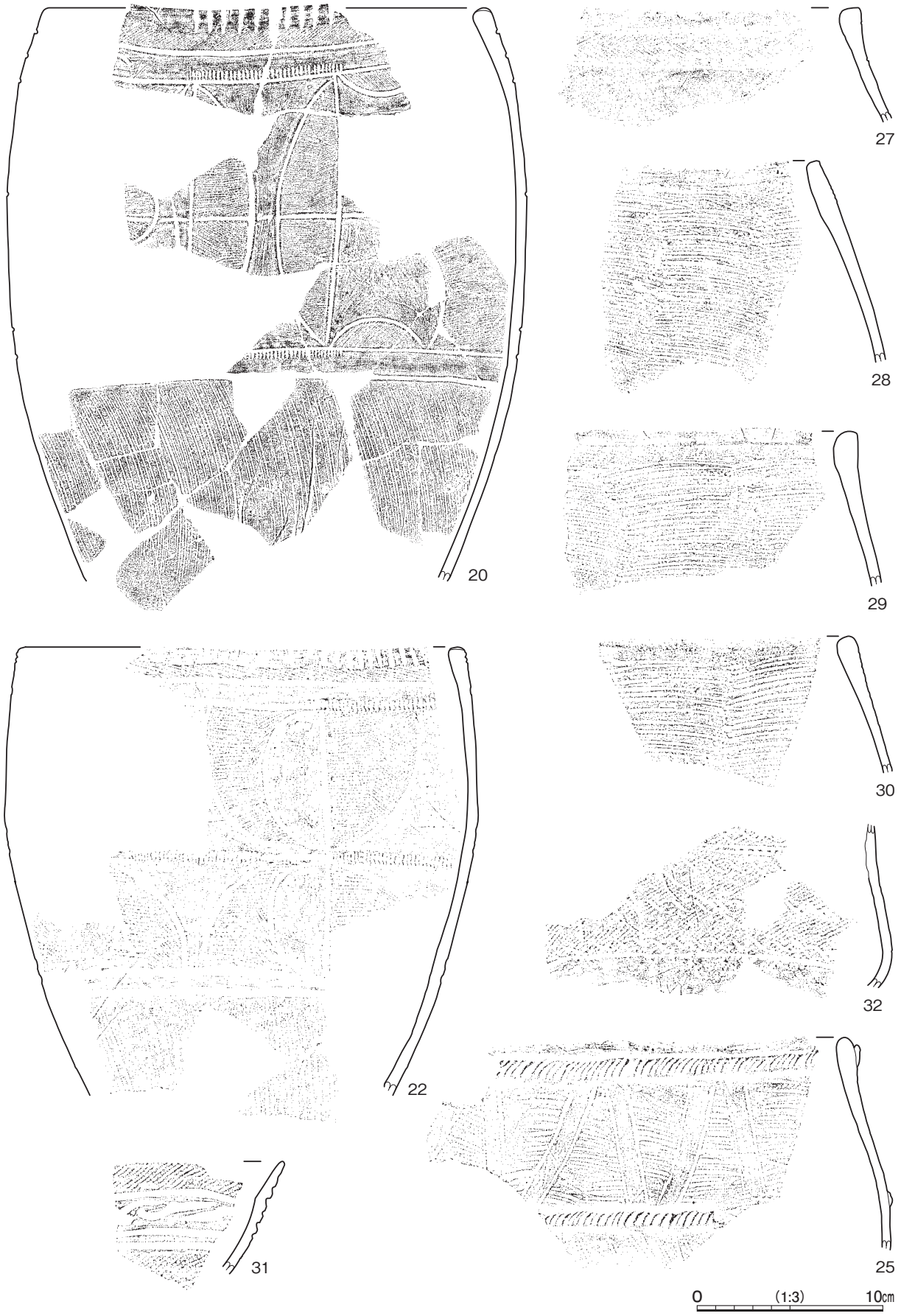
群	第9群										第10群		第11群				第12群	第13群	合計
	沈線文	刺突文	磨消文	隆起帯 縄文	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	鉢	台付鉢	注口土器	壺	製塩土器	細片不明	
点数	68	50	153	85	77	94	12	584	334	847	21	34	2	1	1	1	122	-	2635
重量(g)	1171	747	2576	1564	2026	2316	418	10,072	6,253	12,811	1,661	1,570	94	15	26	9	1,279	8,191	56,769



第 240 図 第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (1)



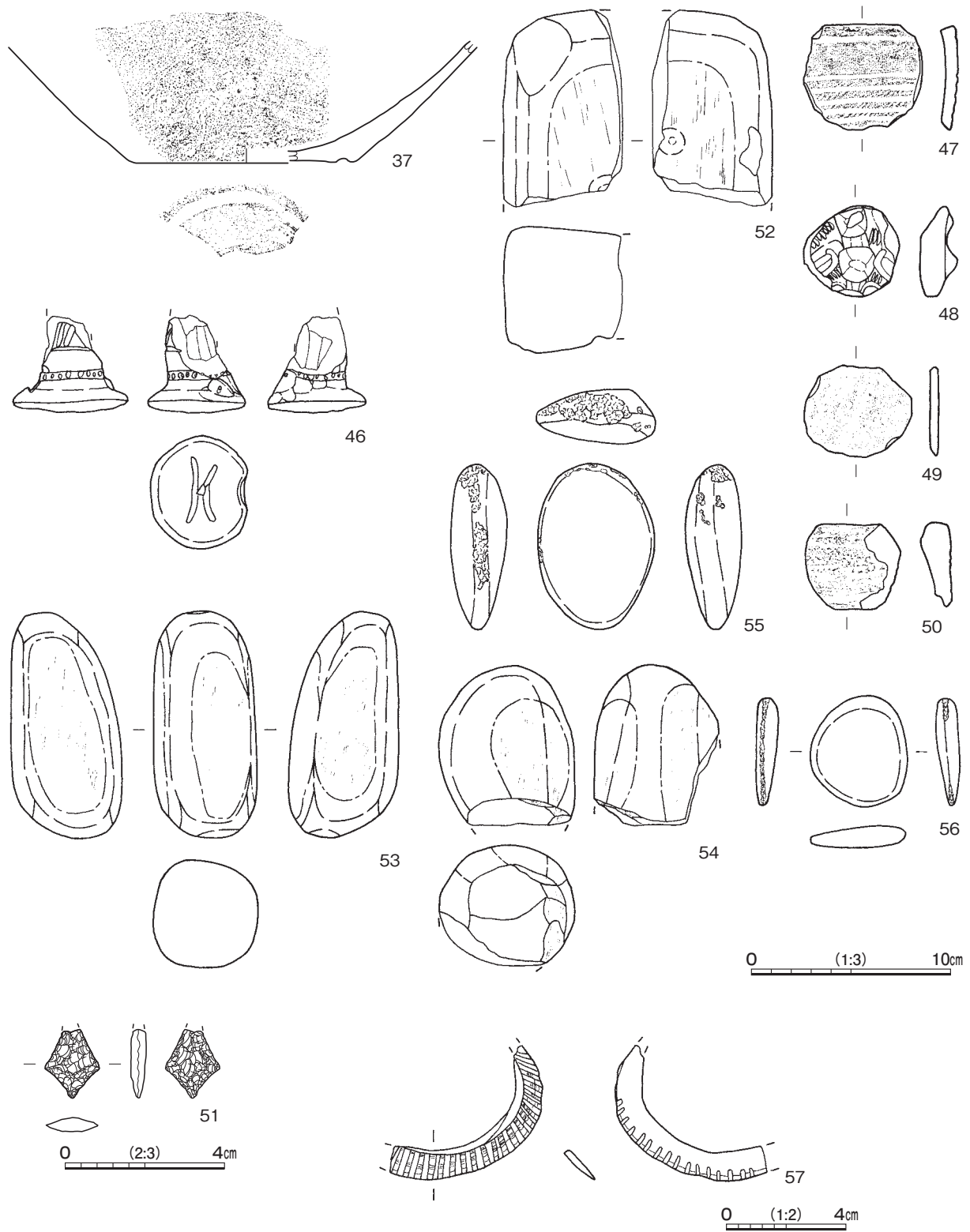
第 241 図 第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (2)



第 242 図 第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (3)



第 243 図 第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (4)



第 244 图 第 4 号斜面貝層出土遺物実測図 (5)

第 215 表 第 4 号斜面具層出土遺物一覧 (第 240 ~ 244 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面口縁部刺突文・平行沈線→縄文 LR 内面磨き	KC8-24 区下層	加曾利 B 3 式
2	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	5.4	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	外面沈線→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き 底面網代痕	KB7-4-12 区下層	15% PL92 加曾利 B 1 式
3	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面縄文 RL→条線文→紐線貼付 内面磨き	KC8-4-2 区下層	後期中～後葉
4	縄文土器	深鉢	[23.0]	(9.8)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面沈線→縄文 L→無文部磨き 内面磨き	KC8-18 区他下層	15% PL92 加曾利 B 2 式
5	縄文土器	浅鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	口唇部刻み 外面磨き 内面磨き→列点文・平行沈線	KC8-4-2 区下層	加曾利 B 1 式
6	縄文土器	浅鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	外面磨き 内面口縁部刺突文 平行沈線・「の」の字状区切り文→縄文 LR→無文部磨き	KB8-3-5 区下層	PL92 加曾利 B 1 式
7	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部突起貼付 外面条線文 内面磨き	KB8-3-12 区中層	後期中葉
8	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい赤褐	普通	外面削り 内面磨き	KB8-4-14 区下層	後期中～後葉
9	縄文土器	深鉢	-	(15.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き 刺突文 内面磨き	KB8-3-16 区他上層	10% PL92 曾谷式
10	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面瘤貼付→沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	KB8-4-15 区下層	PL92 曾谷式
11	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面沈線→縄文 L→無文部磨き 内面磨き	KC8-1-3 区下層	曾谷式
12	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	外面瘤貼付→隆起帯脇沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	KB7-4-3 区下層	PL92 安行 1 式
13	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	有孔 外面瘤貼付→隆起帯脇沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	KB8-4-3 区下層	PL92 安行 1 式
14	縄文土器	深鉢	[22.4]	(8.1)	-	長石・石英・雲母・針状物質	明赤褐	普通	外面瘤貼付→隆起帯脇沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	KB8-3-12 区中層	10% PL92 安行 2 式
15	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	外面平行・弧状沈線→縄文 RL→刺突列→羽状沈線→蛇行沈線→無文部磨き 内面磨き	KC8-2-15 区下層	安行 1 式
16	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面瘤貼付→沈線→刻み→無文部磨き 内面ナデ	KB8-4-1 区下層	瘤付第 3 段階
17	縄文土器	鈎手土器	[16.6]	(12.2)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面刻みをもつ隆帯 内面磨き SM12 26 と接合	KB8-3-12 区中層	40% PL96 曾谷式
18	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	KC8-1-3 区中層	安行 3 a 式
19	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	有孔 外面沈線→縄文 LR→刺突列→無文部磨き 内面磨き	KC8-2-3 区上層	加曾利 B 3 式
20	縄文土器	深鉢	[24.0]	(30.9)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口唇部刻み 外面沈線→細密沈線→無文部磨き 胴部下位条線 内面磨き 21 と同一	KB8-3-16 区他中層	20% PL93 姥山 II 式
21	縄文土器	深鉢	[24.6]	(20.7)	-	長石・石英	灰褐	普通	口唇部刻み 外面沈線→細密沈線→無文部磨き 胴部下位条線 内面磨き 20 と同一	KC8-4-13 区他中層	15% PL93 姥山 II 式
22	縄文土器	深鉢	[24.0]	(24.1)	-	長石・石英・雲母・針状物質	明赤褐	普通	口唇部刻み 外面沈線→細密沈線→無文部磨き 胴部下位条線 内面磨き 23 と同一	KB8-4-14 区他上層	15% PL93 姥山 II 式
23	縄文土器	深鉢	[25.0]	(22.6)	-	長石・石英・雲母・針状物質	暗赤褐	普通	口唇部刻み 外面沈線→細密沈線→無文部磨き 胴部下位条線 内面磨き 22 と同一	KC8-2-4 区他上～中層	15% PL93 姥山 II 式
24	縄文土器	深鉢	16.8	(20.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面瘤貼付→沈線による棒状の区画→区画内磨き→縄文 RL 同部下半条線 内面磨き	KB8-3-12 区中～下層	70% PL91 安行 3 b 式
25	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面条線→区画文→無文部磨き→紐線貼付 内面磨き	KB8-4-13 区中層	10% PL92 後期後葉～晩期前葉
26	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面条線→区画文→無文部磨き→紐線貼付 内面ナデ	KB8-4-13 区下層	後期後葉～晩期前葉
27	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面平行沈線間に羽状沈線→無文部磨き 内面磨き	KB8-3-11 区上層	PL92 晩期前葉
28	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面条線 内面磨き	KB8-3-15 区中層	PL92 晩期前葉
29	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面条線 内面ナデ	KB8-3-12 区下層	晩期前葉
30	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面条線 内面磨き	KB8-3-15 区中層	晩期前葉
31	縄文土器	鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	灰褐	普通	外面沈線→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	KC8-2-1 区上～中層	PL92 大洞 B 2 式
32	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線→縄文 LR・綾絡文→無文部磨き 内面磨き	KC8-2-10・14 区上層	10% PL92 大洞 B C 式
33	縄文土器	浅鉢	[26.9]	(9.4)	-	長石・石英・雲母・針状物質	灰褐	普通	外面磨き→沈線 内面磨き	KC8-2-4 区他上～下層	15% 安行 3 b 式
34	縄文土器	浅鉢	12.8	(3.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口唇部 5 単位の B 突起 突起間小波状 外面沈線→縄文 LR→無文部磨き 内面磨き	KB8-3-15 区他中層	80% PL91 安行 3 a 式
35	縄文土器	浅鉢	[18.8]	(4.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口唇部 4 単位の B 突起 外面沈線→縄文 L→無文部磨き 内面磨き	KB8-3-14 区他中～下層	15% PL92 安行 3 a 式
36	縄文土器	鉢	-	(8.4)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外面沈線→縄文 LR→無文部磨き 内面ナデ	KB8-4-15 区中層	安行 3 b 式
37	縄文土器	浅鉢	-	(5.9)	[11.0]	長石・石英	灰褐	普通	外面条線 内面磨き 底部沈線	KC8-2-7 区下層	晩期前葉
38	縄文土器	浅鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母・針状物質	褐灰	普通	外・内面磨き	KB8-3-14 区他中層	晩期前葉
39	縄文土器	壺	8.0	(6.5)	-	長石・石英	橙	普通	把手 4 か所 外・内面ナデ	KC8-1-7 区中層	60% PL92 後期後葉
40	縄文土器	製塩土器	-	(6.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外・内面ナデ	KB8-4-13 区中層	晩期前葉
41	縄文土器	製塩土器	-	(3.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面削り→口縁部ナデ 内面ナデ	KB8-3-6 区中層	晩期前葉
42	縄文土器	製塩土器	-	(4.2)	-	長石・石英	橙	普通	外面削り→口縁部ナデ 内面ナデ	KB8-4-5 区中層	晩期前葉
43	縄文土器	製塩土器	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外・内面ナデ 口唇部面取り	KB8-3-7 区中層	晩期前葉
44	縄文土器	製塩土器	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り→口縁部ナデ 内面ナデ	KB8-3-10 区下層	晩期前葉
45	縄文土器	製塩土器	-	(4.9)	-	長石・石英	橙	普通	外面削り→口縁部ナデ 内面ナデ	KB8-4-4 区下層	晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
46	土偶	(5.8)	(5.0)	(5.8)	(73.1)	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	脚部片 沈線→刺突文	KC8-2-5区 下層	
47	土器片円盤	5.2	6.0	0.8	30.1	長石・石英	明赤褐色	加曾利B1式深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KB8-3-7区 下層	
48	土器片円盤	4.5	4.9	1.9	33.0	長石・石英	灰褐	安行2式精製深鉢波頂部片 周縁部打ち欠き	KC8-2-13区 下層	
49	土器片円盤	4.5	5.3	0.5	20.4	長石・石英	にぶい褐	後期後葉精製深鉢胴部片 周縁部研磨	KC8-2-10区 下層	
50	土器片円盤	4.3	4.7	1.5	31.3	長石・石英	にぶい褐	安行1式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KB8-3-12区 中層	

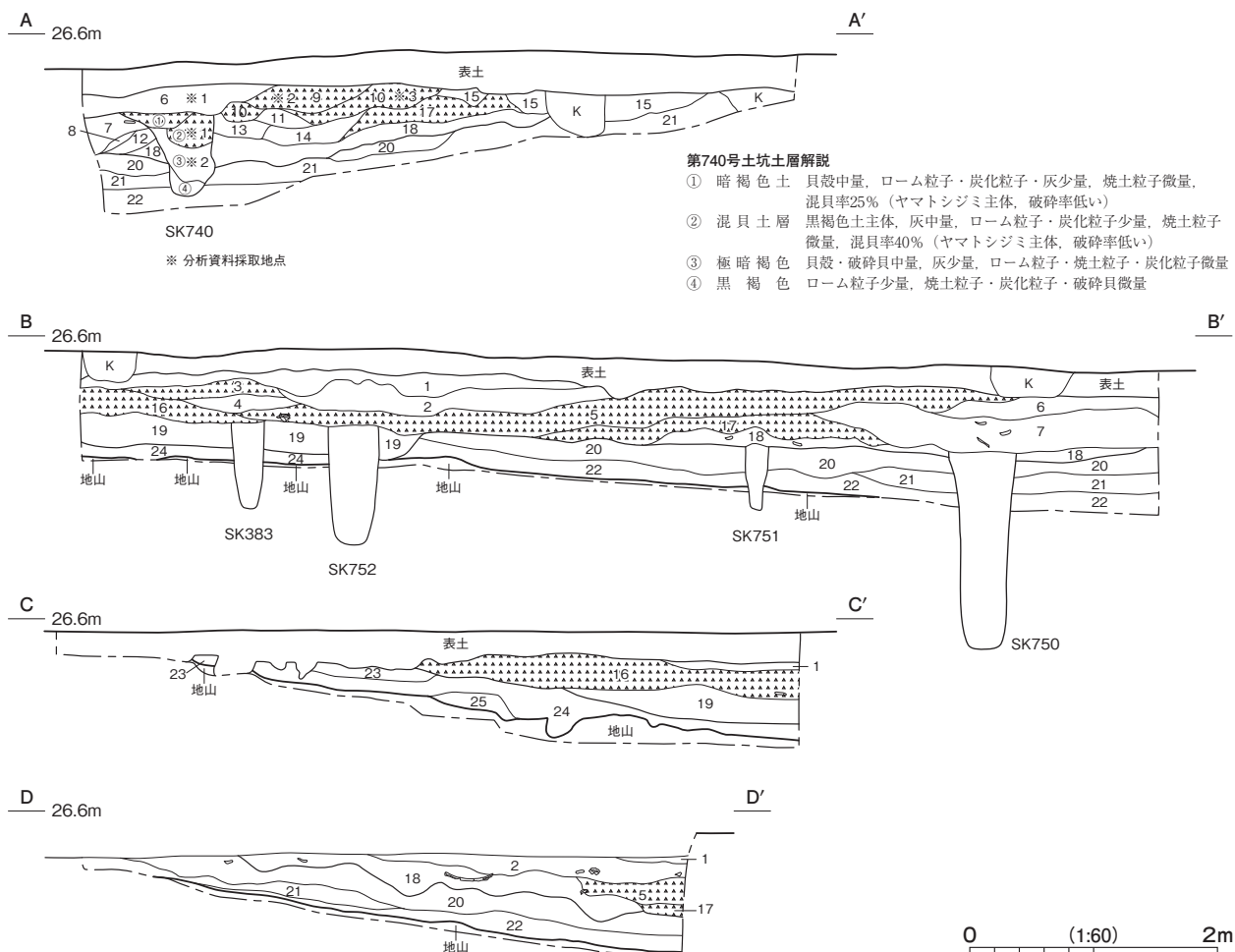
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
51	石鏃	(1.7)	1.4	0.4	(0.7)	チャート	凸基有茎鏃 茎部欠損	KC8-2-3区 下層	PL93
52	石皿	(9.8)	(6.1)	(6.4)	(662.9)	花崗岩	表裏面磨面・凹痕	KB8-4-1区 下層	
53	磨石	11.3	5.3	5.6	543.4	安山岩	4側面磨痕	KC8-4-2区 下層	
54	磨石	(8.0)	6.9	(6.4)	(484.1)	安山岩	3側面磨痕 欠損部再利用 敲打痕	KB8-3-8区 中層	
55	敲石	8.3	6.0	2.9	178.8	硬質砂岩	側縁部敲打痕	KC8-2-2区 上層	
56	敲石	5.5	4.9	1.2	46.5	角閃岩	側縁部敲打痕	KC8-4-14区 下層	
57	貝輪	(5.1)	(4.5)	1.0	(5.7)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KB8-4-14区 上層	PL93

第216表 第4号斜面貝層出土貝殻集計表

腹足綱	点数				重量 (g)					備考
アカニシ	10				203.0					
アラムシロガイ	3				1.7					
アワビ	-				6.9					破片のみ
イボニシ	1				1.9					
ウミニナ	13				9.7					
オオタニシ	1				2.5					
カノコガイ	4				3.5					
カワアイ	2				3.6					
カワニナ	2				2.5					
キサゴ	-				2.1					破片のみ
チリメンカワニナ	2				2.7					
ネコガイ	3				4.4					
ヒロクチカノコガイ	3				4.2					
ヘナタリ	4				4.3					
マガキ	-				18.4					破片のみ
ヤマグルマガイ	1				0.8					
小計	49				272.2					
二枚貝綱	左殻	右殻	左右不明	合計	左殻	右殻	左右不明	破片	合計	備考
アカガイ	-	-	1	1	-	-	3.1	-	3.1	
アサリ	-	2	-	2	-	4.0	-	-	4.0	
イシガイ	-	-	1	1	-	-	1.1	22.8	23.9	
オキシジミ	6	16	1	23	9.6	17.0	0.9	5.7	33.2	
ゴイサギ	1	1	-	2	2.4	3.7	-	-	6.1	
サルボウ	25	19	4	48	145.2	111.8	10.7	74.9	342.6	
シオフキ	87	98	5	190	224.0	259.9	10.0	69.3	563.2	
ハマグリ	3,166	3,209	99	6,474	10,194.2	10,611.1	75.4	2,954.8	23,835.5	
マツカサガイ	11	2	6	19	13.4	1.6	7.9	69.9	92.8	
ヤマトシジミ	73,164	69,980	7,226	150,370	120,341.4	117,100.5	3,940.4	14,523.2	255,905.5	
小計	76,460	73,327	7,343	157,130	130,930.2	128,109.6	4,049.5	17,720.6	280,809.9	
総合計	157,179				281,082.1					

第11号斜面貝層（第245～255図 第217～220表 PL36・37・93～96）

位置 調査H区のD4h4～j6区、標高26.2～26.3mの台地斜面部に位置し、北側の西北西－東南東方向に延びる谷に向かって緩やかに傾斜している。平成19年度の調査A区でトレンチ調査が行われ、後期中葉（加曽利B式期）を主体とする貝層及び晩期前葉までの土器を含む遺物包含層が確認されており、その成果は『第325集』に掲載されている。今回の調査箇所は、その南西側に隣接している。

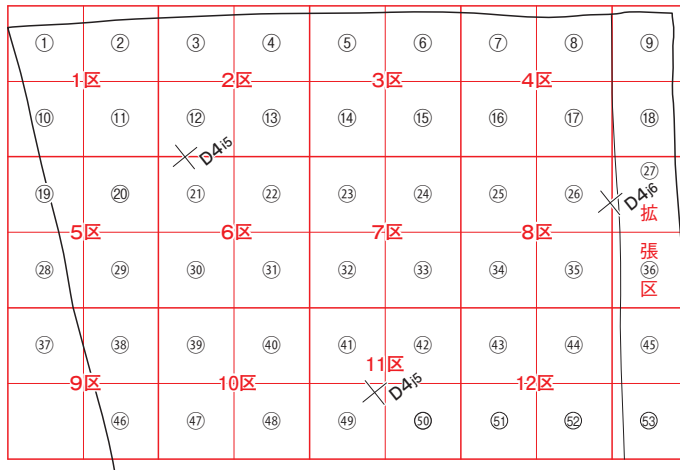


第740号土坑土層解説
 ① 暗褐色土 貝殻中量、ローム粒子・炭化粒子・灰少量、焼土粒子微量、混貝率25%（ヤマトシジミ主体、破砕率低い）
 ② 混貝土層 黒褐色土主体、灰中量、ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量、混貝率40%（ヤマトシジミ主体、破砕率低い）
 ③ 極暗褐色 貝殻・破砕貝中量、灰少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
 ④ 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量

土層解説

1 暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量	12 黒褐色	灰・破砕貝少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
2 黒褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量、破砕貝微量	13 黒褐色	炭化粒子・貝殻・破砕貝少量、焼土ブロック・ローム粒子・灰微量
3 混貝土層	黒褐色土主体、炭化粒子中量、ロームブロック・焼土粒子少量、混貝率30%（ヤマトシジミ主体、破砕率低い）	14 極暗褐色	ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・破砕貝少量
4 暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量	15 暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
5 混貝土層	黒褐色土主体、灰中量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量、混貝率30%（ヤマトシジミ主体、破砕率低い）	16 混貝土層	暗褐色土主体、ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量、混貝率40%（ヤマトシジミ主体、破砕率高い）
6 黒褐色	破砕貝中量、ロームブロック・炭化粒子少量、焼土ブロック微量、混貝率20%（ヤマトシジミ主体、破砕率高い）	17 黒褐色	貝殻中量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・灰少量、混貝率25%（ヤマトシジミ主体、破砕率低い）
7 暗褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子・破砕貝少量、灰微量	18 黒褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量、破砕貝微量
8 黒褐色	灰多量、炭化粒子少量、ローム粒子・焼土粒子・破砕貝微量	19 暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子・破砕貝微量
9 混貝土層	暗褐色土主体、灰中量、ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量、混貝率40%（ヤマトシジミ主体、破砕率低い）	20 極暗褐色	ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
10 黒褐色	貝殻中量、灰少量、ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量、混貝率25%（ヤマトシジミ・ハマグリ主体、破砕率低い）	21 黒褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
11 黒褐色	貝殻・破砕貝中量、ローム粒子・炭化粒子・灰少量、焼土粒子微量、混貝率20%（ヤマトシジミ主体、破砕率高い）	22 暗褐色	ロームブロック中量
		23 暗褐色	ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
		24 褐色	ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量
		25 褐色	ローム粒子多量

第245図 第11号斜面貝層実測図（1）



0 (1:100) 4m

第 246 図 第 11 号斜面具層グリッド設定図

第 217 表 第 11 号斜面具層グリッド・土層対照表

区	1区		2区		3区		4区		拡張区1
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1x	1	1	1	1	1・5	5	5	5	6
2x	1	1・2	1	1	1・5	5	5	5	6
3x	3・16	2・3	2	2	1・5	5	5	5・6	7
4x	3・16	3	2	2	1・5	5	5・7	6	7
5x	16	4	2	2	5	5	7	6・7	7
6x	16	4	2	2	5	17	7	6・7	7・8
7x	16・21	5・16	2	5	5・17	17	7・17	7	7・12
8x	19	5・16	5	5	5・17	17	7・17	7	7・12
9x		19	5・19	5	17・20	17・18	17・18	7	18
10x		19	20・19	5	20	18	17・18	7	18・20
11x		19	19	20	20	20	20	18	20
12x				20	20	20	20	18	20
13x	24		24	22	22	20		20	21
14x		24						21	21
15x					22				21
16x					22				21
17x									22
18x									22

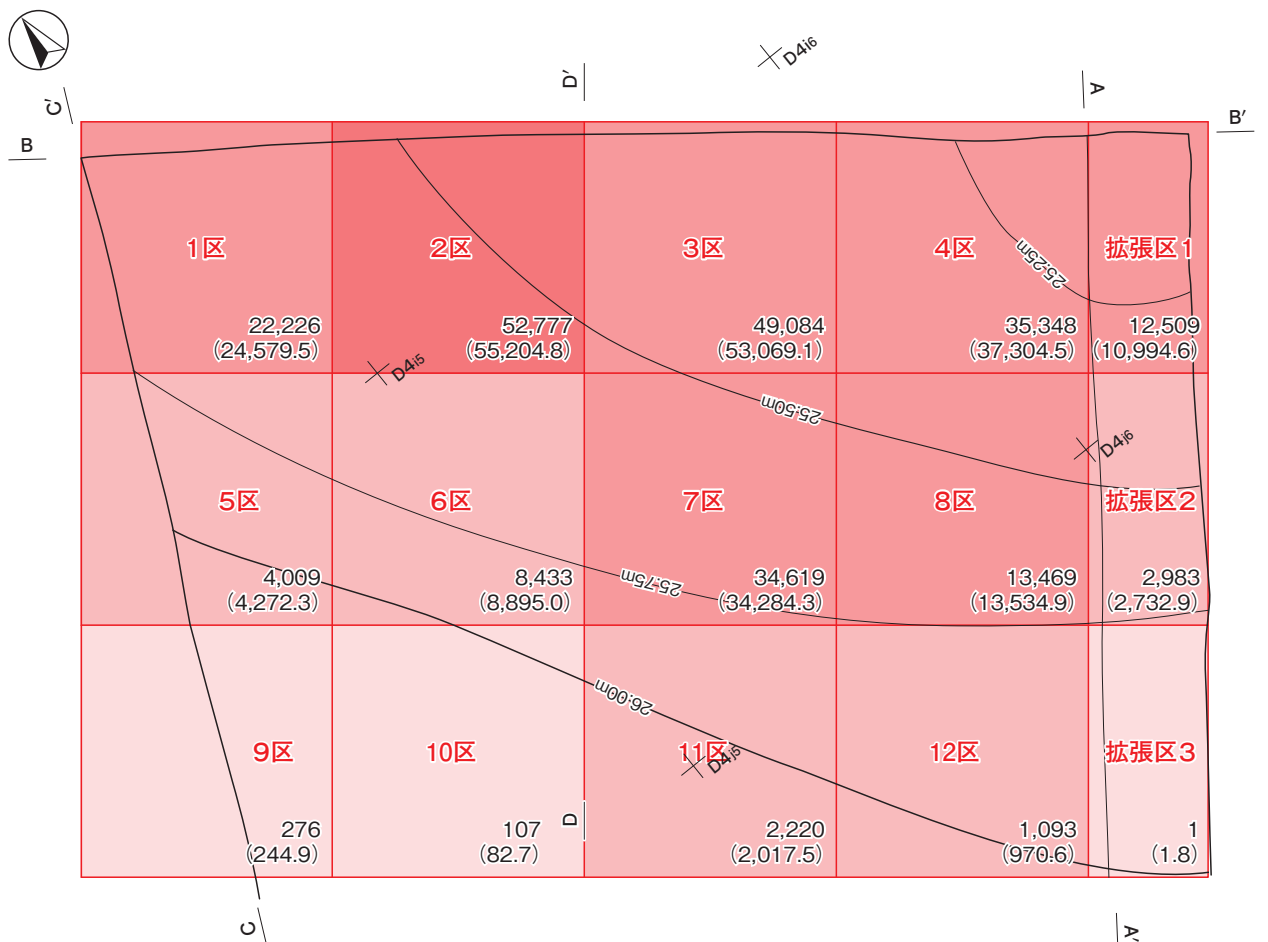
区	5区		6区		7区		8区		拡張区2
	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	
1x	16	16	5・16			5・9	5・9	9・10	9・10
2x	16	16	5・16			5・9	5・9	9・10	9・10
3x	24	16	16	2・18	2・18	9	9	9・10	9・10
4x	24・25	24		18	18	9	9	9・10	9・10
5x		24	24	18・20	18・20	18	18・20	10・14・17	10・14・17
6x				18・20	18・20	18・20	18・20	10・14・17	10・14・17
7x				18・20	18・20	18・20	20	18・20	14・17
8x					20	18・20	20		14・17
9x					20	20		18・20	14・17
10x					21・22	21・22	21・22		18・20
11x					21・22	21・22	21・22		18・20
12x						22			18・20
13x									21

区	5区		6区		7区		8区		拡張区2
	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	
1x	16・23	16	16・18・20	18・20	18・20	9・20	9・10	9・10	10・14・17
2x	23	16・19	18・19	18・20	18・20	9・20	9・10	9・10	10・14・17
3x	24	24	24	18・20	18・20	18・20	9・18	9・10・14	15・17
4x	24	24		21・22	21・22	18・20	9・18	15	15・17
5x	24・25			21・22	21・22		15・18	15・18	15・18
6x				22	22		15・18		15・18
7x									18
8x							20	21	18・21
9x					22			21	21
10x								21	21

区	9区		10区		11区		12区		拡張区3
	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	
1x	24	24	24	20	18・20	9・10	9・10	15	
2x					20・21	18	18	15	
3x					21	20	20		
4x					21	21		21	
5x								21	15
6x									15
7x									15
8x									15
9x									21
10x									21

区	9区		10区		11区		12区		拡張区3
	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	
1x				20・21	20・21				21
2x									21
3x									21
4x									21

	…上層		…具層上層		…中層
	…具層下層		…下層		…掘り込み無し



貝の出土点数



グリッド : 239,154点 (248,189.4g)
 確認面 : 7,741点 (7,776.7g)
 X : 8,081点 (8,717.5g)
 攪乱 : 119点 (98.7g)
 総合計 : 255,095点 (264,782.3g)

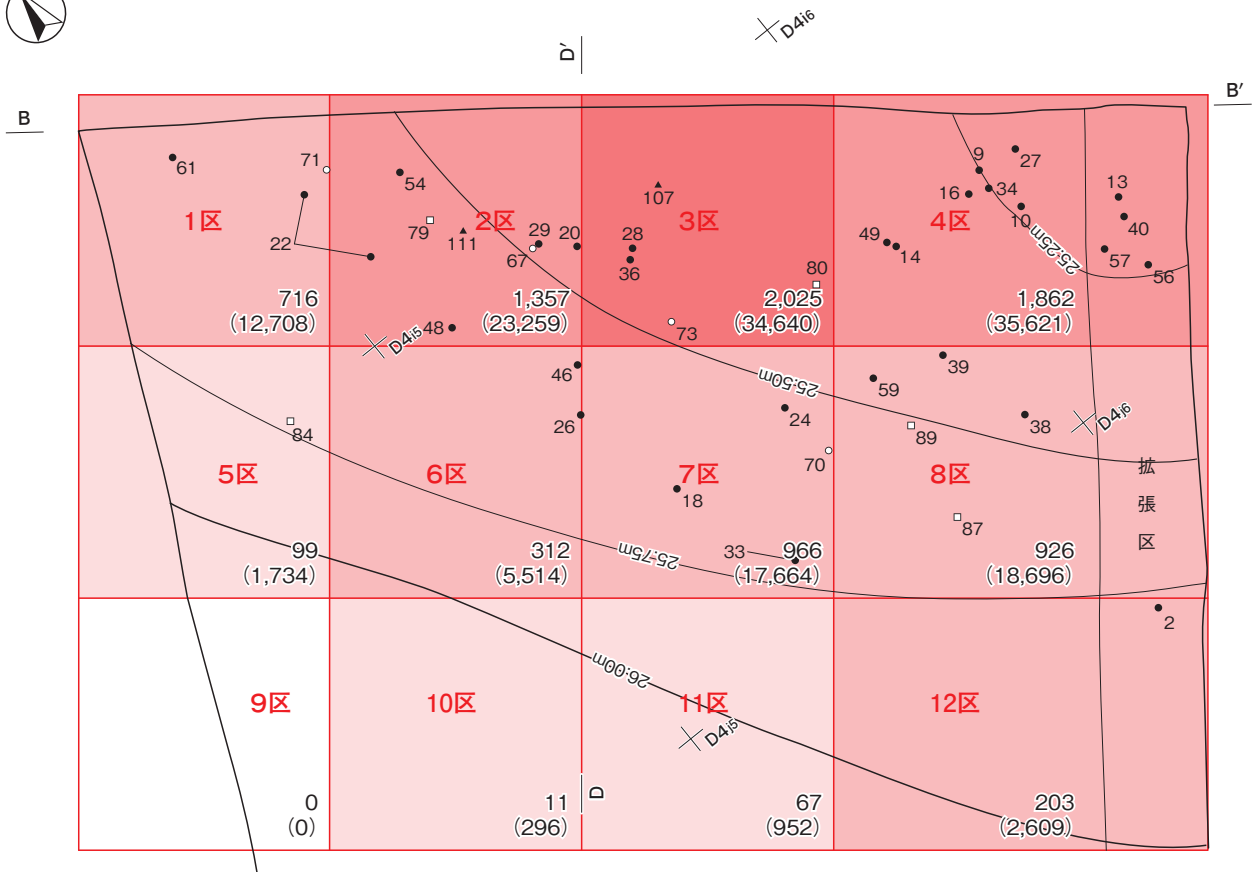
0 (1:60) 2m

第 247 図 第 11 号斜面貝層実測図 (2)

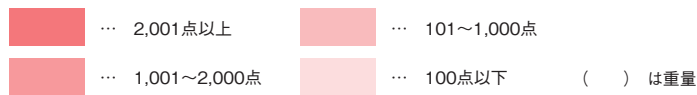
確認状況 北側の谷に向かって傾斜する斜面貝層の一部である。

重複関係 第 382 号土坑など 37 基の土坑の上部に形成されており、第 584・586・634・740 号土坑に掘り込まれている。

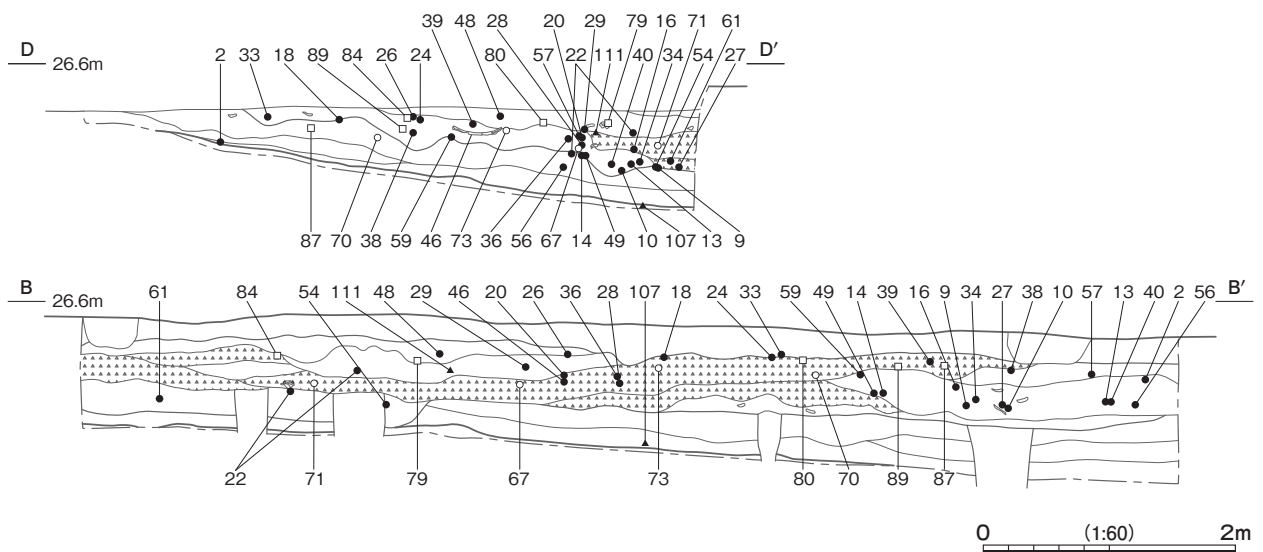
調査方法 本貝層は、調査 H 区の長さ 21.5 m、幅 4.5 ~ 8.8 m の長い台形状に突き出した部分の北端部に位置しており、軸方向が北東 (N - 40° - E) へ振れていることから、調査区の形状に合わせたグリッドを設定した。調査区の北西隅を起点として、2 m 四方のグリッドを設定し、各グリッドを 1 m 四方のグリッドに細分した。調査区の名称は、北西隅から通し番号で、Z 字状に 2 m 四方のグリッドを 1 ~ 12 区、1 m 四方の単位グリッドを① ~ ⑬区と呼称した。掘り込みは、各単位グリッドを人工層位で 5 cm ずつ掘り下げるグリッド法を採用し、人工遺物はビニール袋、貝・骨片は土嚢袋に回収し、それぞれの台帳を作成して管理・登録した。発掘調査での選別や整理作業での分類・集計の方法は、本項冒頭の「貝・骨の分類」(上巻 32 頁)と同様であるが、貝については 5・3・1 mm の篩で回収したものを全て選別し、分類・集計した。集計が終了した貝は廃棄し、大型の骨及び 5・3・1 mm の篩で回収した骨を遺物コンテナに収納して保管している。



土器の出土点数



グリッド : 8,544点 (153,693g)
 No付 : 74点 (6,007g)
 確認面・X等 : 662点 (12,113g)
 掲載土器 : 65点
 総合計 : 9,345点 (171,813g)



第 248 図 第 11 号斜面貝層実測図 (3)

分布範囲 調査区の北端から長さ 6.0 m, 調査区の幅 7.4 ~ 8.8 m の範囲に貝層を確認した。標高は, 確認面では 26.2 ~ 26.3 m で, ほぼ平坦であり, 貝層除去面では標高 25.2 ~ 26.0 m で, 約 80cm の比高差がある。傾斜角は約 10 度である。

堆積状況 25 層に分層でき, 上層 (1・2 層)・貝層上層 (3~5 層)・中層 (6・7 層)・貝層下層 (8~17 層)・下層 (18~25 層) の 5 層に大別できる。上層は, 破碎貝が微量含まれている暗褐~黒褐色土である。北部を中心に分布し, 最大層厚は 33cm である。貝層上層は, 混貝率 30% の黒褐色土を主体とし, ローム粒子, 炭化粒子, 灰層などが中量含まれている。調査区北半部に分布しており, 最大層厚は 30cm である。中層は, 破碎貝を含む黒褐~暗褐色土で北東部の 4 区周辺に分布している。最大層厚は 44cm で, 土器片等が多く含まれている。貝層下層は, 混貝率 40% の黒褐~暗褐色土を主体とし, 間層にローム粒子, 灰層, 破碎貝が含まれている黒褐色土などがブロック状に堆積している。調査区域のほぼ全域に広がっているが, 堆積の中心部は北東部の 3・4・8 区と北西部の 1・5 区にあることから, 東西で廃棄単位が異なる可能性がある。最大層厚は 47cm である。下層は, 破碎貝が微量含まれている黒褐~暗褐色土で, 貝層の下部に分布している。また, 20 層以下では破碎貝等が含まれなくなることから, 貝層形成以前の旧表土と捉えられる。なお, 土層断面 A-A' ラインの 6・9・10 層 (分析 = 1・2・3 層) 及び第 740 号土坑②・③層 (分析 = SK740 1・2 層) から試料を採取し, 微細物分析を実施した (「第 3 章第 4 節 自然科学分析 2」参照)。

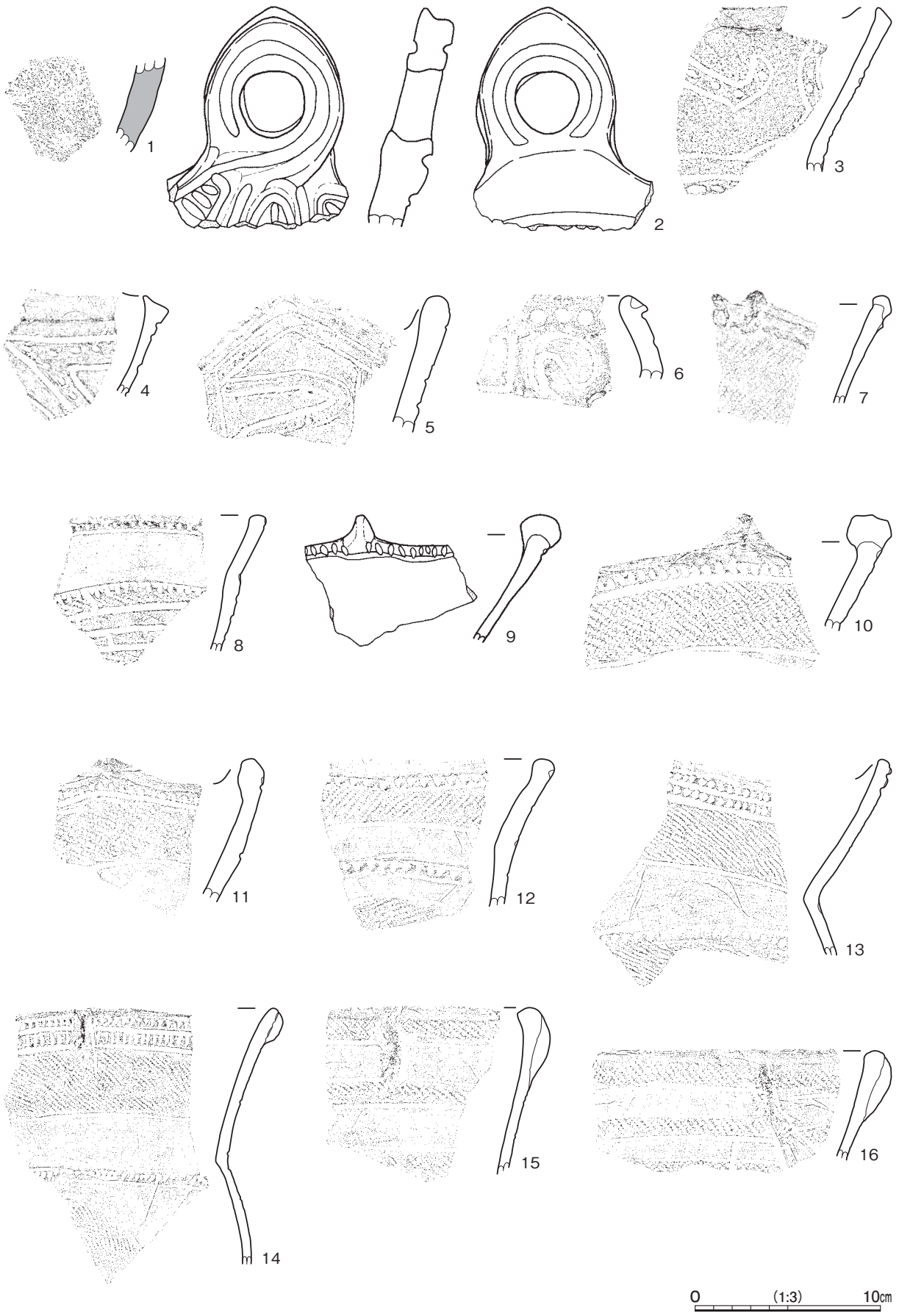
遺物出土状況 縄文土器片 9,345 点 (171,813 g), 土製品 72 点 (土偶 5, 垂飾 1, 耳飾り 1, 耳栓 3, 土錘 1, 土器片円盤 61), 石器・石製品 23 点 (尖頭器 1, 石鏃 4, 石皿 1, 磨石 8, 石錘 2, 砥石 3, 勾玉 1, 小玉 1, 垂飾 1, 石棒_カ 1), 骨角製品 11 点 (刺突具 1, 牙鏃 1, 弓弭 4, 垂飾 3, 装身具_カ 1, 簪_カ 1), 貝製品 10 点 (貝刃 2, 小玉 2, 貝輪 6), 剥片 13 点 (チャート 9, 黒曜石 4), 石核 1 点 (黒曜石), 貝殻 255,095 点 (264,782.3 g), 骨 47,550.0 g, 炭化種子 (オニグルミ, トチノキ) が出土している。

土器類は, 中期末葉から晩期前葉までのものが出土しており, 時期的なまとまりは, 中期末葉 1.0%, 後期初頭 23.4%, 後期前葉 18.5%, 後期中葉 19.5%, 後期後葉 32.2%, 晩期前葉 5.4% である。各時期の土器が一定量出土しているが, 中期末葉から後期中葉のものは下層を中心に出土しており, 貝層形成以前の旧表土中に含まれていたと考えられる。上層から貝層下層にかけて出土している土器は, 後期後葉が主体で曾谷式~安行 1 式のものが多い。ほとんどが破片の状態で, 散在した状態で出土しており, 接合関係も少ない。土製品, 石器・石製品, 骨角製品, 貝製品類では, 耳栓, 翡翠製や貝製の玉類, 垂飾, 貝輪などの装身具の出土が目立つほか, 石鏃や石錘, 骨角製の刺突具や鏃, 弓弭などの狩猟具が出土している。

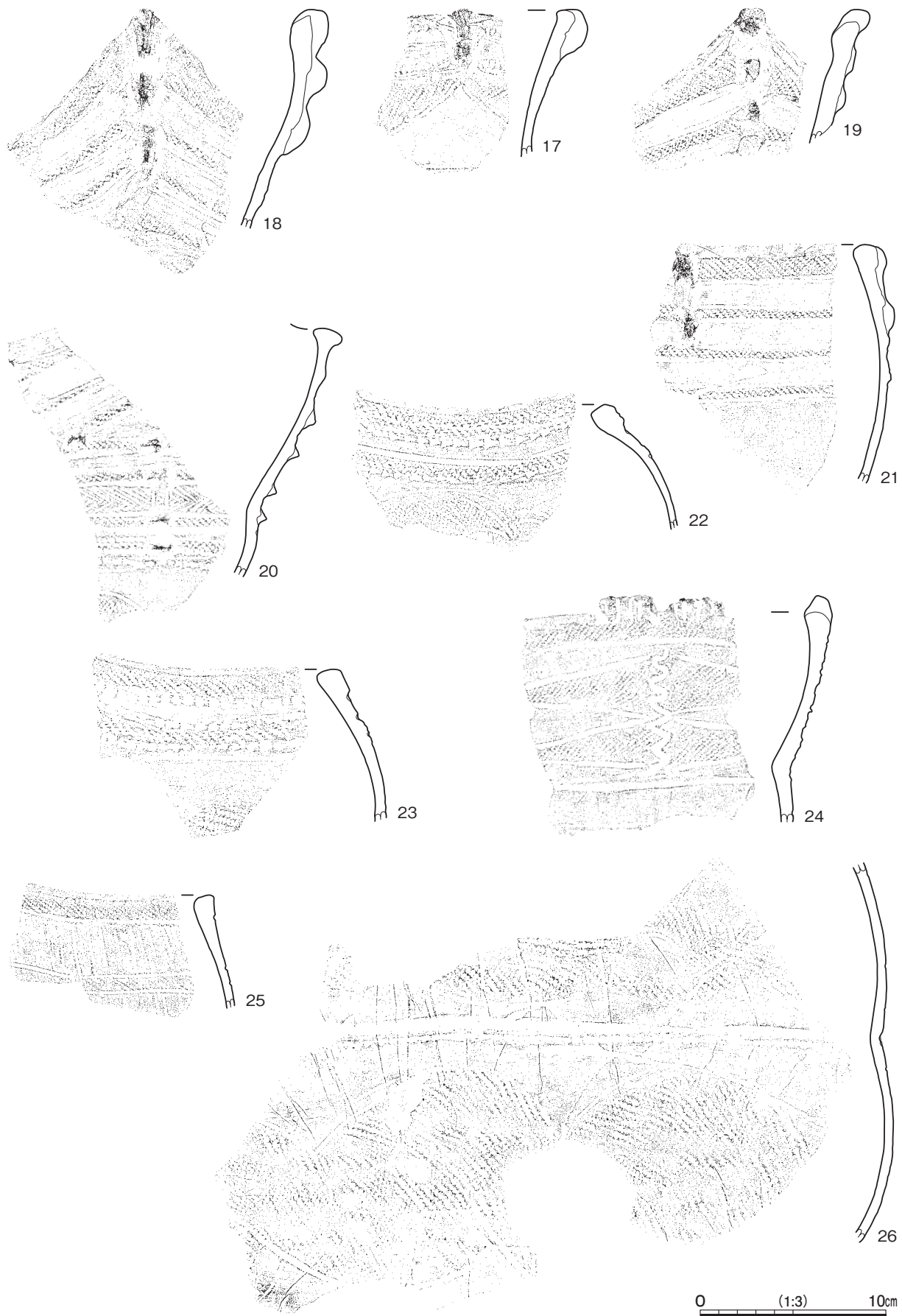
貝は 47 種が確認できた。主な貝種は, 汽水性のヤマトシジミが 218,560 点 (最小個体数 101,942 点) で 85.7%, 次いで内湾性のハマグリが 14,684 点 (最小個体数 7,238 点) で 5.8%, シオフキが 1,441 点 (最小個体数 720 点) で 0.6%, マツカサガイ 757 点 (最小個体数 318 点) で 0.3%, オキシジミ 580 点 (最小個体数 281 点) で 0.2%

第 218 表 第 11 号斜面貝層出土未掲載土器集計表

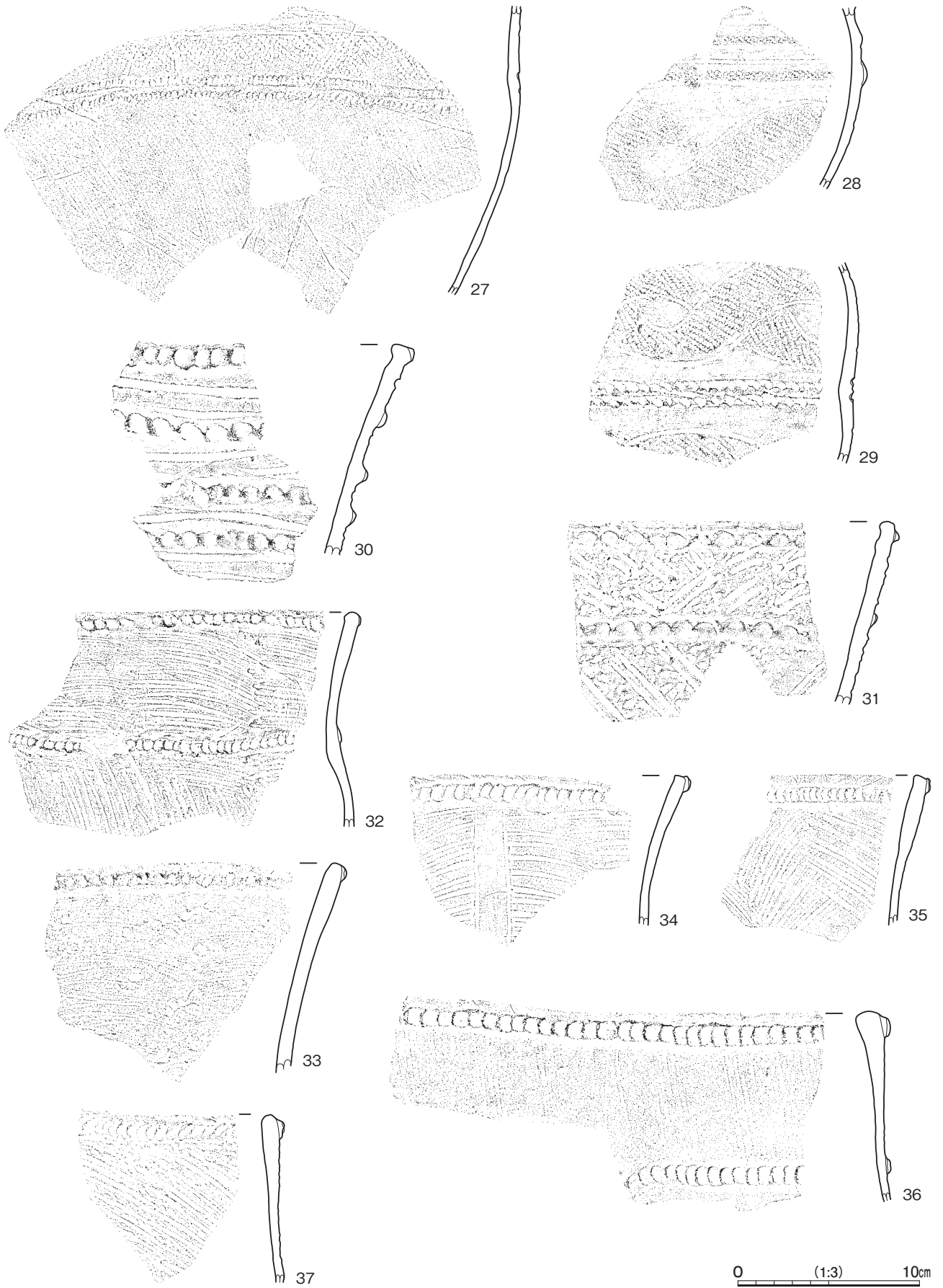
群	第 2 群		第 3 群		第 4 群		第 5 群			第 6 群			第 7 群	第 8 群	第 9 群		
	中期末葉	称名寺 I 式	称名寺 II 式	堀之内 1 式	堀之内 2 式	加曾利 B 1 式	加曾利 B 2 式	加曾利 B 3 式	曾谷式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	晩期異系土器	沈線文	刺突文	磨消文	隆起帯縄文
点数	1	5	43	21	17	25	8	7	34	26	6	11	2	503	501	586	262
重量 (g)	26	145	1,327	864	578	418	312	282	1,082	1,316	265	322	37	8,648	9,381	9,630	5,321
群	第 9 群						第 10 群		第 11 群					第 12 群	第 13 群	合計	
	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢	鉢	台付鉢	壺	注口土器	ミニチュア土器	製塩土器		細片不明
数	595	83	111	2,556	1,368	2,087	146	53	12	18	5	1	3	4	180	-	9,280
重量 (g)	16,726	1,956	1,914	37,852	22,147	27,484	6,425	2,502	329	659	136	39	53	66	2,191	11,380	171,813



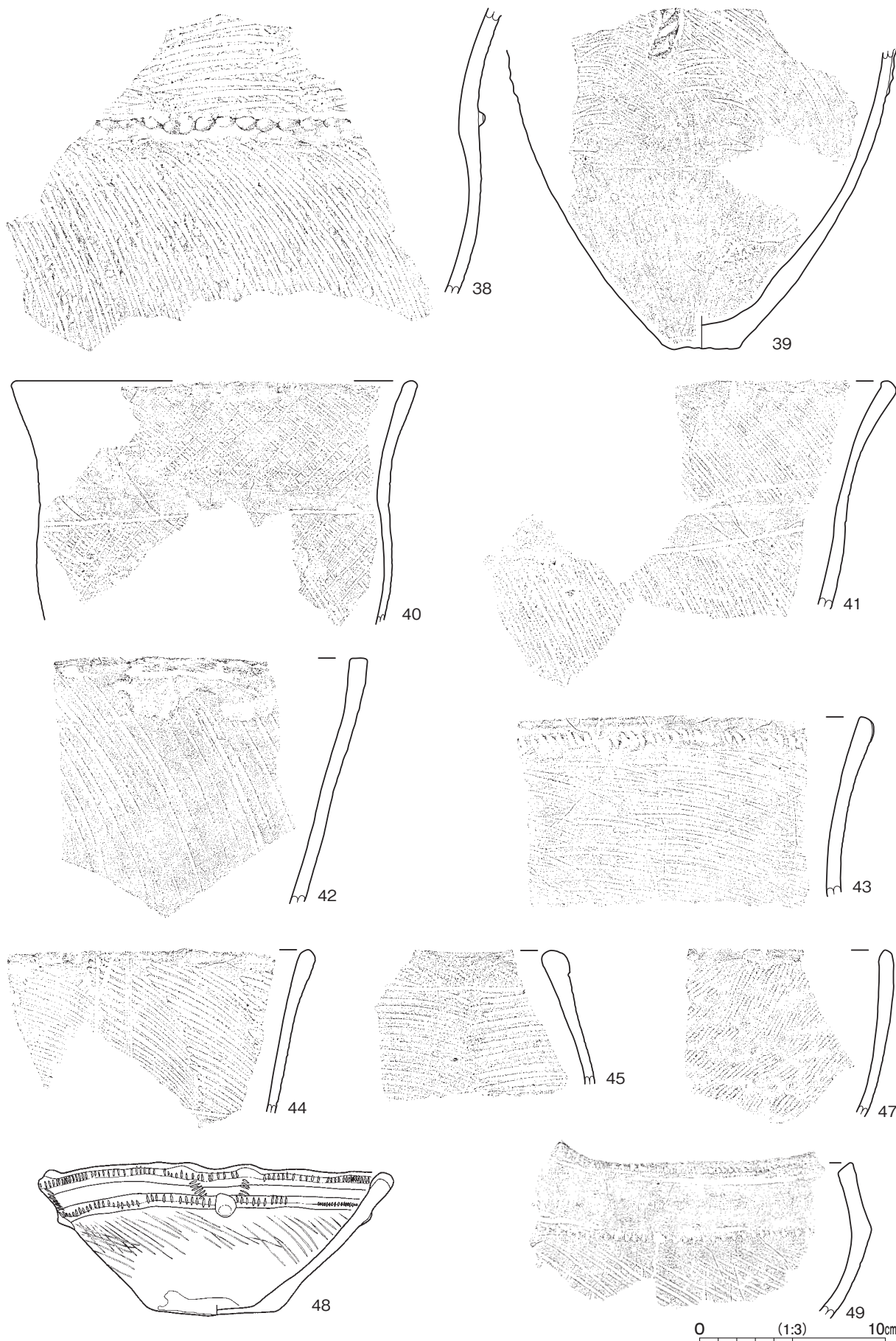
第 249 图 第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (1)



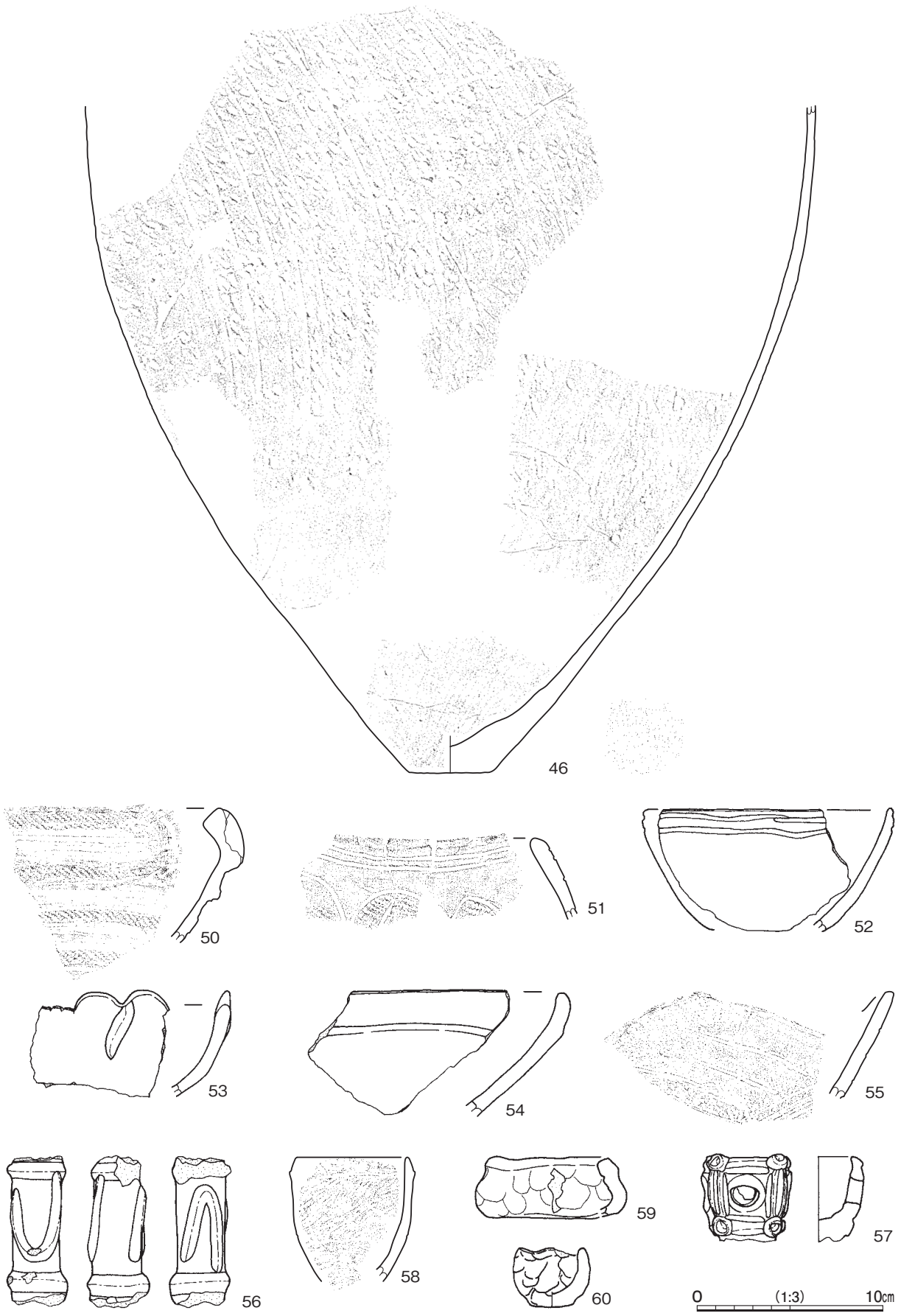
第250図 第11号斜面貝層出土遺物実測図(2)



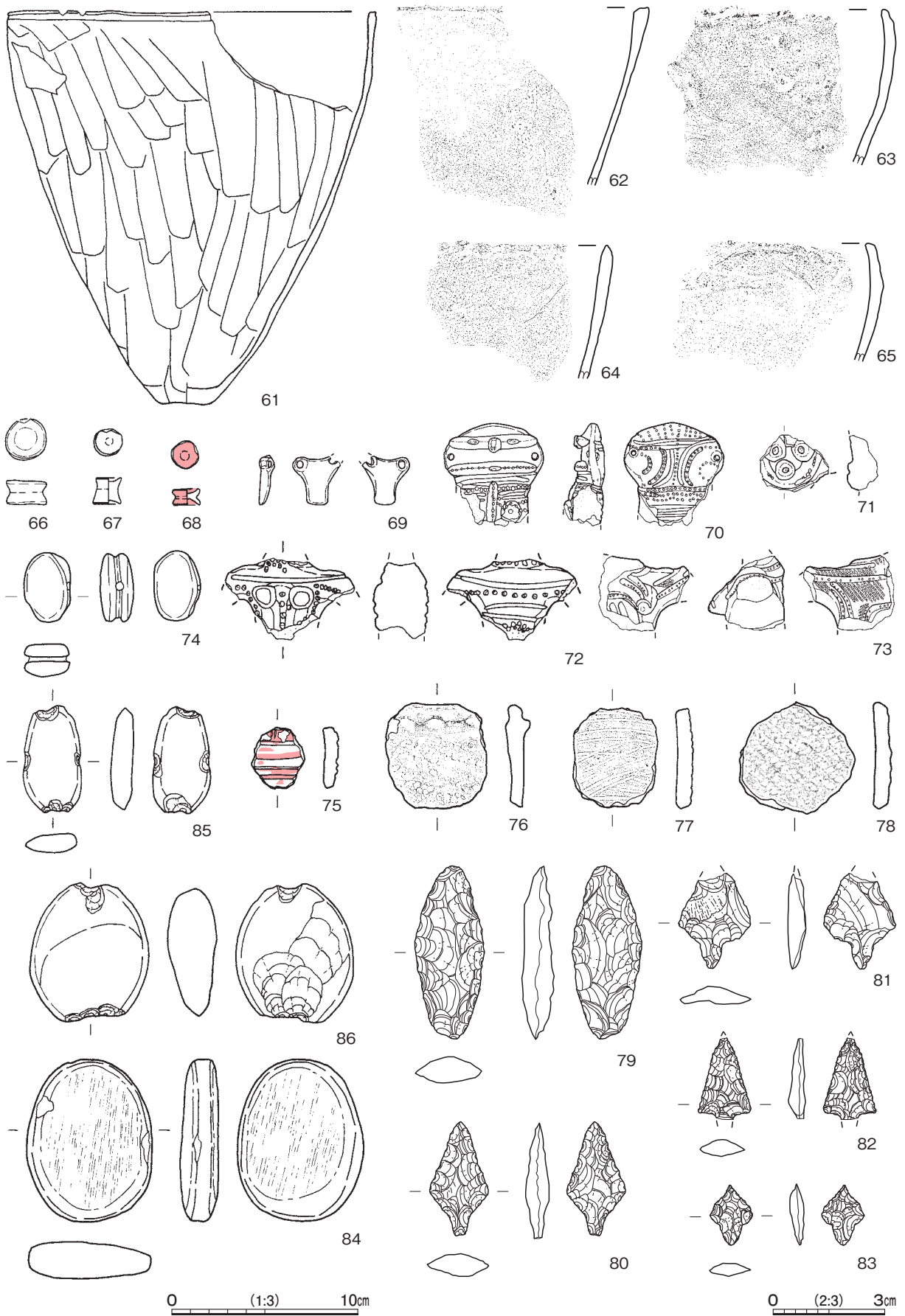
第 251 图 第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (3)



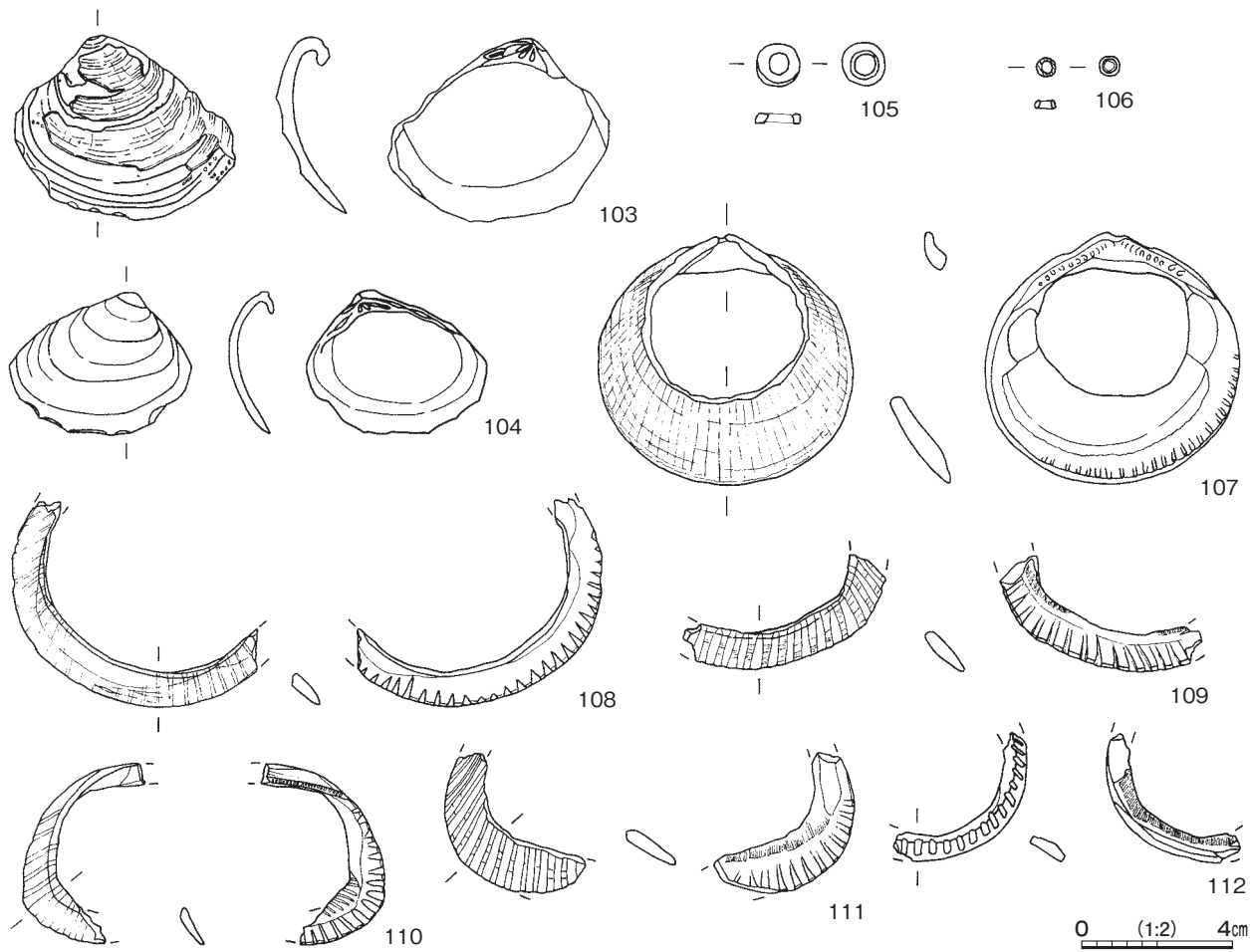
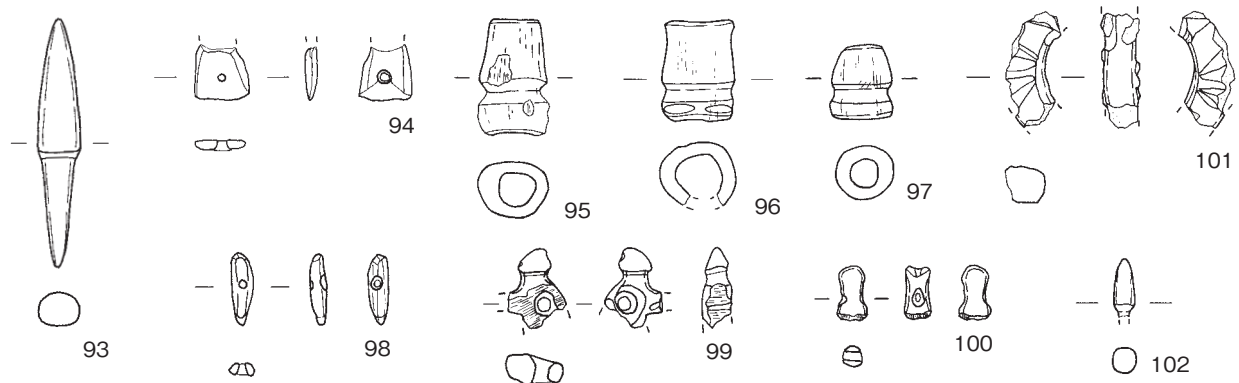
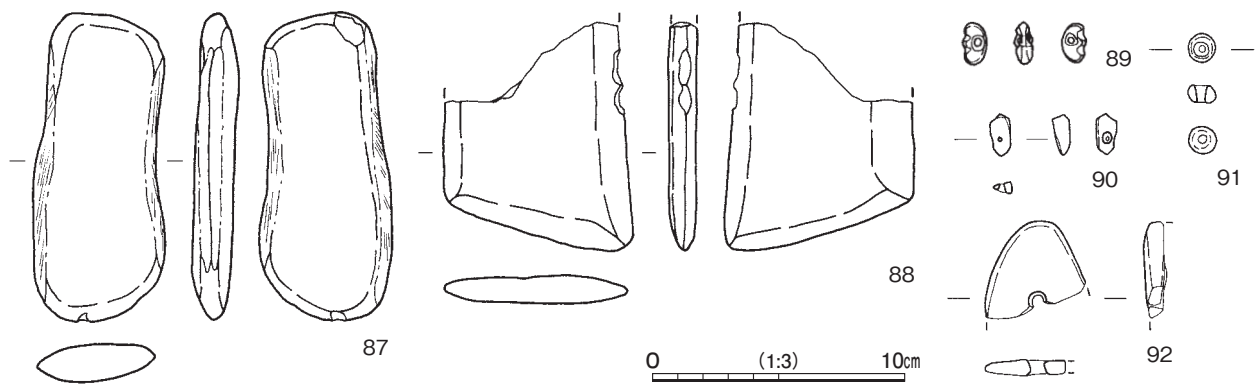
第 252 図 第 11 号斜面具層出土遺物実測図 (4)



第 253 图 第 11 号斜面貝層出土遺物実測図 (5)



第254図 第11号斜面具層出土遺物実測図(6)



第 255 图 第 11 号斜面貝層出土遺物実測图 (7)

%のほか、オオノガイ 40 点（最小個体数 19 点）、ゴイサギ 216 点（最小個体数 101 点）などの潮間帯から水深 50 m より浅い砂泥底に生息する貝種が他の貝層より多い傾向がみられる。また、本貝層については、5・3・1 mm の篩で回収したものを全て選別し、分類・集計しており、他の貝層より陸生微小貝類（オカチョウジガイ、キセルガイ、コハクガイ、ホソオカチョウジガイ）を多数確認することができた。

骨は、同定分析の結果、イノシシ 47 点（頭蓋骨 14、下顎骨 6、歯牙 11、頸椎 2、胸椎 1、肩甲骨 5、上腕骨 1、寛骨 2、脛骨 1、腓骨 1、足根骨 1、基節骨 1、末節骨 1）、ニホンジカ 81 点（角 17、頭蓋骨 10、下顎骨 11、歯牙 2、頸椎 5、胸椎 1、腰椎 6、肩甲骨 8、上腕骨 2、橈骨 3、尺骨 1、中手骨 2、寛骨 1、大腿骨 3、脛骨 1、距骨 1、足根骨 1、中足骨 3、基節骨 2、種子骨 1）のほか、哺乳綱（モグラ類、ネズミ亜科、ハタネズミ亜科、ネズミ科、アナグマ等）、鳥綱（不明）、魚綱（サメ・エイ類、ウナギ、ニシン亜科、ニシン科、ギンブナ、フナ属、コイ科、ドジョウ科、ナマズ目、サヨリ属、メバル亜科、フサカサゴ科^ホ、スズキ属、ブリ属^ホ、クロダイ属、マダイ亜科、タイ科、ハゼ科等）、両生綱（カエル類）、爬虫綱（ヘビ類）が検出されている。また、下顎骨の歯牙の萌出状況から、イノシシは 3 か月、2.5 歳以上、4.5 歳、5.5 歳各 1 個体の計 4 個体、ニホンジカは 1.5 歳、6.5 歳、7.5 歳、10 歳以上が各 1 個体、8 歳以上が 2 個体の計 6 個体のほか、乳臼歯が植立している 0.5～1.0 歳程度の下顎骨 2 点、前臼歯が未萌出状態の 2.0～2.5 歳の下顎骨 1 点があり、9 個体以上存在する可能性がある。

所見 汽水域に生息するヤマトシジミを主体とした主淡水貝層で、淡水性のウナギ属、フナ属、コイ科、ドジョウ科、ナマズ目などの魚骨も出土している。また、内湾性のハマグリやシオフキ、マツカサガイ、潮間帯から水深 50 m より浅い砂泥底に生息するオオノガイやゴイサギなどの貝種が、第 4・12 号斜面貝層より目立つ。河川の河口付近を主な採貝・漁労活動域としながら、海水域の一部まで広範囲に活動していたか、あるいは、より海水の影響を受けやすい環境であった可能性がある。時期は、出土土器から後期後葉（曾谷式～安行 1 式期）と考えられる。

第 219 表 第 11 号斜面貝層出土遺物一覧（第 249～255 図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	裏面貝殻条痕文	7 区下層	早期後葉
2	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	突起から延びる隆帯で区画された口縁部に沈線充填	拡張区 3 下層	PL93 加曾利 E I 式
3	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英	褐灰	普通	充填刺突文で J 字文施文	8 区貝層下層	PL93 称名寺 II 式
4	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	浅黄	普通	充填刺突文で J 字文施文	4 区貝層下層	称名寺 II 式
5	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	半截竹管状工具による縦位区画文と蛇行文	1 区貝層下層	中期後半 ^ホ
6	縄文土器	鉢	-	(4.5)	-	長石・石英	浅黄	普通	口縁部に円形刺突文の貼付文と隆帯による区画文・J 字状文 無文部・内面磨き	4 区貝層下層	称名寺式
7	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	外面 LR 縄文→口縁部山形状突起と紐線貼付 内面磨き 口縁部に沈線	1 区上層	後期前葉
8	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口唇部刻み 頸部無文 胴部 RL 縄文→横帯文→蛇行沈線による区切り文 内面磨き	4 区貝層下層	PL93 加曾利 B 2 式
9	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・雲母	橙	普通	口縁部に刻み列と突起 頸部磨き 内面磨き	4 区中層	加曾利 B 2～B 3 式
10	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部に刻み列と突起 頸部 RL 縄文帯 内面磨き	4 区中層	加曾利 B 2～B 3 式
11	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部に刻み列と波頂部に突起 頸部口縁に沿う RL 縄文帯 内面磨き	3 区貝層下層	加曾利 B 3 式
12	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・雲母	黒褐	普通	緩い波状口縁 口縁部に刻み列 頸部口縁に沿う RL 縄文帯 胴部 LR 充填の交互弧線文	4 区貝層下層	加曾利 B 3 式
13	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	緩い波状口縁 口縁部に 2 列の刻み列 頸部口縁に沿う RL 縄文帯 胴部 RL 充填の交互弧線文 ^ホ	拡張区 1 下層	加曾利 B 3 式～曾谷式
14	縄文土器	深鉢	-	(13.8)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口縁部 2 段の刻み列 + 縦瘤 頸部 RL 縄文帯 胴部 RL 充填の弧線文 内面磨き	4 区貝層下層	PL93 曾谷式
15	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部 2 段の RL 隆起帯縄文と縦瘤 頸部 RL 縄文帯 内面磨き	3 区上層	安行 1 式
16	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	口縁部 2 段の RL 隆起帯縄文と縦瘤 頸部 RL 縄文帯 内面磨き	4 区貝層下層	安行 1 式
17	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部 2 段の刻み列 + 縦瘤 刻み部分やや隆起 頸部 LR 充填の弧線文 内面磨き	8 区貝層下層	曾谷式
18	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石	黒褐	普通	波状口縁 4 段の RL 隆起帯縄文と縦瘤 内面磨き	7 区上層	PL93 安行 1 式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
19	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	赤灰	普通	波状口縁 2段のRL隆起帯縄文と縦瘤 内面磨き	1区貝層上層	安行1式
20	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部3段のRL隆起帯縄文 頸部隆起帯縄文と矢羽根状沈線文 屈曲部に押し引き状刺突列 胴部RL充填の弧線文	2区中層	PL94 安行1式
21	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい褐	普通	口縁部4段のRL縄文帯と縦瘤 胴部下半条線文 内面磨き	4区貝層下層	PL94 安行1式
22	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	赤褐	普通	瓢形 口縁部2段のRL隆起帯縄文と押し引き状刺突列 頸部RL充填の櫛状入り組み文 内面磨き	1区貝層下層・2区下層	PL94 安行1式
23	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	瓢形 口縁部2段のRL隆起帯縄文と押し引き状刺突列 頸部RL充填の櫛状入り組み文 内面磨き	6区上層	安行1式
24	縄文土器	深鉢	-	(12.1)	-	長石・石英	黄灰	普通	口縁部に横長瘤 口頸部にLR充填の稲妻状文と縦位の蛇行沈線文 内面ナデ	7区貝層上層	PL94 安行2式
25	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	条線→口縁部・頸部にRL縄文帯 内面一部磨き	8区貝層下層	安行2式
26	縄文土器	深鉢	-	(20.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	頸部RL充填の櫛状入り組み文 屈曲部2列の押し引き状刺突列 胴部RL充填の交互弧線文 内面粗い磨き	6区上層	20% 安行1式
27	縄文土器	深鉢	-	(16.0)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい橙	普通	頸部RL縄文帯 胴部屈曲部2条の押し引き状刺突列 胴部条線 内面ナデ	4区中層	20% 安行1式
28	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	瓢形口縁→頸部 2段のRL隆起帯縄文 頸部RL充填の櫛状入り組み文 内面粗い磨き	3区下層	10% 安行1式
29	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい赤褐	普通	頸部RL充填の櫛状入り組み文 胴部屈曲部2列の押し引き状刺突列 胴部RL充填の弧線文 内面粗い磨き	2区下層	10% 安行1式
30	縄文土器	深鉢	-	(12.1)	-	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	緩い波状口縁 口頸部に紐線文と沈線文 内面磨き 口縁部に凹線	8区貝層下層	PL94 後期中葉
31	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	地縄文LR→紐線貼付→半截竹管状工具による短沈線文・斜線文 内面磨き 口縁部に2条の凹線	4区下層	後期中葉
32	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口頸部横位→胴部縦位の条線→紐線貼付 内面磨き 口縁部に凹線	7区中層	10% PL94 後期後葉
33	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・雲母	明黄褐	普通	粗いLR地縄文→条線→口縁部紐線貼付 内面磨き	7区貝層下層	後期後葉
34	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・赤色粒子	黒褐	普通	外面横位の条線→口縁部紐線貼付→縦位区画・区画内磨き 内面粗い磨き 口縁部に凹線	4区中層	後期後葉
35	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口頸部矢羽根状の条線→口縁部紐線貼付 内面ナデ 口縁部に凹線	4区貝層下層	後期後葉
36	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	口頸部縦位の条線→紐線貼付 内面磨き	3区上層	10% 後期後葉
37	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	RL地縄文→条線→紐線貼付 内面ナデ	1区貝層上層	後期後葉
38	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	-	長石・雲母	黒褐	普通	LR地縄文→条線→紐線貼付 内面磨き	8区貝層下層	20% 後期後葉
39	縄文土器	深鉢	-	(16.1)	4.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面条線→紐線貼付 内面磨き	8区上層	20% 後期後葉～晩期前葉
40	縄文土器	深鉢	[21.5]	(13.1)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面格子目文→屈曲部沈線区画・区画内磨き 内面磨き	拡張区1下層	20% PL94 加曾利B3式
41	縄文土器	深鉢	-	(12.3)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面条線 屈曲部沈線区画・区画内磨き 内面磨き	1・4区貝層下層～下層	20% PL94 加曾利B3式～曾谷式
42	縄文土器	深鉢	-	(13.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面条線 内面磨き	3区貝層上層	後期後葉
43	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口唇部刻み 頸部横位の条線 内面磨き	2区上層	後期後葉
44	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	頸部横位の条線→体部屈曲部沈線・頸部に縦位の区画沈線 内面ナデ	1区貝層上層	曾谷式
45	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	褐灰	普通	頸部横位の条線→口縁部RL縄文帯 内面粗い磨き	2区上層	後期後葉
46	縄文土器	深鉢	-	(36.0)	4.6	長石・石英・雲母	橙	普通	RL縄文→条線 下半部縦位の磨き 内面粗い磨き 底部網代痕	2・3・6区上層～貝層上層	50% 後期後葉
47	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	外面LR縄文 内面ナデ	4区貝層下層	後期後葉
48	縄文土器	鉢	18.8	8.2	6.6	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	口縁部に3単位の瘤と縦位刻み 口縁部に2条の刻み隆帯 胴部条線 内面磨き	2区上層	90% PL95 安行2式
49	縄文土器	鉢	-	8.4	-	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	波状 口縁部・胴部屈曲部に刻み列 口頸部無文・磨き 胴部条線 内面磨き	4区貝層下層	曾谷～安行1式
50	縄文土器	鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口縁部2段のRL隆起帯縄文とノの字瘤 頸部RL隆起帯縄文 内面磨き	1区上層	PL94 安行1式
51	縄文土器	鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口縁部に2条の沈線 頸部RL充填の交互弧線文 無文部磨き 内面ナデ	4区貝層下層	曾谷式
52	縄文土器	鉢	[13.4]	(6.5)	-	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	口縁部に2条の沈線 外・内面磨き	8区貝層下層～下層	30% PL94 曾谷～安行1式
53	縄文土器	浅鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部に2瘤の突起と突起からノの字状隆帯 口唇部に刻み 頸部削り 内面磨き 突起部分にノの字状沈線文	8区貝層下層	後期中葉
54	縄文土器	浅鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口縁部磨き 胴部削り 内面磨き	2区下層	後期中葉
55	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	波状口縁 LR地縄文→斜線文 内面粗い磨き	3区下層	後期前～中葉
56	縄文土器	注口土器	-	(8.1)	-	長石・雲母	にぶい黄褐	普通	把手部 隆帯による弧状文 磨き調整	拡張区1中層	PL94 後期中葉
57	縄文土器	異形台付土器	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐	普通	口縁突起部 窩文連携沈線施文の隆帯4単位・透かし孔4孔の方形	拡張区1上層	PL94 後期前葉
58	縄文土器	ミニチュア土器	[5.9]	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	頸部無節L充填縄文帯 胴部磨き 内面粗い磨き	3区貝層上層	40% 後期中～後葉
59	縄文土器	ミニチュア土器	6.1	3.3	6.0	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	指頭による整形	8区貝層下層	50%
60	縄文土器	ミニチュア土器	[3.4]	3.2	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	指頭による整形	2区上層	80%
61	縄文土器	製塩土器	[19.6]	21.0	3.0	長石・石英	灰褐	普通	口唇部内削ぎ状 外面縦位の削り 内面ナデ 粗い縦位の磨き	1区貝層下層	80% PL95
62	縄文土器	製塩土器	-	(9.6)	-	長石	にぶい褐	普通	口唇部内削ぎ状 外面口縁部剥離 縦位の削り 内面ナデ	2区上層	PL94
63	縄文土器	製塩土器	-	(8.3)	-	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	口唇～口縁部未調整 外面削り 内面ナデ	2区上層	PL94
64	縄文土器	製塩土器	-	(7.1)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口唇部未調整 外面削り 内面ナデ	2区上層	
65	縄文土器	製塩土器	-	(6.4)	-	長石・石英	橙	普通	口唇～口縁部未調整 外面剥離 内面ナデ	2区上層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
66	耳栓	2.2	2.2	1.4	(6.5)	長石・石英	にぶい黄橙	鼓状 外面磨き	5区下層	
67	耳栓	1.4	1.5	1.5	2.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	鼓状 外面磨き	2区下層	PL95
68	耳栓	1.5	1.5	0.9	1.3	長石・石英	にぶい黄橙	鼓状 外面磨き 赤彩	4区具層上層	PL95
69	垂飾	(2.6)	(2.5)	0.9	(3.0)	長石・石英	にぶい橙	円孔2か所 ナデ	7区具層下層	
70	土偶	(5.6)	5.5	(2.3)	(42.8)	長石・雲母	橙	山形 眉・鼻・頸・正中線・胸は隆帯 胸部正面横位沈線と細かい刺突文 背面頭部沈線と刺突で弧線文	7区具層下層	PL95
71	土偶	(3.0)	(3.7)	(1.7)	(16.3)	長石・赤色粒子	黄灰	ミミズク形 目・口・輪郭を隆帯表現	1区具層上層	
72	土偶	(4.4)	(7.0)	3.0	(62.8)	長石・石英・雲母	灰褐	山形 肩～胴部 正中線刺突施文の隆帯 胴部沈線と刺突で横帯区画	3区下層	PL95
73	土偶	(4.0)	(4.9)	(4.1)	(48.6)	長石・赤色粒子	黒褐	ミミズク形 左肩～胸部 細かい刺突を充填する沈線で区画 肩から胸にRL隆起帯縄文 背面RL縄文 赤彩	3区上層	
74	土鍾	3.8	2.5	1.8	16.6	長石・石英	にぶい褐	側面に一条の溝が巡る 短軸方向に穿孔	2区上層	
75	土器片円盤	3.2	2.9	0.8	8.3	長石・石英	黒褐	瘤付土器胴部片利用 周縁打ち欠き 赤彩	3区上層	PL95
76	土器片円盤	5.7	5.5	1.3	39.5	長石・石英・赤色粒子	褐灰	粗製土器深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	2区下層	
77	土器片円盤	5.4	4.6	0.9	24.9	長石・雲母	にぶい褐	加曾利B2～3式深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	3区下層	
78	土器片円盤	6.0	6.3	1.0	35.9	長石・石英・雲母	橙	粗製土器深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	8区具層下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
79	尖頭器	4.7	1.9	0.9	7.0	チャート	木葉形 両面・両側縁から深形調整	2区具層上層	PL95
80	石鏃	3.1	1.6	0.6	1.8	チャート	凸基有茎鏃 両面押圧剥離	3区具層上層	PL95
81	石鏃	(2.5)	2.0	0.5	(1.6)	チャート	先端部欠損 凸基有茎鏃 両面押圧剥離	2区上層	
82	石鏃	(2.2)	1.3	0.5	(1.0)	チャート	基部欠損 平基有茎鏃 両面押圧剥離	7区具層上層	
83	石鏃	1.6	1.0	0.4	0.5	チャート	凸基有茎鏃 両面押圧剥離	拡張区2具層下層	
84	磨石	8.7	6.8	2.1	156.2	砂岩	表裏面光沢のある磨り面 側面ざらつきのある摩耗痕	5区具層下層	
85	石鍾	5.7	3.2	1.3	33.1	安山岩	礫石鍾 長軸側上下打ち欠き 被熱	拡張区2具層下層	PL95
86	石鍾	7.5	6.5	2.7	135.9	安山岩	礫石鍾 長・短軸に打ち欠き	拡張区2具層下層	PL95
87	砥石	12.2	5.3	1.9	143.5	砂岩	長軸側両側縁部が刃部状に摩耗	8区具層下層	PL95
88	砥石	(9.1)	7.7	1.1	(76.5)	砂岩	両側縁と下端部が刃部状に摩耗 被熱	8区具層下層	PL95
89	勾玉	1.1	0.7	0.5	0.4	翡翠	弦側に刻み2か所 片面穿孔	8区具層上層	PL95
90	小玉	(1.1)	(0.6)	0.5	(0.2)	翡翠	研磨調整 一方向からの穿孔	拡張区1具層下層	
91	小玉	0.7	0.7	0.5	0.3	翡翠	全面研磨 一方向からの穿孔	拡張区2具層下層	
92	垂飾	(2.6)	(2.6)	(0.6)	(3.1)	砂岩	研磨調整 片面剥離 二方向からの穿孔	6区下層	
93	刺突具	6.6	1.2	0.9	4.2	獣類四肢骨	研磨整形	3区具層下層	PL96
94	牙鏃	(1.4)	1.4	0.3	(0.6)	イノシシ歯	先端部欠損 研磨整形 一方向からの穿孔	5区具層下層	
95	弓弭	3.1	1.9	1.5	(4.4)	鹿角	研磨整形	2区上層	PL96
96	弓弭	2.7	1.8	(1.5)	(4.0)	鹿角	研磨整形	確認面	PL96
97	弓弭	1.9	1.7	1.4	2.7	鹿角	研磨整形	4区具層下層	PL96
98	垂飾	1.9	0.6	0.5	0.5	イヌ歯	研磨整形 一方向からの穿孔	3区上層	
99	垂飾	(2.1)	(1.6)	(0.8)	(1.1)	獣骨	二方向からの穿孔 研磨整形	2区下層	PL96
100	垂飾	1.5	0.8	0.7	0.4	獣骨	二方向からの穿孔 研磨整形	x	
101	装身具	(3.1)	(1.5)	(1.1)	(3.0)	獣骨	研磨整形	8区具層下層	
102	不明骨製品	(1.5)	0.6	0.7	(0.5)	獣骨	管カ 研磨整形	拡張区1中層	
103	貝刃	5.9	4.9	2.0	10.7	ハマグリ	腹縁部に連続する剥離痕	7区下層	
104	貝刃	4.8	3.8	1.2	7.0	ハマグリ	腹縁部に連続する剥離痕	2区具層上層	
105	小玉	1.1	1.2	0.2	0.3	腹足綱	研磨整形	拡張区1中層	
106	小玉	0.5	0.5	0.2	0.05	サルボウ属	一方向からの穿孔 研磨整形	6区下層	
107	貝輪	6.9	6.7	1.6	28.5	サルボウ属	未成品 研磨整形	3区下層	PL96
108	貝輪	(6.5)	(5.4)	0.8	(6.9)	サルボウ属	未成品 研磨整形	2区上層	PL96
109	貝輪	(5.4)	(3.1)	1.0	(5.1)	サルボウ属	未成品 研磨整形	2区上層	
110	貝輪	(4.4)	(4.8)	(0.8)	(3.9)	サルボウ属	未成品 研磨整形	2区上層	
111	貝輪	(3.8)	(3.7)	(1.3)	(6.5)	サルボウ属	未成品 研磨整形	1区具層上層	
112	貝輪	(3.5)	(3.4)	0.9	(2.5)	サルボウ属	未成品 研磨整形	4区具層下層	

第 220 表 第 11 号斜面貝層出土貝殻集計表

腹 足 綱	点 数				重 量 (g)					備 考
アカニシ	118				2,892.0					
アラムシロガイ	316				63.9					
アワビ	2				25.5					
イブキゴマガイ	181				5.5					
イボニシ	18				8.2					
ウミニナ	475				214.1					
ウラジロベッコウマイマイ	94				3.4					
オオタニシ	18				37.8					
オカチョウジガイ	5,996				79.2					
カノコガイ	154				32.0					
カワアイ	81				33.8					
カワザンシヨウガイ	113				6.2					
カワニナ	80				13.6					
キサゴ	26				13.4					
キセルガイ	5,818				106.5					
キビガイ	105				6.6					
コハクガイ	1,310				25.9					
スガイ	7				1.4					
スジケシガイ	71				1.6					
タマキビガイ	19				0.2					
チャツボガイ	44				2.1					
チリメンカワニナ	183				108.8					
ツノガイ	6				1.0					
ツメタガイ	5				30.3					
ヒダリマキマイマイ	7				6.6					
ヒロクチカノコガイ	25				8.2					
ヘナタリ	2				0.7					
ホソオカチョウジガイ	2,054				25.7					
マイマイ類	68				5.0					
ムギガイ	34				3.1					
ヤマグルマガイ	964				43.6					
ヤマタニシ	61				21.7					
小 計	18,455				3,827.6					
二 枚 貝 綱	左 殻	右 殻	左右不明	合 計	左 殻	右 殻	左右不明	破 片	合 計	備 考
アサリ	9	22	1	32	8.5	34.5	1.8	-	44.8	
イシガイ	5	2	4	11	9.1	11.6	3.2	105.0	128.9	
イタボガキ	-	-	2	2	-	-	85.1	-	85.1	
ウバガイ	-	1	1	2	-	12.0	3.4	12.7	28.1	
オオノガイ	16	19	5	40	32.6	42.4	49.6	110.6	235.2	
オキシジミ	281	280	19	580	765.8	694.2	28.8	38.7	1,527.5	
ゴイサギ	101	86	29	216	307.3	268.2	32.7	328.6	936.8	
サルボウ	140	140	22	302	430.0	390.1	95.4	84.3	999.8	
シオフキ	720	678	43	1,441	1,247.3	1,268.1	33.8	106.1	2,655.3	
チョウセンハマグリ	1	2	-	3	8.1	11.9	-	49.4	69.4	
ハイガイ	6	4	-	10	23.9	21.3	-	-	59.7	
ハマグリ	7,238	6,961	485	14,684	15,592.7	14,874.5	305.7	1,705.4	32,478.3	
マガキ	-	-	-	-	-	-	-	11.3	11.3	破片のみ
マツカサガイ	318	253	186	757	401.8	326.1	153.0	597.7	1,478.6	
ヤマトシジミ	97,515	101,942	19,103	218,560	102,298.7	104,937.0	8,160.3	4,819.9	220,215.9	
小 計	106,350	110,390	19,900	236,640	121,140.3	122,891.9	8,952.8	7,969.7	260,954.7	
総 合 計	255,095				264,782.3					

第12号斜面貝層（第256～279図 第221～224表 PL38～42・96～102）

位置 調査K区のF3j7～G4b9区，標高21.8～23.5mの台地斜面部に位置し，南側の東西方向に延びる谷に向かって緩やかに傾斜している。

確認状況 北部は表土を除去した段階で貝層が露出し，南部は谷の覆土である黒色土層（第5号遺物包含層第Ⅰ～Ⅲ層）に覆われている。また，東側には第4号斜面貝層が，西側には第18号竪穴建物跡が近接している。

重複関係 第1308・1310・1311号土坑，第5号遺物包含層の第Ⅳ層の上部に形成されている。また，本貝層の上部には，第5号遺物包含層の第Ⅰ～Ⅲ層が堆積しており，第1217号土坑に掘り込まれている。

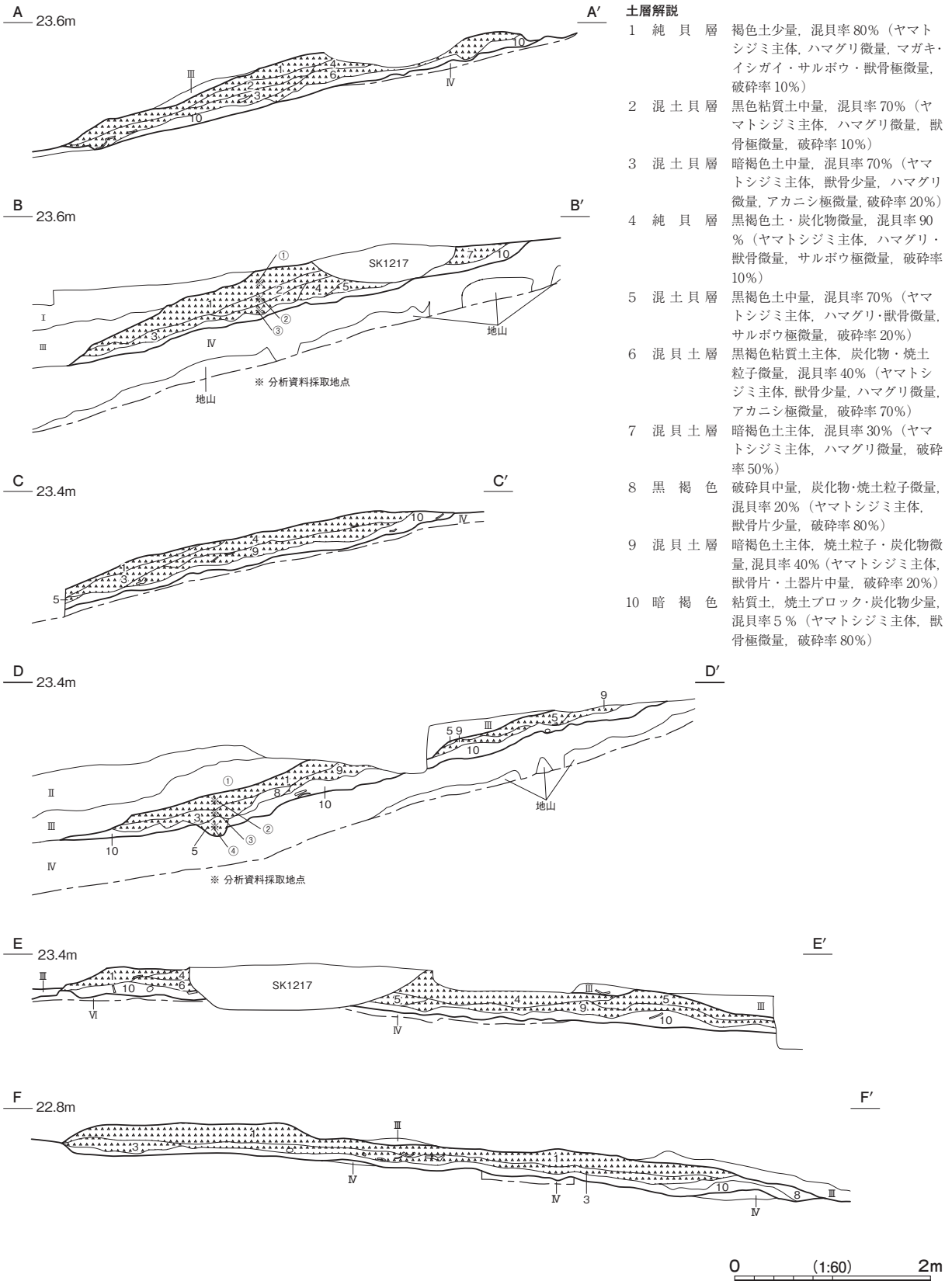
調査方法 第4号斜面貝層参照。

分布範囲 東西9.7m，南北6.2mで，等高線に沿って不整形に広がっている。貝層確認面の標高は21.9～23.5mで，比高差は1.6mであり，傾斜角は14～20度である。貝層除去面の標高は21.8～23.4mで，比高差は1.6mであり，傾斜角は12～14度である。

堆積状況 10層に分層でき，純貝層上層（1層），混土貝層（2層），純貝層下層（3～5層），混貝土層下層（6～9層），下層（10層）の5層に大別できる。純貝層上層は混貝率80%で，南半部のKC5-1～KC7-3区，貝層の中位から下位にかけての表層を覆っている。最大層厚は22cmである。混土貝層は，混貝率70%で，黒色粘質土が中量含まれている。中央部南西寄りのKC5-2区周辺に広がっており，最大層厚は10cmである。純貝層下層は，混貝率90%の4層を主体とし，KB5-4～KC7-3区の末端部を除くほぼ全域に広がっている。最大層厚は28cmである。混貝土層は，混貝率30～40%の黒褐～暗褐色土で，他層より土器片や獣骨片が多く含まれている。貝層中位の帯状の範囲に広がっており，最大層厚は13cmである。なお，KC5-2-⑫区の1・2・3層（＝分析①・②・③層）及びKC6-4-④区の第5号遺物包含層第Ⅲ-3層・1・3・5層（分析＝①・②・③・④層）から試料を採取し，微細物分析を実施した（「第3章第4節 自然科学分析 4」参照）。

遺物出土状況 縄文土器片20,880点（338,367g），土製品74点（勾玉1，土玉4，手燭形土製品1，土偶15，土版2，耳飾り2，耳栓1，土器片円盤48），石器・石製品46点（尖頭器1，石鏃12，打製石斧1，石皿1，磨石15，敲石1，凹石2，砥石8，垂飾1，石棒3，石剣1），骨角製品11点（刺突具2，骨鏃1，牙鏃1，小玉1，垂飾1，簪4，不明1），貝製品30点（貝刃4，小玉2，管玉1，垂飾1，貝輪22），貝殻1,143,481点（2,093,370.8g），骨31,774.2g，炭化種子（オニグルミ，クリ，トチノキ，ムクロジ）が出土している。

土器類は，中期後半～晩期前葉のものが出土しており，時期的なまとまりは，中期後葉0.3%，後期初頭1.5%，後期前葉12.1%，後期中葉11.2%，後期後葉23.1%，晩期前葉51.8%である。各時期の土器が一定量出土しているが，中期後半～後期後葉のものは主に下層から出土しており，下位の第5号遺物包含層第Ⅳ層から混入したものと考えられる。純貝層や混土貝層から出土している土器は，晩期前葉が主体で安行3a式と安行3b式・姥山Ⅱ式のものがほぼ同じ割合を占めている。ほとんどが小破片で，散在した状態で出土しており，混貝土層からの出土量が多い。残存率が高い土器は，後期中葉の深鉢（4・9）がKB6-4-⑩区の下層を中心に出土している以外は，晩期前葉の浅鉢（98・102・104・105・107），異形台付土器（114），ミニチュア土器（118）などの小型の器種に限られ，接合関係は少ない。土製品は，山形・ミミズク形土偶や滑車型の耳飾りがいずれも破片の状態出土しているほか，勾玉や土玉，耳栓などの装身具類が出土している。石器・石製品では，石斧や磨石・石皿類，石剣・石棒類は少ないものの，貝輪製作で使用されたと考えられる有溝の砥石が一定量含まれている。骨角製品では，獣類四肢骨を使用した簪や刺突具，牙鏃，貝製品ではハマグリ製の貝刃やサルボウ属製の貝輪や小玉が出土しており，特に貝輪は未成品が多く出土している。これらの出土状況は，土器類と同様に下位の層準からの出土量が多い傾向があり，平面的な分布にまとまりは認められなかった。



第 256 図 第 12 号斜面貝層実測図 (1)

第 221 表 第 12 号斜面貝層グリッド・土層対照表

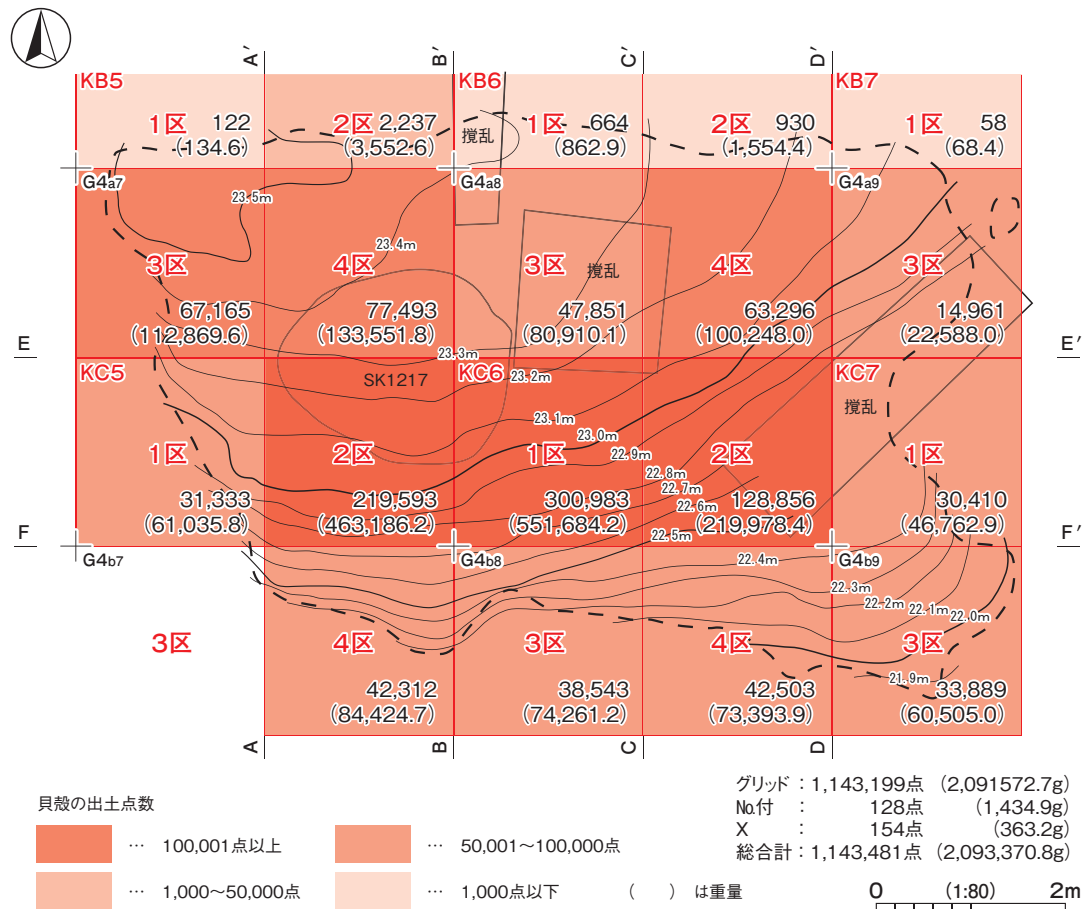
KB 5																																		
層位	1 区																2 区																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
1x																10													10	6	10	10		
2x													10	10	10	10													10	10	10	10		
3x																												10	10					
4x																													10					
KB 6																																		
層位	1 区																2 区																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
1x																7	7	10											10			10		
2x																10	10	10														10		
3x																10	10												10			10		
4x																																10		
KB 7																																		
層位	1 区																3 区																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
1x																10																		
2x																10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
3x																10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
4x																10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
KC 5																																		
層位	1 区																2 区																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
1x			1	1			1	1			1	1				1	1					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
2x			1	1			1				1					1	1	2・4				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
3x		1	2・3・4	2・4			2・3	2				2			1			3・6				2	2	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	2
4x			6	3・6			6	3				3	3			3	6					2	3	3	2	2	3	2	2	2	3	3	3	3
5x			10	6			10	3				10	3			10	10					4・5	3	3	3	3・4	3	3	3	2	3	3	3	3
6x			10	10	10			10	6			10	10			10	10					4・5	6	6	3	3・4	10	3	3	3	10	10	10	10
7x				10				10				10										10	10	10	10	10	10	10	10	3	10	10	10	10
8x																											10		10		10			
KC 5 (continued)																																		
層位	3 区																4 区																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		
1x																1	1	1	1				1	1	1									
2x				1													1	1	1	1			3	3	3									
3x																3	3	1	1					10	3									
4x																3	3	3	1						10									
5x																3	3	3	3				10		10									
6x																10	10	10	3															
7x																	10								10									
8x																																		

KC6																																	
階	1区								2区																								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
1x	4	4	4	4	1・2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	5	5		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
2x	4	4	4	4	1・2	1・2	1・2	1・3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	5	5	5	1・3	3	4	1	1	1	1	1	1	1	1	
3x	4	4	4	4	2・4	2・4	3	3	1	1	3	3	1	1	3	3	4	5	9	9	3	4	4	9	3	3	3	9	3	1	1	1	
4x	4	4	4	4	2・4	3・4	3・4	3・4	2	2	3	3	1・2	3	3	3	9	9	9	9	4	4	9	9	3	3	9	9	3	3	3	3	3
5x	5	5	9	9	4・5	4	4	4	2	3	3・9	3・9	3・9	3	3	3・5	9	9	10		9	9	9	10	3	9	9	10	3	5	3	3	3
6x	5・9	9	9	9	4・5	5	5	9	3	3・9	3・9	3・9	3・9	3	3	10	9	10	10	10	9	9	10	10	9	9	10	10	10	10	10	10	10
7x	5・9	9	9	9	5	5・9	9	9	3	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
8x	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10			10	10			10	10			10	10	10	10	10
9x	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10																	
KC7																																	
階	1区								3区																								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
1x					1				1	1			1	1			1	1	8	8	1	1	1	8	9	1	8	8	10	10			
2x					1	9	10		1	1	1		1	1	8		1	8	8	8	1	3	8	8	3	10	10			10			
3x					9	9	10		9	9	9		1	1	8		1	8	8	8	3	8	10	10	10	10	10						
4x					9	10	10		9	9	9		8・9	8	10		3・8	10	10	10	3	10	10	10	10								
5x	10	10	10	10	10	10		10	10	10		10	8・9	8	10	10	3・8	10	10	10	5・10	10	10										
6x					10	10			10	10	10	10	8・9	10	10	10	3・8	10	10	10													
7x									10	10	10		10	10	10		5・10	10	10														
8x													10	10			10																
9x													10	10																			

...純貝層上層
 ...混土貝層
 ...純貝層下層
 ...混貝土層
 ...下層
 ...掘り込みなし

貝殻は49種が確認できた。主な貝種は、汽水性のヤマトシジミが1,111,801点（最小個体数537,943点）で97.2%，次いで内湾性のハマグリが24,441点（最小個体数12,154点）で2.1%，マツカサガイが3,021点（最小個体数1,313点）で0.3%，シオフキが2,035点（最小個体数1,015点）で0.2%などである。また、混土貝層（2層）から陸生微小貝が多く出土する傾向がみられ、地表面となっていた時期が他の層準より長かった可能性がある。

骨は、同定分析の結果、イノシシ157点（頭蓋骨25，下顎骨37，歯牙1，頸椎7，胸椎6，腰椎5，肩甲骨8，上腕骨15，橈骨6，尺骨4，中手骨3，寛骨4，大腿骨4，脛骨18，距骨2，踵骨4，足根骨1，中手骨／中足骨2，基節骨1，中節骨4），ニホンジカ163点（角3，頭蓋骨3，下顎骨15，頸椎8，胸椎2，腰椎20，肩甲骨6，上腕骨13，橈骨15，中手骨14，寛骨4，大腿骨10，脛骨22，距骨11，踵骨3，中足骨6，基節骨5，中節骨3），イヌ3点（上腕骨，踵骨，基節骨），ネズミ類1点（上腕骨）のほか、魚綱（ウナギ属，コイ科，サヨリ属，メバル亜科，クロダイ属，タイ科，ハゼ科），両生綱（カエル類），爬虫綱が検出されている。また、イノシシは、左下顎骨の検出個体数から最小個体数が9個体で、左右の下顎骨の歯牙の萌出状況から0.5～6.5歳以上のものが見られ、1.5歳以下の幼若獣が多く含まれている。性別は雌雄それぞれ2個体が確認できた。ニホンジカは肩甲骨の検出個体数から最小個体数が4個体で、下顎骨の歯牙の萌出状況から1.5歳，2.0歳，3.5歳，7.5歳，8.5歳以上のものが見られ、性別は雄1個体（8.5歳以上）と雌3個体が確認できた。

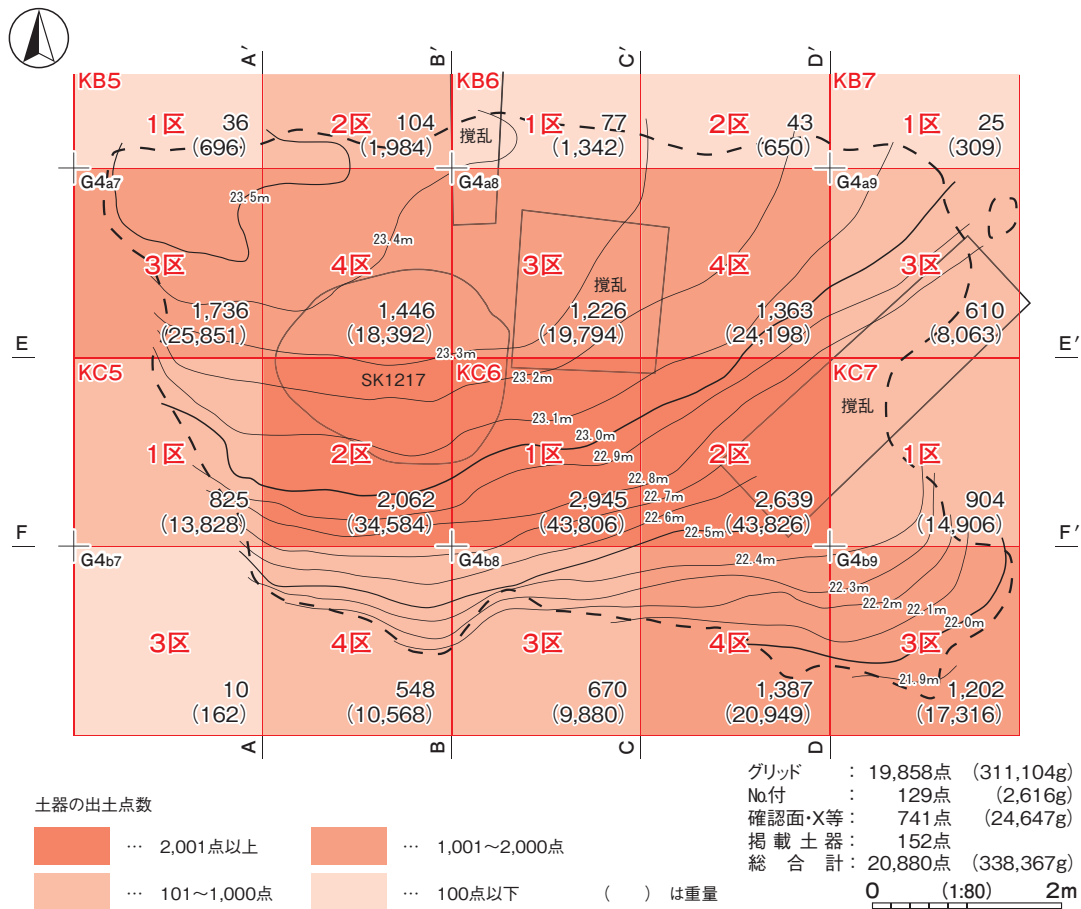


第 257 図 第 12 号斜面貝層実測図 (2)

所見 汽水域に生息するヤマトシジミを主体とした主淡貝層で、同域に生息するウナギ属、コイ科の魚骨も出土していることから、主に河川の河口付近で採貝・漁労活動が行われたとみられる。また、有溝の砥石やサルボウ属を使用した貝輪の未成品や小玉が出土しており、当遺跡における貝製装身具の製作を示唆している。近接する遺構との新旧関係については、本貝層が第 5 号遺物包含層第 IV 層の上部に堆積している一方、東側の第 4 号斜面貝層が下位に第 III 層と同質の黒褐色土を挟んでいることから、本貝層が先行していると判断した。また、西側の第 18 号竪穴建物跡は覆土中に貝殻が含まれておらず、建物跡の廃絶・埋没後に本貝層が形成されたと考えられる。時期は、遺構の新旧関係と出土土器から晩期前葉(安行 3 a 式~安行 3 b 式期)と考えられる。

第 222 表 第 12 号斜面貝層出土未掲載土器集計表

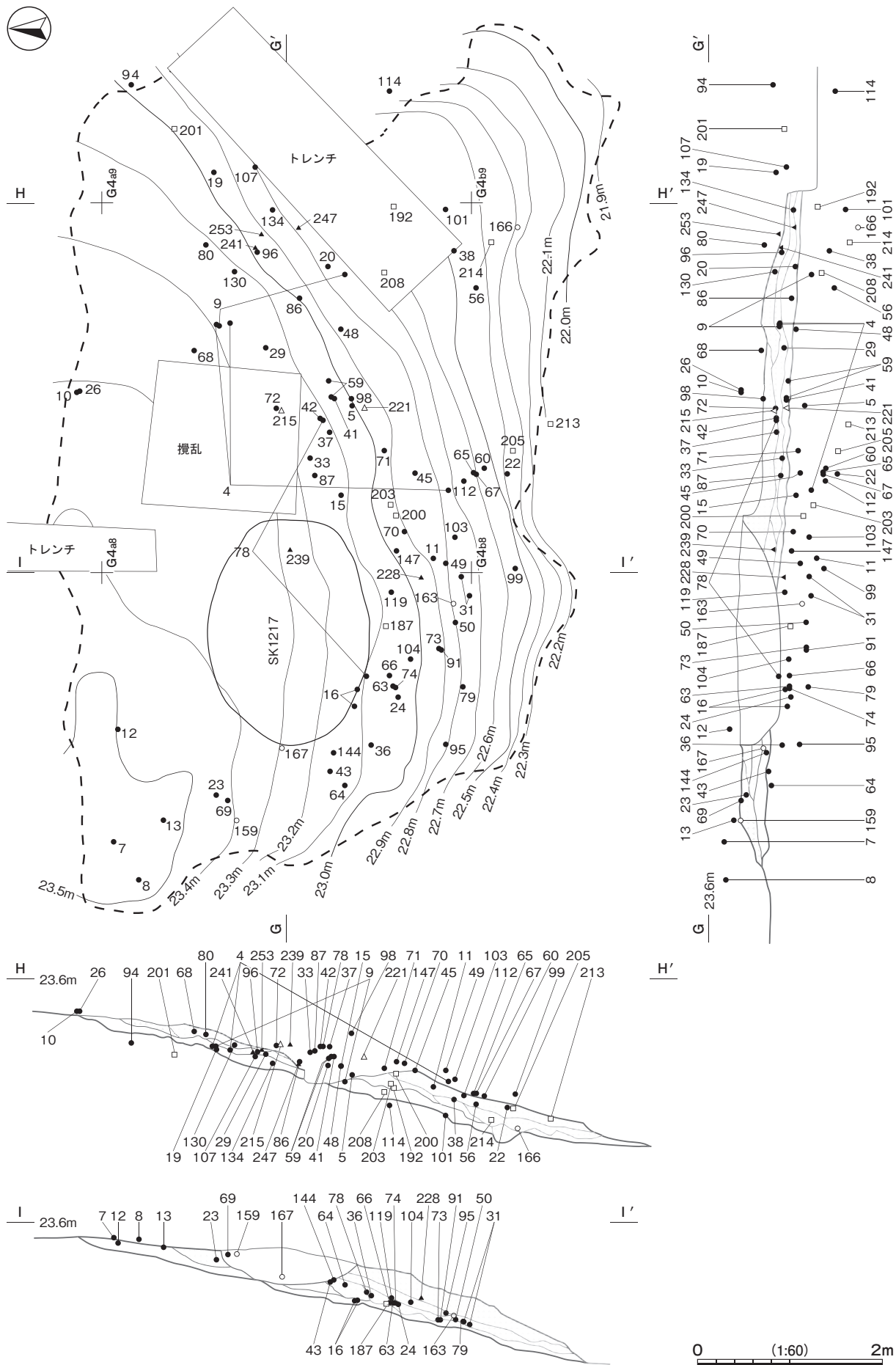
群 類	第 2 群		第 3 群		第 4 群		第 5 群				第 6 群		第 7 群				第 8 群			
	中期 後半	称名寺 I 式	称名寺 II 式	堀之内 I 式	堀之内 II 式	加曾利 B 1 式	加曾利 B 2 式	加曾利 B 3 式	後期 中葉	曾谷式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	安行 3 b 式	姥山 II 式	安行 3 c 式	晩期 具類土器			
点数	2	1	9	54	29	19	23	16	17	15	53	86	146	48	108	7	37			
重量 (g)	58	45	229	1,583	729	429	539	1,127	570	643	2,347	2,622	4,271	1,215	1,593	267	516			
群 類	第 9 群							第 10 群			第 11 群				第 12 群	第 13 群	合 計			
	沈線文	刺突文	磨消文	隆起帯 縄文	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢	鉢	台付鉢	注口土器		その他	製塩土器	細片不明
点数	411	270	1,134	615	339	727	97	4,540	2,335	7,282	159	213	75	17	3	20	10	1,811	-	20,728
重量 (g)	6,759	4,567	16,543	11,003	8,473	16,019	3,598	70,929	33,178	85,910	9,865	8,857	4,110	424	156	371	244	13,347	25,231	338,367



第 258 図 第 12 号斜面具層実測図 (3)

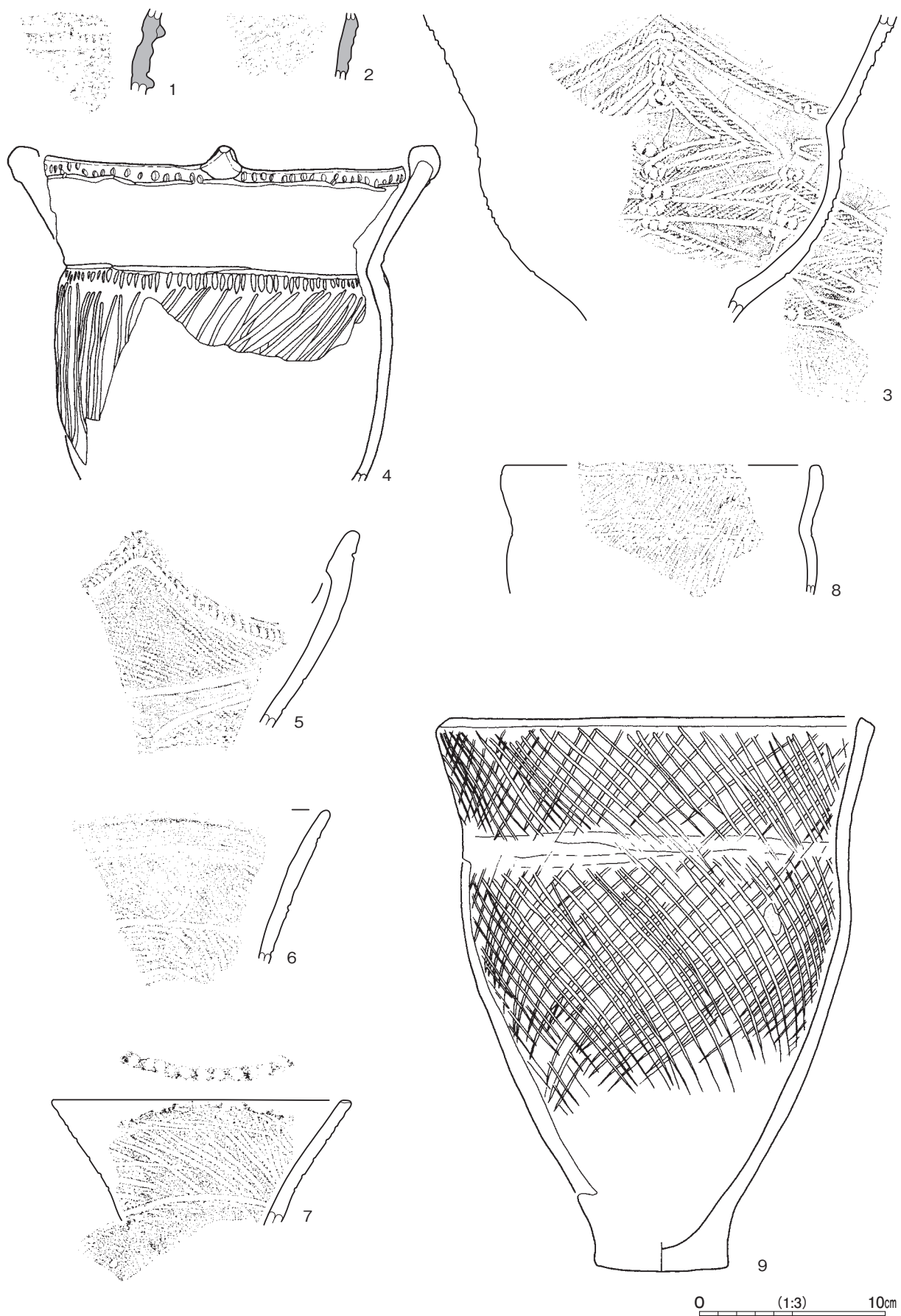
第 223 表 第 12 号斜面具層出土遺物一覧 (第 260 ~ 279 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・繊維	橙	普通	外面瘤貼付→刺突文 内面ナデ	KC6-2-9区下層	関山式
2	縄文土器	深鉢	-	(3.6)	-	長石・石英・繊維	にぶい黄橙	普通	外面縄文L 内面ナデ	KB6-3-3区下層	黒浜式
3	縄文土器	深鉢	-	(16.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面平行沈線→起点部対弧文→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-12区下層 純貝層下層	20% PL97 加曽利B 2式
4	縄文土器	深鉢	[22.1]	(18.1)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面条線→沈線→刻み 内面ナデ	KB6-4-10区下層 KC6-1-14区純貝層上層	50% PL96 加曽利B 3式
5	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英	橙	普通	外面沈線→縄文RL→刻み→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-8区下層 混貝土層	加曽利B 3式
6	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英	褐灰	普通	外面縦位の縄文LR→沈線 内面ナデ	KC6-2-2区下層	加曽利B 2式
7	縄文土器	深鉢	[16.2]	(6.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口唇部刻み 外面条線→沈線 内面磨き	KB5-3-3区下層	加曽利B 2式
8	縄文土器	深鉢	[16.9]	(7.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面沈線→条線 内面沈線→磨き	KB5-3-2区下層	曾谷式
9	縄文土器	深鉢	23.5	29.9	7.0	長石・石英	橙	普通	外面格子状の条線→頸部ナデ 内面ナデ	KB6-4-10区下層 KC6-2-7区下層	70% PL96 加曽利B 3式
10	縄文土器	深鉢	-	(18.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面縦位の縄文LR→条線→紐線貼付 内面磨き→ 口縁部沈線	KB6-1-16区下層	10% PL97 後期中葉
11	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面縦位の縄文LR→紐線貼付 内面磨き→口縁部 2条の沈線	KC6-1-13区下層 純貝層上層	後期中葉
12	縄文土器	鉢	-	(10.7)	[4.3]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	胴部ソロバン玉状 外面沈線→縄文RL→刺突文→ 瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KB5-4-1区下層	60% PL96 加曽利B 3式
13	縄文土器	台付鉢	-	(6.9)	11.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KB5-3-7区下層	30% 後期中葉
14	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面刻み→瘤貼付 内面磨き	KC6-2-5区下層 混貝土層	曾谷式
15	縄文土器	深鉢	[23.0]	(12.7)	-	長石・石英・雲母・針状物質	褐灰	普通	外面沈線→縄文RL→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-6区下層 混貝土層	10% PL97 曾谷式
16	縄文土器	深鉢	-	(16.8)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	有孔 外面条線→瘤貼付→隆起帯脇沈線→縄文 RL→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-6区下層	15% PL98 安行1式
17	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面羽状条線→刻み→瘤貼付→隆起帯脇沈線→ 縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC6-2-6区下層	20% PL97 安行1式
18	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	外面瘤貼付→隆起帯脇沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-2区下層 純貝層下層	安行1式
19	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KB7-3-9区下層	安行1式

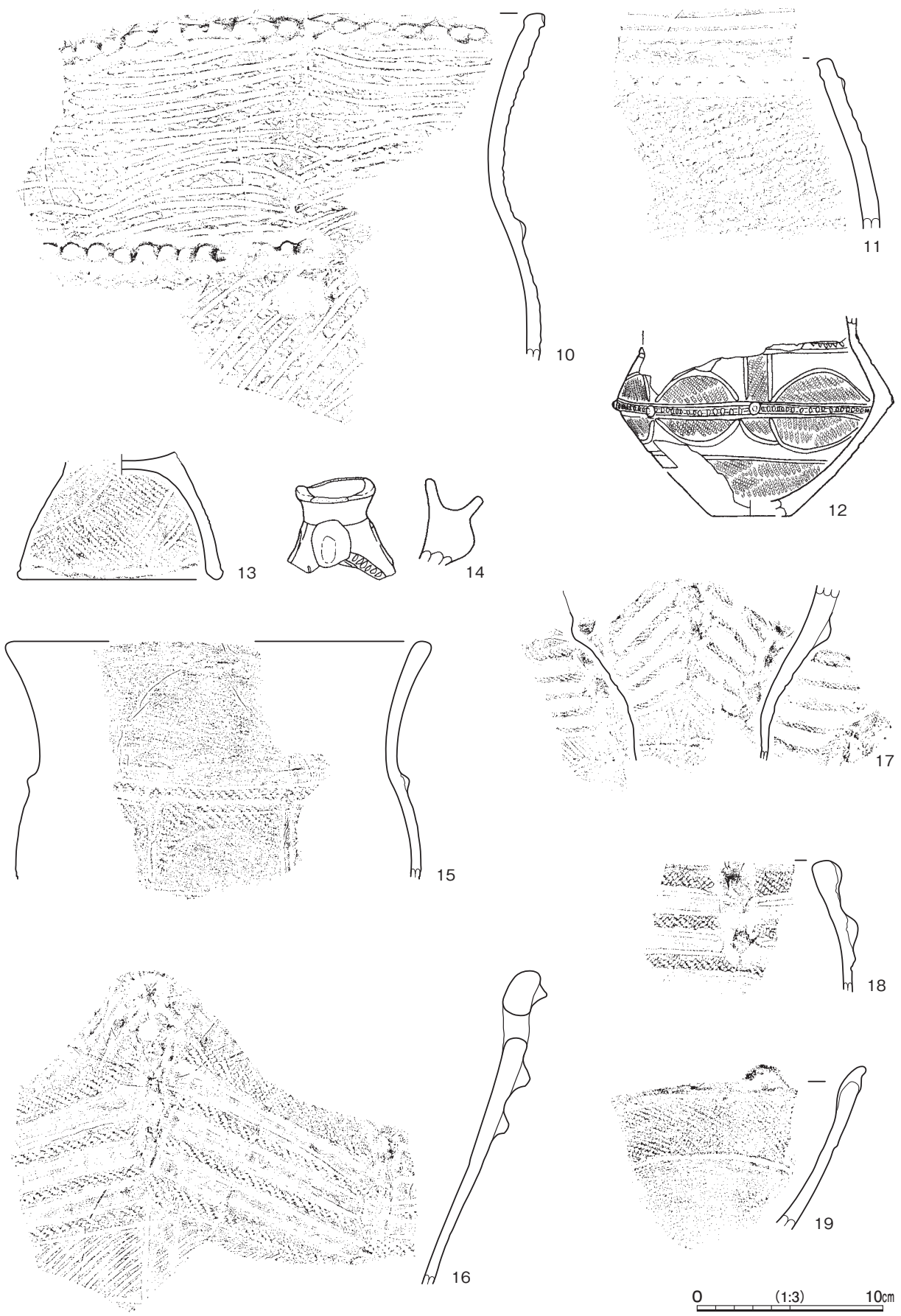


第259図 第12号斜面貝層実測図(4)

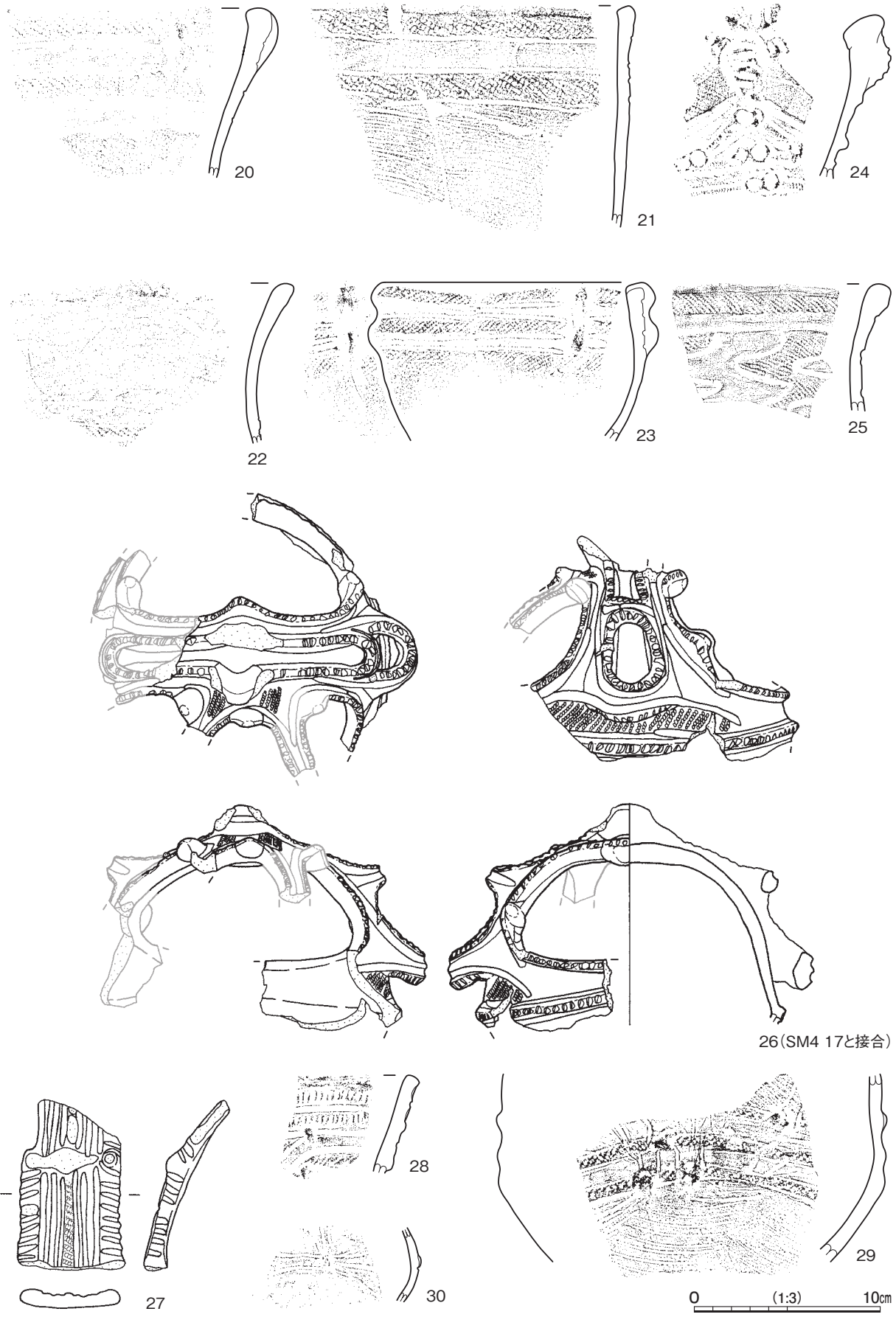
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
20	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英	褐	普通	外面瘤貼付→隆起帯脇沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC6-2-3区 混貝土層	PL97 安行1式
21	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外面条線→沈線→縄文RL→無文部磨き 内面ナデ	KC6-1-9区 下層	15% PL98 安行1式
22	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC6-3-3区 純貝層上層	安行1式
23	縄文土器	深鉢	[14.0]	(8.5)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	明赤褐	普通	外面瘤貼付→隆起帯脇沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KB5-3-12区 混貝土層	15% 安行1式
24	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文RL→刻み→瘤貼付→無文 部磨き 内面磨き	KC5-2-10区 純貝層下層	PL98 安行2式
25	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KB6-4-15区 下層	PL98 安行 2式
26	縄文土器	釣手土器	[16.6]	(12.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面隆帯脇沈線→刻み→縄文LR→無文部磨き 内面磨き SM 4 17と接合	KB6-1-16区 下層	40% PL96 曾谷式
27	縄文土器	釣手土器	-	(9.1)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナデ	KB6-3-13区 下層	曾谷式
28	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面瘤貼付→沈線→刻み→無文部磨き 内面磨き	KB6-4-1区 下層	PL98 瘤付第3段階
29	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面条線→瘤貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KB6-4-13区 混貝土層	PL98 安行1式
30	縄文土器	深鉢	-	(4.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面瘤貼付→沈線→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-8区 純貝層下層	瘤付第1段階
31	縄文土器	深鉢	[24.0]	(32.9)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	黒褐	普通	外面隆帯脇沈線→縄文RL→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-16区 純貝層下層	30% PL98 安行3 a式
32	縄文土器	深鉢	[23.0]	(15.9)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面隆帯脇沈線→縄文LR→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KB5-4-3区 下層	10% PL98 安行3 a式
33	縄文土器	深鉢	[26.4]	(19.4)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	外面隆帯脇沈線→縄文RL→瘤貼付→無文部磨き 内面ナデ	KC6-1-3区 純貝層上層	10% PL98 安行3 a式
34	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面隆帯脇沈線→縄文LR→瘤貼付→無文部磨き 内面波頂部4条の沈線	KC5-1-4区 純貝層上層	安行3 a式
35	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英	褐灰	普通	外面隆帯脇沈線→縄文LR→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KC6-2-10区 純貝層上層	PL98 安行3 a式
36	縄文土器	深鉢	[25.4]	(9.9)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-5区 純貝層下層	20% PL98 安行3 b式
37	縄文土器	深鉢	-	(14.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-4区 純貝層上層	安行3 b式
38	縄文土器	深鉢	[26.0]	(6.6)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6-2-15区 混貝土層	安行3 b式
39	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-9区 下層	安行2式
40	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-10区 純貝層下層	PL98 安行2~3 a式
41	縄文土器	深鉢	[28.4]	(6.5)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	外面沈線→縄文RL→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-8区 純貝層上層	安行2~3 a式
42	縄文土器	深鉢	[21.6]	(8.8)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文LR→刻み→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-4区 純貝層上層	10% PL99 安行2~3 a式
43	縄文土器	深鉢	[25.0]	(9.2)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面瘤貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-1-4区 純貝層下層	10% 安行3 b式
44	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面沈線→縄文LR→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KB6-3-14区 純貝層下層	安行3 a式
45	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文LR→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-11区 純貝層上層	安行3 a式
46	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面条線→沈線→縄文LR→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KB6-3-16区 下層	安行3 a式
47	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英	褐灰	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC5-2・4区x	PL99 姥山II式
48	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口唇部B突起 外面沈線→縄文LR→瘤貼付→無文 部磨き 内面磨き	KC6-2-6区 下層	PL99 安行3 b式
49	縄文土器	深鉢	[14.0]	(8.0)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部B突起 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-13区 純貝層上層	10% PL99 安行3 b式
50	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-15区 純貝層下層	安行3 b式
51	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口唇部B突起 外面沈線→列点文 内面磨き	KC6-4-7区 純貝層上層	PL99 安行3 c式
52	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面沈線→列点文 内面磨き	KC6-2-12区 純貝層上層	安行3 c式
53	縄文土器	深鉢	[24.8]	(11.2)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-10区 純貝層上層	10% PL99 姥山II式
54	縄文土器	深鉢	[17.0]	(11.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口唇部刻み 外面沈線→細密沈線・刺突文→無文 部磨き 内面磨き	KC5-2-12区 純貝層下層	20% PL99 姥山II式
55	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-13区 混貝土層	PL99 姥山II式
56	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面条線→沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC6-4-3区 純貝層下層	姥山II式
57	縄文土器	深鉢	-	(12.7)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	橙	普通	外面条線→沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC6-4-2区 純貝層下層	15% PL99 姥山II式
58	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・雲母	褐灰	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-1区 混貝土層	姥山II式
59	縄文土器	深鉢	[25.6]	(26.2)	-	石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部B突起貼付 外面条線→頸部平行沈線による区画 文・蛇行文→沈線間磨き→紐線貼付 内面磨き	KC6-1-4・21区 純貝層下層	20% PL99 晚期前葉
60	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英	橙	普通	外面条線→平行沈線による区画文・蛇行文→区画 文沈線間磨き→紐線貼付 内面磨き	KC6-3-3区 純貝層上層	PL99 晚期前葉
61	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面条線→区画文間磨き→紐線貼付 内面磨き	KC5-2-12区 純貝層下層	PL99 晚期前葉
62	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面条線→沈線 内面ナデ	KB6-4-11区 下層	晚期前葉
63	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面条線→沈線 内面磨き	KC5-2-10区 純貝層上層	10% 晚期前葉
64	縄文土器	深鉢	[26.0]	(8.1)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面条線→平行沈線による区画文→沈線間磨き→ 紐線貼付 内面磨き	KC5-1-8区 純貝層下層	PL100 晚期前葉
65	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい褐	普通	外面条線→平行沈線による区画文→沈線間磨き→ 紐線貼付 内面磨き	KC6-3-3区 純貝層上層	晚期前葉
66	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面口縁部刻み 条線→沈線 内面磨き	KC5-2-10区 純貝層下層	晚期前葉
67	縄文土器	深鉢	-	(20.3)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外面条線→平行沈線による区画文→沈線間磨き→ 紐線貼付 内面磨き	KC6-3-3区 純貝層上層	10% 晚期前葉



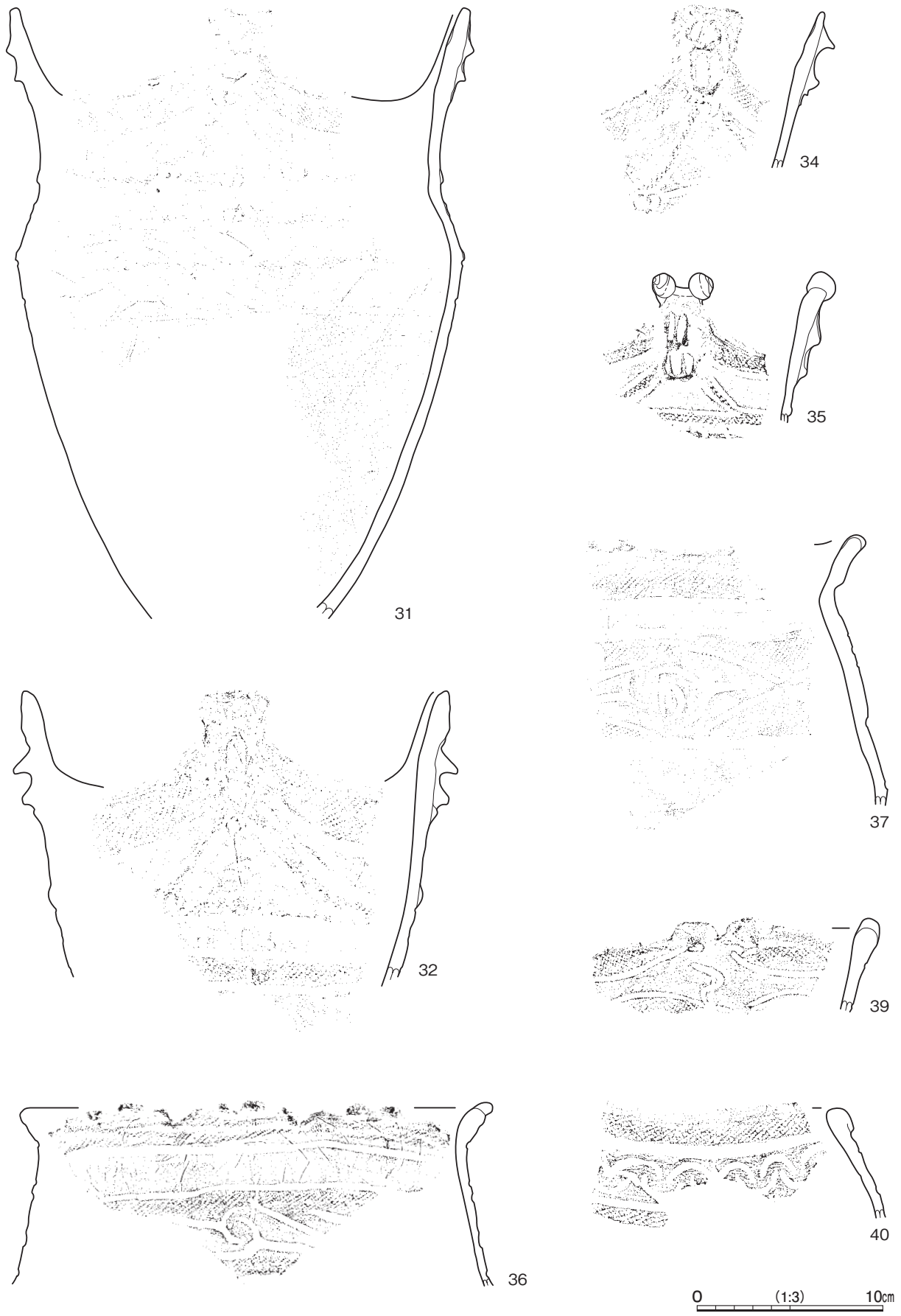
第260图 第12号斜面貝層出土遺物実測図(1)



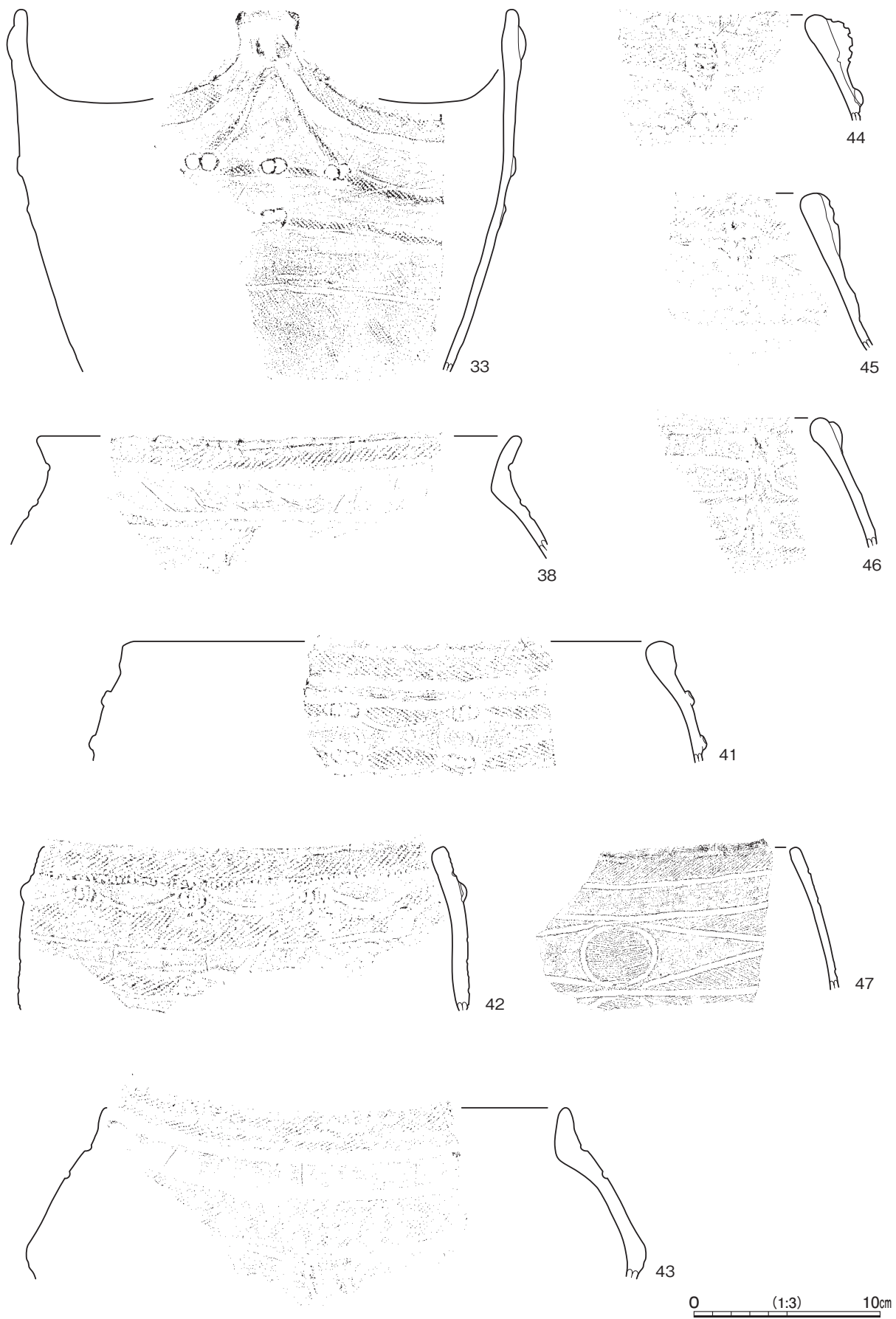
第 261 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測图 (2)



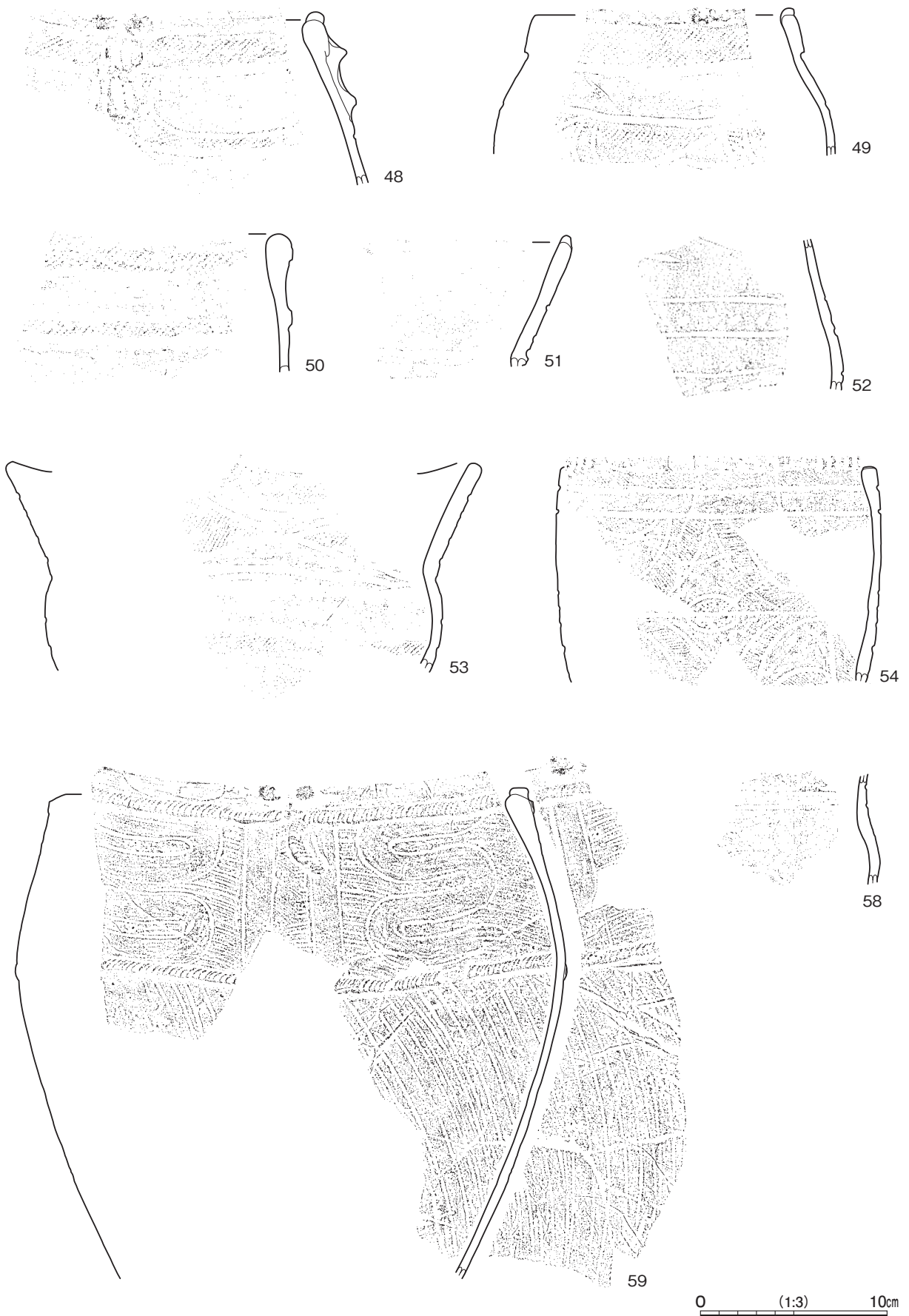
第262図 第12号斜面具層出土遺物実測図(3)



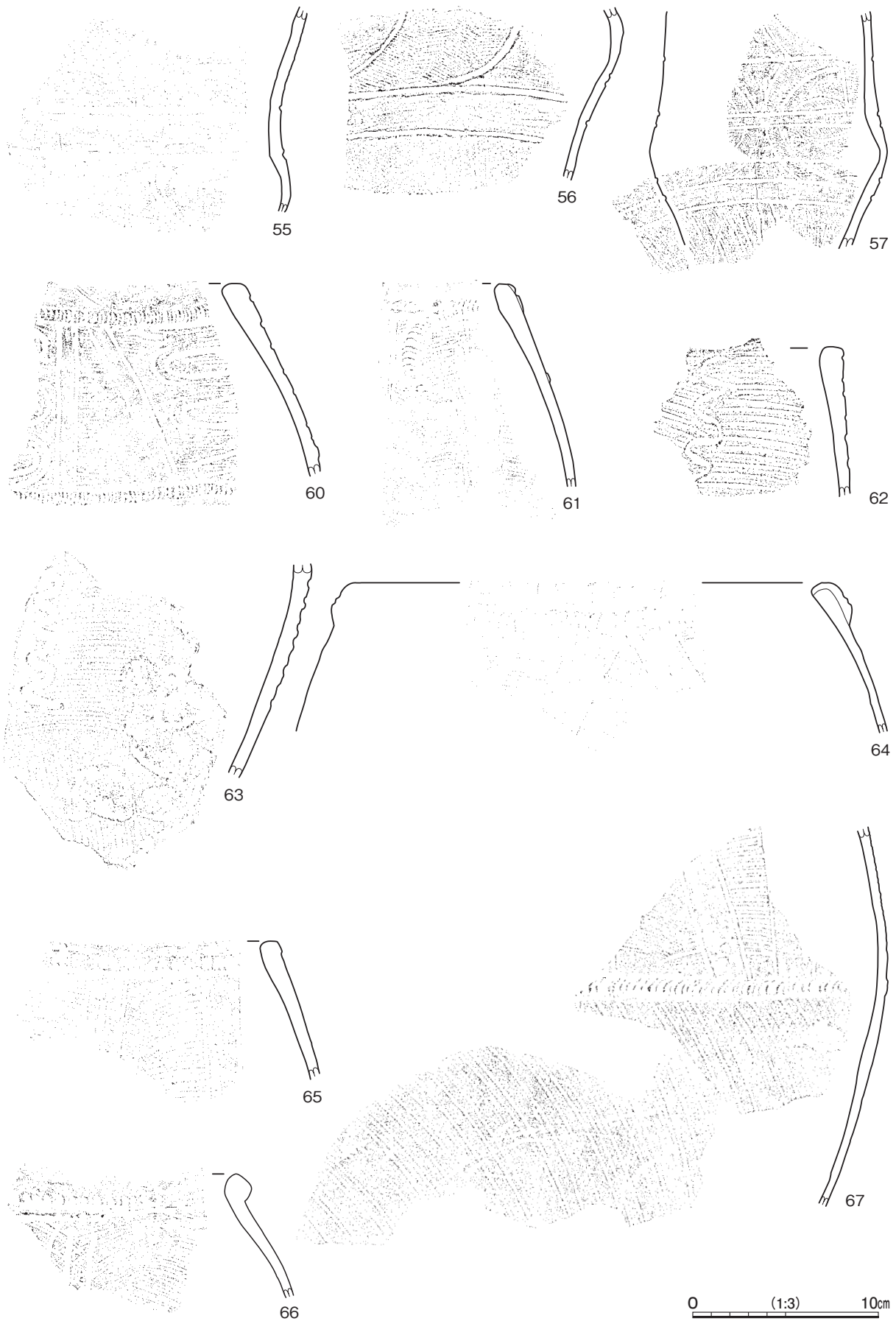
第 263 図 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (4)



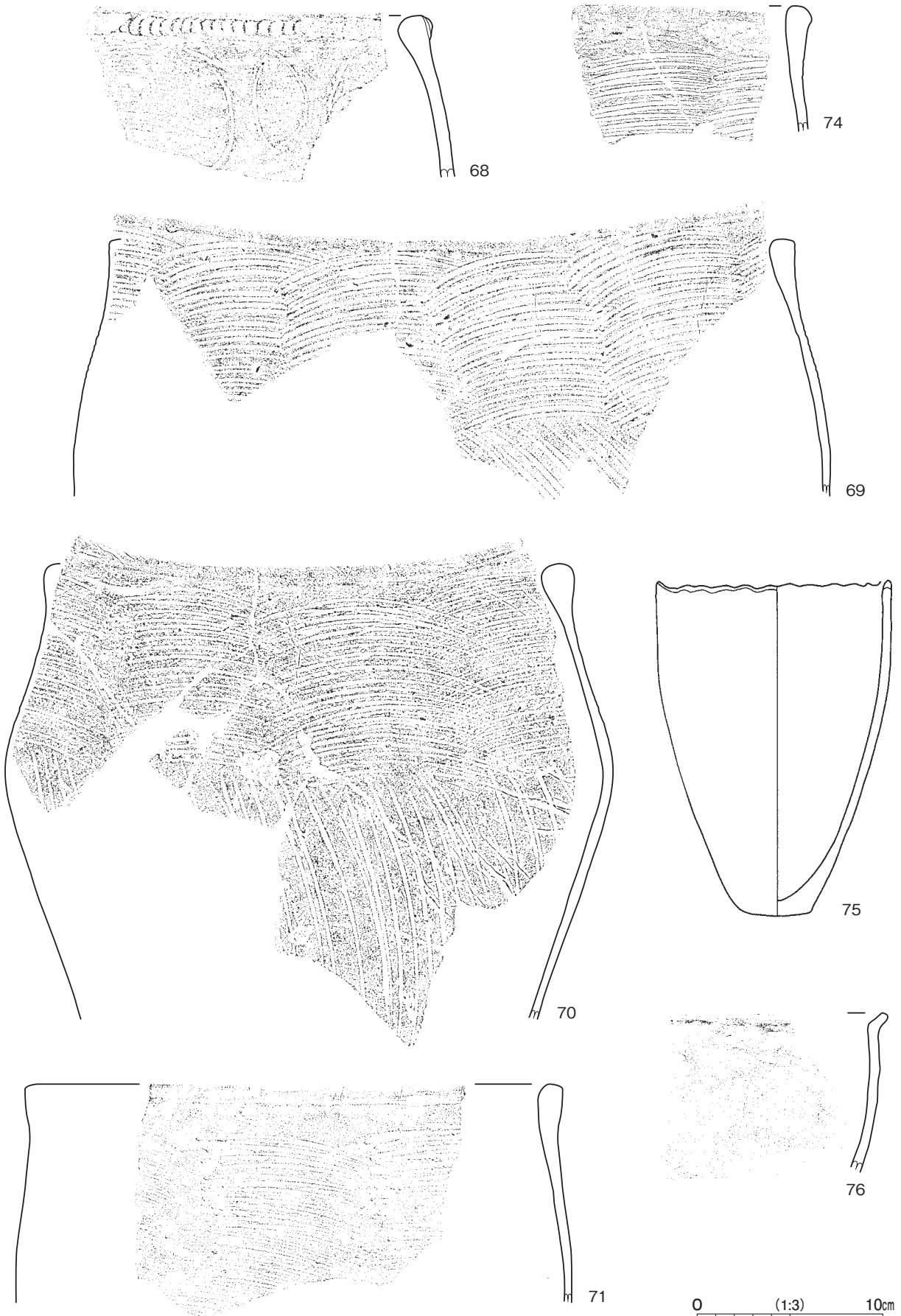
第 264 図 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (5)



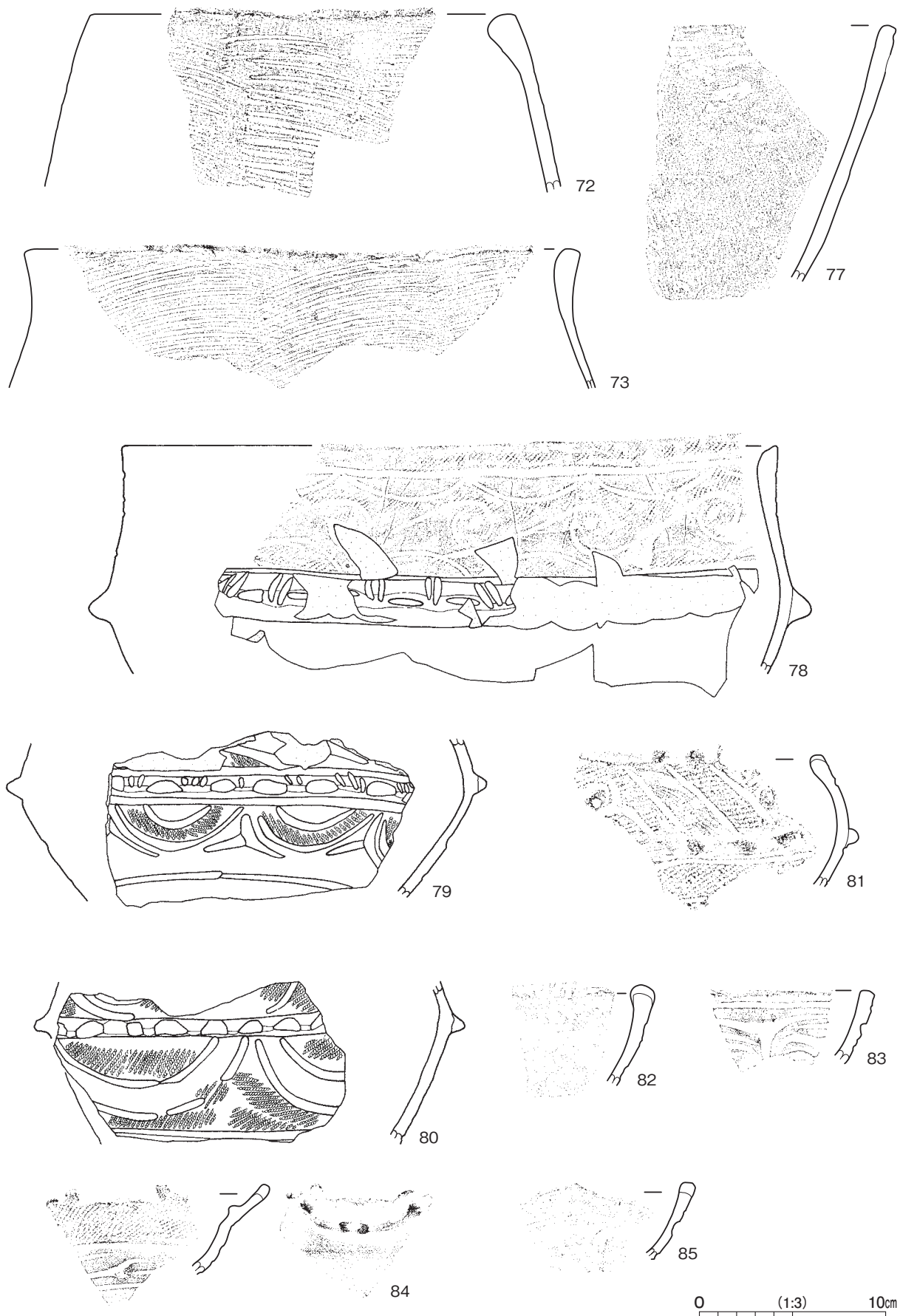
第 265 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測图 (6)



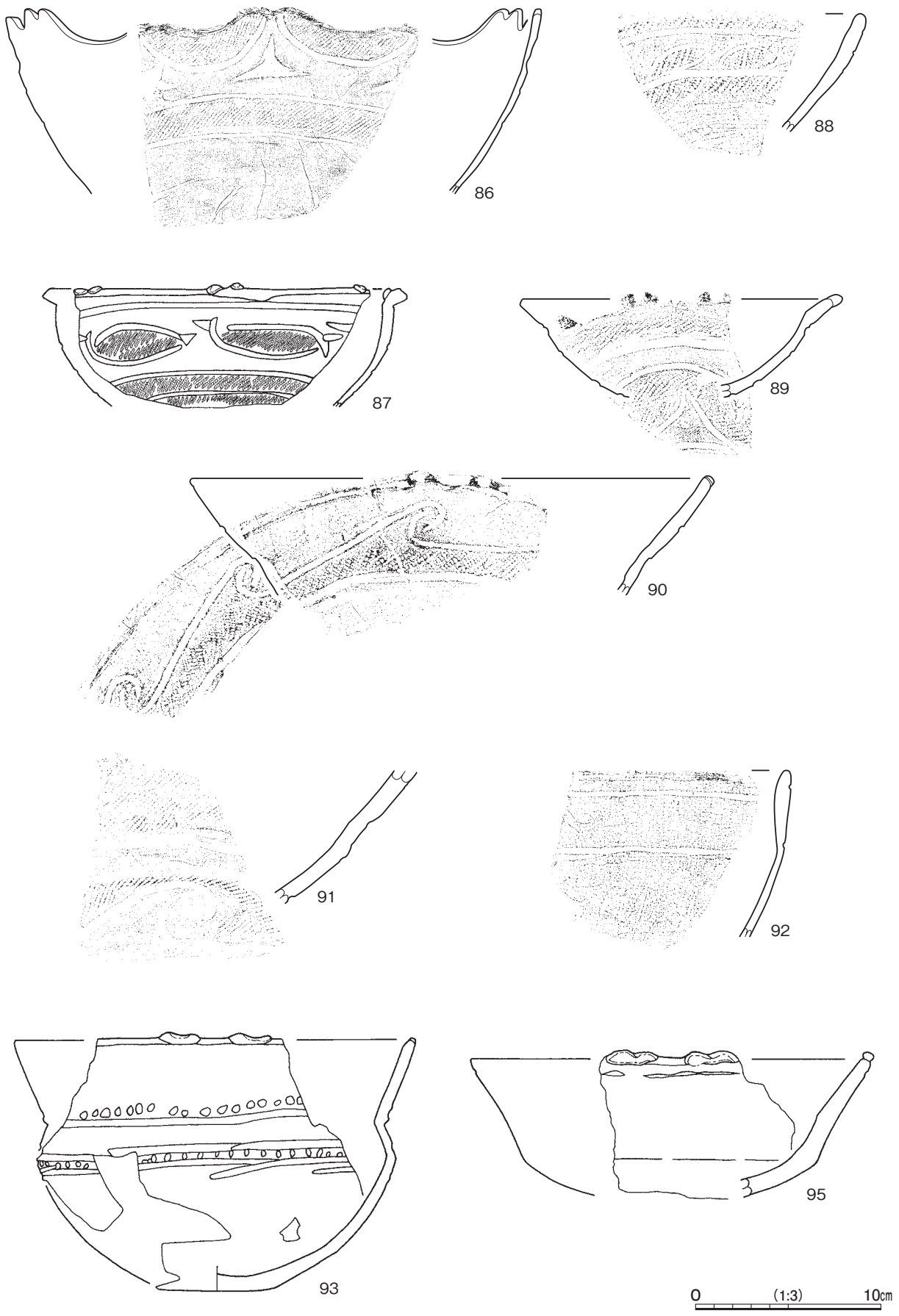
第 266 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (7)



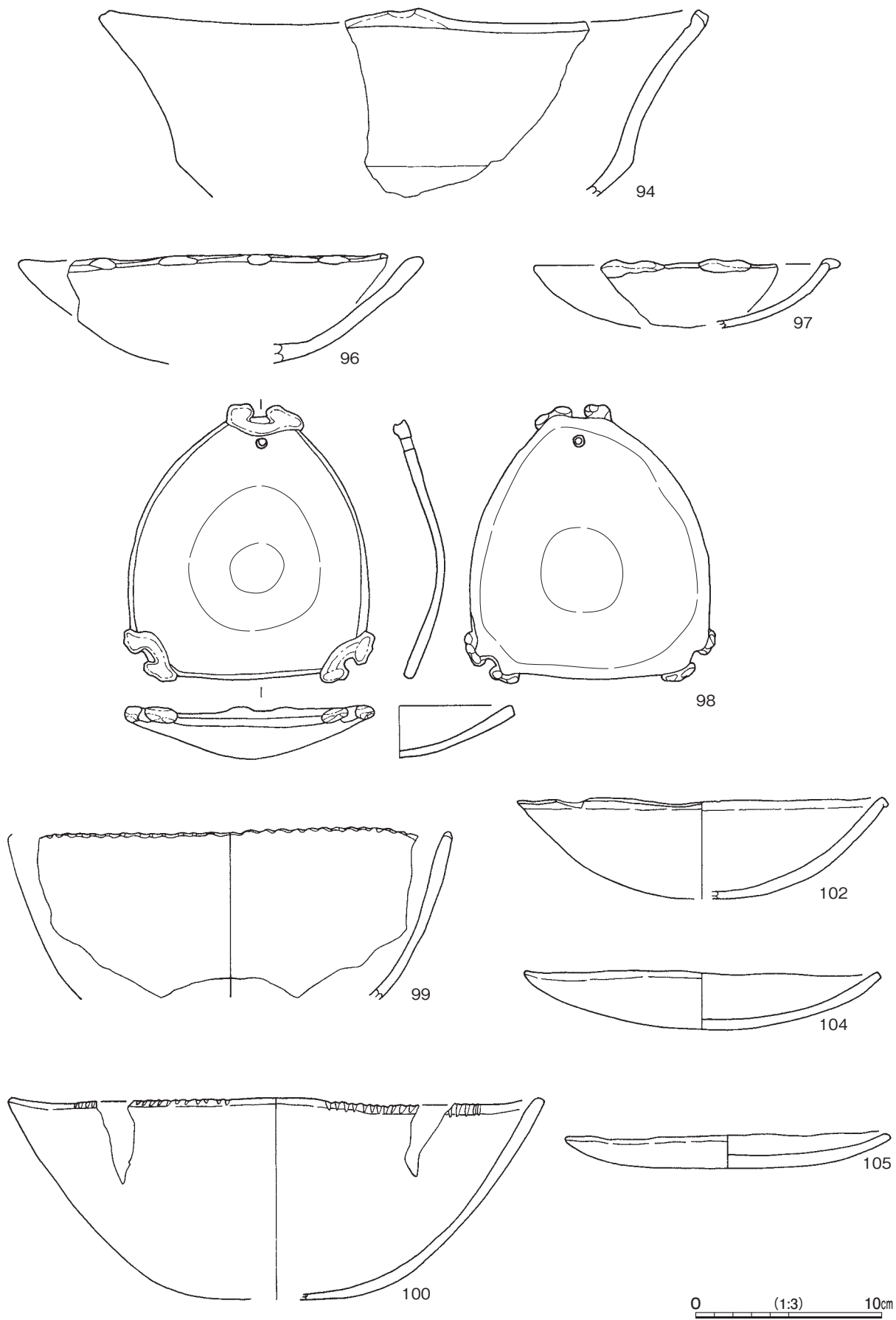
第 267 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測图 (8)



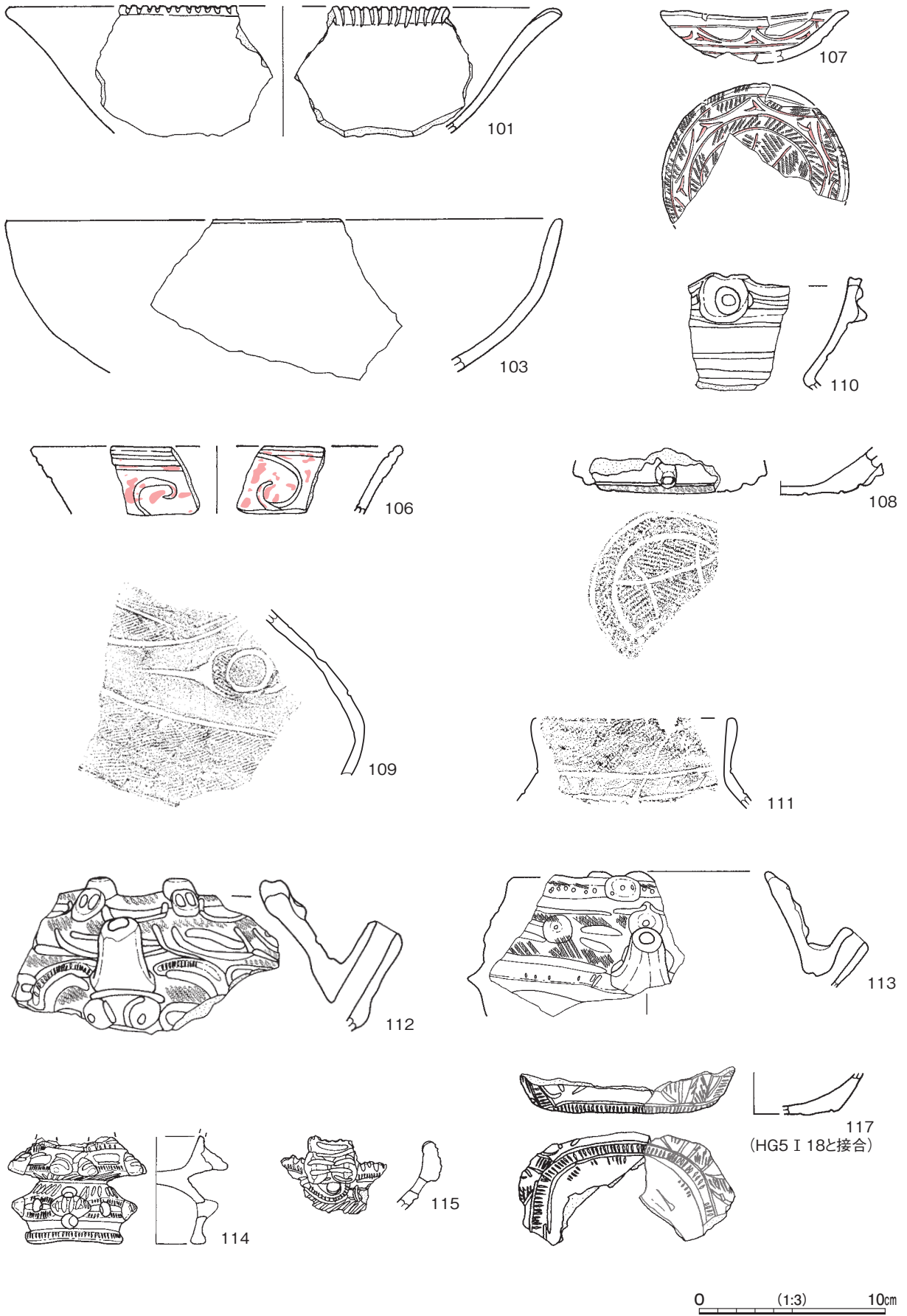
第 268 図 第 12 号斜面具層出土遺物実測図 (9)



第 269 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測图 (10)



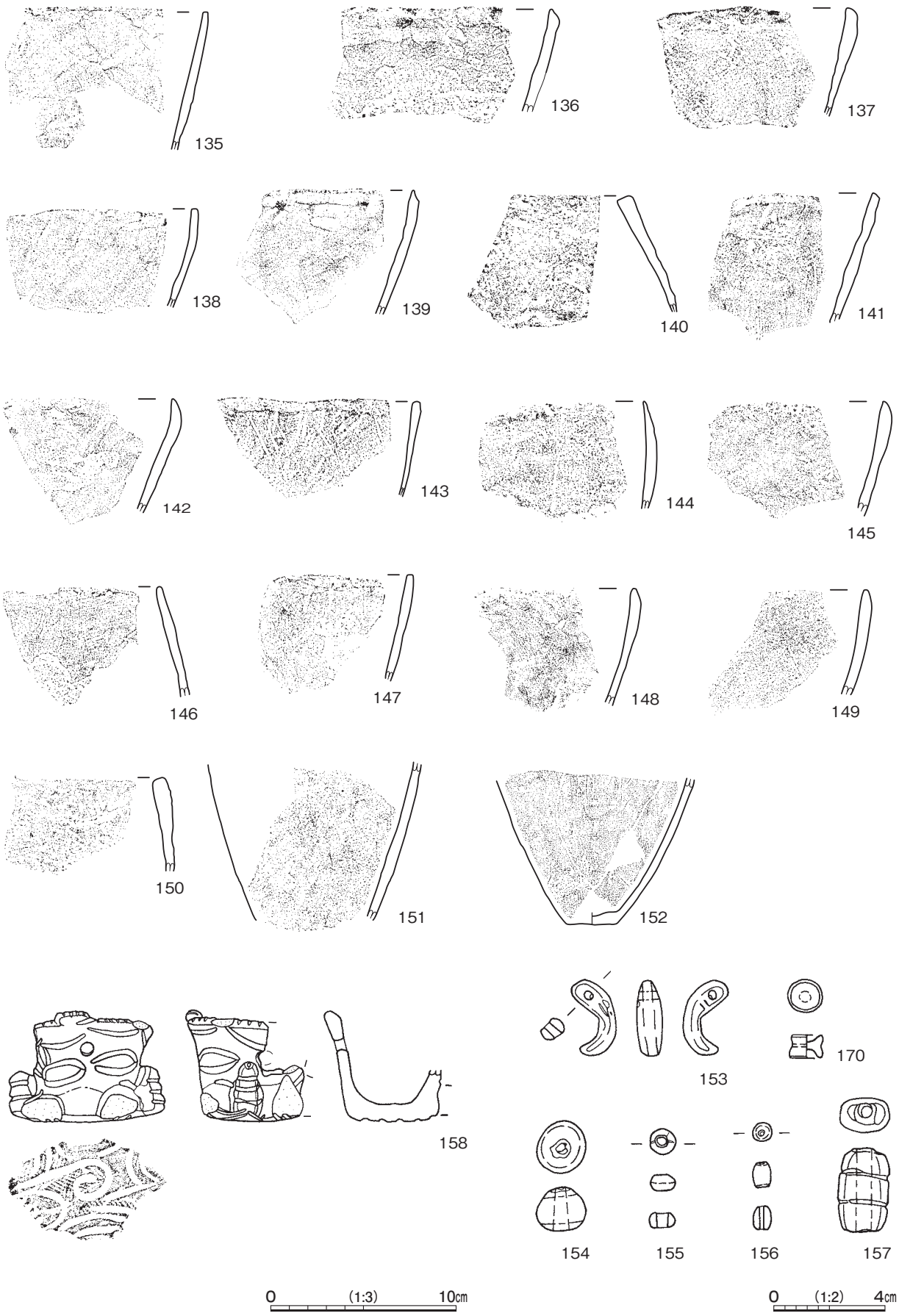
第270図 第12号斜面貝層出土遺物実測図(11)



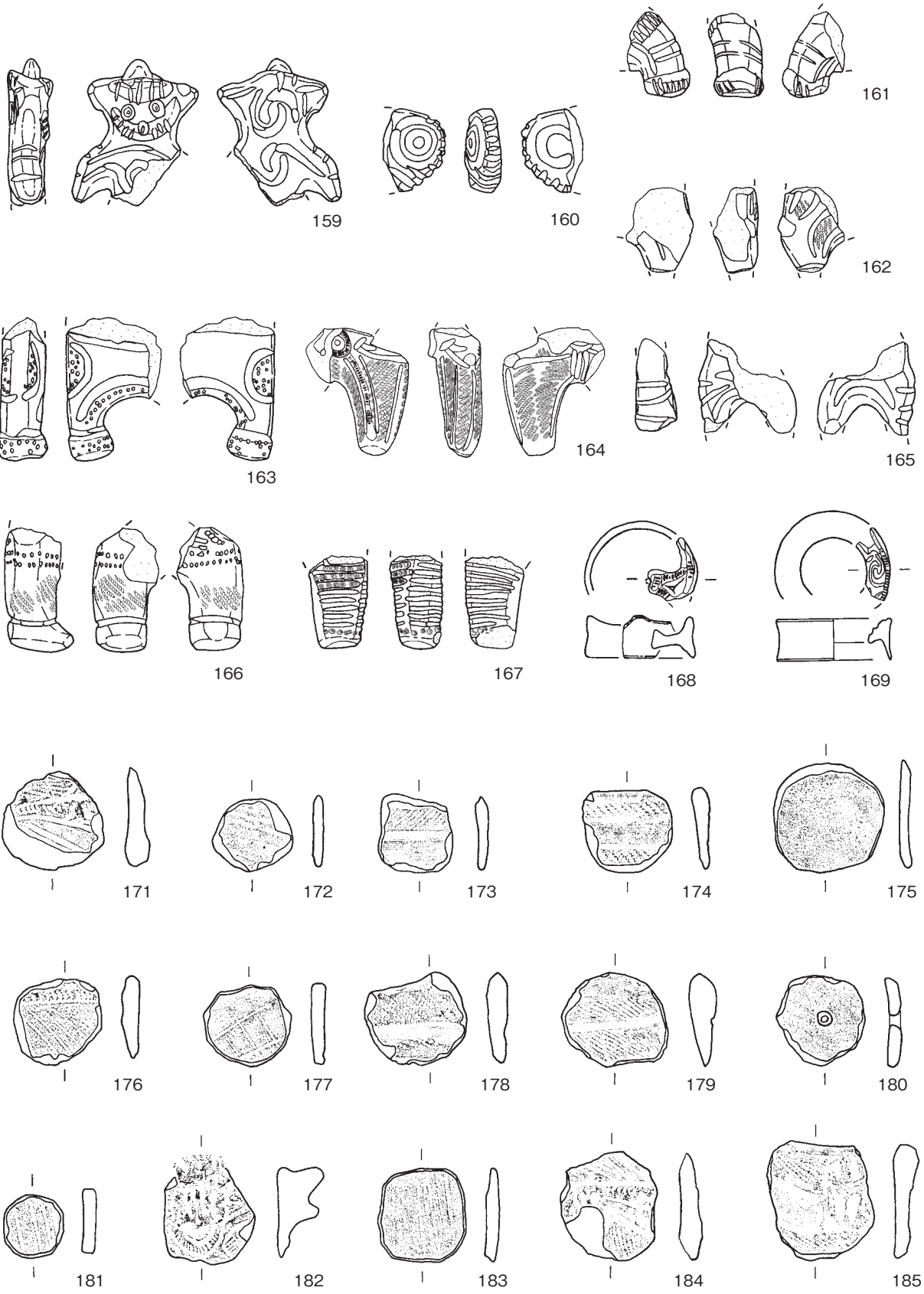
第 271 図 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (12)



第 272 図 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (13)

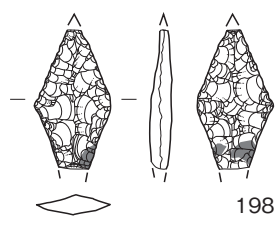
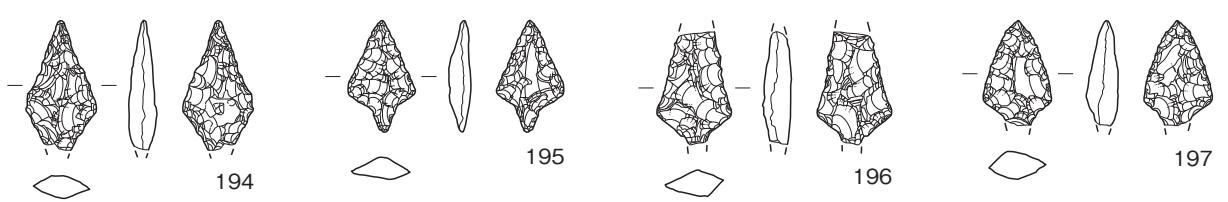
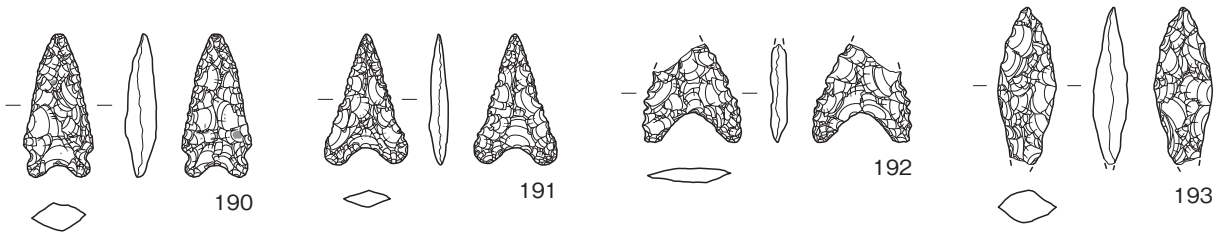
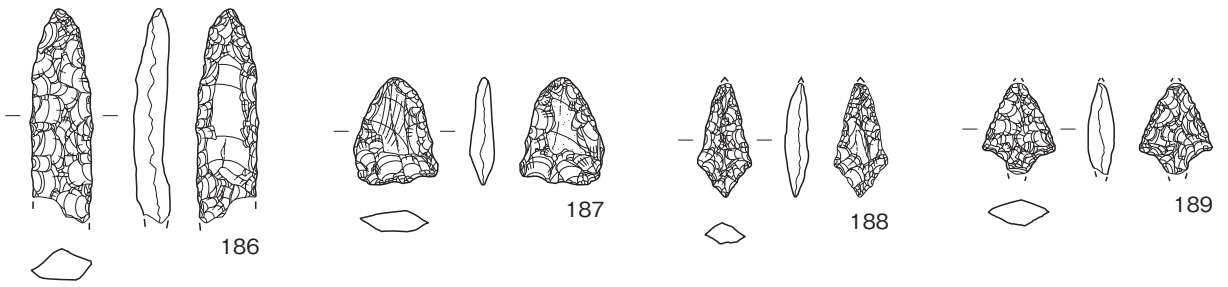


第 273 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (14)

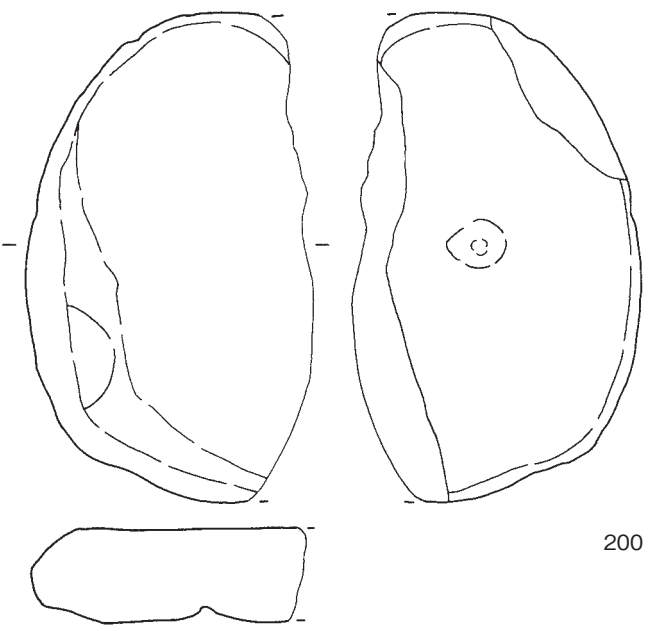
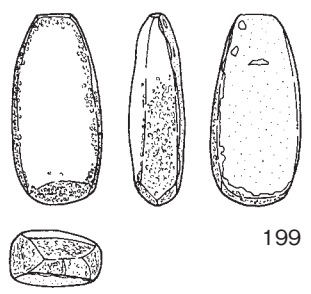


0 (1:3) 10cm

第 274 図 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (15)

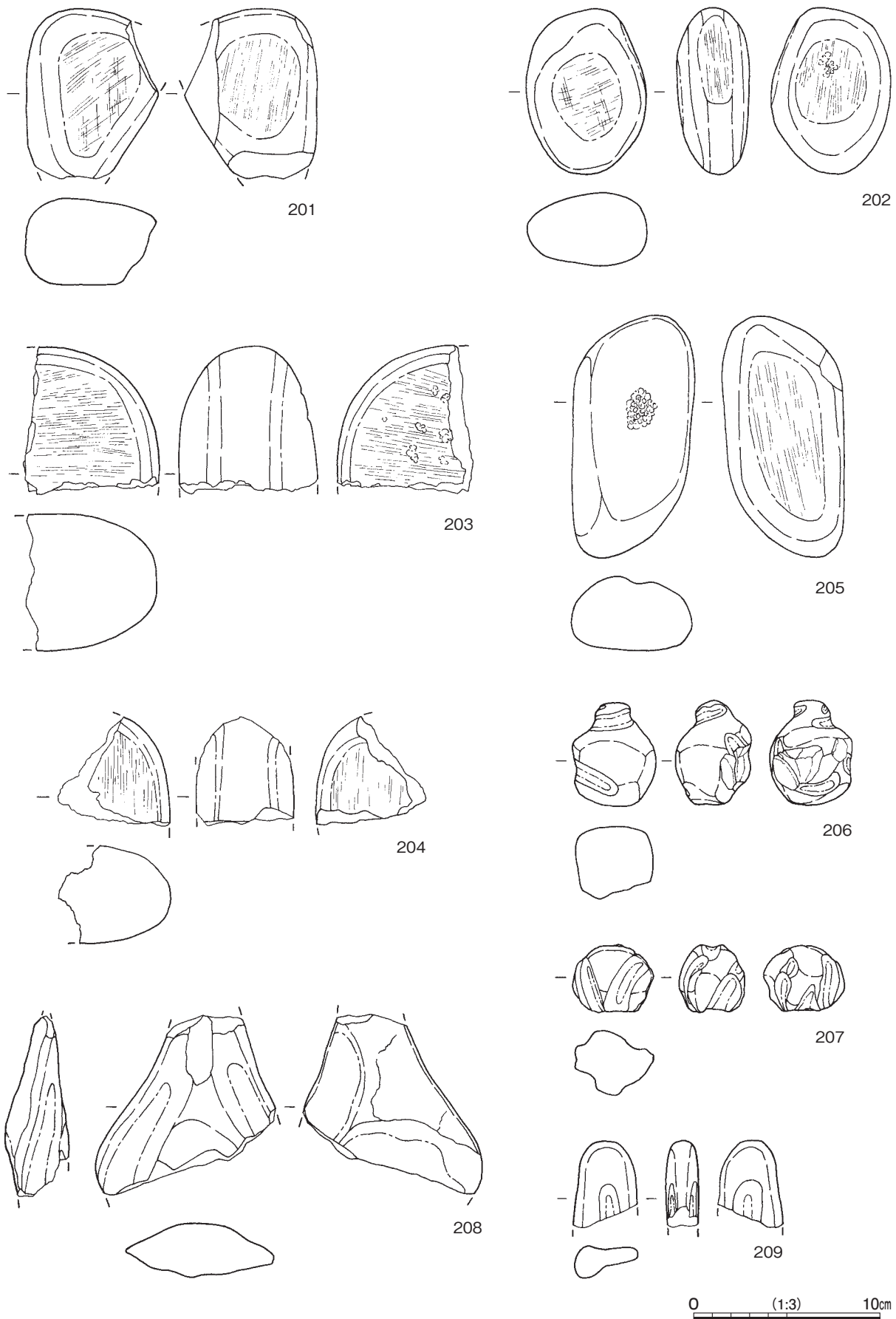


0 (2:3) 4cm

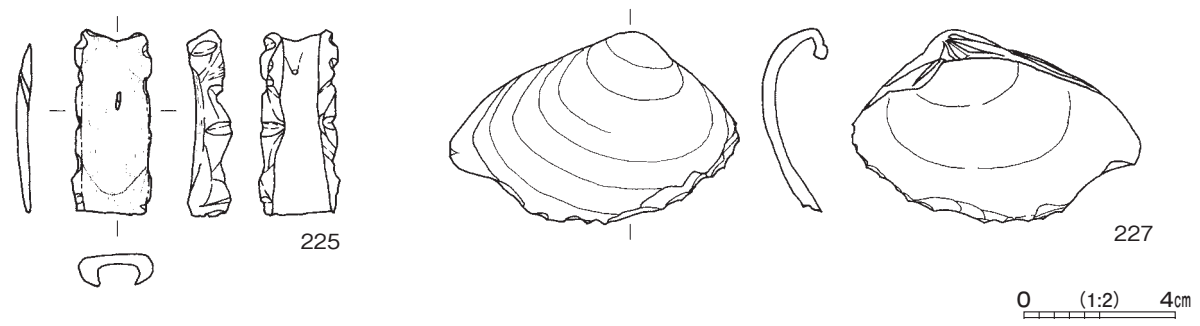
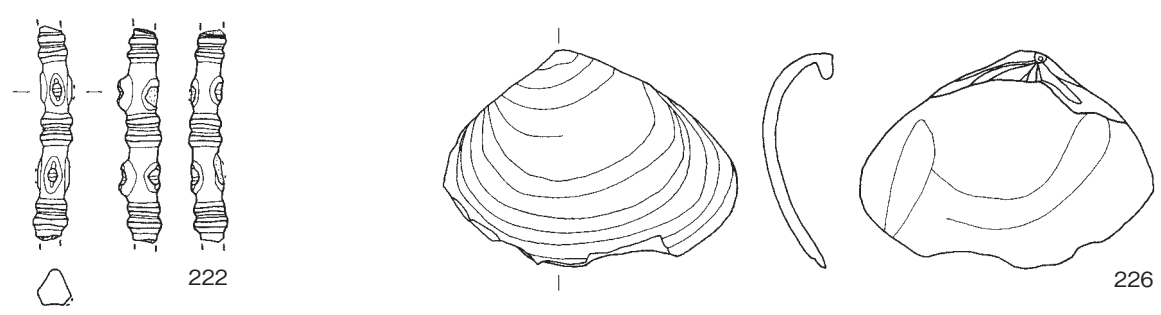
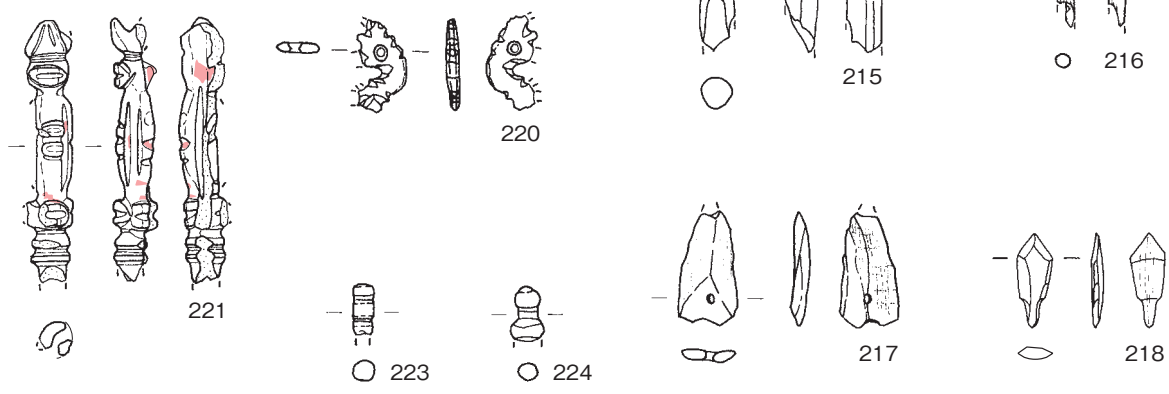
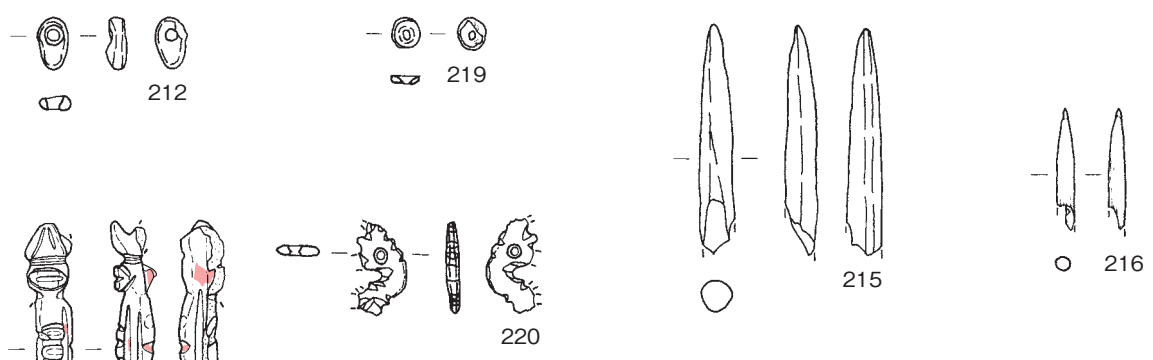
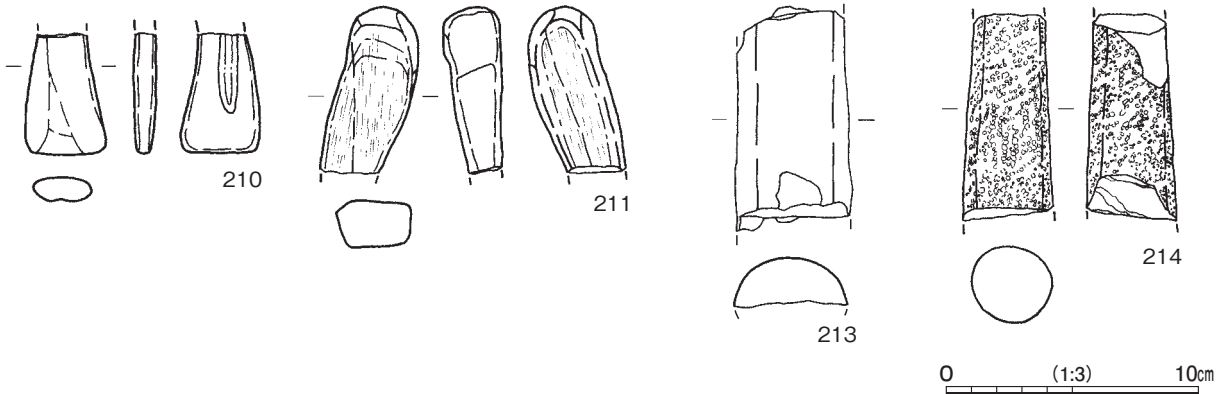


0 (1:3) 10cm

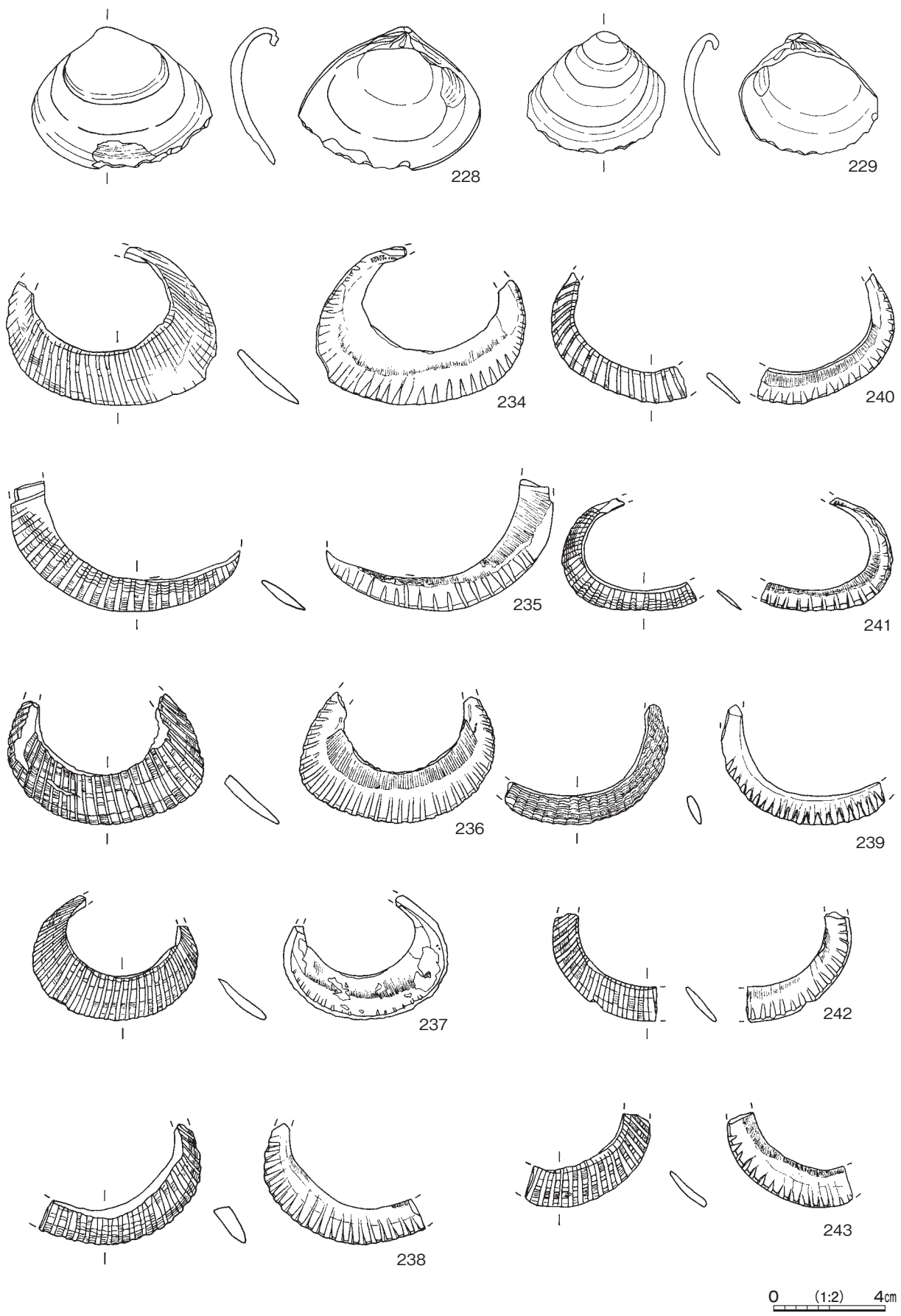
第 275 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (16)



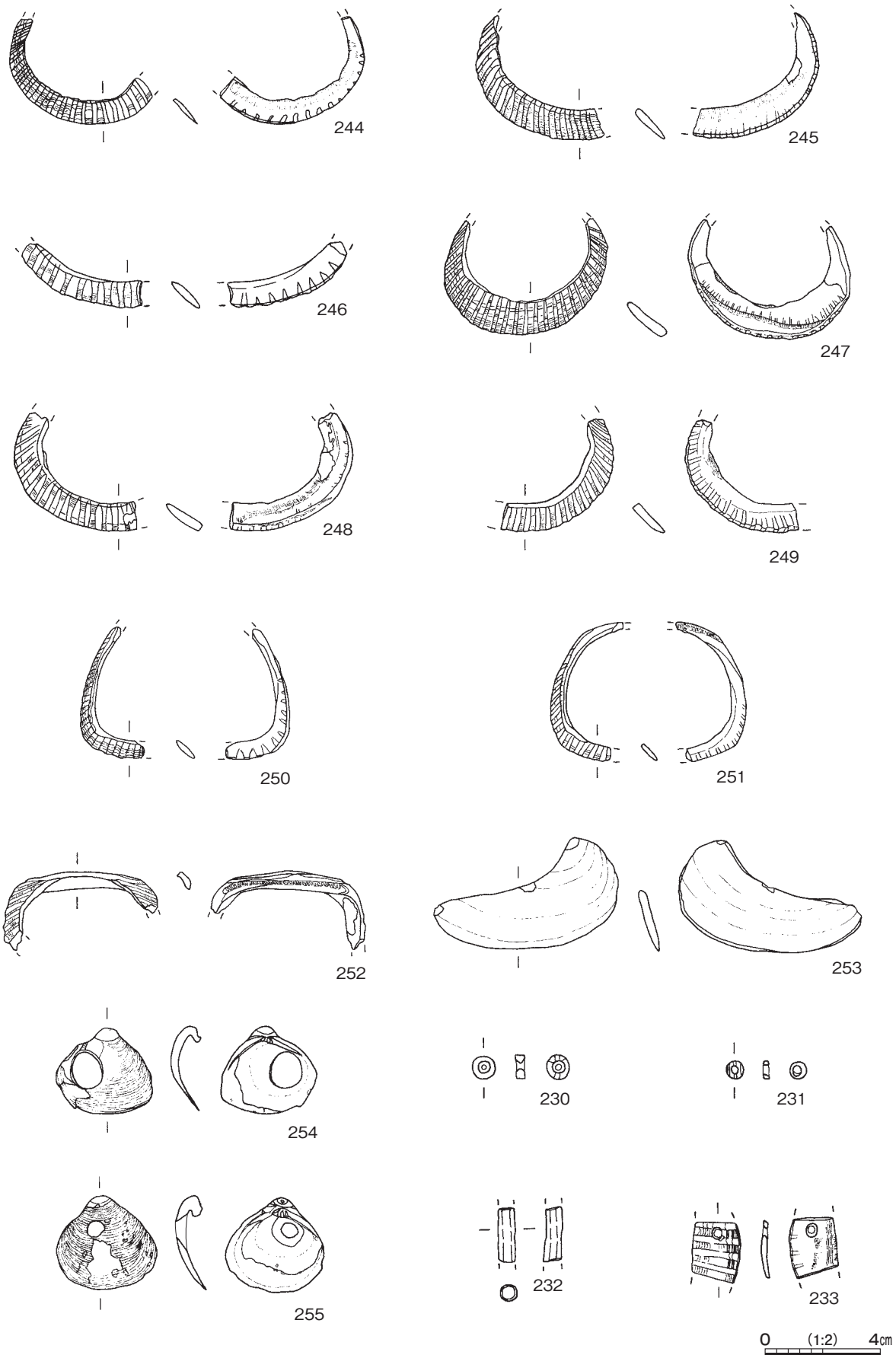
第 276 図 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (17)



第 277 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (18)



第 278 図 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (19)



第 279 图 第 12 号斜面貝層出土遺物実測図 (20)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
68	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	浅黄橙	普通	外面条線→沈線による区画文→沈線間磨き→紐線貼付 内面磨き	KB6-45区 純貝層下層	PL100 晩期前葉
69	縄文土器	深鉢	[37.0]	(13.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面条線 内面ナデ	KB5-3-12区 混貝土層	10% PL100 晩期前葉
70	縄文土器	深鉢	[28.0]	(24.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面条線 内面磨き	KC6-1-9区 純貝層上層	20% PL100 晩期前葉
71	縄文土器	深鉢	[29.0]	(11.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面条線 内面磨き	KC6-1-11区 純貝層上層	10% 晩期前葉
72	縄文土器	深鉢	[22.8]	(9.5)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	外面条線 内面磨き	KB6-3-16区 純貝層上層	晩期前葉
73	縄文土器	深鉢	[30.0]	(7.4)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外面条線 内面ナデ	KC5-2-15区 純貝層下層	10% 晩期前葉
74	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面条線 内面磨き	KC5-2-10区 純貝層上層	晩期前葉
75	縄文土器	深鉢	[12.5]	17.9	3.5	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口唇部刻み 外面削り 内面ナデ	KC7-3-6区 混貝土層	50% PL96 晩期前葉
76	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面削り 内面ナデ	KC6-1-5区 純貝層下層	晩期前葉
77	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面削り 内面ナデ	KC5-1-4区 混貝土層	10% 晩期前葉
78	縄文土器	鉢	[35.2]	(12.3)	-	長石・石英	黄褐	普通	外面瘤状の隆帯貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	KC5-24・KC6-14区 純貝層上層	20% PL101 安行3b式
79	縄文土器	鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	外面瘤状の隆帯貼付→沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-14区 純貝層下層	10% PL100 安行3a式
80	縄文土器	鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母・針状物質	褐灰	普通	外面瘤状の隆帯貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KB6-4-12区 混貝土層	10% 安行3a式
81	縄文土器	鉢	-	(7.1)	-	長石・石英	橙	普通	外面瘤状の隆帯貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6-4-1区 純貝層下層	10% 安行3a式
82	縄文土器	鉢	-	(5.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口唇部刻みを有する小突起 外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-12区 純貝層下層	安行2式
83	縄文土器	鉢	-	(3.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面沈線→無文部磨き 内面磨き	KB5-4-14区 下層	大洞B1式
84	縄文土器	鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-6区 混貝土層	大洞B2式
85	縄文土器	鉢	-	(4.1)	-	長石・石英	暗赤褐	普通	外面沈線→縄文LR→磨き 内面磨き	KC7-1-10区 下層	安行3a式
86	縄文土器	鉢	[28.8]	(10.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC6-2-2区 混貝土層	15% PL100 安行3a式
87	縄文土器	鉢	[19.6]	(6.3)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部B突起 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面削り→磨き	KC6-1-3区 混貝土層	20% PL100 大洞B2式
88	縄文土器	鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC7-3-5区 純貝層下層	大洞B2式
89	縄文土器	鉢	[17.4]	(5.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KB5-3-15区 純貝層下層	10% PL100 安行3b式
90	縄文土器	鉢	[27.4]	(6.4)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口唇部B突起 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-10区 純貝層下層	10% PL100 安行3b式
91	縄文土器	鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-15区 純貝層下層	安行3b式
92	縄文土器	鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面沈線→無文部磨き 内面磨き	KC6-1-5区 純貝層下層	15% 安行3c式
93	縄文土器	鉢	[21.8]	14.0	[6.4]	長石・石英	灰褐	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→列点文→無文部磨き 内面口唇部1条の沈線→磨き	KC6-1-15区 純貝層上層	40% PL96 安行3c式
94	縄文土器	鉢	[32.8]	(10.0)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	口唇部緩やかな波状 波頂部面取り 外面削り 内面磨き	KB7-3-3区 下層	15% 晩期前葉
95	縄文土器	鉢	[21.5]	(7.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部B突起貼付 外面削り→磨き 内面磨き	KC5-2-13区 純貝層下層	晩期前葉
96	縄文土器	浅鉢	[21.3]	(5.8)	-	長石・石英・雲母・針状物質	褐灰	普通	口唇部緩やかな波状 波頂部面取り 外面削り→磨き 内面磨き	KB6-4-16区 混貝土層	30% 晩期前葉
97	縄文土器	浅鉢	[16.0]	(3.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	口唇部B突起貼付 外面削り 内面磨き	KC6-2-3区 混貝土層	30% 晩期前葉
98	縄文土器	浅鉢	13.5～14.9	2.8	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口唇部3単位のB突起貼付 外面削り 内面磨き	KC6-1-8区 純貝層上層	100% PL101 晩期前葉
99	縄文土器	浅鉢	[23.7]	(8.9)	-	長石・石英・雲母	浅黄橙	普通	口唇部刻み 外面削り 内面磨き	KC6-3-1区 純貝層上層	15% 晩期前葉
100	縄文土器	浅鉢	[28.3]	(10.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	口唇部刻み 外面削り 内面磨き	KC5-1-4区 混貝土層	25% 晩期前葉
101	縄文土器	浅鉢	[30.0]	(7.0)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口唇部刻み 外面削り→ナデ 内面磨き	KC6-2-16区 下層	晩期前葉
102	縄文土器	浅鉢	19.6	5.4	-	長石・石英・雲母・針状物質	灰	普通	外面削り→磨き 内面磨き	KB7-3-13区 混貝土層	50% PL97 晩期前葉
103	縄文土器	浅鉢	[30.0]	(8.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面削り→磨き 内面磨き	KC6-1-13区 純貝層上層	10% 晩期前葉
104	縄文土器	浅鉢	18.9	3.1	-	長石・石英・雲母・針状物質	灰	普通	外・内面磨き	KC5-2-11区 混貝土層	50% PL97 晩期前葉
105	縄文土器	浅鉢	17.2	1.8	-	長石・石英・雲母・針状物質	暗灰	普通	外・内面磨き	KC5-1-4-3区 混貝土層	60% PL97 晩期前葉
106	縄文土器	浅鉢	[19.5]	(3.6)	-	長石・石英	黒褐	普通	外・内面沈線→磨き→赤漆塗布	KB5-4-15区 純貝層上層	晩期前葉
107	縄文土器	浅鉢	[10.2]	(2.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	外面沈線→縄文L→無文部磨き→赤彩 内面ナデ	KB7-3-13区 下層	90% PL97 安行3a式
108	縄文土器	壺	-	(2.5)	[7.0]	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面底部瘤貼付 沈線→縄文RL 内面磨き	KC6-2-7区 混貝土層	晩期前葉
109	縄文土器	壺	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・針状物質	灰	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KB6-3-15区 純貝層下層	安行3a式
110	縄文土器	壺	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	外面沈線→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-12区 混貝土層	晩期前葉
111	縄文土器	壺	[11.8]	(4.9)	-	長石・石英	明赤褐	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	KB6-4-9区 純貝層下層	20% 晩期前葉
112	縄文土器	注口土器	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文RL・刻み→瘤貼付→無文部磨き 内面ナデ	KC6-1-14区 純貝層上層	10% PL100 安行3b式
113	縄文土器	注口土器	[14.0]	(7.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	外面沈線→縄文R・列点文→無文部磨き 内面磨き	KC5-1-7区 下層	15% PL100 安行3b式
114	縄文土器	異形台付土器	-	5.8	4.9	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面瘤貼付→沈線→刻み→無文部磨き 内面ナデ	KC7-1-11区 下層	60% PL97 安行2式
115	縄文土器	異形台付土器	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面突起・瘤貼付→沈線→刻み 内面ナデ	KB5-3-16区 下層	安行2式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
116	縄文土器	角底土器	-	(3.2)	[11.5]	長石・石英	にぶい褐	普通	外面底部瘤貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KB6-1-15区 混貝土層	PL101 晩期前葉
117	縄文土器	角底土器	-	(1.7)	10.1	長石・雲母	灰黄褐	普通	外面刻み→沈線 内面磨き HG 5 I 18と接合	KC6-4-4区 純貝層下層	10% 安行2式
118	縄文土器	ミニチュア 土器	6.8	2.3	-	長石・石英	灰褐	普通	外・内面ナデ	KC6-1-14区 純貝層下層	70% 晩期前葉
119	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面縄文LR→綾絡文→沈線 内面磨き	KC5-2-12区 純貝層下層	大洞系
120	縄文土器	深鉢	[20.4]	(9.3)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-4-4区 純貝層上層	大洞B C式
121	縄文土器	浅鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	褐灰	普通	突起部 外面LR縄文 内面磨き	KC6-2-15区 純貝層上層	PL101 大洞B C式
122	縄文土器	浅鉢	-	(2.9)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口唇部突起貼付 外面沈線→磨き 内面磨き	KC7-3-3区 下層	大洞C 1系
123	縄文土器	壺	[12.0]	(5.3)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面沈線→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-12区 純貝層下層	安行3 a式
124	縄文土器	壺	[8.8]	(5.0)	-	長石・石英	褐灰	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	KC6-2-1区 純貝層下層	PL101 大洞B C式
125	縄文土器	香炉 _カ	[6.8]	(2.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面沈線→磨き 胴部に透かし孔3か所 内面ナデ	KC6-1-8区 純貝層下層	大洞B C式
126	縄文土器	鉢	-	(4.4)	-	長石・石英	暗灰	普通	外面瘤貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	KC5-2-9区 純貝層下層	PL101 大洞B C式
127	縄文土器	注口土器	-	(6.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線→磨き 内面ナデ	KC6-4-4区 純貝層上層	10% 大洞B 2式
128	縄文土器	注口土器	-	(6.0)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナデ	KC5-2-12区 純貝層下層	大洞B 2式
129	縄文土器	香炉 _カ	[5.2]	(3.4)	-	長石・雲母	褐灰	普通	外面穿孔・沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	KC5-1-7区 混貝土層	40% PL97 大洞B 2式
130	縄文土器	製塩土器	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外・内面削り 口縁部ナデ	KB6-4-11区 混貝土層	PL101 晩期前葉
131	縄文土器	製塩土器	-	(8.2)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面削り 口縁部指頭ナデ 内面ナデ	KC6-1-3区 混貝土層	晩期前葉
132	縄文土器	製塩土器	-	(8.7)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外面削り 口縁部指頭ナデ 内面ナデ	KC5-2-1区 純貝層下層	PL101 晩期前葉
133	縄文土器	製塩土器	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	明赤褐	普通	外・内面ナデ	KC6-3-4区 下層	晩期前葉
134	縄文土器	製塩土器	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	外面削り 口縁部指頭ナデ 内面ナデ	KB6-4-16区 下層	晩期前葉
135	縄文土器	製塩土器	-	(7.5)	-	長石・石英	橙	普通	外面削り 口縁部・内面ナデ	KC6-1-3区 混貝土層	晩期前葉
136	縄文土器	製塩土器	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外面削り 口縁部指頭ナデ 内面ナデ	KB6-3-14区 純貝層下層	晩期前葉
137	縄文土器	製塩土器	-	(5.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナデ	KC6-1-15区 下層	晩期前葉
138	縄文土器	製塩土器	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナデ	KB6-4-14区 混貝土層	PL101 晩期前葉
139	縄文土器	製塩土器	-	(6.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面削り 口縁部・内面ナデ	KC5-2-8区 純貝層下層	PL101 晩期前葉
140	縄文土器	製塩土器	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外・内面ナデ 口唇部面取り	KC5-2-6区 下層	晩期前葉
141	縄文土器	製塩土器	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面削り 口縁部指頭ナデ 内面ナデ	KC6-1-6区 純貝層下層	晩期前葉
142	縄文土器	製塩土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面ナデ 口縁部指頭ナデ	KC6-2-7区 純貝層下層	晩期前葉
143	縄文土器	製塩土器	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナデ	KC5-2-1区 混貝土層	PL101 晩期前葉
144	縄文土器	製塩土器	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外・内面ナデ 口縁部指頭ナデ	KC5-2-5区 純貝層下層	晩期前葉
145	縄文土器	製塩土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面ナデ 口縁部指頭ナデ	KC6-1-4区 純貝層下層	晩期前葉
146	縄文土器	製塩土器	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナデ	KB5-4-13区 下層	PL101 晩期前葉
147	縄文土器	製塩土器	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り 口縁部指頭ナデ 内面ナデ	KC6-1-9区 純貝層上層	晩期前葉
148	縄文土器	製塩土器	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	外面削り 口縁部指頭ナデ 内面ナデ	KC6-1-2区 混貝土層	晩期前葉
149	縄文土器	製塩土器	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り 口唇部面取り 内面ナデ	KB5-4-5区 混貝土層	晩期前葉
150	縄文土器	製塩土器	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外・内面ナデ 口唇部面取り	KB5-3-7区 下層	PL101 晩期前葉
151	縄文土器	製塩土器	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面削り 内面ナデ	KC6-1-12区 純貝層下層	晩期前葉
152	縄文土器	製塩土器	-	(7.8)	2.6	長石・石英	灰黄褐	普通	外面削り 内面ナデ	KC5-1-4区 混貝土層	30% 晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
153	勾玉	2.8	1.6	1.0	2.9	長石・石英・赤色 粒子	橙	孔径0.4cm 一方向からの穿孔 ナデ	KC6-2-8区 混貝土層	PL101
154	土玉	1.8	1.8	1.6	4.8	長石・石英	にぶい橙	孔径0.4～0.5cm 一方向からの穿孔 ナデ	KC6-2-13区 純貝層下層	PL101
155	土玉	0.9	0.9	0.6	0.4	長石・石英	橙	孔径0.4cm 一方向からの穿孔 ナデ	KB5-3-11区 混貝土層	
156	土玉	0.7	0.7	0.9	0.5	長石	黒褐	孔径0.2cm 一方向からの穿孔 ナデ	KC5-2-10区 純貝層上層	PL101
157	土玉	3.0	1.8	1.3	7.2	長石・石英・雲母	橙	孔径0.5cm 一方向からの穿孔 ナデ→沈線	KC6-1-3区 純貝層上層	PL101
158	手燭形	(6.4)	8.5	6.0	(12.8)	長石・石英・雲母	褐灰	器台部片 円孔2か所 口唇部刻み 胴部・台部 沈線による対弧文・渦文→RL縄文	KC6-4-2区 純貝層上層	PL101
159	土偶	(7.5)	(6.6)	2.3	(77.2)	長石・石英	灰	ミミズク形 頭～胴部 隆帯上刻み 沈線文	KB5-3-11区 混貝土層	PL101
160	土偶	(4.3)	(3.2)	(1.9)	(20.9)	長石・石英・雲母	灰褐	ミミズク形 頭部 端部刻み 沈線による円文	KC5-2-15区 純貝層下層	
161	土偶	(4.4)	(2.8)	(3.3)	(29.1)	長石・石英	橙	山形 左腕部 刻み 沈線	KC7-3-11区 混貝土層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
162	土偶	(4.5)	(3.6)	(2.3)	(25.3)	長石・石英・赤色 粒子	橙	ミミズク形 左腕部 沈線→LR縄文	KB6-4-12区 純貝層下層	
163	土偶	(7.4)	(4.9)	(2.5)	(67.8)	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	版状 胴～右脚部 沈線による区画文 区画内刺 突文 HG5-127 と同一カ	KC5-2-16区 純貝層下層	
164	土偶	(6.5)	(5.3)	(2.7)	(56.4)	長石・石英	暗赤褐	ミミズク形 右脚部 隆帯上刻み 沈線→RL縄文	KB6-3-14区 下層	PL101
165	土偶	(4.8)	(5.1)	(2.2)	(32.1)	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	褐灰	山形 左脚部 沈線文	KC6-2-2区 純貝層下層	
166	土偶	(6.4)	(3.5)	(3.7)	(66.5)	長石・石英・雲母	黒褐	山形 右脚部 刺突文 RL縄文	KC6-4-4区 純貝層下層	
167	土偶	(4.8)	(3.1)	(2.8)	(45.1)	長石・雲母	褐灰	山形 左脚部 沈線→円形刺突列	KB5-4-13区 混貝土層	
168	耳飾り	[5.8]	[5.8]	2.1	(7.7)	長石・石英・雲母	橙	透かし彫り型 プリッジ部刻み	KC6-1-16区 下層	
169	耳飾り	[6.0]	[6.0]	2.2	(6.2)	長石・石英・雲母	明赤褐	滑車型 端部刻み 入組文	KC5-2-6区 下層	
170	耳栓	1.2	1.2	0.8	1.0	長石・雲母	橙	ナデ	KC6-2-7区 混貝土層	
171	土器片円盤	5.1	5.2	1.3	27.2	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	黒褐	後期後葉精製深鉢胴部片 周縁部打ち欠き	KB5-3-16区 下層	
172	土器片円盤	3.7	4.2	0.5	13.5	長石・石英	黒褐	深鉢胴部片 周縁部打ち欠き	KC7-1-13区 混貝土層	
173	土器片円盤	4.2	3.9	0.8	15.2	長石・石英・赤色 粒子	褐灰	晩期前葉精製深鉢胴部片 周縁部打ち欠き	KC6-1-16区 純貝層下層	
174	土器片円盤	4.2	4.6	1.0	22.6	長石・石英・雲母	明赤褐	晩期前葉精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC6-4-12区 純貝層上層	
175	土器片円盤	5.7	5.8	0.7	28.1	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	深鉢胴部片 周縁部打ち欠き	KB7-3-9区 下層	
176	土器片円盤	4.4	4.5	1.0	20.2	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	黒褐	後期後葉精製深鉢胴部片 周縁部打ち欠き	KC6-4-5区 純貝層下層	
177	土器片円盤	4.1	4.6	0.8	17.3	長石・石英・雲母	にぶい褐	後期中葉粗製深鉢胴部片 周縁部研磨	KC6-4-3区 純貝層下層	
178	土器片円盤	4.8	5.3	1.1	28.4	長石・石英・赤色 粒子	にぶい赤褐	晩期前葉精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC5-4-8区 純貝層下層	
179	土器片円盤	4.9	5.6	1.4	34.2	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	明赤褐	晩期前葉精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC5-1-3区 混貝土層	
180	土器片円盤	4.7	4.6	0.8	17.9	長石・石英	にぶい橙	深鉢胴部片 有孔 周縁部研磨	KC7-3-10区 下層	
181	土器片円盤	3.3	3.2	0.7	8.2	長石・石英・針状 物質	褐灰	後期後葉粗製深鉢胴部片 周縁部研磨	KC7-3-7区 純貝層上層	
182	土器片円盤	4.9	4.7	2.5	36.4	長石・石英	褐灰	安行2式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KB6-3-13区 下層	
183	土器片円盤	4.8	4.6	0.8	19.3	長石・石英・雲母	橙	深鉢胴部片 周縁部打ち欠き→研磨	KC5-2-11区 下層	
184	土器片円盤	5.6	5.0	1.2	(33.4)	長石・石英	灰黄褐	安行2式精製深鉢胴部片 周縁部打ち欠き	KC6-2-1区 下層	
185	土器片円盤	6.2	5.2	1.3	44.6	長石・石英	にぶい橙	安行3a式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC6-4-4区 下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
186	尖頭器	(4.2)	(1.2)	(0.9)	(3.6)	頁岩	木ノ葉形 基部欠損	KC6-2-8区 純貝層上層	PL102
187	石鏃	2.1	1.7	0.5	1.5	黒曜石	平基無茎鏃	KC5-2-11区 純貝層下層	PL102
188	石鏃	(2.2)	1.1	0.5	(0.8)	瑪瑙	凸基有茎鏃	KB5-3-12区 混貝土層	PL102
189	石鏃	(1.8)	1.4	0.6	(1.0)	瑪瑙	平基有茎鏃 先端部・茎部欠損	KC6-1区 x	PL102
190	石鏃	2.9	1.3	0.7	1.8	頁岩	異形 凸基有茎鏃	KC6-2-7区 混貝土層	PL102
191	石鏃	2.6	1.6	0.4	1.0	チャート	凹基無茎鏃	KC6-1-10区 純貝層上層	PL102
192	石鏃	(2.0)	1.9	0.3	(1.1)	チャート	凹基無茎鏃 先端部欠損	KC6-2-12区 混貝土層	PL102
193	石鏃	(3.1)	1.2	0.7	(2.0)	チャート	凸基鏃 基部欠損	KC7-3-4区 混貝土層	PL102
194	石鏃	(2.6)	1.4	0.6	(1.5)	チャート	凸基有茎鏃 基部欠損	KC6-1-9区 純貝層下層	PL102
195	石鏃	2.2	1.4	0.4	0.9	チャート	凸基有茎鏃	KC7-3-2区 混貝土層	PL102
196	石鏃	(2.2)	1.5	0.6	(1.6)	チャート	凸基有茎鏃 先端部・基部欠損	KC6-2-5区 純貝層上層	PL102
197	石鏃	(2.1)	1.3	0.7	(1.4)	チャート	凸基有茎鏃 基部欠損	KB5-3-8区 混貝土層	PL102
198	石鏃	(2.7)	1.5	0.5	(1.4)	頁岩	凸基有茎鏃 先端部・基部欠損	KC6-2-3区 混貝土層	PL102
199	敲石	7.6	3.6	2.2	116.9	角閃岩	磨製石斧転用 旧刃部・側面敲打痕	KC5-1-4区 純貝層上層	PL102
200	石皿	19.6	(11.5)	3.8	(134.1)	雲母片岩	表裏面磨痕→凹痕1か所	KC6-1-10区 純貝層上層	
201	磨石	(9.2)	(7.1)	4.6	(466.1)	安山岩	表裏面磨痕	KB7-3-6区 下層	
202	磨石	8.9	6.5	4.1	310.0	デイサイト	表裏・側面磨痕	KC5-4-1区 純貝層下層	
203	磨石	(8.0)	(7.3)	(7.6)	(518.4)	安山岩	表裏面磨痕	KC6-1-10区 混貝土層	
204	磨石	(5.9)	(6.0)	(5.3)	(183.9)	安山岩	表裏面磨痕	KC6-1-12区 混貝土層	
205	凹石	13.0	6.6	3.9	546.9	変成花崗岩	表裏面磨痕→敲打痕	KC6-3-3区 下層	
206	砥石	5.6	4.5	4.2	103.7	砂岩	螺旋状の砥痕	KB6-3-9区 純貝層下層	PL102
207	砥石	3.6	4.4	3.5	53.0	砂岩	線状の砥痕	KC6-4-8区 純貝層下層	PL102

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
208	砥石	(9.6)	(9.7)	(3.4)	(226.2)	砂岩	線状の砥痕	KC6-2-11区 下層	
209	砥石	(4.6)	3.4	1.7	(31.7)	砂岩	表裏面砥痕	KC5-1区 x	
210	砥石	(4.8)	3.2	0.9	(16.7)	砂岩	表裏・側面砥痕	KB6-3-15区 純貝層下層	
211	砥石	(6.7)	(3.9)	2.4	(63.7)	砂岩	表裏・側面砥痕	KC6-1-1区 下層	
212	垂飾	1.3	0.8	0.5	0.8	翡翠	孔径0.3～0.5cm 一方向からの穿孔 研磨整形	KC6-2-15区 純貝層上層	PL102
213	石棒	(9.0)	4.7	(2.0)	(111.3)	粘板岩	表面研磨痕	KC6-3-8区 純貝層上層	
214	石棒	(8.2)	3.7	3.0	(145.5)	粘板岩	未成品 表面敲打痕	KC6-4-4区 純貝層下層	
215	刺突具	(6.1)	1.0	0.8	(2.7)	獸類四肢骨	研磨整形 基部欠損	KB6-3-16区 純貝層下層	PL102
216	刺突具	(3.2)	0.5	0.4	(0.4)	獸類四肢骨	研磨整形 基部欠損	KB5-4-7区 混貝土層	
217	牙鏃	(3.0)	1.5	0.5	(1.2)	イノシシ歯	先端部欠損 一方向からの穿孔 研磨整形	KC6-1-5区 下層	PL102
218	骨鏃	2.5	1.0	0.3	1.2	鹿角 _カ	剥離整形	KB6-4-15区 下層	PL102
219	小玉	0.8	0.8	0.3	0.1	獸骨 _カ	一方向からの穿孔 研磨整形	KB6-3-14区 混貝土層	PL102
220	垂飾	(2.5)	(1.4)	0.3	(0.5)	獸骨	二方向からの穿孔 孔径0.3～0.4cm 縁端部に刻み 研磨整形	KC6-2-5区 混貝土層	PL102
221	簪	(7.0)	(1.3)	(1.2)	(4.3)	獸類四肢骨	端部欠損 研磨整形 赤彩	KC6-1-8区 純貝層上層	PL102
222	簪	(5.7)	(1.1)	1.0	(3.1)	獸類四肢骨	端部欠損 研磨整形	KC6-1-5区 純貝層下層	PL102
223	簪	(1.3)	0.6	0.5	(0.3)	獸類四肢骨	端部欠損 研磨整形	KC6-2-7区 純貝層下層	
224	簪	(1.5)	0.8	0.8	(0.6)	獸類四肢骨	端部欠損 研磨整形	KC5-2-8区 混貝土層	
225	不明骨製品	(4.9)	2.2	1.2	(4.4)	獸類四肢骨	側縁部に刻み 研磨整形	KC6-1-6区 純貝層下層	PL102
226	貝刃	(7.7)	(5.7)	(1.8)	(29.7)	ハマグリ	腹縁部に剥離痕	KC6-1-13区 下層	PL102
227	貝刃	7.2	(5.0)	(1.7)	(23.0)	ハマグリ	腹縁部に連続する剥離痕	KB6-4-5区 純貝層下層	PL102
228	貝刃	6.5	5.1	1.7	(18.8)	ハマグリ	腹縁部に連続する剥離痕	KC5-2-12区 純貝層上層	
229	貝刃	5.0	4.4	1.3	(10.0)	ハマグリ	腹縁部に連続する剥離痕	KC6-1-13区 混貝土層	
230	小玉	0.8	0.8	0.3	0.3	サルボウ属	孔径0.3cm 二方向からの穿孔	KC6-2-13区 純貝層下層	PL102
231	小玉	0.6	0.6	0.2	0.1	サルボウ属	孔径0.2cm 一方向からの穿孔	KC6-1-8区 純貝層上層	PL102
232	管玉	(1.9)	0.6	0.7	(0.5)	ツノガイ	端部欠損 研磨整形	KC5-2-10区 純貝層下層	
233	垂飾	(1.7)	(2.2)	0.3	(1.0)	サルボウ属	両端部欠損 孔径0.2cm 二方向からの穿孔 研磨整形	KC7-1-13区 混貝土層	PL102
234	貝輪	7.5	(5.7)	2.3	(23.1)	サルボウ属	未成品 打ち欠きによる穿孔後、研磨	KC6-2-9区 純貝層下層	PL102
235	貝輪	(8.2)	(4.7)	1.6	(11.4)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC6-1区 x	PL102
236	貝輪	7.0	(4.7)	(1.8)	(16.2)	サルボウ属	未成品 殻頂部～腹部打ち欠き後、研磨	KC6-3-4区 下層	PL102
237	貝輪	5.9	(4.5)	1.6	(13.4)	サルボウ属	未成品 殻頂部～腹部打ち欠き後、研磨	覆土中	
238	貝輪	(5.8)	(4.3)	(1.2)	(11.7)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC6-2-11区 純貝層上層	PL102
239	貝輪	(5.9)	(4.3)	0.5	(4.8)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC6-1-1区 混貝土層	
240	貝輪	(4.9)	(4.7)	1.1	(4.8)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC6-1-3区 純貝層下層	
241	貝輪	(4.8)	(4.1)	0.9	(4.3)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KB6-4-16区 混貝土層	
242	貝輪	(3.9)	(3.9)	1.2	(5.4)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KB6-4-6区 下層	
243	貝輪	(4.5)	(3.4)	1.3	(6.2)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC6-2-10区 純貝層上層	
244	貝輪	(4.9)	(3.7)	0.9	(3.8)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC6-1-8区 下層	
245	貝輪	(4.4)	(4.3)	1.0	(6.7)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KB5-3-7区 混貝土層	
246	貝輪	(4.2)	(2.2)	0.9	(3.4)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC7-1-10区 混貝土層	
247	貝輪	5.7	(3.9)	1.2	(8.1)	サルボウ属	未成品 殻頂部～腹部打ち欠き後、研磨	KC6-2-4区 混貝土層	
248	貝輪	(4.3)	(4.1)	1.0	(7.8)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KB6-4-15区 混貝土層	
249	貝輪	(4.0)	(3.9)	1.0	(4.3)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KB6-4-13区 混貝土層	
250	貝輪	(4.6)	(2.3)	(0.7)	(3.8)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC6-2-2区 混貝土層	
251	貝輪	(2.5)	(4.9)	(0.6)	(3.3)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KC6-1区 x	
252	貝輪	(5.5)	(2.7)	0.6	(4.4)	サルボウ属	未成品 研磨整形	KB5-3-15区 下層	
253	貝輪	(6.4)	(3.9)	(0.8)	(10.8)	ハマグリ	未成品 研磨整形	KB6-4-16区 混貝土層	
254	有孔貝製品	3.3	3.0	1.0	3.2	ヤマトシジミ	孔径1.3cm 一方向からの穿孔	覆土中	
255	有孔貝製品	3.5	3.3	1.1	4.8	ヤマトシジミ	孔径0.5cm 一方向からの穿孔	KB5-4-13区 下層	

第224表 第12号斜面貝層出土貝殻集計表

腹足綱	点数				重量 (g)					備考
アカニシ	101				3608.0					
アラムシロガイ	109				56.4					
アワビ	2				160.3					
イボニシ	6				5.9					
ウミニナ	306				241.3					
ウラジロベッコウマイマイ	1				0.3					
オオタニシ	46				150.9					
カノコガイ	206				134.7					
カワアイ	171				146.6					
カワザンショウガイ	3				2.1					
カワニナ	84				89.8					
キサゴ	13				18.5					
キセルガイ	78				36.1					
キビガイ	2				1.2					
コカモガイ	1				0.4					
チリメンカワニナ	6				6.8					
ツノガイ	12				8.4					
ツメタガイ	-				21.9					破片のみ
ネコガイ	13				10.7					
ヒロクチカノコ	44				40.7					
ヘナタリ	17				14.8					
ヘビガイ	1				2.3					
ホソオカチョウジガイ	1				0.7					
マイマイ類	19				40.7					
マテガイ	-				2.2					破片のみ
ムギガイ	6				3.2					
ヤマグルマガイ	15				11.2					
小計	1,263				4,816.1					
二枚貝綱	左殻	右殻	左右不明	合計	左殻	右殻	左右不明	破片	合計	備考
アカガイ	4	1	-	5	19.4	1.4	-	35.9	56.7	
アサリ	2	8	-	10	4.2	14.0	-	16.3	34.5	
イシガイ	126	106	77	309	958.9	797.8	218.2	1,199.9	3,174.8	
イタボガキ	-	-	1	1	-	-	18.1	1.2	19.3	
イタヤガイ	-	-	4	4	-	-	11.2	9.9	21.1	
ウチムラサキ	-	-	-	-	-	-	-	21.7	21.7	破片のみ
ウネナシトマヤガイ	1	3	-	4	6.8	4.0	-	11.5	22.3	
オオノガイ	4	3	-	7	4.0	22.0	-	43.7	69.7	
オキシジミ	102	92	-	194	311.1	276.1	-	44.6	631.8	
カガミガイ	-	-	1	1	-	-	5.7	-	5.7	
ゴイサギ	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.5	破片のみ
サルボウ	193	172	5	370	802.2	667.9	6.7	439.0	1,915.8	
シオフキ	1,015	908	112	2,035	1,760.0	1,530.9	107.1	360.8	3,758.8	
チョウセンハマグリ	2	2	2	6	63.0	29.1	42.0	131.2	265.3	
ナミマガシワ	-	-	2	2	-	-	2.2	2.4	4.6	
ハイガイ	3	2	-	5	14.9	4.9	-	16.0	35.8	
バカガイ	-	-	-	-	-	-	-	2.7	2.7	破片のみ
ハマグリ	12,108	12,154	179	24,441	32,747.5	32,835.8	120.2	12,792.8	78,496.3	
ベンケイガイ	-	-	-	-	-	-	-	2.0	2.0	破片のみ
マガキ	-	-	2	2	-	-	4.9	38.5	43.4	
マツカサガイ	1,313	1,082	626	3,021	1,631.9	1,320.7	382.1	1,408.7	4,743.4	
ヤマトシジミ	537,943	519,675	54,183	1,111,801	951,567.5	931,560.4	31,634.4	80,466.2	1,995,228.5	
小計	552,816	534,208	55,194	1,142,218	989,891.4	969,065.0	32,552.8	97,045.5	2,088,554.7	
総合計	1,143,481				2,093,370.8					

(6) 遺物包含層

当遺跡は、東側に桜川低地へ延びる谷津が位置し、北部と南部に谷津から派生する小支谷が入り込んでおり、これらの台地斜面部や谷部には遺物包含層が形成されている。これまでに、北部では平成 19 年度の調査 A 区で第 1～3 号トレンチ（『第 325 集』所収）、南部では平成 19 年度の調査 B 区で第 1～7 号トレンチ（『第 325 集』所収）、平成 21 年度の調査 B 区で西部包含層・東部包含層（『第 364 集』所収）、平成 23 年度の調査 E 区で南部包含層（『第 368 集』所収）、東部では平成 22 年度の調査 G 区で北部を第 4 号遺物包含層、南部を第 5 号遺物包含層（『第 397 集』所収）として、それぞれ調査が行われている。

今回の調査では、調査 K・L・P 区が平成 22 年度の調査 G 区に隣接しており、北東側の調査 P 区は第 4 号遺物包含層、南東側の調査 K 区は第 5 号遺物包含層とし、東側の調査 L 区は、両包含層が合流して不可分な状況であったため、第 4・5 号遺物包含層と呼称した。また、調査 C 区で確認した遺物包含層は、調査 B・K 区で確認した小支谷の延長部分にあたることから、一連の谷の覆土として捉え、第 5 号遺物包含層とした。

本報告では、台地上の調査 C 区と斜面部から低地部にかけて連続する調査 K・L・P 区に分けて記述し、調査 K・L・P 区については、堆積状況に触れた上で、層位（第 I～V 層）ごとに、第 4 号遺物包含層（P 区）、第 4・5 号遺物包含層（L 区）、第 5 号遺物包含層（K 区）の順に解説する。

ア) 調査 C 区

第 5 号遺物包含層（第 280～284 図 第 225・226 表 PL103）

位置 調査 C 区の南部、標高 24～26 m の台地上から台地縁辺部にかけて位置している。

確認状況 調査区南部の F 2 f6～F 3 i5 区には、調査 B・K 区から続く東西方向の谷が延びており、黒褐色を呈する砂質土が堆積している。また、調査区南東部の E 3 j5～F 3 f6 区には、東西方向の谷から北方向に派生した小谷が入り込んでおり、遺構覆土と近似した暗褐色土が堆積している。暗褐色土は、当初、竪穴建物跡や土坑群、斜面貝層等が重複していると捉えて個別に調査したが、調査の進行に伴い、小谷の覆土と判断した。

重複関係 調査区南部の谷は、覆土が第 31 号竪穴建物跡の上部に堆積している。調査区南東部の小谷は、覆土の上部に第 2 号斜面貝層が形成されており、第 1613～1617・1619・1628 号土坑に掘り込まれている。その他の土坑群については、谷地形が埋没する過程で形成されたと考えられるが、明確な新旧関係は不明である。

調査方法 遺構に伴わない遺物について、4 m 四方の基本グリットごとに取り上げた。

分布範囲と堆積状況 調査区南部の谷は、東方向（S - 83° - E）に延びており、調査区域は谷の北岸斜面部にあたる。確認できた規模は、長さ 38.2 m、幅 11.4～22.0 m で、東・西部及び南部は調査区域外へ延びている。深さは 38～158 cm である。覆土は、黒褐色を呈する砂質土で、基本層序の遺物包含層の第 I 層に相当している。黒褐色土の下部では常総粘土層が露出しており、遺物包含層の第 II～V 層に相当する土層やローム層は確認できなかったことから、黒褐色土が堆積する以前は、自然営力による土砂の流出が優勢であったと考えられる。調査区南東部の小谷は、南方向（S - 11° - E）に延びている。E 3 j5 区付近を谷頭として、南北約 25 m、東西約 13 m の範囲に広がり、南部の谷に合流している。深さは最深部で約 40 cm である。覆土は、ロームや焼土、炭化物の粒子を少量含む暗褐色土である。

遺物出土状況 縄文土器 7,833 点（148,271 g）、土師器 3 点（坏（古墳）1、甕 2）、須恵器 1 点（甕）、土師質土器 12 点（小皿）、陶器 6 点（碗 1、鉢 4、瓶 1）、土製品 72 点（耳飾り 1、土偶 3、土器片錘 1、土器片円盤 67）、石器・石製品 23 点（尖頭器 1、磨石 12、敲石 1、凹石 7、砥石 1、石剣 1）、剥片 19 点（頁岩 1、黒曜石 3、チャート 15）、瓦 4 点（平瓦）が出土している。調査区南部の谷からは、縄文土器片の他、近世以



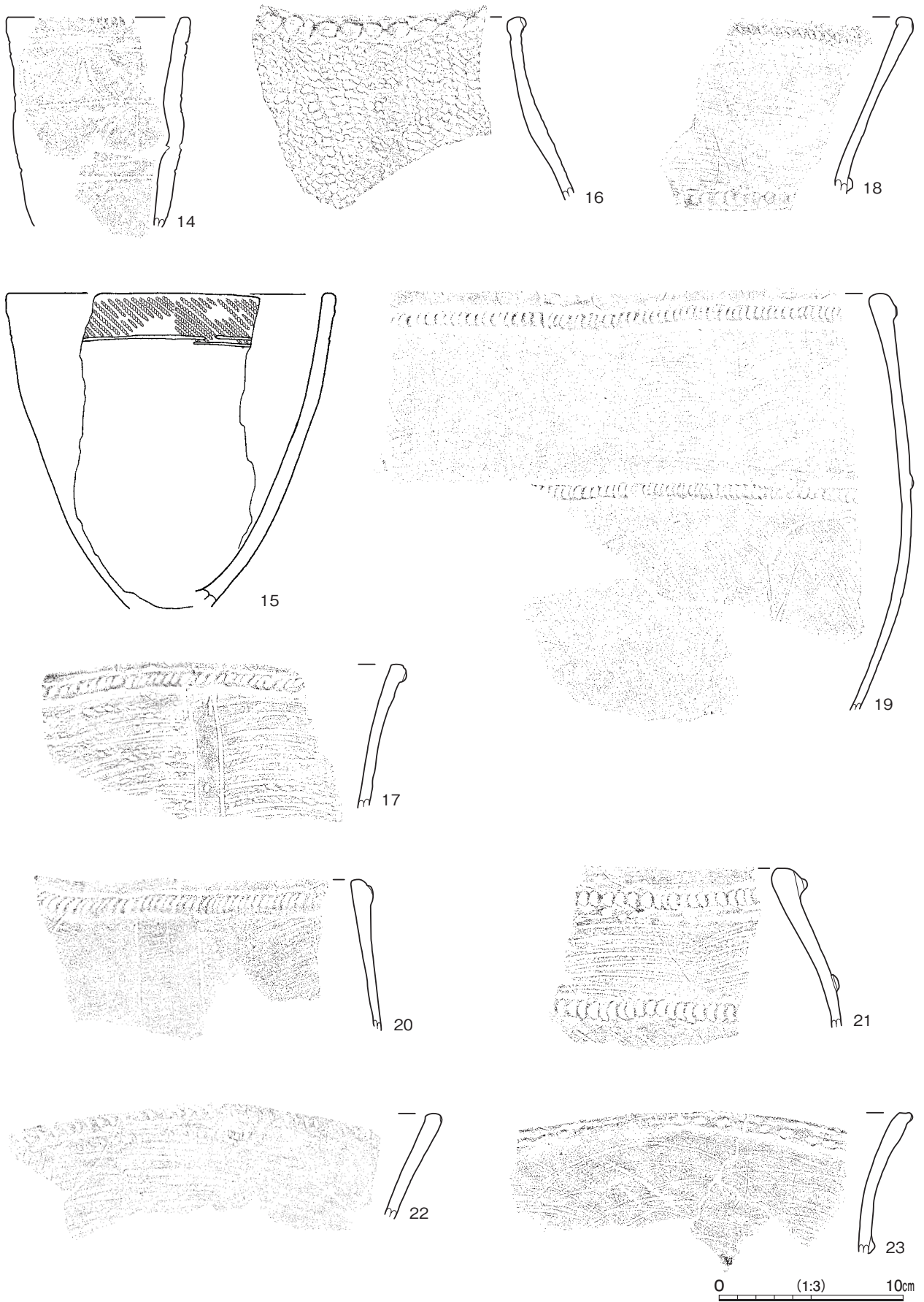
第 280 図 第 5 号遺物包含層 (C 区) 実測図

降の陶器片や瓦が出土している。遺物量は少なく、いずれも摩滅した細片である。一方、調査区南東部の小谷からは、前期前半の黒浜式や称名寺 I 式～安行 3 c 式の縄文土器片などが出土しており、曾谷式～安行 3 b 式のもの为主体である。谷頭付近の F 3 a5・a6 区に集中しており、接合関係が認められる大型破片もあることから、直接投棄されたものと考えられる。

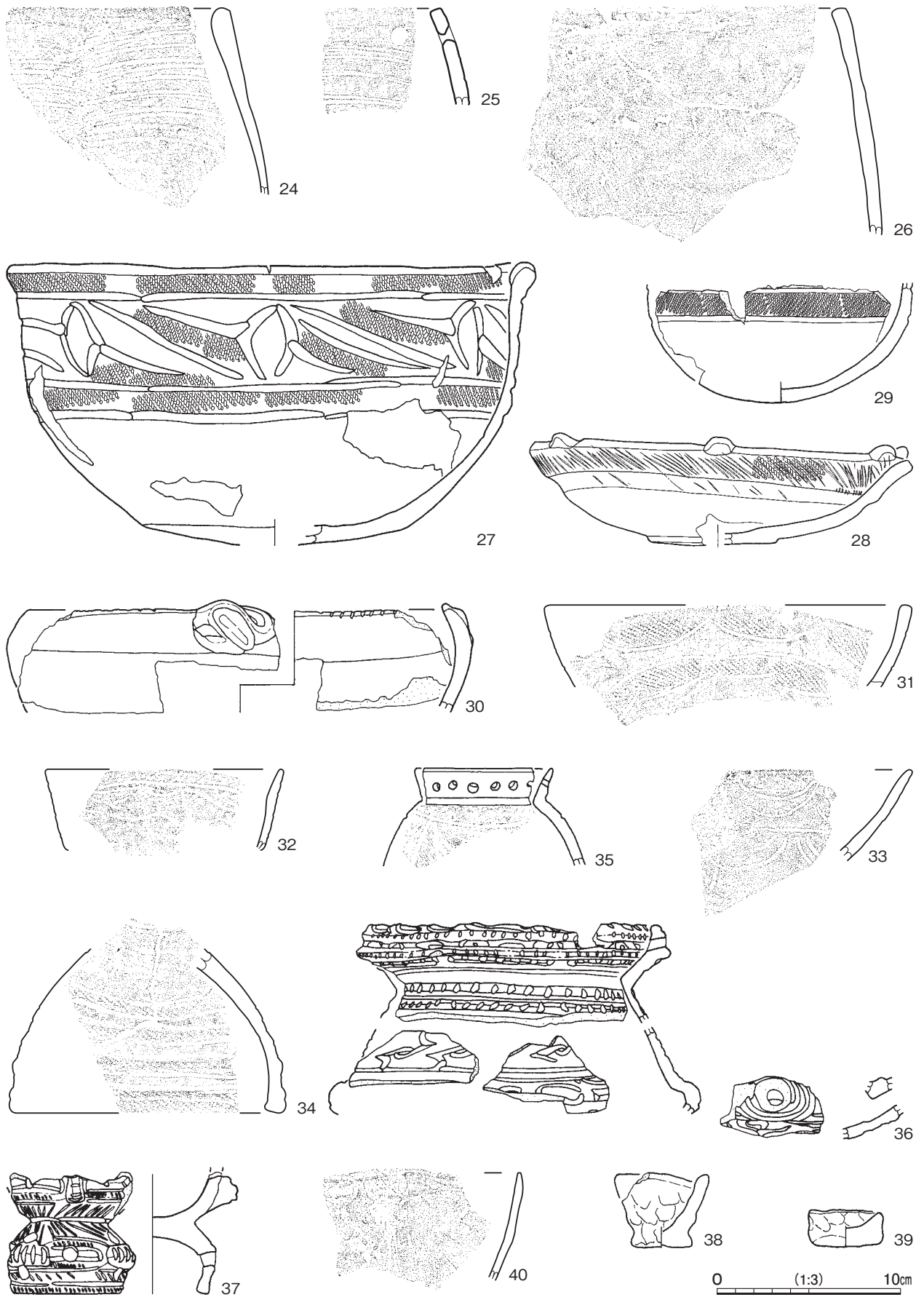
所見 調査区南部の谷は、堆積状況や出土遺物から近世以降に堆積したと考えられ、古い土層は流出している状況がみられた。調査区南東部の小谷は、重複している第 1357・1373・1437・1464・1565・1578・1598・1610・1617 号土坑の壁面 (PL24・26～28・30～32・34 参照) で、関東ローム層や常総粘土層が急勾配で傾斜している様子が観察でき、形成時期が第四紀更新世にさかのぼる。出土土器の時期は、後期後葉～晩期前葉 (曾谷式～安行 3 b 式) のものが混在していることから、集落が営まれていた縄文時代にも谷地形が存在し、土器等の廃棄行為を伴いながら埋積が進行したと考えられる。



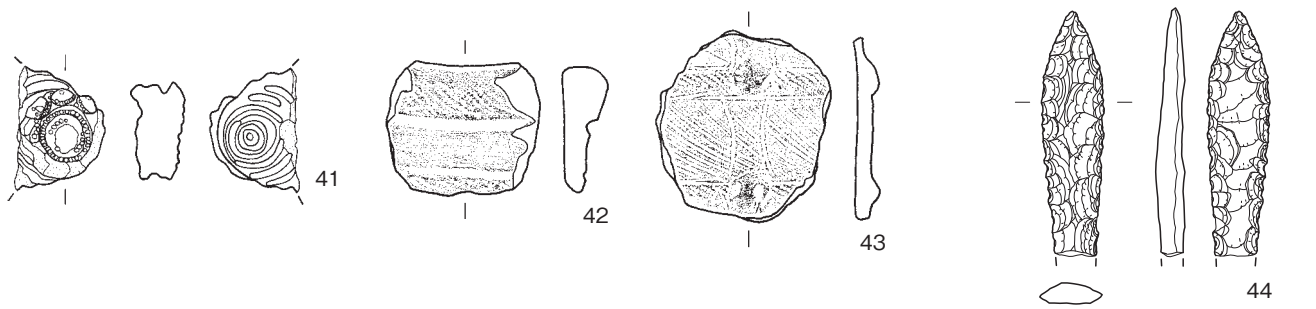
第 281 图 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (1)



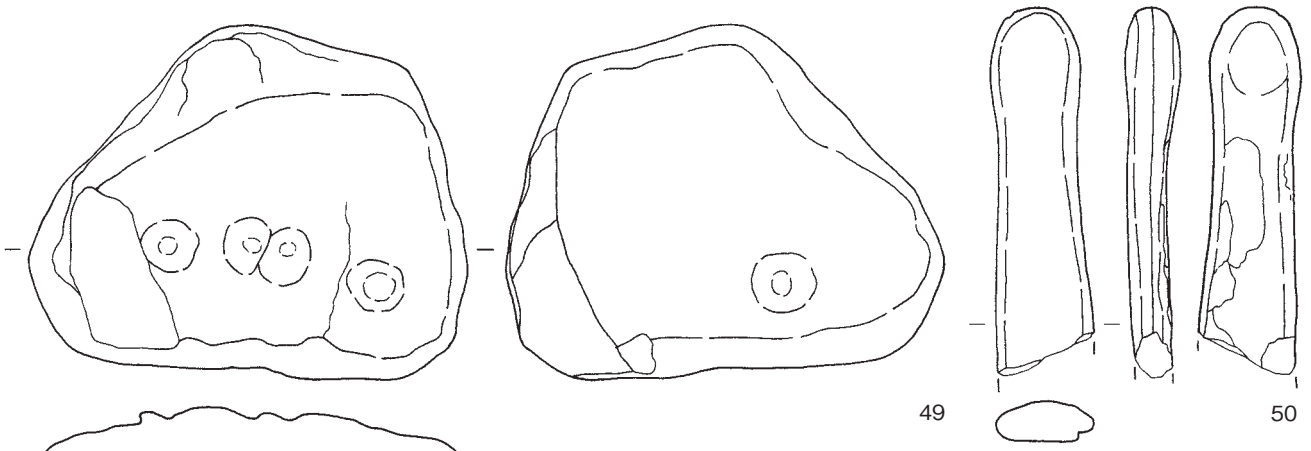
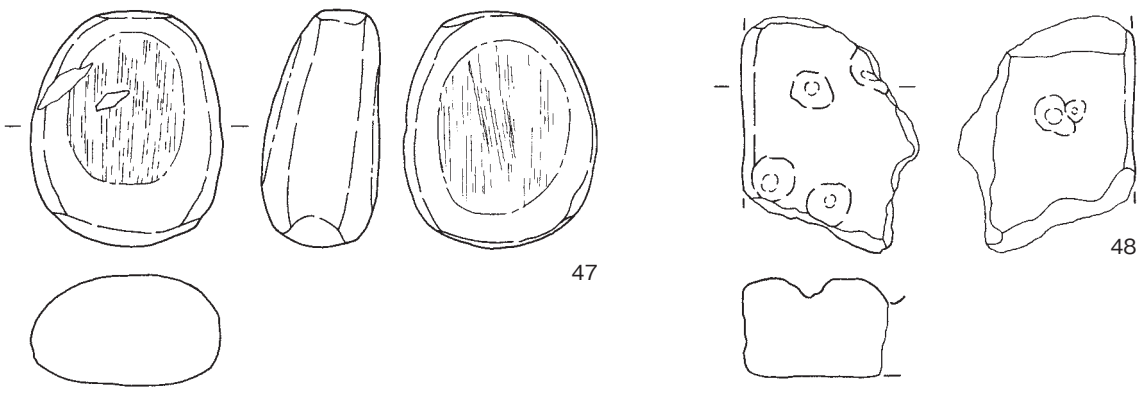
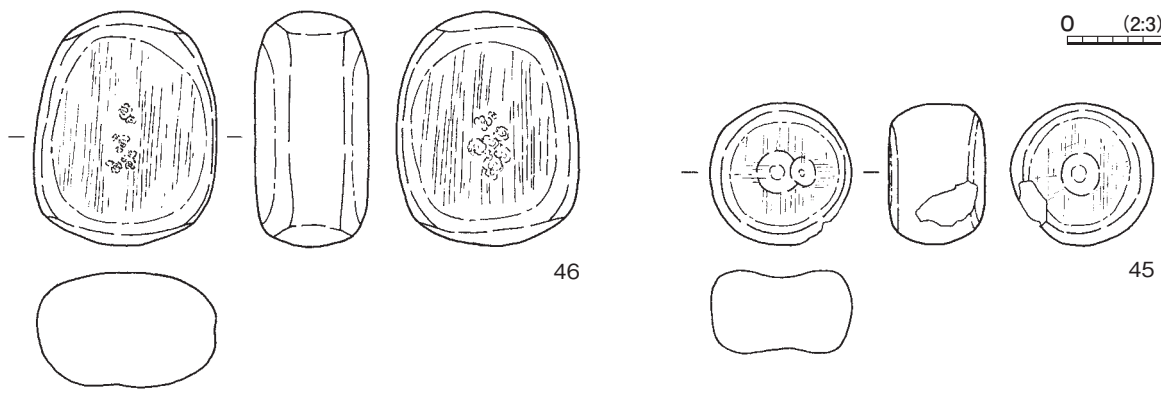
第 282 図 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (2)



第 283 图 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物実測図 (3)



0 (2:3) 3cm



0 (1:3) 10cm

第284图 第5号遺物包含層(C区)出土遺物実測図(4)

第 225 表 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土未掲載土器集計表

群	第 3 群			第 4 群		第 5 群			第 6 群			第 7 群				第 8 群		
類	前期前半	称名寺 I 式	称名寺 II 式	堀之内 1 式	堀之内 2 式	加曾利 B 1 式	加曾利 B 2 式	加曾利 B 3 式	曾谷式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	安行 3 b 式	姥山 II 式	安行 3 c 式	前浦式	後期 異系統土器	晩期 異系統土器
点数	19	1	13	12	17	8	4	1	26	12	21	17	8	15	3	1	2	4
重量 (g)	330	26	384	883	368	117	144	19	904	618	843	760	290	255	80	28	43	51

第 226 表 第 5 号遺物包含層 (C 区) 出土遺物一覧 (第 281 ~ 284 区)

群	第 9 群						第 10 群			第 11 群						第 12 群	第 13 群	合 計				
類	沈線文	刺突文	磨消文	隆起帯 縄文	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢	鉢	台付鉢	異形台付 土器	壺		ミニチュア 土器	把手	製塩土器	細片不明
点数	326	382	584	320	217	294	20	1,673	789	2,225	95	91	35	1	9	2	3	2	2	539	-	7,793
重量 (g)	5,239	7,338	9,007	6,634	6,001	7,339	367	27,037	11,995	30,919	4,080	3,077	1,101	17	254	35	64	40	48	6,131	15,405	148,271

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほ か	出土位置	備 考
1	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	波状の口縁部に3条の爪形文 RL縄文	F 3 e 6 区	前期中葉
2	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	櫛歯状工具による刺突列を充填したJ字文	F 3 d 5 区	称名寺 II 式
3	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	充填刺突文によるJ字文	F 3 c 6・c7 区	称名寺 II 式
4	縄文土器	深鉢	[23.6]	23.3	3.8	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部2段のRL充填縄文帯→縦帯付着 頸部RL充填の弧線文 胴部RL充填の交互弧線文	F 3 a 6 区	70% PL103 曾谷式
5	縄文土器	深鉢	[26.0]	(16.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	口縁部2段のRL隆起帯縄文 頸部RL充填弧線文 胴部RL充填の交互弧線文 内面磨き	F 3 c 5 区	10% PL103 安行1式
6	縄文土器	深鉢	[21.6]	(10.2)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部2段のRL隆起帯縄文 頸部RL充填弧線文 胴部RL充填の交互弧線文 内面磨き	F 3 a 5 区	20% 安行1式
7	縄文土器	鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部に4段の刻み隆帯と2段の縦帯 内面磨き	F 3 d 5 区	安行1式
8	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	瓢形 口縁部に2段のRL充填縄文帯 間に押し引き状の刺突文 頸部RL充填の弧線文 内面磨き	F 3 c 6・c7 区	10% 曾谷~安行1式
9	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口頸部に刻み隆帯による三角形区画文 波頂部に刻みのある縦長瘤 文様起点部に豚鼻瘤 頸部矢羽根状沈線文	F 3 c 5 区	安行2式
10	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部に刻み隆帯による三角形区画文 波頂部に刻みのある縦長瘤 文様起点部に豚鼻瘤 頸部矢羽根状沈線文	F 3 e 5 区	安行2式
11	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口唇部にヘラ状工具の刻み 2個1単位の粘土粒瘤 頸部LR充填の入り組み帯状文 入り組み部に三叉文ミニチュア 瓢形 口縁部刻み 頸部にLR充填の遮光器状弧線文	F 3 d 5・d6 区	瘤付第4段階
12	縄文土器	深鉢	[6.0]	(2.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	広口壺状 口唇部に二瘤の突起 口縁部外傾 RL充填 頸部RL充填の菱形区画文と縦位の交互弧線文	F 3 d 6 区	安行3 b 式
13	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	小型 口唇部刻み 2段の細密沈線文 無文部磨いているが全体的に雑 内面ナデ	F 3 d 6 区	10% 安行3 b 式
14	縄文土器	深鉢	[10.0]	(11.3)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部RL縄文帯 胴部削り 内面ナデ	F 3 e 6 区	20% PL103 安行3 b 式
15	縄文土器	深鉢	[18.0]	(17.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面LR縄文→口縁部紐線貼付 内面磨き 口縁部に沈線	F 3 c 5 区	後期中葉
16	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	LR地縄文→口縁部紐線貼付→頸部縦位区画・区画内磨き 内面ナデ 口縁部に凹線	F 3 a 6 区	後期後葉
17	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	口頸部横位の条線→口縁部刻み・胴部屈曲部紐線貼付 内面磨き	F 3 a 5 区	後期後葉
18	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口頸部横位・胴部縦位の条線→紐線貼付→頸部縦位区画・区画内磨き 内面ナデ	F 3 c 5 区	20% PL103 後期後葉
19	縄文土器	深鉢	-	(22.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部横位の条線→紐線貼付→縦位区画・区画内磨き 内面ナデ	F 3 d 5 区	後期後葉
20	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部横位・胴部縦位の条線→紐線貼付 内面ナデ	F 3 d 6 区	後期後葉~晩期前葉
21	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口頸部横位・胴部縦位の条線→紐線貼付 内面ナデ	F 3 a 5 区	後期後葉
22	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口頸部横位の条線→口唇部刻み 内面ナデ	F 3 a 6 区	後期後葉
23	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口頸部横位の条線→口縁部に細い紐線貼付 胴部紐線文 内面磨き	F 3 d 6 区	晩期前葉
24	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口頸部横位の条線 内面ナデ	F 3 d 6 区	晩期前葉
25	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部横位の条線 焼成後穿孔1か所 内面ナデ	E 3 j 5 区	後期後葉
26	縄文土器	深鉢	-	(12.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部指頭ナデ 胴部縦位の削り 内面ナデ	F 3 e 5 区	晩期前葉
27	縄文土器	鉢	28.2	15.4	14.4	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部RL縄文帯 頸部RL充填の入り組み三叉文 胴部・底部削り 内面ナデ SM 2 10 と接合	F 3 d 6 区	70% PL103 安行3 b 式
28	縄文土器	浅鉢	20.8	6.2	6.9	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口唇部に7単位の瘤突起 口縁部RL縄文→細密沈線文 口縁部下凹線 胴部削り 内面磨き	F 3 c 6・c7・d6 区	70% PL103 安行3 b 式
29	縄文土器	鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	頸部にLR充填縄文帯 胴部削り 内面ナデ	F 3 d 6 区	20% 安行3 b 式
30	縄文土器	浅鉢	[23.0]	(5.7)	-	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	口唇部刻み 口縁部内屈 磨き C字状の隆帯貼付 胴部削り 内面磨き	F 3 c 6・c7 区	10% 後期中葉
31	縄文土器	浅鉢	[19.6]	(4.5)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部にRL充填弧線文 胴部にRL充填交互弧線文 内面磨き	F 3 a 5 区	10% 晩期前葉
32	縄文土器	浅鉢	[13.0]	(4.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部に沈線で入り組み文カ 無節L充填 内面ナデ	F 3 a 5 区	20% 安行3 b 式
33	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	2本1単位の沈線で2段の弧線文 内面ナデ	F 3 d 5 区	安行3 c 式
34	縄文土器	台付鉢	-	(8.9)	[14.8]	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	台部 下端面5条のRL隆起帯縄文 無文部磨き 内面ナデ	F 3 a 5 区	10% 安行1式
35	縄文土器	壺	[7.6]	(5.6)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外傾する口縁部に6か所の貫通孔 胴部LR充填の菱形文 内面ナデ	F 3 d 6 区	10% PL103 安行3 b 式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
36	縄文土器	注口土器	[15.8]	(11.6)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部B突起連係弧線文 透かし孔5孔 頸部・ 胴部に直線化した羊歯状文 胴・体部K字状文	F 3 d6 区	20% PL103 大洞C1式
37	縄文土器	異形台付 土器	-	(6.6)	6.0	長石・石英	黒褐	普通	鉢部～台部 刻み隆帯と縦長瘤で杵状文 鉢部下 ～台部上端斜条線	F 3 e5 区	60% PL103 安行2式
38	縄文土器	ミニチュア 土器	[5.0]	4.0	[3.2]	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	指頭によるナデ整形	F 3 c6・c7 区	50%
39	縄文土器	ミニチュア 土器	3.9	2.0	3.8	長石・石英・針状 物質	褐灰	普通	指頭によるナデ整形	F 3 c5 区	100%
40	縄文土器	製塩土器	-	(5.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部カット 外面縦位の削り 内面ナデ	F 3 a7 区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
41	土偶	(5.0)	(3.6)	(2.1)	(35.3)	長石・石英	にぶい黄橙	ミミズク形 左耳部 瘤と細かい刻みで耳飾り表現 背面は多重円文	F 3 a6 区	
42	土器片円盤	5.3	6.1	1.8	51.0	長石・石英・雲母	黒褐	安行2式平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	F 3 c5 区	
43	土器片円盤	7.3	7.0	1.0	44.4	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい赤褐	安行1式深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	F 3 c5 区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
44	尖頭器	(4.9)	1.3	0.6	(3.8)	黒色ガラス質安山岩	両面押圧剥離	F 3 a5 区	PL103
45	磨石	5.6	5.7	3.8	164.9	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	F 3 e5 区	
46	磨石	9.3	7.3	4.5	462.5	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 上下端部ざらつきのある摩耗痕 被熱	E 3 c7 区	
47	磨石	9.4	7.7	4.6	493.4	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面 上下端部ざらつきのある摩耗痕	覆土中	
48	凹石	(9.4)	(7.1)	3.9	(261.8)	安山岩	表裏面磨り面+凹痕 被熱	F 3 c5 区	
49	凹石	14.2	17.5	4.6	1674.1	雲母片岩	表裏面に凹痕	F 3 g3 区	
50	石剣	(14.6)	(4.1)	2.2	(172.8)	緑泥片岩	表裏・側面に敲打痕残す	F 3 e5 区	PL103

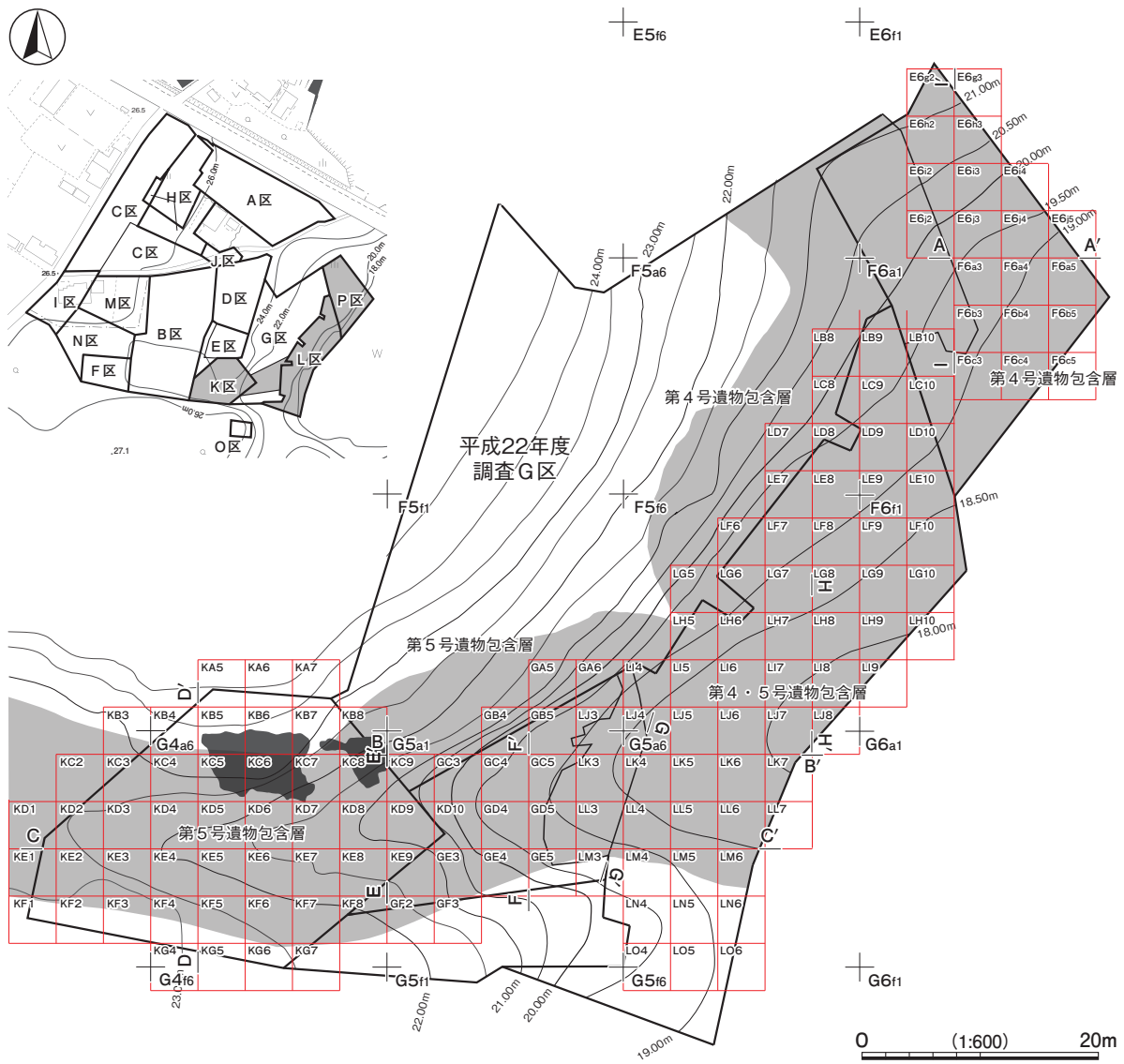
イ) 調査K・L・P区

い) 調査方法 (第285図)

調査K区は、中央部を東西方向に延びる谷が通っており、4m四方の基本グリッドが谷底の最深部を包括するように、既設の基本グリッドを北へ2m移設して調査を実施した。グリッドの呼称は、調査K区の北西部(F 4j3区の北西隅から北へ2mの点)を起点に、アルファベットと算用数字を用いて、北から南へA, B, C…、西から東へ1, 2, 3…とし、調査K区の「K」を付して、「KA1区」のように呼称した。掘り込みは、4m四方の基本グリッドごとに人工層位で15cmずつ掘り下げるグリッド法を採用し、上層から1x, 2x…と呼称して出土遺物を回収した。表土を除去した第I層から人力掘削で掘り込みを開始し、第IV層まで行った。第IV層は上部から約30cmまで掘り込んだところで、遺物がほとんど出土しなくなったことから調査を終了した。

調査L区は、調査K区の東側に位置し、調査K区から延びる谷が調査区南部を通っていることから、調査K区と同様、既設の4m四方の基本グリッドを北へ2m移設して調査を実施した。グリッドの呼称は、F 5b3区の北西隅から北へ2mの点を起点とし、調査L区の「L」を付して、「LA1区」のように呼称した。調査K区の調査成果から、第I・II層が中世以降の新しい堆積土と判断し、第III層の上面付近まで重機で除去作業を行った。第III層の検出作業で出土した遺物は第II層に帰属するものとし、第V層まで調査を行った。

調査P区は、調査L区の北東側に位置している。旧調査区のトレンチ等により、調査L区との境界が連続しなかったことから、既設の基本グリッドを使用した。調査K区の調査成果から、第I・II層は新しい堆積土と判断し、第III層の上面付近まで重機で除去作業を行った。第III層の検出作業で出土した遺物は第II層に帰属するものとし、第IV層まで調査を行った。第IV層は上部から約30cmまで掘り込んだところで、遺物がほとんど出土しなくなったことから調査を終了した。



第 285 図 調査K・L・P区グリッド設定図

ii) 堆積状況 (第 286 ~ 290 図)

調査 K・L・P 区では、台地斜面部から低地部にかけて遺物包含層が形成されており、第 I ~ V 層に大別できる。ここでは、各層の特徴について述べる。

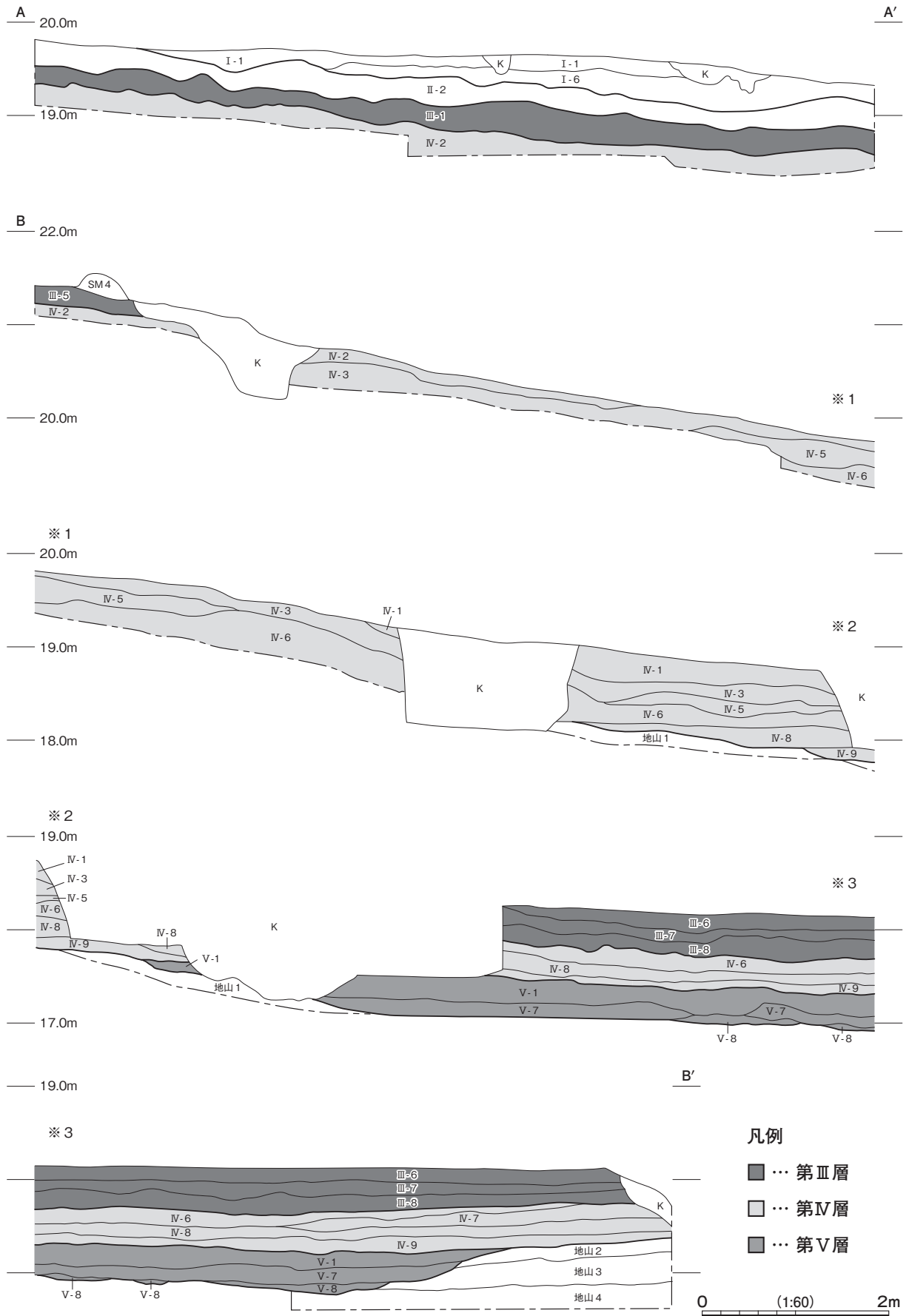
第 I 層 現代の耕作土の直下で確認できる。黒褐色を呈する砂質土で、ローム粒子を少量含み、粘性は普通で、斜面部の上位ではやや締まりがある。層厚は、8 ~ 56cm である。摩滅した縄文土器片や近世以降の陶磁器類が出土し、出土量は微量である。新しい時代の堆積土と判断し、調査 L・P 区では調査対象から除外した。

第 II 層 暗褐色を呈する砂質土で、ローム粒子を微量含み、粘性・締まりはともに普通である。層厚は、調査 K 区の谷部で 22 ~ 52cm である。摩滅した縄文土器片と古墳時代前期の土師器、奈良・平安時代の土師器と須恵器、中世の土師質土器と陶器などが出土しており、出土量は微量である。新しい時代の堆積土と判断し、調査 L・P 区では人力掘削による調査対象から除外した。

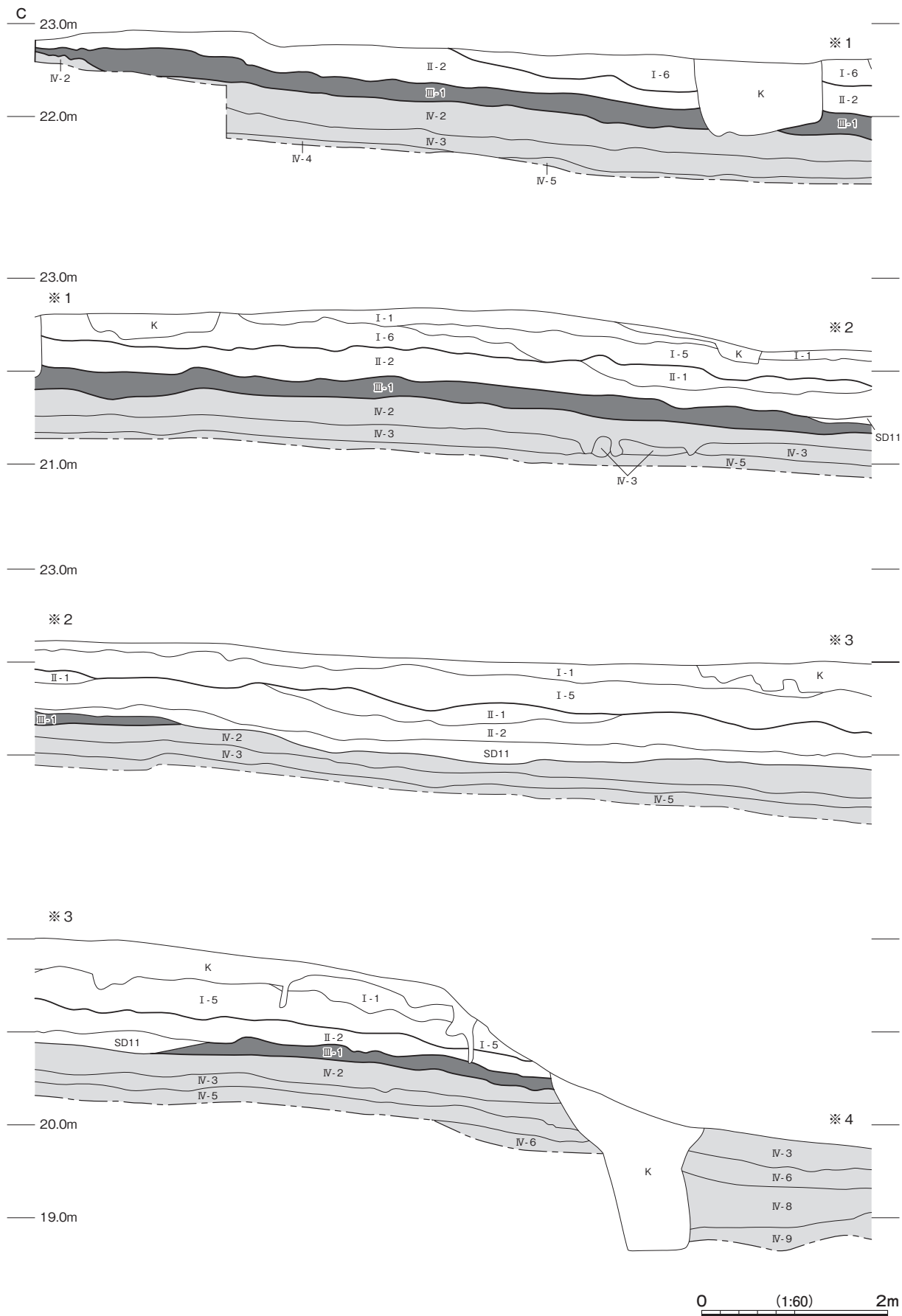
第 III 層 黒色を呈する粘質土層を主体とし、ローム粒子を微量含み、粘性はやや強く、締まりは普通である。調査 K・P 区の斜面部や谷部では層厚 18 ~ 39cm で、第 IV 層の旧地形を 30cm 前後の層厚で覆っている。調査 K 区の第 12 号斜面貝層の周辺には、後世に流出したと考えられる混貝土層 (第 III - 3 層) が確認できた。また、第 4 号斜面貝層の下部には、ほぼ同質の黒褐色粘質土 (第 III - 5 層) が認められ、包含層の形成過程において貝層が形成されたことを示している。調査 L 区の低地部では層厚 36 ~ 58cm で、標高が低くなるにしたがって層厚が厚くなっている。土層は 3 ~ 5 層に細分でき (第 III - 6 ~ 9 層)、砂粒が含まれ、粘性がより強くなり、締まりが弱くなることから、水成堆積の影響を受けていると考えられる。遺物は、縄文時代晩期の縄文土器片が中心で、出土量は非常に多く、特に、下位の第 IV 層との層界付近に集積した状態で出土している。

第 IV 層 10 層に細分でき、上位では褐色を呈する粘質土層で、粗 ~ 細砂を少量、ローム粒子と焼土粒子、炭化粒子を微量含んでいる。下位では、酸化した暗褐色粘質土やグライ化した灰黄褐色 ~ 灰色粘質土などが観察でき、層中には管状や帯状に鉄分の沈着があり、水成堆積の影響がみられる。層厚は 20 ~ 122cm で、斜面部から低地部へと移行する土層断面 F - F' ライン付近が最も厚く、低地部では第 III 層の浸食を受けている。遺物は後期初頭 ~ 晩期前葉の縄文土器片などが出土しており、第 III 層との層界付近に遺物が集積しているが、それより下位では少量で、下位ほど遺物量が少なくなる。調査 K・P 区では、本層の上部約 30cm について人力掘削による調査を行い、遺物がほとんど出土しなくなった段階で調査を終了した。

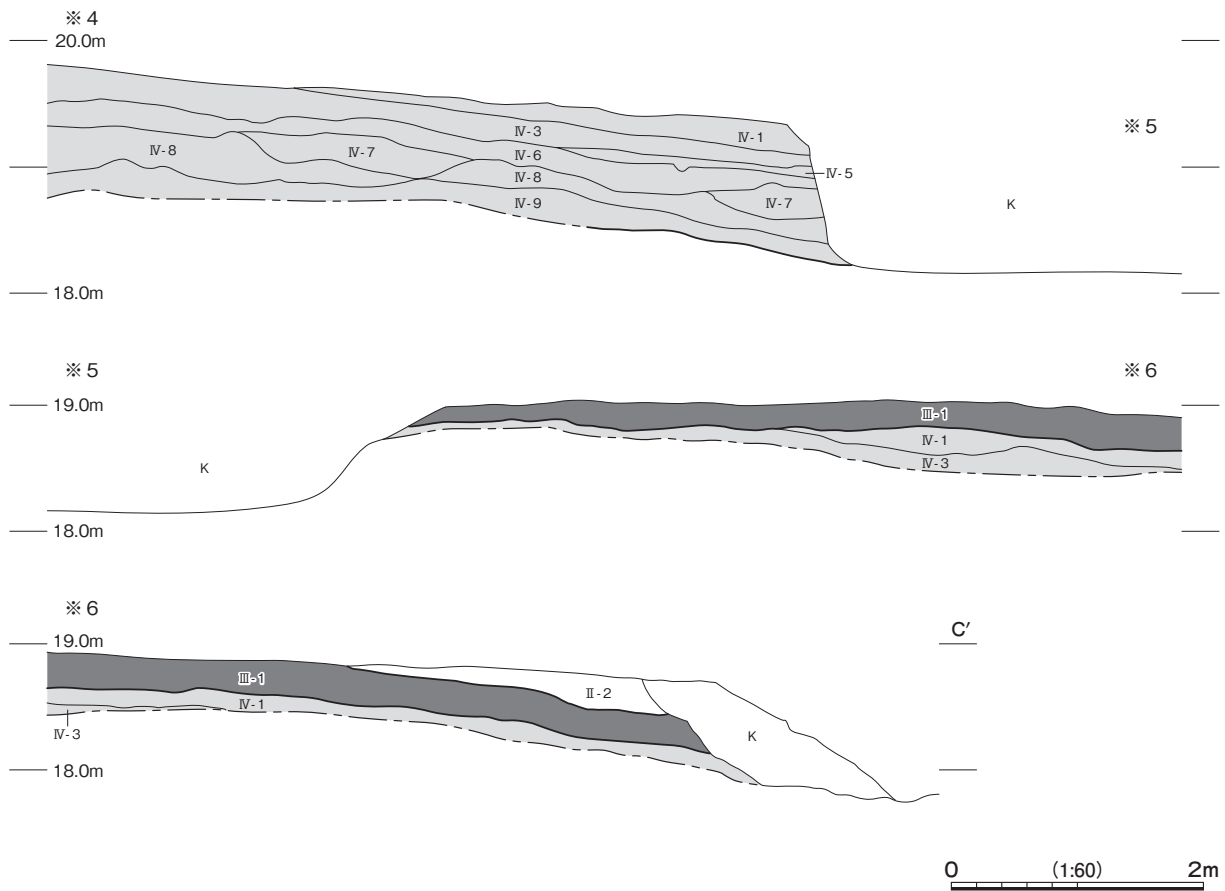
第 V 層 調査 L 区の低地部で確認した土層で、8 層に細分できる。上位には植物遺体を多量に含む黒色系の粘質土と黄褐 ~ 黄灰色の細砂が互層状に堆積しており、下位には黒褐色を呈する粘土層が堆積している。底面の砂礫層からは地下水の湧水が認められ、各層とも含水率が非常に高い状態であった。珪藻化石分析 (「第 3 章第 4 節 自然科学分析 4」参照) により、一時的に砂などが流れ込む湿地の状態、埋積が進むにつれて、次第に乾燥した状態へ変化したことが明らかになっている。層厚は 7 ~ 87cm で、標高が低くなるにしたがって層厚が厚くなっている。遺物は、後期前葉の縄文土器片や石器類が多量に出土しているほか、地下水の影響により消失を免れた漆器や木製品、編組製品、自然木や種子類が出土している。



第 286 图 第 4 号遺物包含層 (P 区), 第 4・5 号遺物包含層 (L 区), 第 5 号遺物包含層 (K 区) 実測図 (1)



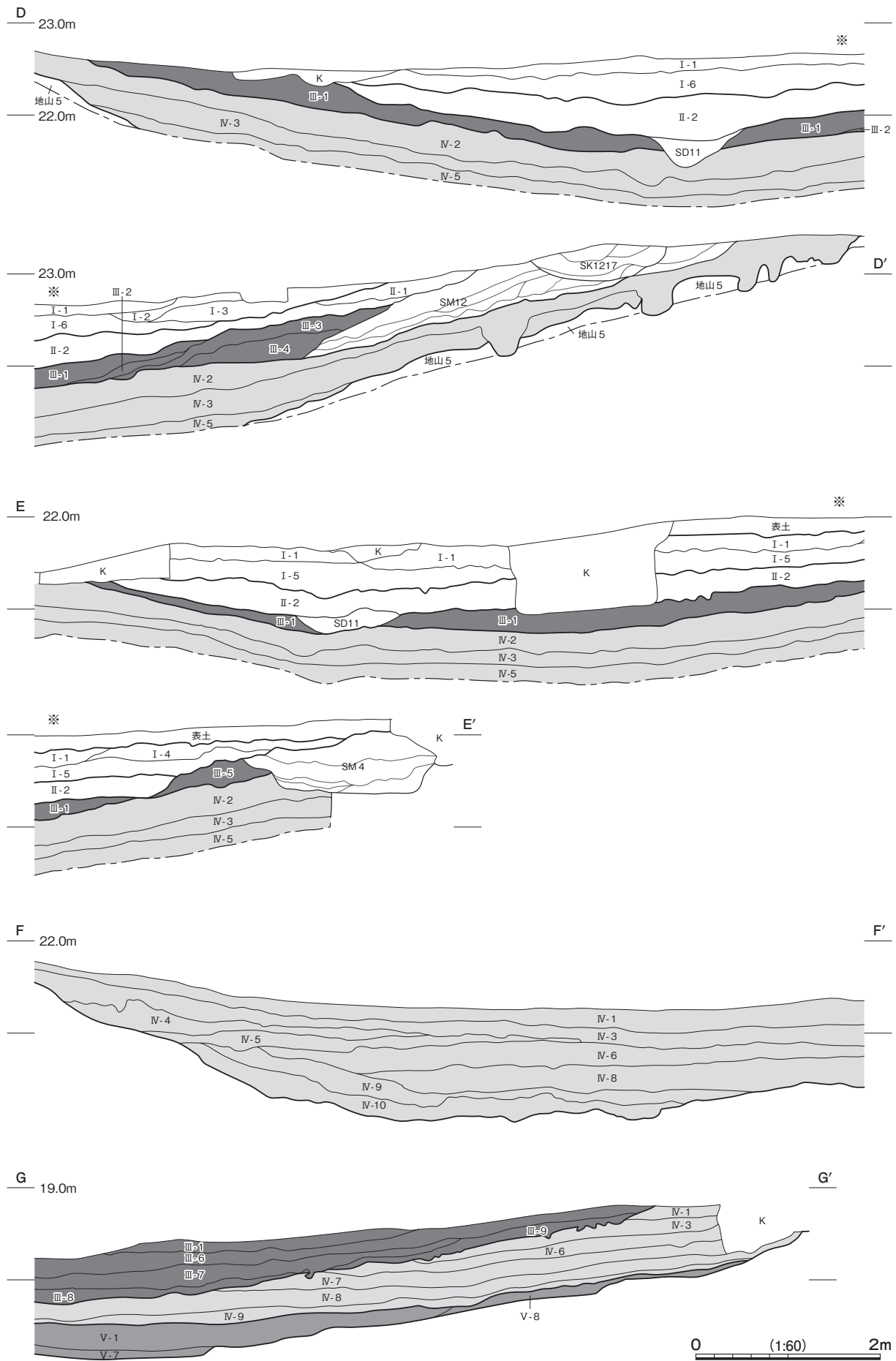
第287図 第4号遺物包含層 (P区), 第4・5号遺物包含層 (L区), 第5号遺物包含層 (K区) 実測図 (2)



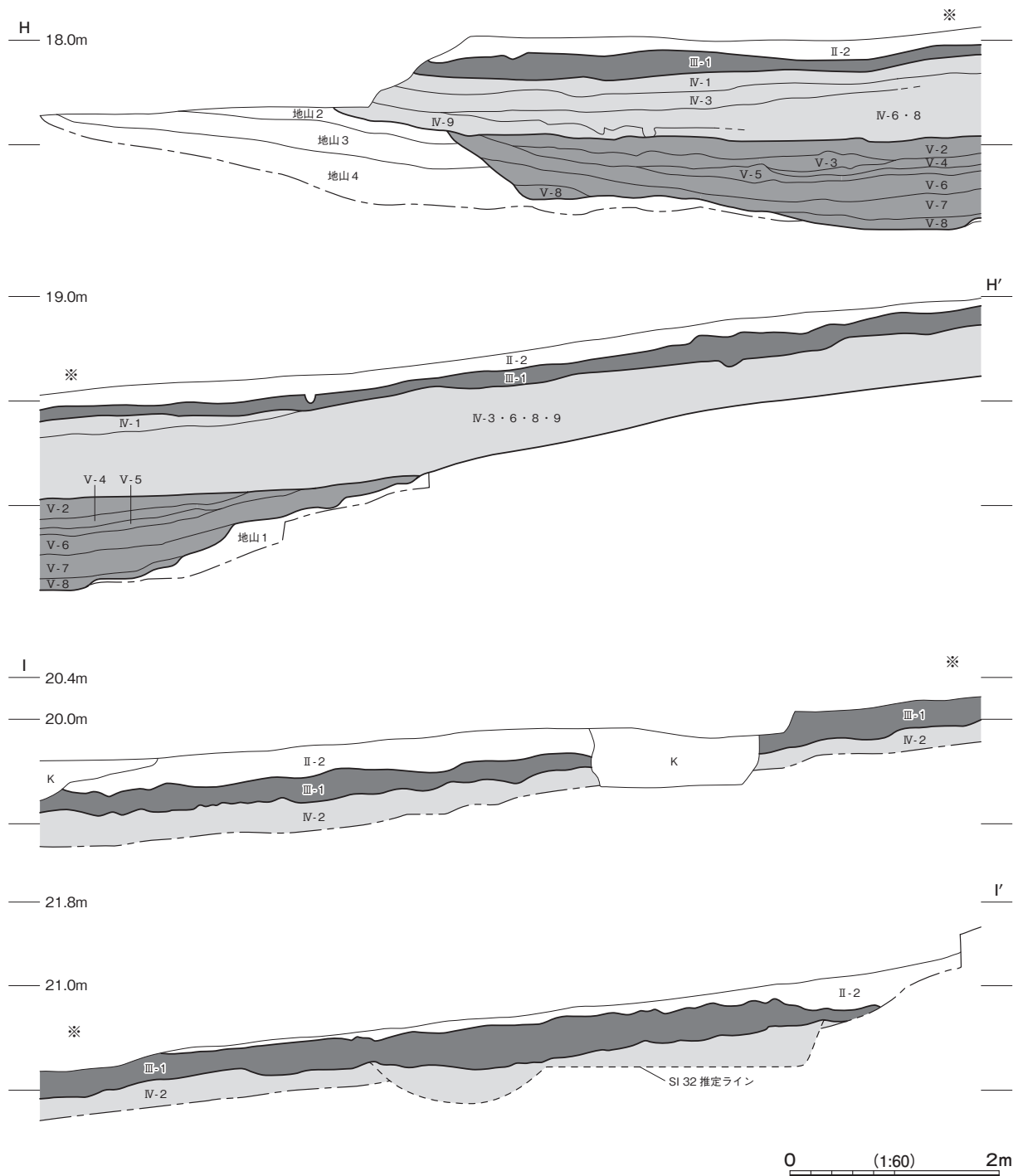
土層解説

I-1 黒褐色	ローム粒子少量, 焼土粒子微量 (漸移層)	IV-1 褐色	粘質土, 細礫~細砂少量, ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量, 層中に管状の鉄分沈着少量
I-2 黒褐色	ロームブロック少量	IV-2 灰褐色	粘質土, 細砂少量, III層との層界に土器片多量
I-3 暗褐色	ローム粒子少量, 焼土粒子・破砕貝微量	IV-3 灰褐~灰黄褐色	粘質土, 粗~細砂・炭化粒子少量, ローム粒子・焼土粒子微量, 層中に管状, 下部に帯状の鉄分沈着
I-4 混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率10% (ヤマトシジミ主体, 破砕率70%), ローム粒子少量, 焼土粒子微量	IV-4 褐灰色	粘質土, 粗~細砂中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
I-5 黒褐色	ロームブロック・焼土粒子・破砕貝微量	IV-5 褐灰~灰褐色	粘質土, 粗~細砂少量, 細礫微量, 下部に帯状の鉄分沈着
I-6 黒褐色	ロームブロック少量	IV-6 黄灰色	粘質土, 炭化粒子少量, 細礫微量
II-1 黒褐色	砂質土, ローム粒子少量	IV-7 灰色	粘質土, 細礫微量
II-2 暗褐色	砂質土, ローム粒子微量	IV-8 灰色	粘土, 炭化粒子・細礫微量
III-1 黒色	粘質土, ローム粒子微量, IV層との層界に土器片多量	IV-9 灰色	粘土, 細礫~細砂少量, 植物遺体微量
III-2 黒褐色	粘質土, ローム粒子微量	IV-10 暗灰色	粘土, 植物遺体少量, 粗~細砂の薄層を挟む
III-3 混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率40% (ヤマトシジミ主体, ハマグリ・獣骨微量, 破砕率20%), 炭化物・焼土粒子微量	V-1 黒色	粘質土, 植物遺体多量, 細砂少量
III-4 灰褐色	粘質土, ローム粒子少量	V-2 黒褐色	粘質土, 粗~細砂少量 (分析資料③-1)
III-5 黒褐色	粘質土, ローム粒子・焼土粒子微量	V-3 オリーブ黒色	粘質土と黄褐色細礫~細砂の互層, 下部に鉄分沈着 (分析資料③-2)
III-6 黒色	粘質土, 粗~細砂少量, ローム粒子・細礫微量	V-4 灰色	粘質土, 植物遺体多量, 細砂微量 (分析資料④)
III-7 黒色	粘質土, ローム粒子・細礫~細砂微量	V-5 黄灰色	細砂と粘質土の互層 植物遺体中量
III-8 暗灰色	粘質土, 細砂微量	V-6 暗褐色	細砂混じり粘質土 植物遺体多量 (分析資料⑤)
III-9 黒褐色	粘質土, 細砂微量, 鉄分沈着	V-7 黒色	粘質土, 植物遺体中量, 細砂少量, 細礫微量
		V-8 黒褐色	粘土, 細砂・植物遺体少量, 細礫微量 (分析資料⑥)
		地山1 灰黄色	細礫~粗砂混じり粘土
		地山2 暗灰色	粘質土, 粗~細砂少量, 細礫微量
		地山3 オリーブ黒色	粘質土, 粗~細砂少量
		地山4 灰色	粘土, 細礫・細砂微量
		地山5 にぶい黄橙色	粗~細砂混じり粘質土 (常総粘土層への漸移層)

第288図 第4号遺物包含層 (P区), 第4・5号遺物包含層 (L区), 第5号遺物包含層 (K区) 実測図 (3)



第289图 第4号遺物包含層 (P区), 第4・5号遺物包含層 (L区), 第5号遺物包含層 (K区) 実測図 (4)



第 290 図 第 4 号遺物包含層 (P 区), 第 4・5 号遺物包含層 (L 区), 第 5 号遺物包含層 (K 区) 実測図 (5)

iii) 第 I 層

第 5 号遺物包含層 (第 291 ~ 294 図 第 227・228 表 PL52・104)

位置 調査 K 区の G 4 a6 ~ G 5 e1 区, 東西方向に延びる谷部に位置し, 確認面の標高は 22.0 ~ 23.5 m である。

重複関係 第 5 号遺物包含層の第 II 層の上部に形成されており, 現代の耕作土が上部に形成されている。

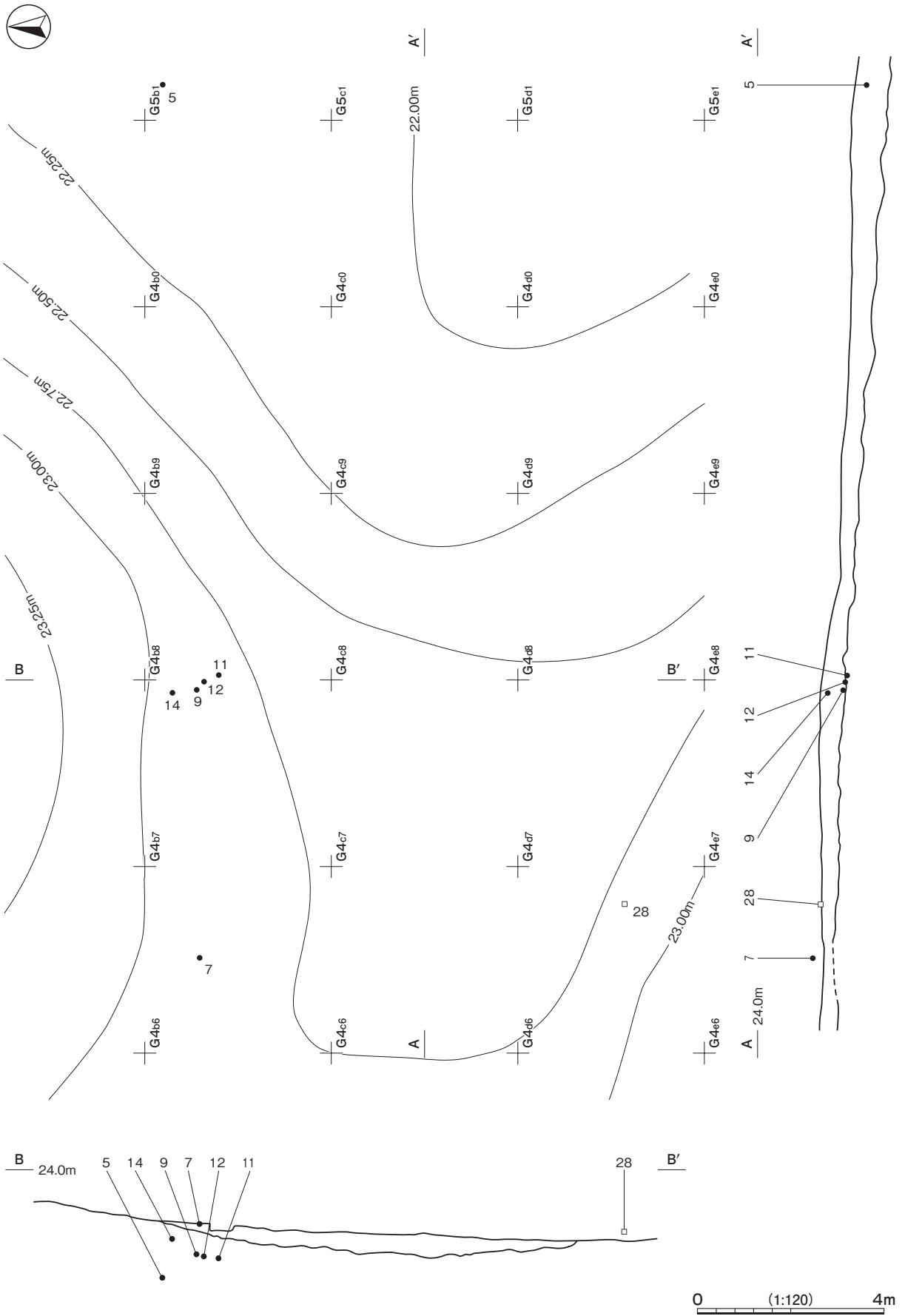
分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。中央部に谷の最深部が通っており, 東方向 (S - 87° - E) へ延びている。



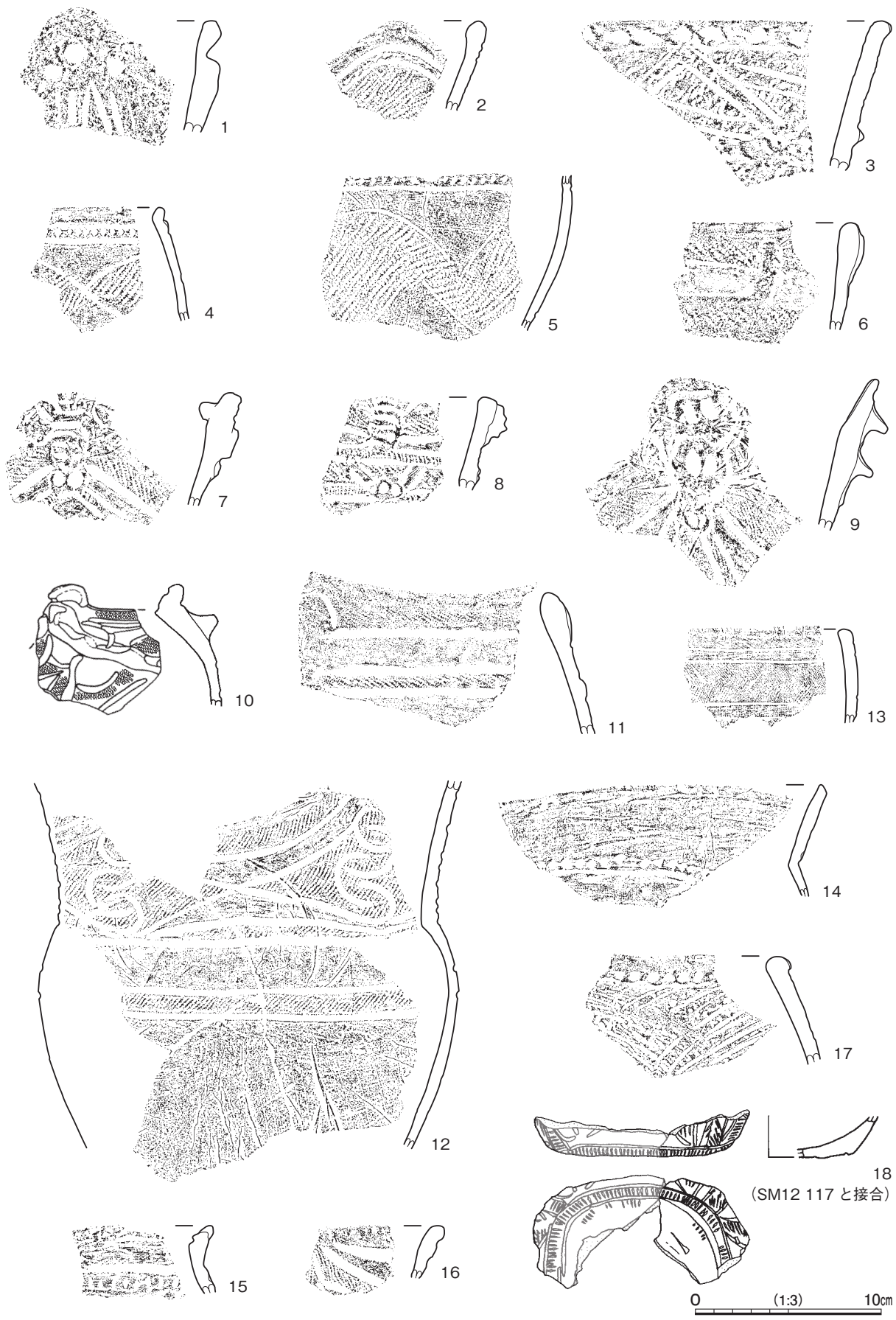
第291図 第5号遺物包含層第I層実測図(1)

遺物出土状況 縄文土器 7,599点 (116,335 g), 土師器 1点 (高坏), 須恵器 5点 (坏 1, 蓋 2, 甕 2), 土師質土器 9点 (小皿 8, 内耳鍋 1), 陶器 1点 (鉢), 磁器 3点 (碗 2, 瓶 1), 土製品 11点 (土偶 6, 土版 1, 土器片円盤 4), 石器・石製品 19点 (石鏃 1, 磨製石斧 2, 石皿 1, 磨石 9, 石錘 1, 砥石 4, 石棒 1), 剥片 36点 (頁岩 2, 黒曜石 6, 瑪瑙 3, チャート 21, 石英 1, 緑色片岩 3), 石核 3点 (チャート), 瓦 1点 (平瓦), 骨 695.4 g が出土している。いずれも磨滅した細片で, 疎らに散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土遺物から近世以降と考えられる。



第 292 図 第 5 号遺物包含層第 I 層実測図 (2)



第 293 図 第 5 号遺物包含層第 I 層出土遺物実測図 (1)



第 294 图 第 5 号遺物包含層第 I 層出土遺物実測図 (2)

第 227 表 第 5 号遺物包含層第 I 層出土未掲載土器集計表

群	第 3 群		第 4 群		第 5 群			第 6 群		第 7 群				第 8 群	第 9 群		
	称名寺 I 式	称名寺 II 式	堀之内 1 式	堀之内 2 式	加曾利 B 1 式	加曾利 B 2 式	加曾利 B 3 式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	安行 3 b 式	姥山 II 式	前浦式	晩期 異系土器	沈線文	刺突文	磨消文
点数	1	1	21	13	3	7	7	8	24	28	5	39	1	6	234	161	356
重量 (g)	33	31	535	240	34	127	167	262	575	695	98	410	27	45	2,777	2,149	4,034

群	第 9 群							第 10 群		第 11 群					第 12 群	第 13 群	合 計
	隆起帯 縄文	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢	台付鉢	注口土器	壺	ミニチュア 土器	製塩土器	細片不明	
点数	272	130	295	24	1,209	718	3,668	80	117	10	6	6	3	1	126	-	7,580
重量 (g)	4,493	2,151	5,036	399	14,935	8,765	36,096	2,889	2,649	157	328	144	60	10	778	25,206	116,335

第 228 表 第 5 号遺物包含層第 I 層出土遺物一覧 (第 293・294 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほ か	出土位置	備 考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線 内面ナデ	K C 9 区	堀之内 1 式
2	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・赤色 粒子	灰褐	普通	外面沈線→刺突文→縄文 LR 内面磨き	K C 8 区	加曾利 B 3 式
3	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面縄文 LR → 条線 → 紐線貼付 内面磨き	K F 4 区	後期前～中葉
4	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	外面沈線→刺突文→縄文 LR → 無文部磨き 内面磨き	K E 8 区	曾谷式
5	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面沈線→刺突文→縄文 LR → 無文部磨き 内面磨き	K C 9 区	後期後葉
6	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	褐灰	普通	外面隆貼付→沈線→縄文 RL → 無文部磨き 内面磨き	K E 6 区	安行 1 式
7	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文 RL・刻み→瘤貼付→無文 部磨き 内面磨き	K C 4 区	安行 2 式
8	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文 RL・刻み→瘤貼付→無文 部磨き 内面磨き	K D 5 区	安行 2 式
9	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文 RL → 瘤貼付→無文部磨き 内面波頂部 6 条の沈線→磨き	K C 5 区	安行 3 a 式
10	縄文土器	鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面隆帯貼付→沈線→縄文 RL → 無文部磨き 内面ナデ	K E 5 区	安行 3 a 式
11	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文 RL → 無文部磨き 内面磨き	K C 6 区	安行 3 b 式
12	縄文土器	深鉢	-	(19.7)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	波頂部 4 単位 外面沈線→縄文 LR → 無文部磨き 内面磨き	K C 5 区	15% PL104 姥山 II 式
13	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	K D 9 区	姥山 II 式
14	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面磨き→沈線→列点文 内面磨き	K C 5 区	安行 3 c 式
15	縄文土器	深鉢	-	(3.7)	-	長石・石英	橙	普通	外面磨き→沈線→列点文 内面磨き	K D 7 区	安行 3 c 式
16	縄文土器	深鉢	-	(2.9)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面沈線→縄文 RL → 無文部磨き 内面磨き	K E 4 区	前浦 2 式
17	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	赤灰	普通	外面縄文 LR → 条線 → 紐線貼付 内面磨き	K D 5 区	後期前～中葉
18	縄文土器	角底土器	-	(1.7)	10.1	長石・雲母	灰黄褐	普通	外面刻み→沈線 内面ナデ SM12 117 と接合	K C 7 区	10% 晩期前葉
19	縄文土器	釣手土器	-	(6.6)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい橙	普通	外面隆帯貼付→刻み 内面ナデ	K E 7 区	後期中葉
20	土師質土器	小皿	[10.8]	(3.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい橙	普通	ロクロナデ 外面下半回転ヘラ削り	K D 5 区	15% PL104 14～15 世紀代
21	土師質土器	小皿	[8.3]	(1.8)	[4.3]	長石	橙	普通	ロクロナデ 外面下半手持ちヘラ削り	K C 9 区	20% PL104 14～15 世紀代
22	土師質土器	小皿	[8.0]	1.9	[5.3]	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	ロクロナデ 外面下端回転ヘラ削り 底部回転糸切り	K E 8 区	40% PL104 14～15 世紀代

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
23	土偶	(4.9)	(5.9)	(2.7)	(64.5)	長石・石英	にぶい橙	山形 頭部片 目・口剥離 背面沈線を伴う瘤	K D 7 区	
24	土版	(5.3)	(3.8)	(1.8)	(30.5)	石英・赤色粒子	にぶい黄橙	表裏面沈線文	K D 9 区	
25	土器片円盤	3.9	3.3	1.3	21.2	長石・石英	灰黄褐	底部片 網代痕 側縁部打ち欠き	K D 5 区	

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
26	石鏃	(1.6)	1.7	0.5	(0.8)	チャート	凹基無茎鏃 先端部欠損	K D 5 区	PL104
27	磨製石斧	(7.0)	(5.2)	2.9	(129.2)	安山岩	定角式 研磨成形 基部欠損 被熱	K C 9 区	
28	磨製石斧	(9.5)	(9.1)	5.0	(581.7)	変成花崗岩	定角式 研磨成形 基部欠損	K F 4 区	PL104
29	磨石	(6.1)	(7.8)	2.7	(215.8)	デイサイト	表裏面磨痕	K C 9 区	
30	石錘	4.7	4.0	1.4	39.4	デイサイト	長軸方向の両端部打ち欠き	K D 5 区	PL104
31	砥石	(4.7)	2.8	1.4	(25.2)	砂岩	両側縁部砥痕	K E 8 区	
32	砥石	5.2	3.6	2.3	49.6	砂岩	螺旋状の砥痕	K C 6 区	PL104

iv) 第II層

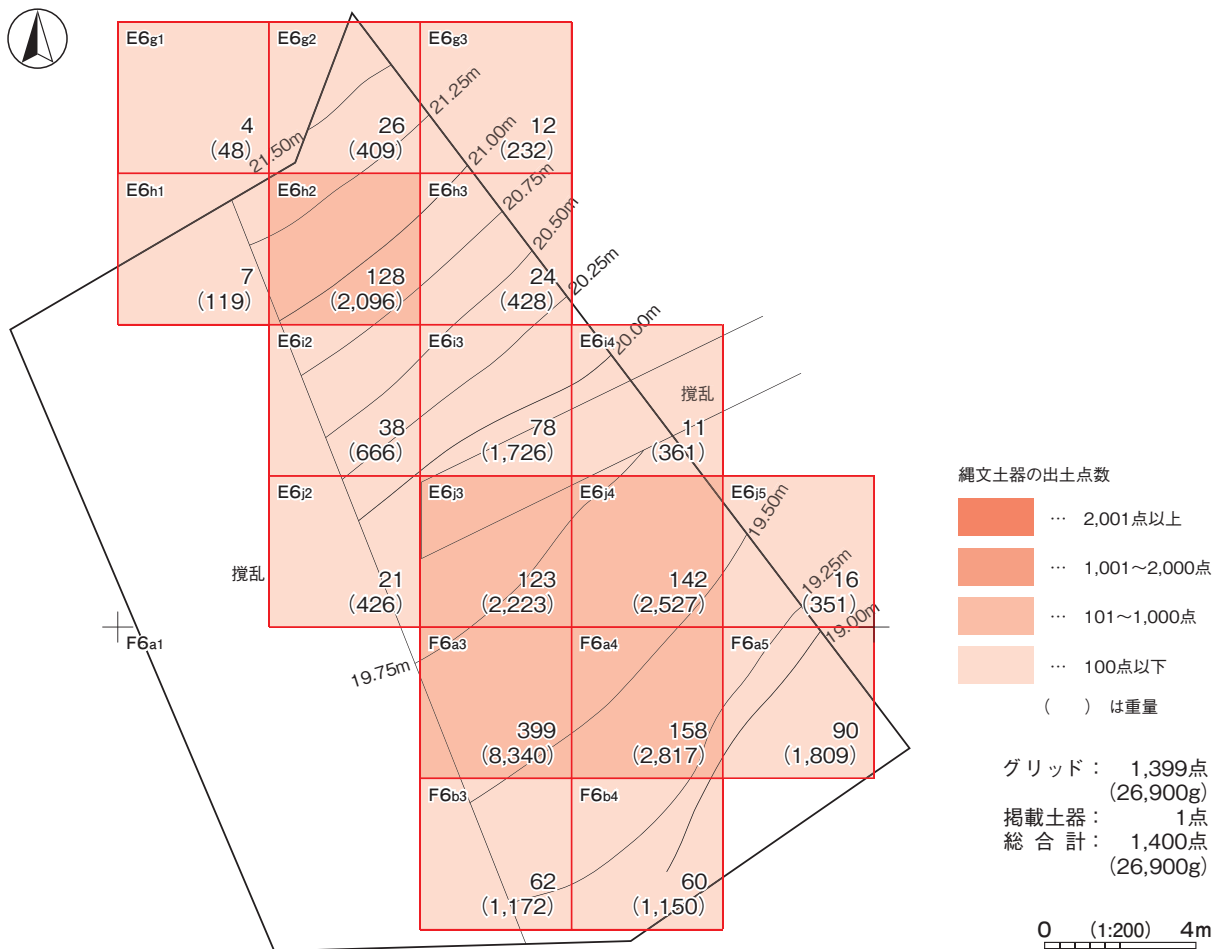
第4号遺物包含層 (第295・296図 第229・230表)

位置 調査P区のE6g1区～F6b5区, 南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は19.0～21.5mである。

重複関係 第4号遺物包含層の第III層の上部に形成されている。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。

遺物出土状況 縄文土器1,400点(26,900g), 土師器10点(坏(古墳)1, 坏(平安)2, 壺5, 甕2), 須恵器5点(瓶1, 甕4), 土師質土器6点(小皿5, 内耳鍋1), 陶器3点(瓶1, 甕2), 土製品4点(土版1, 有孔円盤2, 土器片円盤1), 石器4点(磨製石斧, 磨石, 敲石, 砥石), 剥片7点(頁岩1, 黒曜石1, 瑪瑙2,

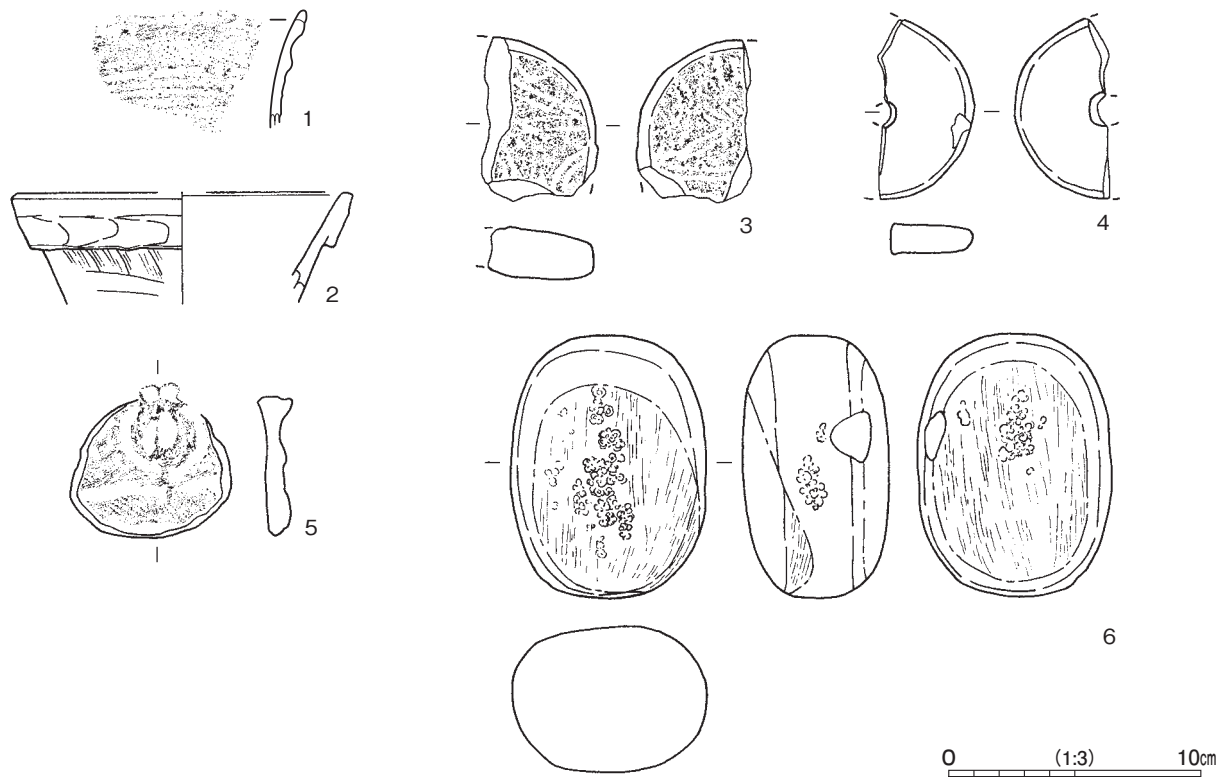


第295図 第4号遺物包含層第II層実測図

第229表 第4号遺物包含層第II層出土未掲載土器集計表

群	第1群	第2群	第4群		第5群			第6群		第7群		第8群	第9群			
類	前期前半	中期後半	堀之内1式	堀之内2式	加曾利B1式	加曾利B3式	後期中葉	安行1式	安行2式	安行3a式	姥山II式	安行3d式	晩期県系統土器	沈線文	刺突文	磨消文
点数	1	1	2	6	1	2	2	4	6	4	6	4	1	82	29	68
重量(g)	18	40	73	151	9	45	27	213	140	115	61	80	8	1,217	410	1,047
群	第9群						第10群		第11群			第12群	第13群	合計		
類	隆起帯縄文	紐線文(古)	紐線文(新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部(古)	底部(新)	浅鉢	台付鉢	注口土器	製塩土器	細片不明		
点数	73	35	62	3	166	154	612	31	23	10	2	4	5	-	1,399	
重量(g)	1,536	594	1,289	35	3,036	2,401	8,896	1,241	633	146	228	95	33	3,083	26,900	

チャート3), 石核1点(瑪瑙)が出土している。いずれも磨滅した細片で, 疎らに散在した状態で出土している。
所見 時期は, 出土遺物から古墳時代~中世と考えられる。



第296図 第4号遺物包含層第II層出土遺物実測図

第230表 第4号遺物包含層第II層出土遺物一覧(第296図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	壺	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 6 h3区	大洞C 2式
2	土師器	壺	[13.6]	(4.4)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	口縁部ナデ 頸部外面ハケ目 内面ナデ	E 6 i2区	4世紀代
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴		出土位置	備考
3	土版	(6.4)	(4.6)	(2.1)	(72.8)	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	表裏面沈線文		F 6 a5区	
4	有孔円盤	(7.1)	(3.8)	(1.2)	(34.3)	長石・石英・赤色 粒子	灰黄褐色	孔径(1.1) cm 一方向からの穿孔		E 6 i2区	
5	土器片円盤	5.6	6.4	1.4	35.4	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	褐色	安行2式精製土器片胴部片 周縁部研磨		E 6 i2区	
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考	
6	敲石	10.5	7.8	5.9	706.1	安山岩	磨石転用 表裏面磨痕→表面敲打痕		E 6 i4区		

第4・5号遺物包含層 (第297図 第231・232表 PL104)

位置 調査L区のF 6 c1 ~ G 5 d8区, 南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は, 18.3 ~ 19.5 mである。

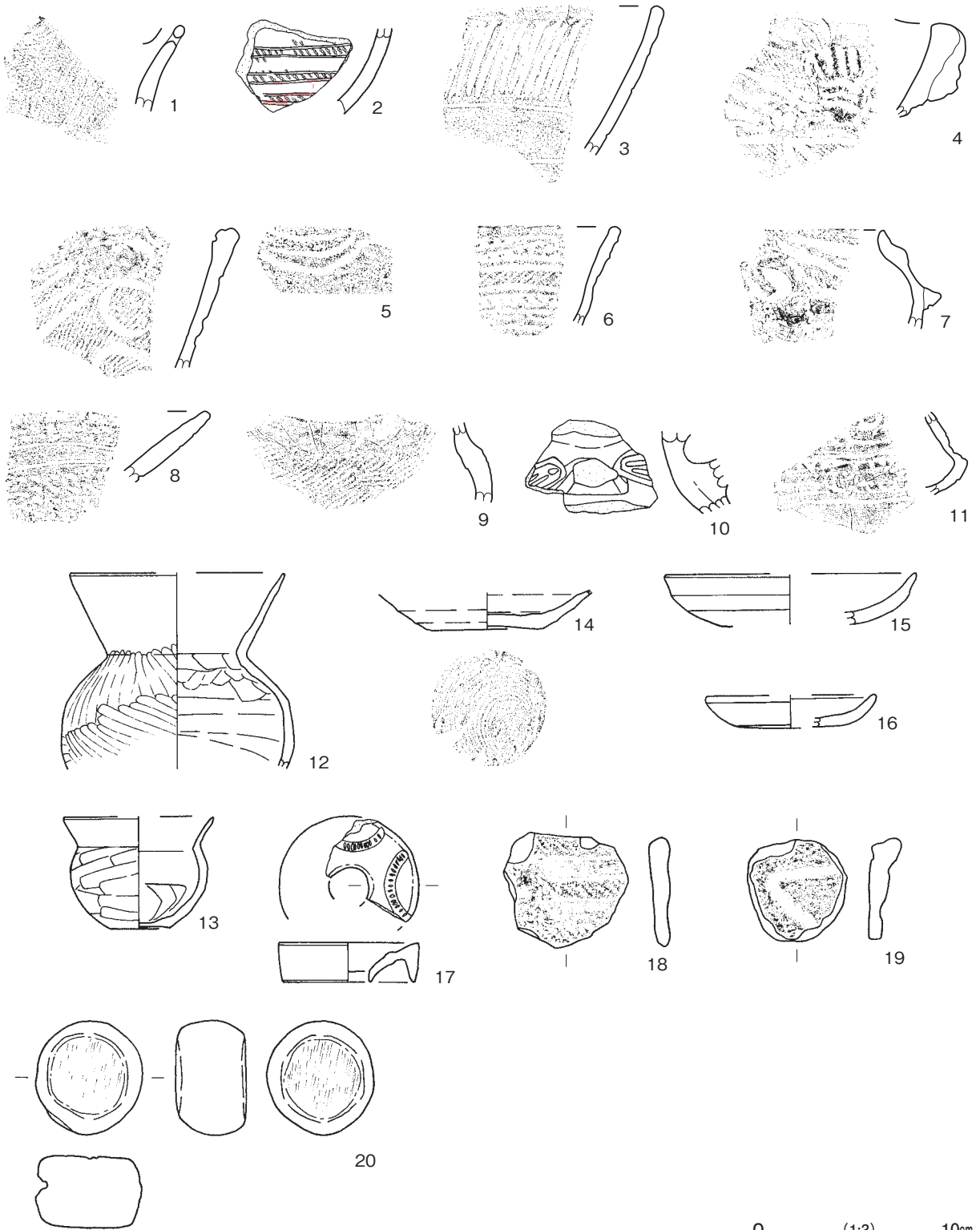
重複関係 第4・5号遺物包含層の第III層の上部に形成されている。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。

遺物出土状況 縄文土器 1,711点 (33,500 g), 土師器4点 (坏(平安) 1, 埴 2, 壺 1), 土師質土器7点 (小皿),

陶器1点(甕), 土製品11点(耳飾り1, 土偶1, 土器片円盤9), 石器・石製品9点(磨製石斧3, 石皿1, 磨石4, 砥石(中世)1), 剥片2点(チャート), 鉄滓1点, 骨4.7gが出土している。いずれも磨滅した細片で, 疎らに散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土遺物から古墳時代~中世と考えられる。



第 297 図 第 4・5 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図

第 231 表 第 4・5 号遺物包含層第Ⅱ層出土未掲載土器集計表

群 類	第 4 群		第 5 群				第 6 群		第 7 群				第 8 群	第 9 群				
	堀之内 1 式	堀之内 2 式	加曾利 B 1 式	加曾利 B 2 式	加曾利 B 3 式	後期 中葉	曽谷式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	安行 3 b 式	姥山 Ⅱ式	安行 3 c 式	安行 3 d 式	晩期 異系統土器	沈線文	刺突文	磨消文
点数	9	2	4	3	1	2	2	4	9	30	10	6	1	2	5	54	27	56
重量 (g)	293	63	130	40	23	66	49	177	272	464	280	102	20	72	72	919	497	1,320

群 類	第 9 群						第 10 群		第 11 群					第 12 群	第 13 群	合 計	
	隆起帯 縄文	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢	鉢	台付鉢	注口土器	壺	製塩土器		細片不明
点数	92	31	89	11	285	159	720	33	33	4	1	2	1	3	9	-	1,700
重量 (g)	1,652	656	1,982	205	5,606	2,824	10,944	1,345	1,038	77	16	71	10	314	92	1,809	33,500

第 232 表 第 4・5 号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物一覧 (第 297 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほ か	出土位置	備 考
1	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	外面縄文 LR → 沈線 補修孔あり 内面磨き	LF9区	堀之内1式
2	縄文土器	鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	外面沈線→縄文 RL → 無文部磨き 赤漆塗布 内面ナデ	LG9区	後期中～後葉
3	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	外面沈線→条線→無文部磨き 内面磨き	LG9区	加曾利B2式
4	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面隆起帯脇沈線→縄文 RL・刻み→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	LG9区	安行2式
5	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	波状口縁 外面縄文 LR → 沈線 内面口縁部3条の沈線	LE9区	姥山Ⅱ式
6	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英	暗灰黄	普通	外面沈線・羊歯状文→縄文 LR 内面磨き	LD9区	大洞BC式
7	縄文土器	鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐色	普通	外面隆帯貼付→沈線→縄文 RL → 無文部磨き 内面磨き	LE9区	安行3a式
8	縄文土器	深鉢	-	(3.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面沈線→列点文 内面ナデ	LD8区	安行3c式
9	縄文土器	壺	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母・針状物質	橙	普通	外面縄文 LR → 口縁部ナデ 内面ナデ	LE9区	後晩期
10	縄文土器	注口土器	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐色	普通	外面把手貼付→沈線 内面ナデ	LE9区	後期前葉
11	縄文土器	注口土器	-	(4.1)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	LG8区	大洞BC式
12	土師器	埴	[10.5]	(9.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部外面ヘラ磨き 内面ナデ	LD9区	25% PL104 4世紀代
13	土師器	埴	[8.6]	5.1	3.0	長石・石英	橙	普通	体部外・内面ヘラナデ	LE8区	60% 4世紀代
14	土師質土器	小皿	-	(1.9)	5.4	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	ロクロナデ 体部外面下位回転ヘラ削り 底部回転糸切り	LG9区	20% 14～15世紀代
15	土師質土器	小皿	[12.4]	(2.5)	-	長石・赤色粒子	にぶい橙	普通	外・内面ナデ	LF9区	15% 14～15世紀代
16	土師質土器	小皿	[8.4]	1.6	[4.4]	長石・石英	橙	普通	ロクロナデ 胴部下半ヘラ削り	LG9区	20% 14～15世紀代

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
17	耳飾り	[7.0]	[7.0]	1.9	(17.8)	長石・石英	にぶい黄褐色	滑車型 隆線貼付→刻み	LE9区	PL104
18	土器片円盤	5.7	6.2	1.0	40.7	長石・石英・雲母	褐色	安行1式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	LE9区	
19	土器片円盤	5.0	5.0	1.6	29.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	前浦式深鉢口縁部片 周縁部研磨	LE9区	

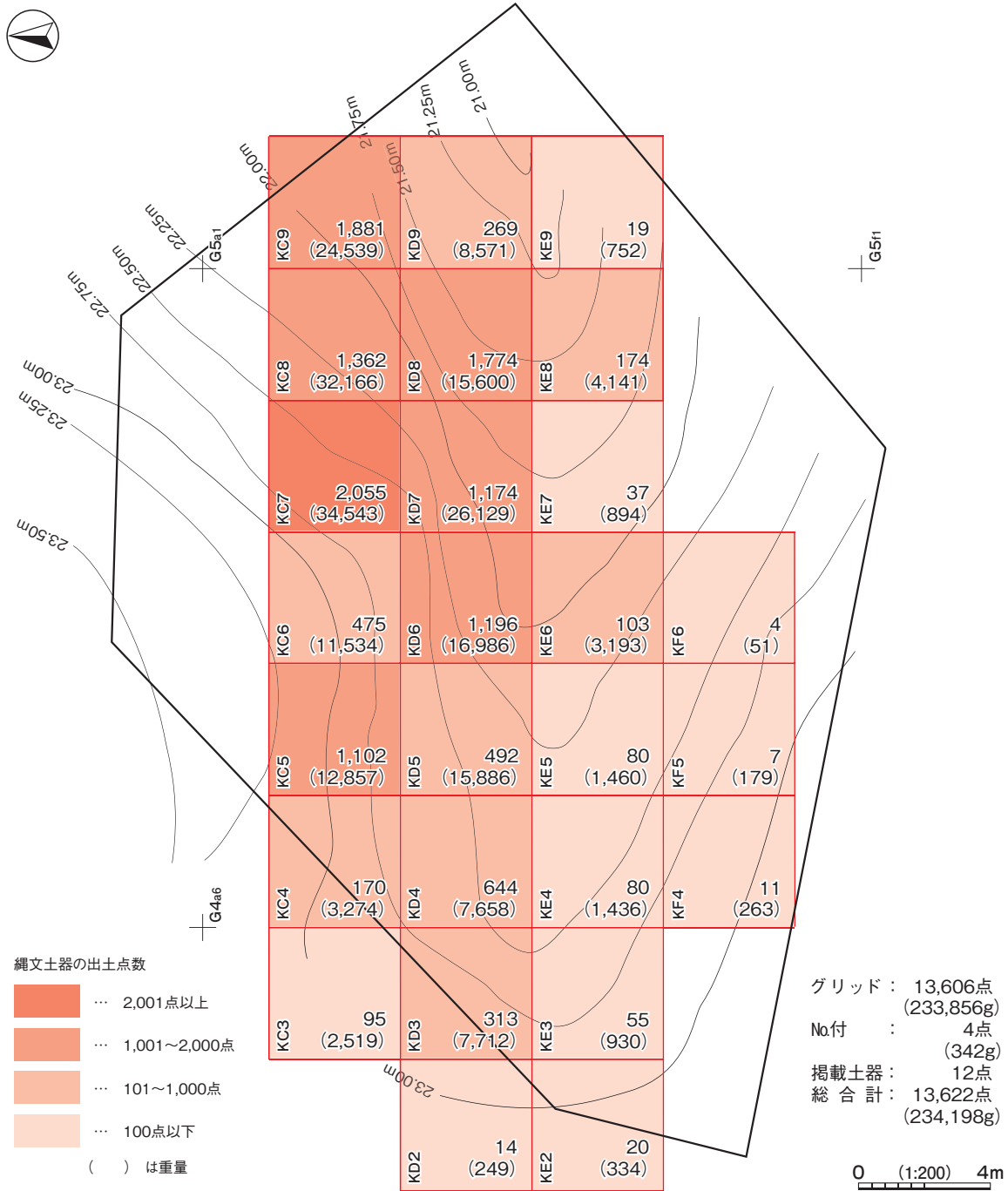
番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備 考
20	磨石	5.6	5.4	3.5	165.6	安山岩	表裏面磨痕	LE9区	

第 5 号遺物包含層 (第 298～302 図 第 233・234 表 PL52・104)

位置 調査K区のG 4 a6～G 5 e1 区, 東西方向に延びる谷部に位置している。確認面の標高は, 21.0～23.3 mである。

重複関係 第 11 号溝跡, 第 5 号遺物包含層の第Ⅲ層の上部に形成されており, 第Ⅰ層が上部に形成されている。

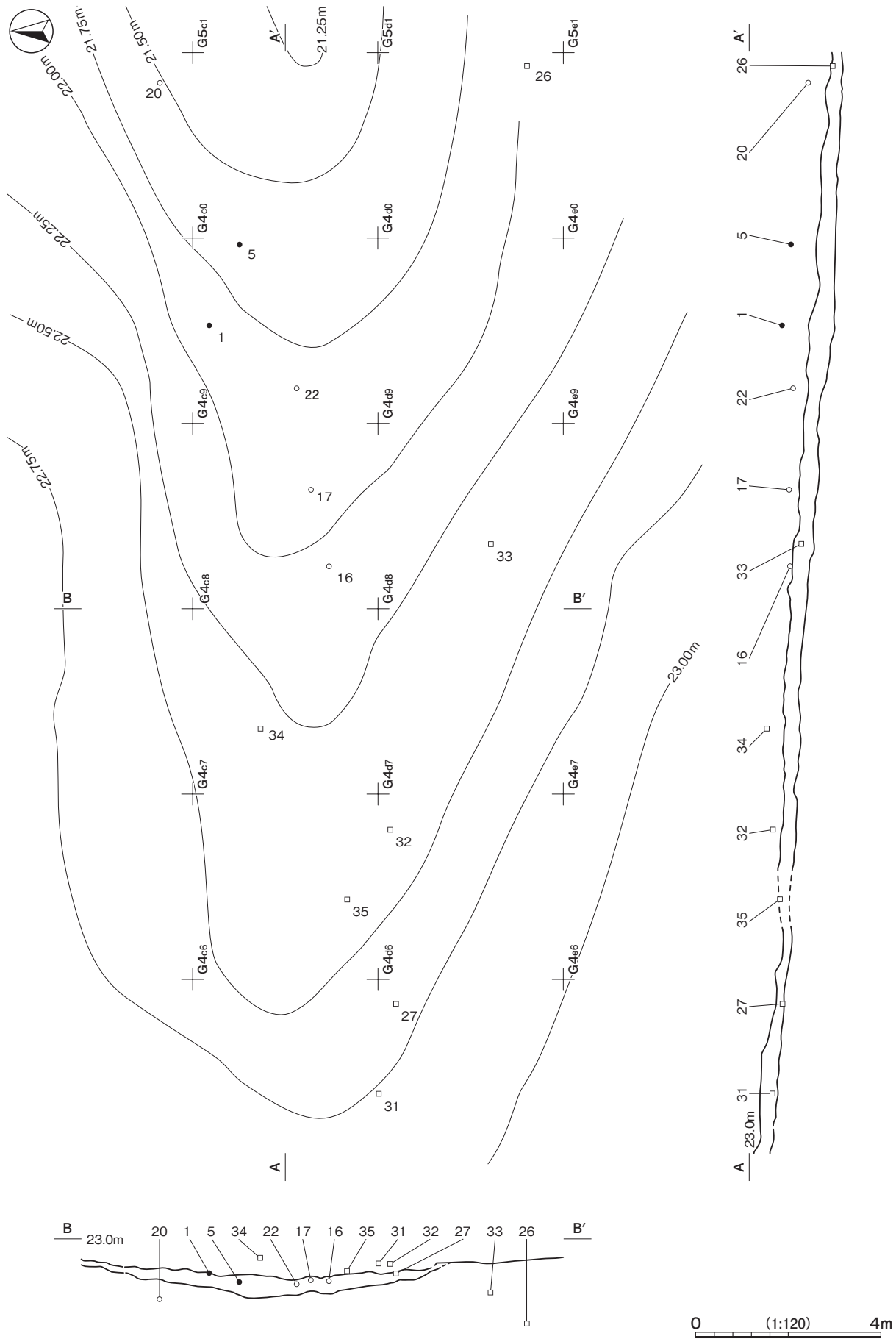
分布範囲 高所では下層の第Ⅲ・Ⅳ層が露出しており, 谷底部の幅約 13 mの範囲に堆積している。東方向 (N - 90°) へ緩やかに傾斜しており, 調査区域内の比高差は 2.0 mである。



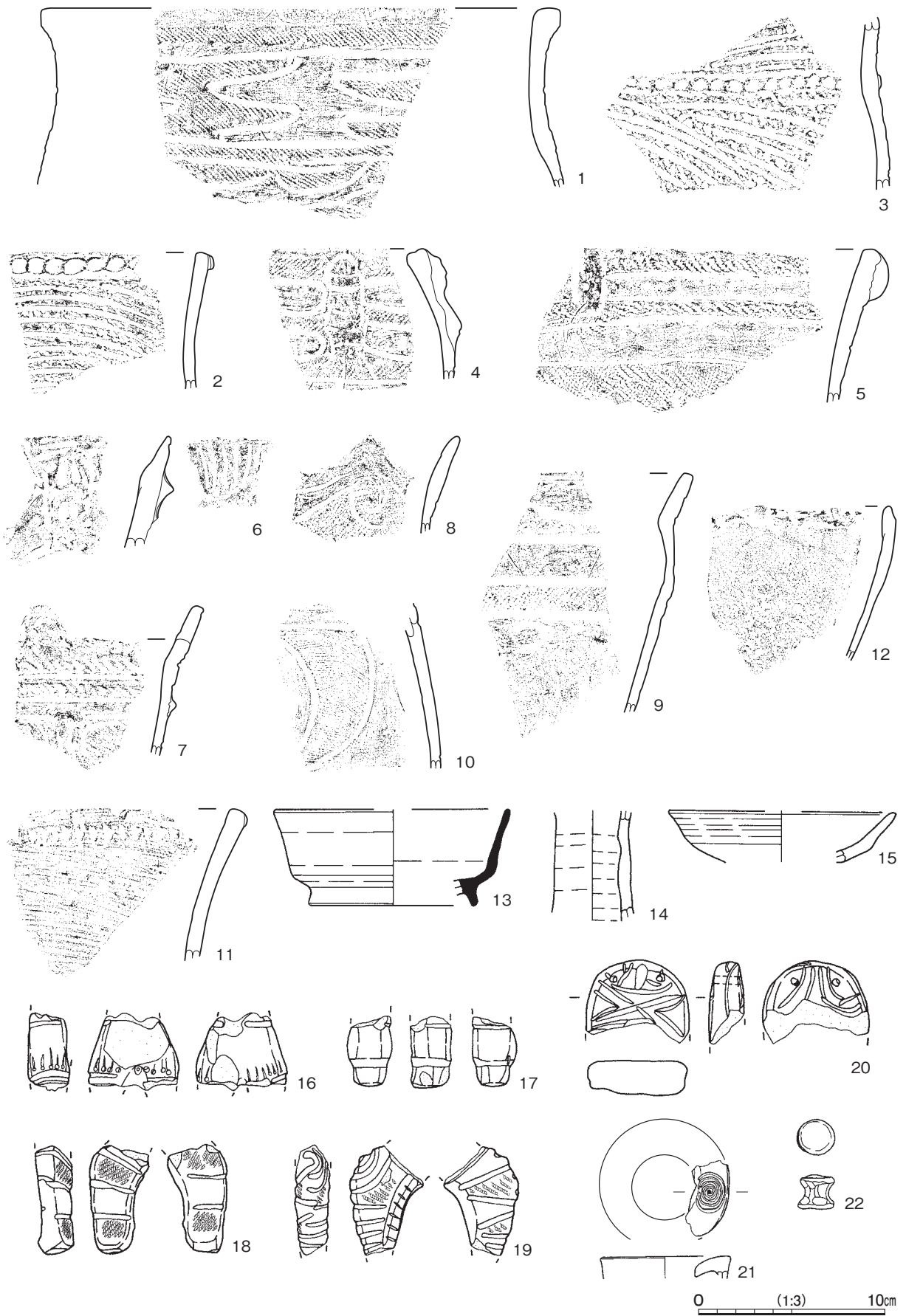
第 298 図 第 5 号遺物包含層第 II 層実測図 (1)

遺物出土状況 縄文土器 13,622 点 (234,198 g), 土師器 5 点 (椀 (古墳) 2, 坏 (古墳) 1, 甕 2), 須恵器 4 点 (高台付坏 3, 甕 1), 灰釉陶器 1 点 (長頸瓶), 土師質土器 3 点 (小皿), 陶器 1 点 (甕), 土製品 33 点 (耳飾り 1, 耳栓 1, 土偶 7, 土版 2, 有孔円盤 1, 土器片円盤 21), 石器・石製品 52 点 (石鏃 1, 磨製石斧 1, 石皿 4, 磨石 24, 敲石 9, 凹石 1, 石錘 7, 砥石 4, 石棒 1), 剥片 64 点 (頁岩 3, 黒曜石 4, 瑪瑙 3, チャート 54), 石核 25 点 (頁岩 1, チャート 24), 粘土塊 3 点, 貝 418 g, 骨 2,296.3 g が出土している。いずれも磨滅した細片で, 谷の北斜面部から多く出土しており, 北側の台地上から流れ込んだものと考えられる。

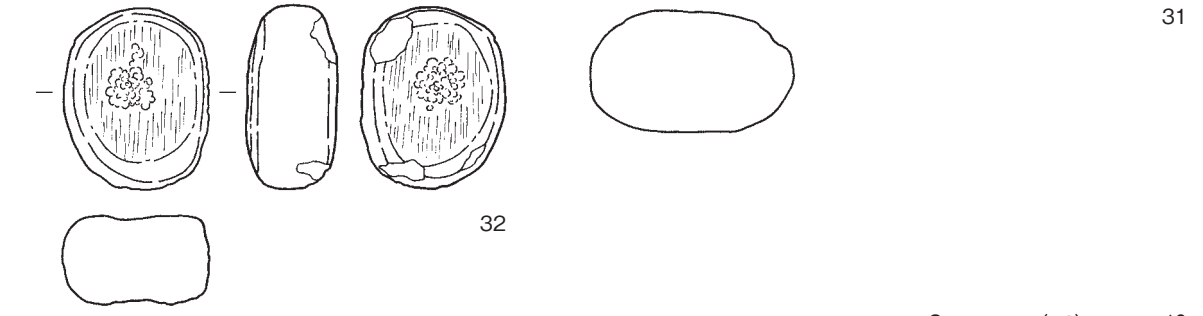
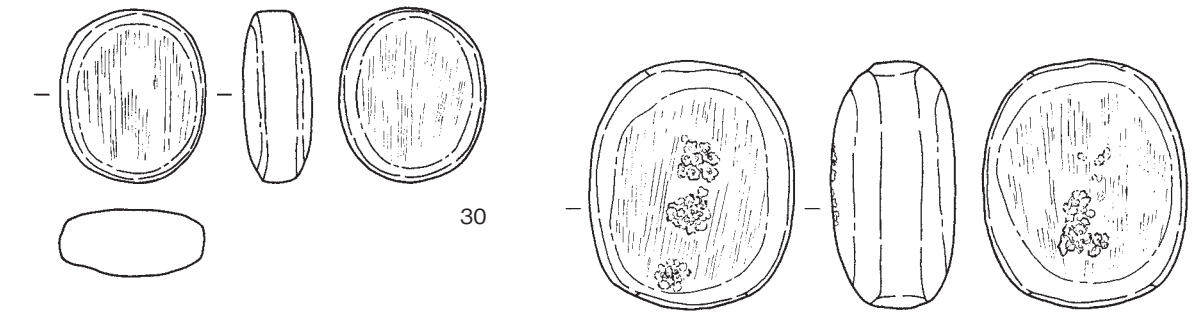
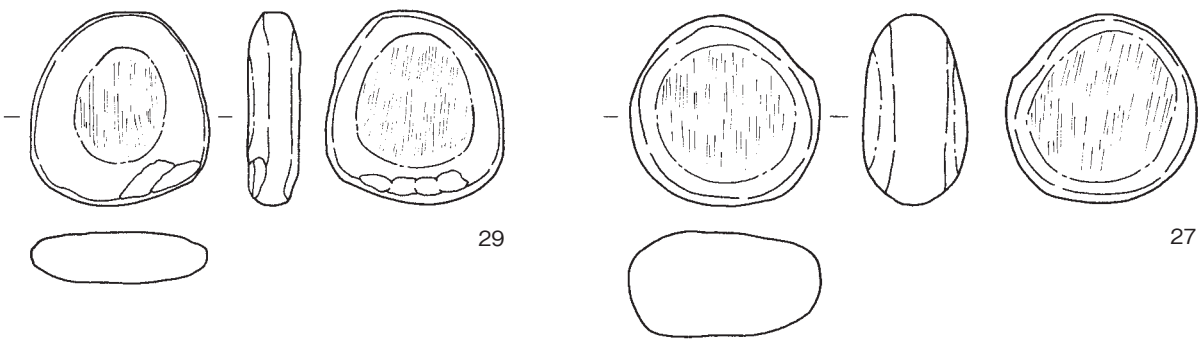
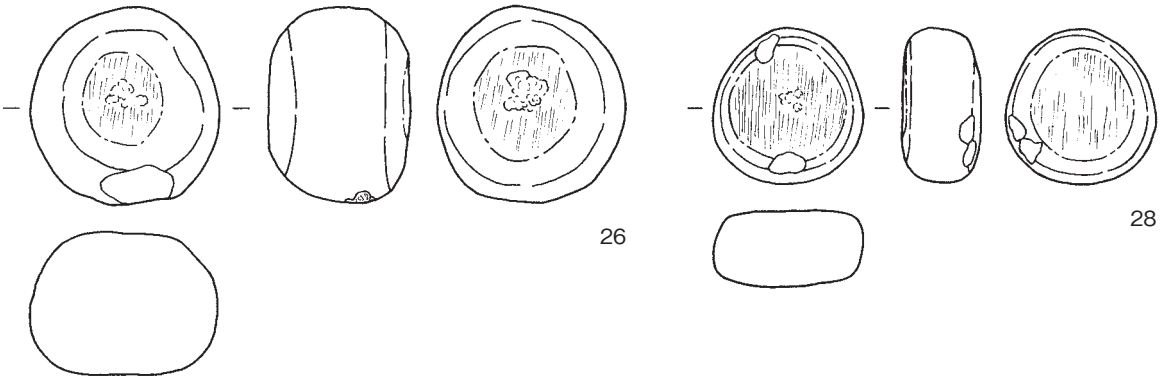
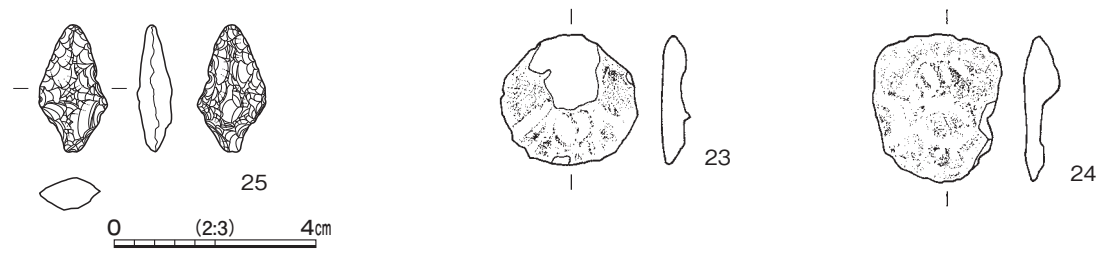
所見 時期は, 出土土器から古墳時代~中世と考えられる。



第 299 図 第 5 号遺物包含層第 II 層実測図 (2)

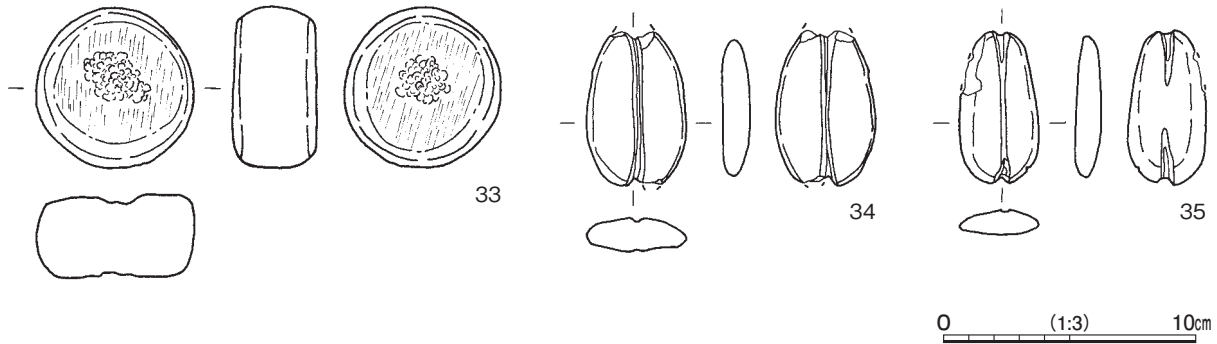


第 300 图 第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図 (1)



0 (1:3) 10cm

第301图 第5号遺物包含層第Ⅱ層出土遺物実測图(2)



第 302 図 第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物実測図 (3)

第 233 表 第 5 号遺物包含層第 II 層出土未掲載土器集計表

群	第 3 群		第 4 群		第 5 群			第 6 群		第 7 群					第 8 群	第 9 群		
	称名寺 II 式	堀之内 1 式	堀之内 2 式	加曾利 B 1 式	加曾利 B 2 式	加曾利 B 3 式	曾谷式	安行 1 式	安行 2 式	安行 3 a 式	安行 3 b 式	姥山 II 式	安行 3 c 式	前浦式	晩期製鉄土器	沈線文	刺突文	磨消文
点数	1	45	7	10	7	4	1	14	15	44	48	70	35	4	18	504	286	653
重量 (g)	20	1,048	130	143	181	75	14	577	403	1,110	1,004	845	534	114	216	6,208	3,909	7,817

群	第 9 群						第 10 群		第 11 群								第 12 群	第 13 群	合 計	
	隆起帯縄文	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢	鉢	台付鉢	注口土器	壺	角底土器	異形台付土器	ミニチュア土器	製塩土器		細片不明
点数	571	164	468	42	2,598	1,110	6,137	130	161	29	7	11	7	1	1	5	1	401	-	13,610
重量 (g)	10,168	2,780	8,792	501	33,730	13,217	65,488	4,860	4,623	541	187	488	147	16	25	68	9	2,232	61,978	234,198

第 234 表 第 5 号遺物包含層第 II 層出土遺物一覧 (第 300 ~ 302 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほ か	出土位置	備 考
1	縄文土器	深鉢	[27.5]	(10.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文 RL →無文部磨き 内面ナデ	KD 7 区	10% PL104 安行 3 a 式
2	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面縦位の縄文 RL →条線→紐線貼付 内面磨き	KD 7 区	後期中~後葉
3	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面縦位の縄文 RL →条線→紐線貼付 内面磨き	KC 8 区	後期中~後葉
4	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・針状物質	にぶい橙	普通	外面瘤貼付→隆起帯脇沈線→縄文 LR →無文部磨き 内面ナデ	KD 9 区	安行 2 式
5	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外面瘤貼付→沈線→縄文 RL →無文部磨き 内面磨き	KD 8 区	安行 1 式
6	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面瘤貼付→沈線→無文部磨き 内面磨き→波頂部 5 条の沈線	KC 5 区	安行 3 a 式
7	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面沈線→縄文 RL・刻み→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	KD 7 区	瘤付第 3 段階
8	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	外面沈線→縄文 LR →無文部磨き 内面磨き	KC 5 区	安行 3 b 式
9	縄文土器	深鉢	-	(12.9)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外面沈線→縄文 LR →無文部磨き 内面磨き	KC 9 区	安行 3 b 式
10	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	暗赤褐	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	KC 8 区	姥山 II 式
11	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面条線→刻み 内面磨き	KC 8 区	後期後葉
12	縄文土器	製塩土器	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面削り 口縁部・内面ナデ	KD 3 区	晩期前葉
13	須恵器	高台付坏	[12.6]	(5.1)	[9.0]	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	外・内面クロナデ	KD 5 区	20% 新治産 8 世紀代
14	灰釉陶器	長頸瓶	-	(5.9)	-	石英	灰白	良好	外・内面クロナデ 外面施釉 灰オリーブ色	KC 7 区	猿投産 9 世紀代
15	土師質土器	小皿	[12.2]	(2.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外・内面クロナデ	KD 6 区	10% 14~15 世紀代

番号	器 種	長さ	幅	厚さ	重量	胎 土	色 調	特 徴	出土位置	備 考
16	土偶	(4.1)	(4.9)	(2.2)	(45.8)	長石・石英	橙	山形 胴部片 沈線 半截竹管による刺突文	KE 6 区	PL104
17	土偶	(3.8)	(2.4)	(2.3)	(20.2)	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	山形 脚部片 ナデ→沈線	KE 6 区	
18	土偶	(5.8)	(3.2)	(1.9)	(31.8)	長石・石英	にぶい橙	山形 脚部片 沈線→縄文 LR	KD 9 区	PL104
19	土偶	(5.9)	(4.0)	(1.9)	(30.8)	長石・石英	黒褐	ミニズク形 脚部片 沈線→縄文 RL	KC 9 区	PL104
20	土版	(4.4)	(5.6)	(1.9)	(39.5)	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	孔 2 か所 孔径 0.3 ~ 0.4cm 一方向からの穿孔 表裏・側面沈線文	KD 8 区	PL104

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
21	耳飾り	[7.0]	[7.0]	(1.2)	(9.6)	長石・石英	橙	滑車型 沈線による渦巻文	KD4区	
22	耳栓	2.0	2.0	1.9	6.4	長石・雲母	橙	ナデ	KE7区	PL104
23	土器片円盤	5.2	5.5	1.1	35.4	長石・石英	にぶい黄褐	安行2式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KC8区	
24	土器片円盤	5.8	5.1	1.4	35.3	長石・石英・雲母	にぶい褐	安行2式精製深鉢口縁部片 周縁部打ち欠き	KE8区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
25	石鏃	2.5	1.4	0.7	1.7	チャート	凸基有茎鏃	KD8区	PL104
26	磨石	7.8	7.5	5.7	403.9	安山岩	敲打痕→表裏面磨痕	KF8区	
27	磨石	7.5	7.6	4.2	352.1	安山岩	表裏面磨痕	KE3区	
28	磨石	6.2	6.0	3.1	151.8	安山岩	表裏面磨痕	KD3区	
29	磨石	7.7	7.1	2.2	147.1	安山岩	表裏面磨痕	KD3区	
30	磨石	6.9	5.8	2.8	159.8	安山岩	表裏面磨痕	KC7区	
31	敲石	9.9	8.1	4.9	585.1	安山岩	表裏面磨痕→敲打痕	KE3区	
32	敲石	7.2	5.8	3.6	(235.7)	安山岩	表裏面磨痕→敲打痕	KE4区	
33	敲石	6.4	6.3	3.4	200.4	安山岩	表裏面磨痕→敲打痕	KF6区	
34	石錘	(6.1)	3.9	1.3	(45.2)	雲母片岩	長軸方向に有溝 被熱	KD5区	PL104
35	石錘	6.0	3.1	1.0	(26.2)	粘板岩	長軸方向に有溝 被熱	KE4区	PL104

v) 第三層

第4号遺物包含層 (第303～312図 第235・236表 PL43・105・106)

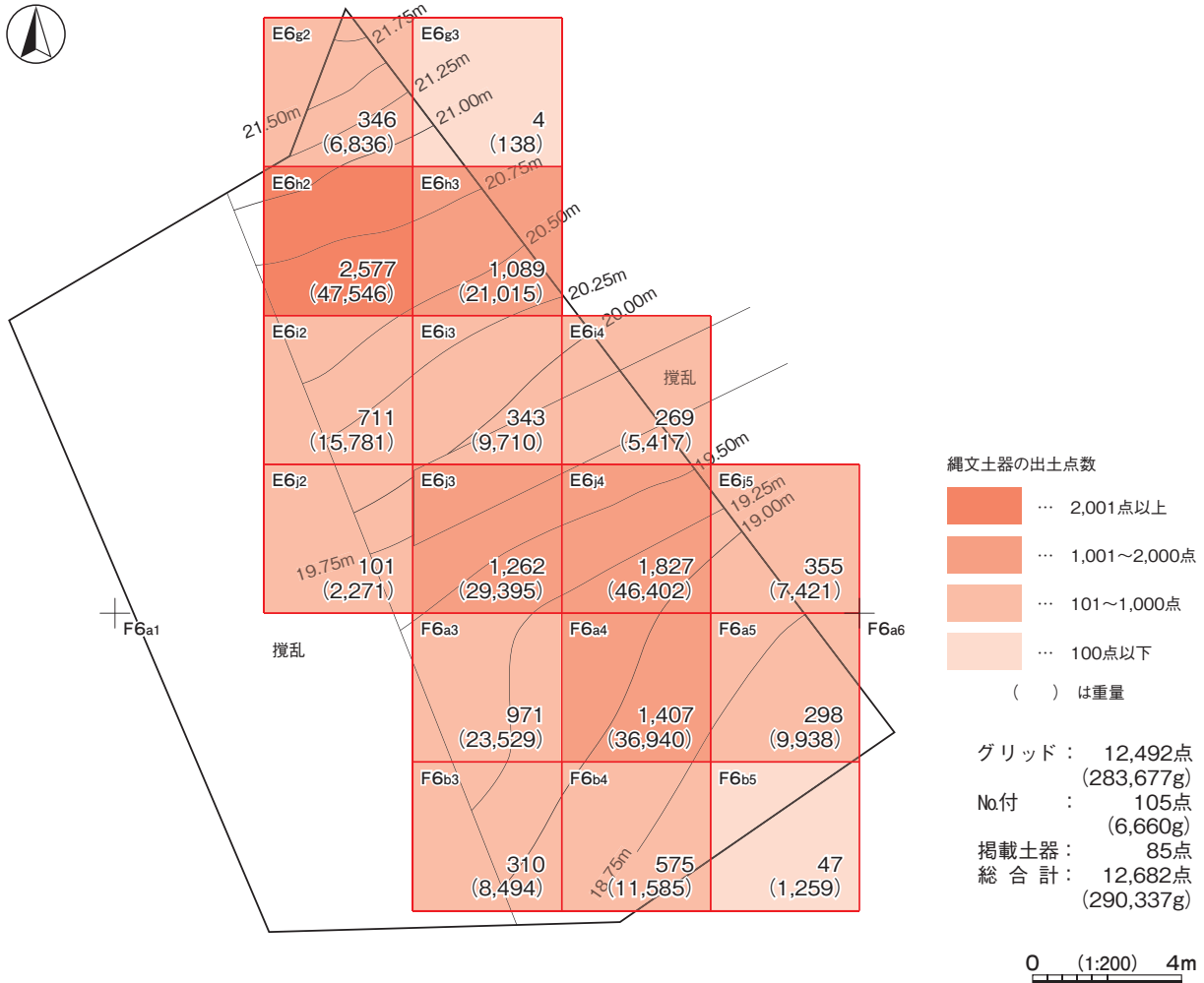
位置 調査P区のE6g1～F6b5区, 南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は18.5～21.8mである。

重複関係 第32号竪穴建物跡, 第1671・1673・1676号土坑, 第4号遺物包含層の第IV層の上部に形成されており, 第II層が上部に形成されている。第32号竪穴建物跡については, 本包含層を掘削している過程で確認したが, 遺構の覆土との判別が困難であった。したがって, 第32号竪穴建物跡が位置するE6h2～E6i3区の出土遺物には, 本来, 第32号竪穴建物跡の覆土中に帰属するものが含まれている。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。

遺物出土状況 縄文土器片12,682点(290,337g), 土製品41点(勾玉1, 耳飾り1, 土偶11, 土版3, 有孔円盤10, 土器片円盤15), 石器・石製品71点(打製石斧1, 磨製石斧6, 石皿4, 磨石36, 敲石2, 凹石1, 砥石7, 浮子₁, 石剣7, 石棒6), 剥片41点(頁岩5, 黒曜石4, 瑪瑙9, チャート22, 緑色片岩1), 石核16点(瑪瑙2, チャート14), 粘土塊23点, 骨74.2gが出土している。土器は, 堀之内1式～安行3c式のもので出土しており, 安行3b式～3c式が主体である。遺物は多量で, 下部の第IV層との層界付近から集積した状態で出土している。また, 第32号竪穴建物跡が位置しているE6h2～i3区と南部のE6j3～F6a4区に遺物が集中しており, 特に, E6j3～F6a4区周辺からは, 安行3b式の深鉢や浅鉢, 台付鉢, ミニチュア土器や土偶, 土版, 石剣, 石棒などの祭祀的な遺物がまとまって出土している。同じ特徴が第32号竪穴建物跡の出土遺物にもみられることから, 本包含層が形成される過程で第32号竪穴建物跡の覆土の一部が斜面部の下位へ流出した可能性がある。

所見 時期は, 重複関係や出土遺物から晩期前葉(安行3b式期)以降と考えられる。



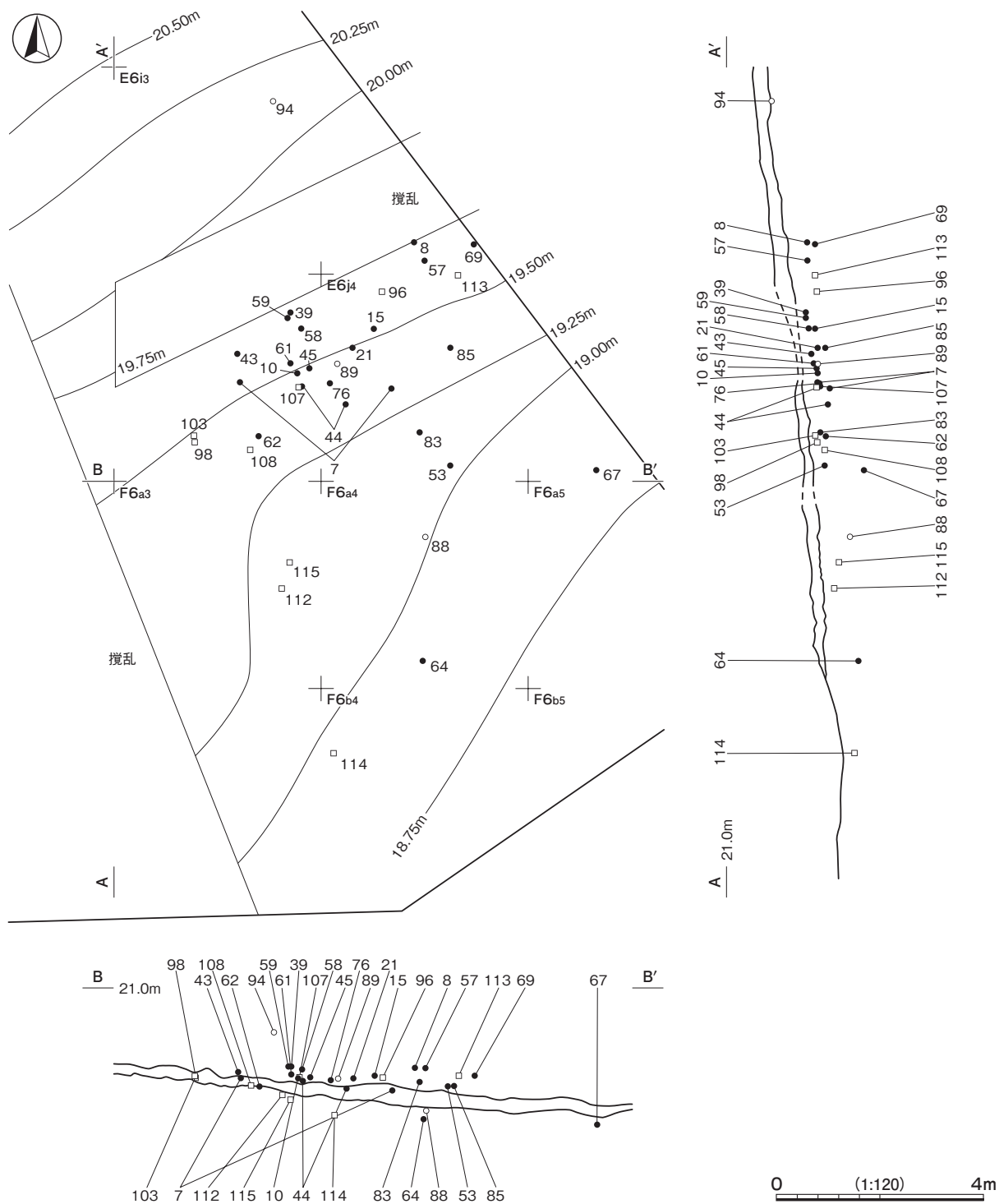
第 303 図 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層実測図 (1)

第 235 表 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土未掲載土器集計表

群	第1群	第2群	第3群		第4群		第5群		第6群		第7群				第8群		第9群		
類	前期後半	中期後半	称名寺I式	称名寺II式	堀之内1式	堀之内2式	加曾利B1式	加曾利B2式	安行1式	安行2式	安行3a式	安行3b式	姥山II式	安行3c式	前浦式	後期異系統土器	晩期異系統土器	沈線文	刺突文
点数	1	1	2	3	22	8	9	12	19	32	37	220	138	209	142	21	53	693	148
重量(g)	16	57	143	84	541	344	140	382	969	924	1,389	5,124	2,263	4,144	3,863	457	1,128	12,195	2,765
群	第9群								第10群		第11群				第12群	第13群	合計		
類	磨消文	隆起帯縄文	紐線文(古)	紐線文(新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部(古)	底部(新)	浅鉢	鉢	台付鉢	注口土器	壺	ミニチュア土器	製塩土器	細片不明	
点数	538	365	162	250	13	1,511	699	6,405	94	318	78	11	31	6	29	8	309	-	12,597
重量(g)	9,371	7,596	4,179	5,474	323	31,554	12,092	121,210	4,452	13,057	2,142	316	1,945	208	841	133	2,784	35,732	290,337

第 236 表 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物一覧 (第 305 ~ 312 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	F 6 b3 区	10%加曾利B 2 式
2	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面沈線→格子目文→無文部磨き 内面磨き	F 6 a4 区	加曾利B 2 式
3	縄文土器	釣手土器	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面把手貼付→刻み 内面ナデ	E 6 j4 区	後期中葉
4	縄文土器	釣手土器	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外面隆帯貼付→刻み 内面ナデ	E 6 h3 区	後期中葉
5	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面沈線→縄文LR→瘤貼付→無文部磨き 内面磨き	F 6 a4 区	姥山II 式
6	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	波頂部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6 j3 区	安行3 b 式

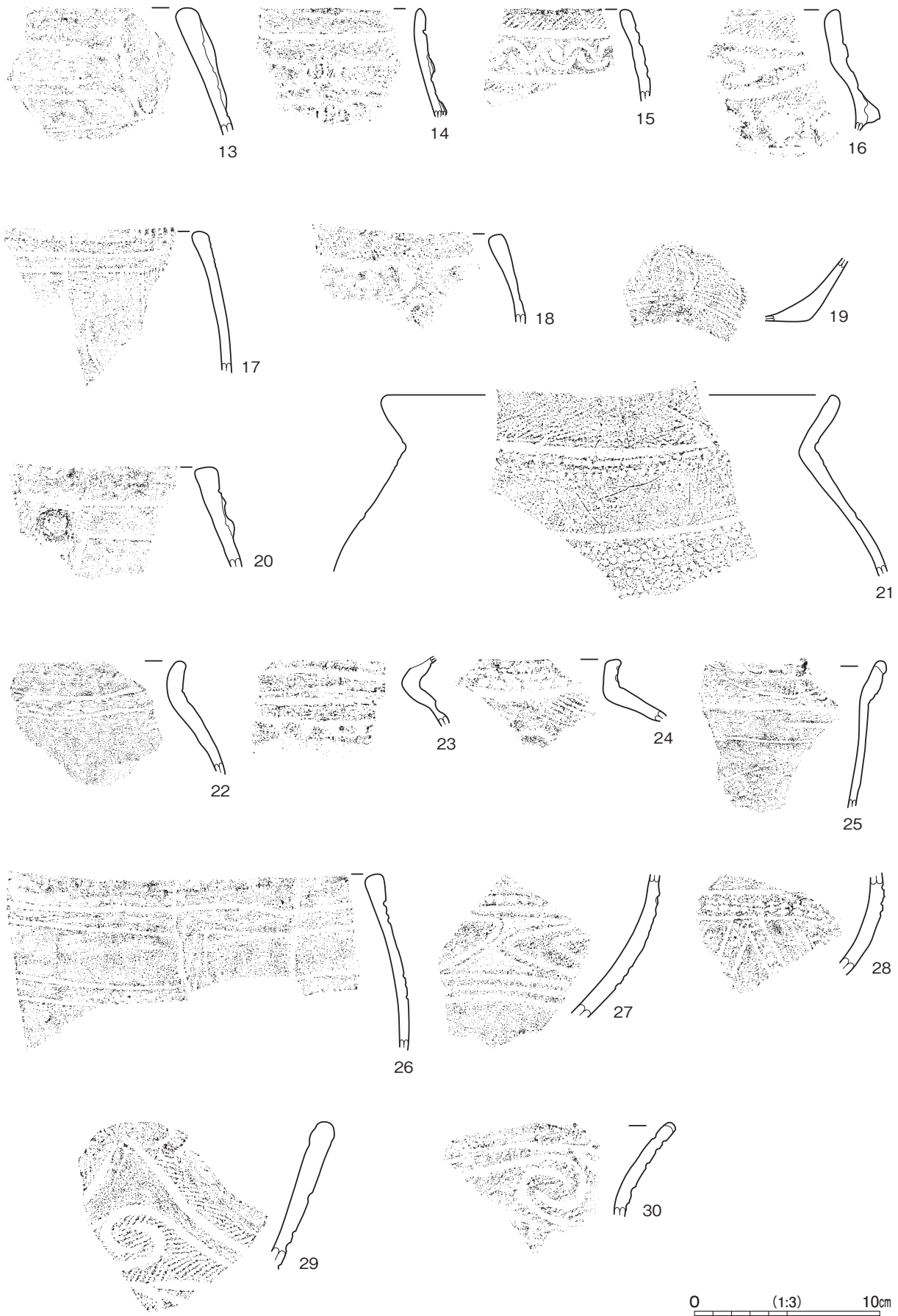


第304図 第4号遺物包含層第Ⅲ層実測図(2)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考	
7	縄文土器	深鉢	[24.0]	(11.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口唇部B突起貼付 内面磨き	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	E 6j3・j4区	15% PL105 安行3b式
8	縄文土器	深鉢	[24.4]	(10.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部B突起貼付 内面ナデ	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	E 6i4区	10% PL105 安行3b式
9	縄文土器	深鉢	[18.8]	(12.5)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	口唇部B突起貼付 内面ナデ	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	E 6j3区	10% PL105 安行3b式
10	縄文土器	深鉢	[16.4]	(9.8)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口唇部B突起貼付 内面磨き	外面沈線→縄文LR→無文部磨き	E 6i4区	10% PL105 安行3b式
11	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口唇部B突起貼付 内面磨き	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 有孔 内側から穿孔	E 6h2区	安行3b式



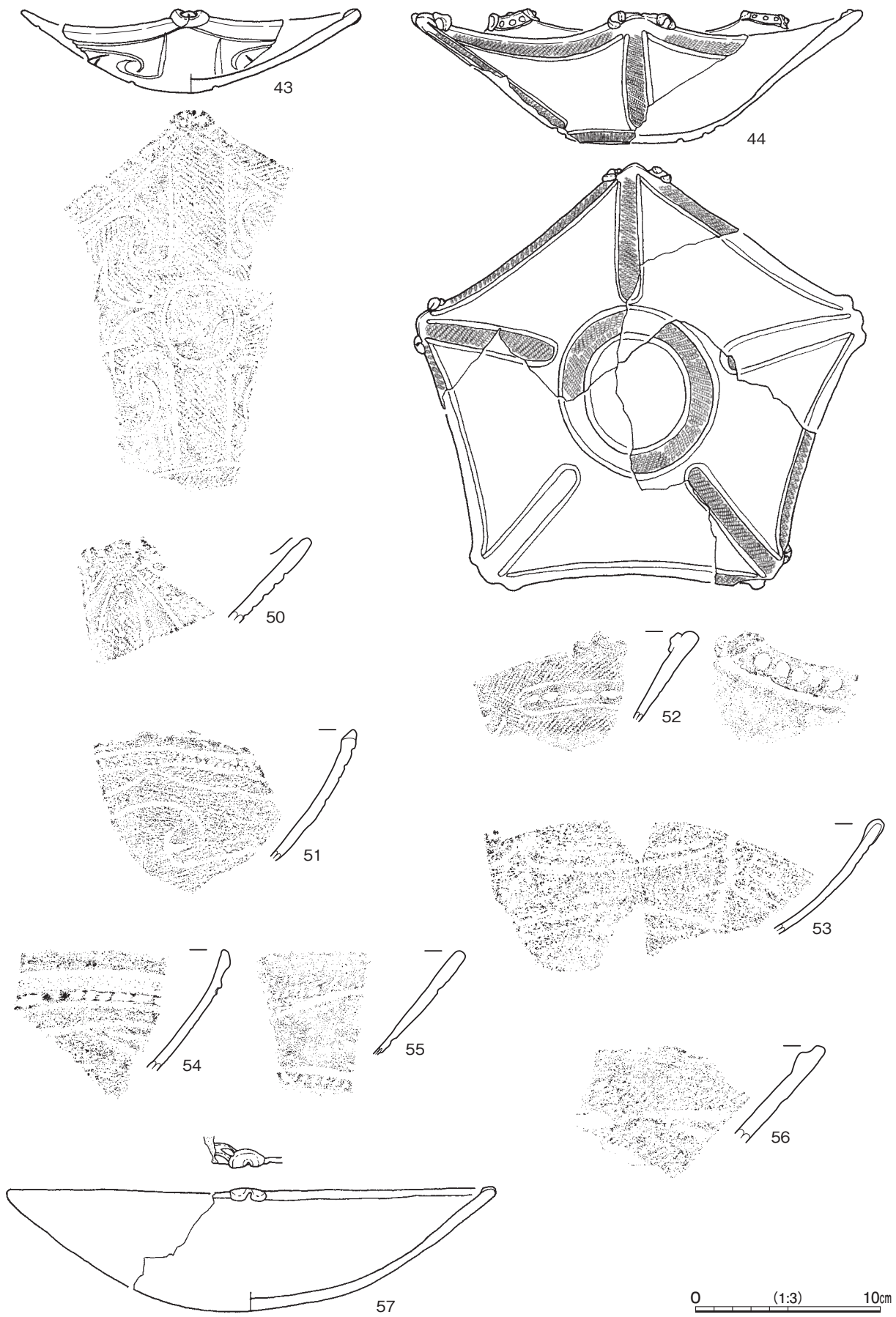
第 305 図 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (1)



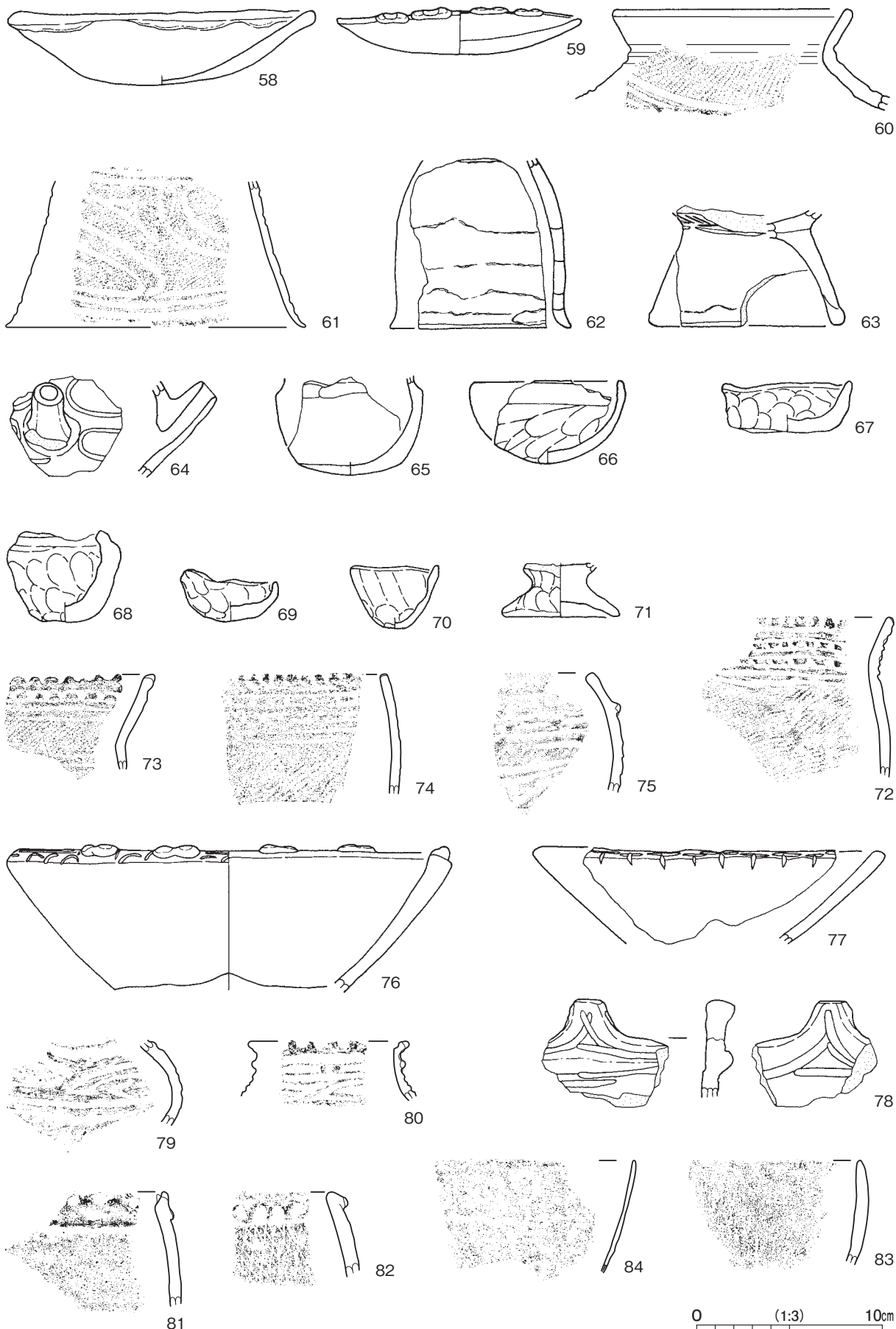
第306図 第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(2)



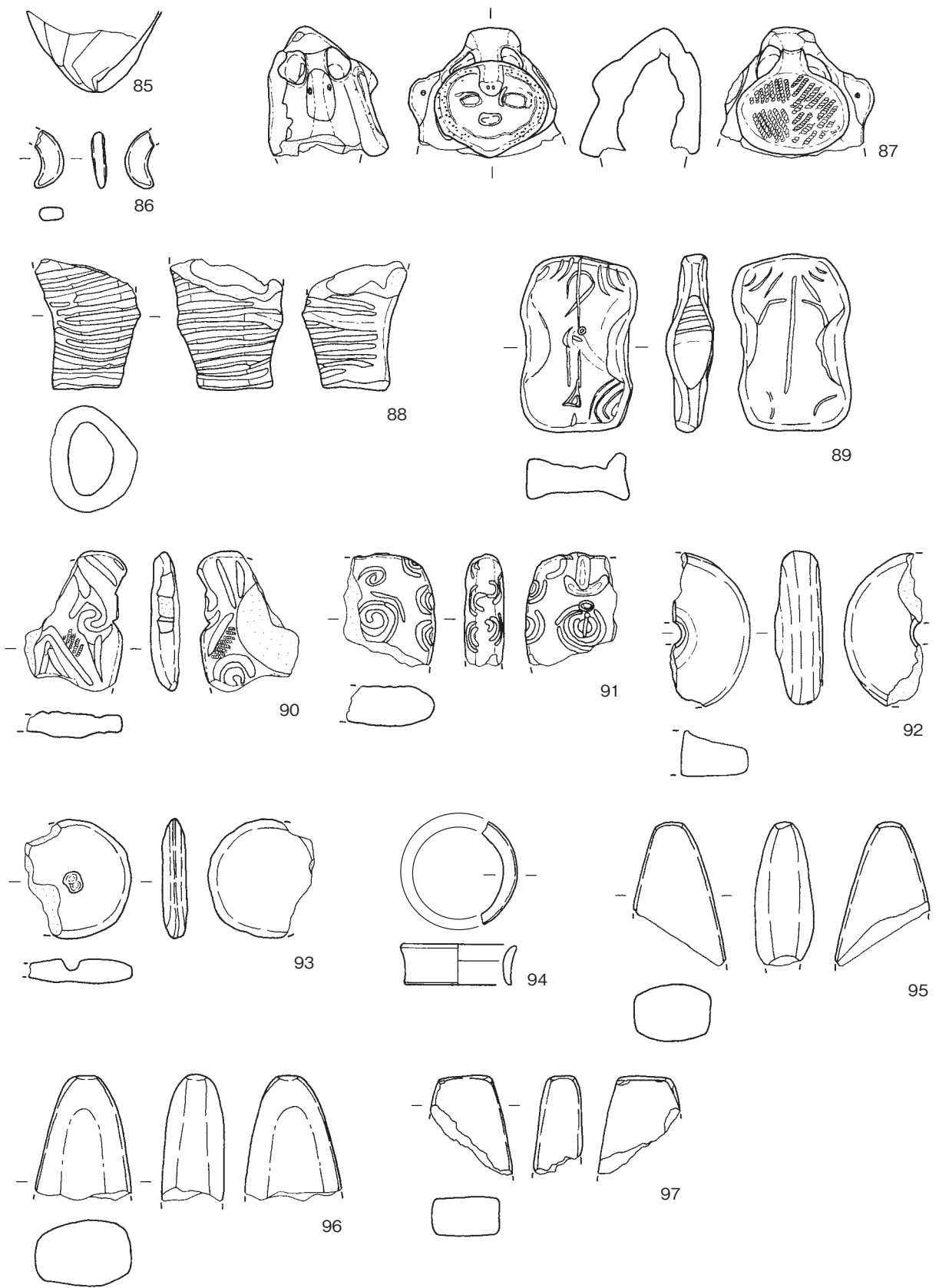
第 307 图 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (3)



第 308 图 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图 (4)



第 309 图 第 4 号 遺物 包含 層 第 III 層 出土 遺物 実測 図 (5)

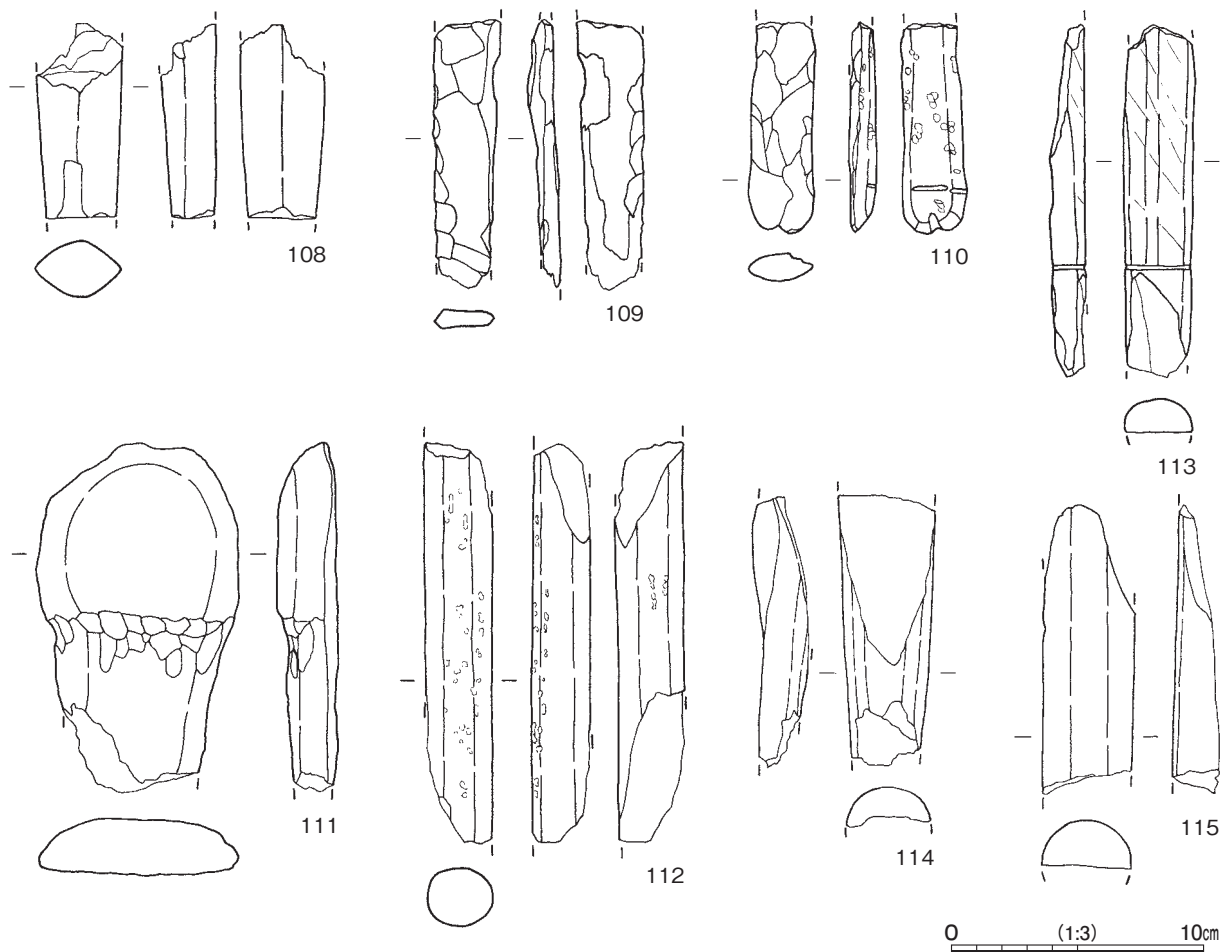


0 (1:3) 10cm

第310图 第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图(6)



第 311 図 第 4 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (7)



第312図 第4号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(8)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
12	縄文土器	深鉢	[13.8]	(6.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	E 6j4区	安行3b式
13	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面瘤貼付→沈線→縄文RL→無文部磨き 内面ナデ	F 6a4区	安行3c式
14	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	浅黄橙	普通	外面沈線→縄文RL→瘤貼付→無文部磨き 内面ナデ	E 6g2区	安行3a式
15	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	E 6j4区	安行3a式
16	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	外面隆帯貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6i3区	安行3a式
17	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	口唇部刻み 外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 6g2区	姥山Ⅱ式
18	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 6j5区	姥山Ⅱ式
19	縄文土器	角底土器	-	(3.5)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	外面沈線→細密沈線→無文部磨き 内面磨き	F 6b4区	姥山Ⅱ式
20	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英	橙	普通	外面瘤貼付→沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6h2区	姥山Ⅱ式
21	縄文土器	深鉢	[24.0]	(9.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面沈線→縄文LR→列点文 内面磨き	E 6j4区	10% PL105 安行3c式
22	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	外面沈線→縄文RL→列点文 内面ナデ	E 6j4区	安行3c式
23	縄文土器	鉢	-	(3.8)	-	長石・石英	橙	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 6j4区	大洞C1式
24	縄文土器	深鉢	-	(3.3)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面列点文→縄文RL 内面ナデ	E 6h2区	安行3c式
25	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→列点文 内面磨き	E 6j3区	安行3c式
26	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面沈線→列点文 内面ナデ	E 6j3区	10% 安行3c式
27	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 6j4区	大洞C2式
28	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	外面沈線→列点文→無文部磨き 内面磨き	E 6h3区	安行3c式
29	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面口縁部1条の沈線	E 6j4区	PL105 前浦2式
30	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR 内面磨き →口縁部1条の沈線	E 6h2区	前浦1式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
31	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	浅黄橙	普通	外面沈線→縄文LR 内面磨き	E 6j4区	前浦2式
32	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き→沈線	E 6j5区	前浦2式
33	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き→口縁部2条の沈線	F 6a3区	前浦2式
34	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面沈線→円文貼付→縄文LR 内面磨き→口縁部1条の沈線	E 6h3区	前浦2式
35	縄文土器	浅鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6j4区	大洞C1式
36	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面沈線 内面ナデ 孔1か所 2方向からの穿孔	E 6h3区	晩期中葉
37	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナデ	E 6h3区	前浦式
38	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面条線 内面ナデ	F 6a3区	晩期前葉
39	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面条線 内面磨き	E 6j3区	晩期前葉
40	縄文土器	深鉢	[11.0]	(8.6)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい橙	普通	外面条線 内面ナデ	E 6g2区	10% 晩期前葉
41	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面削り 内面ナデ	F 6a4区	晩期前葉
42	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面ナデ 内面ナデ→口縁部1条の沈線	F 6a3区	晩期前葉
43	縄文土器	浅鉢	[18.1]	4.4	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	E 6j3区	45% PL105 安行3b式
44	縄文土器	浅鉢	[24.5]	7.1	[7.0]	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	波頂部5単位カ B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6j3・j4区	60% PL105 安行3b式
45	縄文土器	浅鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	E 6j3区	10% 大洞C2式
46	縄文土器	浅鉢	[16.9]	(4.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	F 6a5区	10% 安行3b式
47	縄文土器	浅鉢	-	(4.8)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口唇部小突起 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き 孔2か所 二方向からの穿孔	E 6i2区	安行3b式
48	縄文土器	浅鉢	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口唇部沈線 外面沈線→縄文LR→無文部磨き	E 6h2区	安行3b式
49	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	波頂部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	F 6a4区	安行3b式
50	縄文土器	浅鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	波頂部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→列点文→無文部磨き 内面磨き	F 6a5区	安行3c式
51	縄文土器	浅鉢	-	(7.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→列点文 内面磨き	E 6j4区	安行3c式
52	縄文土器	浅鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き→列点文 内面隆帯貼付→列点文→ナデ	E 6j3区	安行3c式
53	縄文土器	浅鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→列点文 内面ナデ	E 6j3区	30% 安行3c式
54	縄文土器	浅鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 6j4区	大洞C2式
55	縄文土器	浅鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい橙	普通	外面沈線→列点文 内面磨き	E 6g2区	安行3c式
56	縄文土器	浅鉢	-	(5.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面沈線→縄文LR 内面口縁部隆帯沈線→磨き	E 6h2区	前浦式
57	縄文土器	浅鉢	26.5	6.7	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部B突起貼付 外面削り 内面磨き	E 6i4区	60% 晩期前葉
58	縄文土器	浅鉢	15.8	4.0	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外・内面ナデ	E 6j3区	100% PL105 晩期前葉
59	縄文土器	浅鉢	13.0	2.5	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部B突起貼付 外面削り→磨き 内面ナデ	E 6j3区	80% 晩期前葉
60	縄文土器	壺	[12.5]	(5.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐	普通	外面沈線→縄文LR 内面磨き	E 6j4区	10% 晩期前葉
61	縄文土器	台付鉢	-	(7.8)	[16.2]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	台部片 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	E 6j3区	PL105 大洞C2式
62	縄文土器	台付鉢	-	(9.1)	[9.8]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	台部片 外・内面ナデ	E 6j3区	晩期前葉
63	縄文土器	台付鉢	-	(6.2)	[9.8]	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	台部片 外面ナデ→接合部沈線 内面磨き	F 6a3区	加曾利B2~3式
64	縄文土器	注口土器	-	(5.1)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	外面沈線→磨き 内面ナデ	F 6a4区	10% 晩期前葉
65	縄文土器	ミニチュア土器	-	(5.2)	5.6	長石・石英	にぶい橙	普通	外・内面ナデ	E 6j3区	30% 後晩期
66	縄文土器	ミニチュア土器	[7.9]	4.5	-	長石・石英	褐灰	普通	外・内面ナデ 指頭痕	E 6h2区	30% 後晩期
67	縄文土器	ミニチュア土器	7.0	2.7	4.2	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外・内面ナデ 指頭痕	E 6j5区	100% PL105 後晩期
68	縄文土器	ミニチュア土器	[4.0]	4.9	2.6	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外・内面ナデ 指頭痕	F 6a3区	30% 後晩期
69	縄文土器	ミニチュア土器	4.9	2.9	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	外・内面ナデ 指頭痕	E 6i4区	80% PL105 後晩期
70	縄文土器	ミニチュア土器	[4.5]	3.4	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外・内面ナデ 指頭痕	E 6h2区	80% PL105 後晩期
71	縄文土器	ミニチュア土器	-	(2.9)	6.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	浅黄橙	普通	蓋形 外・内面ナデ 指頭痕	E 6i4区	50% 後晩期
72	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面沈線→縄文LR 内面磨き	E 6i2区	PL105 大洞C1式
73	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英	橙	普通	外面沈線→縄文LR 内面ナデ	E 6j3区	大洞C1式
74	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面沈線→縄文LR 内面磨き	E 6j4区	大洞C1式
75	縄文土器	鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	外面瘤貼付→沈線→縄文LR 内面ナデ	E 6h2区	大洞C2式
76	縄文土器	浅鉢	[24.0]	(7.8)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	口唇部B突起貼付→沈線 外面削り 内面磨き	E 6j4区	25% 晩期中葉
77	縄文土器	浅鉢	[19.0]	(5.0)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部沈線 外面ナデ 内面磨き	E 6j5区	10% 晩期中葉
78	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部外・内面沈線→磨き	E 6h2区	大洞C2~A式
79	縄文土器	壺	-	(4.6)	-	長石・石英	灰黄	普通	外面沈線→無文部磨き 内面ナデ	E 6h2区	10% 大洞C2式
80	縄文土器	壺	[8.4]	(3.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面沈線→瘤貼付 内面磨き	F 6a4区	大洞C2式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
81	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	明褐色	普通	外面ナデ→口縁部指頭痕 内面磨き	E 6j3区	晩期中葉
82	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	外面網目状捺糸文→紐線貼付 内面ナデ	F 6a4区	晩期中葉
83	縄文土器	製塩土器	-	(5.6)	-	長石・石英	橙	普通	外・内面ナデ	E 6j4区	晩期前葉
84	縄文土器	製塩土器	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外・内面ナデ	E 6j3区	晩期前葉
85	縄文土器	製塩土器	-	(4.2)	1.0	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	外面削り 内面ナデ	E 6j4区	晩期前葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
86	勾玉	(2.9)	(1.5)	(0.7)	(2.4)	長石・石英	褐灰	一部欠損 ナデ	E 6j3区	PL106
87	土偶	(6.7)	(8.0)	(6.2)	(181.0)	長石・石英	にぶい黄褐	中空土偶 頭部片 顔面沈線・刺突文 背面羽状 構成の縄文RL	F 6a5区	PL106
88	土偶	(6.7)	(5.4)	(5.9)	(108.2)	長石・石英・雲母	にぶい橙	中空土偶 脚部片 外面沈線文	F 6a4区	PL106
89	土版	9.2	6.1	2.4	108.6	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	表裏面沈線文	E 6j4区	PL106
90	土版	(7.2)	(5.2)	(1.5)	(42.3)	長石・石英・雲母	灰褐	表裏面沈線文→縄文RL 手燭形の柄部の可能性あり	E 6j5区	
91	土版	(5.8)	(4.7)	2.0	(56.7)	長石・石英・雲母	褐灰	表裏面沈線文	E 6j4区	PL106
92	有孔円盤	[8.0]	[8.0]	2.4	(71.7)	長石・石英	にぶい黄橙	孔径 [1.3] cm 一方向からの穿孔 ナデ	F 6a4区	
93	有孔円盤	[6.2]	[6.2]	1.4	(38.3)	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	未穿孔 ナデ	F 6a4区	
94	耳飾り	[6.0]	[6.0]	2.1	(10.2)	長石・石英・雲母	明黄褐	滑車型 磨き	E 6i3区	

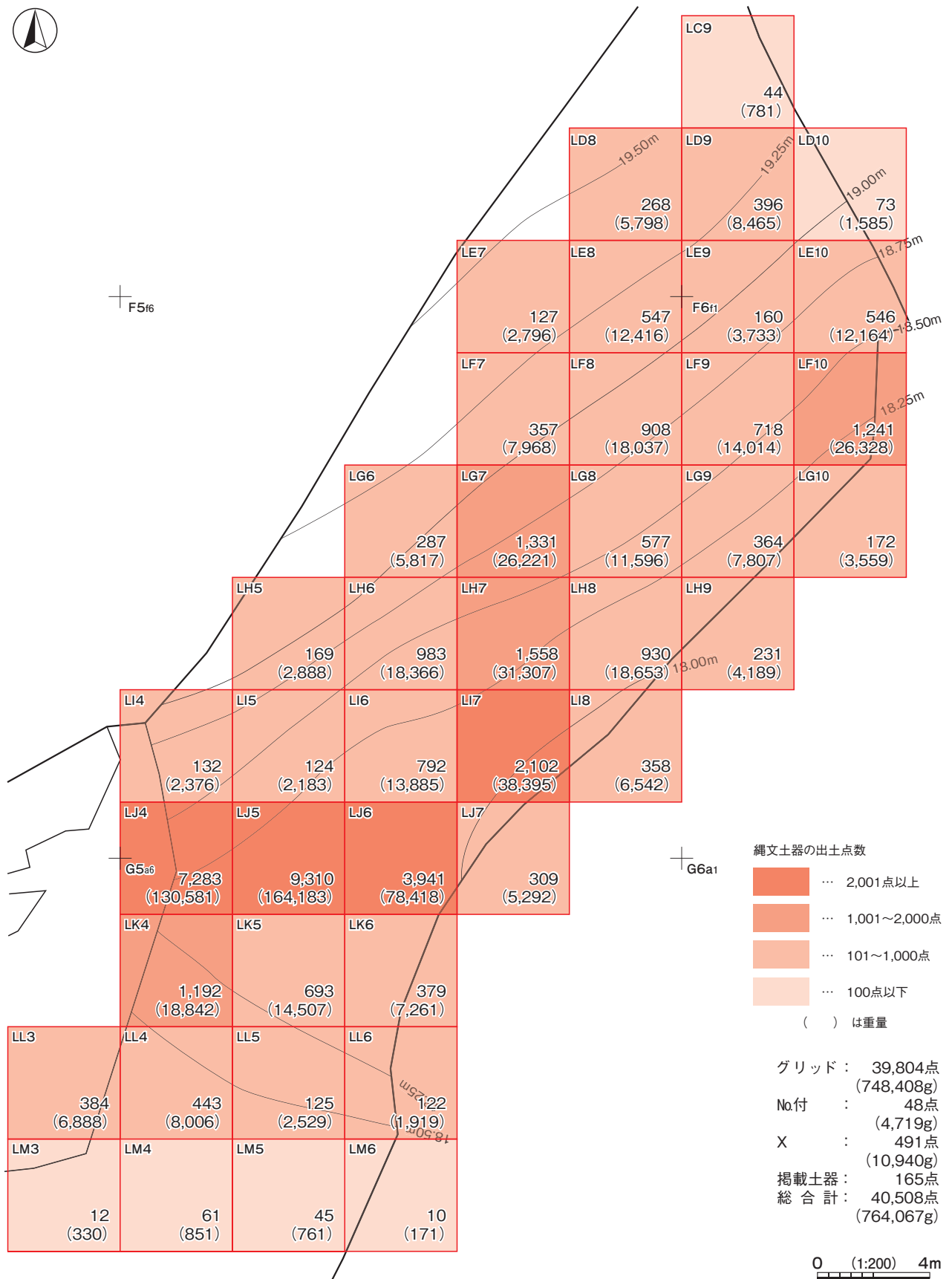
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
95	磨製石斧	(7.5)	(4.8)	3.2	(131.1)	蛇紋岩	定角式 研磨成形 刃部欠損	F 6a4区	PL106
96	磨製石斧	(6.5)	(5.0)	3.3	(168.9)	閃緑岩	定角式 研磨成形 刃部欠損	E 6j4区	PL106
97	磨製石斧	(5.1)	(4.3)	(2.5)	(68.3)	蛇紋岩	定角式 研磨成形 刃部欠損	E 6h2区	
98	石皿	(11.9)	(8.5)	5.2	(371.0)	安山岩	表面磨痕 裏面凹痕	E 6j3区	
99	磨石	8.6	8.4	3.4	326.3	安山岩	表裏面磨痕	E 6j4区	
100	磨石	7.2	7.0	1.6	120.2	デイスait	表裏面磨痕	F 6a3区	
101	磨石	5.8	5.9	3.1	153.6	安山岩	表裏・二側面磨痕	E 6g2区	
102	磨石	5.9	5.5	3.1	132.3	安山岩	表裏・側面磨痕	F 6a3区	
103	敲石	6.1	5.8	5.9	202.3	安山岩	磨石転用 六面に磨痕→凹痕	E 6j3区	
104	敲石	(7.4)	(5.2)	(5.2)	(175.9)	安山岩	磨石転用 三面に磨痕→凹痕	F 6a3区	
105	凹石	(12.4)	(11.4)	5.0	(497.2)	安山岩	表裏面凹痕	E 6h2区	
106	砥石	4.7	3.1	2.0	35.8	砂岩	線状の砥痕	E 6j3区	
107	石剣	11.2	3.2	1.8	(93.7)	粘板岩	研磨成形 上下端・側面に敲打痕 再利用カ	E 6j3区	PL106
108	石剣	(7.6)	3.3	2.2	(77.5)	緑色片岩	研磨成形	E 6j3区	
109	石剣	(10.6)	(2.7)	(1.3)	(34.7)	粘板岩	研磨成形 両側縁から打撃痕	E 6j5区	
110	石剣	(8.3)	2.7	(1.1)	(31.9)	粘板岩	研磨成形 一部敲打痕が残る 線刻 上端部に切り目痕あり 石鏃に転用。	E 6h2区	
111	石棒	(13.8)	8.0	(2.4)	(334.2)	雲母片岩	敲打成形	E 6i2区	PL106
112	石棒	(15.8)	2.8	2.4	(156.7)	粘板岩	研磨成形 一部敲打痕が残る	F 6a3区	PL106
113	石棒	(13.9)	2.8	(1.4)	(81.0)	緑色片岩	研磨成形 線刻	E 6i4区	PL106
114	石棒	(10.6)	3.7	(2.1)	(101.4)	粘板岩	研磨成形 被熱	F 6b4区	PL106
115	石棒	(11.5)	3.7	(1.9)	(81.6)	粘板岩	研磨成形 被熱	F 6a3区	

第4・5号遺物包含層 (第313～331図 第237・238表 PL44・45・107～110)

位置 調査L区のF 5c0～G 5d8区, 南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は18.0～19.7mである。

重複関係 第4・5号遺物包含層の第IV層の上部に形成されており, 第II層が上部に形成されている。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。西側の調査K区から続く谷が, 東方向(N-84°-E)へ延びており, 南部のG 5a6～a9区(L J 4～7区)が谷底部となっている。谷底部の堆積状況(第286～290



第 313 図 第 4・5号遺物包含層第三層実測図 (1)

図 第Ⅲ-5～7層)は、水成堆積の特徴を示し、特に、L J 4区付近は、下部の第Ⅳ層を浸食して凹地状を呈し、一部が第Ⅴ層の直上まで達している状況が確認できた(第357図)。西側に隣接する平成22年度調査区のG 5a5区において、第296号土坑(『第364集』所収)が確認されており、同土坑を湧水点とした水場が形成されていた可能性がある。

遺物出土状況 縄文土器40,508点(764,067g)、土製品228点(手燭形土製品1、耳栓1、土偶20、土版2、土器片錘1、土器片円盤202、不明1)、石器・石製品276点(石鏃2、打製石斧4、磨製石斧5、石皿20、磨石194、敲石18、凹石5、石錘4、砥石12、浮子1、石剣9、石棒1、独鈷石1)、剥片26点(頁岩1、黒曜石3、瑪瑙4、チャート18)、石核20点(頁岩1、チャート19)、骨27.2gが出土している。土器は、前期前半の黒浜式や中期後半の加曾利E式のものが見られるほか、称名寺I式～安行3d式の縄文土器が出土しており、安行3a式～安行3c式のものが多い。遺物は、下部の第Ⅳ層との層界付近から多量に出土している。斜面部のL F 10・L G 7～L I 7区など、部分的に遺物が集中している箇所もあるが、全体的には破片が散在している状態である。また、谷底部のL J 4区周辺では、最下層から小破片が石畳状に集積した状態で出土している(写真図版PL45参照)。台地上から流れ込んだもの、あるいは台地縁辺部の土砂流出に伴い混入したものと考えられる。

所見 出土土器が第Ⅳ層との層界付近から出土していることから、晩期前葉～中葉(安行3a式～安行3c式期)に第Ⅳ層から第Ⅲ層へと堆積環境が変化したと考えられ、その一因に、第296号土坑が新たな湧水点として開口した可能性が挙げられる。

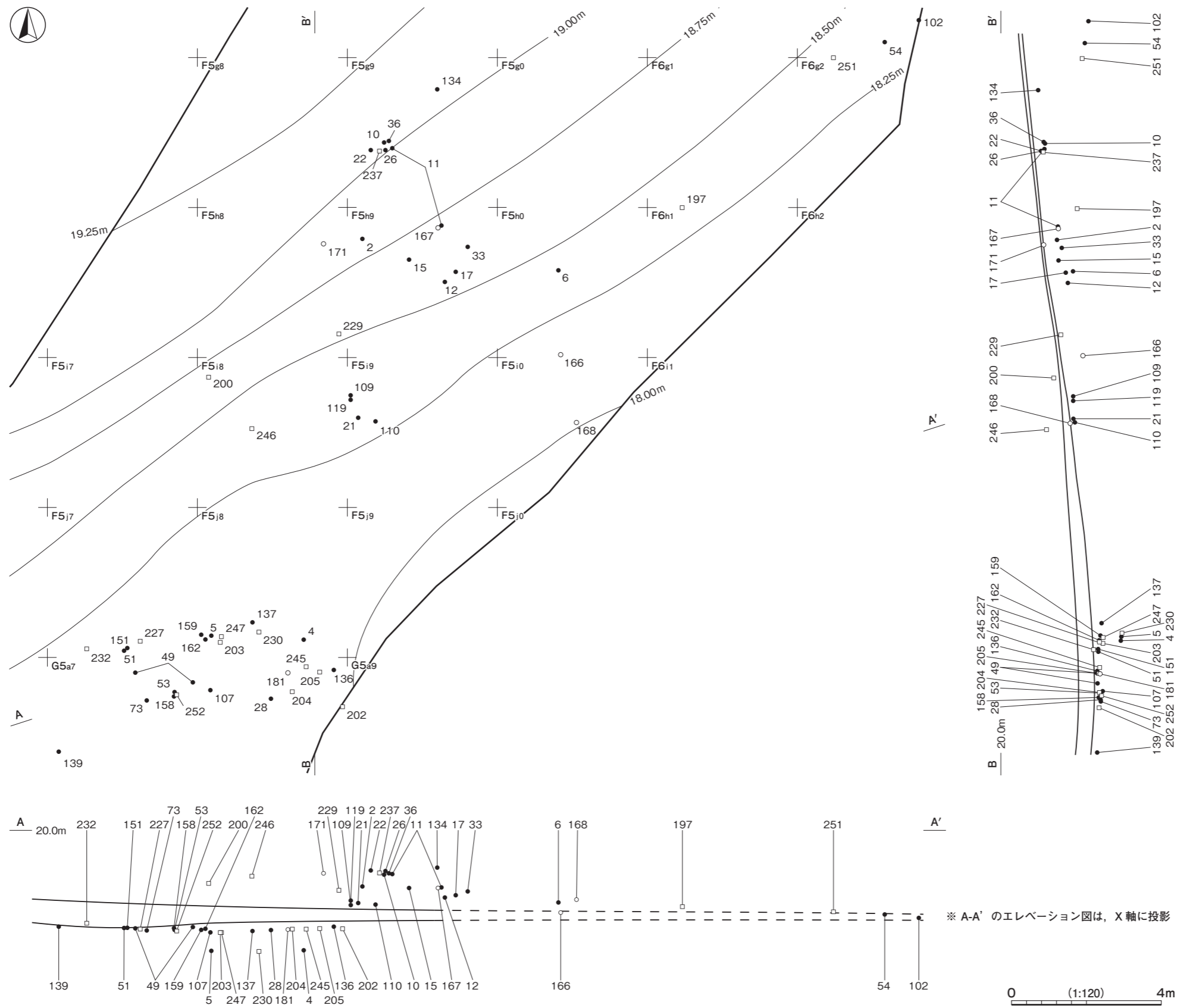
第237表 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土未掲載土器集計表

群	第1群		第2群		第3群		第4群		第5群			第6群		第7群					第8群		第9群	
	前期前半	中期後半	称名寺I式	称名寺II式	堀之内I式	堀之内II式	加曾利B1式	加曾利B2式	加曾利B3式	曾谷式	安行1式	安行2式	安行3a式	安行3b式	姥山II式	安行3c式	前浦式	安行3d式	後期異系統土器	晩期異系統土器	沈線文	刺突文
点数	7	3	7	12	87	30	22	23	14	16	39	97	229	241	426	202	88	17	12	134	2,153	931
重量(g)	151	261	345	467	2,491	743	369	857	435	516	1,779	2,950	7,236	6,120	6,202	4,046	2,278	392	232	2,096	33,162	17,049

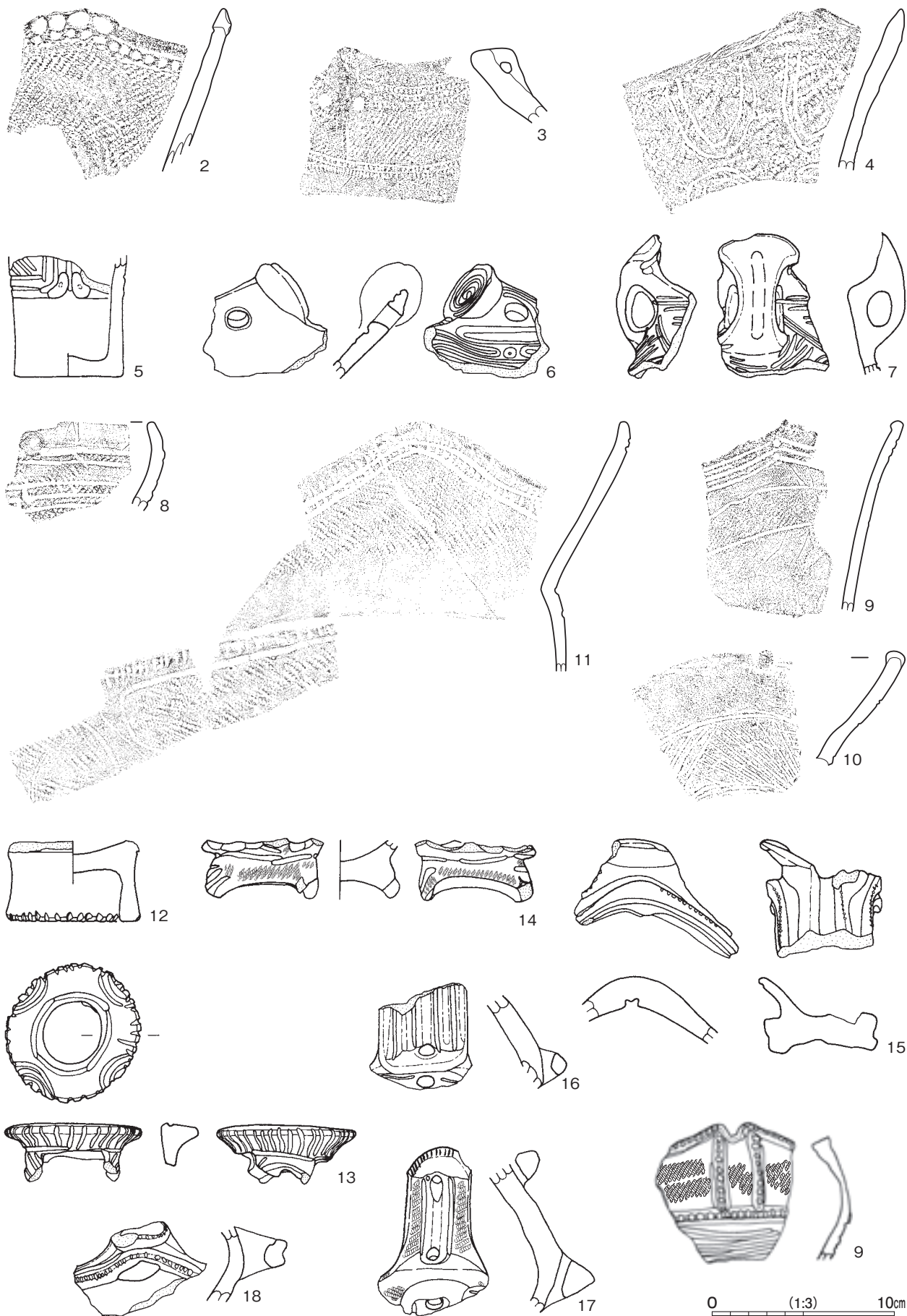
群	第9群							第10群		第11群							第12群	第13群	合計			
	磨消文	隆起帯縄文	紐線文(古)	紐線文(新)	格子目文	糸線文	縄文	無文	底部(古)	底部(新)	浅鉢	鉢	台付鉢	注口土器	壺	角底土器	鈎手土器	異形台付土器		ミニチュア土器	製塩土器	細片不明
点数	2,423	1,794	677	1,246	108	7,777	4,090	15,478	404	822	209	1	81	28	17	4	3	1	8	382	-	40,343
重量(g)	37,614	36,769	15,223	29,176	2,052	137,115	63,909	238,585	19,658	29,825	6,311	23	4,755	758	362	59	83	33	144	3,344	48,092	764,067

第238表 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物一覧(第315～331図)

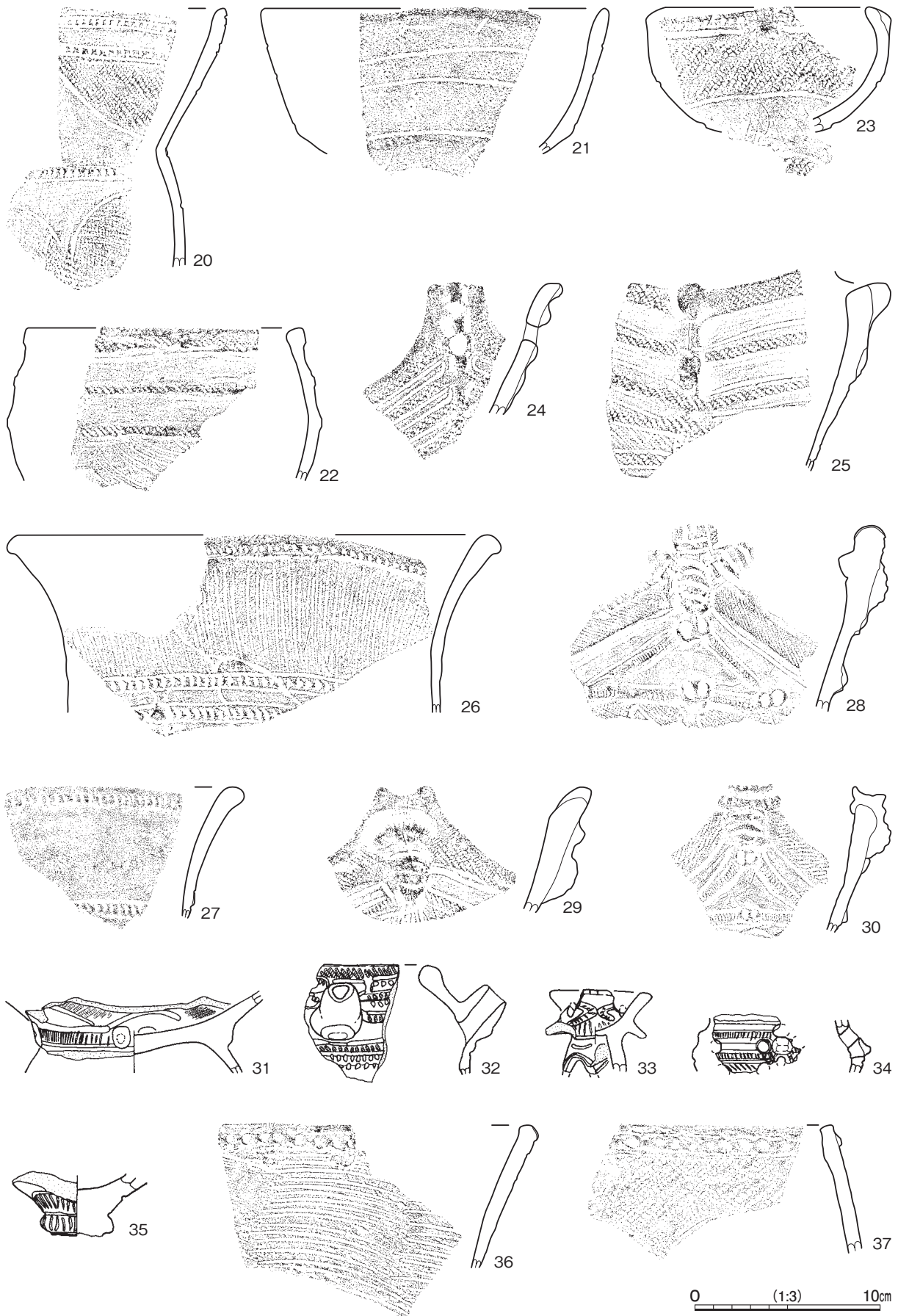
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	浅鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	刺突を有する隆起帯で上下・縦位を区画 円形竹管文充填 HG 4・5 IV 8と接合	L D 10区1x	堀之内1式併行
2	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面LR縄文→紐線貼付 口唇部に押圧を伴う弧状の突起 内面口縁部沈線	L G 7区1x	後期前葉
3	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面口縁部肥厚気味 口縁部3条・頸部2条の刻み列 口縁部に横位の貫通孔伴う突起 頸部LR充填の横帯文	L J 4区6x	PL107 後期後葉
4	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面口縁部に弧状突起1か所 縄文LR→対弧状の沈線文 煤付着 内面ナデ	L J 6区6x	PL107 堀之内1式
5	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	5.8	長石・石英	灰褐	普通	外面円形浮文を伴う紐線による縦位区画 紐線上刻みカ 区画内沈線文充填 無文部・底部丁寧な磨き 内面ナデ	L J 6区6x	20% 堀之内2式
6	縄文土器	浅鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・針状物質	にぶい橙	普通	外・内面丁寧な磨き 内面に沈線文	L G 8区2x	堀之内2式
7	縄文土器	注口土器	-	(7.7)	-	長石・石英	灰白	普通	把手片 外・内面丁寧な磨き 外面半裁竹管文による沈線文	L J 6区5x	堀之内2式
8	縄文土器	鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面縄文LR充填の横帯文 内面磨き	L K 5区1x	加曾利B1式
9	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	緩い波状 波頂部に紐線貼付 外面口縁部LR充填の2条の横帯文 胴部LR充填の横帯文 内面口縁部に沈線	L J 6区5x	堀之内2式
10	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英	灰褐	普通	外面口唇部に粘土紐貼付 頸部交互斜線文 内面磨き	L G 7区1x	加曾利B2式
11	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面口縁部に2条の刻み列 口頸部内面縄文RL 下端区画線なし 胴部RL充填のつ字文 内面磨き	L G 7区1~2x	10% PL107 加曾利B3式



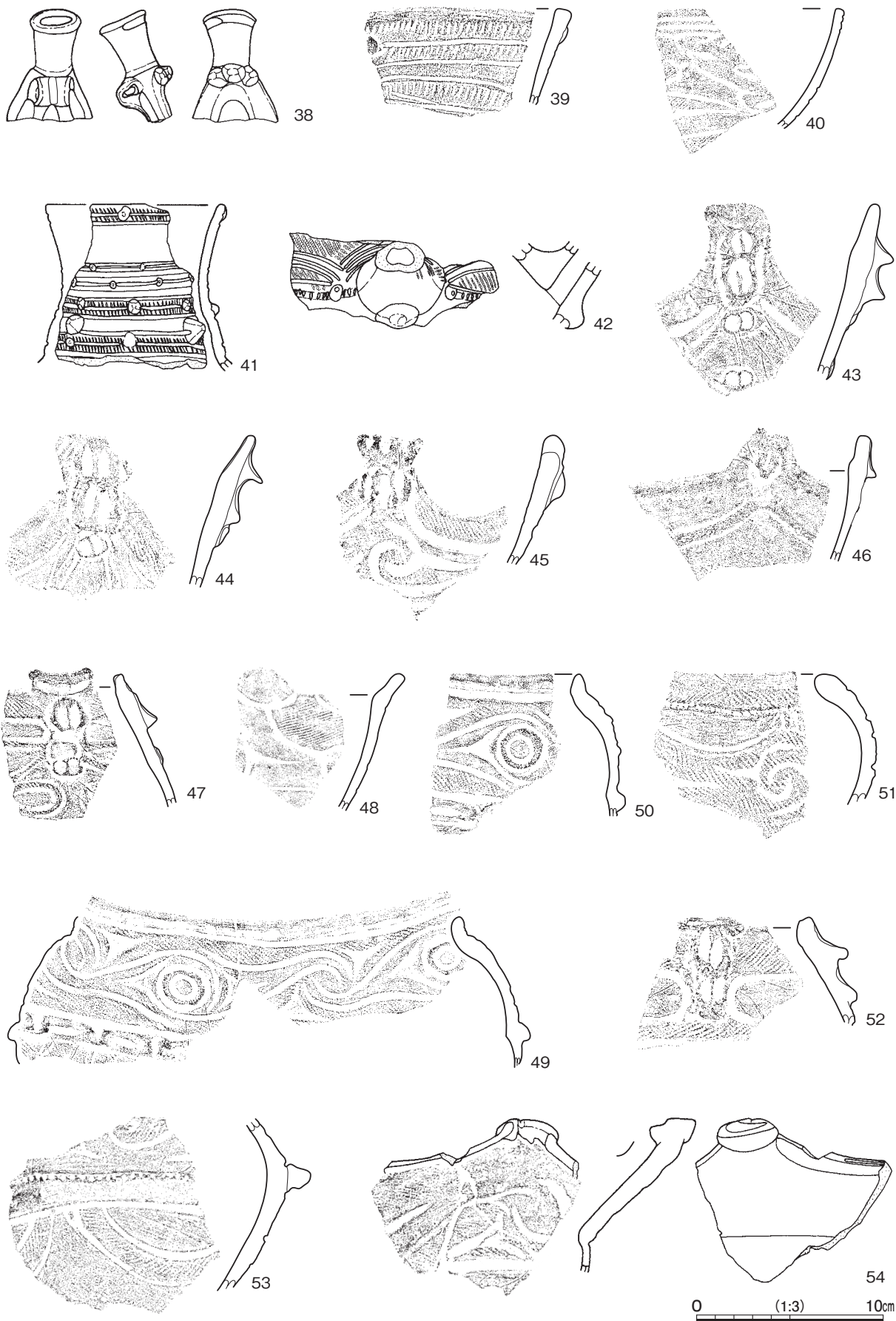
第314図 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層実測図(2)



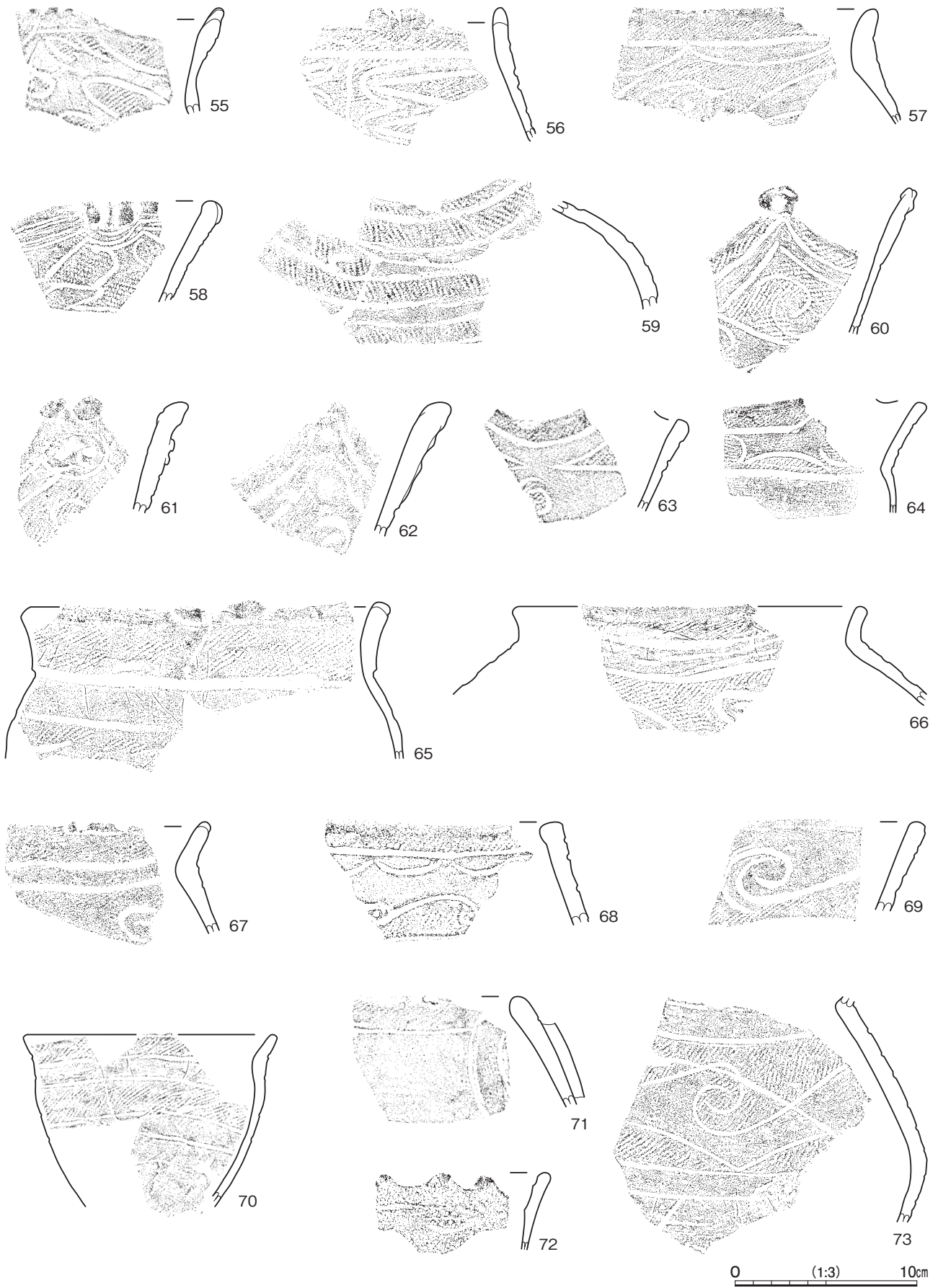
第 315 图 第 4 · 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图 (1)



第316図 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(2)



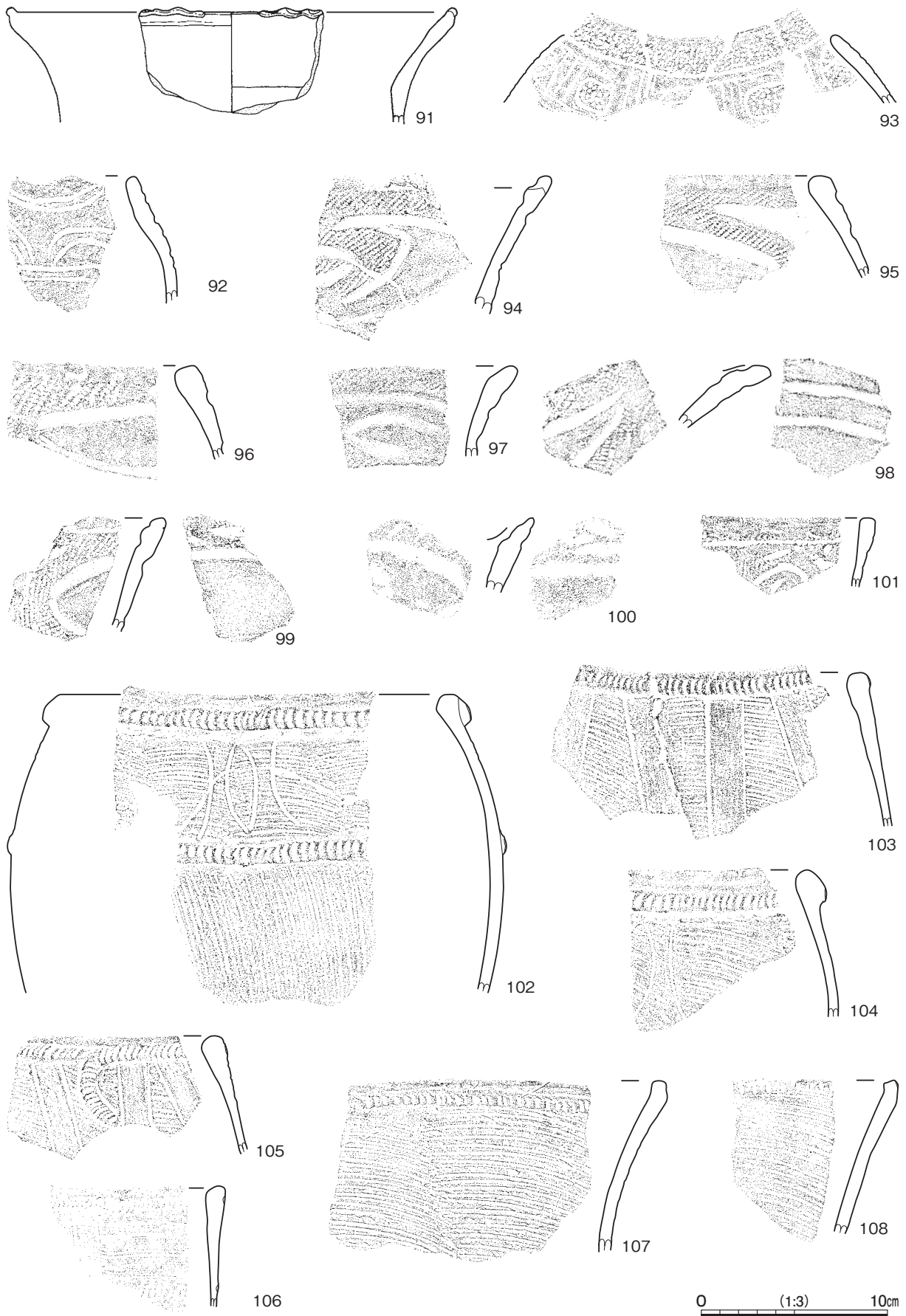
第 317 图 第 4 · 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (3)



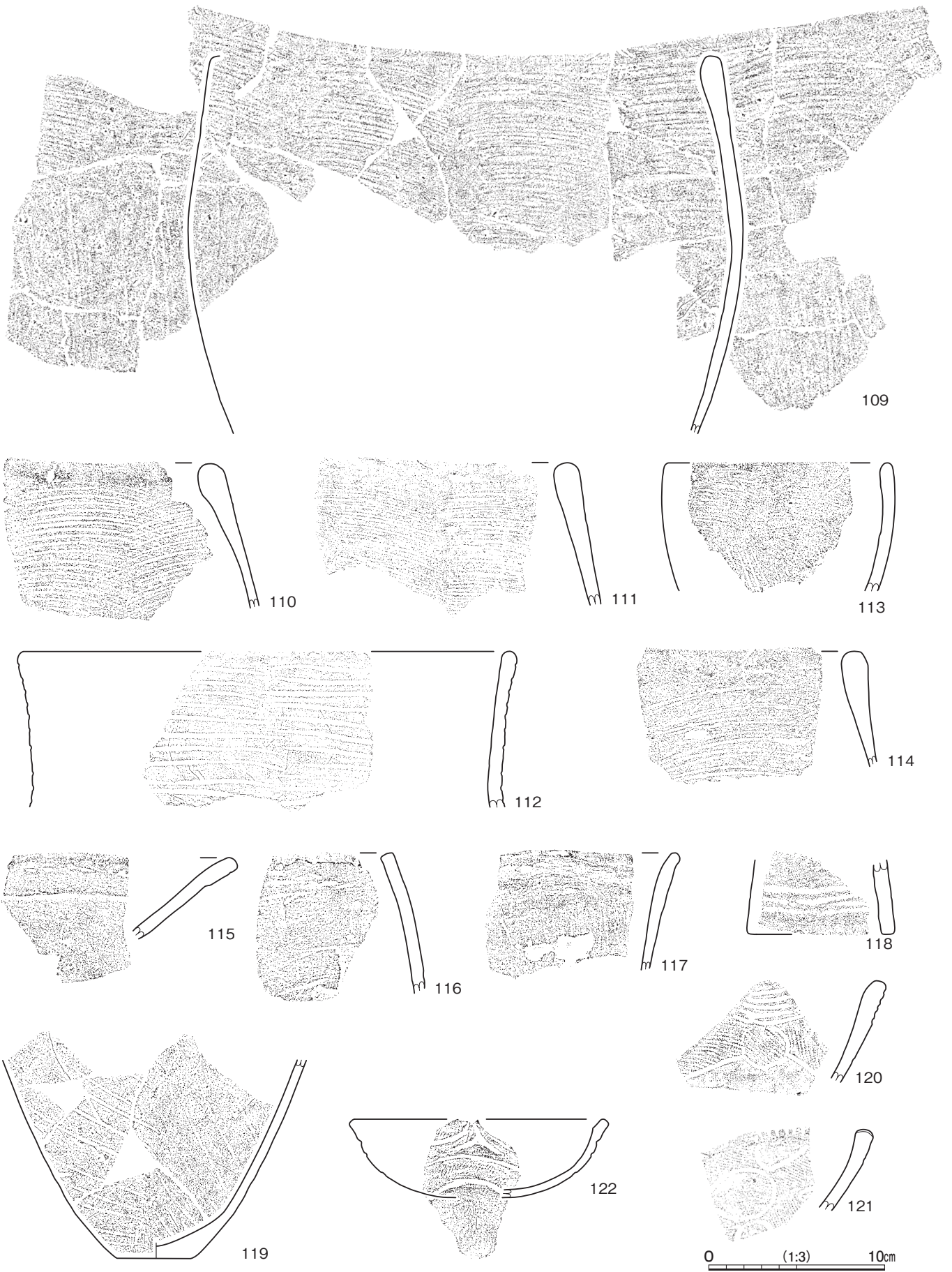
第318図 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(4)



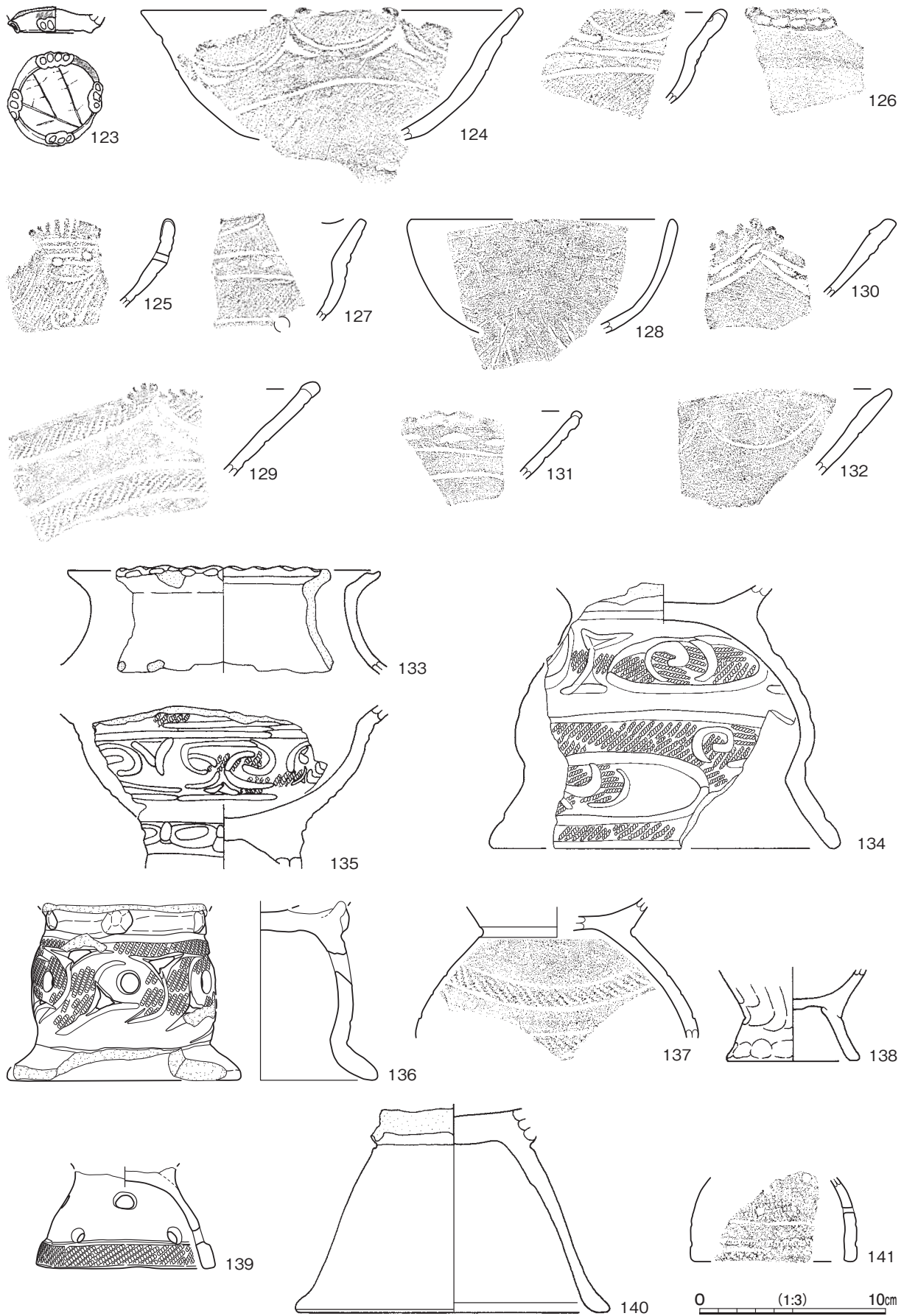
第 319 图 第 4 · 5 号遺物包含層第三層出土遺物実測図 (5)



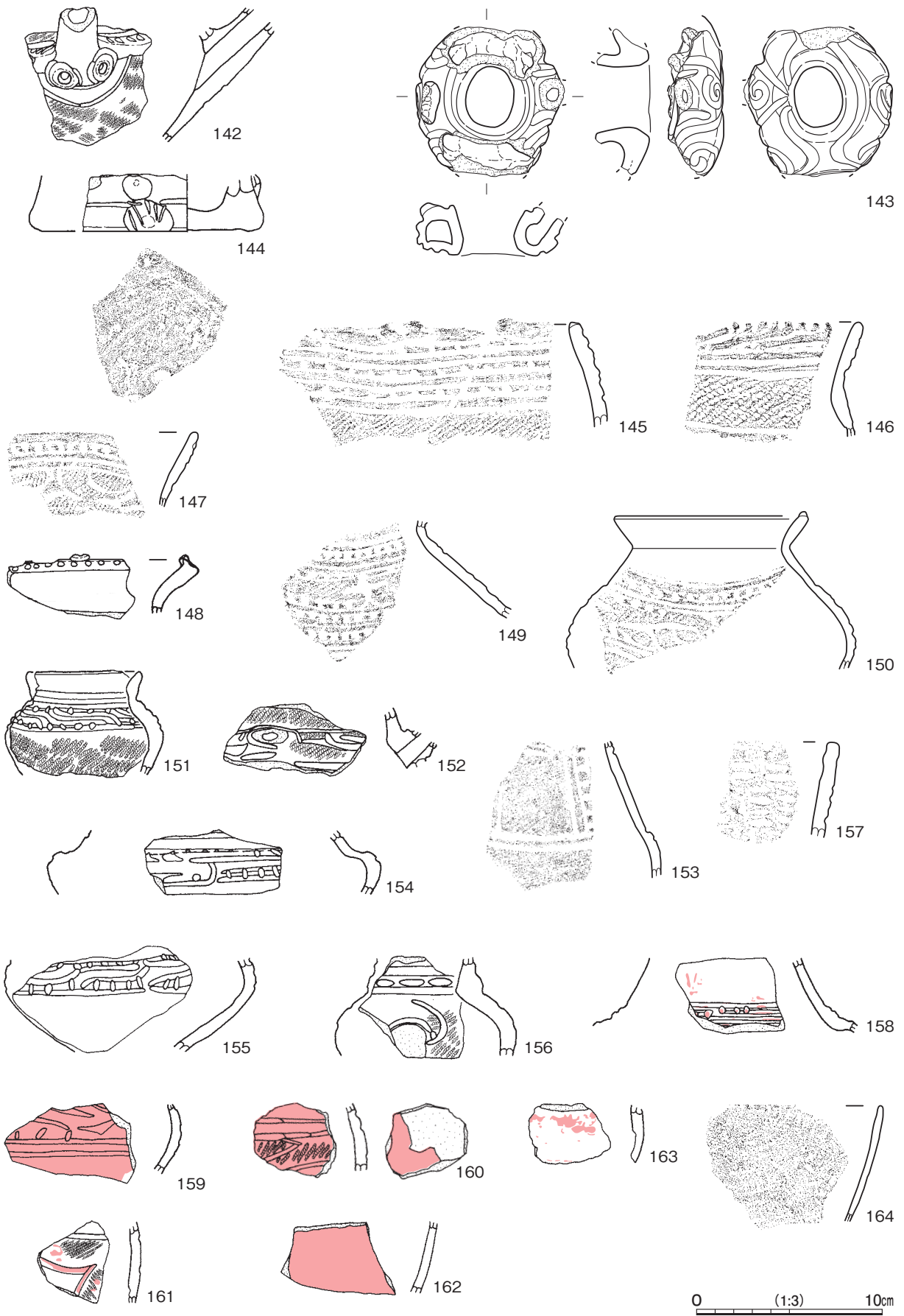
第320图 第4·5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(6)



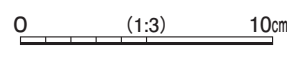
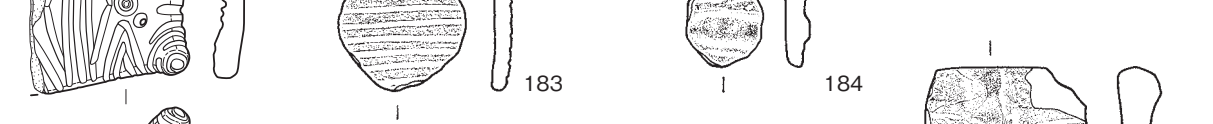
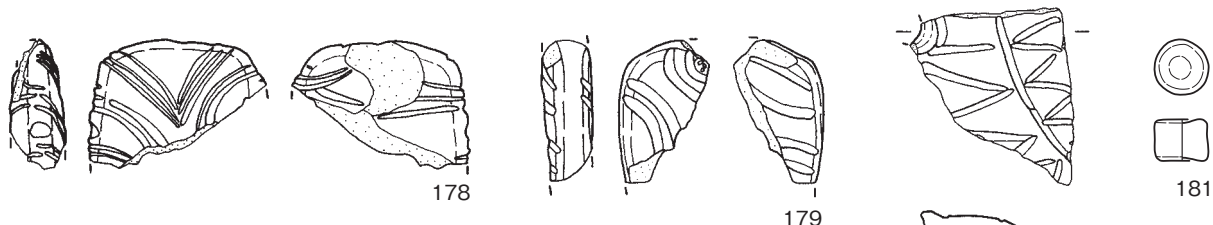
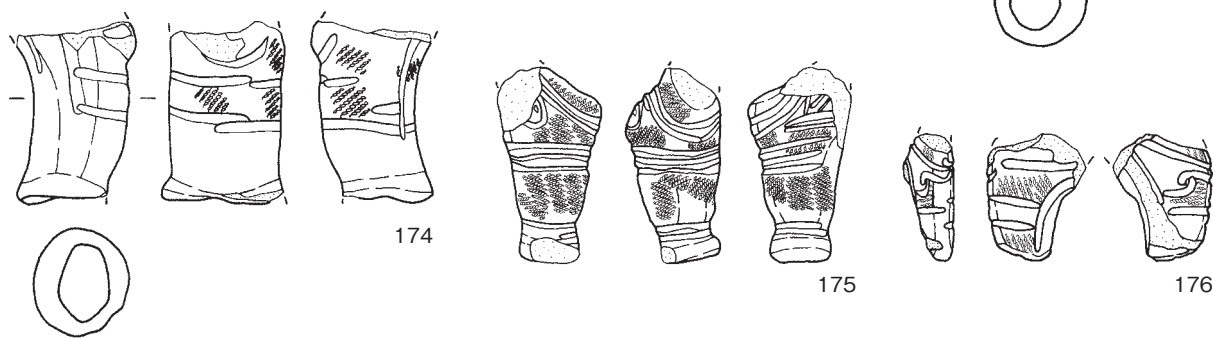
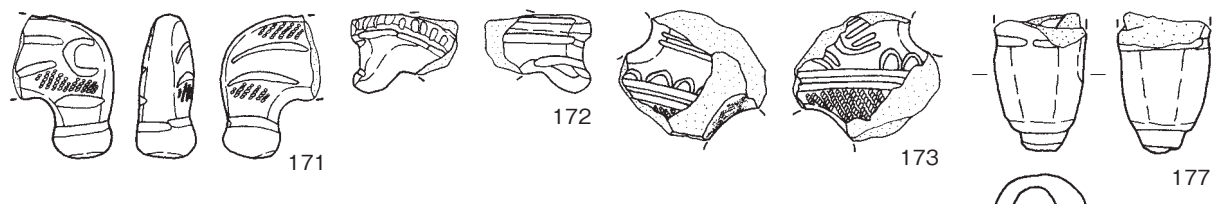
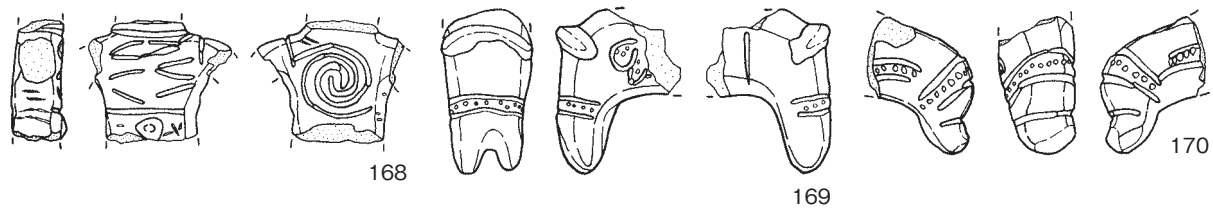
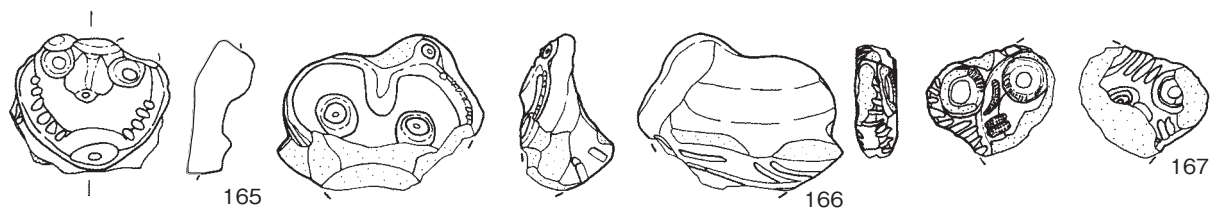
第 321 图 第 4・5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图 (7)



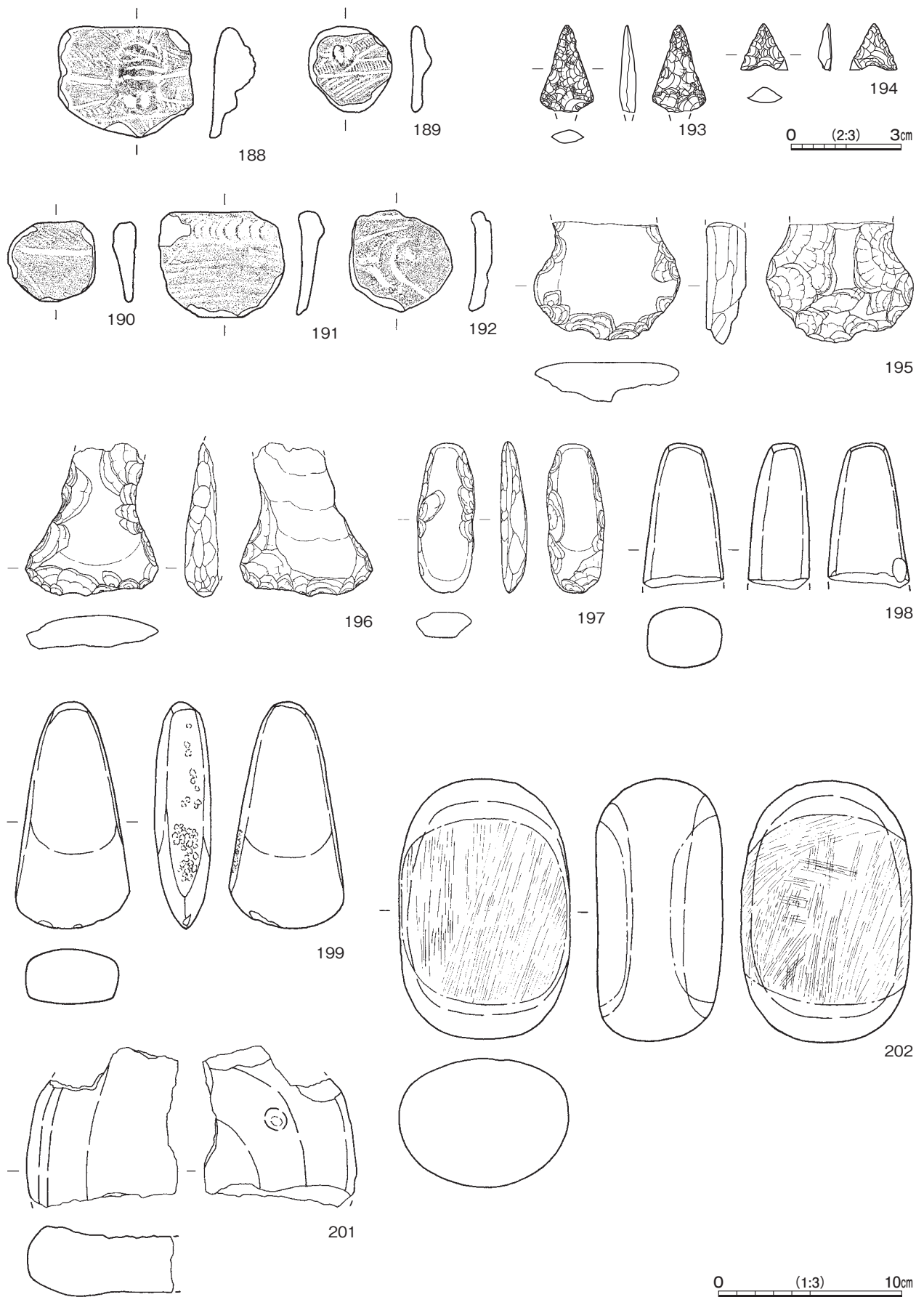
第322図 第4・5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(8)



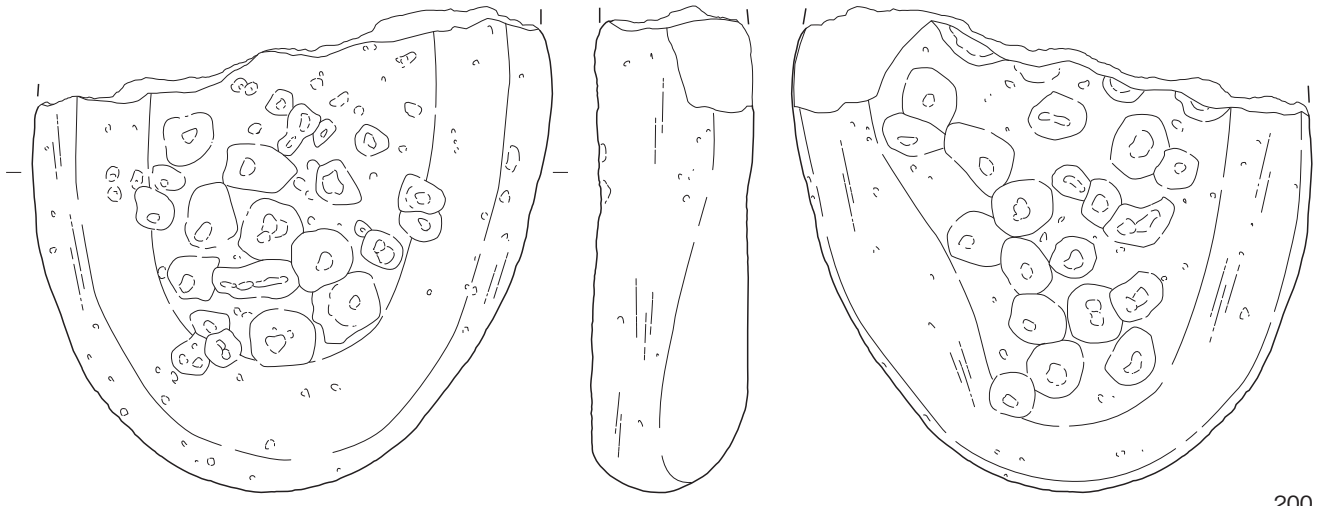
第 323 图 第 4 · 5 号遺物包含層第三層出土遺物実測図 (9)



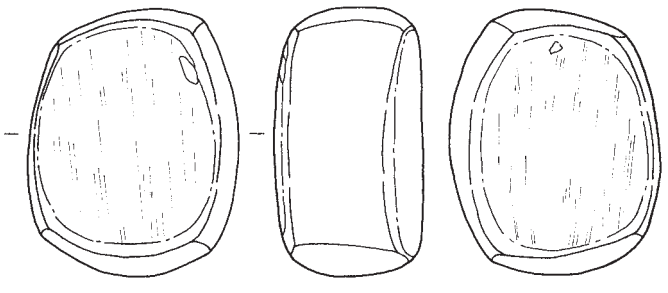
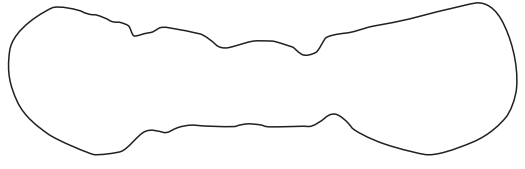
第324图 第4·5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(10)



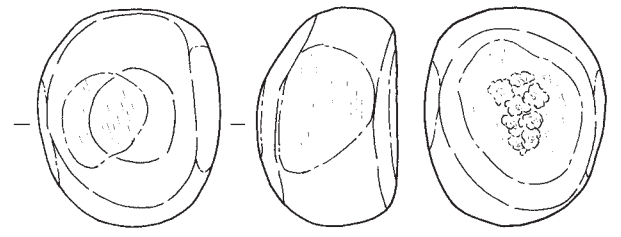
第 325 図 第 4・5 号遺物包含層第三層出土遺物実測図 (11)



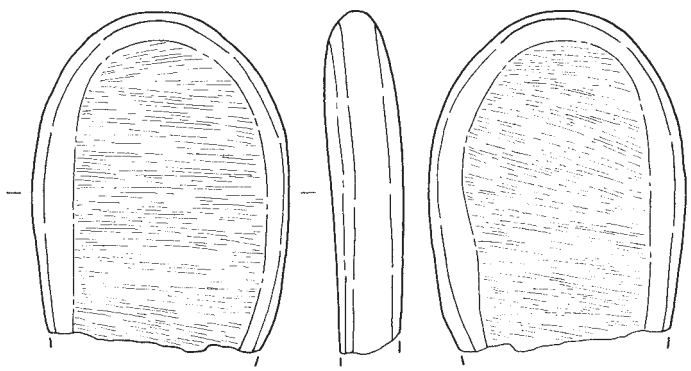
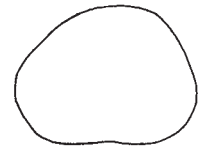
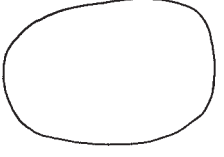
200



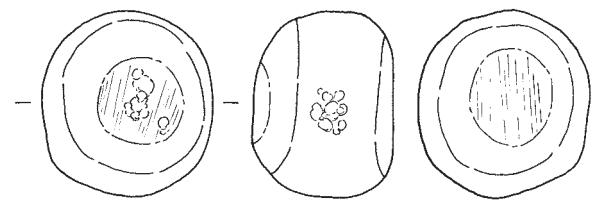
203



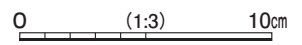
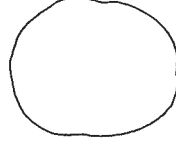
205



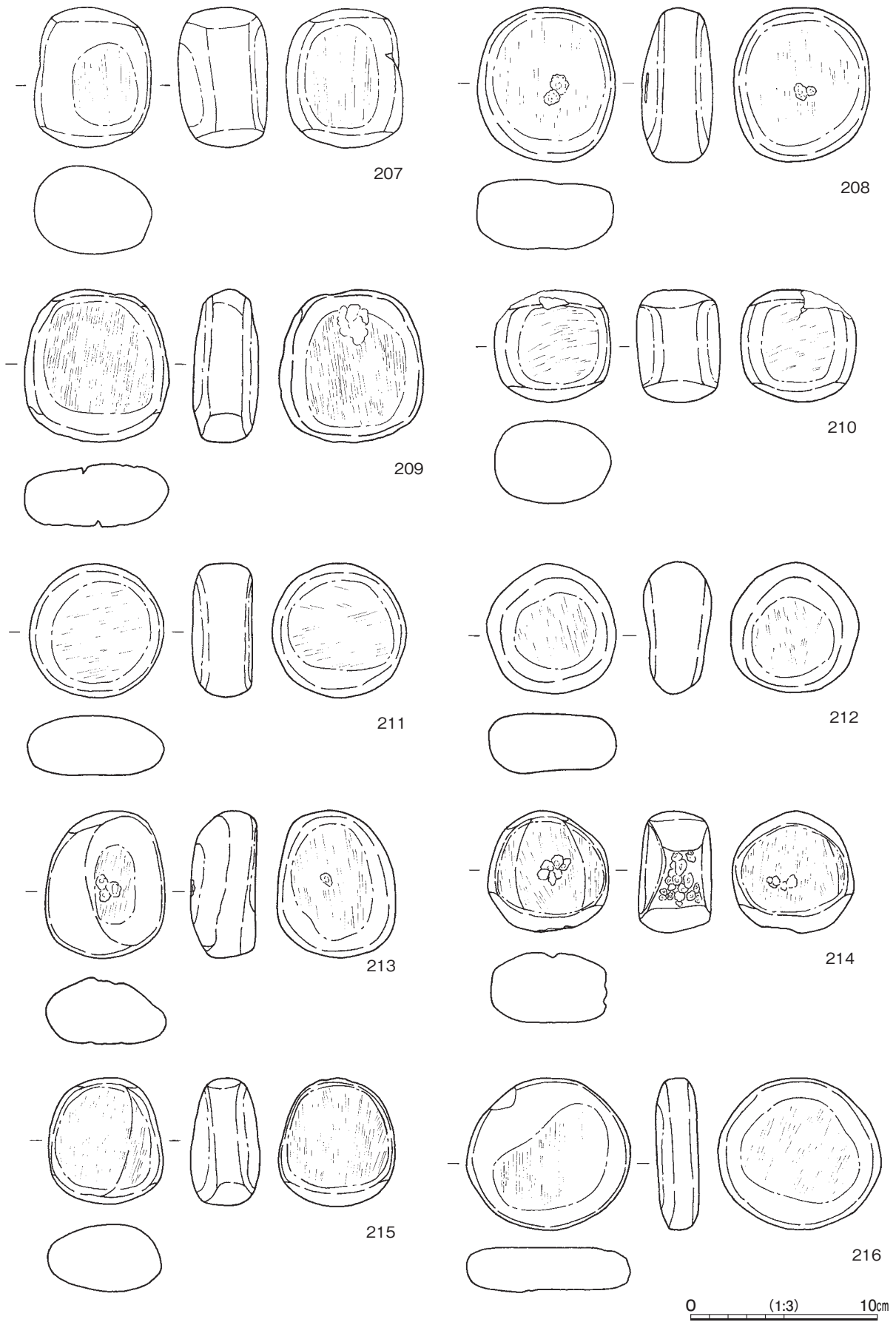
204



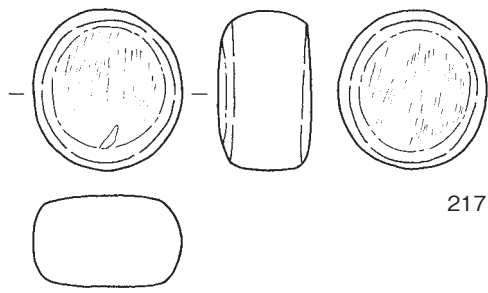
206



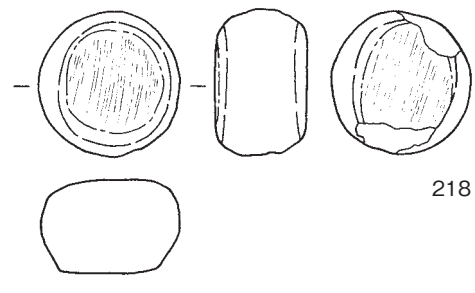
第 326 図 第 4・5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (12)



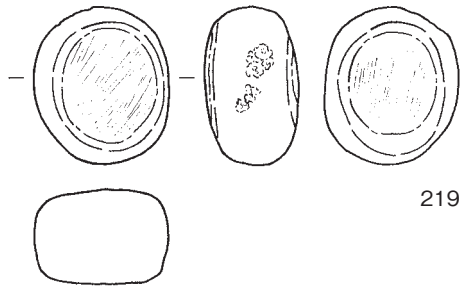
第 327 图 第 4 · 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (13)



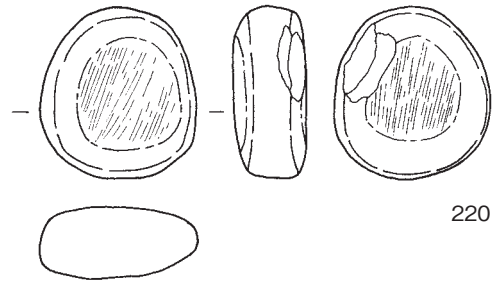
217



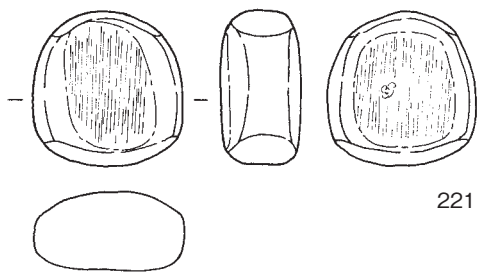
218



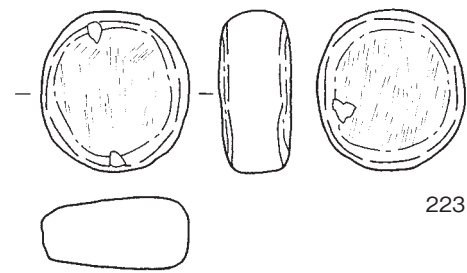
219



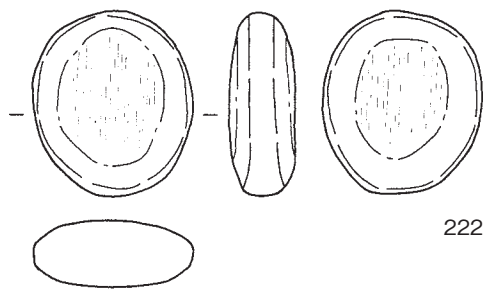
220



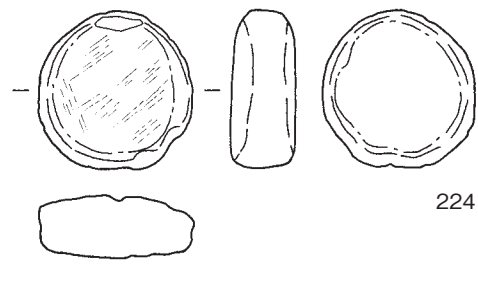
221



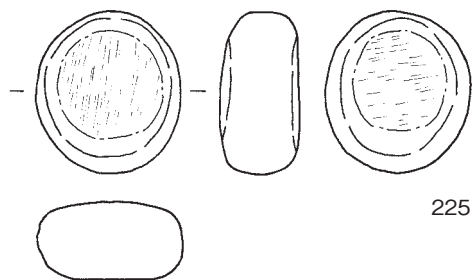
223



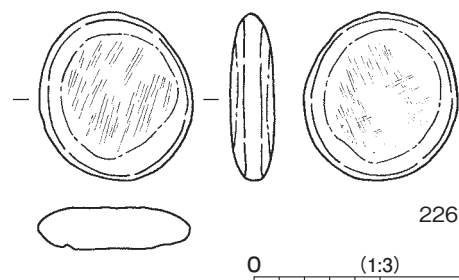
222



224



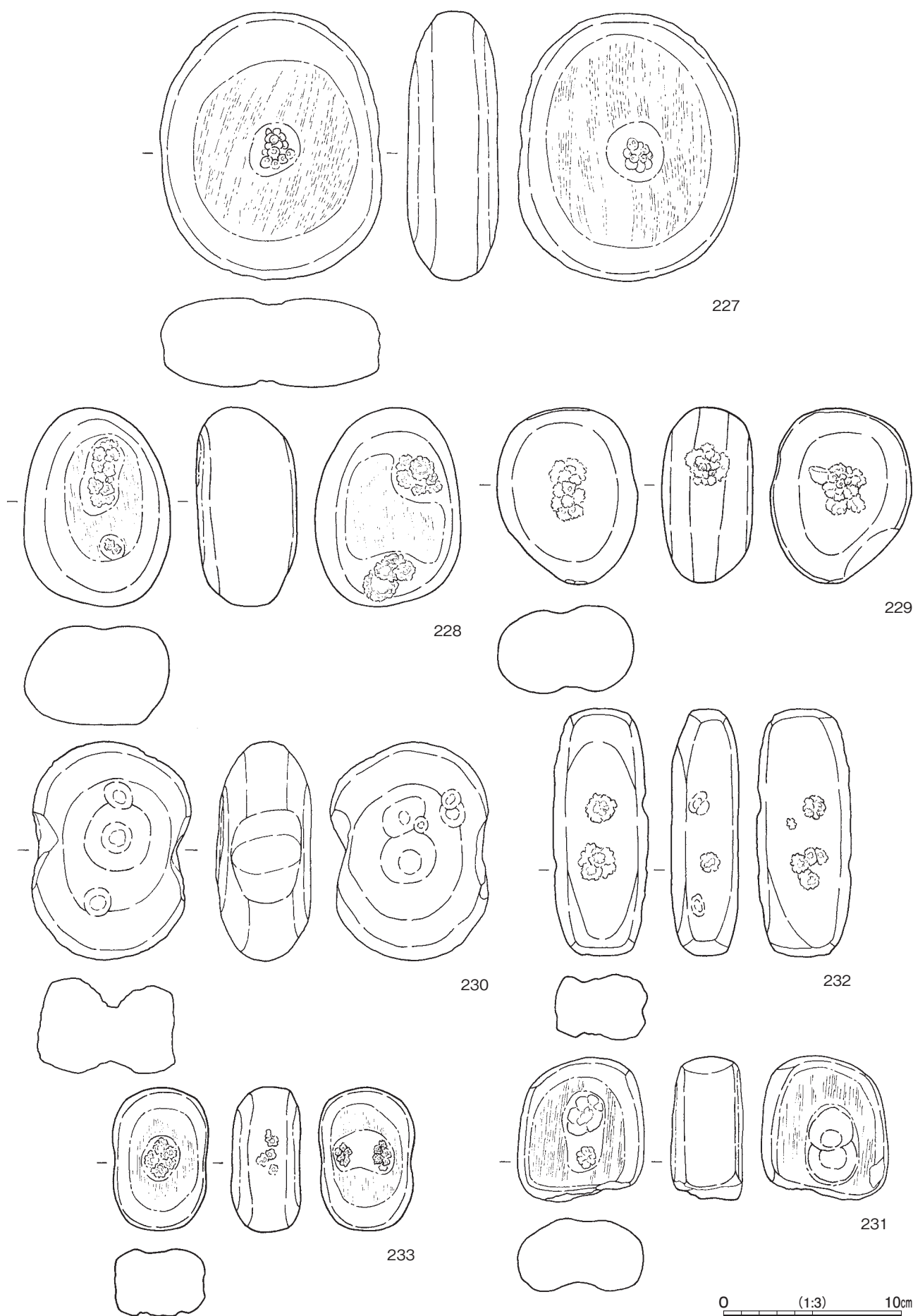
225



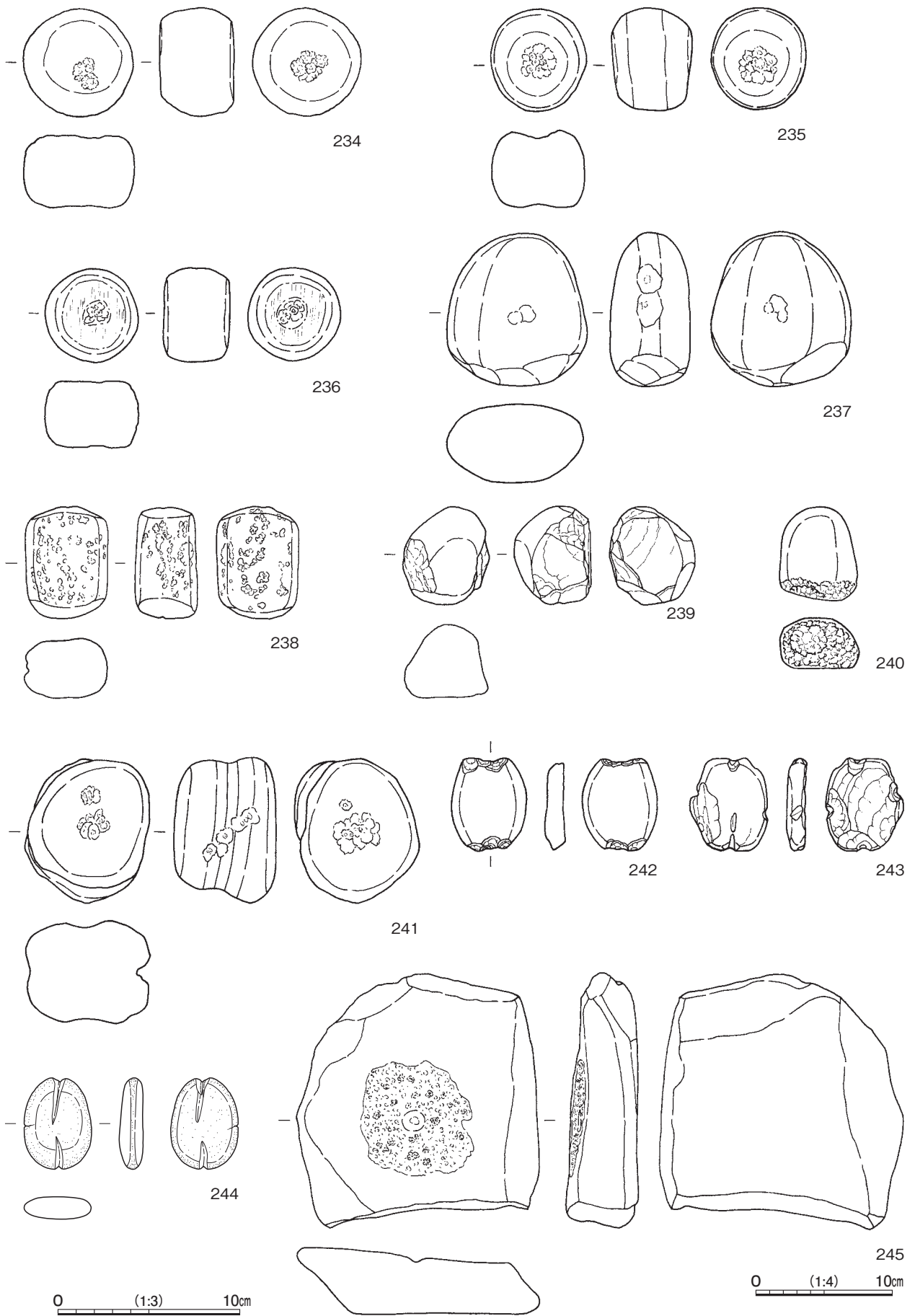
226

0 (1:3) 10cm

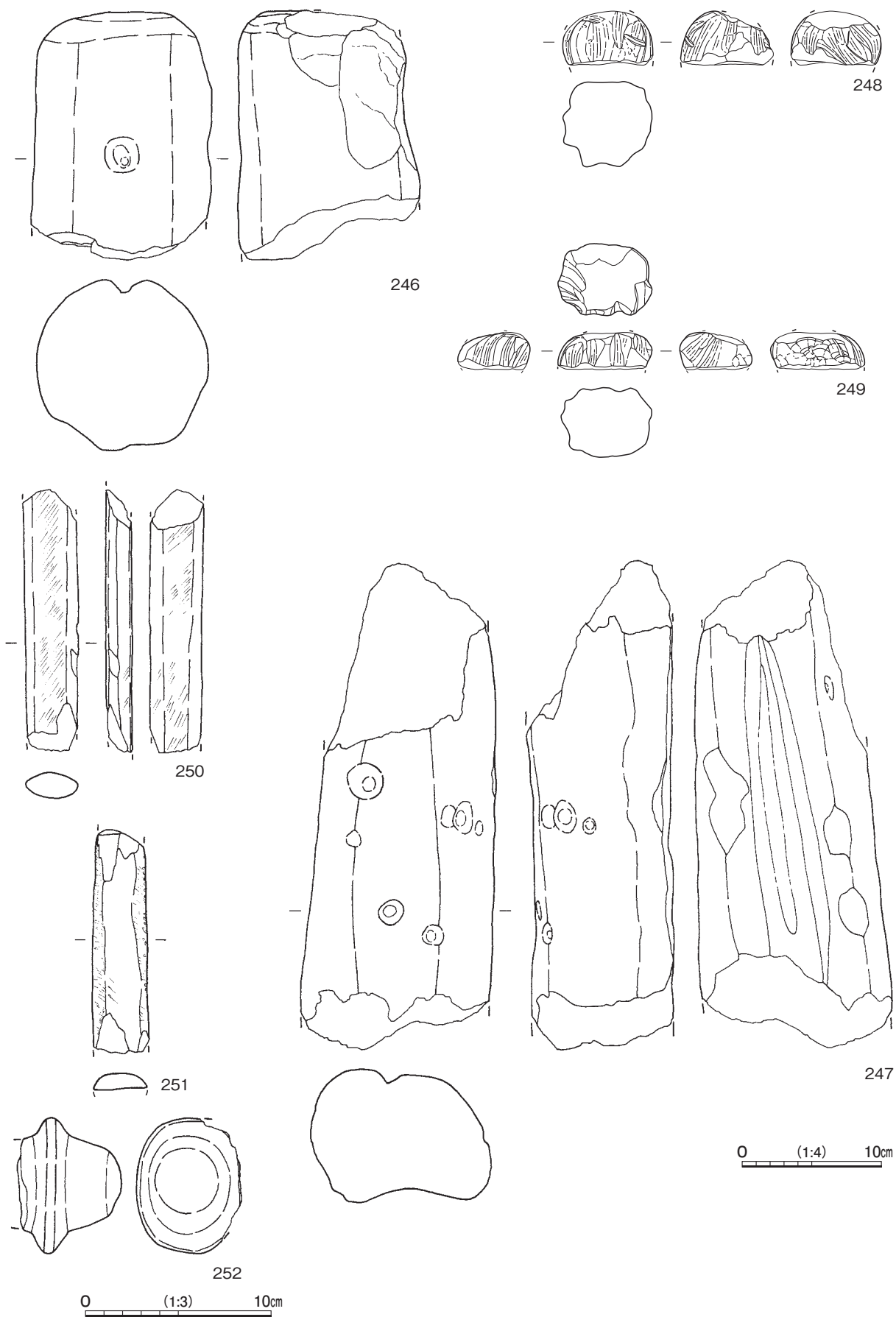
第 328 図 第 4・5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (14)



第 329 図 第 4・5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (15)



第330图 第4·5号遺物包含層第三層出土遺物実測図 (16)



第 331 图 第 4・5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (17)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
12	縄文土器	台付鉢	-	(4.4)	7.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	台部 外面磨きで端部に刻み	L G 7区2 x	10% 後期中葉
13	縄文土器	異形台付土器	-	(3.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	上面に弧線文 外面窓枠状・円形の2×2単位の透かし孔 あるいは台部カ	L J 6区5 x	PL107 後期後葉
14	縄文土器	釣手土器	-	(3.4)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	台部窓枠状・三又状の2×2単位の透かし孔 受け部も大きく4単位の透かし孔カ	L F 8区2 x	後期後葉・晩期前葉
15	縄文土器	釣手土器	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい橙	普通	頂部 外面刻みを伴う微隆起帯によるブリッジ 内面頂部に盲孔	L G 7区2 x	後期中葉
16	縄文土器	釣手土器	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	ブリッジ部 外面縄文施文カの隆起帯 懸垂孔 内面ナデ	L F 10区2 x	後期後葉
17	縄文土器	釣手土器	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	ブリッジ部 外面 RL 隆起帯縄文 懸垂孔2か所 上位の穿孔部分は刻みを持つ横長の瘤 内面ナデ	L G 7区2 x	PL107 安行2式
18	縄文土器	釣手土器	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	ブリッジ部 刻みを有する隆起帯による橋状把手 外・内面ナデ	L F 8区2 x	後期後葉
19	縄文土器	鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	内屈する鉢 口唇部に刻み 口頸部下端紐線で区画 RL 充填→山形突起下の縦位の紐線貼付 胴部条線	L J 4区6 x	後期中葉～後葉
20	縄文土器	深鉢	-	(14.0)	-	長石・石英・雲母・針状物質	褐灰	普通	外面口縁部2条の刻み列 頸部 RL 充填の弧線文 胴部 RL 充填の交互弧線文 内面ナデ	L J 6区1 x	曾谷式
21	縄文土器	鉢	[18.3]	(8.0)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	横位沈線→縄文 RL 充填カ 磨滅顕著	L H 7区1 x	後期中葉
22	縄文土器	鉢	[14.9]	(8.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部に3条の RL 隆起帯縄文 胴部条線文 台付鉢台部の可能性もあり	L G 7区1 x	10% 安行1式
23	縄文土器	鉢	[11.1]	(6.7)	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部瘤→刻み列 頸部・胴部 LR 充填の横帯文 無文部磨き 内面磨き	L E 8区1 x	10% 後期中葉～後葉
24	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英	黄褐	普通	波状口縁 口縁部に4条の RL 隆起帯縄文 二次焼成カ	L J 4区6 x	安行1式
25	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 口縁部に4条の RL 隆起帯縄文 頸部斜線文・対弧文 内面粗い磨き	L J 6区5 x	安行1式
26	縄文土器	台付鉢	[25.6]	(9.6)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部刻み 口頸部縦位の条線 頸部刻み隆帯と瘤 内面磨き	L G 7区1 x	20% 安行1式
27	縄文土器	台付鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口唇部刻み 口頸部無文 頸部刻み隆帯 内面磨き	L E 10区2 x	安行1式
28	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口頸部刻み隆帯による三角形区画文 頸部 RL 充填後沈線文 内面磨き	L J 6区5 x	PL107 安行2式
29	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	山形の波頂部下に横長瘤と縦長瘤 口頸部刻み隆帯による三角形区画文 内面磨き	L J 5区6 x	安行2式
30	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英	橙	普通	波頂部の鉢巻状の突起下に縦長瘤と豚鼻状瘤 口頸部刻み 隆帯による三角形区画文 内面磨き	L J 6区4 x	安行2式
31	縄文土器	台付鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・針状物質	にぶい黄褐	普通	鉢部 LR 充填の磨消縄文 接合部刻み列と4単位の2個1対の瘤	L J 5区4 x	後期後葉
32	縄文土器	注口土器	-	(5.8)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口縁部2条の RL 隆起帯縄文 頸部 RL 充填の帯縄文	L J 4区3 x	安行2式
33	縄文土器	異形台付土器	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	受け部刻み隆帯による幾何学文 円形の透かし孔4か所 鱗状突出部に沈線文 台部4か所の透かし孔	L G 7区2 x	20% 安行2式
34	縄文土器	異形台付土器	-	(2.7)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	台部 刻み隆帯と RL 縄文帯 透かし孔7か所	L F 8区1 x	安行2式
35	縄文土器	台付鉢	-	(3.3)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線充填の弧線文 斜線文 接合部隆帯上に刻み	L J 7区1 x	後期後葉
36	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部横位の条線→紐線貼付 内面磨き	L G 7区1 x	後期後葉
37	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英	灰褐	普通	外面縄文 LR→紐線貼付 内面ナデ 口縁部に凹線	L J 4区6 x	後期前葉
38	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	外面口縁部狭い枠状文 内面突起部に瘤貼付	L E 10区2 x	高井東式
39	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英	褐灰	普通	外面刻み充填の入り組み帯状文 2個1対の瘤貼付 内面磨き	L J 5区6 x	瘤付第Ⅲ段階
40	縄文土器	浅鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	外面雲形文 縄文 LR 充填 内面磨き	L J 4区2 x	大洞 C 1 式
41	縄文土器	注口土器	[9.2]	(8.8)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	外面口縁部・頸部刻み充填の2条の隆起帯と瘤 頸部2条の微隆起帯と瘤 内面口縁部磨き	L J 4区6 x	20% PL107 瘤付第Ⅱ段階
42	縄文土器	注口土器	-	(4.6)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面弧線文→縄文 RL 充填 屈曲部刻み+瘤	L J 4区6 x	後期後葉
43	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい橙	普通	波頂部2段押圧の豚鼻状瘤貼付の鱗状突起 頸部 RL 隆起帯縄文による三角形区画文 内面ナデ	L H 8区2 x	PL107 安行3 b 式
44	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	波頂部3段押圧の豚鼻状瘤貼付の鱗状突起 頸部 RL 隆起帯縄文による三角形区画文 内面粗い磨き	L G 7区2 x	安行3 b 式
45	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英	灰褐	普通	口頸部入組三又文 縄文 RL 充填 内面ナデ	L J 6区5 x	PL107 安行3 a 式
46	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英	褐灰	普通	波頂部台形状 刻み1列の押圧瘤2段 頸部 RL 隆起帯縄文による三角形区画文 磨滅顕著	L J 6区1 x	安行3 b 式
47	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	鱗状突起 口縁部2条の RL 隆起帯縄文 頸部 RL 隆起帯縄文による幾何学文	L E 8区1 x	安行3 b 式
48	縄文土器	浅鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口頸部縄文 LR 充填の入組三又文 内面磨き	L J 4区4 x	大洞 B 2 式
49	縄文土器	鉢	[20.4]	(8.1)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	胴部屈曲鉢 口頸部縄文 RL 充填の入組三又文 玉抱き部細かい刻みを有するボタン状瘤 内面磨き	L J 5区5 x	20% PL107 安行3 a 式
50	縄文土器	鉢	-	(7.6)	-	長石・石英	黒褐	普通	49と同一カ	L J 5区6 x	安行3 a 式
51	縄文土器	鉢	-	(7.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	頸部縄文 RL 充填の入組三又文 口縁部縄文帯を区画する沈線内に細かい刻み 内面磨き	L J 5区5 x	安行3 a 式
52	縄文土器	鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部 LR 隆起帯縄文による枠状文 2段押圧の豚鼻状瘤 内面磨き	L J 5区5 x	安行3 b 式
53	縄文土器	鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい橙	普通	胴部屈曲鉢 頸部縄文 LR 充填の入組三又文 胴部弧線文	L J 5区5 x	安行3 a 式
54	縄文土器	浅鉢	-	(8.4)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	鉢巻状突起の波頂部 口唇部に沈線 口頸部縄文 RL 充填の入組三又帯状文 内面磨き	L F 10区2 x	安行3 b 式
55	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・針状物質	灰褐	普通	口唇部に刻みを持つ横長瘤 稲妻状磨消縄文 内面磨き 頸部縄文 LR 充填の	L J 6区5 x	安行3 a 式
56	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐	普通	口唇部に刻みを持つ横長瘤 頸部縄文 LR 充填の稲妻状磨消縄文 内面ナデ	L J 4区6 x	PL107 安行3 a 式
57	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英	褐灰	普通	広口壺状 口縁部縄文 LR 頸部入組三又帯状文 内面ナデ	L J 6区5 x	安行3 b 式
58	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部2個1対の瘤 半葦竹管により狭い文様帯作出 頸部縄文 RL 充填の稲妻状磨消縄文	L J 4区4 x	後期後葉
59	縄文土器	壺	-	(5.9)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	縄文 RL 充填「の」の字文 無文部磨き	L J 4・5区 4~6 x	前浦式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
60	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	波頂部鉢巻状突起 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 無文部・内面磨き	LJ5区6x	PL107 姥山Ⅱ式
61	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	波頂部鉢巻状突起 波頂部下唇状突起 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 無文部・内面磨き	LJ4区4x	姥山Ⅱ式
62	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	波頂部鉢巻状突起 波頂部下唇状突起 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 無文部・内面磨き	LH6区x1	姥山Ⅱ式
63	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部縄文LR充填の菱形区画文 波底部対向弧線文	LI5区1x	姥山Ⅱ式
64	縄文土器	鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・針状物質	明赤褐	普通	口頸部縄文LR充填の弧線文 胴部磨き 内面磨き	LJ4区6x	安行3b式
65	縄文土器	深鉢	[18.9]	(8.6)	-	長石・石英・針状物質	黒褐	普通	広口壺状 口縁部LR縄文 口唇部に山形突起 胴部三叉文を伴うLR縄文帯 内面口縁部磨き	LJ5区6x	15% PL107 安行3b式
66	縄文土器	深鉢	[19.2]	(5.4)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	広口壺状 口縁部LR縄文 胴部縄文LR充填のS字状入組文 無文部・内面磨き	LJ5区6x	10% PL107 安行3b式
67	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	広口壺状 口縁部LR縄文 胴部縄文LR充填のS字状入組文	LK6区2x	安行3b式
68	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁部LR縄文 頸部縄文LR充填のS字状入組文 入り組み部は玉抱き状 無文部・内面磨き	LH6区1x	安行3b式
69	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部縄文LR充填のS字状入組文 無文部・内面磨き	LD9区1x	安行3b式
70	縄文土器	鉢	[13.3]	(9.5)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部縄文LR 弧線文となるか 胴部LR縄文帯 無文部・内面磨き	LJ5区5x	20% 安行3a式
71	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい橙	普通	口縁部縄文LR 頸部弧状隆帯上に縄文LR充填 無文部・内面磨き	LK5区1x	晩期前葉
72	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	壺カ 口縁部縄文RL 頸部RL充填の弧線文 内面口縁部凹線状	LG8区2x	晩期前葉
73	縄文土器	深鉢	-	(12.4)	-	長石・石英	明褐灰	普通	広口壺状 頸部LR充填のS字状入組文 胴部削り	LI6区1x	10% 安行3b式
74	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	頸部RL充填の対弧文 胴部RL充填の交互弧線文	LJ4区6x	10% 安行3a式
75	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口唇部に横長瘤 頸部LR充填の稲妻状磨消縄文と蛇行沈線文 無文部・内面磨き	LL3区1x	晩期前葉
76	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母・針状物質	明赤褐	普通	口頸部弧線文と縦位区画文による菱形区画文 縦位区画を挟んで三叉文が対向 縄文RL充填	LH7区2x	安行3b式
77	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部・頸部区画内細密沈線文充填 無文部・内面磨き	LJ5区6x	安行3b式
78	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口縁部・頸部区画内細密沈線文充填 口唇部に刻み 無文部・内面磨き	LH6区1x	安行3b式
79	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部・頸部区画内細密沈線文充填 無文部・内面磨き	LH5区1x	安行3b式
80	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・頸部区画内細密沈線文充填 口唇部・頸部区画線上に刻み 無文部磨き	LF9区2x	安行3b式
81	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	口頸部LR充填の杵状文 口縁部に瘤→縄文LR 無文部・内面磨き	LJ5区6x	安行3b式
82	縄文土器	浅鉢	-	(3.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部・頸部区画内細密沈線文充填 内面粘土紐の弧状貼付文	LJ4区3x	安行3b式
83	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部・頸部区画内細密沈線文充填 無文部磨き 内面ナデ	LJ4区1x	安行3b式
84	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	山形突起下に押圧状の瘤 頸部沈線による菱形区画文 内面ナデ	LJ4区1x	姥山Ⅲ式
85	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい赤褐	普通	口頸部沈線による菱形区画文	LG10区2x	PL107 姥山Ⅲ式
86	縄文土器	深鉢	[19.6]	(6.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	広口壺 口縁部内面に押圧のある貼付文 頸部LR縄文充填の刺突文 無文部磨き	LH8区2x	10% 安行3b式
87	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	広口壺 頸部に刻み列 磨減顕著	LM5区1x	安行3c式
88	縄文土器	浅鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部に弧線文 胴部に入組三叉文	LJ5区6x	安行3a式
89	縄文土器	深鉢	-	(15.2)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口頸部幅広の沈線による杵状文 無文部磨き	LJ5区6x	PL108 安行3c式
90	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	黄灰	普通	口唇部に鉢巻状の貼付文と押圧 口頸部に弧線文→縄文LR充填 無文部磨き	LJ5区2x	PL108 前浦式
91	縄文土器	鉢	[24.2]	(6.2)	-	長石・石英	橙	普通	無文鉢 口唇部に押圧のある横長の貼付文 外・内面磨き	LH6区1x	10% 晩期中葉
92	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	黒褐	普通	口頸部弧線文による菱形区画 無文部・内面磨き	LJ5区6x	安行3c式
93	縄文土器	深鉢	[14.0]	(3.6)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	口縁部・頸部区画内に細かい刺突文充填 稲妻状区画文カ 無文部磨き 内面ナデ	LJ4・5区 6x	10% PL107 安行3c式
94	縄文土器	鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	LR充填杵状文+の字文 内面口縁部に沈線文 無文部・内面磨き	LJ5区6x	PL108 前浦2式
95	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	LR充填杵状文+杵状文+の字文 無文部・内面磨き	LJ6区4x	PL108 前浦2式
96	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	LR充填の舟形杵状文	LF9区1x	PL108 前浦2式
97	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	LR充填杵状文+の字文 磨減顕著	LJ5区4x	前浦2式
98	縄文土器	浅鉢	-	(3.2)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	緩い波状 LR充填杵状文+の字文 内面に凹線状の沈線	LJ4区3x	前浦2式
99	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	LR充填杵状文+の字文 内面に凹線状の沈線	LJ4区3x	前浦2式
100	縄文土器	浅鉢	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	緩い波状 LR充填杵状文+の字文 内面に凹線状の沈線	LJ4区3x	前浦2式
101	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	S字状入組文カ 縄文LR充填	LF9区1x	安行3b式
102	縄文土器	深鉢	[21.0]	(16.0)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	紐線貼付→口頸部横位・胴部縦位の条線→口頸部弧線による区画文 内面ナデ	LF10区2x	10% PL108 後期後葉～晩期前葉
103	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・針状物質	明赤褐	普通	口頸部横位の条線→縦位区画・区画内磨き→紐線貼付 内面ナデ	LG10区2x	後期後葉～晩期前葉
104	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・針状物質	橙	普通	紐線貼付→口頸部横位・胴部縦位の条線→口頸部弧線による区画文 内面粗い磨き	LG7区2x	後期後葉～晩期前葉
105	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	褐灰	普通	口頸部横位の条線→縦位区画・区画内磨き→紐線貼付 内面粗い磨き	LJ5区6x	後期後葉～晩期前葉
106	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・針状物質	橙	普通	口頸部横位の条線→縦位区画 口縁部・頸部付点紐線文	LG7区1x	後期後葉
107	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	地縄文有リカ 口頸部横位の条線→口縁部刻み 内面磨き	LJ6区5x	後期後葉

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
108	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・針状物質	橙	普通	口頸部横位の条線→口縁部刻み 内面磨き	L G 8区2 x	後期後葉
109	縄文土器	深鉢	[28.4]	(21.5)	-	長石・石英・雲母・針状物質	橙	普通	口頸部横位・胴部縦位の条線 内面ナデ	L H 7区1 x	30% PL108 晩期前葉
110	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口頸部横位の条線 口縁部肥厚 内面ナデ	L H 7区1 x	晩期前葉
111	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口頸部横位の条線 口縁部肥厚 内面粗い磨き	L K 4区3 x	晩期前葉
112	縄文土器	深鉢	[28.0]	(8.9)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口頸部横位の条線 沈線状 内面磨き	L J 5区6 x	後期後葉
113	縄文土器	深鉢	[12.3]	(7.2)	-	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい橙	普通	口頸部横位・胴部縦位の条線 内面ナデ	L J 5区6 x	10% 晩期前葉
114	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・針状物質	灰褐	普通	口頸部横位の条線 口縁部肥厚 内面ナデ	L J 5区2 x	晩期前葉
115	縄文土器	浅鉢	-	(4.8)	-	長石・石英	灰褐	普通	外面削り 内面磨き	L J 6区1 x	後期後葉
116	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・針状物質	橙	普通	外面削り 内面ナデ	L L 4区1 x	晩期前葉~中葉
117	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	灰褐	普通	口縁部横位・胴部縦位のナデ→粗い磨き 内面粗い磨き	L J 4区3 x	後期カ
118	縄文土器	台付土器	-	(4.2)	[8.4]	長石・石英・雲母・針状物質	橙	普通	台部片 下部部に沈線文	L I 8区1 x	晩期カ
119	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	4.2	長石・石英	にぶい赤褐	普通	胴部条線 底部削り 内面ナデ	L H 7区1 x	10% 晩期カ
120	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	黒	普通	波状口縁 RL 充填の稲妻状磨消縄文カ 無文部磨き 内面ナデ	L J 6区5 x	安行2式
121	縄文土器	浅鉢	-	(4.6)	-	長石・石英	黒	普通	口唇部に刻み ステッキ状入り組み文と橋門文で稲妻状磨消縄文施文カ 無文部磨き 内面磨き	L J 5区6 x	安行2式
122	縄文土器	浅鉢	[14.6]	4.5	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	波頂部に三又文 縄文LR 充填 無文部・内面磨き	L J 5区6 x	安行3 a 式
123	縄文土器	深鉢カ	-	(1.4)	3.9	長石・石英・赤色粒子・針状物質	にぶい褐	普通	外面LR 縄文→瘤貼付 底部木葉痕 内面磨き	L J 5区6 x	安行3 a 式
124	縄文土器	浅鉢	[20.2]	(7.1)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	B 突起間をLR 充填の弧線文で連続 突起下に三又文胴部LR 充填の横帯文 無文部・内面磨き	L H 8区1 x	15% PL108 安行3 a 式
125	縄文土器	浅鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	鱗状突起下に2孔の貫通孔 入り組み文→縄文LR 磨減顕著	L G 8区2 x	安行3 b 式
126	縄文土器	鉢	-	(5.1)	-	長石・石英	橙	普通	LR 充填の弧線文 突起下三又文 頸部刺突列 胴部縄文LR 内面鉢巻状突起間を鎖状隆帯で連携	L E 10区2 x	安行3 a 式
127	縄文土器	鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・針状物質	にぶい橙	普通	口縁部LR 充填の弧線文 頸部刺突列 胴部LR 充填の横帯文 下端に焼成後穿孔 内面磨き	L I 7区2 x	安行3 a 式
128	縄文土器	鉢	[14.2]	(6.1)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外面削り 内面磨き	L I 7区1 x	10%晩期
129	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部に鉢巻状突起と鎖状隆帯貼付 口縁部LR 充填の弧線文 胴部LR 充填の横帯文 無文部磨き 内面ナデ	L F 8区1 x	PL108 安行3 b 式
130	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	波状口縁 波頂部に2単位の鉢巻状突起 口縁部弧状刺突列 胴部削り 内面磨き	L J 4区4 x	安行3 c 式
131	縄文土器	浅鉢	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部にB 突起 口縁部に刺突列 無文部磨き 内面磨き	L I 7区2 x	安行3 c 式
132	縄文土器	浅鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・針状物質	褐	普通	口縁部弧線文 胴部削り 内面ナデ 磨減顕著	L G 10区2 x	安行3 c 式
133	縄文土器	壺	[16.8]	(5.7)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	壺口縁~頸部 口唇部連状 頸部磨き 内面磨き	L E 8区1 x	10% 大洞BC~C1式
134	縄文土器	台付鉢	-	(14.0)	[18.3]	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	LR 充填の杵状文・の字文 無文部磨き 内面ナデ 上下逆の可能性もあり	L F 7区2 x	40% PL108 前浦式
135	縄文土器	台付鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	鉢部LR 充填の雲形文 接合部鎖状隆帯 鉢部内面磨き	L H 6区1 x	15% PL108 大洞C 2式
136	縄文土器	台付鉢	-	(9.6)	[12.6]	長石・石英	黒褐	普通	接合部貼付文6単位 台部縄文LR 充填の玉抱き三又文5単位 玉部・三又部透孔	L J 6区5 x	50% 安行3 a 式
137	縄文土器	台付鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	鉢部内面磨き 台部RL 充填の横帯文 内面ナデ	L J 6区5 x	15% 後期後葉
138	縄文土器	台付鉢	-	(4.9)	7.0	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外・内面ナデ	L J 4区4 x	30% 晩期
139	縄文土器	台付鉢	-	(5.5)	9.7	長石・石英	にぶい黄橙	普通	透孔上下5単位(計10か所) 台部下端LR 隆起帯縄文 無文部磨き	L K 5区6 x	50% 後期後葉
140	縄文土器	台付鉢	-	(11.0)	[16.8]	長石・石英	浅黄橙	普通	台部外・内面ナデ	L K 4区3 x	15% 晩期
141	縄文土器	台付鉢	-	(4.5)	[8.5]	長石・石英・雲母	黒	普通	台部上半細い円形の透かし孔 細かい刺突文充填カ 下部部縄文LR 充填の縄文帯 磨減顕著	L J 5区4・6 x	後期後葉~晩期前葉
142	縄文土器	注口土器	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	注口部下端にボタン状の貼付文 胴部縄文LR 充填	L J 5区6 x	晩期前葉~中葉
143	縄文土器	注口土器	(8.0)	(2.7)	(8.0)	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	中空環状 注口付き 沈線による渦巻文 無文部磨き	L K 4区1 x	70% 晩期前葉カ
144	縄文土器	角底土器	-	(2.9)	[11.2]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	コーナー部に瘤 沈線紋 無文部・底面ナデ	L J 5区5 x	後期後葉カ
145	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部B 突起 頸部二溝間のサイ痕 胴部縄文LR 内面ナデ	L J 4区3 x	PL109 大洞C 1式
146	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部刻み 口縁部羊歯状文 頸部縄文LR 内面ナデ	L J 5区6 x	大洞BC 式
147	縄文土器	鉢	-	(4.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部二溝間のサイ痕 頸部縄文LR 充填の雲形文 内面磨き	L H 6区1 x	大洞C 1式
148	縄文土器	壺	-	(3.0)	-	石英	にぶい橙	普通	口唇部にB 突起と刺突列 外・内面磨き	L H 6区1 x	晩期
149	縄文土器	注口土器	-	(5.2)	-	長石・石英	褐灰	普通	胴部上半二溝間のサイ痕と縄文LR 充填の雲形文	L I 7区2 x	大洞C 1式
150	縄文土器	壺	[10.3]	(8.5)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	胴部上半二溝間のサイ痕と縄文LR 充填の入り組む羊歯状文 下半縄文LR	L J 6区5 x	10% 大洞BC 式
151	縄文土器	壺	[6.0]	(5.7)	-	長石・石英	褐灰	普通	胴部上半羊歯状文 下半無節L 縄文	L J 5区5 x	20% PL109 大洞BC 式
152	縄文土器	注口土器	-	(3.4)	-	長石・石英	褐灰	普通	縄文LR 充填	L J 4区2 x	大洞BC~C1式
153	縄文土器	注口土器	-	(7.4)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	胴部上半縦位の二溝間のサイ痕 無節L 縄文充填 下半無節L 縄文	L F 8区1 x	晩期中葉
154	縄文土器	注口土器	-	(3.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	屈曲部に入り組む羊歯状文 磨き調整	L J 6区3 x	大洞BC 式
155	縄文土器	注口土器	-	(4.9)	-	長石・石英	暗灰黄	普通	屈曲部羊歯状文 胴部磨き	L J 5区6 x	大洞BC 式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
156	縄文土器	注口土器	-	(5.2)	-	長石・石英	暗灰黄	普通	頸部屈曲部頸状隆帯 胴部縄文LR充填の入り組み文	L J 7区1x	安行3a式
157	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部と口頸部に紐線貼付 口頸部半裁竹管による刺突文 内面口縁部凹線	L J 6区1x	加曾利B1式
158	縄文土器	壺	-	(4.0)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	胴部上半羊歯状文 赤彩 磨き調整	L J 5区5x	PL109 大洞B C式
159	縄文土器	壺	-	(3.7)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	胴部雲形文 赤漆塗布	L J 6区5x	PL109 大洞C1式
160	縄文土器	浅鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	縄文LR充填の雲形文 外・内面赤漆塗布	L J 5区5x	PL109 晩期中葉
161	縄文土器	壺カ	-	(4.4)	-	長石・石英	黒	普通	縄文LR充填の雲形文カ 外面赤漆塗布	L J 6区5x	PL109 晩期
162	縄文土器	浅鉢カ	-	(3.8)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外・内面磨き 外面に赤漆塗布	L I 6区5x	PL109 後期後葉～晩期
163	縄文土器	壺	-	(3.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	外面無文 赤漆塗布	L J 6区5x	PL109 後期後葉～晩期
164	縄文土器	製塩土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口唇部ナデ 外面口縁部横位・胴部縦位の削り 内面ナデ	L I 7区2x	晩期カ
165	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部にミミズク形土偶頭部貼付	L F 10区1x	PL109 安行3b式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
166	土偶	(6.2)	(8.2)	(4.2)	(93.9)	長石・石英・雲母・針状物質	褐灰	ミミズク形土偶頭部 磨減顕著	L H 8区2x	PL109
167	土偶	(4.4)	(5.2)	(1.8)	(31.5)	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	ミミズク形土偶頭部 刺突沈線による顔面表現	L G 7区2x	PL109
168	土偶	(4.9)	(5.8)	(2.2)	(56.6)	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	胴部 版状 正面沈線による稲妻文 腹部は瘤状の貼付文 背面入り組み文	L H 8区1x	PL109 晩期中葉カ
169	土偶	(6.5)	(4.9)	(3.6)	(83.1)	長石・石英	橙	肩～腕部 中突 肩パットは粘土紐貼付で手先は二股沈線間刺突文 腋の下にも沈線間刺突あり	L H 7区1x	PL109
170	土偶	(5.4)	(4.2)	(3.0)	(56.3)	長石・石英	にぶい黄褐	肩～腕部 沈線間刺突文による文様	L I 6区1x	
171	土偶	(5.7)	(4.0)	(2.3)	(43.8)	長石・石英・雲母	にぶい褐	腕部 版状 縄文LRの磨消縄文 脚部の可能性もあり	L G 6区1x	PL109
172	土偶	(3.1)	(4.2)	(3.0)	(30.9)	長石・石英	にぶい橙	ミミズク形土偶脚部 肩から胸部に刻みを伴う隆帯	L J 5区4x	
173	土偶	(5.1)	(5.9)	(2.7)	(68.9)	長石・石英・針状物質	にぶい赤褐	ミミズク形土偶胴部～脚部 腹部～脚部の隆帯剥離 腰部に弧線文 脚部縄文RL	L J 4区6x	
174	土偶	(7.2)	(4.8)	(5.0)	(108.3)	長石・石英	褐灰	脚部片 中空 RL充填の磨消縄文 端部一部イキ隆起部が肩パットとなり腕部の可能性もあり	L K 5区1x	PL109
175	土偶	(7.7)	(4.1)	(3.7)	(93.2)	長石・石英	褐灰	ミミズク形土偶脚部 縄文LRの磨消縄文	L J 4区4x	PL109
176	土偶	(5.0)	(4.0)	(2.0)	(31.3)	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	ミミズク形土偶脚部 隆帯剥離 正面RL充填の入り組み文 背面RL充填の横帯文	L J 5区2x	
177	土偶	(5.5)	(3.7)	(3.7)	(52.6)	長石・石英・雲母	黄灰	遮光器土偶系の脚部 中空	L J 4区6x	
178	土版	(5.1)	(7.1)	(2.2)	(53.9)	長石・石英・雲母	にぶい橙	表面2本1対の沈線による稲妻文 裏面重三角文	L J 5区6x	晩期中葉
179	土版	(5.6)	(3.5)	(2.0)	(32.6)	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	表裏弧線文 頂部に細かい刺突文充填カ	L J 5区6x	晩期中葉
180	不明	(7.1)	(6.4)	(3.8)	(50.5)	長石・石英	にぶい橙	中空 沈線による稲妻文 焼成前穿孔あり	L J 5区6x	
181	耳栓	2.2	2.2	1.7	9.8	長石・石英	にぶい黄褐	器面ナデ整形	L I 6区6x	
182	手燭形土製品	(6.9)	(7.0)	(2.9)	(65.0)	長石・石英・赤色粒子	橙	沈線→穿孔2か所・刺突	L H 8区2x	
183	土器片円盤	5.2	5.1	0.8	20.5	長石・石英	にぶい橙	深鉢体部片利用 周縁打ち欠き	L L 3区1x	後期中葉
184	土器片円盤	3.3	3.0	1.1	9.5	長石・石英・雲母	灰黄褐	紐線文系深鉢体部片利用 周縁打ち欠き	L E 10区2x	後期後葉
185	土器片円盤	8.0	7.8	1.8	56.3	長石・石英・雲母	灰褐	波状口縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	L J 4区6x	加曾利B3式
186	土器片円盤	5.4	5.6	1.3	37.5	長石・石英・雲母	黒褐	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	L J 5区6x	安行1式
187	土器片円盤	6.1	7.2	1.8	58.3	長石・石英・赤色粒子	にぶい赤褐	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	L K 4区3x	安行2式
188	土器片円盤	6.0	7.4	2.5	67.2	長石・石英・赤色粒子	橙	平縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	L G 9区2x	安行2式
189	土器片円盤	4.7	4.6	1.2	20.6	長石・石英	黒褐	波状口縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	L J 4区6x	安行2式
190	土器片円盤	4.4	4.8	1.3	24.9	長石・石英・雲母	褐灰	波状口縁深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	L J 5区6x	姥山II式
191	土器片円盤	5.6	6.9	1.5	45.9	長石・石英	にぶい橙	粗製土器口縁部片利用 周縁打ち欠き	L J 4区3x	後期後葉
192	土器片円盤	5.4	5.7	1.3	37.3	長石・石英・赤色粒子	橙	浅鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	L E 10区2x	安行3a式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
193	石鏃	(2.4)	(1.5)	(0.5)	(1.1)	チャート	凸基有茎鏃 基部欠損	L J 5区1x	PL109
194	石鏃	(1.4)	(1.2)	0.4	(0.4)	チャート	平基無茎鏃	L J 4区6x	PL109
195	打製石斧	(6.6)	(8.0)	(2.2)	(145.6)	安山岩	分銅形 両面調整	L I 7区2x	PL109
196	打製石斧	(8.3)	(7.3)	(1.9)	(109.7)	安山岩	分銅形 両面調整	L G 9区2x	PL110
197	磨製石斧	(8.2)	(3.2)	1.5	(58.1)	角閃岩	片刃 刃部片面・側面両面調整	L G 9区2x	
198	磨製石斧	(8.0)	(4.5)	3.3	(178.8)	流紋岩	定角式 研磨成形 刃部欠損	L J 6区1x	
199	磨製石斧	12.3	6.3	3.1	339.3	角閃岩	定角式 研磨成形 側面敲打痕残る	L J 4区3x	PL110

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
200	石皿	(19.3)	20.6	6.5	(1799.9)	安山岩	表裏面ざらつきのある摩耗痕+凹み	LH6区1x	
201	石皿	(8.8)	(8.5)	3.9	(317.3)	花崗岩	背面凹痕	LJ6区3x	
202	磨石	14.3	9.3	7.0	1378.2	安山岩	表裏光沢のある磨り面 上下・側面敲打痕	LH6区5x	
203	磨石	10.7	8.5	5.9	902.2	花崗斑岩	表裏光沢のある磨り面 上下・側縁ややざらつきのある摩耗痕	LI6区5x	PL110
204	磨石	(13.6)	10.3	3.1	(584.6)	安山岩	表裏ざらつきのある摩耗痕 一側縁敲打痕	LI6区5x	PL110
205	磨石	8.7	7.2	5.6	509.9	安山岩	表裏光沢のある磨り面 裏面に凹み 上下・側縁ややざらつきのある摩耗痕	LJ6区6x	PL110
206	磨石	7.5	6.7	5.6	376.7	安山岩	表裏・上下・側縁ざらつきのある摩耗痕 表面に凹み 一側縁敲打痕	LG8区2x	
207	磨石	7.5	6.3	4.8	339.3	安山岩	表裏光沢のある磨り面 上下・側縁ややざらつきのある摩耗痕	LJ5区6x	
208	磨石	8.2	7.4	3.8	329.1	安山岩	表裏光沢のある磨り面+凹み 周縁ややざらつきのある摩耗痕	LJ4区4x	
209	磨石	8.2	7.8	3.4	283.3	安山岩	表裏・上下端ざらつきのある摩耗痕	LF7区1x	
210	磨石	6.0	6.3	4.4	(270.2)	安山岩	表裏・上下端・側縁とも光沢のある磨り面	LJ5区6x	
211	磨石	7.1	7.2	3.3	250.6	安山岩	表裏光沢のある磨り面 周縁ややざらつきのある摩耗痕	LJ5区6x	
212	磨石	7.1	7.0	3.7	248.6	安山岩	表裏・周縁ざらつきのある摩耗痕	LL6区1x	
213	磨石	7.9	6.5	3.6	244.9	安山岩	被熱 表裏ざらつきのある摩耗痕+凹み 上下・側縁ざらつきのある摩耗痕	LJ5区6x	
214	磨石	6.5	6.6	4.0	237.6	安山岩	表裏光沢のある磨り面+凹み 上下・側面ざらつきのある摩耗痕 一側縁に敲打痕	LK4区3x	
215	磨石	6.8	6.2	3.8	236.9	安山岩	表裏光沢のある磨り面 上下端ややざらつきのある摩耗痕	LE7区1z	
216	磨石	8.0	8.8	2.3	(233.1)	安山岩	表裏ややざらつきのある摩耗痕	LJ5区6x	
217	磨石	6.3	5.9	3.7	191.4	安山岩	表裏光沢のある磨り面 周縁ややざらつきのある摩耗痕	LJ6区5x	
218	磨石	5.8	5.6	3.7	(189.4)	安山岩	表裏光沢のある磨り面 周縁ややざらつきのある摩耗痕 一部敲打痕	LJ4区3x	
219	磨石	6.2	5.4	3.7	184.5	安山岩	表裏光沢のある磨り面 周縁ややざらつきのある摩耗痕 一側縁凹み	LL5区1z	
220	磨石	6.8	6.2	3.0	(178.9)	安山岩	表裏・周縁ややざらつきのある摩耗痕	LJ4区4x	
221	磨石	6.2	6.0	3.2	173.9	安山岩	表裏光沢のある磨り面 上下・側縁ややざらつきのある摩耗痕 被熱	LG8区2x	
222	磨石	7.2	6.3	2.7	173.2	安山岩	表裏ざらつきのある摩耗痕	LJ4区4x	
223	磨石	6.3	5.9	2.9	108.3	安山岩	表裏光沢のある磨り面 周縁ややざらつきのある摩耗痕	LJ4区4x	
224	磨石	6.2	6.1	2.7	143.2	安山岩	表裏・周縁ややざらつきのある摩耗痕	LF8区1x	
225	磨石	6.4	5.8	3.3	136.6	安山岩	表裏・周縁ざらつきのある摩耗痕	LG6区1x	
226	磨石	6.7	6.2	1.9	89.7	安山岩	表裏ざらつきのある摩耗痕	LJ4区3x	
227	敲石	15.0	12.5	5.2	(1384.9)	安山岩	表裏ややざらつきのある摩耗痕+凹み 側縁敲打痕	LJ5区5x	PL110
228	敲石	11.2	8.2	5.7	867.9	閃緑岩	表裏ややざらつきのある摩耗痕+凹み 一側縁・上下端敲打痕	LK4区3x	
229	敲石	9.9	8.0	5.2	595.7	花崗岩	表裏光沢のある磨り面+凹み 側縁ややざらつきのある摩耗痕 一側縁に敲打痕 被熱	LH6区1x	PL110
230	敲石	12.3	8.9	5.3	462.8	安山岩	表裏・両側縁に敲打痕	LJ6区6x	PL110
231	敲石	8.1	7.2	4.1	378.8	安山岩	表裏光沢のある磨り面+凹み 上・側縁ややざらつきのある摩耗痕	LJ4区1x	
232	敲石	13.8	5.3	3.7	327.9	安山岩	表裏・一側縁に凹み	LJ5区2x	PL110
233	敲石	8.0	5.4	3.9	218.4	安山岩	表裏・両側縁ざらつきのある摩耗痕+凹み 上下端ざらつきのある摩耗痕	LJ6区2x	
234	敲石	6.0	6.0	4.0	214.3	安山岩	表裏ややざらつきのある摩耗痕+凹み 周縁ざらつきのある摩耗痕	LE10区2x	
235	敲石	5.6	5.1	4.4	170.3	安山岩	表裏凹み 周縁ざらつきのある摩耗痕	LJ5区5x	
236	敲石	5.1	5.1	3.6	153.7	安山岩	表裏光沢のある磨り面+凹み 周縁ざらつきのある摩耗痕	LI6区1x	
237	敲石	8.4	7.8	4.4	413.1	石英	表裏光沢のある磨り面+凹み 下端部ややざらつきのある摩耗痕 一側縁に敲打痕	LG7区1x	PL110
238	敲石	6.2	4.7	3.4	155.6	安山岩	表裏光沢のある磨り面 上下端ざらつきのある摩耗痕	LJ4区3x	
239	敲石	5.4	4.7	4.3	(143.1)	瑪瑙	周縁細かい敲打痕	LF8区2x	
240	敲石	5.1	4.3	2.7	93.1	砂岩	下端部敲打痕	LJ5区6x	
241	石錘	7.9	6.9	5.6	203.4	安山岩	表裏に凹み 側縁に溝状の研磨痕	LJ5区4x	
242	石錘	5.0	4.1	1.1	33.0	安山岩	礫石錘 長軸側上下打ち欠き	LJ4区3x	
243	石錘	5.0	4.3	1.1	33.6	粘板岩	切り目石錘 長軸側に切り込み	LK4区3x	
244	石錘	5.0	3.7	1.3	36.7	安山岩	切り目石錘 長軸側に切り込み	LJ4区6x	
245	石皿	18.7	17.9	5.3	2302.4	砂岩	表裏面滑らかな磨り面 表面に凹みと敲打痕 被熱	LI6区5x	PL110
246	凹石	(13.5)	9.8	9.8	(1681.3)	花崗岩	大形石棒を転用 上面敲打により整形 表面に凹み 被熱	LH6区1x	PL110

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
247	砥石	(35.0)	14.1	10.5	(7548.3)	緑色片岩	大形石棒を転用 上面・側面滑らかな摩耗痕と凹み 裏面筋状の摩耗痕	L I 6区5 x	PL110
248	砥石	(2.9)	4.9	5.0	(79.1)	砂岩	溝状の研ぎ痕	L J 6区5 x	
249	砥石	(2.0)	5.1	3.9	(46.5)	砂岩	溝状の研ぎ痕	L J 4区3 x	
250	石剣	(14.1)	3.0	1.4	(100.4)	粘板岩	表裏面に細かい線状の研磨痕 被熱	L I 7区2 x	
251	石剣	(12.0)	3.0	(1.0)	(59.1)	粘板岩	側縁を中心に細かい線状の研磨痕	L F 10区2 x	
252	独鈷石	(5.6)	7.3	(5.6)	(157.7)	安山岩	先端部敲打痕カ	L J 5区5 x	PL110

第5号遺物包含層（第332～352図 第239・240表 PL52・54・111～115）

位置 調査K区のG 4 a6～G 5 e1区，東西方向に延びる谷部に位置している。確認面の標高は，20.7～23.3 mである。

重複関係 第18号竪穴建物跡，第4・12号斜面貝層，第5号遺物包含層の第IV層の上部に形成されており，第11号溝に掘り込まれ，第II層が上部に形成されている。

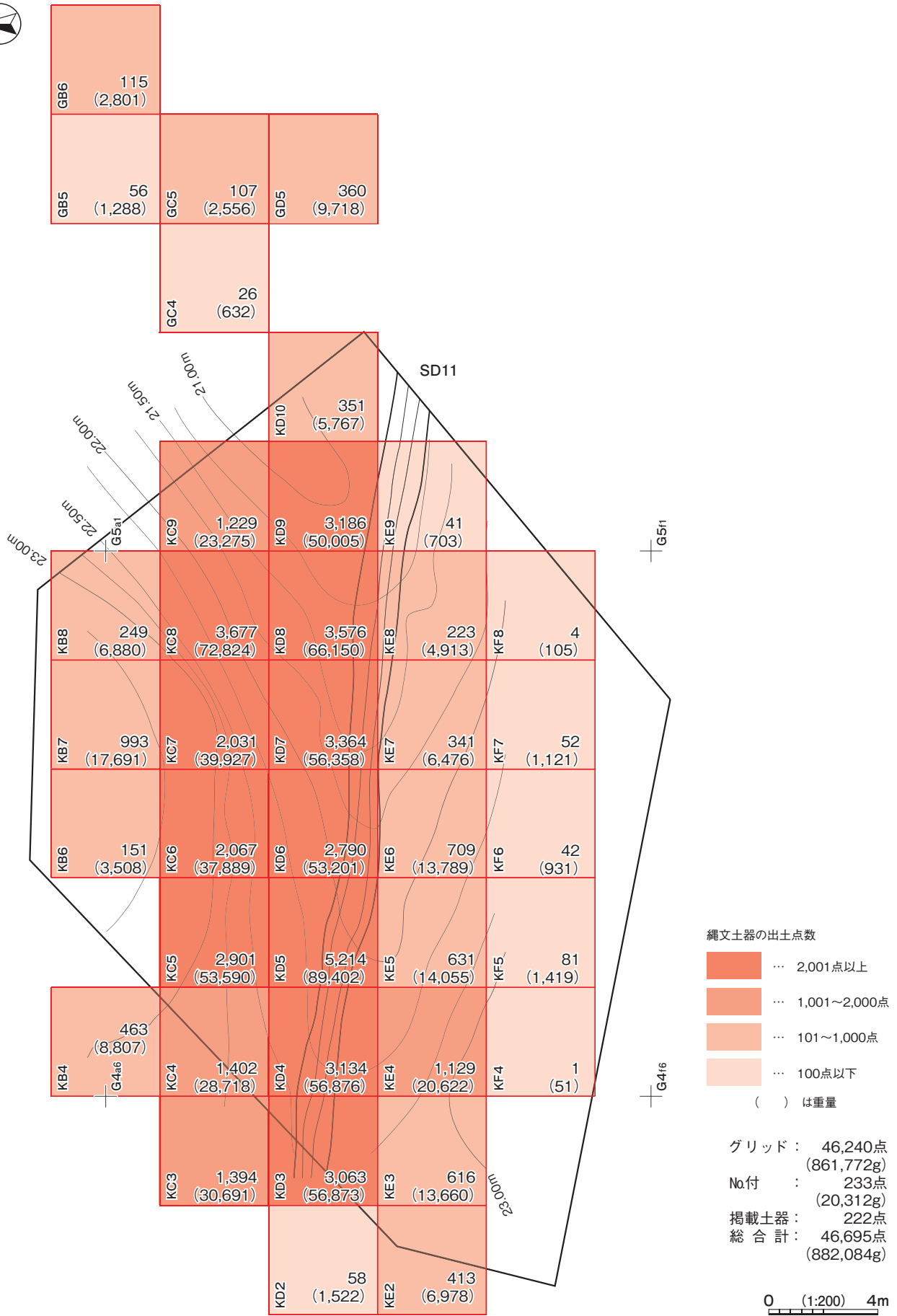
分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。谷底部は，東方向（S - 83° - E）へ緩やかに傾斜しており，調査区域内の比高差は1.3 mである。

遺物出土状況 縄文土器46,695点（882,084 g），土製品222点（匙形土製品3，耳飾り1，耳栓1，土偶30，土版5，有孔円盤7，土器片錘1，土器片円盤172，不明2），石器・石製品144点（石刃2，石鏃6，石錐1，打製石斧7，磨製石斧6，石皿11，磨石67，敲石4，凹石2，砥石16，石錘4，浮子カ1，石剣15，石棒2），剥片40点（頁岩4，黒曜石4，瑪瑙5，チャート27），石核29点（瑪瑙3，チャート26），粘土塊7点，貝92.1 g，骨1,083.2 gが出土している。土器は，前期前半の黒浜式や中期後半の加曾利E I式のものが見られるほか，称名寺I式～安行3 d式のもの出土しており，安行3 b式～安行3 c式のものが多い。遺物は，下部の第IV層との層界付近から多量に出土し，北斜面部から谷底部にかけてのKC 3～KD 10区では特に密な散布状況を示している。北側の台地上にある集落からの投棄や流れ込み，あるいは下部の第18号竪穴建物跡の覆土や第4・12号斜面貝層が流出したものと考えられる。一方，南斜面部は出土量が極端に少ないことから，南側の台地上が空白域であった可能性を示唆している。

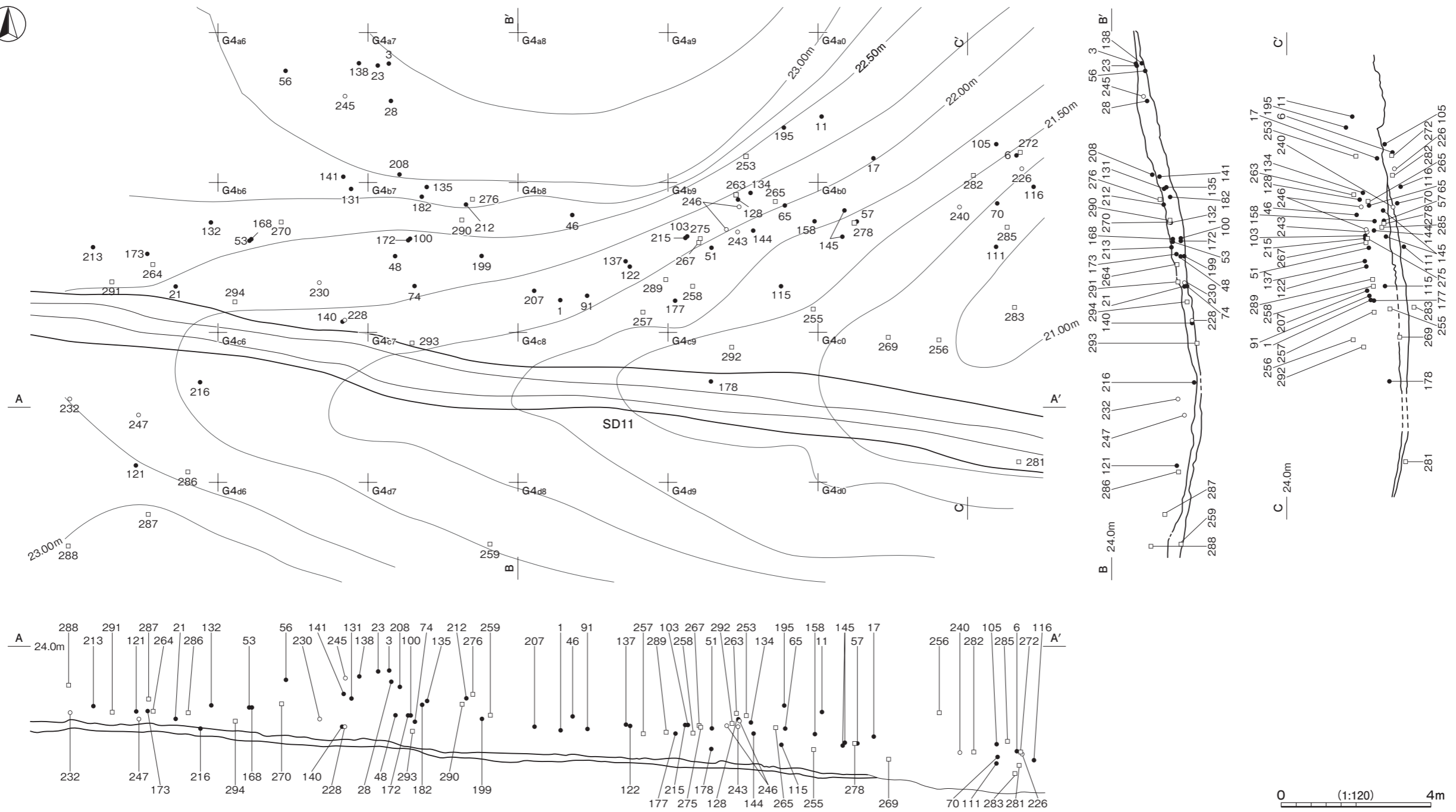
所見 時期は，後期末葉（安行2式期）の第18号竪穴建物跡や晩期前葉（安行3 a式～安行3 b式期）の第4・5号斜面貝層の上部に形成されていることから，晩期前葉（安行3 a式～安行3 b式期）以降と考えられる。また，本層と同質の土が第4号斜面貝層の下部に介在していることから，本層が堆積する過程で第4号斜面貝層が形成されたと考えられる。

第239表 第5号遺物包含層第III層出土未掲載土器集計表

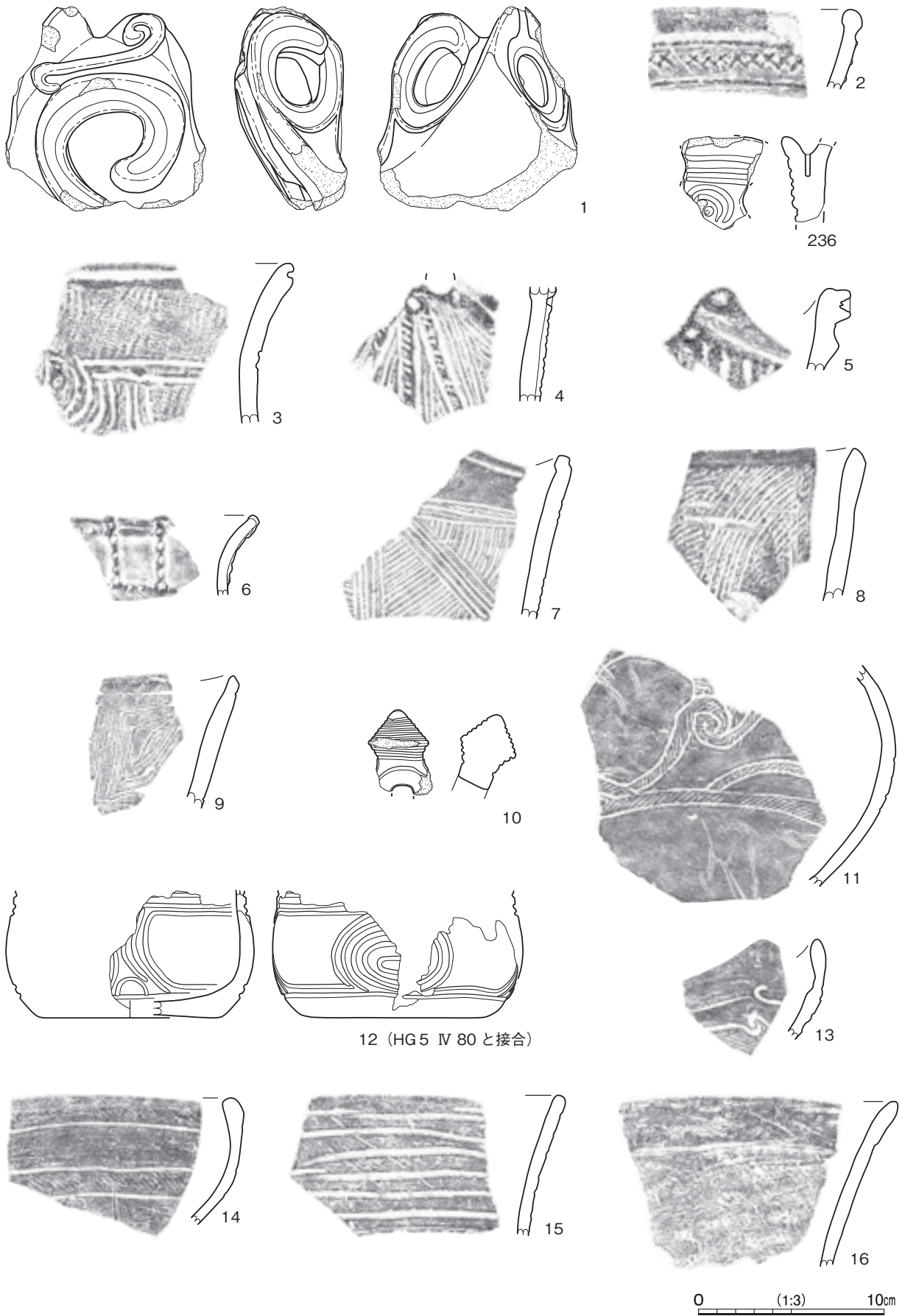
群	第1群		第2群		第3群		第4群			第5群			第6群		第7群					第8群		第9群	
	前期前半	中期後半	称名寺I式	称名寺II式	堀之内1式	堀之内2式	加曾利B1式	加曾利B2式	加曾利B3式	曾谷式	安行1式	安行2式	安行3 a式	安行3 b式	姥山II式	安行3 c式	前浦式	安行3 d式	後期異系統土器	晩期異系統土器	沈線文	刺突文	
点数	2	5	9	10	279	81	31	38	21	13	65	62	149	209	321	574	326	1	6	109	2,551	816	
重量(g)	51	263	238	254	6,537	2,083	476	1,060	732	506	3,357	2,185	5,543	5,319	4,876	10,177	8,114	42	79	1,809	40,062	15,566	
群	第9群						第10群				第11群						第12群	第13群	合計				
	磨消文	隆起帯縄文	紐線文(古)	紐線文(新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部(古)	底部(新)	浅鉢	鉢	台付鉢	注口土器	壺	釣手土器	異形台付土器	把手		ミニチュア土器	製塩土器	細片不明	
点数	2,158	1,199	695	1,233	226	9,868	4,179	18,215	314	737	408	19	93	13	38	2	5	3	11	1,379	-	46,473	
重量(g)	33,357	25,927	16,767	29,041	3,909	169,453	63,494	283,661	18,550	30,650	11,189	672	6,870	450	908	54	119	34	187	11,161	66,302	882,084	



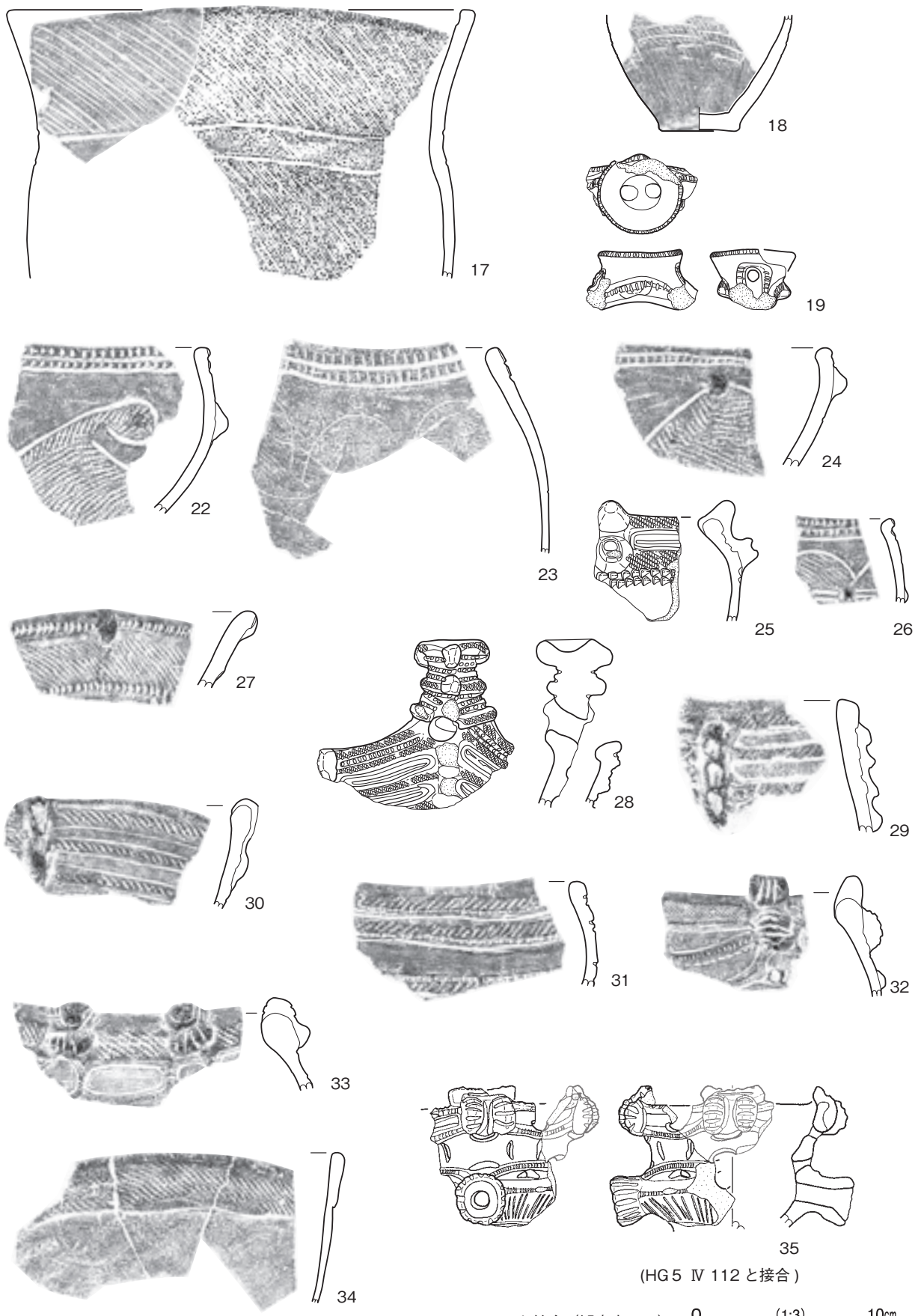
第332図 第5号遺物包含層第三層実測図(1)



第333図 第5号遺物包含層第Ⅲ層実測図(2)



第 334 図 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (1)

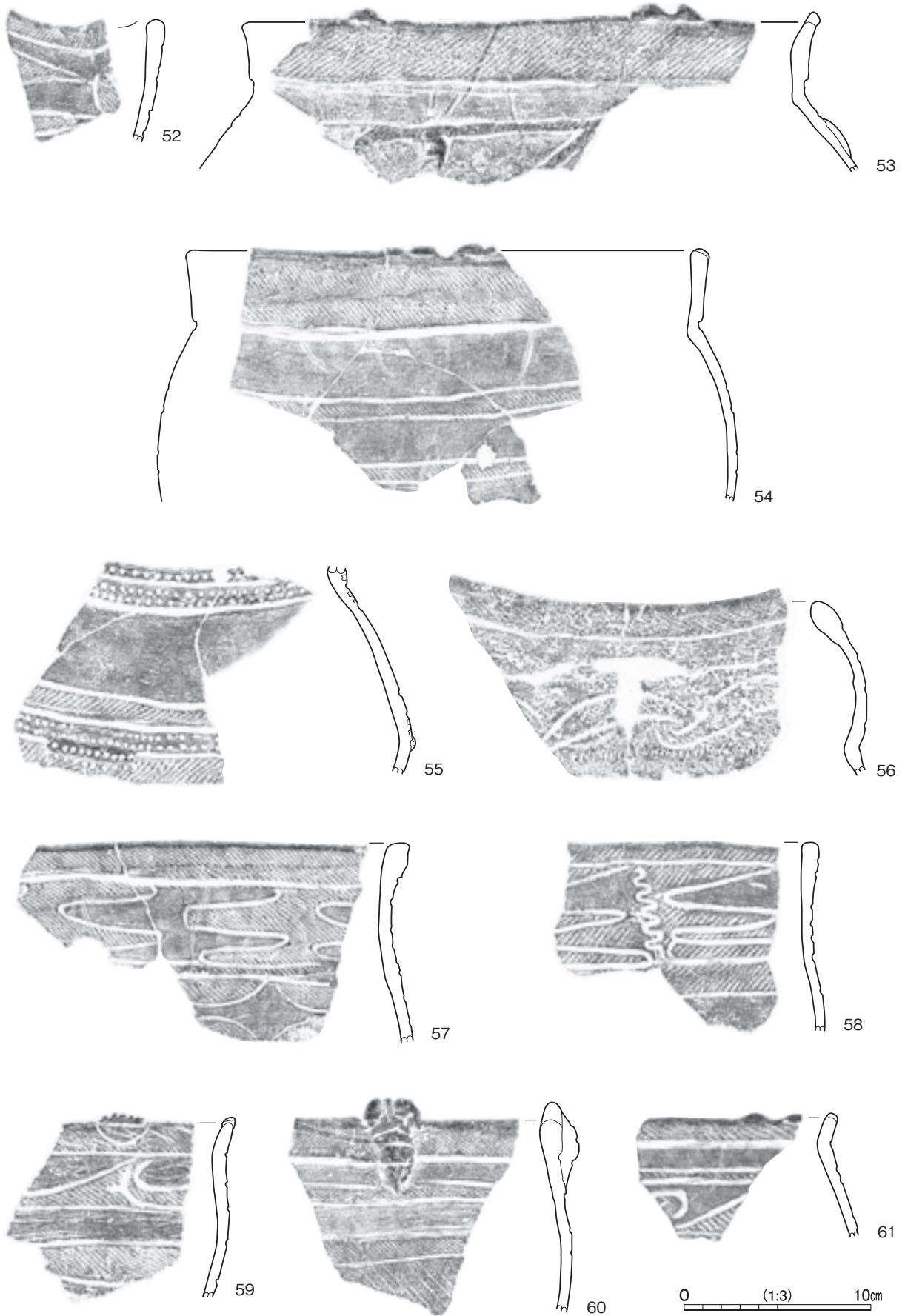


※ 21 SI 18 6 と接合 (観察表のみ)

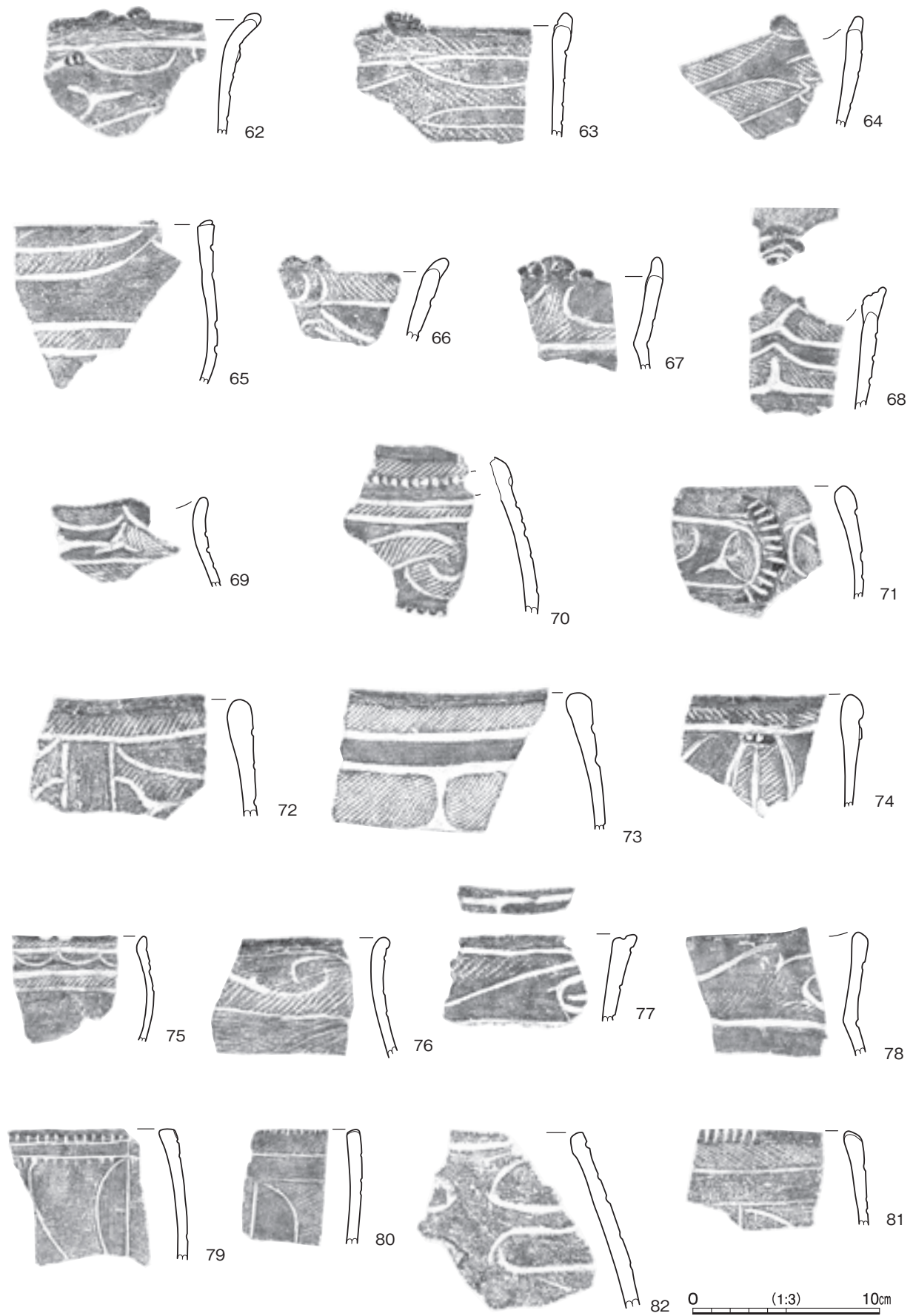
第 335 図 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (2)



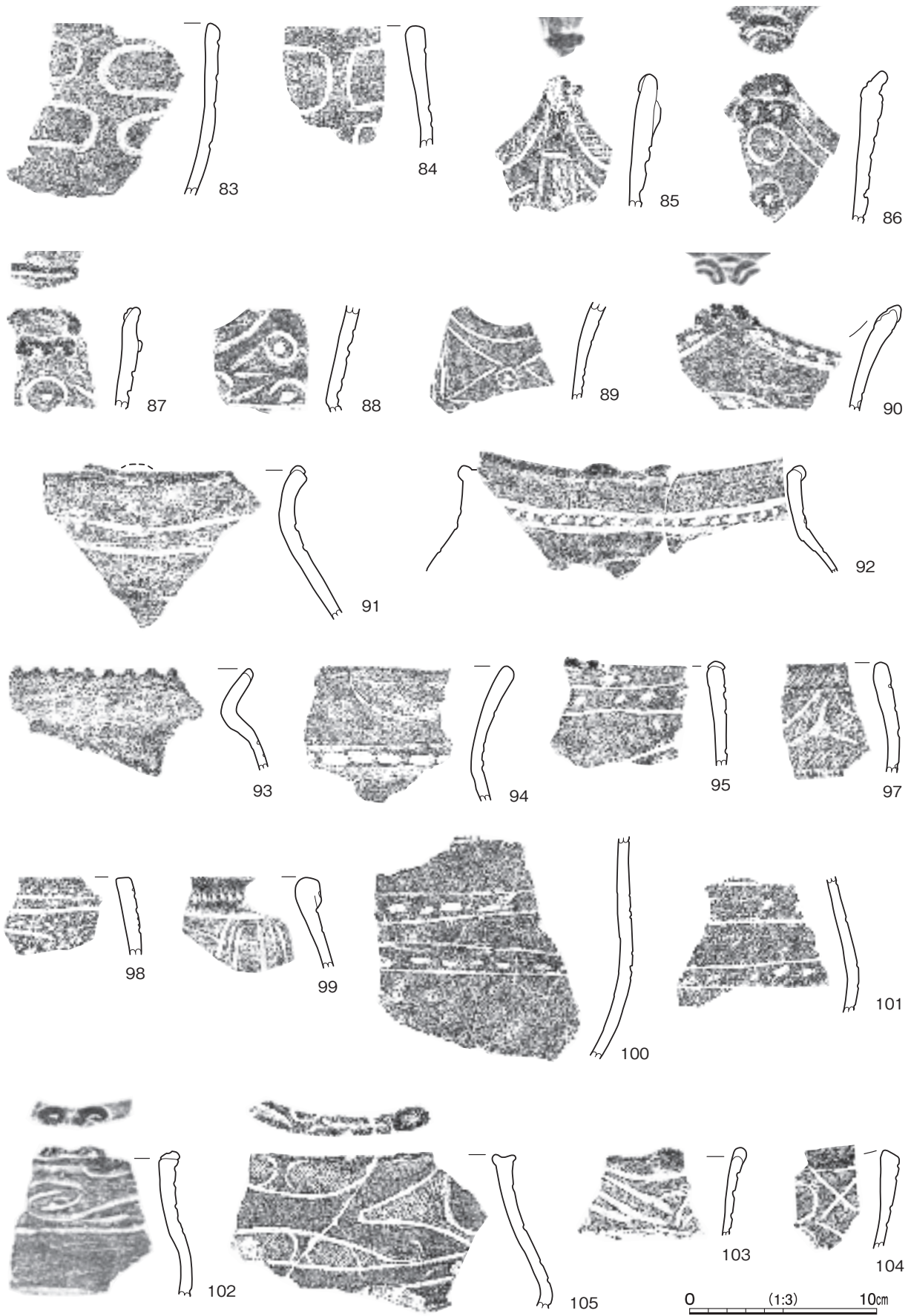
第 336 图 第 5 号遗物包含层第Ⅲ层出土遗物实测图 (3)



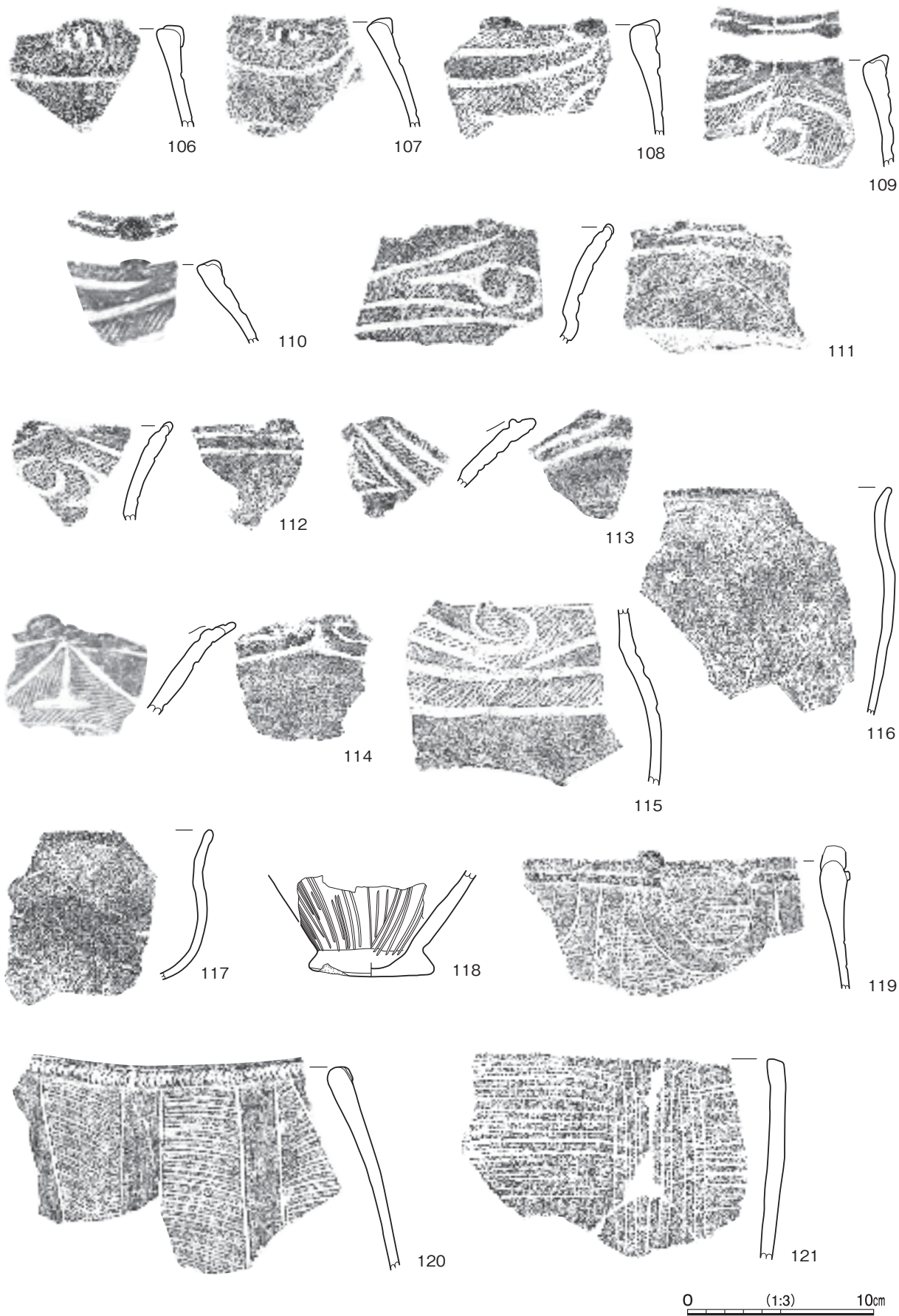
第 337 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图 (4)



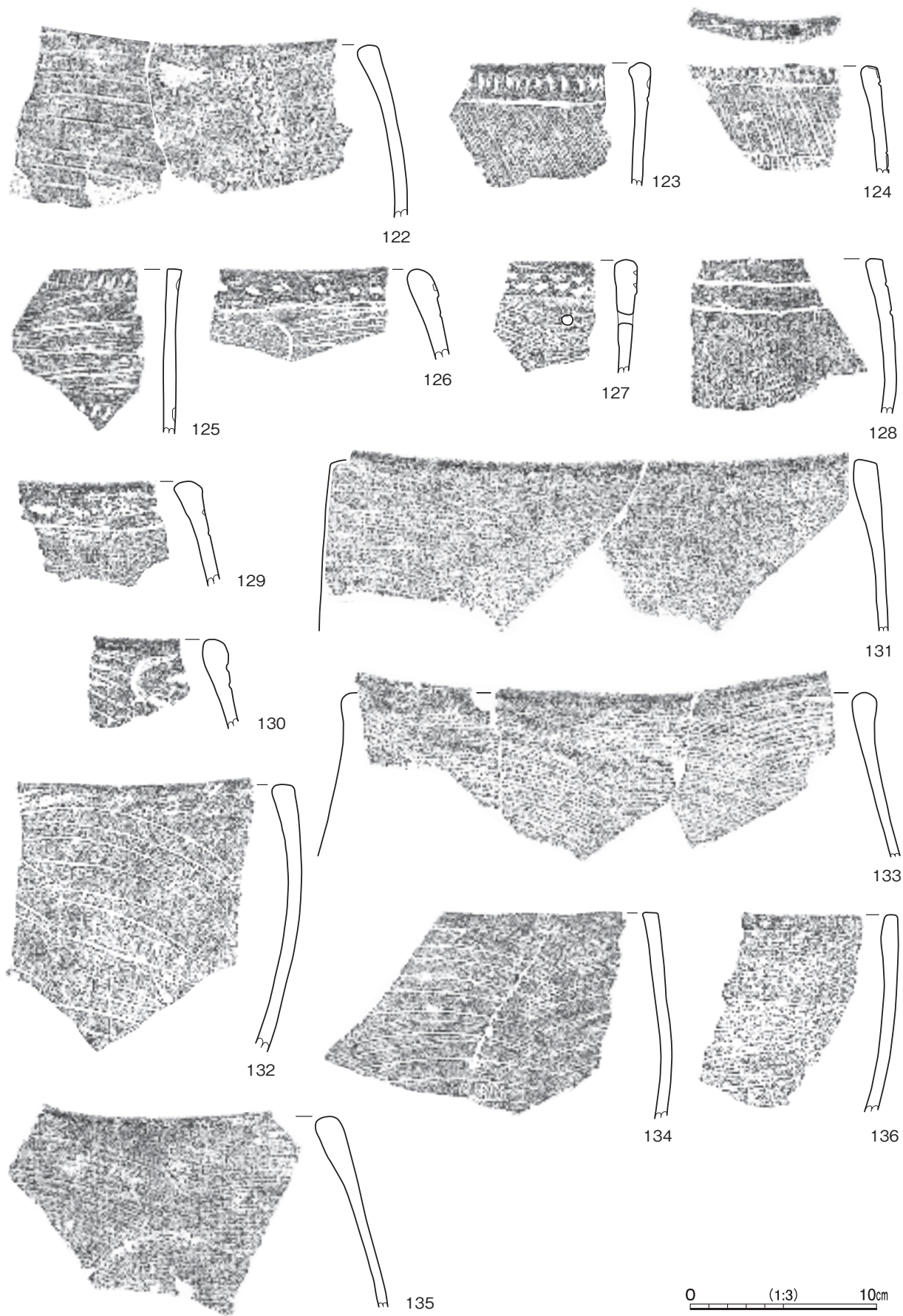
第 338 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (5)



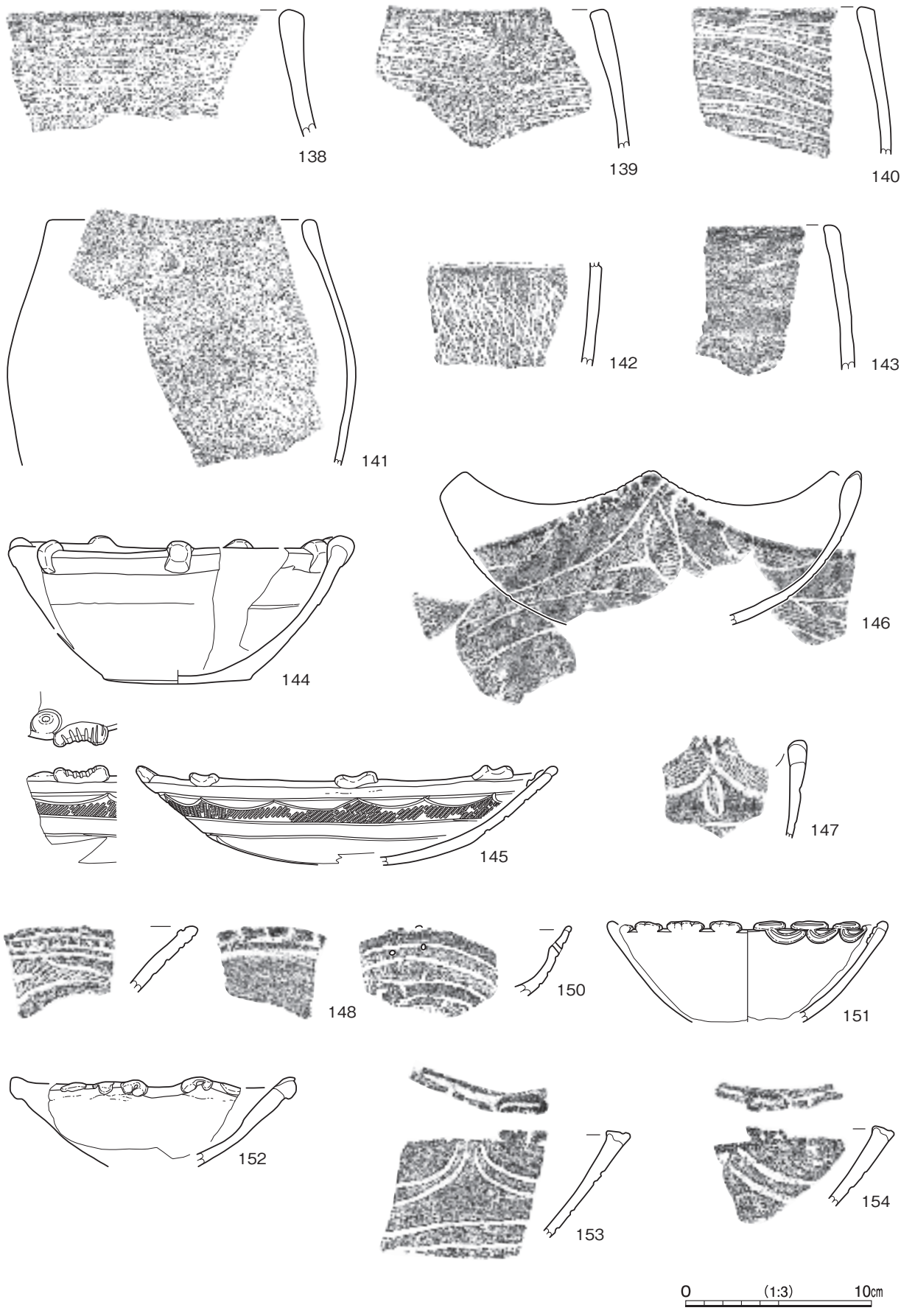
第 339 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图 (6)



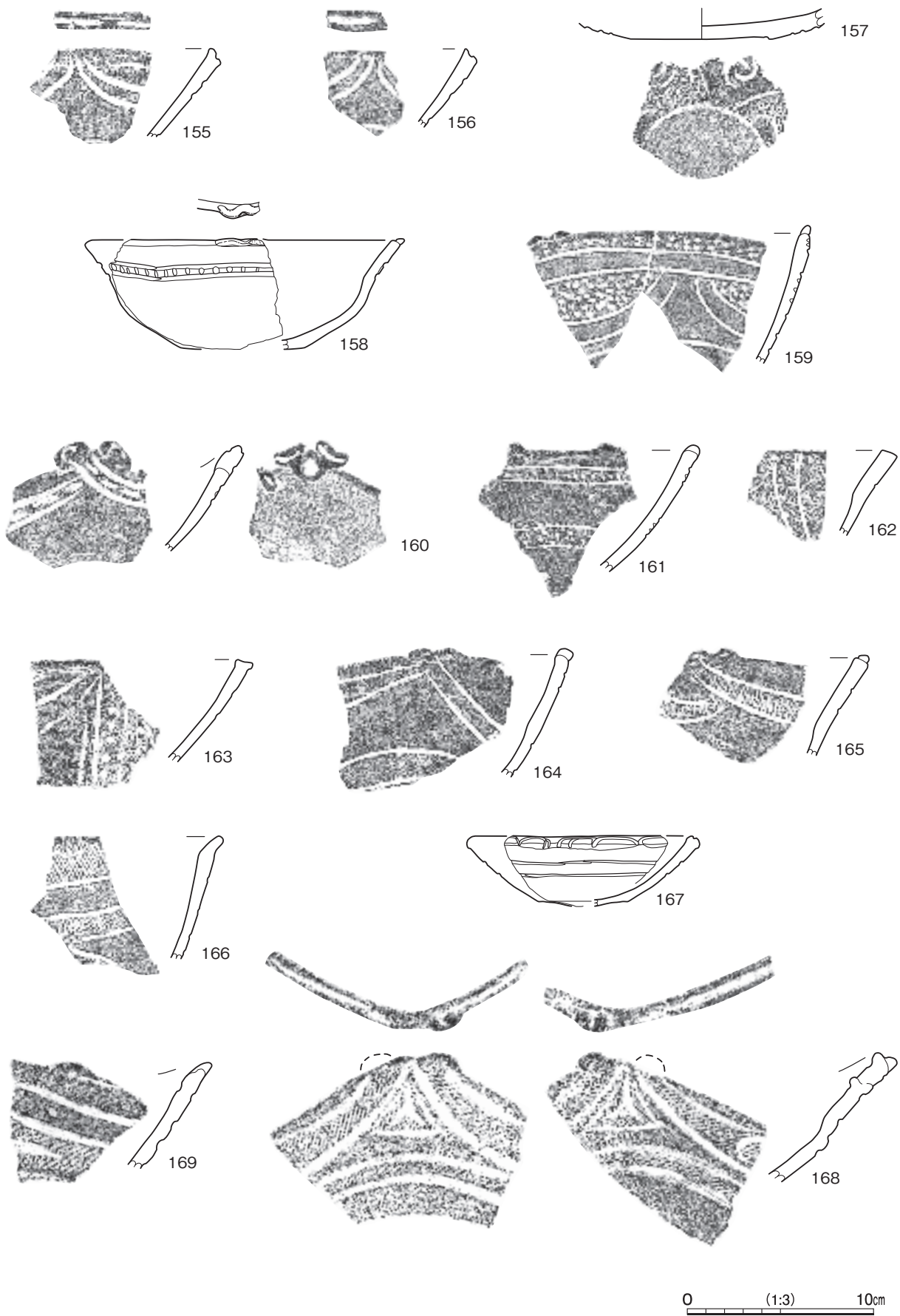
第 340 图 第 5 号遗物包含层第Ⅲ层出土遗物实测图 (7)



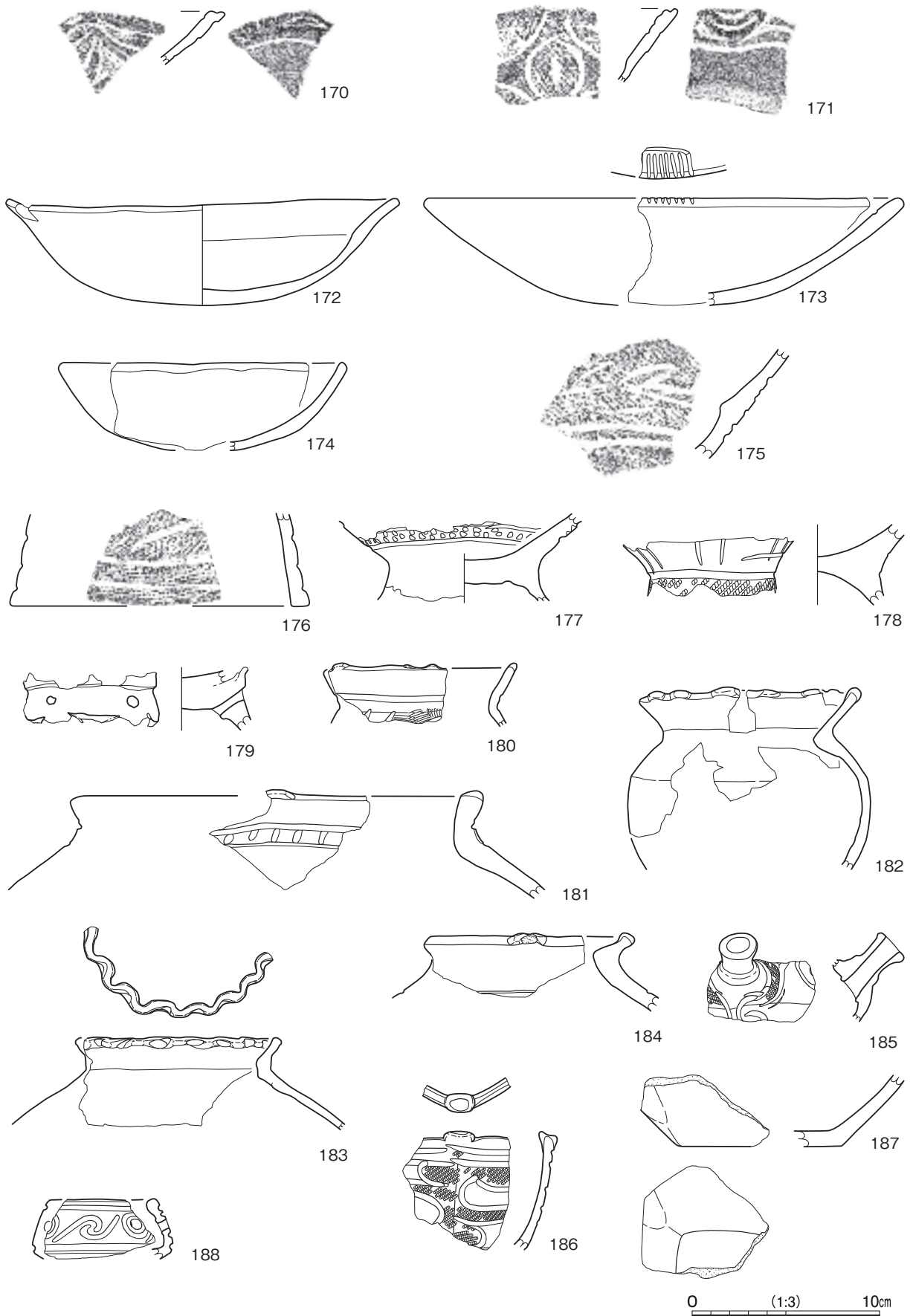
第 341 図 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (8)



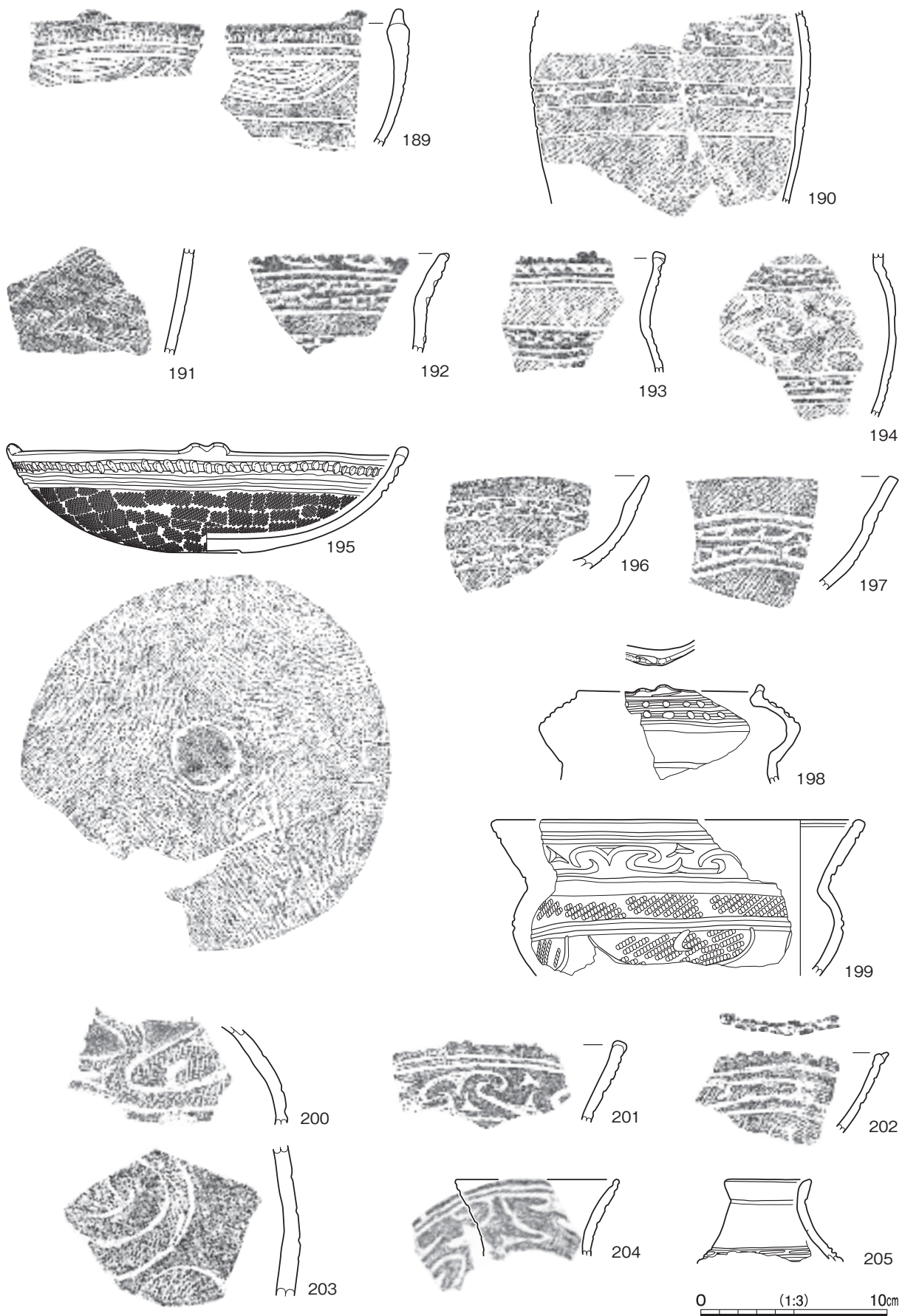
第 342 图 第 5 号遗物包含层第 III 层出土遗物实测图 (9)



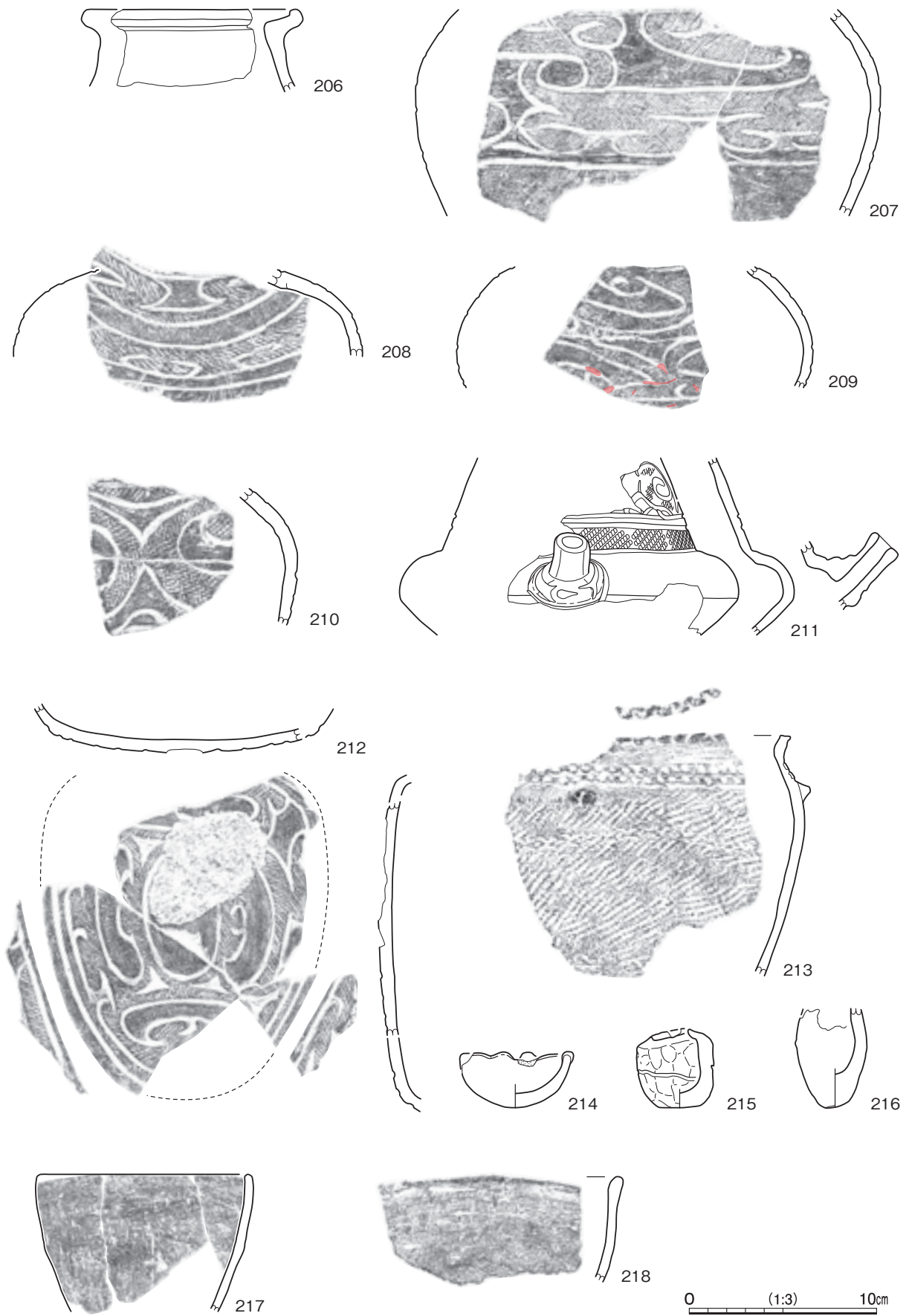
第 343 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图 (10)



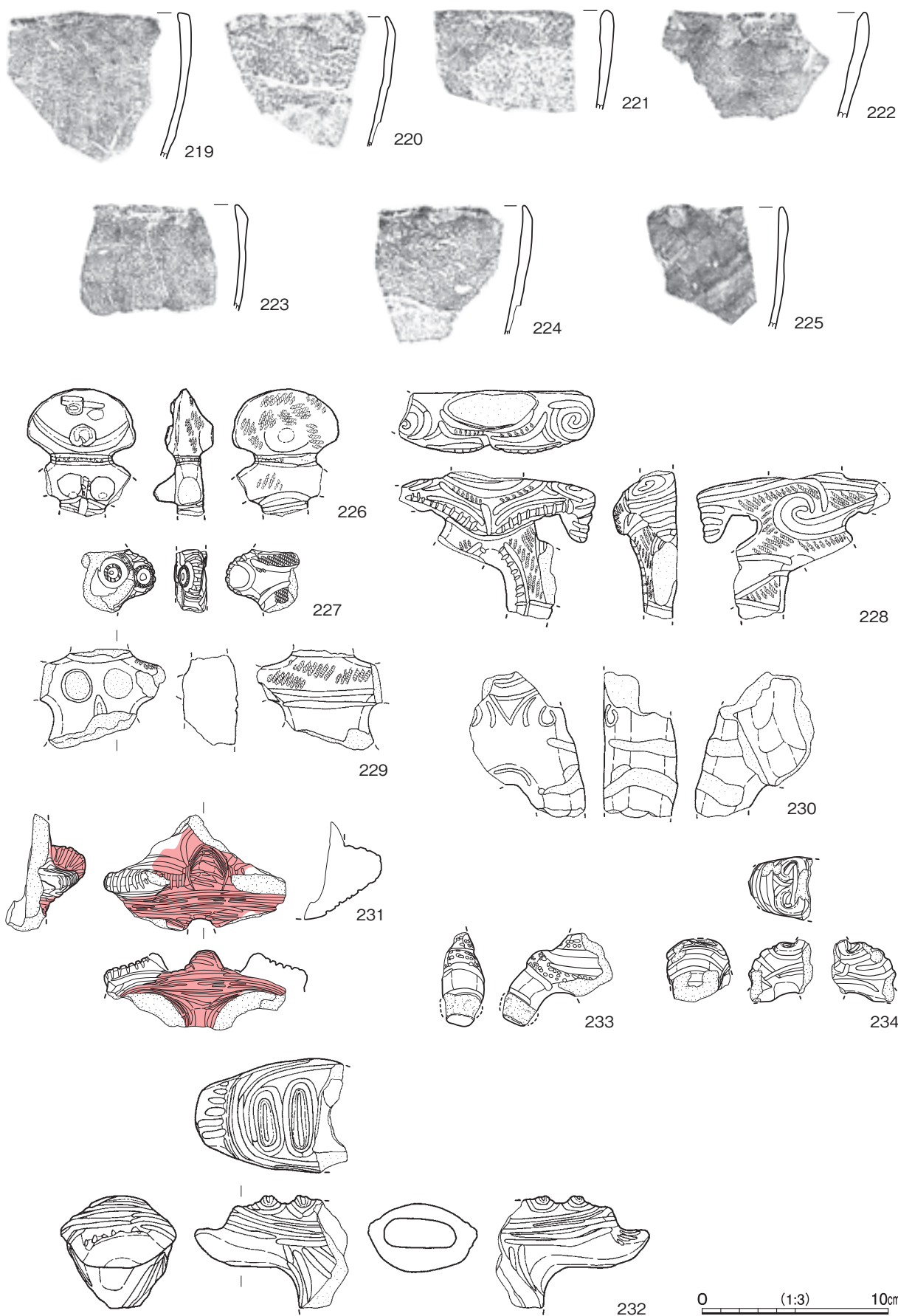
第 344 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (11)



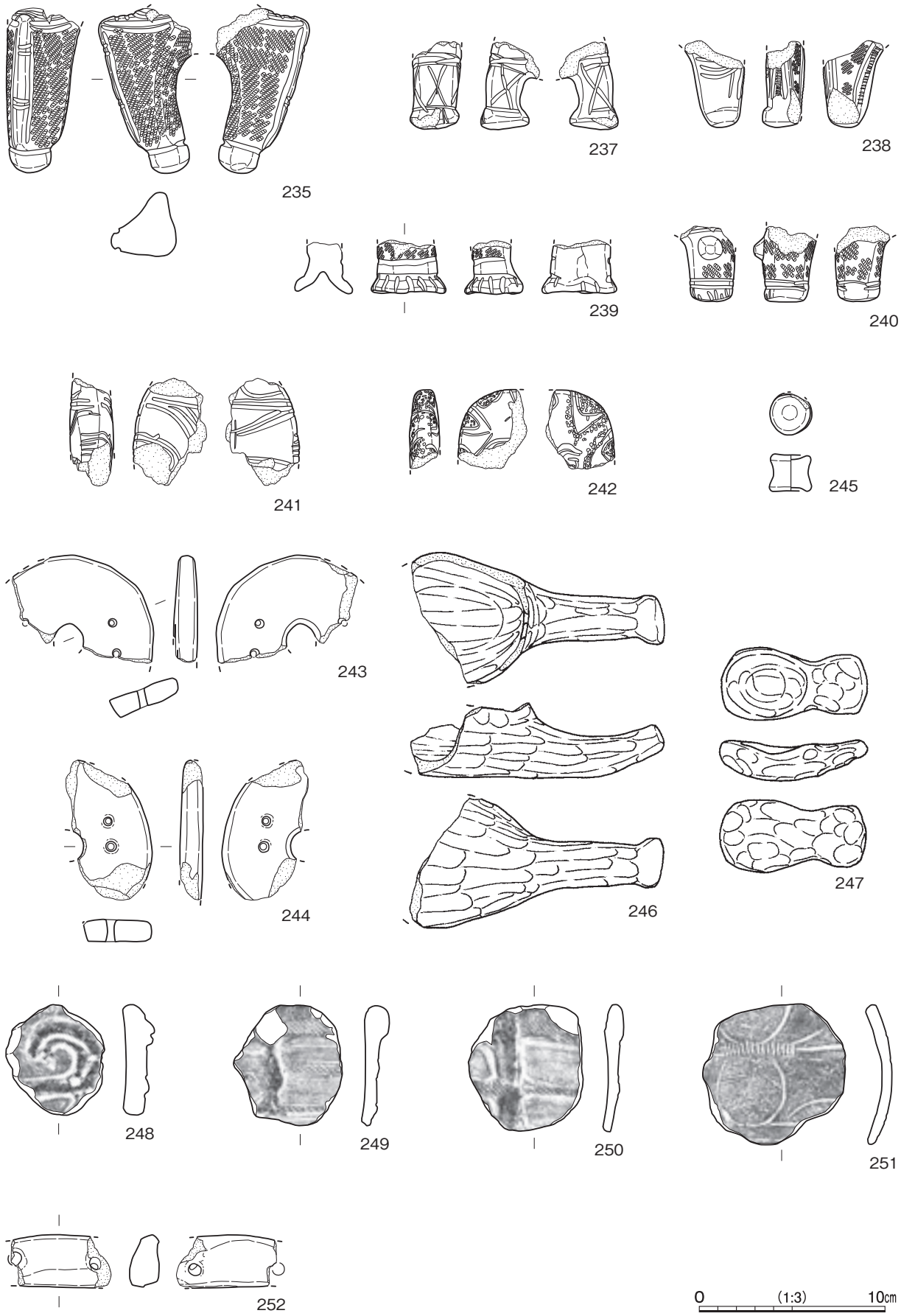
第345图 第5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图 (12)



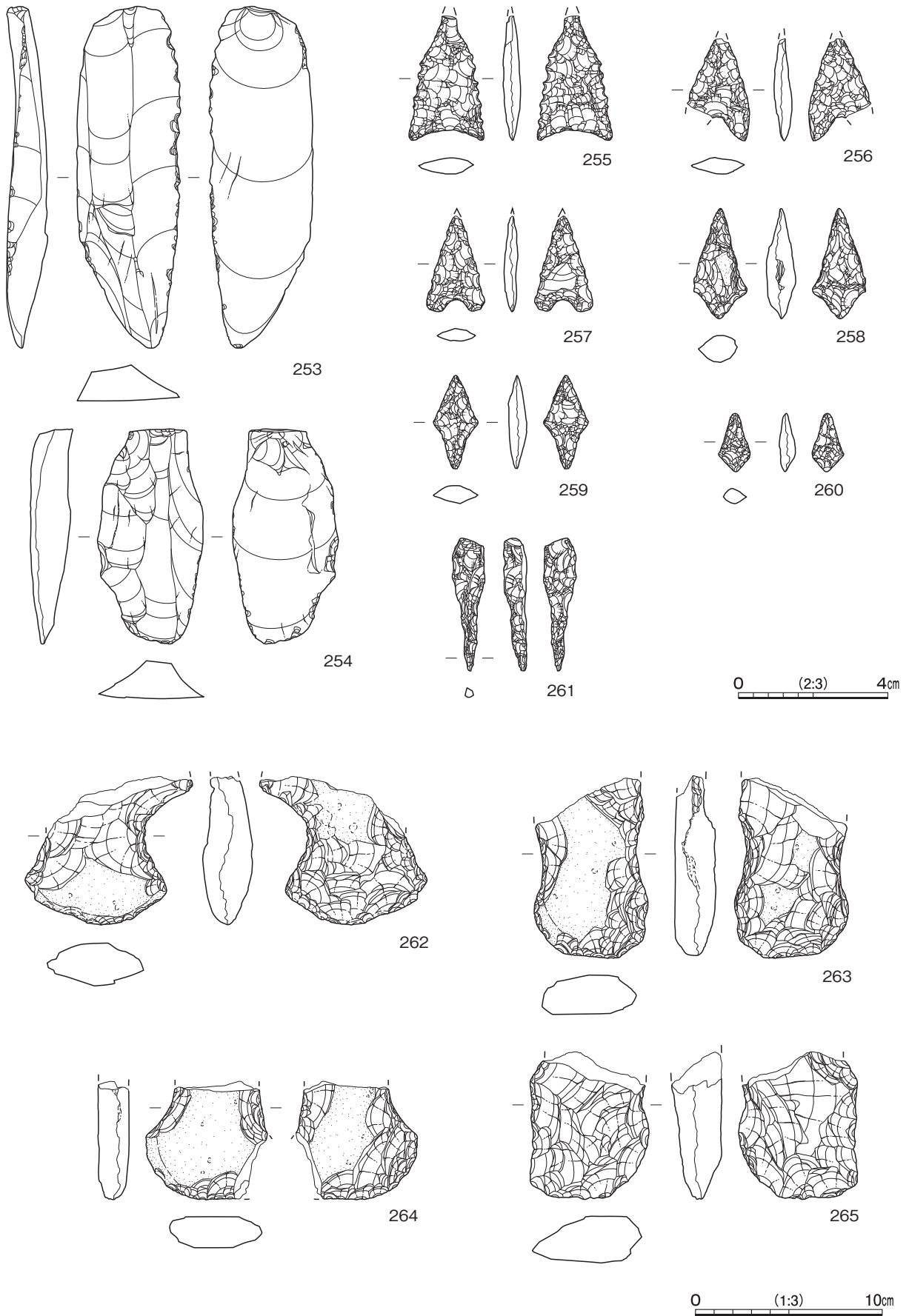
第 346 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (13)



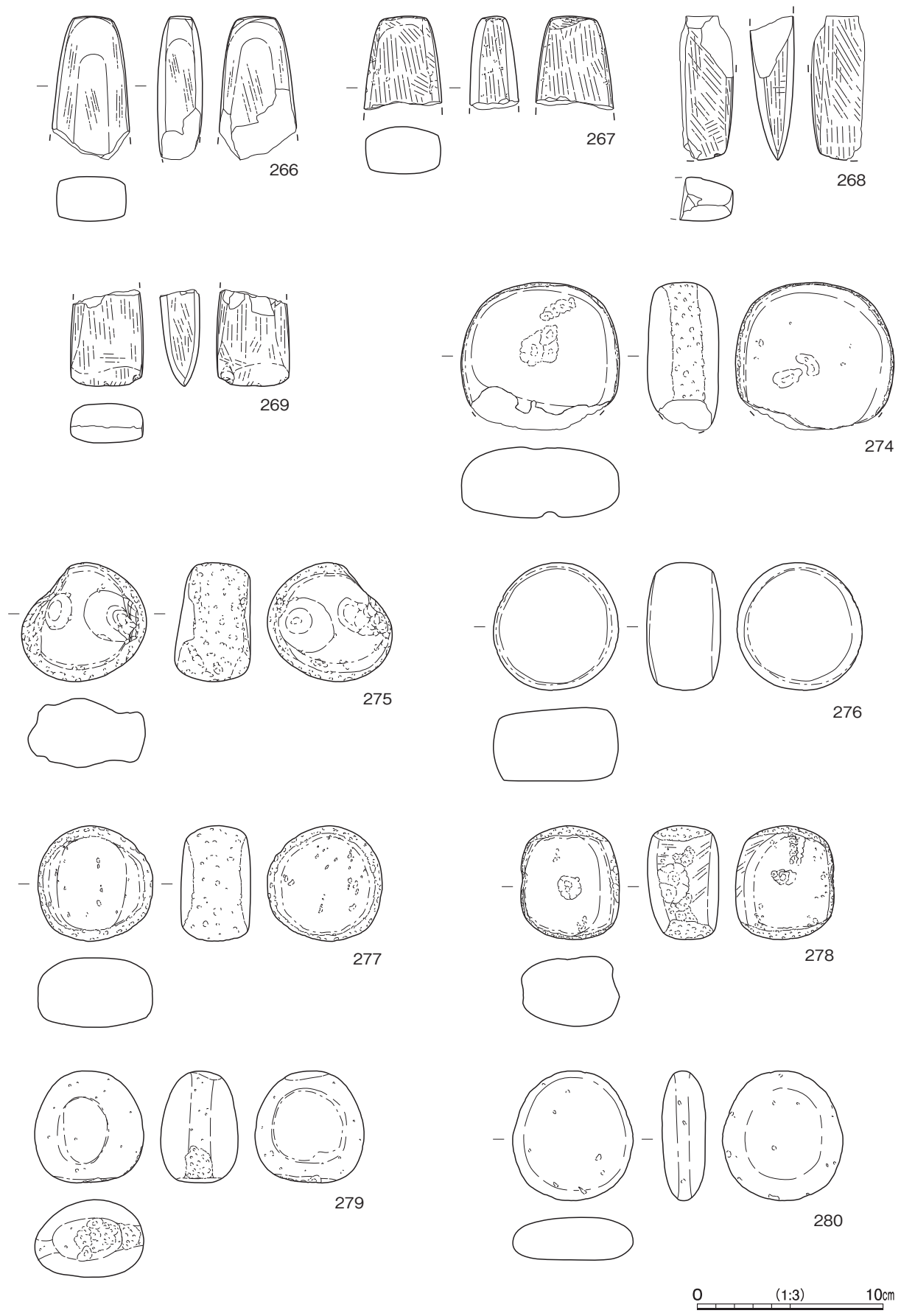
第 347 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (14)



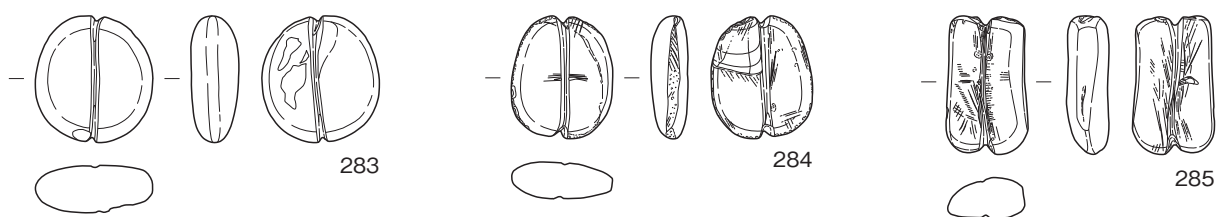
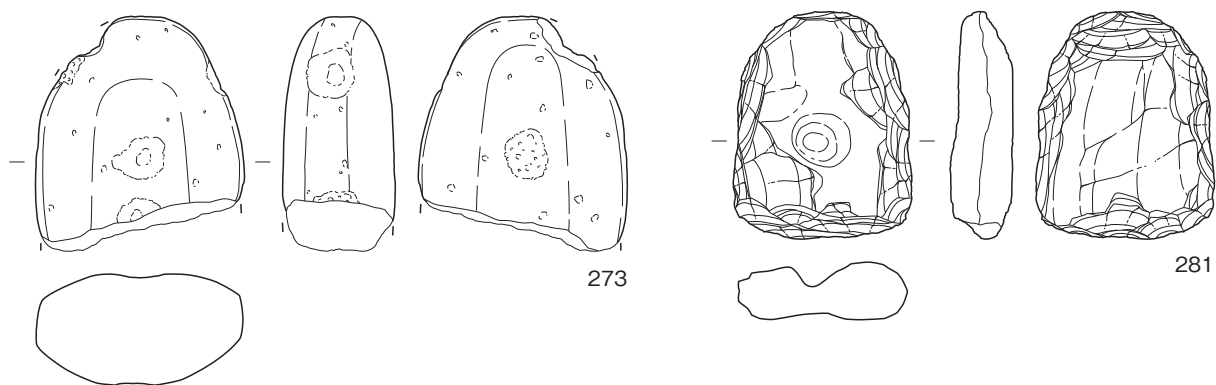
第 348 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (15)



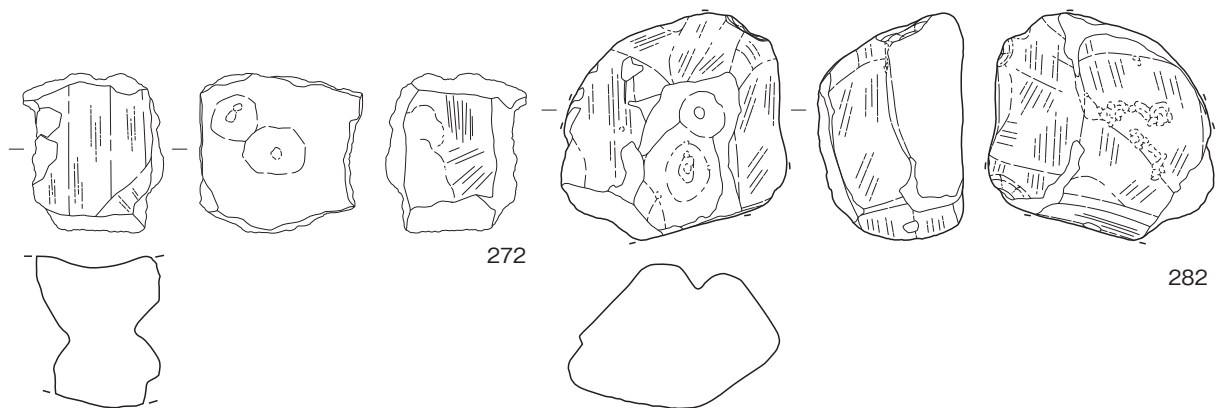
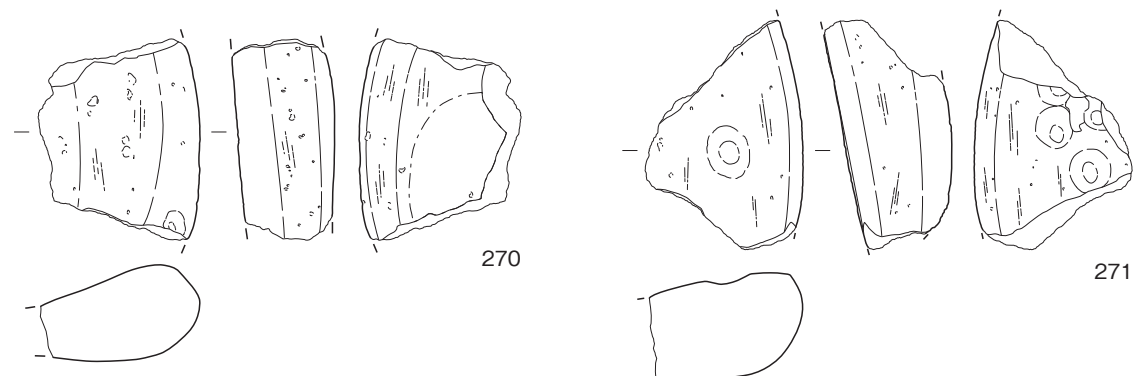
第 349 图 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測图 (16)



第 350 图 第 5 号 遗物 包含 层 第 III 层 出土 遗物 实测 图 (17)

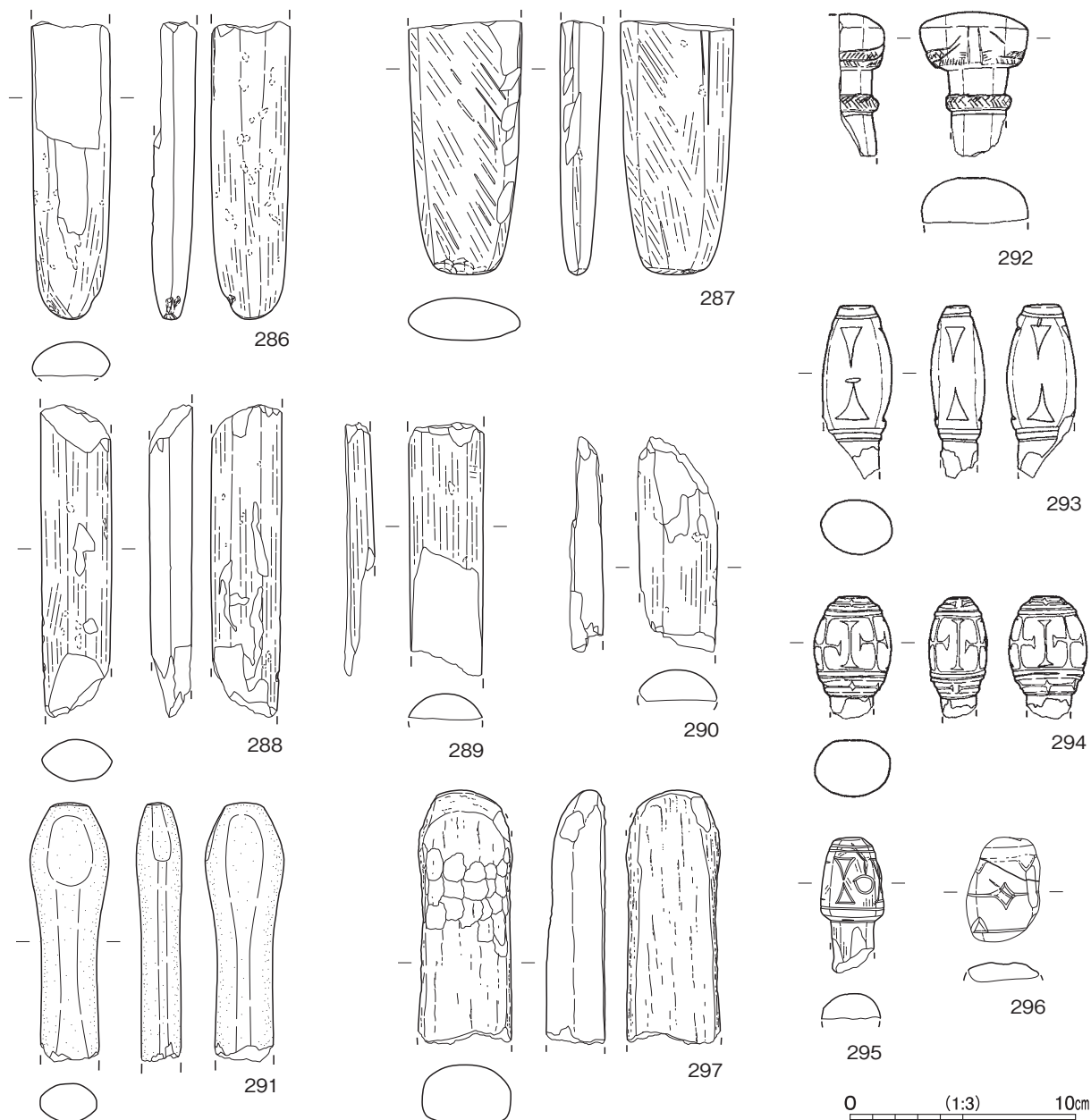


0 (1:3) 10cm



0 (1:4) 10cm

第351图 第5号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図(18)



第 352 図 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物実測図 (19)

第 240 表 第 5 号遺物包含層第Ⅲ層出土遺物一覧 (第 334 ~ 352 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	口縁大形突起部	KD 6 区	PL111 加曾利 E I 式
2	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	粘土紐貼付による格子目文	KF 5 区	加曾利 E I 式
3	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部凹線 地縄文 LR → 懸垂文 内面磨き	KB 5 区	PL111 堀之内 1 式
4	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	褐	普通	波状口縁 地縄文 → 鎖状隆帯 → 半裁竹管による集合沈線文 内面磨き	KD 4 区	堀之内 1 式
5	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	明黄褐	普通	波状口縁 口唇部凹線	KE 8 区	堀之内 1 式
6	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面口縁部紐線貼付 無文部磨き 内面口縁部沈線磨き	KC 9 区	堀之内 2 式
7	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	黒褐	普通	波状口縁 口唇部沈線 胴部集合沈線で区画沈線 → 短沈線充填 無文部磨き 内面磨き	KC 3 区	PL111 堀之内 2 式
8	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部沈線 縄文 LR → 半裁竹管による懸垂文 内面磨き	KD 4 区	堀之内 1 式
9	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	緩い波状カ 沈線による重菱形文 内面口縁部に 浅い沈線 磨き	KC 9 区	堀之内 2 式
10	縄文土器	浅鉢	-	(4.6)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁突起部 穿孔 外・内面沈線	KD 5 区	堀之内 2 式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
11	縄文土器	注口土器	-	(12.0)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	幅狭い縄文LR充填の縄文帯による入り組み文 無文部磨き 内面粗い磨き	K C 8区	10% PL111 堀之内2式
12	縄文土器	鉢	-	(6.9)	9.9	長石・石英	橙	普通	外面沈線による渦巻文と杵状文 無文部磨き 底面・内面磨き HG 5 IV 80と接合	K E 5区	20% PL113 堀之内2式
13	縄文土器	鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	波状口縁 沈線→縄文L→無文部磨き 内面口縁 部凹線状磨き	K C 8区	加曾利B 2式
14	縄文土器	鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部にRL充填の縄文帯 無文部・内面磨き	K C 4区	加曾利B 3~曾谷式
15	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部に多条の横線文 内面磨き	K D 6区	加曾利B 2~3式
16	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英	褐	普通	外面削り→口縁部粗い磨き 内面磨き	K B 7区	後期中葉~後葉
17	縄文土器	深鉢	[24.8]	(14.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	明褐	普通	条線→頸部平行沈線→平行沈線間磨き 内面磨き 口縁部凹線	K C 8区	20% PL111 加曾利B 3式
18	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	4.2	長石・石英	明褐	普通	横位沈線→縄文RL→底部縦位磨き 底面磨き 内面ナデ	K D 8区	10% 加曾利B 3式
19	縄文土器	釣手土器	-	(3.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	天井部片	K D 8区	後期後葉
21	縄文土器	注口土器	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面磨き 内面ナデ SI 18 6と接合	覆土上層	30% 後期中葉
22	縄文土器	鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部2条の刻み列 胴部縄文LR充填の入り組み文 無文部磨き 内面磨き	K C 8区	PL111 加曾利B 3~曾谷式
23	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	瓢形 口縁部に2条の刻み列 頸部縄文LR充填の 交互弧線文 内面磨き	K B 5区	曾谷式
24	縄文土器	鉢	-	(6.3)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部1条の刻み列 胴部縄文LR充填の弧線文カ 無文部磨き 内面磨き	K E 5区	曾谷式
25	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部肥厚 2条のRL隆起帯縄文 下端に2列の 押し引き状刺突文 内面磨き	K D 8区	安行1式
26	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部2条の刻み列 口唇部肥厚 頸部縄文RL 充填の遮光器状磨消縄文 無文部・内面磨き	K C 5区	曾谷式
27	縄文土器	鉢	-	(4.0)	-	長石・石英	明褐	普通	口縁部RL縄文帯で肥厚気味 口唇部と縄文帯下端 に刻み列と貼瘤 下端の瘤は剥離 内面磨き	K C 9区	曾谷~安行1式
28	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	RL隆起帯縄文と刺突沈線による口縁部突起 口縁部幅狭 のRL隆起帯縄文4条で間に刺突沈線と杵状文 内面磨き	K C 7区	PL111 安行1式
29	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	明褐	普通	口縁部3条のRL隆起帯縄文→3段押圧瘤	K C 9区	後期後葉~晩期前葉
30	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	平縁で緩い波状 口縁部3条のRL隆起帯縄文 2段の縦長瘤 内面磨き	K C 7区	安行1式
31	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英	褐	普通	口縁部2段のRL隆起帯縄文と押し引き状刺突文 頸部 1条のRL縄文帯と刺突沈線 無文部磨き 内面磨き	K D 6区	安行1式
32	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	瓢形 頸部刻み隆帯による幾何学文 無文部・ 内面磨き	K D 8区	安行2式
33	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英	明赤褐	普通	瓢形 口縁部RL隆起帯縄文 瘤貼付 肥厚 頸部 刻み隆帯による杵状文 無文部磨き 内面ナデ	K E 3区	安行2~3 a式
34	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英	褐	普通	口縁部RL縄文帯 若干肥厚 胴部削り 内面ナデ	K C 5区	安行1式
35	縄文土器	異形台付 土器	[9.4]	(7.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい赤褐	普通	磨減顕著 口縁部刻み隆帯と2個対の刻みのある 縦長瘤貼付 胴部刻み隆帯 HG 5 IV 112と接合	K D 5区	20% PL111 安行2式
36	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	波状口縁 鱗状突起 口頸部RL隆起帯縄文の三角 形区画文 内面ナデ	K C 6区	PL111 安行3 a式
37	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 鱗状突起に2段の押圧瘤 口頸部RL隆起 帯縄文の三角形区画文 区画内に対弧文 内面磨き	K B 7区	PL111 安行3 a式
38	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	波状口縁 鱗状突起 刻みのある横長瘤・押圧瘤・豚鼻状 瘤貼付 口頸部RL隆起帯縄文の三角形区画文 内面ナデ	K C 5区	安行3 a式
39	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	波状口縁 波頂部に縦長瘤貼付 口縁部RL隆起 帯縄文 隆起弱い 無文部・内面ナデ	K D 4区	安行3 a式
40	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英	橙	普通	波状口縁 鱗状突起と2段押圧豚鼻状瘤 口頸部 RL隆起帯による三角形区画文 内面磨き	K D 3区	安行3 b式
41	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 鱗状突起に高さのある1段の押圧瘤 口頸部 RL隆起帯縄文 幅のある沈線で三叉文施文 内面磨き	K D 3区	安行3 a式
42	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	波状口縁 鱗状突起に1段の押圧瘤 口頸部RL隆起 帯縄文の三角形区画文 隆起弱い 無文部・内面ナデ	K B 7区	安行3 b式
43	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	波状口縁 鱗状突起 口頸部RL隆起帯縄文の三角 形区画文 無文部・内面磨き	K C 7区	安行3 a式
44	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	波状口縁胴部 口頸部RL隆起帯縄文の三角形区画文 頸部・胴部1条のやや隆起するRL縄文帯 無文部磨き	K D 6区	安行3 a式
45	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・赤色 粒子	明褐	普通	瓢形 口頸部LR隆起帯縄文による幾何学文 無文 部磨き 内面磨き	K D 3区	安行3 a式
46	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	内屈鉢 口縁部に穿孔 口唇部に台形状・押圧豚鼻瘤・ 凹線 口頸部入組三叉文 縄文RL充填 屈曲部頸状突起	K C 6区	安行3 a式
47	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	内屈鉢 口唇部に内面に沈線文のある瘤と2段押 圧瘤 口頸部縄文RL充填の入り組み三叉文	K B 7区	安行3 a式
48	縄文土器	深鉢	-	(14.0)	-	長石・石英	明褐	普通	波状口縁 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 胴部縄文LR充填の横帯文 無文部・内面磨き	K C 5区	PL111 姥山II式
49	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文と豚鼻状瘤 口頸 部無筋L状充填の菱形区画文 無文部磨き	K C 8区	姥山II式
50	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 口頸部縄文RL 充填の菱形区画文 無文部磨き 内面磨き	K C 6区	姥山II式
51	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 口頸部縄文LR充 填の菱形区画文 波頂部下にの字文 無文部磨き	K C 7区	前浦1式
52	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英	明赤褐	普通	波状口縁 口頸部に縄文LR充填の菱形区画文 波底部対弧文 無文部磨き 内面磨き	K C 8区	姥山II式
53	縄文土器	深鉢	[30.6]	(8.5)	-	長石・石英	褐	普通	広口壺状 口唇部に山形突起 口縁部LR縄文帯 頸部LR隆起帯縄文による幾何学文カ 磨減顕著	K C 4区	20% 安行3 b式
54	縄文土器	深鉢	[28.0]	(13.5)	-	長石・石英	黒褐	普通	広口壺状 口唇部に山形突起 口縁部RL縄文帯 頸部・胴部RL縄文帯 無文部磨き 内面ナデ	K C 6区	20% PL111 安行3 b式
55	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英	黒褐	普通	広口壺状 頸部・胴部に2条の刺突文とLR縄文帯 胴部屈曲部に刺突を伴う横長瘤貼付 無文部磨き	K C 5区	10% PL111 安行3 b~3 c式
56	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	瓢形 口縁部RL隆起帯縄文 頸部縄文RL充填の 入組帯状文 磨減顕著	K B 4区	10% 安行3 b式
57	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	褐	普通	口縁部RL隆起帯縄文 頸部縄文RL充填の桶妻状 磨消縄文 胴部縄文LR充填の対弧文 無文部磨き	K C 8区	10% 安行3 a式
58	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	口頸部縄文LR充填の桶妻状磨消縄文 縦位蛇行沈線 胴部RL縄文帯 無文部磨き 内面ナデ	K C 7区	安行3 a式
59	縄文土器	鉢	-	(9.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部横長瘤 口縁部RL縄文帯 頸部縄文RL充填の 入り組み三叉文 胴部縄文RL充填の弧線文カ 無文部ナデ	K C 7区	PL112 安行3 b式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
60	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部横長瘤 口縁部に縦長瘤 口頸部・胴部RL隆起帯縄文 胴部条線文 無文部磨き 内面ナデ	KB8区	安行3a式
61	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	広口壺状 口唇部山形突起 頸部縄文RL充填のS字状入り組み文カ 無文部磨き 内面磨き	KD8区	安行3b式
62	縄文土器	鉢	-	(6.5)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部2個1対の楕円瘤 頸部縄文RL充填の弧線文と入り組み三叉文 内面磨き 内面に種実状の庄痕	KD8区	安行3b式
63	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	褐	普通	口唇部に横長瘤 口頸部縄文RL充填の菱形区画文 無文部磨き 内面ナデ	KC5区	安行3a式
64	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英	褐	普通	緩い波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 口頸部縄文RL充填の稲妻状磨消縄文カ 無文部磨き 内面ナデ	KD8区	安行3b式
65	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英	暗赤褐	普通	口唇部に楕円形状の瘤 口頸部縄文LR充填の弧線文 胴部縄文LR充填の横帯文 無文部磨き 内面磨き	KC7区	安行3c式
66	縄文土器	鉢	-	(4.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部山形突起 口縁部RL縄文帯 頸部縄文RL充填の菱形区画文カ 無文部磨き 内面ナデ	KD3区	安行3b式
67	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	広口壺状 口唇部に耳状・紐状突起貼付後内面押圧 口縁部縄文LR充填のステッキ状入り組み文カ 無文部磨き	KD5区	安行3b式
68	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	緩い波状 波長部に鉢巻状貼付文 口頸部縄文RL充填の入り組み三叉文カ 無文部磨き 内面ナデ	KC4区	安行3b式
69	縄文土器	鉢	-	(4.6)	-	長石・石英	褐	普通	緩い波状 口頸部縄文RL充填の入り組み三叉文 下端の縄文帯はやや隆起 無文部・内面磨き	KC5区	安行3a式
70	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英	黒褐	普通	瓢形 口縁部LR隆起帯縄文 頸部縄文LR充填の入り組み帯状文 無文部磨き 内面磨き	KC9区	後期後葉～晩期前葉
71	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部RL隆起帯縄文による杵状文 縦長瘤貼付 杵内に縄文RL充填の三叉文 内面ナデ	KD9区	PL112 安行3a式
72	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	橙	普通	口頸部縄文LR充填の菱形区画文 区画内縦位沈線と対抗する三叉文 無文部磨き 内面ナデ	KD4区	安行3b式
73	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	暗赤褐	普通	口頸部対抗三叉文→縄文LR 無文部磨き 内面磨き	KC9区	前浦1式
74	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口頸部縄文RL充填の対抗する三叉文 押圧のある横長瘤貼付 無文部磨き 内面ナデ	KD5区	安行3b式
75	縄文土器	鉢	-	(5.6)	-	長石・石英	褐	普通	口唇部に押圧 口頸部LR縄文帯と弧線文 胴部RL縄文帯 無文部磨き 内面ナデ	KD7区	安行3b式
76	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英	橙	普通	広口壺状 口頸部無節L縄文充填のS字状入り組み文 無文部磨き 内面ナデ	KD6区	PL112 姥山II式
77	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部に三叉状沈線紋 口頸部縄文LR充填のS字状入り組み文 無文部磨き 内面磨き	KD3区	姥山II式
78	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	褐	普通	広口壺状 口頸部縄文LR充填のS字状入り組み文 無文部磨き 内面磨き	KD3区	姥山II式
79	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	細密沈線文 口縁部・頸部上端に刻み 無文部磨き 内面ナデ	KC6区	姥山II式
80	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	細密沈線文 口唇部に刻み 無文部磨き 内面ナデ	KE2区	姥山II式
81	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	細密沈線文 口唇部に刻み 無文部磨き 内面ナデ	KD4区	姥山II式
82	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英	橙	普通	幅広い沈線による杵状文 胴部削り 内面ナデ	KC3区	前浦1式
83	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	幅広い沈線による杵状文 胴部削り 内面粗い磨き	KD7区	PL112 前浦1式
84	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英	褐	普通	幅広い沈線による杵状文 胴部ナデ 内面粗い磨き	KD6区	前浦1式
85	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 瘤・縦位区画内にも縄文施文 無文部磨き	KC5区	PL112 姥山II式
86	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 口頸部沈線による菱形区画文 区画内に刺突を持つ円文 無文部磨き	KD8区	PL112 姥山III式
87	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 口頸部沈線による菱形区画文 区画内に刺突を持つ円文 無文部磨き	KD4区	姥山III式
88	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 口頸部沈線による菱形区画文 区画内に刺突を持つ円文 無文部磨き	KC7区	姥山III式
89	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 口頸部沈線による菱形区画文 区画内に縦位の刺突列と刺突を持つ円文 無文部磨き 内面磨き	KD5区	姥山III式
90	縄文土器	浅鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	波状口縁 波頂部鉢巻状貼付文 充填刺突文による弧線文 無文部磨き 内面磨き	KD6区	PL112 安行3c式
91	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英	橙	普通	広口壺状 口唇部に粘土紐状の貼付文 胴部ナデ 内面ナデ	KD6区	安行3c式
92	縄文土器	深鉢	[18.7]	(5.7)	-	長石・石英	橙	普通	広口壺状 口唇部に二瘤の突起 頸部充填刺突文 胴部沈線による入り組み文カ 胴部ナデ 内面ナデ	KD4区	10% PL112 安行3c式
93	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英	黒褐	普通	広口壺状 口唇部押圧による漣状 胴部細かい2条の刺突列 外・内面ナデ	KD9区	安行3c式
94	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部縄文LR充填の弧線文 頸部充填刺突文 無文部磨き 内面磨き	KC4区	安行3c式
95	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	口唇部に二瘤の突起 充填刺突文 無文部・内面ナデ	KD5区	安行3c式
97	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	褐	普通	口頸部縄文LR充填の入り組み三叉文 上下の沈線間に細かい刺突充填 内面粗い磨き	KD3区	安行3b式
98	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	杵状文に細かい刺突を充填カ 外・内面ナデ	KD5区	安行3c式
99	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	紐線文系 頸部条線→充填刺突文の副文様 内面ナデ	KE2区	PL112 安行3c式
100	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	充填刺突文 外・内面ナデ 101と同一	KC5区	安行3c式
101	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・赤色粒子	黒褐	普通	100と同一	KD5区	安行3c式
102	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口唇部に二瘤突起 口頸部S字状入り組み文 無文部・内面磨き	KD5区	PL112 姥山III式
103	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	緩い波状口縁 口頸部多重の三叉状入り組み文 内面ナデ	KC4区	安行3d式
104	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	緩い波状口縁 沈線による菱形区画文と円文 外・内面ナデ	KD4区	姥山III式
105	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	口唇部沈線 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 無文部磨き 内面ナデ	KC3区	前浦1式
106	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部に粘土紐状の貼付文 口縁部縄文LR充填の弧線文 磨減顕著	KD5区	前浦1式
107	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	106と同一	KD6区	前浦1式
108	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部に一瘤突起 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 区画内に入り組み三叉文 内面磨き	KD10区	前浦1式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
109	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部に沈線と一瘤突起 口頸部縄文LR充填の菱形区画文・のの字文 無文部・内面磨き	K C 7区	PL112 前浦1式
110	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	普通	口唇部に沈線と一瘤突起 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 無文部・内面磨き	K D 5区	前浦2式
111	縄文土器	浅鉢	-	(6.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁内面に沈線 二瘤突起貼付カ 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 区画内にのの字文 内面磨き	K C 9区	前浦2式
112	縄文土器	浅鉢	-	(4.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁内面に沈線 二瘤突起貼付カ 口頸部縄文LR充填の菱形区画文 区画内にのの字文 無文部・内面磨き	K D 8区	前浦2式
113	縄文土器	浅鉢	-	(4.0)	-	長石・石英	橙	普通	波状口縁 口唇部・内面に沈線 口頸部無節L縄文LR充填の菱形区画文 無文部・内面磨き	K D 4区	前浦2式
114	縄文土器	浅鉢	-	(5.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部に二瘤突起 内面に沈線 口頸部縄文LR充填の三角形区画文 突起下に三叉文 無文部・内面磨き	K C 8区	前浦2式
115	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英	褐	普通	口頸部縄文LR充填の菱形区画文とのの字文 胴部ナデ 内面磨き	K D 7区	前浦2式
116	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面削り後ナデ 内面磨き	K C 9区	晩期中葉
117	縄文土器	浅鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面削り後ナデ 内面ナデ	K E 5区	晩期
118	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	外面条線文 底部張り出し気味 底面ナデ 内面粗い磨き	K C 9区	10%晩期
119	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口唇部につまみ状の突起 口縁部紐線文 頸部横位の条線→縦位区画文・弧線文 区画内磨き 内面粗い磨き	K C 4区	晩期前葉
120	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英	褐	普通	口頸部横位の条線→縦位区画文・区画内磨き→紐線貼付 内面ナデ	K D 9区	晩期前葉
121	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口頸部横位→縦位の歯状工具による条線 内面ナデ	K E 3区	晩期前葉
122	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英	黒褐	普通	口頸部横位の条線→半截竹管状工具によるコンパス文 内面ナデ	K D 9区	晩期前葉
123	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	口頸部条線文→付点紐線文 内面磨き	K C 5区	後期後葉
124	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	黒褐	普通	口唇部に刻みと粘土粒状の突起 口頸部条線文→付点紐線文 内面ナデ	K D 5区	後期後葉
125	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい褐	普通	口頸部横位の条線→口縁部・頸部刻み 内面ナデ	K C 5区	後期後葉
126	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい褐	普通	口縁部部分的に紐線貼付 刺突文 口頸部横位の条線→縦位の弧線文 内面ナデ	K C 9区	晩期前葉
127	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部凹線施文で肥厚気味 2列の刺突文 頸部横位の条線 焼成前穿孔1カ所 内面ナデ	K C 7区	晩期前葉
128	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部に2条の沈線 胴部縄文LR 内面ナデ	K C 7区	晩期前葉
129	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部肥厚 口唇部に斜行沈線あり 口頸部横位の条線文→口縁部付点紐線文 内面ナデ	K C 7区	後期後葉～晩期前葉
130	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい褐	普通	口頸部横位の条線文→縦位の交互弧線入り組み文 内面粗い磨き	K D 4区	晩期前葉
131	縄文土器	深鉢	[29.4]	(9.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい褐	普通	口頸部横位の条線文 内面ナデ	K C 4区	20% 晩期前葉
132	縄文土器	深鉢	-	(14.3)	-	長石・石英・赤色 粒子	褐	普通	口頸部横位の条線文 内面粗い磨き	K C 3区	晩期前葉
133	縄文土器	深鉢	[28.6]	(8.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	褐	普通	口縁部肥厚 口頸部横位の条線文 内面粗い磨き	K C 8区	10% 晩期前葉
134	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄橙	普通	口頸部横位の条線文 内面ナデ	K D 7区	晩期前葉～中葉
135	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・赤色 粒子	明褐	普通	口縁部肥厚 口頸部横位の条線文 内面粗い磨き	K C 5区	晩期前葉
136	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口頸部横位の条線文 内面ナデ	K D 5区	晩期前葉～中葉
138	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部肥厚 口頸部横位の条線文 内面ナデ	K B 4区	晩期前葉
139	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	口頸部横位の条線文 内面ナデ	K E 2区	晩期前葉～中葉
140	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	褐	普通	口頸部横位の条線文 内面粗い磨き	K D 6区	晩期前葉～中葉
141	縄文土器	深鉢	[14.5]	(13.1)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口頸部横位の条線文カ 磨減顕著 内面ナデ	K C 4区	晩期前葉～中葉
142	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい黄橙	普通	網目状捺糸文(単軸絡条体第5類, 原体Lカ) 内面磨き	K D 5区	10% 晩期前葉～中葉
143	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外内面粗い磨き	K D 5区	晩期前葉～中葉
144	縄文土器	鉢	18.2～ 18.8	8.0	8.0	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	口縁部につまみ状突起7単位 口縁部に狭い無文帯 肥厚頸部・胴部削り 頸部削り出して区画文 内面磨き	K C 7区	90% PL113 安行1式
145	縄文土器	浅鉢	22.0～ 22.5	5.4	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部に二瘤突起6カ所 横長瘤とボタン状貼付1カ所 口頸部横位の縄文LR充填の弧線文 一部に縄文原体端部の回転痕	K C 8区	80% PL113 安行3b式
146	縄文土器	浅鉢	[22.5]	(8.3)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	波状口縁 (5～6単位カ) 波頂部口唇刻み 口頸部縄文LR充填の弧線文と三角形区画文 波頂部下に三叉文	K B 7区	30% 安行3b式
147	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英	褐	普通	波状口縁 口頸部縄文LR充填の弧線文 波頂部下に対弧文 無文部磨き 内面磨き	K D 5区	安行3b式
148	縄文土器	浅鉢	-	(3.5)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口縁部二溝間のサイ痕 胴部縄文LR充填の雲形文 内面磨き 口縁部半歯状弧線文	K D 3区	大洞C1式
150	縄文土器	浅鉢	-	(3.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部にB突起 胴部縄文LR充填の雲形文 内面磨き 焼成前穿孔2カ所	K C 7区	大洞C1式
151	縄文土器	浅鉢	[15.0]	(5.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部に鉢巻状貼付文 内面に弧状の粘土紐貼付 外面ナデ 内面磨き	K D 5区	安行3c式
152	縄文土器	浅鉢	[15.4]	(4.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 波底部に二瘤突起 外面削り 内面磨き	K D 8区	10% 安行3c式
153	縄文土器	浅鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口唇部に鉢巻状貼付文と沈線 胴部削り後弧線文 内面磨き 153～156同一個体	K C 6区	PL112 安行3c式
154	縄文土器	浅鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	153～156同一カ	K C 4区	安行3c式
155	縄文土器	浅鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	153～156同一カ	K D 5区	安行3c式
156	縄文土器	浅鉢	-	(4.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	153～156同一カ	K D 5区	安行3c式
157	縄文土器	浅鉢	-	(1.7)	(7.6)	長石・石英	黒褐	普通	交互弧線文を持つ菱形区画文カ 縄文LR充填 無文部・内面磨き	K D 5区	安行3b～3c式
158	縄文土器	浅鉢	[17.0]	(6.0)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	口唇部に二瘤突起 頸部に二溝間のサイ痕 胴部・内面磨き	K C 7区	20% 安行3c式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
159	縄文土器	浅鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部に二瘤状突起 胴部弧線文 細かい刺突文 充填 無文部・内面磨き	K C 7区	10% PL112 安行3c式
160	縄文土器	浅鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・赤色 粒子	明褐	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 波頂部から 充填刺突文による弧線文 外面削り 内面磨き	K D 6区	安行3c式
161	縄文土器	浅鉢	-	(6.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部に二瘤状突起 胴部細かい刺突の充填刺突文 無文部・内面磨き	K D 6区	安行3c式
162	縄文土器	浅鉢	-	(4.5)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	細かい刺突の充填刺突文による縦位弧線文 無文部・ 内面磨き	K C 7区	安行3c式
163	縄文土器	浅鉢	-	(5.5)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部凹線 胴部菱形状区画文 外面ナデ 内面磨き	K C 6区	姥山Ⅲ式
164	縄文土器	浅鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部二瘤状突起 胴部弧線文で無文部は磨き 内面磨き	K C 8区	安行3c式
165	縄文土器	浅鉢	-	(5.3)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部二瘤状突起 胴部細密沈線文充填の弧線文 無文部粗い磨き 内面磨き	K D 6区	安行3c式
166	縄文土器	浅鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	緩い波状口縁カ 細密沈線文充填の菱形状区画文 無文部・内面磨き	K D 6区	安行3c式
167	縄文土器	浅鉢	[12.5]	(3.8)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口唇部に羊歯状弧線文 胴部横線文 無文部・ 内面磨き	K C 7区	10% 安行3c式
168	縄文土器	浅鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	波状口縁 口唇部沈線 無筋L縄文充填 波頂部下三叉 文・波底部のの字文の三角形配置 無文部・内面磨き	K C 4区	20% PL112 前浦2式
169	縄文土器	浅鉢	-	(5.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	緩い波状口縁カ 口唇部沈線 胴部縄文LR 充填の 磨消縄文 内面磨き	K D 5区	前浦2式
170	縄文土器	浅鉢	-	(2.7)	-	長石・石英	明黄褐	普通	波状口縁 口唇部・内面に沈線 波頂部下弧線文 と対向する三叉状の抉り 内面磨き	K C 7区	前浦2式
171	縄文土器	浅鉢	-	(3.8)	-	長石・石英	明褐	普通	内面に鉢巻状貼付文と2条の沈線 外面縄文LR 充填 の菱形状区画文 中央に刺突を伴う凹文 内面磨き	K E 2区	前浦2式
172	縄文土器	浅鉢	[21.0]	5.7	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面削り→ナデ 内面磨き	K C 5区	70% 晩期前～中葉
173	縄文土器	浅鉢	[25.6]	(5.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	口唇部から口縁部内面に沈線充填文 外面削り→ナデ 内面磨き	K C 3区	晩期前～中葉
174	縄文土器	浅鉢	[15.4]	(4.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	外・内面磨き	K C 4区	晩期前～中葉
175	縄文土器	浅鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	縄文RL 充填の雲形文 内面磨き	K D 9区	大洞C2式
176	縄文土器	台付鉢	-	(5.0)	[15.9]	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	台部 縄文LR →沈線 内面ナデ	K D 4区	前浦2式
177	縄文土器	台付鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	明赤褐	普通	鉢部～台部 外面細かい刺突の充填刺突文 無文部 磨き 内面ナデ	K D 7区	10% 安行3c式
178	縄文土器	台付鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	鉢部～台部 外面2本1対の縦位沈線が6単位 台部縄文LR 内面磨き 台部内面ヘラナデ	K D 7区	10% 晩期中葉
179	縄文土器	台付鉢	-	(3.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	明褐	普通	外面に円形穿孔6単位と三叉状の透孔	K D 6区	10% 晩期前葉
180	縄文土器	壺	[10.2]	(3.4)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい赤褐	普通	口唇部に二瘤状突起 胴部細密沈線文 内面磨き	K D 7区	安行3b式
181	縄文土器	壺	[22.0]	(5.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	灰黄褐	普通	口唇部に二瘤状突起カ 頸部充填刺突文 無文部・ 内面口縁部磨き	K D 7区	安行3c式
182	縄文土器	壺	[11.7]	(9.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	口唇部に二瘤状突起 口縁部・頸部ナデ 胴部削り 内面口縁部ナデ	K C 5区	60% PL113 晩期前葉
183	縄文土器	壺	[11.0]	(5.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部押圧による漣状 胴部削り 内面ナデ	K C 4区	10% 晩期前～中葉
184	縄文土器	壺	[11.0]	(4.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部に貼鉢巻状貼付文 口縁部受け口状 胴部磨き 内面磨き	K C 4区	晩期前～中葉
185	縄文土器	注口土器	-	(4.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	注口部 外面縄文LR 充填の磨消縄文 無文部磨き	K E 3区	晩期前葉
186	縄文土器	角底土器	-	(6.3)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	コーナー部の口唇につまみ状突起 胴部縄文LR 充填の雲形文 無文部磨き 内面磨き	K C 5区	大洞C1式
187	縄文土器	角底土器	-	(3.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい褐	普通	外・内面・底面磨き	K C 5区	晩期前葉カ
188	縄文土器	異形土器	[5.6]	(3.2)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	穿孔2か所残存 透かし孔間に入り組み文	K E 5区	晩期前葉
189	縄文土器	鉢	-	(7.3)	-	長石・石英	褐	普通	口唇部に一瘤状突起 口縁部刻み列 胴部重弧線文 内面磨き 関西系カ	K C 7区	10% PL112 後期後葉
190	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英	黒褐	普通	最大胴径 [15.0] cm 多段の玉抱き三叉入り組み文 胴部縄文LR・結節回転R 充填 内面ナデ	K B 7区	20% 大洞B2式
191	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	縄文LR →結節回転R →沈線 内面磨き	K C 7区	大洞B2式
192	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部B突起と三叉文 口縁部平行羊歯状文 頸部LR 縄文帯 内面磨き	K C 5区	大洞B C式
193	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部B突起と刻み列 口縁部二溝間のサイ痕 頸部LR 縄文 胴部上半二溝間のサイ痕 内面磨き	K C 5区	大洞C1式
194	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	胴部二溝間のサイ痕と縄文LR 充填のK字状雲形文 内面ナデ	K C 5区	大洞C1式
195	縄文土器	浅鉢	21.2～ 21.8	5.9	3.8～ 4.1	長石・石英	にぶい褐	普通	口唇部に4単位のB突起 口縁部二溝間のサイ痕 胴部縄文LR 底部上げ底状 内面磨き	K C 7区	90% PL113 大洞C1式
196	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	頸部・胴部に無筋L縄文帯と雷文 内面磨き	K D 3区	大洞C1式
197	縄文土器	浅鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・赤色 粒子	黒褐	普通	口縁部縄文LR 胴部上半羊歯状文 下半縄文LR 内面磨き	K D 5区	大洞C1式
198	縄文土器	鉢	[10.0]	(5.3)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口唇部にB突起 口縁部平行羊歯状文 頸部磨き 内面ナデ	K C 6区	大洞C1式
199	縄文土器	鉢	[20.0]	(8.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部三叉入り組み文と三叉文 胴部縄文LR 充填の 雲形文 無文部磨き 内面磨き 口縁部に沈線	K C 5区	30% PL112 大洞C1式
200	縄文土器	壺	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	胴部縄文LR 充填の雲形文 内面ナデ	K C 9区	大洞C1式
201	縄文土器	鉢	-	(4.4)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	199と同一。	K C 6区	大洞C1式
202	縄文土器	浅鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部B突起連係弧線文と三叉文 内面に沈線文 胴部LR 充填の雲形文	K D 4区	大洞C1式
203	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	縄文LR 充填の磨消縄文 J字文カ 無文部・内面 粗い磨き	K D 9区	称名寺I式
204	縄文土器	壺	[8.8]	(4.1)	-	長石・石英	明黄褐	普通	頸部縄文LR 充填の雲形文 内面口縁部に沈線	K E 3区	20% 大洞C1式
205	縄文土器	壺	[4.7]	(4.5)	-	長石・石英	褐	普通	頸部下端に眼鏡状隆起帯 無文部磨き	K C 7区	20% 大洞C1式
206	縄文土器	壺	[11.8]	(4.4)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外・内面磨き 口縁部受け口状	K D 7区	大洞C1式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
207	縄文土器	壺	-	(11.0)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	最大胴径 [24.8] cm 胴部上半無節L縄文充填の雲形文 下半粗い磨き	K D 6区	10% 大洞C1式
208	縄文土器	壺	-	(4.6)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	最大胴径 [18.6] cm 胴部RL充填の雲形文 無文部磨き	K C 5区	10% 大洞C2式
209	縄文土器	壺	-	(6.4)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	最大胴径 [19.0] cm 胴部LR充填の雲形文 無文部磨き 赤彩	K C 8区	10% 大洞C1式
210	縄文土器	壺	-	(7.3)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	胴部LR充填の雲形文 無文部磨き	K D 5区	大洞C1式
211	縄文土器	注口土器	-	(9.5)	-	長石・石英	黒褐	普通	頸部に入り組む羊歯状文 下端部LR縄文帯 胴部磨き 注口下端の肥厚部に玉抱き三叉文	K C 5区	10% PL113 大洞BC式
212	縄文土器	船底形土器	-	(2.0)	15.0~17.0	長石・石英・雲母	黒褐	普通	底面にLR充填の雲形文 無文部・内面磨き	K C 5区	40% PL112 大洞C1式
213	縄文土器	深鉢	-	(12.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部連状 頸部に二溝間のサイ痕類似横帯文と二瘤状の突起 胴部縄文LR→結節回転文R 内面ナデ	K C 3区	20% PL112 大洞C2式
214	縄文土器	ミニチュア土器	[5.9]	(3.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部に1単位の二瘤状突起 外・内面ナデ	K D 5区	90% 晩期前～中葉
215	縄文土器	ミニチュア土器	2.0	4.2	(2.2)	長石・石英	にぶい黄褐	普通	手捏ね成形 胴部中央に沈線 底面木葉痕	K C 7区	80% 晩期前～中葉
216	縄文土器	ミニチュア土器	-	(5.3)	1.2	長石・石英	にぶい黄橙	普通	手捏ね成形	K D 3区	80% 晩期前～中葉
217	縄文土器	製塩土器カ	[11.5]	(7.3)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部ナデ整形 外面口縁部横位・胴部縦位の削り内面ナデ	K C 4区	30% 晩期前葉
218	縄文土器	製塩土器カ	-	(5.5)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口唇部ナデ整形 外面口縁部横位の削り 内面ナデ	K E 2区	晩期前葉
219	縄文土器	製塩土器	-	(7.8)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部ナデ整形 外面縦位の削り 内面ナデ	K B 7区	晩期前葉
220	縄文土器	製塩土器	-	(6.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部未調整 外面剥離 内面ナデ	K B 7区	晩期前葉
221	縄文土器	製塩土器	-	(5.2)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部ナデ整形 外面剥離 内面ナデ	K E 4区	晩期前葉
222	縄文土器	製塩土器	-	(5.6)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部未調整 外面削り 内面ナデ	K C 9区	晩期前葉
223	縄文土器	製塩土器	-	(5.6)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口唇部未調整 外面削り 内面ナデ	K D 5区	晩期前葉
224	縄文土器	製塩土器	-	(6.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部未調整 外面削り 内面ナデ	K B 7区	晩期前葉
225	縄文土器	製塩土器	-	(6.4)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部未調整 外面削り 内面ナデ	K C 5区	晩期前葉
226	縄文土器	深鉢	(5.0)	(5.1)	(2.7)	長石・石英	明赤褐	普通	口縁突起部	K D 3区	堀之内1式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
226	土偶	(6.8)	(5.9)	3.2	(65.1)	長石・石英	にぶい黄褐	山形 頭部～胴部片 右目剥離 背面縄文LR施文	K D 4区	PL114
227	土偶	(3.4)	(4.0)	(1.7)	(20.4)	長石・石英・赤色粒子	黒褐	ミミズク形 頭部片 顔輪郭の粘土紐一部剥離 背面縄文RLの磨り消し縄文	K D 6区	
228	土偶	(7.9)	(10.5)	3.4	(142.8)	長石・石英・雲母・針状物質	明赤褐	ミミズク形 胴部～脚部片 正面肩から脚部に刻み隆帯 背面縄文RL充填の磨り消し縄文 稲妻状	K C 6区	PL114
229	土偶	(5.4)	(6.8)	(2.9)	(105.6)	長石・石英・雲母	灰黄褐	山形 胴部片 正中線は隆帯 肩～背面縄文LR充填の磨り消し縄文	K C 6区	PL114
230	土偶	(7.8)	(6.3)	(4.0)	(114.4)	長石・石英	にぶい黄橙	中空 胴部正面左側～背面脚部が残存 雲形文施文カ 脚部に隆帯の剥離痕あり 磨滅顕著	K D 4区	PL114
231	土偶	(6.2)	(9.8)	(4.3)	(89.6)	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	大形中空土偶 胴部～脚部片カ 腹部中心下端に縦長瘤 腰部横長瘤と刻み隆帯を貼付 脚部沈線文 赤彩	K E 3区	PL114
232	土偶	(6.0)	(8.3)	(6.1)	(136.1)	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	大形中空土偶 肩～腕部片 隆帯の肩パット貼付 背面にLR充填の磨り消し縄文	K D 3区	PL114
233	土偶	(5.0)	(5.9)	(2.3)	(40.6)	長石・石英	橙	左腕部片 正面側は剥落 細かい刺突を充填	K E 7区	PL114
234	土偶	(3.3)	(3.4)	(3.4)	(35.3)	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	ミミズク形カ 右肩部片 肩部にC字状隆帯貼付	K E 4区	
235	土偶	(9.1)	(5.0)	(4.0)	(108.3)	長石・石英・赤色粒子	褐	ミミズク形 右脚部片 正面腹部から隆帯 縄文RL充填	K E 3区	PL114
237	土偶	(4.7)	(3.1)	(2.8)	(42.5)	長石・石英	褐	脚部片 沈線によるX字文	K C 8区	
238	土偶	(4.7)	(3.2)	(2.3)	(25.0)	長石・石英・赤色粒子	黒褐	ミミズク形 左腕部片 正面弧線文 背面縄文RL充填の磨り消し縄文	K D 8区	
239	土偶	(2.9)	(4.0)	(3.1)	(25.7)	長石・石英	にぶい黄褐	ミミズク形 脚部片カ 縄文LR充填の磨り消し縄文 下端部沈線文	K D 8区	
240	土偶	(4.1)	(2.9)	(3.4)	(34.2)	長石・石英・赤色粒子	黒褐	ミミズク形 左腕部片 膝部に円形の貼瘤 縄文RL充填の磨り消し縄文	K C 8区	
241	土版	(5.8)	(4.0)	(2.4)	(42.7)	長石・石英	明褐	正面沈線による弧線文 背面稲妻状文	K D 3区	
242	土版	(4.3)	(3.7)	(1.6)	(25.9)	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	上部に山字文カ 正面・背面とも細かい刺突を充填した弧線文 背面に渦巻文	K D 4区	
243	有孔円盤	(5.8)	(7.6)	1.3	(54.1)	長石・石英・雲母	黒褐	中央部の穿孔と左右に小穿孔3か所残存 焼成前穿孔 磨き調整	K E 7区	
244	有孔円盤	(7.5)	(4.6)	1.2	(42.5)	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	中央部の穿孔と小穿孔2か所残存 焼成前穿孔 孔周囲やや擦れ痕 使用痕カ 磨き調整	K D 7区	
245	耳栓	2.2	2.2	2.0	(10.8)	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	器面ナデ整形	K B 4区	
246	匙形土製品	(13.7)	(7.1)	(5.1)	(134.5)	長石・石英	にぶい黄橙	長柄付き 外面削り後ナデ整形 匙部内面ナデ	K C 7区	PL114
247	匙形土製品	7.8	4.0	2.2	46.0	長石・石英・雲母	褐灰	つまみ状の柄付き 外・内面ナデ整形	K C 9区	PL114
248	土器片円盤	6.0	5.3	1.7	45.5	長石・石英	橙	堀之内1式深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	K C 8区	
249	土器片円盤	6.5	5.9	1.5	38.5	長石・石英	にぶい黄褐	安行1式深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	K E 3区	
250	土器片円盤	6.8	6.2	1.3	43.5	長石・石英・赤色粒子	橙	安行3a式深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	K E 3区	
251	土器片円盤	7.6	7.7	1.4	46.1	長石・石英	褐	細密沈線紋施文深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	K E 7区	
252	不明土製品	(5.4)	(2.9)	(1.8)	(26.7)	長石・石英	橙	穿孔2か所 骨角貝製品の腕輪の模倣の可能性あり	K C 8区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
253	石刃	9.2	2.8	1.1	16.3	頁岩	縦長剥片 背面に2～3本の稜線 一側縁に微細剥離痕	K C 7区	PL115
254	石刃	5.8	2.8	1.2	24.8	頁岩	縦長剥片 背面に2本の稜線	K C 8区	PL115
255	石鏃	(3.4)	2.0	0.5	(2.5)	チャート	平基無茎鏃 五角形 先端部欠損	K D 7区	PL115
256	石鏃	(2.7)	(1.7)	0.5	(1.5)	チャート	凹基無茎鏃 茎部欠損	K D 8区	
257	石鏃	(2.6)	1.6	0.4	(1.0)	チャート	凹基無茎鏃	K D 6区	PL115
258	石鏃	3.0	1.4	0.8	2.3	チャート	凸基有茎鏃 未成品カ	K D 7区	PL115
259	石鏃	2.5	1.2	0.5	1.0	チャート	凸基有茎鏃	K E 5区	PL115
260	石鏃	1.6	0.9	0.4	0.4	黒曜石	凸基有茎鏃	K D 5区	PL115
261	石錐	3.6	0.9	0.6	1.4	チャート	頭部欠損あるいは未成品カ	K D 5区	PL115
262	打製石斧	(8.0)	(9.0)	2.7	(149.0)	凝灰岩	分銅形 表裏面に原石面残す 刃部と表裏面に磨減痕	K C 3区	PL115
263	打製石斧	(9.6)	(6.1)	2.2	(171.1)	安山岩	分銅形 表裏面に原石面残す 側縁部に敲打痕	K C 7区	PL115
264	打製石斧	(6.3)	(6.5)	1.7	(93.9)	安山岩	分銅形 表裏面に原石面残す 側縁部に敲打痕	K D 3区	
265	打製石斧	(7.9)	(6.4)	2.7	(140.3)	ホルンフェルス	分銅形カ 表裏面剥離 側縁部一部残存	K C 7区	
266	磨製石斧	(7.7)	(4.2)	2.4	(138.7)	砂岩	定角式 刃部欠損 被熱	K D 5区	PL115
267	磨製石斧	(5.1)	(4.2)	2.6	(86.4)	凝灰岩	定角式 刃部欠損	K C 7区	
268	磨製石斧	(7.8)	(2.9)	(2.4)	(78.3)	砂岩	定角式 基部欠損 被熱	K C 8区	
269	磨製石斧	(5.2)	(3.9)	2.1	(77.7)	蛇紋岩	定角式 基部欠損	K D 8区	
270	石皿	(10.6)	(8.6)	(5.4)	(561.3)	安山岩	表裏面磨り面	K C 4区	
271	石皿	(12.1)	(8.4)	(6.8)	(372.3)	安山岩	表面磨り面+敲打痕 裏面ざらつきのある摩耗痕+凹痕	K E 4区	
272	石皿	(8.5)	(7.4)	(8.6)	(360.2)	安山岩	表裏磨り面 断面に凹痕	K C 9区	
273	磨石	(9.3)	8.3	4.5	(495.8)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	K E 6区	
274	磨石	(8.0)	8.5	3.8	(415.0)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁敲打痕	K E 5区	
275	磨石	6.4	6.7	4.1	190.9	安山岩	凹石の転用 表裏面光沢のある磨り面+凹痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	K C 7区	
276	磨石	6.9	6.8	4.0	227.5	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	K C 5区	
277	磨石	6.2	6.2	3.8	224.7	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	K D 7区	
278	磨石	6.1	5.3	3.8	184.2	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 両側縁ざらつきのある摩耗痕+敲打痕 上下端ざらつきのある摩耗痕 被熱	K D 9区	
279	磨石	6.0	5.9	4.2	210.4	安山岩	表裏面磨り面 下端部敲打痕	K D 4区	
280	磨石	7.0	6.5	2.4	152.3	安山岩	表裏面磨り面 被熱	K D 7区	
281	凹石	9.0	7.1	2.5	202.8	結晶片岩	表面に凹痕 被熱	K E 9区	
282	凹石	(12.0)	(11.9)	7.7	(1199.1)	砂岩	砥石カ 欠損部を除く6面に砥面 被熱	K C 8区	
283	石錘	5.0	4.7	1.9	63.7	安山岩	有溝 表裏面研磨	K D 9区	PL115
284	石錘	4.9	4.0	1.5	42.8	頁岩	有溝 表裏・両側縁部も丁寧に研磨	K C 6区	
285	石錘	5.5	3.3	1.7	49.3	頁岩	有溝	K C 9区	PL115
286	石剣	(13.2)	(3.5)	(2.0)	(139.6)	緑色片岩	刃部 研磨整形 被熱	K E 3区	PL115
287	石剣	(11.3)	(5.0)	1.9	(115.4)	凝灰岩	刃部 研磨整形 被熱	K E 3区	PL115
288	石剣	(13.9)	(3.2)	2.0	(142.8)	緑色片岩	頭部・刃部欠損 研磨整形 被熱	K E 3区	
289	石剣	(11.3)	(3.4)	(1.4)	(63.2)	緑色片岩	頭部・刃部欠損 研磨整形 被熱	K D 7区	
290	石剣	(9.6)	(3.6)	(1.5)	(63.6)	緑色片岩	基部・刃部欠損 被熱により赤変	K C 5区	
291	石剣	(11.5)	3.5	2.0	(117.2)	緑色片岩	頭部 刃部欠損 研磨整形	K D 3区	PL115
292	石剣	(4.8)	(6.9)	(2.0)	(61.1)	粘板岩	成興野型頭部 沈線間・隆起帯上に細かい矢羽根状文	K D 7区	PL115
293	石剣	(7.6)	(3.0)	(2.4)	(75.1)	緑色片岩	頭部 対向三叉文4単位	K D 5区	PL115
294	石剣	(5.4)	(3.4)	(2.6)	(61.9)	粘板岩	頭部 I字文	K D 4区	PL115
295	石剣	(6.1)	(2.8)	(1.2)	(22.0)	緑色片岩	頭部 対向三叉文と凹文 被熱	K D 7区	PL115
296	石剣	(4.6)	(3.3)	(1.0)	(8.7)	凝灰岩	岩版カ 対向三叉文と横位のI字文	K E 2区	
297	石棒	(11.3)	4.2	2.6	(204.7)	緑色片岩	頭部カ 敲打による頭部作出痕あり 裏面欠損 被熱	K C 7区	

vi) 第IV層

第4号遺物包含層 (第353～356図 第241・242表 PL43・116)

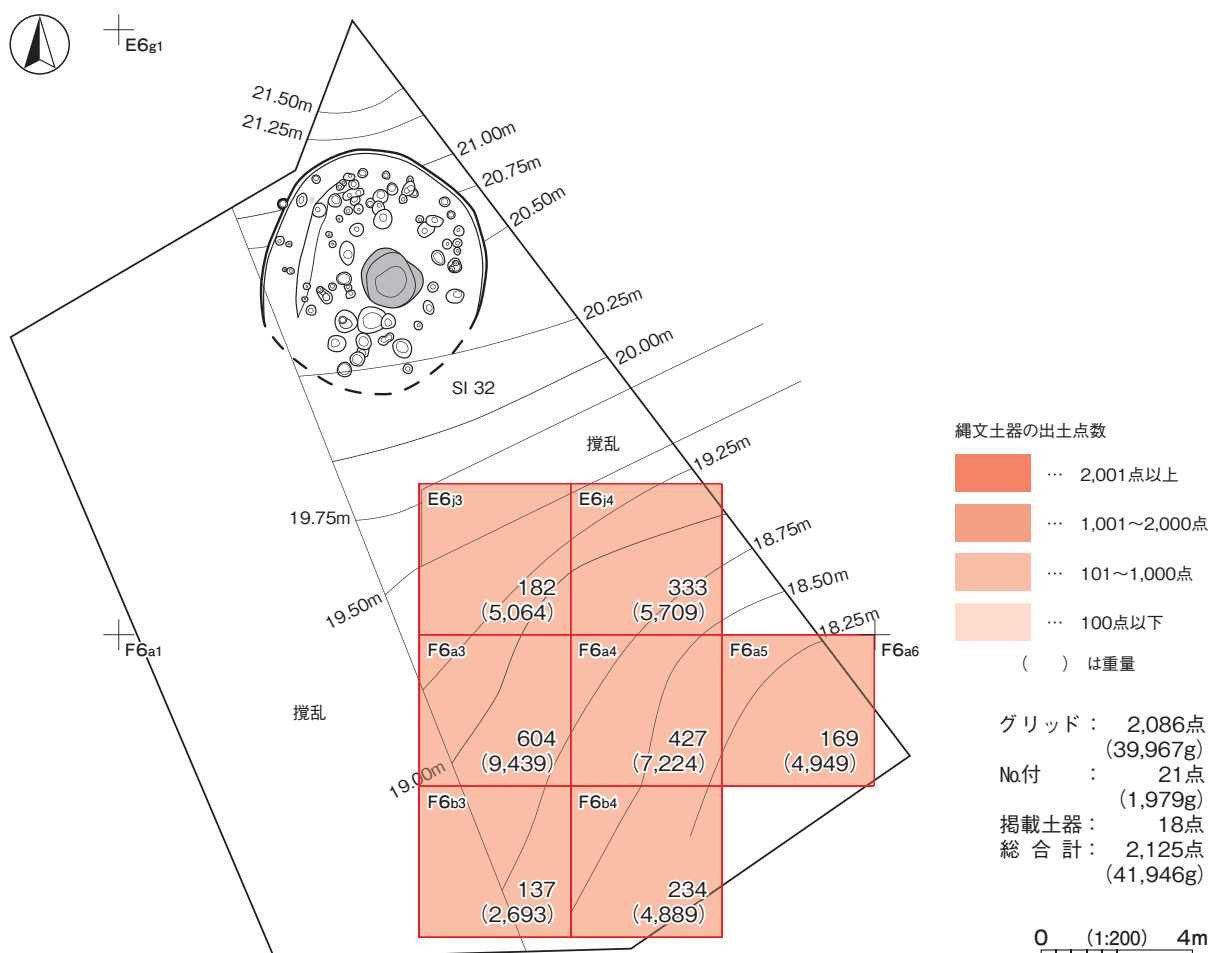
位置 調査P区南部のE 6 i3～F 6 b5区, 南東方向へ傾斜する台地斜面部に位置している。確認面の標高は18.2～21.5 mである。

重複関係 第32号竪穴建物に掘り込まれており, 第Ⅲ層が上部に形成されている。

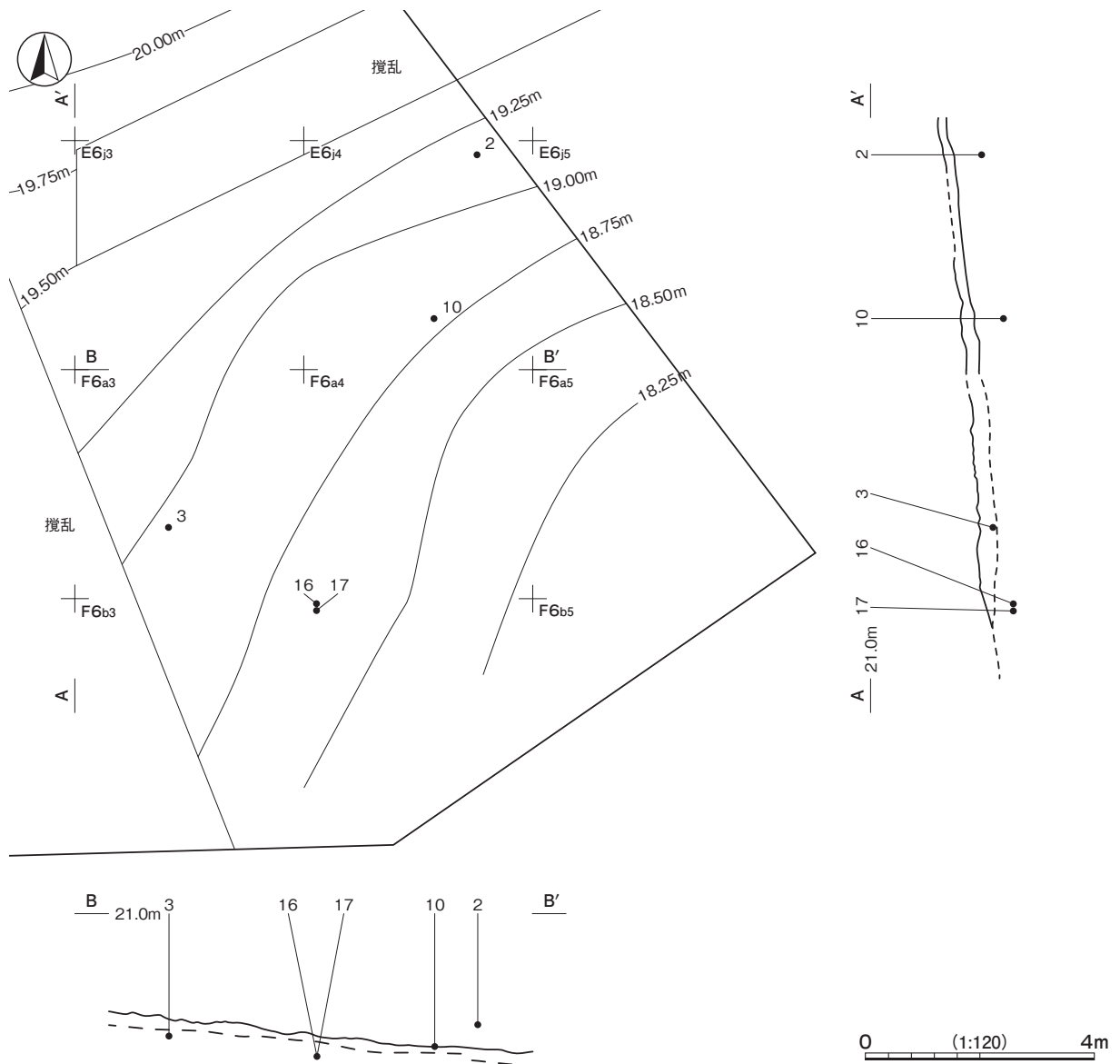
分布範囲 北半部は第32号竪穴建物に掘り込まれているため, 包含層がほとんど残存しておらず, 調査区域の南半部に広がっている。

遺物出土状況 縄文土器 2,125点 (41,946 g), 土製品5点 (土器片円盤), 石器・石製品7点 (石皿1, 磨石4, 敲石1, 浮子1), 剥片3点 (頁岩, 黒曜石, チャート), 石核4点 (チャート) が出土している。土器は, 称名寺I式～安行3c式のものが出土しているが, 第Ⅲ層の堆積時期から, 安行3b式以降のものは第Ⅲ層との層界付近に集積していたものが混入したと考えられる。いずれも細片で, 疎らに散在した状態で出土している。

所見 時期は, 重複関係や出土土器から晩期前葉 (安行3a式期) 以前と考えられる。また, 後期前～中葉の土器が一定量出土していることから, 台地縁辺部に当該期の集落が存在していた可能性がある。



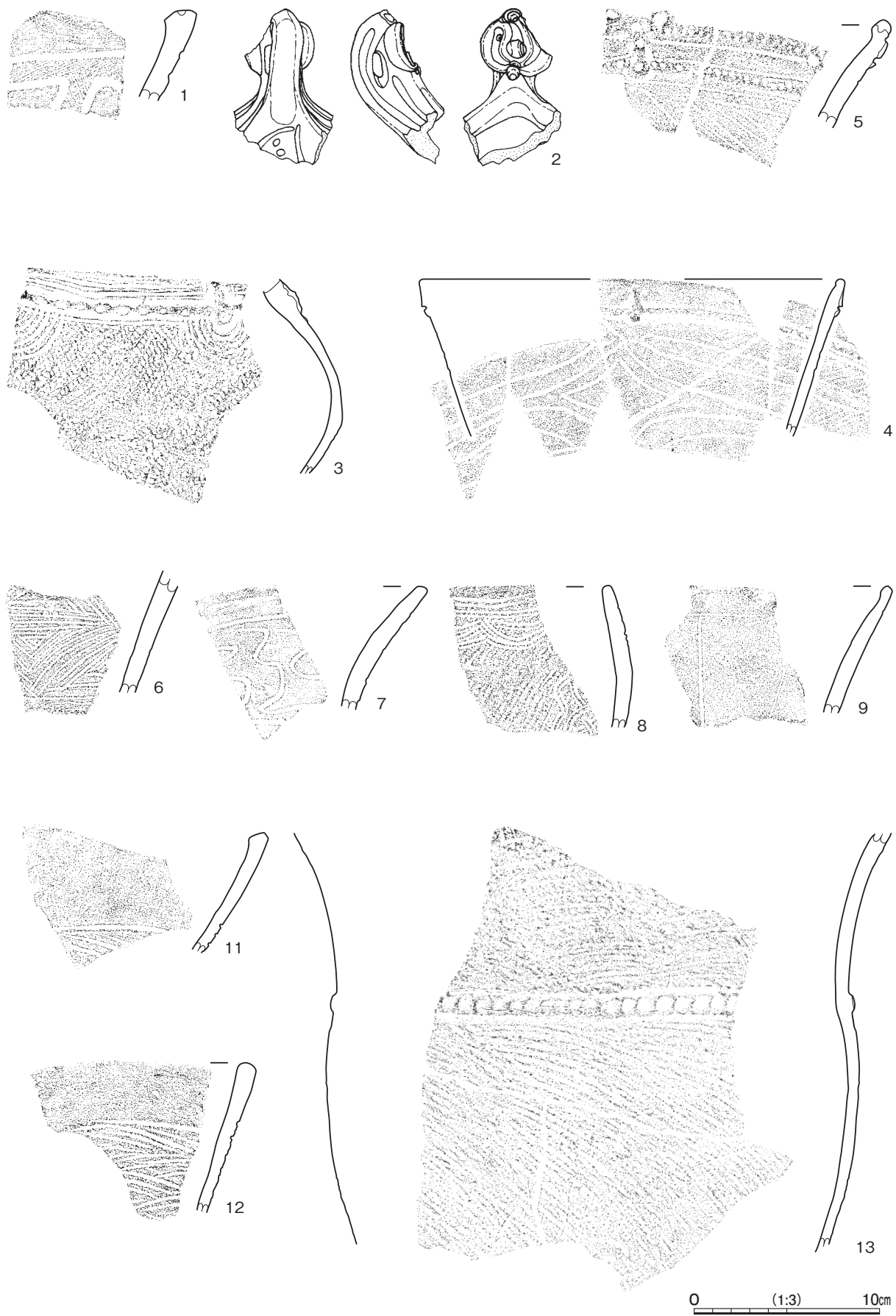
第353図 第4号遺物包含層第IV層出土遺物実測図 (1)



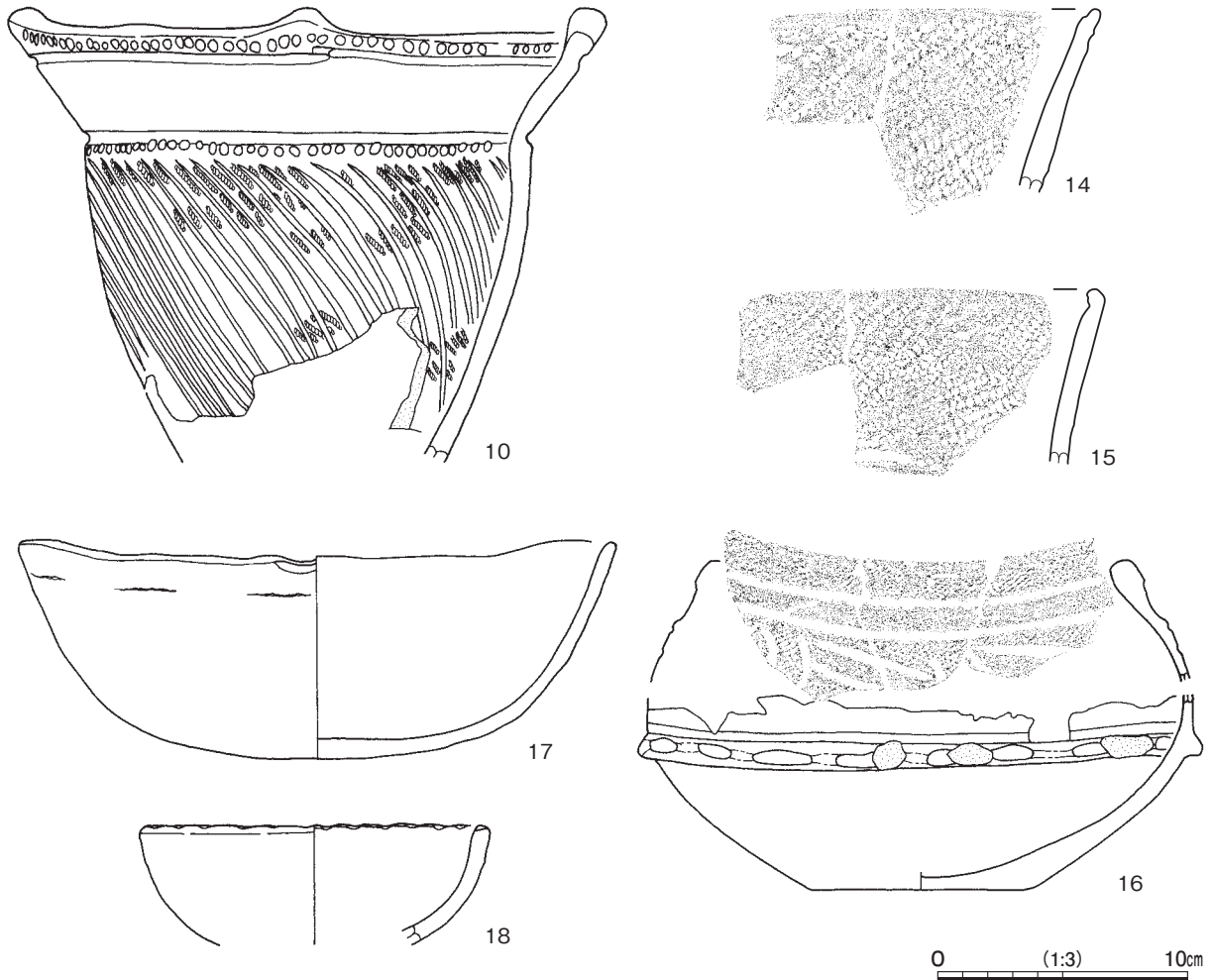
第 354 図 第 4 号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (2)

第 241 表 第 4 号遺物包含層第Ⅳ層出土未掲載土器集計表

群	第 1 群			第 2 群			第 3 群		第 4 群		第 5 群			第 6 群		第 7 群				第 8 群
類	前期前半	中期前半	中期後半	称名寺 I 式	称名寺 II 式	堀之内 I 式	堀之内 II 式	加曾利 B I 式	加曾利 B II 式	加曾利 B III 式	曾谷式	安行 II 式	安行 III a 式	安行 III b 式	姥山 II 式	安行 III c 式	前浦式	晚期 繫統土器		
点数	2	1	1	3	3	16	7	2	13	2	2	2	1	6	6	3	6	2		
重量 (g)	39	14	28	115	67	587	171	26	429	68	55	18	22	138	107	172	279	74		
群	第 9 群										第 10 群		第 11 群				第 12 群	第 13 群	合計	
類	沈線文	刺突文	磨消文	隆起帯 縄文	紐線文 (古)	紐線文 (新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部 (古)	底部 (新)	浅鉢	台付鉢	注口土器	異形台付 土器	ミニチュ ア土器	製塩土器	細片不明	
点数	119	46	92	28	58	40	3	274	326	913	42	42	5	1	2	1	1	36	-	2,107
重量 (g)	2,211	786	1,637	457	1,408	787	46	5,014	6,193	14,074	2,654	1,662	131	31	56	11	9	235	2,135	41,946



第 355 図 第 4 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (1)



第 356 図 第 4 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (2)

第 242 表 第 4 号遺物包含層第 IV 層出土遺物一覧 (第 355・356 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい橙	普通	無節 L 充填の磨消縄文 緩い波状 口唇部に沈線	F 6 a5 区	称名寺 I 式
2	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線間刺突文 屈曲する口縁部に沈線文 内面に高紋連携沈文を有する C 字文	E 6 j4 区	称名寺 II 式
3	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外面 LR 地縄文→紐線貼付→半截竹管による重弧文 内面磨き	F 6 a3 区	堀之内 1 式
4	縄文土器	深鉢	[22.6]	(8.5)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	明赤褐	普通	外面口縁部紐線貼付 胴部 LR 充填の菱形区画文 内面口縁部沈線	F 6 a4 区	10% PL116 堀之内 2 式
5	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部に刻みと凹点+沈線文 口縁部に紐線文と 8 字状 貼付文 胴部三角文カ 内面口縁部に 2 か所の凹点	E 6 j4 区	堀之内 2 式
6	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・赤色 粒子・針状物質	明赤褐	普通	胴部二段三角文 内面磨き	F 6 a3 区	堀之内 2 式
7	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面単沈線による蛇行懸垂文 内面口縁部凹線	E 6 j3 区	堀之内 2 式
8	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面 LR 地縄文→半截竹管による重弧文と懸垂文 内面磨き	F 6 b3 区	堀之内 1 式
9	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	にぶい橙	普通	外面単沈線による懸垂文 内面口縁部に凹線 磨き	F 6 a5 区	堀之内 2 式
10	縄文土器	深鉢	[22.4]	(18.0)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口唇部に 4 単位の突起 口縁部・屈曲部に刺突文 胴部 RL 縄文後斜行する条線文 内面磨き	E 6 j4 区	60% PL116 加曾利 B 3 式
11	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	波状口縁 口縁部磨き 胴部斜線文 内面磨き	E 6 j4 区	加曾利 B 2 式
12	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面胴部矢羽根状沈線文 内面磨き	F 6 b4 区	加曾利 B 2 式
13	縄文土器	深鉢	-	(22.9)	-	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	橙	普通	外面 LR 地縄文カ→条線→紐線貼付 磨減顕著 内面磨き	E 6 j3 区	50% 後期中葉-後葉
14	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面 LR 縄文 内面口縁部に沈線 磨減顕著	F 6 b4 区	後期
15	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	外面 LR 縄文 内面口縁部に沈線 磨減顕著	F 6 b4 区	後期
16	縄文土器	浅鉢	[17.0]	[13.2]	8.8	長石・石英・雲母	黒褐	普通	内屈鉢 口縁部 LR 隆起帯縄文 頸部 LR 縄文充填 の魚眼状三叉文 屈曲部鎖状隆帯 磨減顕著	E 6 j3・F 6 b4 区	40% PL116 安行 3 a 式
17	縄文土器	浅鉢	23.5	8.7	-	長石・石英・赤色 粒子・針状物質	浅黄橙	普通	口唇部に押圧 1 か所 磨減顕著	F 6 b4 区	80% PL116 晩期
18	縄文土器	浅鉢	[13.4]	(4.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口唇部押圧による小波状 磨減顕著	F 6 b4 区	25% 晩期

第4・5号遺物包含層（第357～370図 第243・244表 PL44・45・116～119）

位置 調査L区のF5c0～G5d8区，南東方向へ傾斜する台地斜面部と東方向へ延びる谷部との合流部に位置している。確認面の標高は17.5～19.8mである。

重複関係 第4・5号遺物包含層の第V層の上部に形成されている。第Ⅲ層が上部に形成されており，一部は流水等による浸食が及んでいる。

分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。南部の谷底部にあたるG5a6～a9区（LJ4～7区）は，第Ⅲ層段階で第296号土坑を湧水点とした水場が形成されていた可能性があり，流水等による浸食を受けて凹地状を呈している。

遺物出土状況 縄文土器23,620点（484,549g），土製品129点（耳飾り1，土偶12，土器片錘2，土器片円盤114），石器・石製品119点（石鏃1，打製石斧3，磨製石斧4，石皿8，磨石61，敲石7，凹石20，砥石1，石錘1，浮子_ナ1，石剣6，石棒6），剥片18点（頁岩1，黒曜石3，瑪瑙5，チャート9），石核2点（チャート），骨12.0gが出土している。土器は，前期前半の黒浜式，中期後半の加曾利E式，後期初頭の称名寺式，及び第Ⅲ層からの混入とみられる晩期中葉の安行3c式のものが見られ，堀之内1式～安行3b式のものも一定量出土している。調査区域全体に破片が散在している状態で，台地上から流れ込んだものと考えられる。

所見 上部の第Ⅲ層と下部の第V層の堆積時期及び出土土器から，後期中葉（堀之内2式期）以降に堆積が始まり，晩期前葉（安行3a～安行3b式期）には台地上からの土砂流入が停止したと考えられる。

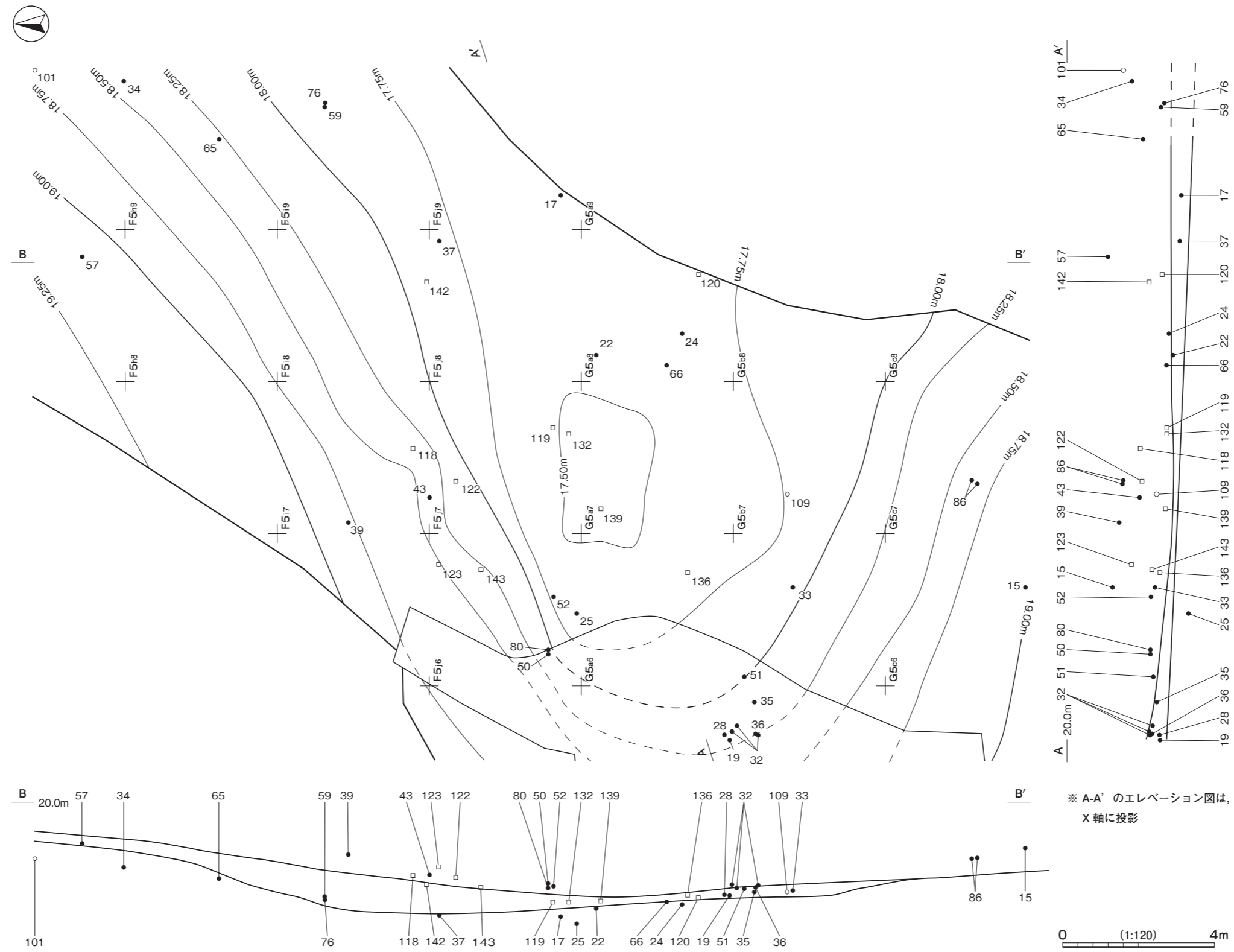
第243表 第4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土未掲載土器集計表

群	第1群		第2群		第3群		第4群			第5群			第6群			第7群				第8群	第9群	
	前期前半	中期後半	称名寺Ⅰ式	称名寺Ⅱ式	堀之内Ⅰ式	堀之内Ⅱ式	加曾利BⅠ式	加曾利BⅡ式	加曾利BⅢ式	曾谷式	安行Ⅰ式	安行Ⅱ式	安行Ⅲa式	安行Ⅲb式	姥山Ⅱ式	安行Ⅲc式	前浦式	晩期異系土器	沈線文	刺突文	磨消文	
点数	8	1	6	8	155	52	54	34	24	20	37	53	93	56	138	19	4	37	1,720	781	1,182	
重量(g)	161	85	270	254	5,780	1,213	1,127	1,251	1,039	607	1,347	2,033	2,852	1,766	1,725	537	127	719	33,603	15,266	19,676	

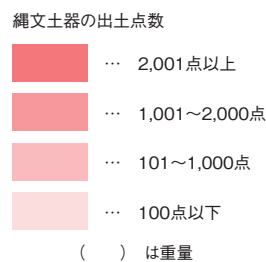
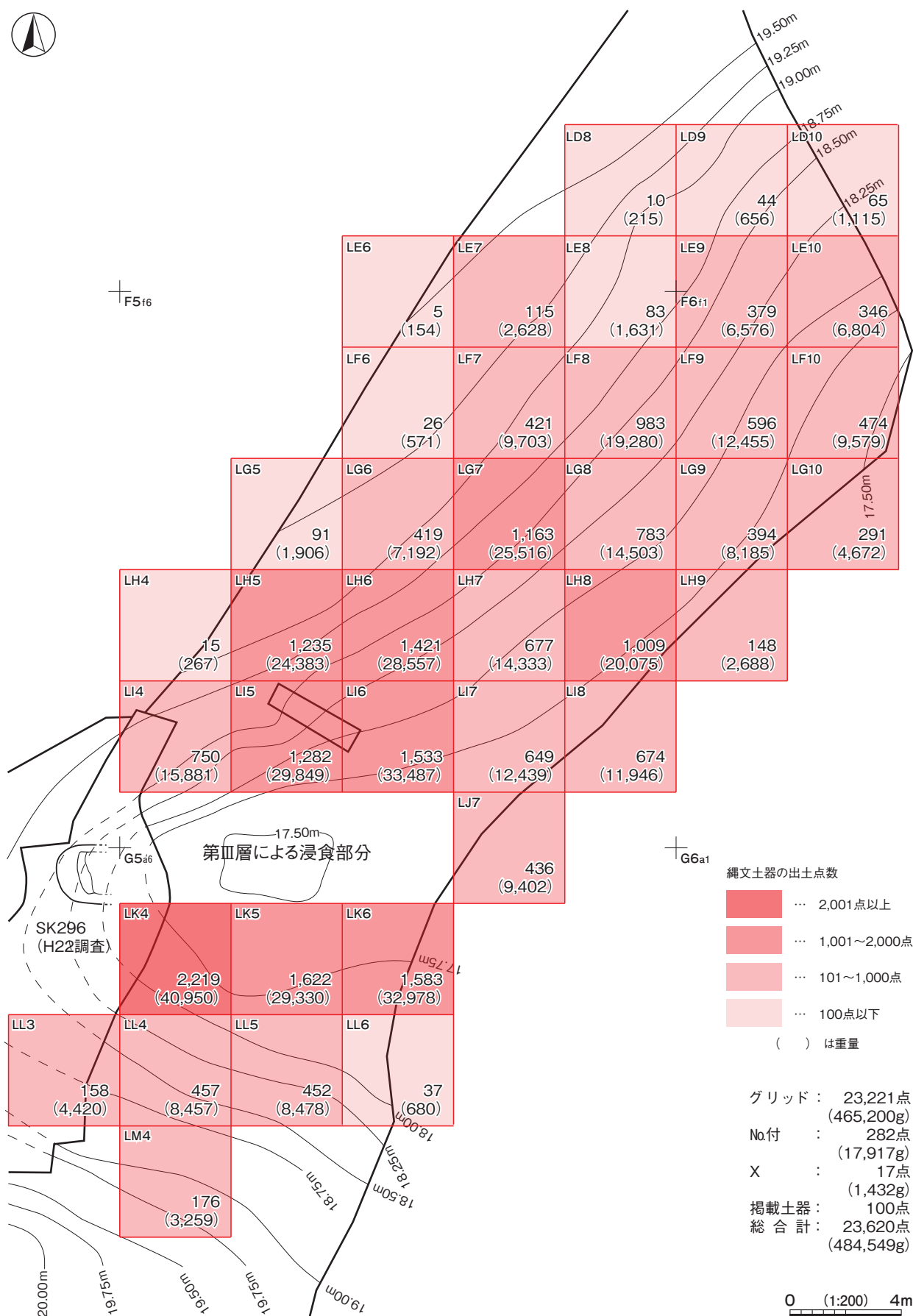
群	第9群				第10群				第11群							第12群	第13群	合計		
	隆起帯縄文	紐線文(古)	紐線文(新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部(古)	底部(新)	浅鉢	鉢	台付鉢	注口土器	壺	角底土器	異形台付土器	ミニチュア土器		製塩土器	細片不明
点数	885	790	472	130	4,010	4,100	7,389	583	371	76	7	42	24	9	2	4	1	143	-	23,520
重量(g)	18,145	20,105	11,683	2,563	71,028	77,712	122,038	31,186	14,294	2,760	254	2,905	604	217	36	87	37	1,257	16,200	484,549

第244表 第4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物一覧（第359～370図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・繊維	橙	普通	上段直前段多条のRL 下段末端3段	LF8区2x	関山Ⅱ式
2	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	付加条1種（RL+rとLR+1）の羽状構成	LI4区2x	黒浜式
3	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英	黒	普通	波状口縁部突起 短く屈曲する口縁部に窩紋 波頂部に対向するC字文カ 内面に凹点	LK5区1x	PL116 称名寺Ⅱ式
4	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部に窩紋連携沈文を持つC字貼付文	LI7区1x	網取Ⅰ式
5	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英	橙	普通	狭い口縁部に窩紋連携沈文 口縁部下の無文部・内面磨き	LF7区1x	網取Ⅱ式
6	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部に刻み LR地縄文施文後半截竹管状工具の集合沈線で懸垂文施文	LH5区2x	堀之内Ⅰ式
7	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	LR地縄文施文後半集合沈線で懸垂文 屈曲部に紐線貼付 内面磨き	LK6区3x	堀之内Ⅰ式
8	縄文土器	浅鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	刺突を有する隆起帯で上下・縦位を区画 円形竹管文充填 HG4・5Ⅲ1と接合	LI6区1x	堀之内Ⅰ式並行
9	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部に8字貼付文と紐線文 胴部無節L縄文 充填の帯状縄文 内面口縁部沈線 磨き	LH8区1x	堀之内Ⅱ式
10	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部に紐線文 胴部縄文LR充填の三角文カ 内面口縁部沈線 磨き	LI4区1x	堀之内Ⅱ式
11	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	縄文LR充填の三角文 内面口縁部沈線・磨き	LE9区2x	堀之内Ⅱ式
12	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口唇部に突起（剥離） 口縁部に焼成後穿孔・紐線文 胴部縄文LR充填の枠状文 内面凹線・磨き	LI3区1x	PL116 堀之内Ⅱ式
13	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	無節L地縄文→集合沈線文 口縁部分は研磨 内面凹線・磨き	LI6区1x	堀之内Ⅰ式
14	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面LR地縄文→半截竹管状工具で斜線文 内面口縁部凹線・磨き	LE10区1x	後期前～中葉



第 357 図 第 4・5 号遺物包含層第 IV 層実測図 (1)



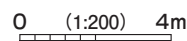
グリッド : 23,221点
(465,200g)

No付 : 282点
(17,917g)

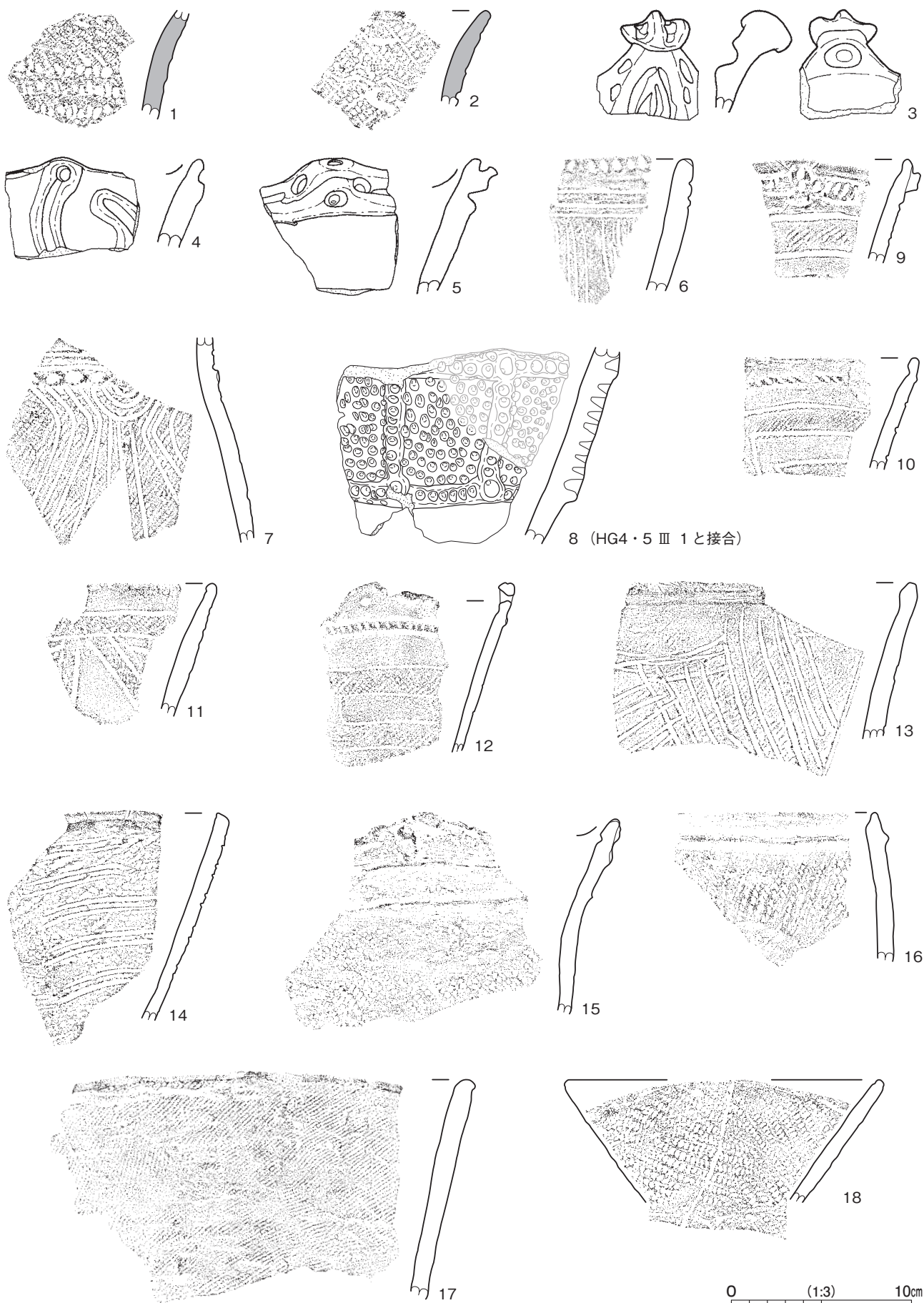
X : 17点
(1,432g)

掲載土器 : 100点

総合計 : 23,620点
(484,549g)



第 358 図 第 4・5 号遺物包含層第Ⅳ層実測図 (2)



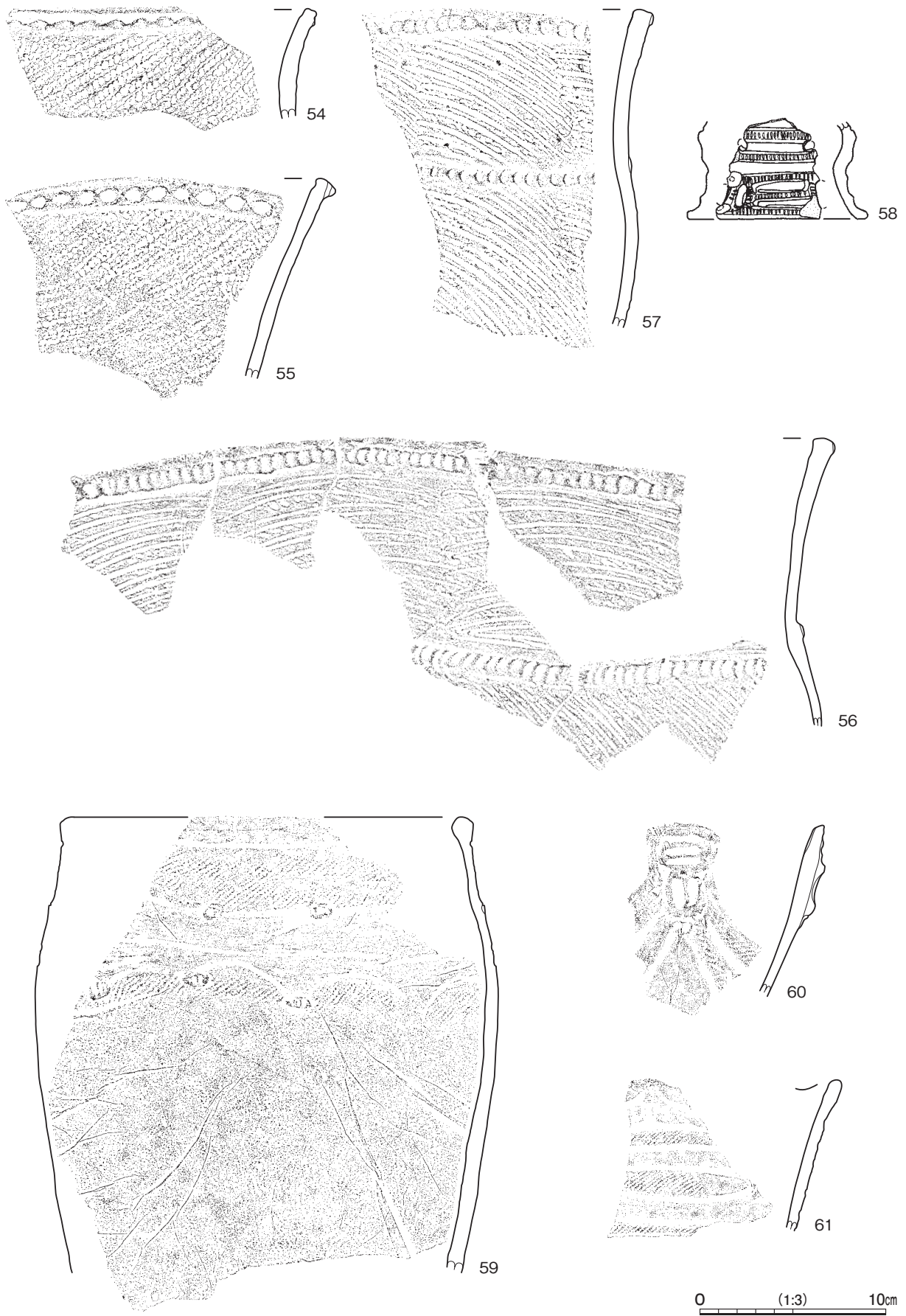
第359図 第4・5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(1)



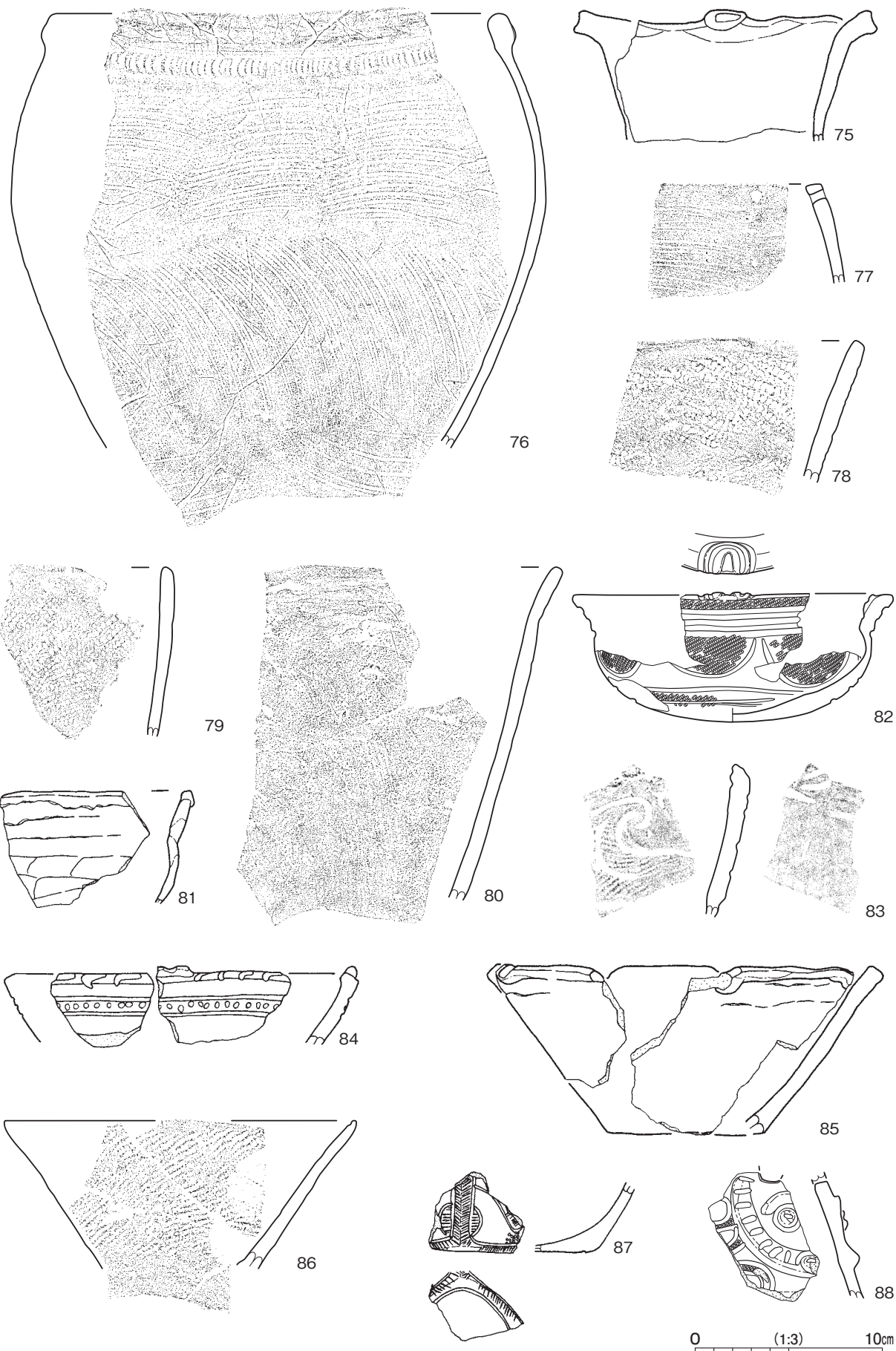
第361図 第4・5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(3)



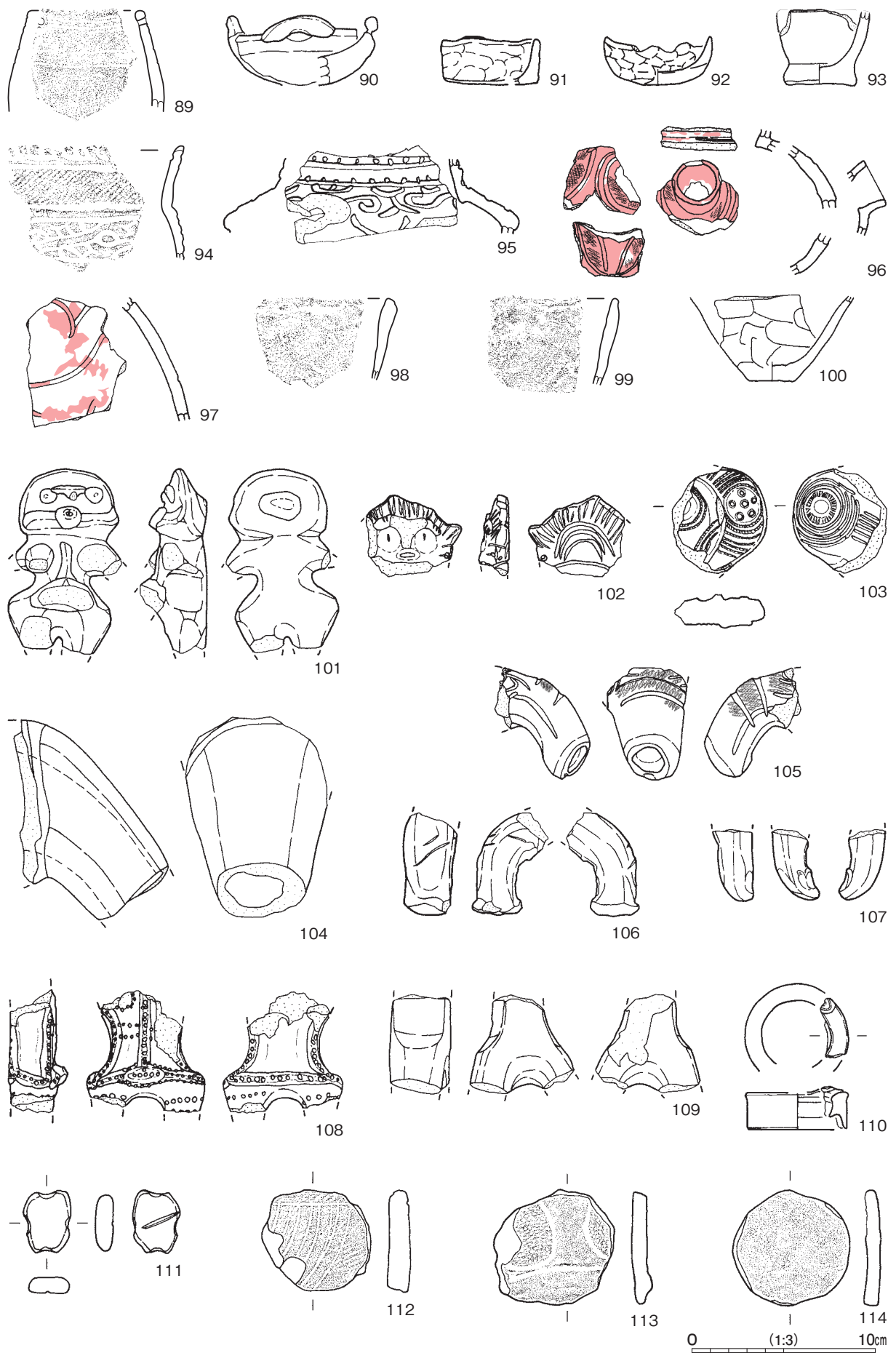
第 362 図 第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (4)



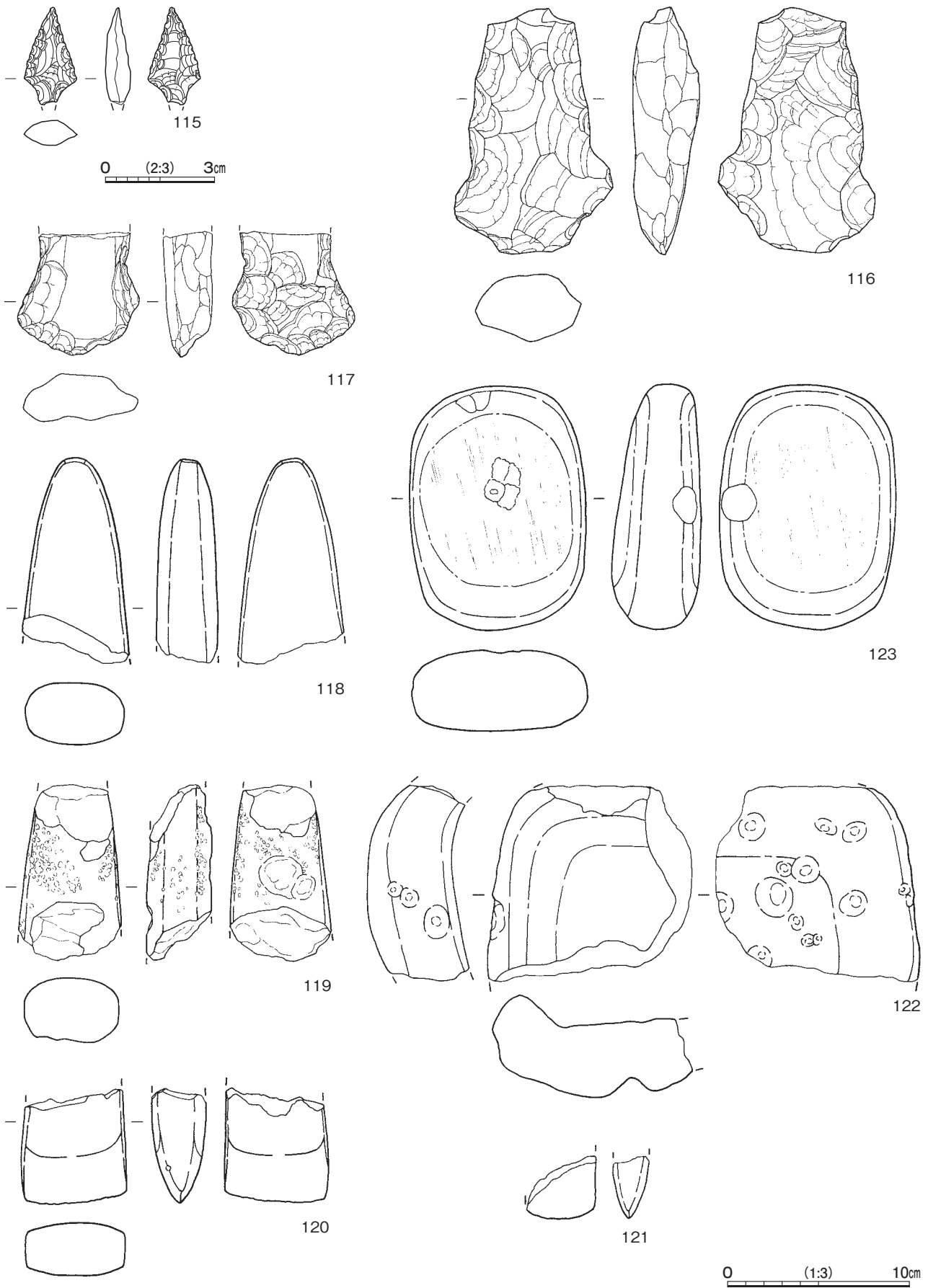
第363図 第4・5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(5)



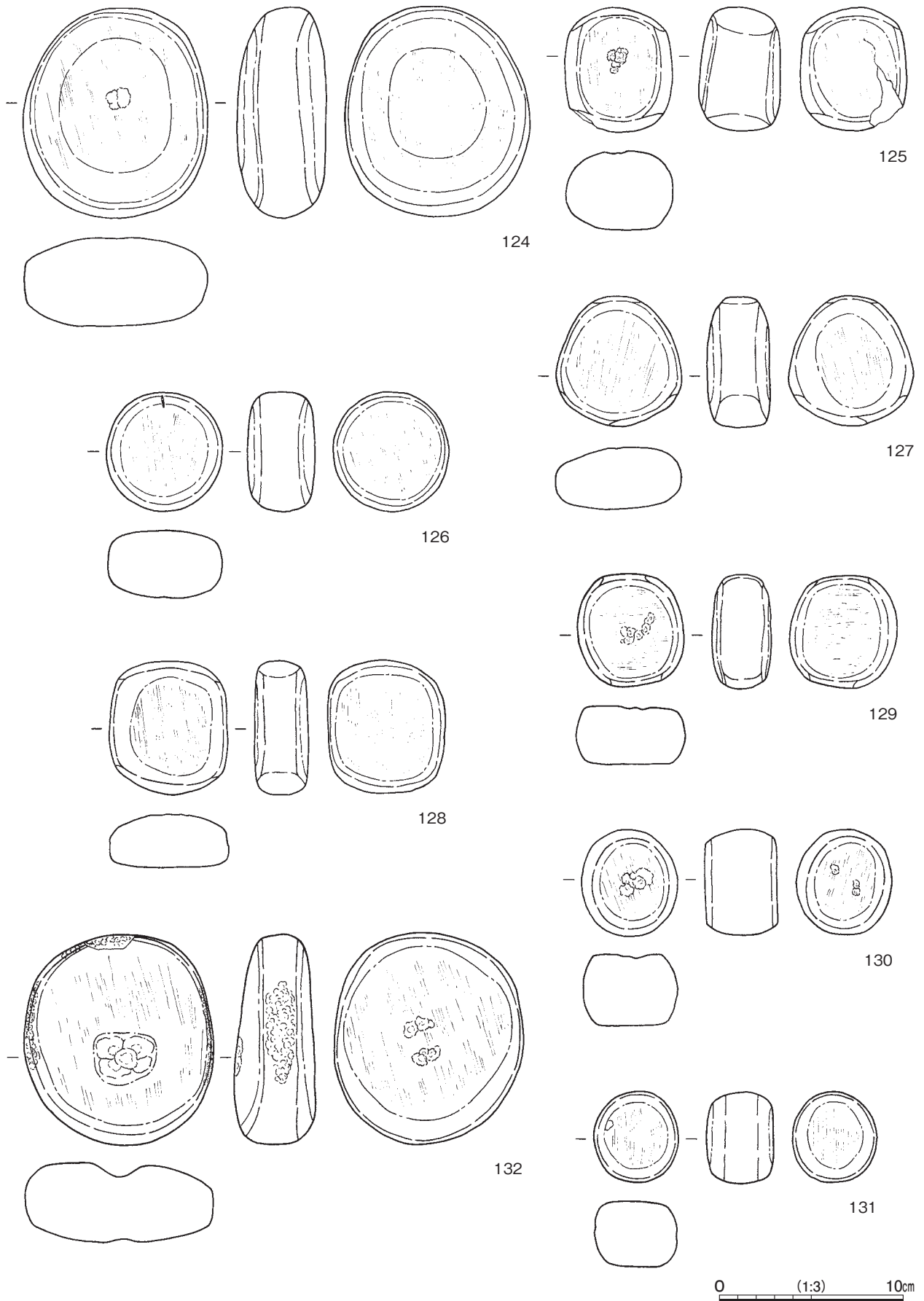
第 365 図 第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (7)



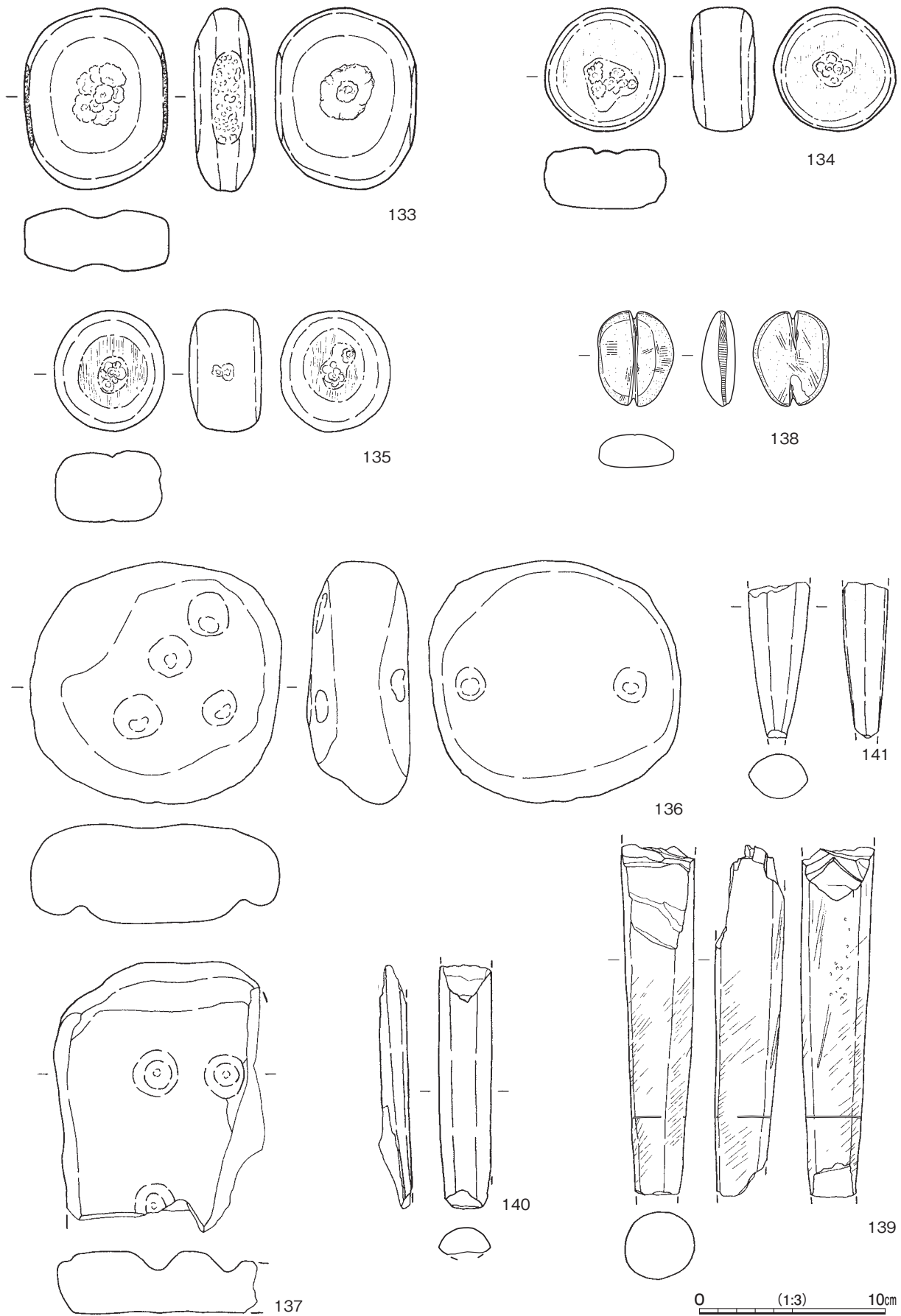
第 366 图 第 4·5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (8)



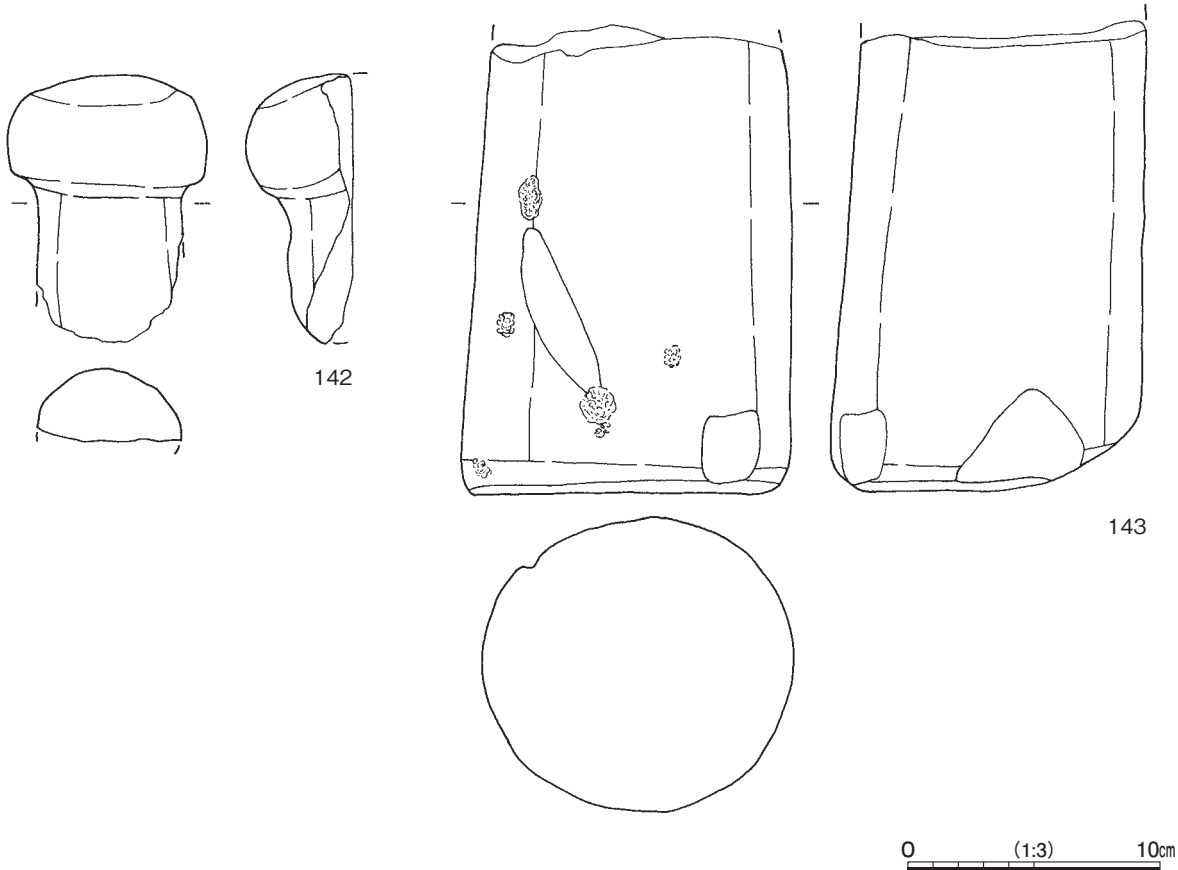
第 367 图 第 4 · 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測图 (9)



第 368 図 第 4・5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (10)



第369図 第4・5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(11)



第 370 図 第 4・5号遺物包含層第Ⅳ層出土遺物実測図 (12)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
15	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面 RL 地縄文→口縁部に紐線 2 条と 8 字状貼付文 口縁部突起 1 か所 内面口縁部沈線文・磨き	LM4区2x	後期前~中葉
16	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・針状物質	褐灰	普通	外面 LR 地縄文→口縁部紐線貼付 内面口縁部 凹線・磨き	LK5区1x	後期前~中葉
17	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英	褐灰	普通	外面 LR 縄文 内面磨き	LJ7区	10% PL116 後期前~中葉
18	縄文土器	鉢	[17.4]	(6.8)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面 RL 縄文 内面口縁部沈線・磨き	LI5区1x	40% 後期前~中葉
19	縄文土器	浅鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面磨き 口唇部沈線文 内面突起部に窩紋連携 沈文を有する C 字文 内面に沈線 3 条 磨き	LK3区3x	10% PL116 堀之内 2 式
20	縄文土器	浅鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐	普通	外面磨き 口唇部に沈線施文の突起 内面突起部下 に焼成前穿孔 口唇部刻み 7 条の沈線文 磨き	LI5区x	堀之内 2 式
21	縄文土器	鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部に 2 条の紐線と 8 字状貼付文 口唇部に押圧 のある突起と両端に窩紋のある貼付文 内面磨き	LH6区1x	堀之内 2 式
22	縄文土器	浅鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	外面磨き 口唇部沈線 内面刻み充填文・LR 磨消 縄文で渦巻状・リボン状の文様	LJ6区	10% PL116 堀之内 2 式
23	縄文土器	注口土器	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	外面微隆起帯で区画文施文 無文部・内面磨き	LH6区2x	堀之内 2 式
24	縄文土器	注口土器	[6.0]	(6.9)	-	長石・石英	灰褐	普通	橋状部に窩紋と微隆起文 胴部磨き	LJ6区3x	20% PL116 堀之内 2 式
25	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・針状物質	黒	普通	外面微隆起帯による J 字文 赤彩 内面付着物あり	LJ4区	称名寺式
26	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英	黄灰	普通	外面 LR 充填の 3 段の横帯文 無文部磨き 内面 口縁部凹線と沈線 3 条 磨き	LI5区x	PL116 加曾利 B 1 式
27	縄文土器	浅鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口唇部に 8 字状の捻転突起 外面 4 段の区切り文 を持つ横帯文 内面口縁部凹線 磨き	LH6区1x	加曾利 B 1 式
28	縄文土器	浅鉢	[25.4]	(8.3)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面削り 口唇部刻み 内面口縁部刺突列 7 条 の沈線文 磨き	LK6区	15% PL116 加曾利 B 1 式
29	縄文土器	浅鉢	-	(4.7)	-	長石・石英	灰褐	普通	外面削り 口唇部刻み 内面口縁部刺突列 5 条 の沈線文 磨き	LH6区2x	加曾利 B 1 式
30	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	波状口縁 口縁部・屈曲部刺突列 口縁部・胴部 斜行条線 内面口縁部凹線 磨き	LG7区1x	加曾利 B 3 式
31	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英	灰褐	普通	胴部稲妻状区画文と 3 段の横帯文 LR 縄文充填 下半磨き 内面磨き	LI4区	加曾利 B 2 式
32	縄文土器	深鉢	[30.0]	(24.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	波状口縁 口縁部 2 段の刻み列 頸部 RL 充填の弧線文 胴部 RL 充填の交互弧線文 下半 RL 縄文 内面磨き	LK3区	20% PL117 加曾利 B 3 式
33	縄文土器	深鉢	-	(14.3)	-	長石・石英	黒	普通	外面胴部 LR 充填の逆つ字文 下半 LR 縄文 無文部磨き 内面粗い磨き	LK4区2x	20% 加曾利 B 3 式
34	縄文土器	深鉢	-	(13.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面 RL 地縄文→格子目文→頸部磨き 内面口縁部 凹線 磨き	LG8区1x	加曾利 B 3 式
35	縄文土器	浅鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	灰褐	普通	外面口縁部磨き 胴部削り 内面磨き	LK3区	後期中葉
36	縄文土器	注口土器	[5.4]	8.8	-	長石・石英・赤色粒子	黒褐	普通	2 段構成 LR 充填縄文による入り組み曲線文 無文部磨き	LK3区	90% 東北系

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
37	縄文土器	注口土器	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・針状物質	黒褐	普通	外面胴部 RL 充填磨消縄文 縄文部がやや隆起 無文部磨き	L I 6区	15% PL117 東北系
38	縄文土器	注口土器	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	把手部 S字状・刻みを有する隆帯 側面に沈線文	L I 7区x	堀之内2式
39	縄文土器	釣手土器	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	橋状部 懸垂孔1か所と2窓確認 刻み隆帯 無文部・内面磨き	LH5区1x	PL117 曾谷式
40	縄文土器	深鉢	[16.5]	(13.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面 RL 充填縄文による杵状文 肥厚なし 縦長瘤2段貼付 口縁部の一部は LR 縄文 胴部条線 内面ナデ	LH5区1・2x	15% PL117 安行2式
41	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部刻み列による区画 縦長瘤貼付 頸部 RL 充填の弧線文 無文部磨き 内面ナデ	LK6区2x	10% 曾谷式
42	縄文土器	深鉢	[10.0]	(7.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	瓢形 口縁部 RL 隆起帯縄文 頸部3条の RL 充填縄文帯 無文部磨き 内面磨き 同一個体片に懸垂孔あり	LL5区1・2x	10% 曾谷式
43	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英	橙	普通	波状口縁 RL 隆起帯縄文3条 波頂部に縦長瘤と貫通孔1か所 磨減顕著	L I 5区2x	PL117 安行1式
44	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母・針状物質	明赤褐	普通	瓢形 口縁部 RL 縄文帯 肥厚なし 頸部 RL 充填の櫛状入り組み文 内面磨き	LM4区2x	安行1式
45	縄文土器	台付鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部・胴部斜条線 内面磨き	L F 10	曾谷式
46	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英	褐灰	普通	RL 縄文充填の稲妻状磨消縄文 口縁部肥厚なし 内面粗い磨き	L G 5区1x	安行2式
47	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部刻み隆帯による杵状文 口縁部に刻みなし 刻みある縦長瘤 胴部ナデ 内面磨き	LH7区1x	安行2式
48	縄文土器	台付鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	刻み隆帯と豚鼻状瘤による区画 頸部に RL 縄文充填 内面磨き	LK6区1x	安行2式
49	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	刻み隆帯による杵状文	L I 7区1x	安行2式
50	縄文土器	深鉢	-	(12.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部・胴部斜条線→頸部磨き 内面粗い磨き	L I 4区3x	10% 曾谷式
51	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	瓢形 口縁部凹線 頸部条線帯 内面磨き	LK3区	曾谷式
52	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面削り 内面磨き	L J 4区	後期後葉
53	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面 LR 地縄文→口縁部紐線2条貼付 内面磨き 口縁部に沈線	LH8区	後期前～中葉
54	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面 LR 地縄文→口縁部紐線貼付 口唇部に沈線 内面磨き 口縁部に沈線	L I 5区	後期中葉
55	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・雲母	黒褐	普通	外面 LR 地縄文→口縁部紐線貼付 内面磨き 口縁部に沈線	LK6区3x	後期前～中葉
56	縄文土器	深鉢	-	(15.5)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面 LR 地縄文→口縁・頸部に紐線貼付→口頸部横位・胴部斜位に条線 内面磨き 口縁部に凹線	L G 7区1・2x	15% 後期中～後葉
57	縄文土器	深鉢	-	(17.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	外面 LR 地縄文→斜位の条線→紐線貼付 内面磨き 口縁部に凹線	L G 6区1x	10% PL117 後期中～後葉
58	縄文土器	異形台付土器	-	(5.2)	[9.4]	長石・石英	明赤褐	普通	台部 刻み隆帯による施文 透かし孔5カ所	L I 6区2x	10% 安行2式
59	縄文土器	深鉢	[21.2]	(24.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁部肥厚 頸部 LR 充填縄文帯と豚鼻状瘤 胴部上半 LR 充填弧線文と豚鼻状瘤 下半削り 内面粗い磨き	LH7区	20% PL117 安行3a式
60	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英	明赤褐	普通	波状口縁 鱗状突起 LR 隆起帯縄文による三角形区画文	L I 8区1x	安行3a式
61	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英	褐灰	普通	外面細かい波状口縁 波頂部に三叉文 頸部 LR 充填の入り組み三叉帯状文 内面磨き	L I 6区	大洞B1式
62	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	橙	普通	RL 隆起帯縄文による杵状文 2段押圧の豚鼻状瘤 口唇部に刻みのある横長瘤 内面ナデ	LH6区1x	安行3a式
63	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	胴部縦に長い豚鼻状瘤と RL 隆起帯縄文による杵状文 下半磨き 内面磨き	LH5・6区1x	安行3a式
64	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	瓢形 RL 隆起帯縄文による幾何学文 無文部磨き 内面ナデ	LH6区1x	安行3a式
65	縄文土器	深鉢	[20.0]	(26.4)	2.8	長石・石英	黒褐	普通	口唇部に5単位の二瘤突起 口縁部・頸部に若干肥厚する RL 縄文帯 胴部沈線 以下無文 磨減顕著	LH7区1x	50% PL118 安行3b式
66	縄文土器	深鉢	[21.4]	(9.3)	-	長石・石英・赤色粒子・針状物質	褐灰	普通	厚口壺状 外傾する口縁部に LR 縄文 頸部 LR 充填のS字状入り組み文 無文部磨き 内面ナデ	LK6区2x	PL117 安行3b式
67	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英	浅黄橙	普通	頸部入り組み三叉文 磨減顕著	LH5区1x	大洞B1式
68	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英	褐灰	普通	細密沈線文充填 無文部磨き 内面ナデ	L I 8区1x	姥山II式
69	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口唇部刻み 細密沈線文充填 無文部磨き 内面ナデ	LH7区1x	姥山II式
70	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	杵状文 外・内面ナデ	LK4区1x	安行3c式併行
71	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	瓢形 充填刺突文による幾何学文 突起下に貫通孔1カ所	L I 8区1x	安行3b式
72	縄文土器	鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部にB突起 頸部磨き 胴部二溝間のサイ痕と雲形文カ 内面磨き	L I 5区1x	大洞C1式
73	縄文土器	壺	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	頸部磨き 胴部二溝間のサイ痕 内面ナデ	L J 5区3x・LK5区	10% 大洞C1式
74	縄文土器	壺	[16.1]	(5.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐色	普通	口唇部に押圧と沈線文 頸部磨き	LK4区1x	10% 大洞C1式
75	縄文土器	壺	[15.2]	(6.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部波状 台形状突起1カ所 磨減顕著	L D 10区x	10% 晩期中葉
76	縄文土器	深鉢	[23.4]	(23.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	頸部横位・胴部上半縦位・下半横位の条線→紐線貼付 口縁部肥厚 内面ナデ	LH7区	20% PL118 安行3a式
77	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面横位の条線 焼成前穿孔1カ所 磨減顕著	L I 6区1x	安行3b式
78	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	外面 RL 縄文 内面磨き	L J 7区3x	後期前葉
79	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	緩い波状カ 外面 LR 縄文 内面ナデ 口縁部に沈線文	LH5区2x	後期前葉
80	縄文土器	深鉢	-	(17.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面口縁部横位・胴部縦位の磨き 内面磨き	LH7区	15% 後期
81	縄文土器	鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	灰黄	普通	口唇部ナデ 外面ナデ 胴部下半削り 内面ナデ	L I 6区1x	晩期
82	縄文土器	浅鉢	[17.0]	6.9	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部が外反する鉢 口唇部にU字状の貼付文 胴部 LR 充填の弧線文 無文部・内面磨き	L G 8区1x	50% 安行3b式
83	縄文土器	鉢	-	(7.3)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	波頂部鉢巻状貼付文 頸部 LR 充填のS字状入り組み文 内面ナデ	LH6区1x	安行3b式
84	縄文土器	浅鉢	[19.0]	(4.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部B突起と羊歯状弧線文 胴部充填刺突文 無文部磨き 内面磨き	L I 6区1x	15% 安行3c式
85	縄文土器	浅鉢	[20.2]	(9.0)	[8.4]	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部に台形状突起 胴部縦位の研磨 内面粗い磨き	L G 9区2x	20% 晩期中葉

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
86	縄文土器	台付鉢	[18.8]	(7.9)	-	長石	にぶい橙	普通	外面LR縄文 内面口縁部に沈線 磨滅顕著	LM5区	30% 後期前~中葉
87	縄文土器	角底土器	-	(3.7)	-	長石・石英・赤色 粒子	橙	普通	細密沈線文充填 内面磨き	LH7区1x	姥山Ⅱ式
88	縄文土器	人面付 土器	-	(6.9)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	普通	瓢形注口土器口縁部にミミズク形土器顔面類似の人面貼付 RL隆起帯 眉・目・口は隆帯 輪郭部には刻み充填	LI4区1x	晩期前葉
89	縄文土器	ミニチュア 土器	[6.0]	(5.5)	-	長石・石英	橙	普通	頸部・胴部に無節L充填縄文 口縁部に焼成前 穿孔1か所	LF10区x	15% 後期後葉
90	縄文土器	ミニチュア 土器	[8.2]	(3.7)	-	長石・石英	灰褐	普通	把手1か所 山形状突起カ2か所 外・内面ナデ	LH8区1x	25%
91	縄文土器	ミニチュア 土器	5.1	2.5	5.1	長石・石英・赤色 粒子	にぶい橙	普通	外・内面指頭によるナデ	LF9区1x	80% PL118
92	縄文土器	ミニチュア 土器	[5.8]	2.6	2.0	長石・石英	にぶい橙	普通	外・内面指頭によるナデ	LD10区2x	80%
93	縄文土器	ミニチュア 土器	-	(4.0)	3.7	長石・石英	褐灰	普通	底部高台状に張り出し 磨滅顕著	LK5区1x	70%
94	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・ 針状物質	褐灰	普通	口縁部に羊歯状文 胴部に入り組む羊歯状文 頸部LR縄文 内面口縁部沈線文	LH8区1x	大洞BC式
95	縄文土器	注口土器	-	(4.0)	-	長石・石英	灰白	普通	頸部2段の二溝間のサイ痕 胴部沈線による雲形文 磨滅顕著	LG7区x	大洞C1式
96	縄文土器	異形台付 土器	-	-	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面赤漆塗布 LR充填の磨消縄文	LL4区2x	後期後葉
97	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英	灰褐	普通	外面赤漆塗布 無節L充填の磨消縄文	LK6区2x	晩期前葉
98	縄文土器	製塩土器	-	(4.5)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部外削ぎ状 外面削り 内面ナデ	LH5区1x	
99	縄文土器	製塩土器	-	(4.7)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部ナデ 外面削り 内面ナデ	LH5区1x	
100	縄文土器	製塩土器	-	(4.6)	2.4	長石・石英	灰褐	普通	外面削り 内面ナデ	LG8区1x	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
101	土偶	(10.1)	(6.3)	(3.7)	(147.7)	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	明赤褐	山形 略完形 目・眉・口・正中線粘土帯貼付	LF8区	
102	土偶	(4.3)	(5.3)	(1.6)	(28.9)	長石・石英・雲母	橙	ミミズク形 頭部片 輪郭・目剥離	LH8区1x	
103	土偶	(5.8)	(5.2)	(1.8)	(56.1)	長石・石英・雲母・ 赤色粒子	褐灰	ミミズク形 頭部片 左目~耳付近 表面は刺突充填 沈線で施文 裏面は沈線文 耳飾り明瞭跡	LH8区	
104	土偶	(10.8)	(8.9)	(7.8)	(307.3)	長石・石英・雲母	黒褐	中空腕部片あるいは注口土器注口部カ 丁寧な 磨き調整	LI6区	
105	土偶	(6.0)	(5.3)	(4.4)	(75.9)	長石・石英	褐灰	中空 腕部片 肩にLR隆起帯縄文 LR充填の 磨り消し縄文 雲形文カ	LF8区1x	
106	土偶	(5.6)	(4.1)	(3.0)	(46.2)	長石・石英・赤色 粒子	浅黄橙	山形 腕部片 沈線あるが文様は不明瞭	LH5区2x	
107	土偶	(3.8)	(2.6)	(2.4)	(16.8)	長石・石英・赤色 粒子	橙	山形 腕部片 磨き調整	LK6区1x	
108	土偶	(6.5)	(6.5)	(3.3)	(97.9)	長石・石英・雲母	灰黄褐	山形 胴部片 正中線・胴部輪郭線は刺突充填隆帯 胴部・脚部に刺突列	LE8区1x	
109	土偶	(5.3)	(5.8)	(3.3)	(73.2)	長石・石英	にぶい黄橙	ハート形 胴部片 磨き調整 胎土中に芯棒状の 痕跡あり	LK5区1x	
110	耳飾り	[5.7]	[5.7]	(2.3)	(6.5)	長石・石英	にぶい橙	環状で施文部突出 渦巻状の瘤貼付 被熱	LK4区1x	
111	土器片 錘	3.4	2.6	1.0	10.9	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	長軸・短軸方向の側縁部に紐かけの抉り	LH7区1x	
112	土器片 円盤	5.5	5.9	1.2	50.8	長石・石英	にぶい橙	堀之内1式深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	LF9区1x	
113	土器片 円盤	6.3	6.7	1.1	40.6	長石・石英	にぶい黄褐	刺突充填の深鉢胴部片利用 周縁打ち欠き	LH6区1x	
114	土器片 円盤	6.3	6.4	0.9	44.1	長石・石英	褐灰	深鉢胴部片利用 周縁研磨	LI6区2x	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
115	石鎌	(2.7)	1.5	0.7	(2.1)	チャート	凸基有茎 基部欠損	LF9区1x	PL118
116	打製石斧	13.6	8.4	3.7	382.0	砂岩	撥形カ 側縁部の一部に敲打痕	LE10区	PL118
117	打製石斧	(6.8)	(6.7)	(2.7)	(147.8)	安山岩	分銅形 表裏面に原石面残存	LI7区1x	
118	磨製石斧	(11.3)	(5.9)	3.6	(306.4)	蛇紋岩	定角式 刃部欠損 丁寧な研磨調整	LI5区1x	PL118
119	磨製石斧	(9.6)	(5.6)	(3.1)	(276.4)	玄武岩	定角式 基部・刃部欠損 表裏面に敲打痕 欠損後敲き石に再利用カ	LJ5区	
120	磨製石斧	(6.3)	5.8	3.0	(188.3)	角閃岩	定角式 基部欠損 刃部に細かい剥離と研磨痕	LK6区2x	PL118
121	磨製石斧	(3.4)	(3.8)	(2.0)	(29.5)	緑色岩	定角式 基部欠損 刃部に細かい剥離と研磨痕	LK4区2x	PL118
122	石皿	(10.9)	(11.2)	5.6	(675.5)	安山岩	縁あり 背面と側面に凹痕	LI5区1x	PL119
123	磨石	13.5	9.7	4.9	959.3	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁部ざらつきのある摩耗 痕 被熱	LI4区1x	
124	磨石	11.5	10.1	4.8	888.5	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面 表面に敲打痕 周縁部ざらつき のある摩耗痕 被熱	LI5区	
125	磨石	6.7	5.9	4.5	(278.4)	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面 表面に敲打痕 周縁部ざらつき のある摩耗痕	LI4区2x	
126	磨石	6.5	6.3	3.7	239.8	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面 周縁部ざらつきのある摩耗痕 被熱	LK4区1x	
127	磨石	7.1	6.9	3.4	230.0	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面 周縁部ざらつきのある摩耗痕	LI6区1x	
128	磨石	7.3	6.5	3.0	201.1	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面 周縁部ざらつきのある摩耗痕	LL3区	
129	磨石	6.1	6.0	3.2	195.2	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面 表面に敲打痕 周縁部ざらつき のある摩耗痕	LI5区	
130	磨石	5.7	5.2	4.0	180.4	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗 痕 被熱	LI5区1x	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
131	磨石	5.0	4.6	3.6	107.9	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	L I 5区2 x	
132	磨石	11.4	10.2	4.4	819.7	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁部ざらつきのある摩耗痕 両側縁から下端にかけて敲打痕 被熱	L J 5区	
133	磨石	9.7	7.7	3.3	360.0	砂岩	表裏面にざらつきのある磨り面+敲打痕 両側縁に敲打痕	L I 5区	
134	磨石	6.6	6.5	3.4	206.1	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	L H 5区1 x	
135	敲石	6.5	5.9	3.4	212.1	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	L I 5区	
136	凹石	13.1	13.6	5.5	1358.1	砂岩	表裏面に凹痕 磨滅	L K 4区1 x	PL119
137	凹石	(14.5)	(11.3)	(3.3)	(920.2)	雲母片岩	表面に凹痕 裏面は剥離	L I 6区	
138	石錘	5.2	4.1	1.8	54.1	頁岩	表面有溝 裏面切目 表裏・側面研磨	L H 9区	
139	石棒	(18.8)	(3.9)	3.7	(82.0)	粘板岩	細かい敲打痕を残して研磨 下端近く 細い沈線あり 被熱	L I 8区1 x	PL118
140	石剣	(13.1)	(2.9)	(1.8)	(85.1)	粘板岩	研磨整形 被熱	L I 6区1 x	
141	石剣	(8.3)	(3.3)	2.5	(344.9)	緑色片岩	研磨整形	L I 6区2 x	PL118
142	石棒	(10.6)	(8.0)	(4.3)	(288.7)	安山岩	大形石棒頭部 表面剥離と磨滅	L I 6区2 x	PL119
143	石棒	(18.6)	(13.2)	(12.7)	(4997.2)	花崗岩	大形石棒 欠損した上下を研磨して再利用カ	L I 4区	

第5号遺物包含層（第371～386図 第245・246表 PL53・54・119～121）

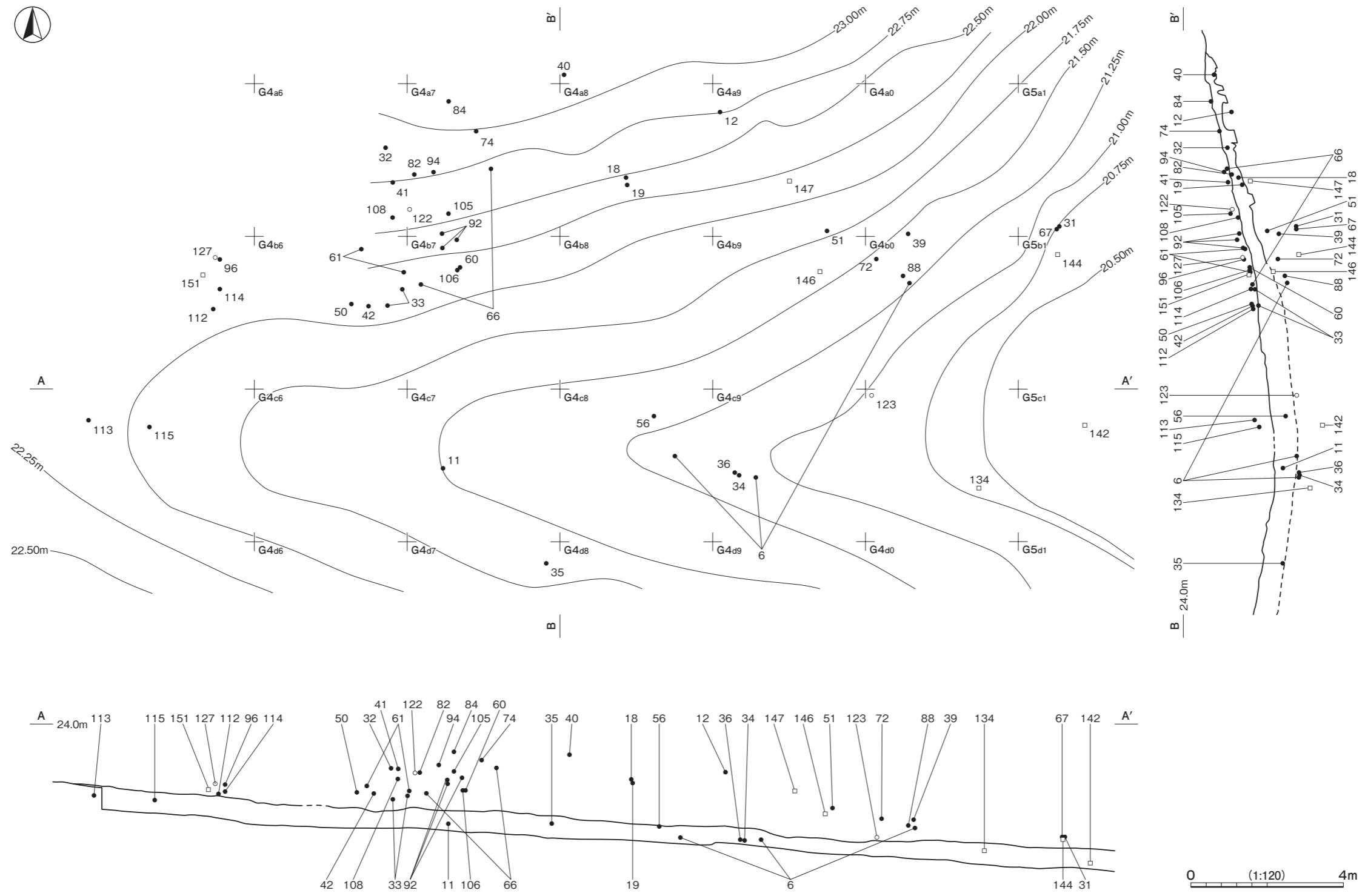
位置 調査K区のG4a6～G5e1区，東西方向に延びる谷部に位置している。確認面の標高は20.5～22.5mである。また，東側の平成22年度調査G区のG5a2～d4区でも，本層の延長部分の一部を確認した。

重複関係 第18号竪穴建物，第1302・1303・1308～1321号土坑に掘り込まれており，第4・12号斜面貝層，第5号遺物包含層の第Ⅲ層が上部に形成されている。

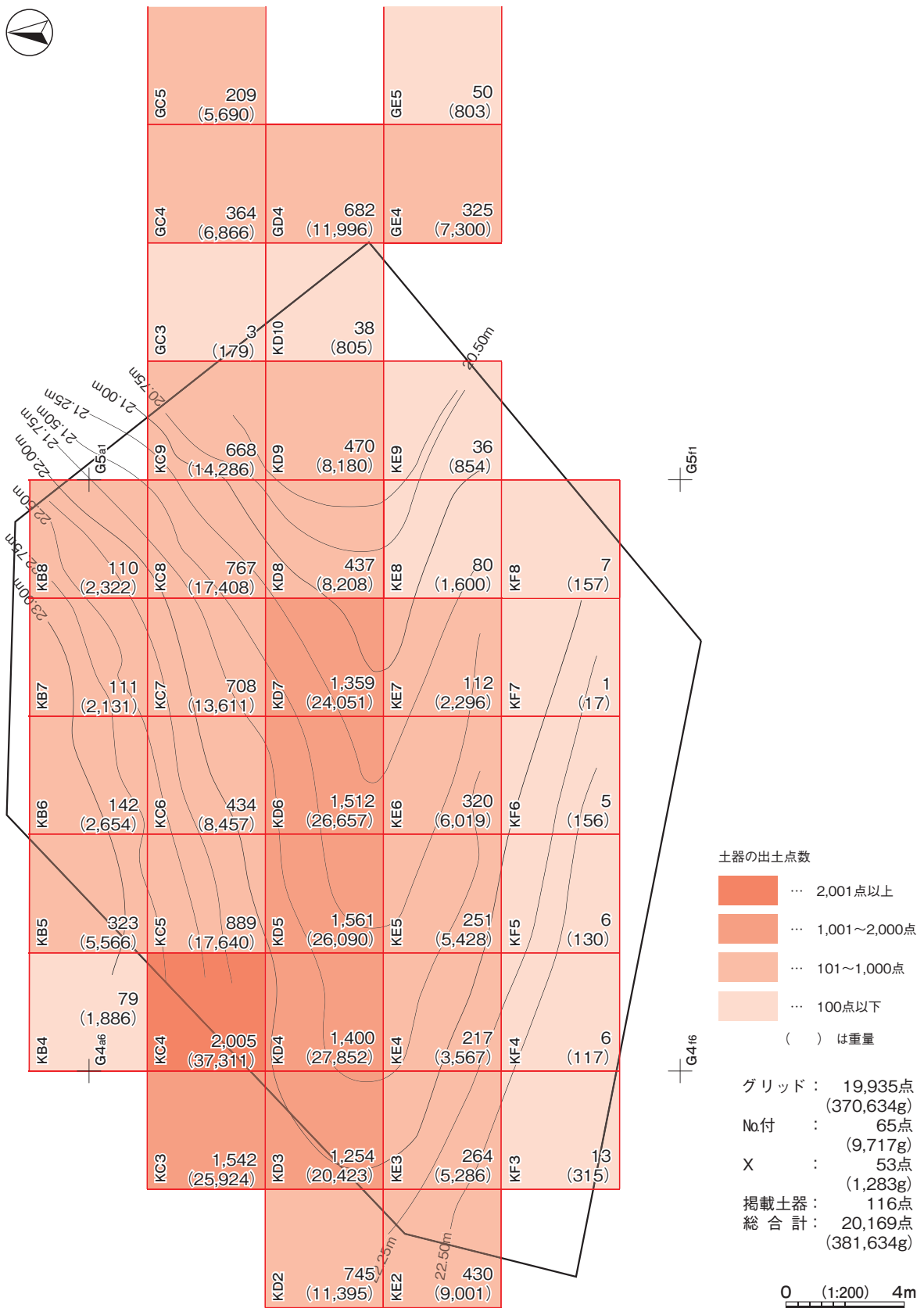
分布範囲 調査区域のほぼ全域に広がっている。谷底部は，東方向（N-89°-E）へ緩やかに傾斜しており，調査区域内の比高差は2.0mである。

遺物出土状況 縄文土器20,169点（381,634g），土製品111点（手燭形土製品1，匙形土製品1，土偶9，人面付土版1，土版2，有孔円盤3，土器片円盤93，不明1），石器・石製品55点（打製石斧1，磨製石斧5，石皿10，磨石27，敲石2，凹石3，砥石4，台石1，石錘1，石剣1），剥片10点（頁岩1，黒色ガラス質安山岩2，チャート7），石核5点（チャート）が出土している。土器は，前期前半の関山式・黒浜式や第Ⅲ層からの混入とみられる安行3c式のものが見られるほか，後期初頭の称名寺I式～晩期前葉の安行3b式のものも一定量出土している。称名寺I式～加曾利B3式の土器は，残存率が高い大型破片や接合関係が見られる破片が多く，称名寺式の土器は谷底部，堀之内式の土器は南北の斜面部，加曾利B式の土器は北西部の斜面部上位からまとまって出土している。

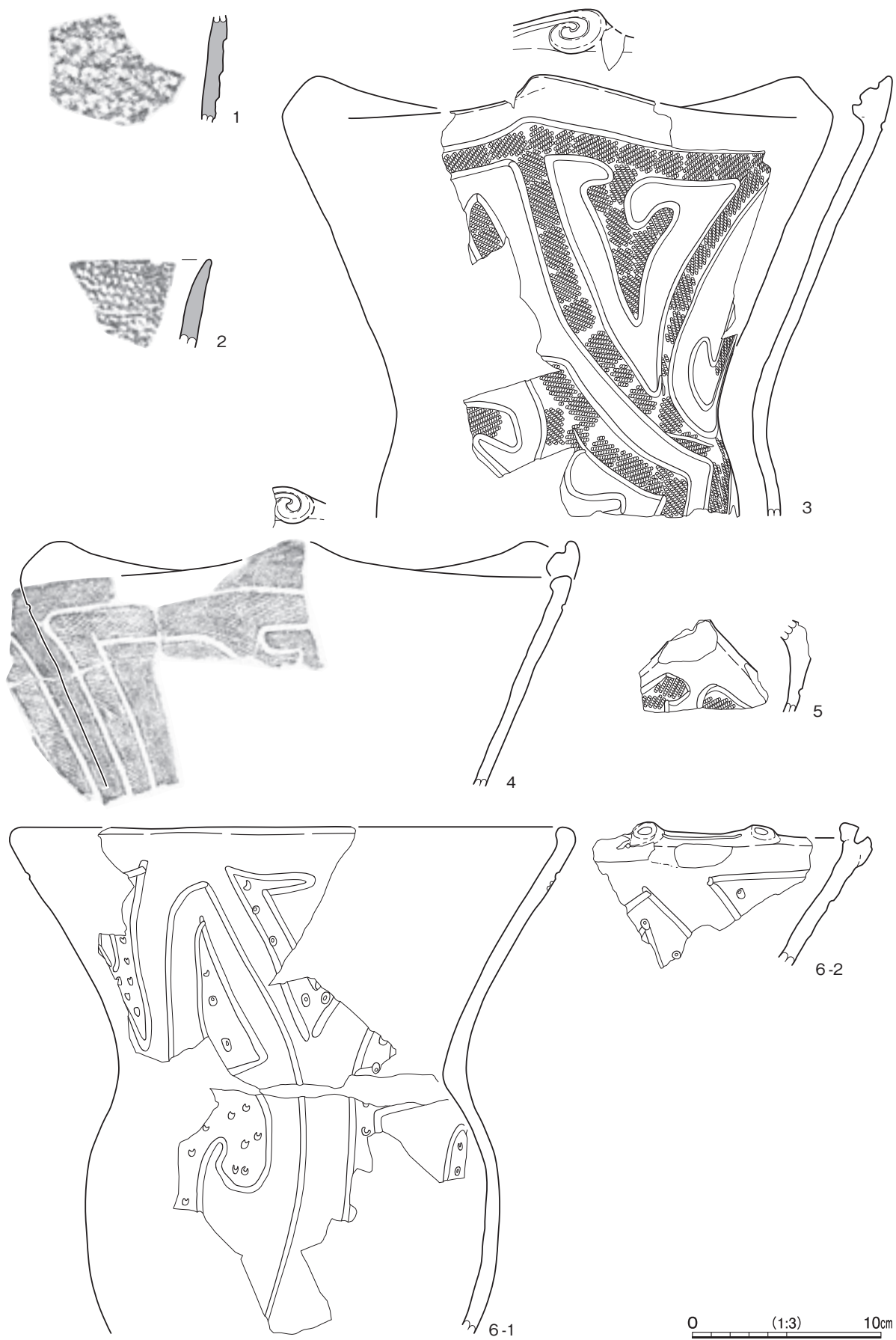
所見 調査L区で確認した第V層の堆積時期及び出土土器から，後期中葉（堀之内2式期）以降に堆積が始まったと考えられる。後期末葉（安行2式期）には一時的に安定し，第18号竪穴建物が構築されているが，その後も土砂流出が続いており，同建物跡の南半部は消失している。堆積環境の転換期は，上部に第12号斜面貝層や第Ⅲ層が形成される晩期前葉（安行3a式～安行3b式期）と考えられる。また，当調査区は，他の調査区域と比較して，後期初頭の称名寺式から後期中葉の加曾利B式にかけての土器が数多く出土している。至近距離からの廃棄，あるいは竪穴建物跡などの遺構が覆土ごと谷へ流出した可能性がある。特に，後期前葉の堀之内式の土器は，南側の台地上の調査O区で第28号竪穴建物跡（堀之内2式期）が，低地部の調査L区で第4・5号遺物包含層第V層（堀之内1式～堀之内2式期）がそれぞれ確認されており，調査区域に延びる谷を取り巻くように集落域が広がっていた可能性を示唆している。



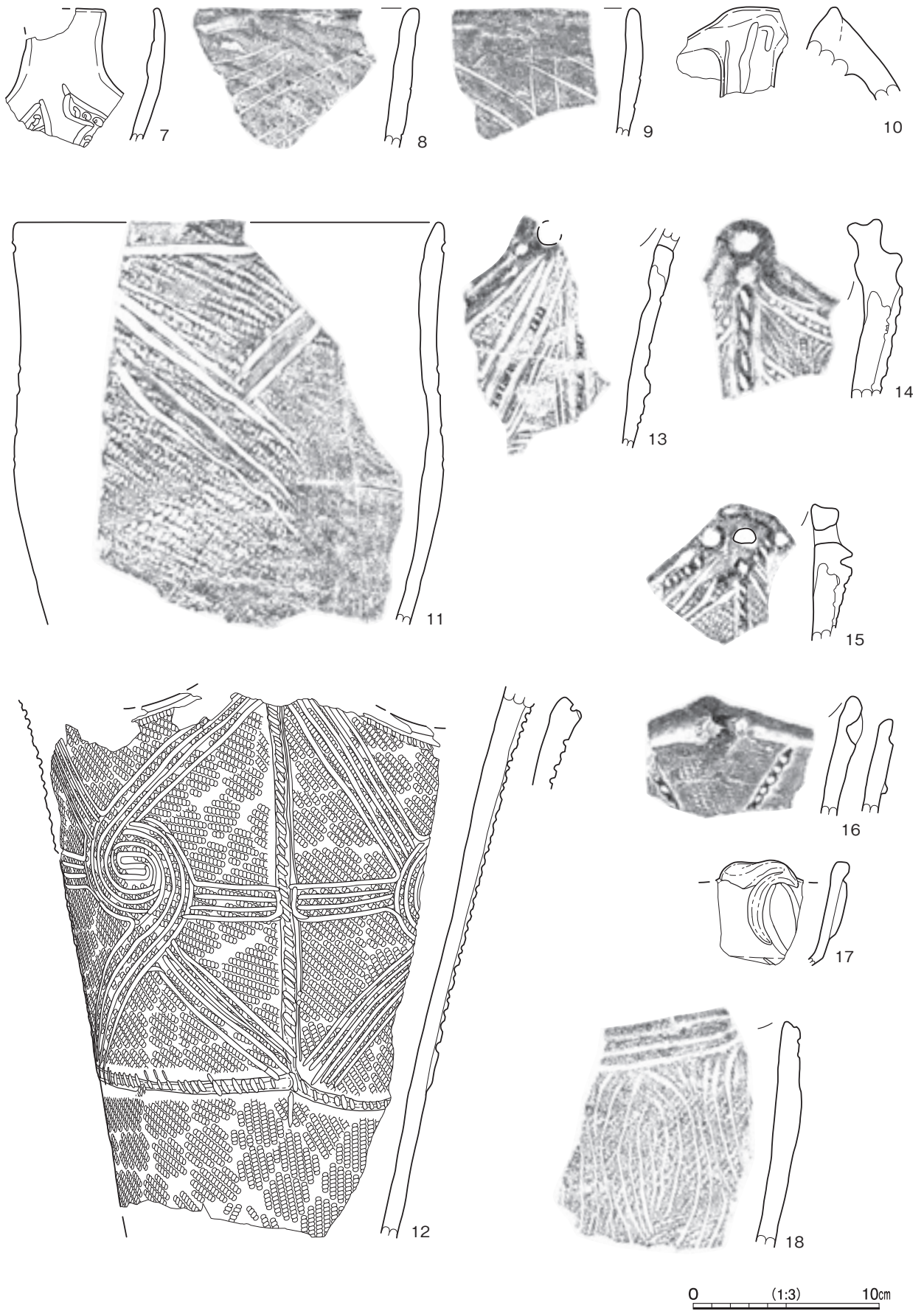
第371図 第5号遺物包含層第IV層実測図(1)



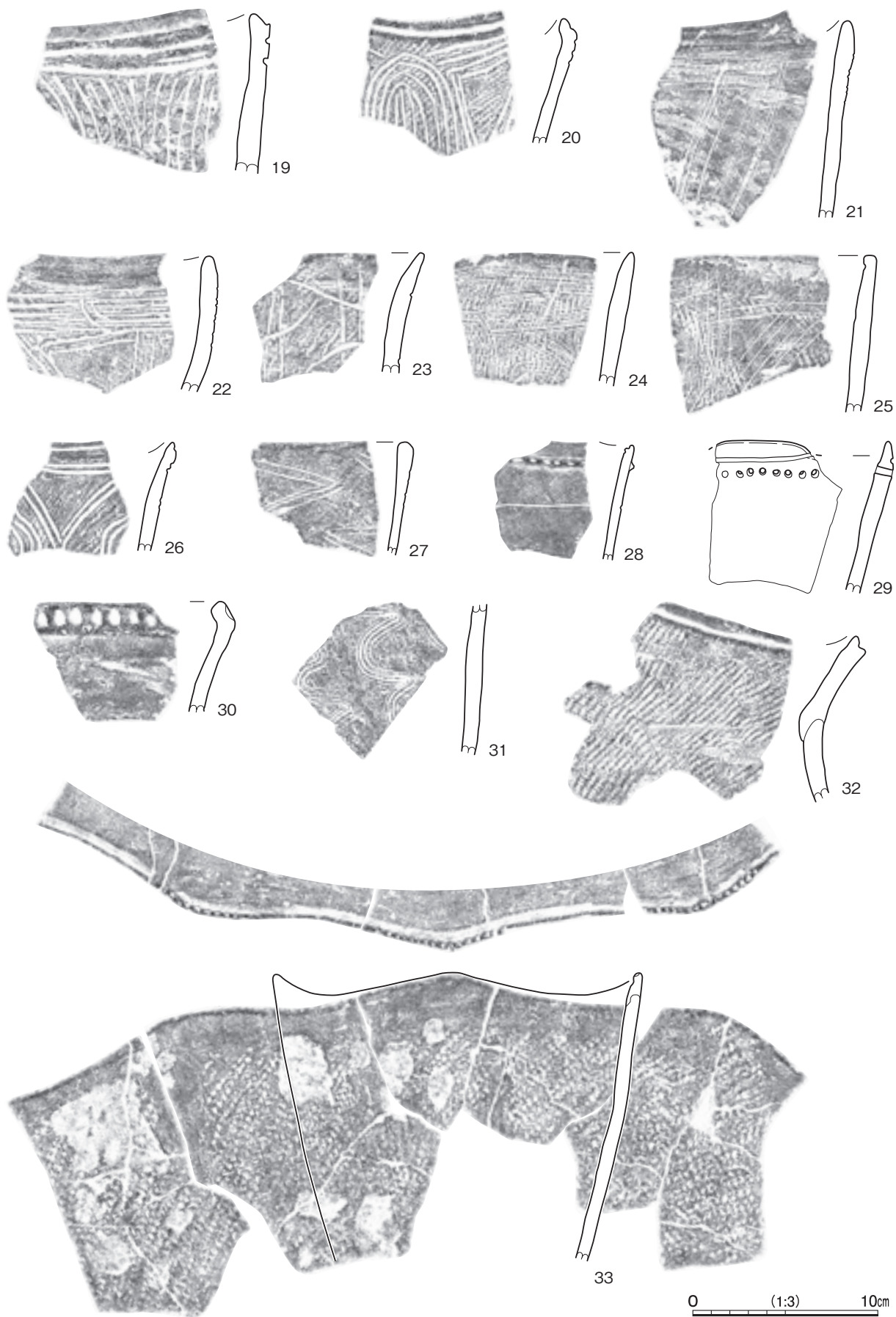
第 372 図 第 5 号遺物包含層第 IV 層実測図 (2)



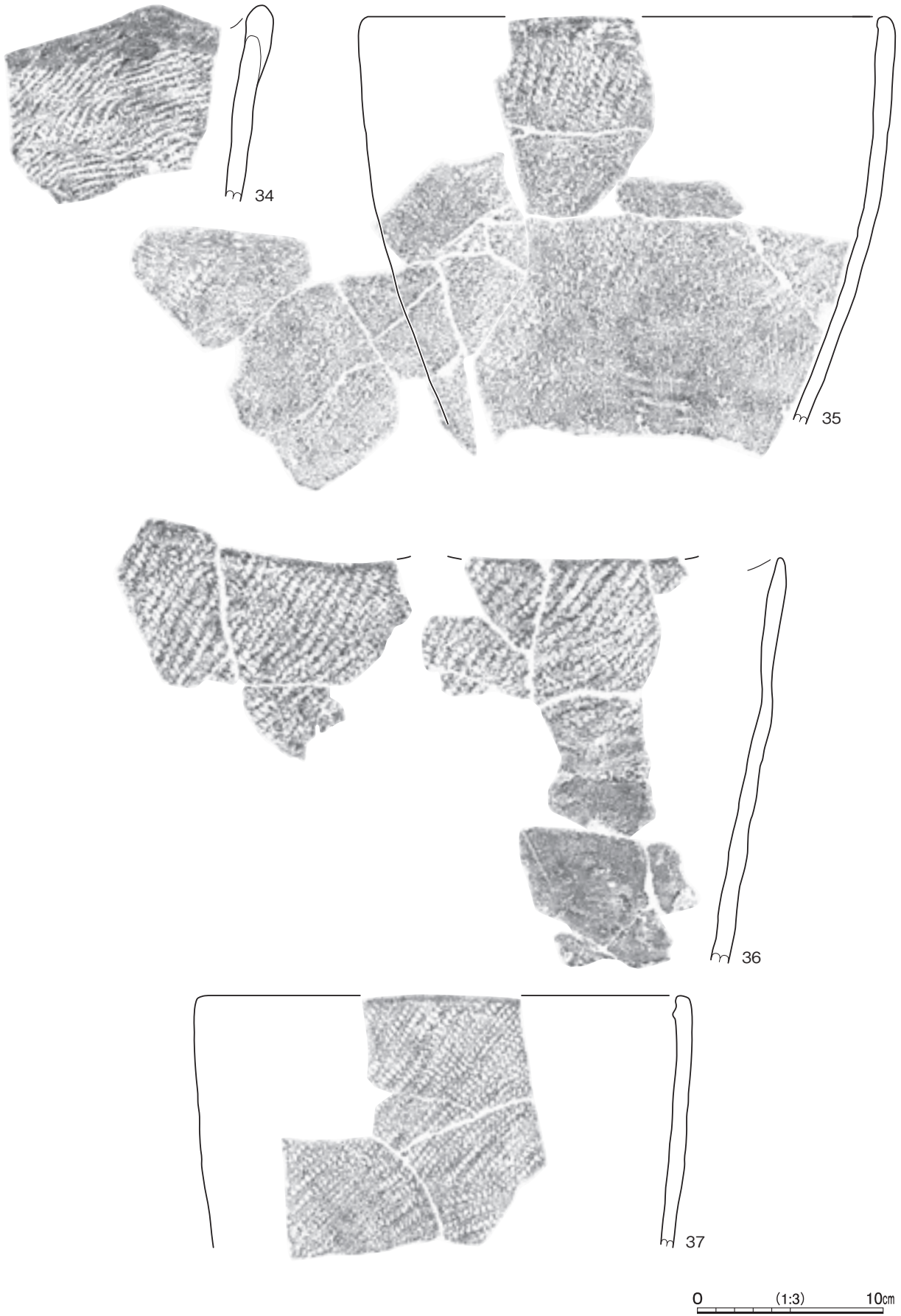
第 373 图 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (1)



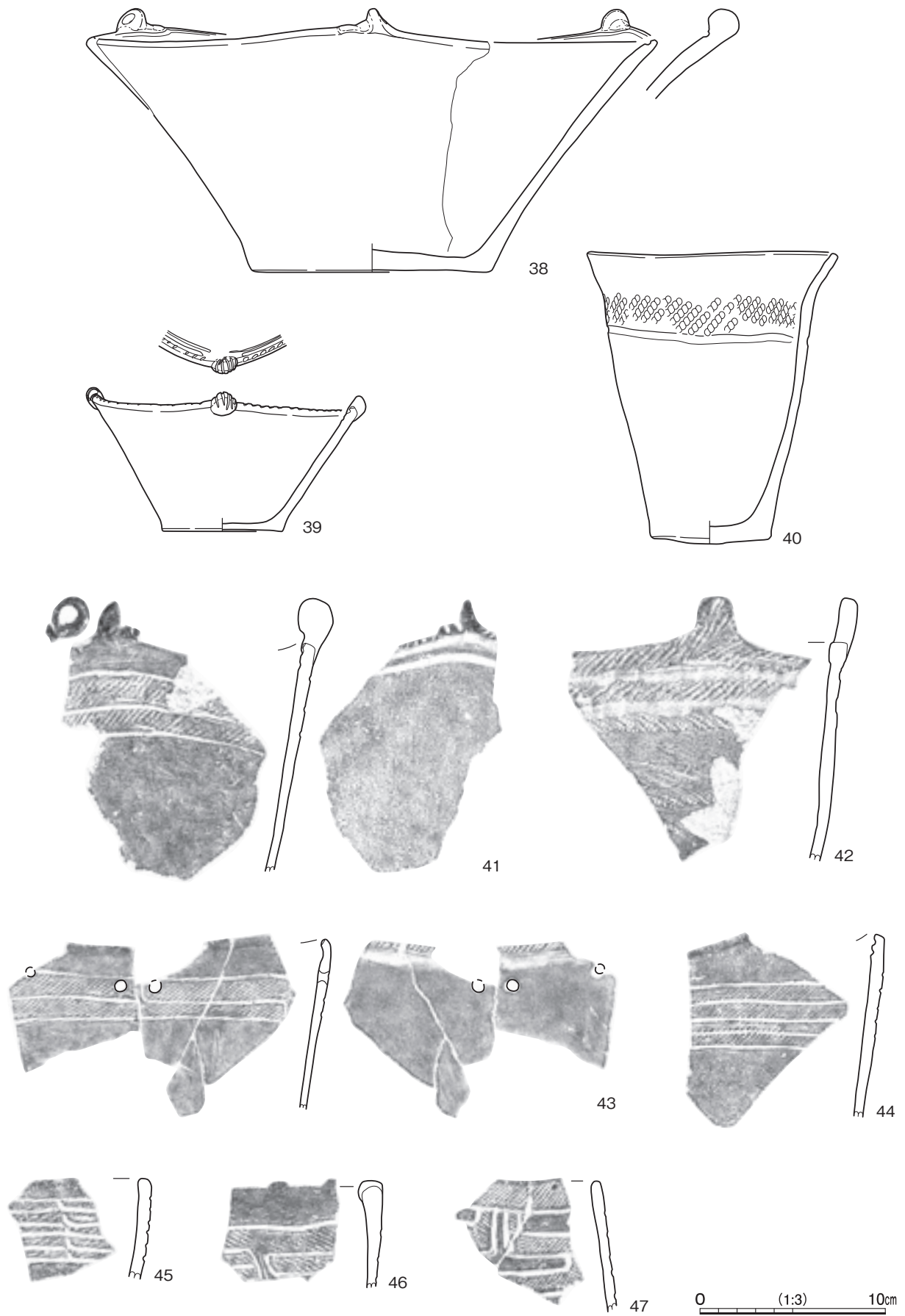
第 374 图 第 5 号遗物包含层第 IV 层出土遗物实测图 (2)



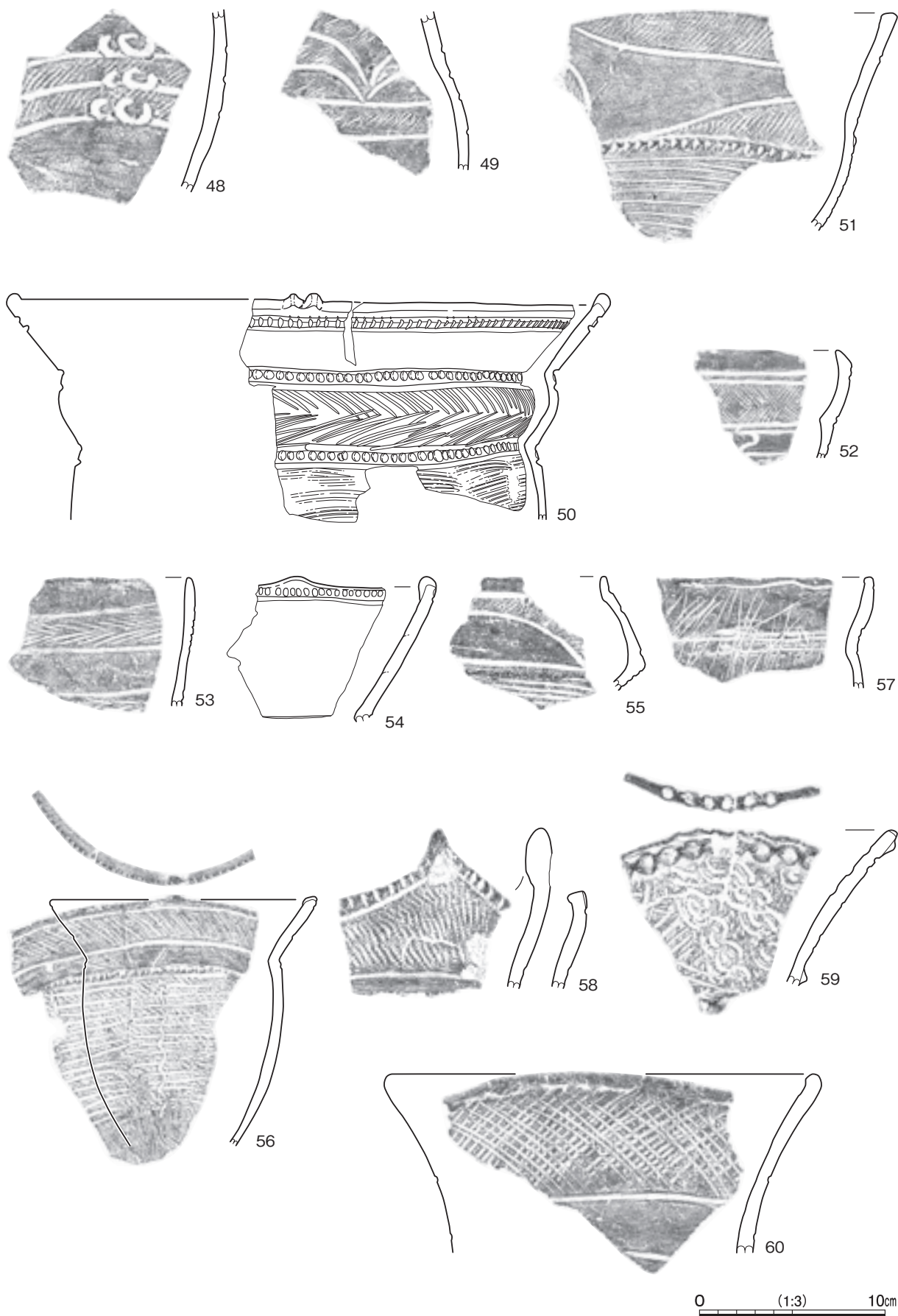
第 375 图 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測图 (3)



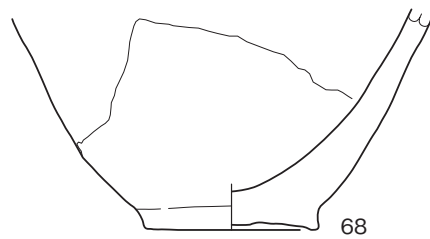
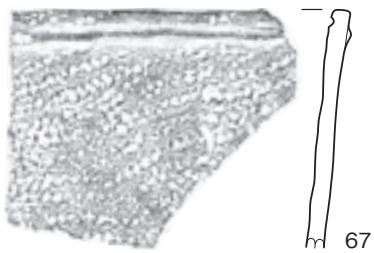
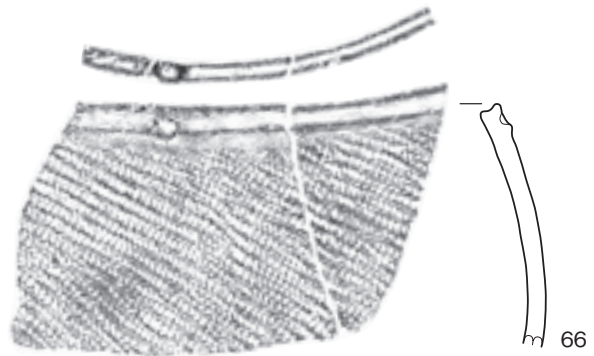
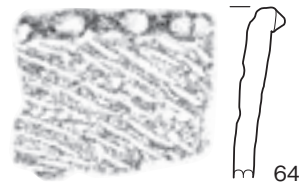
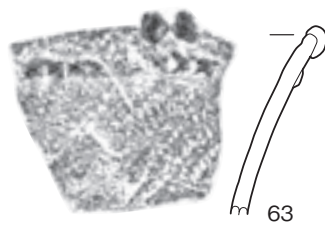
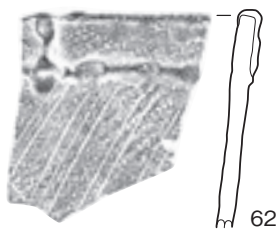
第 376 図 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (4)



第 377 图 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測图 (5)

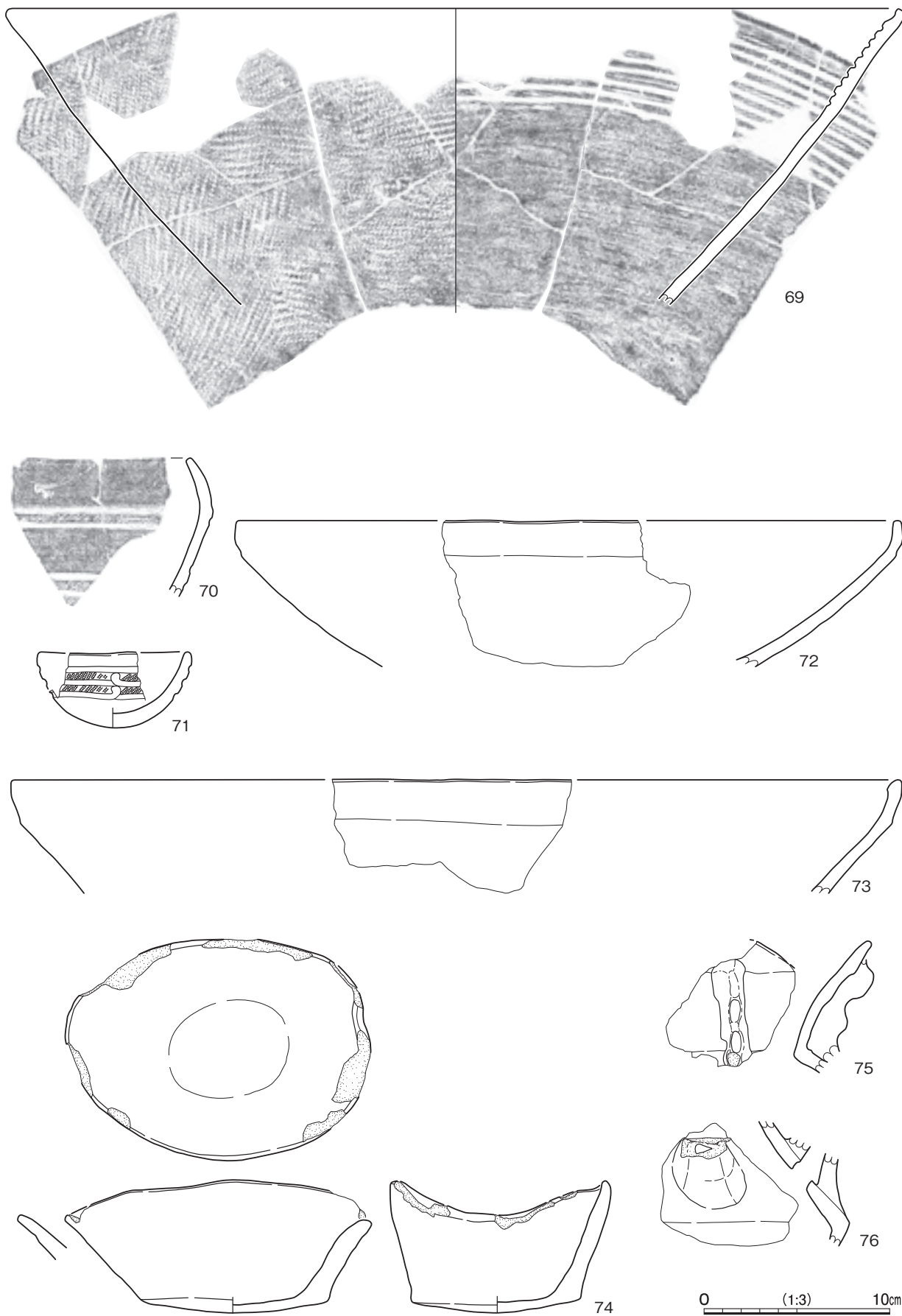


第 378 图 第 5 号遗物包含層第 IV 層出土遺物实测图 (6)

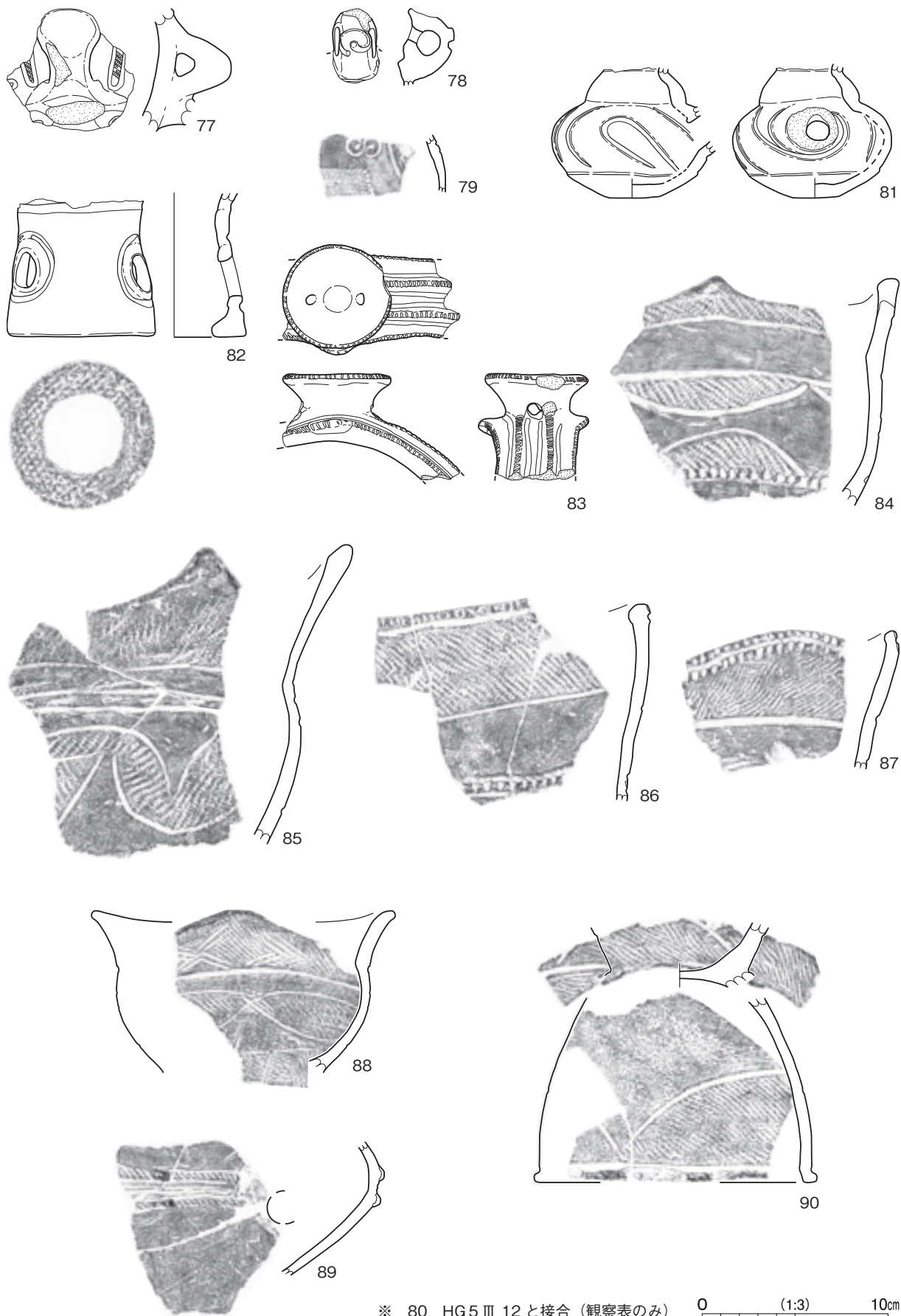


0 (1:3) 10cm

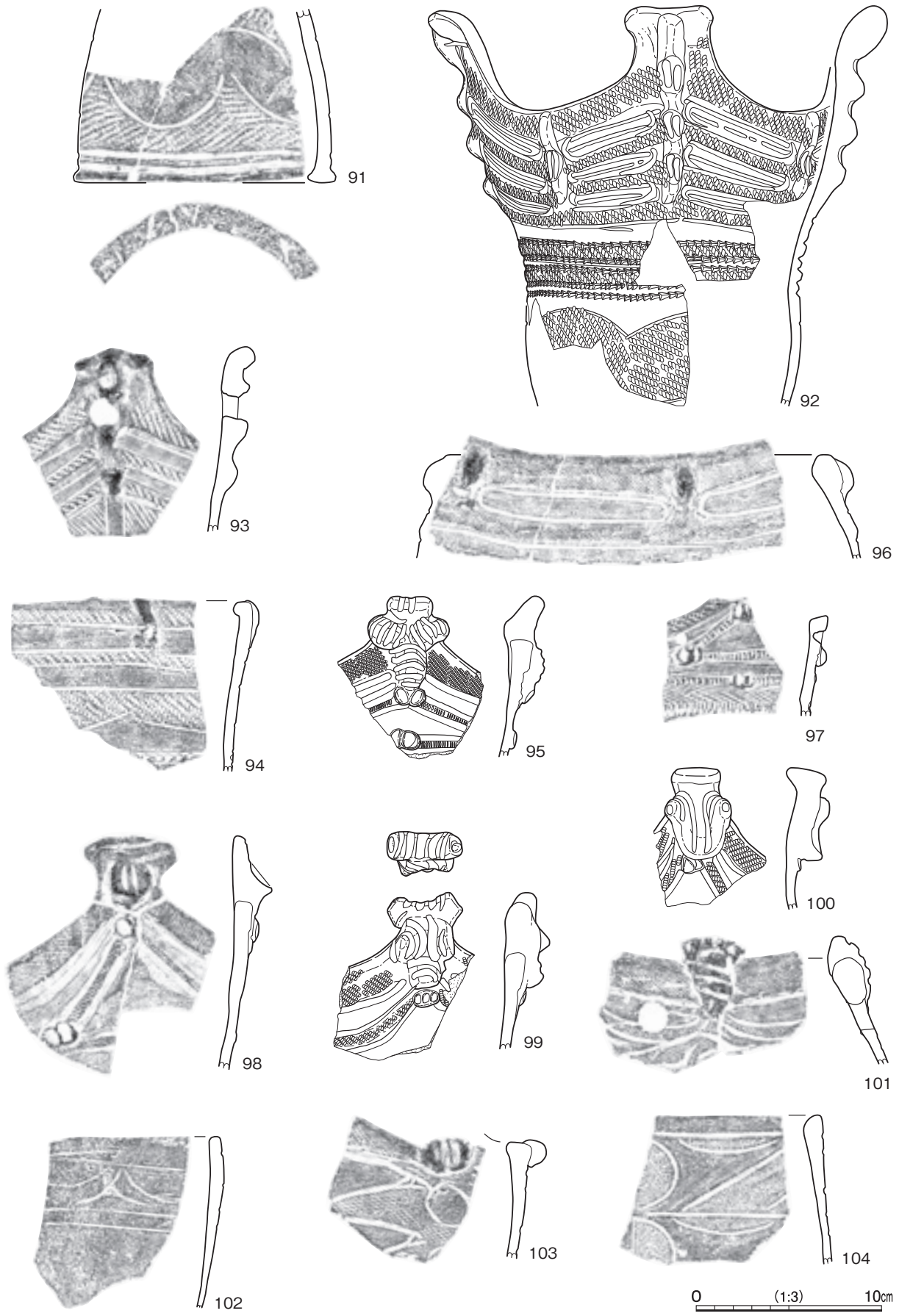
第 379 图 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測图 (7)



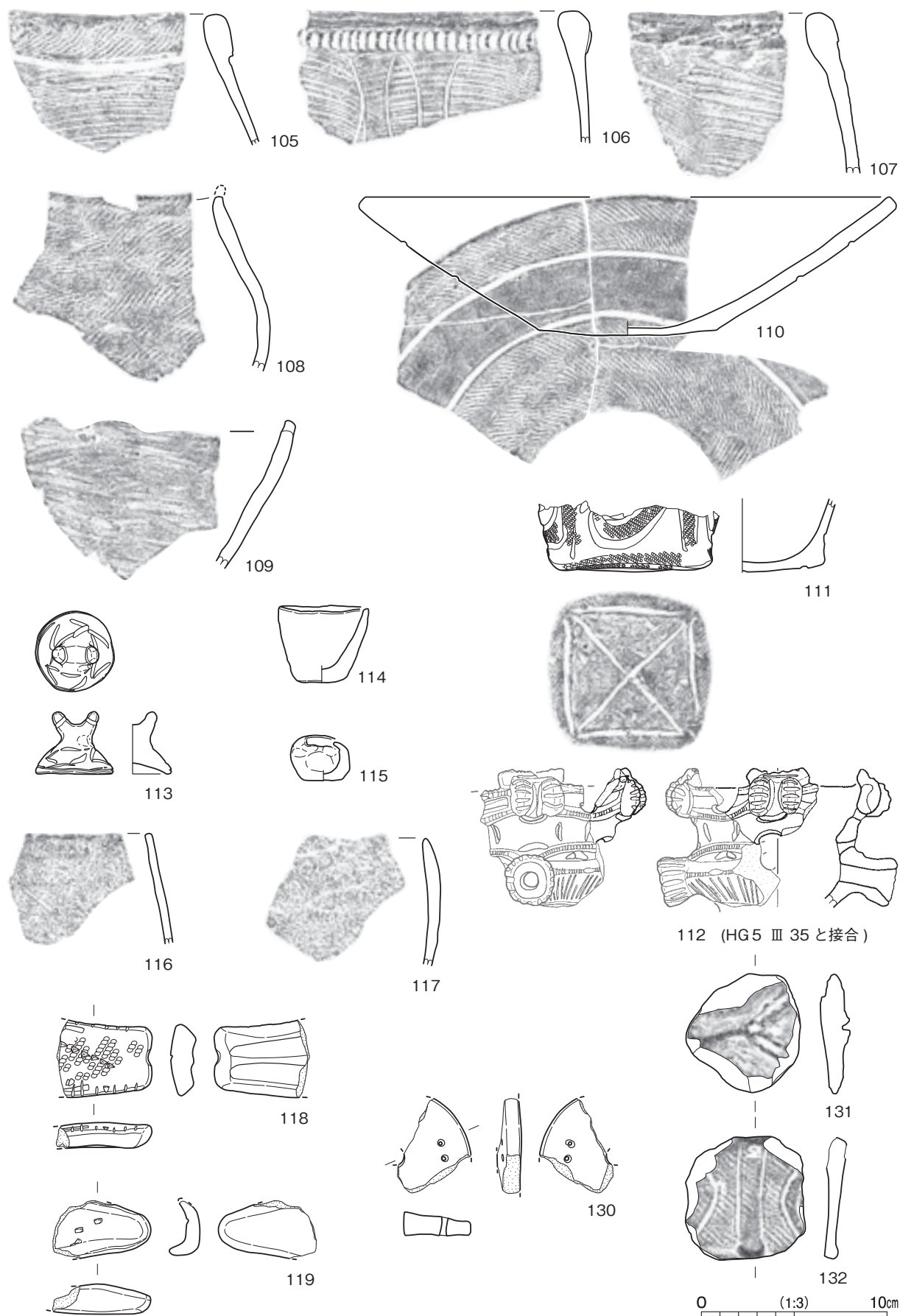
第 380 图 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (8)



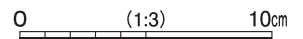
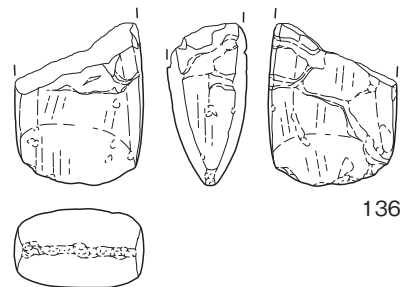
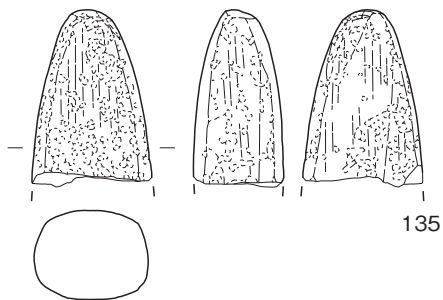
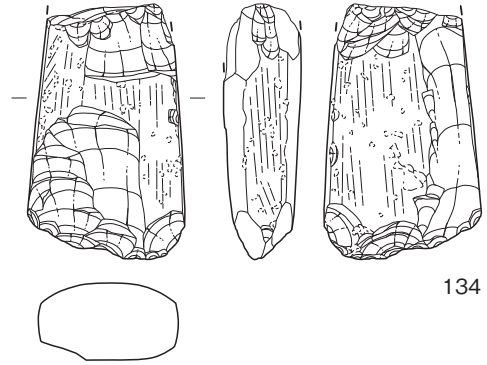
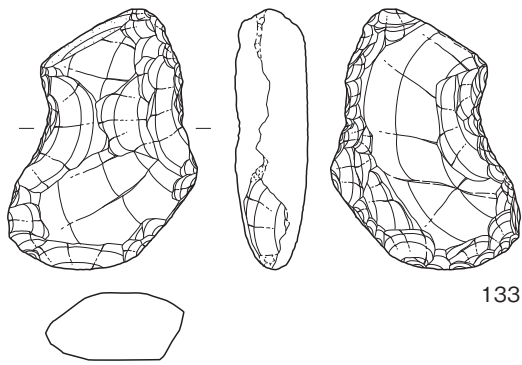
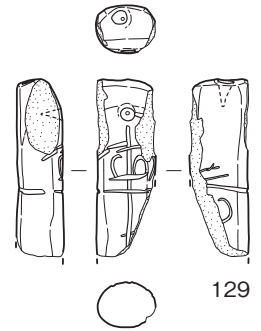
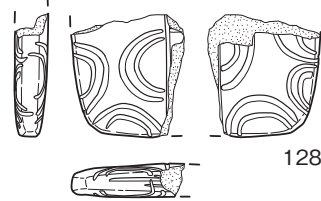
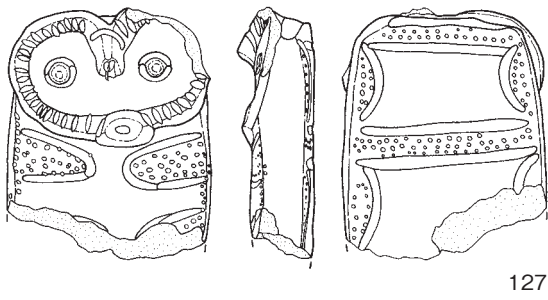
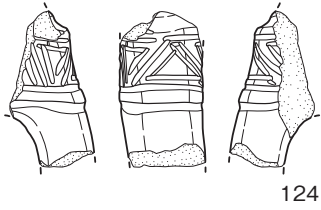
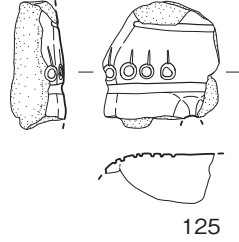
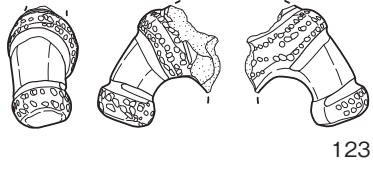
第381図 第5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(9)



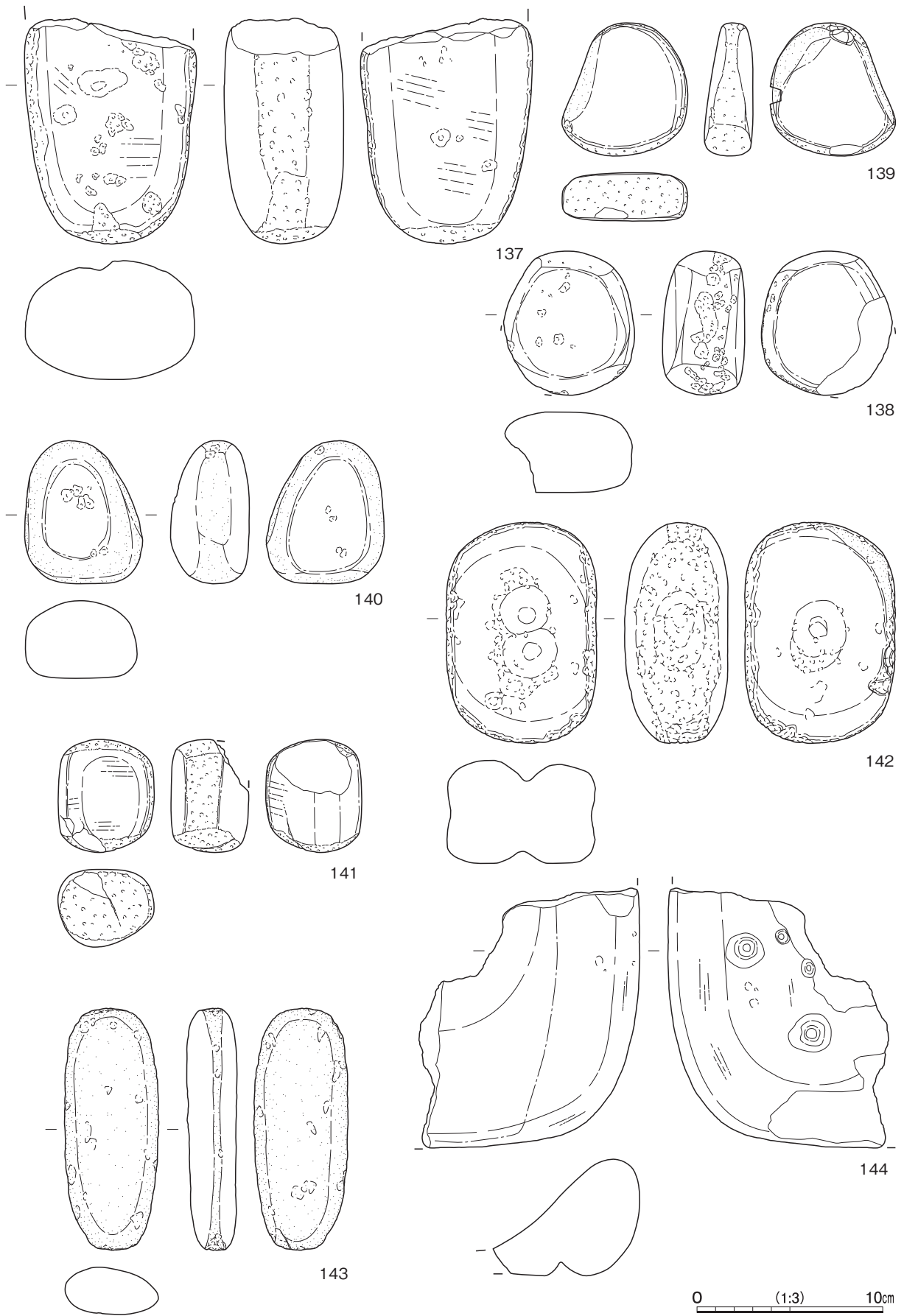
第 382 図 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (10)



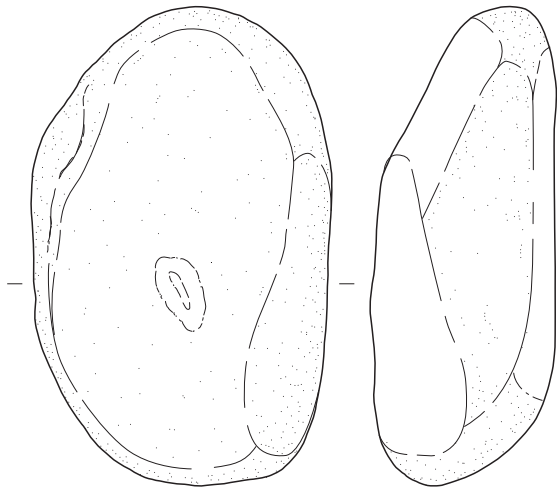
第383図 第5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(11)



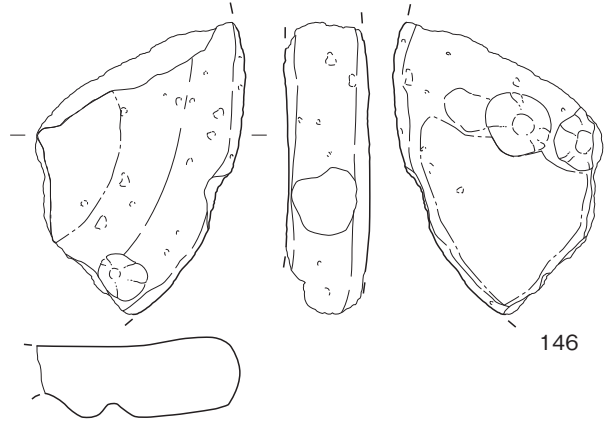
第 384 图 第 5 号 遺物 包含 層 第 IV 層 出 土 遺 物 實 測 圖 (12)



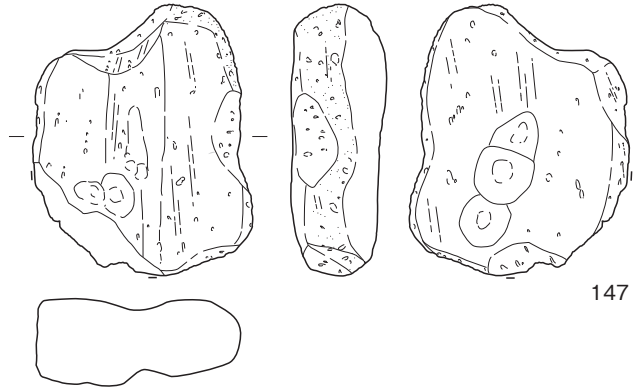
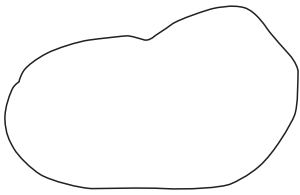
第385図 第5号遺物包含層第IV層出土遺物実測図(13)



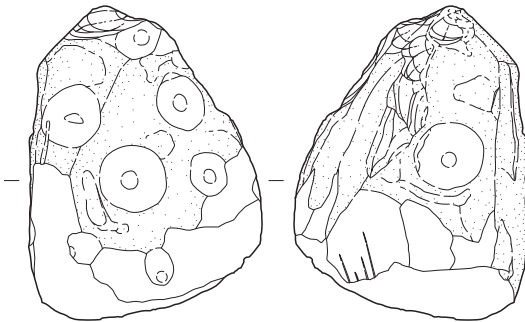
145



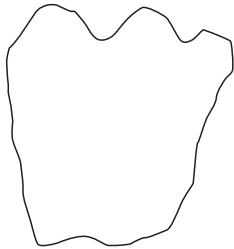
146



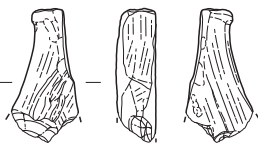
147



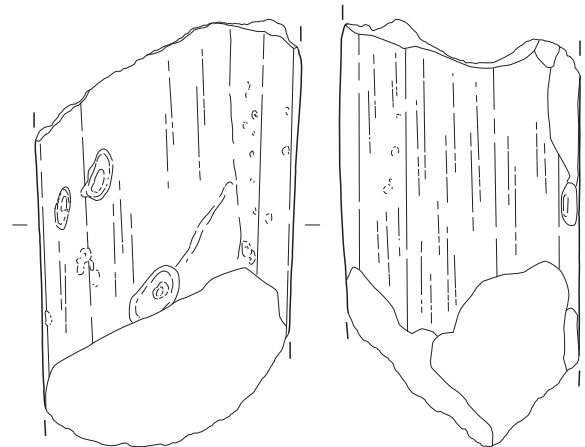
148



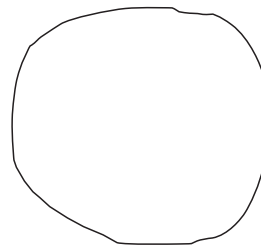
149



150



151



0 (1:3) 10cm

第 386 図 第 5 号遺物包含層第 IV 層出土遺物実測図 (14)

第245表 第5号遺物包含層第IV層出土未掲載土器集計表

群	第1群		第2群		第3群		第4群		第5群			第6群			第7群			第8群	
類	前期前半	中期後半	称名寺I式	称名寺II式	堀之内1式	堀之内2式	加曾利B1式	加曾利B2式	加曾利B3式	曾谷式	安行1式	安行2式	安行3a式	安行3b式	姥山II式	安行3c式	前浦式	後期黒系統土器	晩期黒系統土器
点数	6	2	12	28	203	48	34	56	11	16	24	21	35	61	35	13	3	1	10
重量(g)	146	120	520	904	6,164	1,298	715	1,272	476	539	1,203	761	1,386	1,777	423	298	108	15	118

第246表 第5号遺物包含層第IV層出土遺物一覧(第373~386図)

群	第9群									第10群		第11群						第12群	第13群	合計		
類	沈線文	刺突文	磨消文	隆起帯縄文	紐線文(古)	紐線文(新)	格子目文	条線文	縄文	無文	底部(古)	底部(新)	浅鉢	台付鉢	注口土器	釣手土器	異形台付土器	把手	ミニチュア土器		製塩土器	細片不明
点数	1,467	580	889	503	502	415	101	3,596	3,790	6,102	389	312	142	16	6	2	1	1	3	617	-	20,053
重量(g)	28,906	10,694	13,987	10,604	11,576	11,111	2,274	59,436	65,460	95,274	18,827	9,747	3,876	1,551	169	94	13	44	30	4,612	15,106	381,634

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・繊維	にぶい黄橙	普通	ループ文(原体LRとRLカ) 器面摩滅	K C 6区	関山式
2	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・繊維	黒褐	普通	外面縄文RL	K C 6区	黒浜式
3	縄文土器	深鉢	[29.2]	(23.5)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部内面に捻転したC字文 外面縄文LR充填のJ字文 内面磨き 3・4同一個体	K D 8区	40% PL119 称名寺I式
4	縄文土器	深鉢	[29.2]	(13.0)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部内面に捻転したC字文 外面縄文LR充填のJ字文 内面磨き 3・4同一個体	K C 9区	10% 称名寺I式
5	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	波状口縁波頂部 縄文LR充填の磨消縄文 無文部磨き 内面磨き	K C 4区	称名寺I式
6	縄文土器	深鉢	[30.0]	(26.9)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部に横帯化した窩紋連携沈文を持つC字貼付文 刺突充填によるJ字文 無文部磨き 内面磨き	K C 8・K D 4・K D 6・K D 8・K E 7区	30% 称名寺II式
7	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英	明赤褐	普通	波状口縁波頂部 外面充填刺突文によるJ字文カ 無文部磨き 内面磨き	K C 4区	称名寺II式
8	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面ナデ調整後沈線による斜行文 内面ナデ	K D 6区	称名寺II式
9	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面斜行沈線文 内面ナデ	K C 7区	称名寺II式
10	縄文土器	両耳壺	-	(5.0)	-	長石・石英	褐	普通	橋状把手部 浅い凹線施文 外・内面ナデ	K C 7区	称名寺式
11	縄文土器	深鉢	[22.8]	(21.6)	-	長石・石英	褐	普通	縄文RL→単沈線による懸垂文と2本1単位の連携沈線文 内面ナデ	K E 5区	20% PL119 堀之内1式
12	縄文土器	深鉢	-	(29.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	波状口縁 外面縄文RL→刻みのある紐線貼付で縦帯・横帯の区画→4本1単位の沈線で渦巻文と連携沈線文	K B 7区	25% 堀之内1式
13	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英	褐	普通	波状口縁 口唇部に円形刺突と沈線 RL地縄文→縦帯に紐線文→半截竹管状工具で沈線充填	K C 9区	堀之内1式
14	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英	褐	普通	波状口縁 口唇部凹線 波長部表裏面に凹点 LR地縄文→波頂部下に紐線文→充填刺突文 内面ナデ	K E 3区	堀之内1式
15	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	波状口縁 波頂部に捻転したC字文 口縁部に円形刺突と沈線・紐線 縄文RL→紐線貼付→沈線	G C 5区	堀之内1式
16	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・赤色	にぶい黄橙	普通	口縁部に円形刺突と沈線 外面縄文LR→紐線貼付内面ナデ	K D 7区	堀之内1式
17	縄文土器	鉢	-	(5.7)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部が屈曲する鉢カ 口縁部に捻転状の突起 C字状隆起帯と対弧状の沈線 胴部沈線カ 内面磨き	G区x	加曾利B2式
18	縄文土器	深鉢	-	(12.1)	-	長石・石英	褐	普通	波状口縁 口唇部沈線 外面縄文LR→集合沈線文内面粗い磨き	K C 6区	堀之内1式
19	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英	褐	普通	波状口縁 口唇部凹線 縄文LR→集合沈線文内面粗い磨き	K C 6区	堀之内1式
20	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英	褐	普通	波状口縁 口唇部凹線 縄文LR→集合沈線文内面ナデ	K C 4区	堀之内1式
21	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	波状口縁 外面櫛歯状工具で集合沈線文施文内面磨き	K C 6区	堀之内1式
22	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・赤色	にぶい褐	普通	口縁部に狭い無文帯 RL地縄文→半截竹管状工具で集合沈線文 内面磨き	G D 5区	堀之内1式
23	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・赤色	にぶい黄褐	普通	外面無節L地縄文→単沈線による懸垂文 内面粗い磨き	K C 9区	堀之内1式
24	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・赤色	にぶい黄褐	普通	外面縄文LR→半截竹管状工具による集合沈線文内面ナデ	K C 5区	堀之内1式
25	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・赤色	灰黄褐	普通	外面縄文RL→櫛歯状工具による集合沈線文 内面粗い磨き 口縁部に沈線	K C 5区	堀之内1式
26	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 口唇部沈線 肥厚 外面縄文LR→半截竹管状工具による懸垂文 内面磨き	G E 4区	堀之内1式
27	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面削り→2本1単位の沈線で稲妻状文 内面磨き	K C 9区	後期後葉
28	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英	褐	普通	波状口縁 口唇部・内面口縁部沈線 外面口縁部紐線文 LR縄文充填の横帯文 無文部・内面磨き	K C 8区	堀之内2式
29	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部に横長の突起と貫通孔8か所 外面無文で磨き調整 内面磨き	K D 8区	堀之内2式
30	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部短く内屈 刺突文 頸部無文 磨き調整 内面磨き	K C 5区	堀之内2式
31	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・赤色	褐	普通	外面櫛歯状工具による蛇行文 内面ナデ	K C 9区	後期前葉
32	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英	橙	普通	波状口縁 口唇部凹線 外面縄文LR 内面ナデ 口縁部に凹線	K B 4区	堀之内1式
33	縄文土器	深鉢	[19.8]	(15.6)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	4単位の波状口縁 波頂部口唇部に刻み 内面口縁部に凹線 外面縄文LR 内面磨き	K C 4区	60% PL119 後期前葉
34	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英	暗赤褐	普通	波状口縁 外面縄文LR 内面ナデ 口縁部に凹線	K E 7区	後期前葉
35	縄文土器	深鉢	[28.0]	(21.9)	-	長石・石英・赤色	橙	普通	外面縄文LR 内面ナデ	K E 5区	40% 後期前葉
36	縄文土器	深鉢	-	(21.8)	-	長石・石英・赤色	橙	普通	波状口縁 外面縄文LR 下半削り 内面粗い磨き	K E 7区	10% 後期前葉

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
37	縄文土器	深鉢	[26.5]	(13.6)	-	長石・石英	褐	普通	外面縄文LR 内面ナデ 口縁部凹線	KC7・KE9区	10% 後期前葉
38	縄文土器	浅鉢	[30.8]	14.2	13.0	長石・石英	にぶい黄褐	普通	3単位波状口縁 波頂部耳状突起側面に円形刺突文 内面口縁部に沈線 外・内面磨き 底面網代痕	GC5区	50% PL120 堀之内2式
39	縄文土器	浅鉢	13.8~ 15.2	7.8	6.5	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部に4単位の刻みを有する突起 口唇部に刻み 内面口縁部に2条の沈線 外面ナデ 下半削り 底部ヘラナデ	KC8区	100% PL120 堀之内2式
40	縄文土器	深鉢	13.5~ 13.8	15.8	6.0~ 6.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	口縁部外反 頸部沈線→縄文LR 胴部・底面磨き 内面磨き	KB6区	100% PL119 加曾利B1式
41	縄文土器	深鉢	-	(14.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	縦い波状口縁 波頂部耳状突起 胴部無節し縄文充填の横帯文 無文部磨き 内面ナデ 口縁部2条の沈線	KC4区	加曾利B1式
42	縄文土器	深鉢	-	(14.2)	-	長石・石英・赤色粒子	黒褐	普通	突起を有する平縁 口縁部3段の無節し隆起帯縄文 隆起帯間凹線状のナデ 胴部RL縄文帯 内面粗い磨き	KC4区	安行1式
43	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部短く内屈 口唇部に刻みと凹線 縄文LR充填の2段の横帯文 区切り文 焼成後穿孔の補修孔3か所確認	KC5区	10% 加曾利B1式
44	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部短く内屈 内面に2条の沈線 縄文LR充填の4段の横帯文 無文部・内面磨き	KD5区	加曾利B1式
45	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部短く内屈 縄文LR充填の5段の横帯文 無文部・内面磨き	KE6区	加曾利B1式
46	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部に粘土紐状の突起2か所 縄文RL→杵状文カ 無文部・内面ナデ	KE2区	後期後葉
47	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	LR磨消縄文によるクラック状のモチーフ 無文部磨き 内面磨き	GD5区	後期中葉東北系
48	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	縄文LR充填の2段の横帯文 区切り対弧文 無文部・内面磨き	KC3区	加曾利B2式
49	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	胴部に無節し充填の弧線文 胴部下端にやや隆起した無節し縄文帯 内面ナデ	KC9区	後期後葉
50	縄文土器	深鉢	[32.0]	(12.2)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	口唇部山形突起 口縁部・胴部に刻み 胴部上半に矢羽根状沈線文 胴部下半横位の条線文 内面粗い磨き	KC4区	25% PL119 加曾利B2式
51	縄文土器	鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・赤色粒子	明褐	普通	口縁部LR充填の弧線文 無文部磨き 胴部刻み列と条線文 内面磨き	KC7区	加曾利B2~ 3式
52	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部短く内屈 頸部菱形条線文 胴部横帯文の字状の区切り文 無文部磨き 内面磨き	GC5区	加曾利B2式
53	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面削り後沈線間に細密沈線文充填 内面ナデ 製塩土器の器面と器形に似る	KE3区	晩期中葉
54	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口唇部小突起 口縁部に刻み列 外・内面磨き	KD5区	加曾利B2式
55	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・赤色粒子	明褐	普通	胴部屈曲鉢 口縁部短く直立 頸部LR充填の弧線文 胴部条線 内面磨き	KC4区	加曾利B2式
56	縄文土器	深鉢	[14.4]	(13.4)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部に突起・刻み 口縁部条線文 頸部沈線上に押し文 胴部RL→横位沈線→縦位蛇行沈線→底部縦磨き 内面磨き	KD6区	25% PL120 加曾利B2式
57	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部・頸部屈曲部沈線→頸部・胴部に縦位の条線 内面ナデ	KC5区	加曾利B3式
58	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英	褐	普通	口縁部刻み 頸部RL縄文帯 無文部・内面磨き	KE6区	加曾利B3式
59	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	波頂部口唇部押圧 内面に3条の凹線 口縁部・頸部紐線貼付 頸部縄文RL→半截竹管状工具の蛇行文・斜行文	KE4区	後期中葉
60	縄文土器	深鉢	[23.6]	(9.6)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部格子目文 頸部磨き 内面磨き 口縁部凹線	KC5区	10% 加曾利B3式
61	縄文土器	深鉢	-	(21.9)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口唇部突起1か所 口縁部紐線文 胴部縄文LR→半截竹管状工具による斜行文 内面口縁部2条の沈線 磨減	KC4区	20% PL120 後期前~中葉
62	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部突起 口縁部8字状貼付文と紐線文 外面縄文LR→半截竹管状工具による斜行文 内面口縁部2条の沈線	KE2区	後期前~中葉
63	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部に粘土帯貼付の突起 口縁部紐線文 外面縄文LR 内面口縁部凹線	KD5区	後期前~中葉
64	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部紐線文 外面LR縄文→半截竹管状工具による斜線文 内面口縁部に2条の凹線	KC8区	後期前~中葉
65	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	縄文RL→紐線貼付 内面磨き 口縁部に凹線	KD5区	後期前~中葉
66	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	口唇部貼付文・沈線 外面縄文RL→紐線貼付 補修孔穿孔カ 内面磨き	KC4・KC5区	10% 後期前~中葉
67	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	外面縄文LRL→紐線貼付 内面磨き 口縁部に沈線	KC9区	後期前~中葉
68	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	[6.9]	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面縦位の磨き 内面ナデ 底部やや上げ底状 ナデ	KD4区	20% 後期前~中葉
69	縄文土器	浅鉢	[48.4]	(15.9)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	外面縄文LR 内面口縁部9条の沈線	KC5区	20% 後期前~中葉
70	縄文土器	鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	外面胴部縄文LR充填の横帯文 無文部磨き 内面磨き	KD5区	加曾利B2式
71	縄文土器	浅鉢	[8.1]	4.1	-	長石・石英	明黄褐	普通	外面胴部縄文LR充填の横帯文 ノの字状区切り文 内面磨き	KD9区	50% 加曾利B1~2式
72	縄文土器	浅鉢	[35.8]	(7.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	外面口縁部磨き 胴部削り 内面磨き	KC8区	10% 後期 中葉
73	縄文土器	浅鉢	[48.0]	(6.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒褐	普通	外面口縁部磨き 胴部削り 内面磨き	KC4区	後期中葉
74	縄文土器	船底形土器	短軸側 11.8	(7.1)	9.0~ 10.4	長石・石英	橙	普通	外・内面無文・磨き 底部磨き	KB5区	95% PL120 後期前~中葉
75	縄文土器	壺カ	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	波状 頸部隆帯 外・内面磨き	KD3区	後期前~中葉
76	縄文土器	注口土器	-	(6.7)	-	長石・石英	橙	普通	注口部欠損 注口直上に貼付帯あるが欠損により形状不明 外・内面磨き	KC7区	後期前~中葉
77	縄文土器	注口土器	-	(6.6)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	橋状把手 縄文LR充填の磨消縄文	KC3区	後期前~中葉
78	縄文土器	注口土器	-	(4.1)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部突起	KD4区	加曾利B1式
79	縄文土器	注口土器	-	(3.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	櫛歯状工具による沈線文 8字状文	KC3区	加曾利B1式
80	縄文土器	鉢	-	(6.9)	9.9	長石・石英	橙	普通	外面沈線による渦巻文と杵状文 無文部磨き 底面・内面磨き HG5Ⅲ12と接合	KE5区	20% PL113 堀之内2式
81	縄文土器	注口土器	-	(7.2)	2.5	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	胴部微隆起帯によるつ字状文 磨き調整	GC5区	80% PL121 東北系
82	縄文土器	台付壺形カ	-	(7.8)	7.8~ 8.2	長石・石英・雲母	黒褐	普通	台付鉢台部 円形透孔3単位 外面無文部磨き 内面ナデ 底面網代痕	KC5区	50% 後期中葉
83	縄文土器	釣手土器	-	(5.7)	-	長石・石英	明赤褐	普通	天井部~橋状部 天井部に穿孔 刻み隆帯 隆帯脇に沈線	KE3区	PL119 後期後葉
84	縄文土器	鉢	-	(12.3)	-	長石・石英	褐	普通	口縁部RL充填縄文帯 胴部RL充填の対弧文 無文部磨き 内面磨き	KB5区	加曾利B3~曾谷式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
85	縄文土器	深鉢	-	(16.0)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 口縁部LR充填の縄文帯 胴部LR充填の交互弧線文 内面磨き	G C 5区	加曽利B3~曾谷式
86	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・赤色粒子	明褐	普通	波状口縁 口縁部・頸部屈曲部刻み 口縁部にRL充填の縄文帯 内面磨き	K E 4区	加曽利B3~曾谷式
87	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	波状口縁 口縁部に2条の刻み列 LR縄文充填の縄文帯 無文部・内面磨き	K C 3区	加曽利B3~曾谷式
88	縄文土器	鉢	[16.3]	(8.7)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	波状口縁 口縁部矢羽根状沈線→縄文RL 胴部RL充填のレンズ状文・縄文帯 内面磨き	K C 8区	10% 曾谷式
89	縄文土器	注口土器	-	(7.3)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	注口部剥落 胴部2段のRL隆起帯縄文と沈線文 粘土粒状の瘤貼付 下半削り 内面ナデ	K C 5区	10% 曾谷式
90	縄文土器	台付鉢	-	(14.0)	[15.2]	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	胴部高(9.9)cm 台部高(4.8)cm RL充填の弧線文	K C 3区	15% 加曽利B3~曾谷式
91	縄文土器	台付鉢	-	(9.4)	[14.2]	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	台部 交互弧線文をネガで描き縄文LR充填 内面ナデ 底面圧痕あり	G D 5区	20% 加曽利B3~曾谷式
92	縄文土器	深鉢	18.7~24.4	(21.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	4単位波状 口縁部4帯のRL隆起帯縄文 頸部2帯のRL隆起帯縄文と押し引き状刺突列 胴部RL充填の交互弧線文	K C 4・K C 5区	80% PL120 安行1式
93	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	波状口縁 口縁部3帯のRL隆起帯縄文 頸部斜条線と縦位区画文 内面磨き	G C 5区	安行1式
94	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	口縁部2帯のRL隆起帯縄文 頸部RL充填の弧線文 無文部・内面磨き	K C 5区	安行1式
95	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	波状口縁 口縁部RL隆起帯縄文 刻み隆帯による三角形区画文 無文部・内面磨き	K C 3区	安行2式
96	縄文土器	深鉢	[20.6]	(5.6)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	RL隆起帯縄文による棒状文 口縁部肥厚 刻みのない縦長瘤貼付 内面ナデ	K C 3区	10% 安行2~3a式
97	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部RL隆起帯縄文 焼成後穿孔1か所 刻み隆帯による三角形区画文 頸部矢羽根状沈線文 無文部・内面磨き	K D 7区	安行2式
98	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	波状口縁 鱗状突起と押圧の豚鼻瘤 RL隆起帯縄文による三角形区画文 隆起帯腸凹線状	K D 7区	安行3a式
99	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	波状口縁波頂部 RL隆起帯縄文による三角形区画文 無文部・内面磨き	K D 6区	安行3a式
100	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	LR隆起帯縄文による三角形区画文 口縁部の肥厚弱棒状の波頂部に押圧の豚鼻瘤+窩文のある瘤	K D 3区	安行3a式
101	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	瓢形 無節R隆起帯縄文による棒状文と入り組み三又文 焼成前穿孔1か所 無文部磨き	K D 4区	安行3a式
102	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	頸部RL充填の入り組み三又文カ 胴部・内面磨き	K C 8区	大洞B1式
103	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	波状口縁波底部 RL充填の稲妻状文 口縁部の肥厚弱 無文部磨き	K C 9区	安行3a式
104	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	細密沈線文充填 無文部磨き 内面ナデ	K D 6区	姥山II式
105	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部肥厚 LR隆起帯縄文 頸部横位の条線 内面ナデ	K C 5区	晩期前葉
106	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	頸部横位の条線→口縁部縦線貼付→頸部に対向弧線文→弧線部分磨り消し	K C 5区	晩期前葉
107	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部肥厚 口縁部削りて隆帯状作出 頸部横位の条線 内面ナデ	K C 3区	晩期前葉
108	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部突起欠損 外面縄文LR 内面ナデ	K C 4区	晩期前葉
109	縄文土器	鉢	-	(8.3)	-	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部山形状突起 外・内面削り→ナデ	K D 6区	晩期前葉
110	縄文土器	浅鉢	[29.0]	(7.4)	9.6	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	外面RL充填の横帯文 無文部磨き 内面・底部磨き	K C 3区	25% PL120 安行3b式
111	縄文土器	角底土器	-	(3.9)	8.5	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	RL充填の磨消縄文 底面に沈線で×文 内面磨き	K C 3区	20% 晩期前葉
112	縄文土器	異形台付土器	[9.4]	(7.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	磨滅顕著 口縁部刻み隆帯と2個対の刻みのある縦長瘤貼付 胴部刻み隆帯 HG 5 III 35と接合	K D 5区	20% PL111 安行2式
113	縄文土器	ミニチュア土器	-	3.4	4.2	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	蓋 V字状のつまみ 沈線による菱形文 内面ナデ	K D 2区	100% PL121 晩期前葉
114	縄文土器	ミニチュア土器	4.7	4.2	2.7	長石・石英	橙	普通	外・内面指頭によるナデ	K C 3区	100% PL121
115	縄文土器	ミニチュア土器	1.4	2.5	2.0	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	指頭による整形	K D 3区	100% PL121
116	縄文土器	製塩土器	-	(5.9)	-	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口唇部内削り状 外面削り 内面ナデ	K E 3区	
117	縄文土器	製塩土器	-	(6.9)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部未調整 外面剥離 内面ナデ	K D 7区	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
118	手燭形土製品	(4.2)	(5.1)	(1.4)	(33.5)	長石・石英	にぶい褐	柄部 縄文LR施文後押し引き状刺突文 周縁部刻み背面に2条の凹線	K D 6区	PL121
119	匙形カ	(3.1)	(5.3)	(1.6)	(18.3)	長石・石英	にぶい褐	匙部内面に刺突 磨き調整	G C 4区	PL121
120	土偶	(5.0)	(5.3)	(3.3)	(64.1)	長石・雲母	にぶい黄褐	山形 左腕部片 肩~背面にLR充填の磨り消し縄文	G区x	
121	土偶	(4.0)	(5.1)	(3.7)	(52.8)	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	ミニズク形 右肩~胸部片 肩部から刻みのある隆帯 背面に無節R充填の磨り消し縄文	K C 6区	PL121
122	土偶	(3.9)	(3.4)	(2.3)	(24.6)	長石・石英・赤色粒子	褐	右腕部片 肩から胸に凸帯 沈線 頸部沈線の上に刻み 縄文RL	K C 4区	PL121
123	土偶	(4.8)	(4.8)	(2.8)	(39.6)	長石・石英	橙	右腕部片 隆帯上に細かい刺突文 無文部磨き	K D 7区	PL121 晩期中~後葉
124	土偶	(6.2)	(3.3)	(3.4)	(52.9)	長石・石英	橙	左脚部片 沈線による三角形文	K C 9区	
125	土偶	(5.0)	(4.6)	(2.2)	(45.2)	長石・石英	にぶい黄褐	山形 背面片 左胸~脚部 竹管状工具による刺突	K D 6区	
126	土偶	(7.5)	(5.0)	(5.2)	(118.5)	長石・石英・雲母	黄灰	中空 右脚部片 RL充填の入り組み三又文・磨り消し縄文 内股部沈線 断面に黒色付着物 漆の接着材カ	K C 7区	PL121 晩期前葉
127	人面付土版	(10.0)	8.2	3.0	(254.3)	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	ミニズク土偶の顔面貼付 正表面刺突充填の弧線文 裏面充填刺突文で横帯区画 上端部に沈線文	K C 3区	PL121 安行3b式
128	土版	(4.9)	(4.5)	(1.3)	(29.4)	長石・石英	黒褐	縦位の正中線を挟んで対向する弧線文 周縁部に弧線文 表裏同一文様カ	K D 3区	PL121 安行3c式
129	土版カ	(2.4)	(7.0)	(1.9)	(34.2)	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	表面上部・上縁部に盲孔 側面上部に剥離痕あり 短く腕部が存在するか 沈線による縦横区画と弧線文	K D 3区	晩期中葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
130	有孔円盤	(5.1)	(4.0)	(1.3)	(18.7)	長石・石英	にぶい橙	ナデ調整 中央に1孔 周縁部に穿孔2か所	KD7区	
131	土器片円盤	6.4	6.2	1.7	42.2	長石・石英・赤色 粒子	にぶい黄褐	網取1式深鉢片利用 周縁打ち欠き	KD4区	後期前葉
132	土器片円盤	6.7	6.5	1.2	48.7	長石・石英	にぶい黄褐	安行2式深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	KC5区	後期後葉

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
133	打製石斧	10.3	7.5	2.9	271.1	砂岩	分銅形 表裏面とも磨減顕著	KE6区	
134	磨製石斧	(10.2)	(6.3)	(3.1)	(273.1)	砂岩	定角式 基部・刃部欠損	KE8区	
135	磨製石斧	(7.1)	(4.8)	(3.6)	(156.4)	砂岩	定角式 基部 表裏・側面に細かい敲打痕	KE2区	PL121
136	磨製石斧	(6.4)	(5.1)	(3.1)	(138.2)	砂岩	定角式 刃部 先端部敲打痕	KD3区	
137	磨石	(12.2)	9.3	6.4	(1088.7)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 表面に凹痕 側縁部・下端部敲打痕 被熱	KE6区	
138	磨石	7.8	(7.1)	4.4	(370.1)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕 一部敲打痕 被熱	KD4区	
139	磨石	7.2	6.8	2.6	175.0	砂岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	KE6区	
140	磨石	7.7	6.4	4.3	301.1	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕 被熱	KE3区	
141	磨石	6.1	5.2	4.2	(193.1)	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 上下端ざらつきのある摩耗痕	KE3区	
142	敲石	11.9	8.1	5.6	881.4	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+凹痕 側縁部・上下端部に敲打痕	KD9区	PL121
143	敲石	13.0	5.1	2.7	246.1	安山岩	上下端部に敲打痕	KC9区	PL121
144	石皿	(14.0)	(11.9)	(6.5)	(1153.7)	安山岩	表面光沢のある磨り面 裏面に凹痕	KC9区	PL121
145	台石	19.0	11.9	7.4	2151.0	流紋岩	凹痕1面のみ	KC3区	
146	石皿	(11.6)	(8.4)	3.4	(345.3)	安山岩	表面磨り面 裏面磨り面+凹痕	KC7区	
147	石皿	10.8	8.7	3.8	(302.0)	安山岩	表裏面磨り面+凹痕 上端部研磨 側縁部に敲打痕 被熱	KC7区	
148	凹石	12.5	9.3	9.9	1362.8	凝灰岩	表面光沢のある磨り面+凹痕 裏面凹痕	GD5区	
149	砥石	3.5	3.3	3.0	32.2	砂岩	多面体砥石 線状の研磨痕 被熱	KE2区	
150	砥石	(5.3)	(2.7)	(1.6)	(18.4)	砂岩	棒状 上下端を除く4面に剣真子	KD4区	
151	砥石	(17.0)	10.6	9.6	(2504.6)	緑色片岩	大形石棒の再利用 表裏面光沢のある磨り面+凹痕 側縁部も研磨 被熱	KC3区	PL121

vii) 第V層

第4・5号遺物包含層 (第387～432図 第247～250表 PL44・46～51・122～133)

位置 調査L区のF6g2～G5c3区、北東方向へ延びる谷部から低地部にかけて位置している。確認面の標高は17.0～18.2mである。

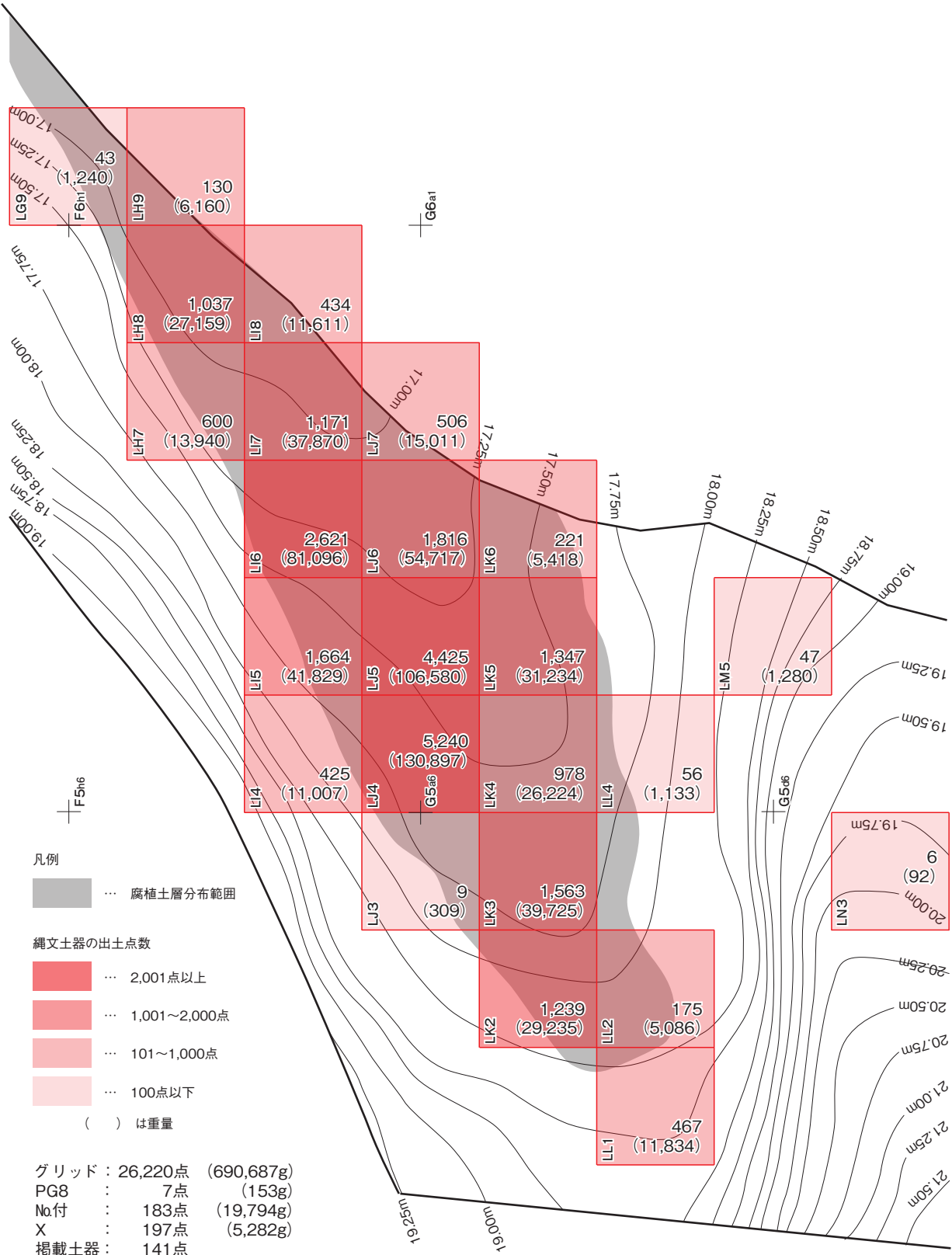
確認状況 調査区西部のG5b3・c3区を谷頭として、北東方向へ帯状に延びる腐食土層が確認できた。西側の調査K区から続く谷の最下部に相当し、湧水を伴う低湿地の様相を呈している。

調査方法 4層に大別して掘削し、第V-1～3層を最上層(1x)とし、第V-4・5層を上層(2x)、第V-6層を中層(3x)、第V-7・8層を下層(4x)として遺物の取り上げを行った。

重複関係 第4・5号遺物包含層第IV層が上部に形成されている。

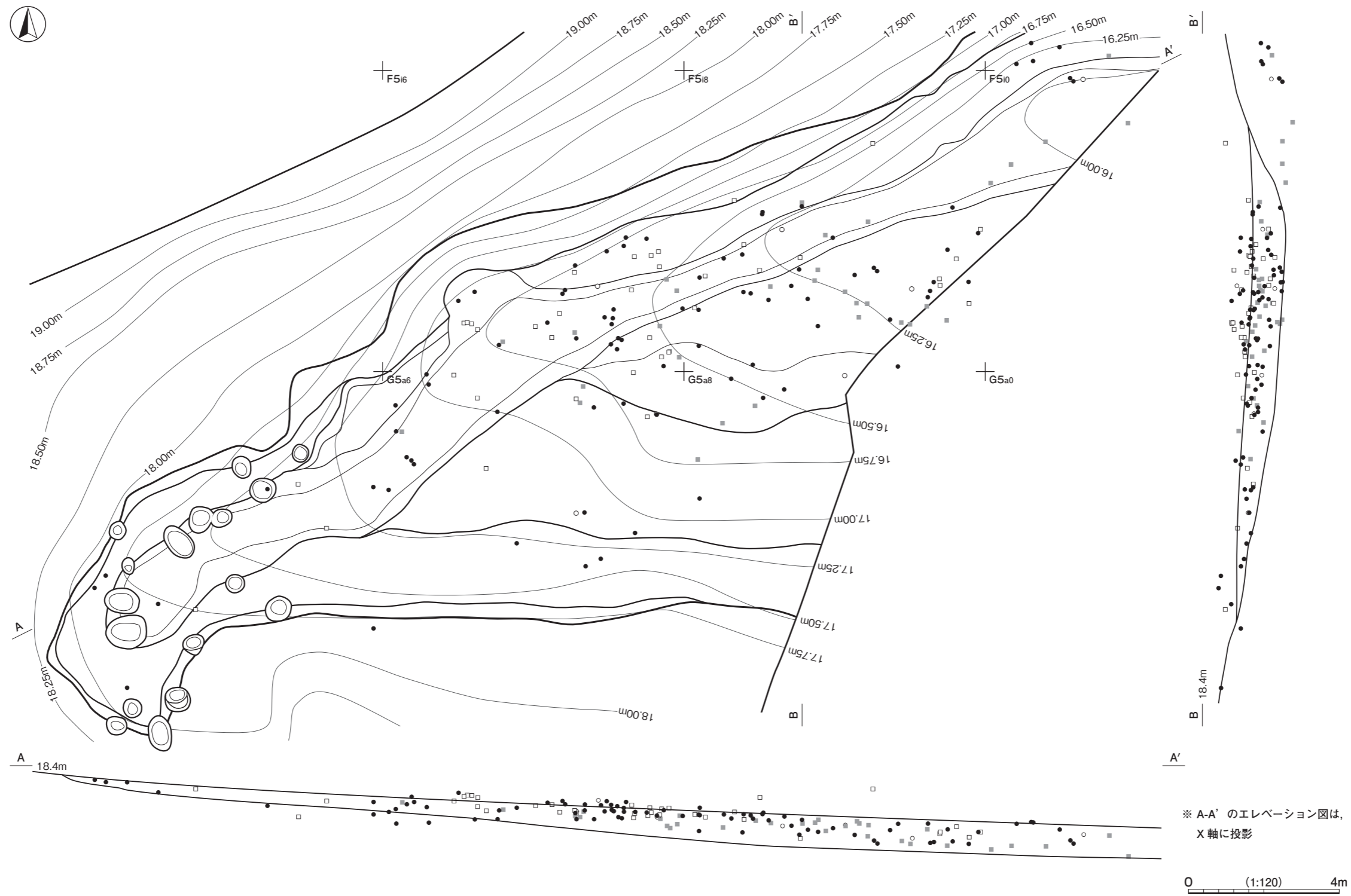
分布範囲 北東方向(N-68°-E)へほぼ直線的に延びている。確認できた長さは44.00mで、北東部は調査区域外へ延びている。上幅は3.66～12.32m、下幅は0.92～2.04mで、底面は台地斜面部の裾部に沿うように、北壁際が溝状に凹んでいる。深さは7～87cmで、G5a6区(LJ4区)付近から深くなっている。北壁は約40度の勾配で外傾し、南壁は10～20度の勾配で緩やかに立ち上がっている。

木道1 北東部のF5i9～j0区に位置し、第V-1～3層を除去した段階で確認でき、第V-4層の上面に敷設されている。自然木12本が、北西-南東方向(N-62°-W)に並んでおり、南東部が調査区域外へ延びている。確認できた規模は、長さ2.97m以上、幅1.63mである。上面の標高は17.19～17.32mで、傾斜角は3度である。自然木は長さ32～276cm、径7～27cmの枝・幹材を使用し、いずれも樹皮が残っている状態で、伐採痕は腐朽のため不鮮明であった。樹種は、トネリコ属シオジ節が1点で、その他はすべてクリである。

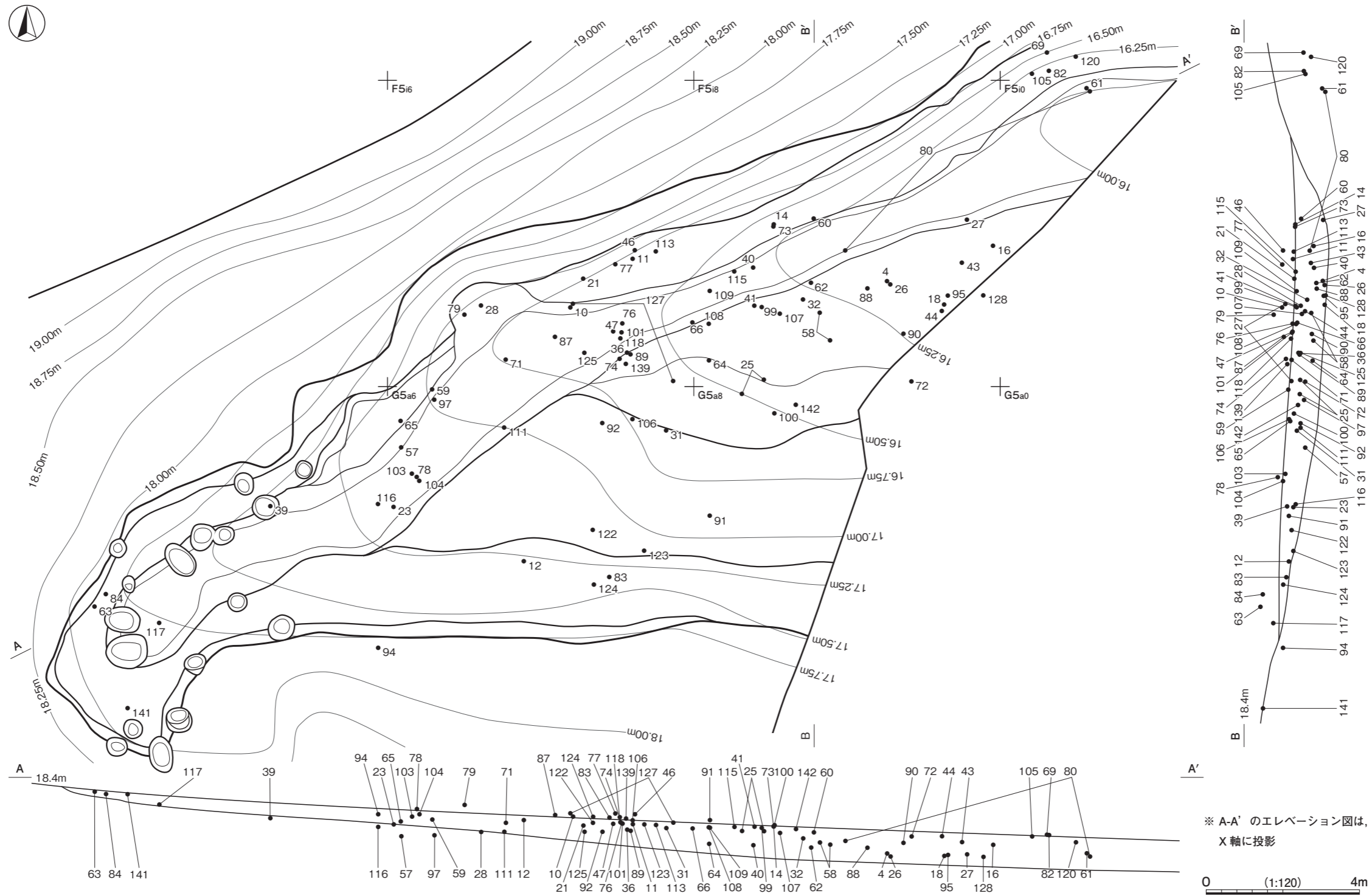


0 (1:200) 4m

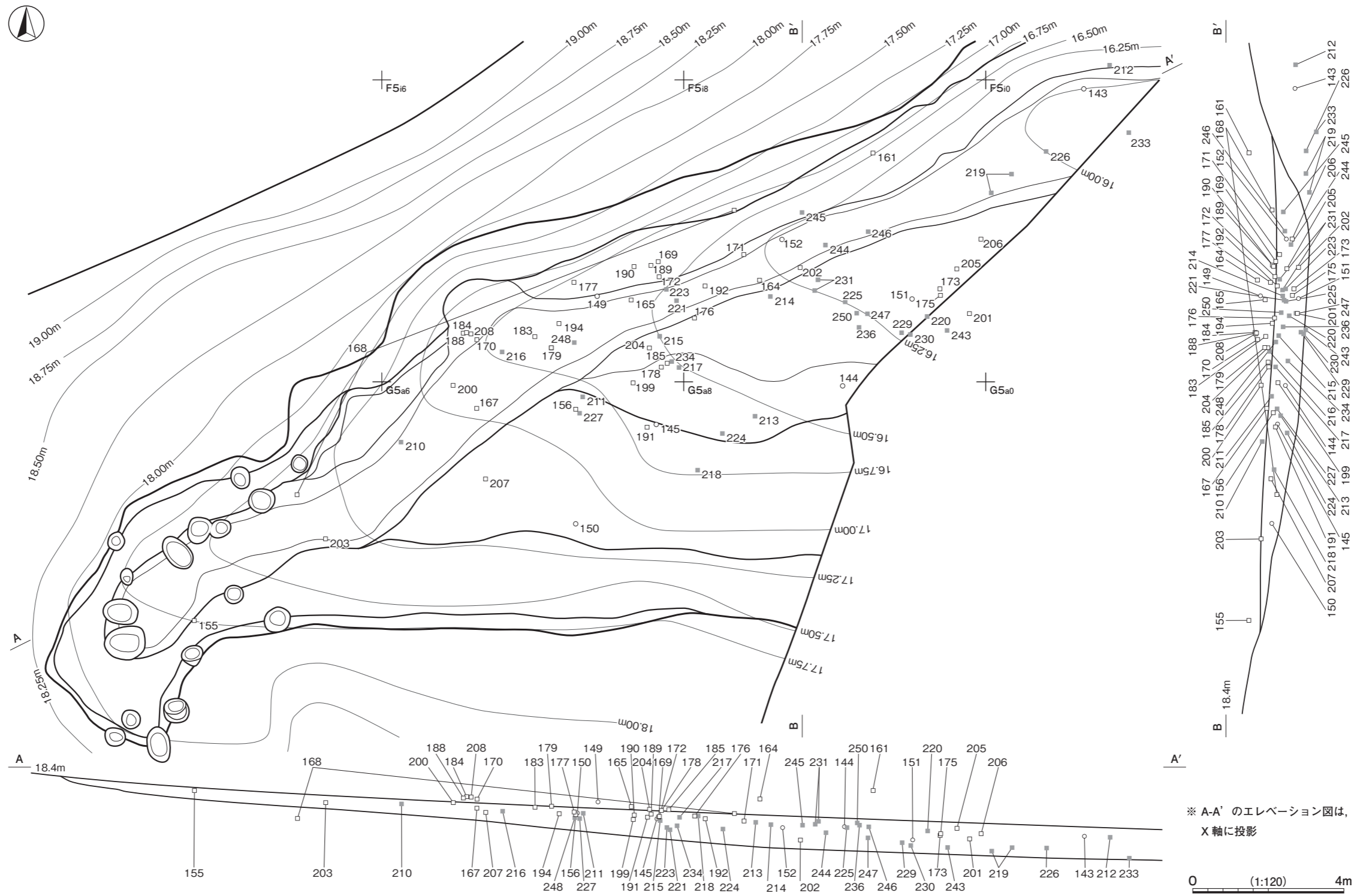
第387図 第4・5号遺物包含層第V層実測図(1)



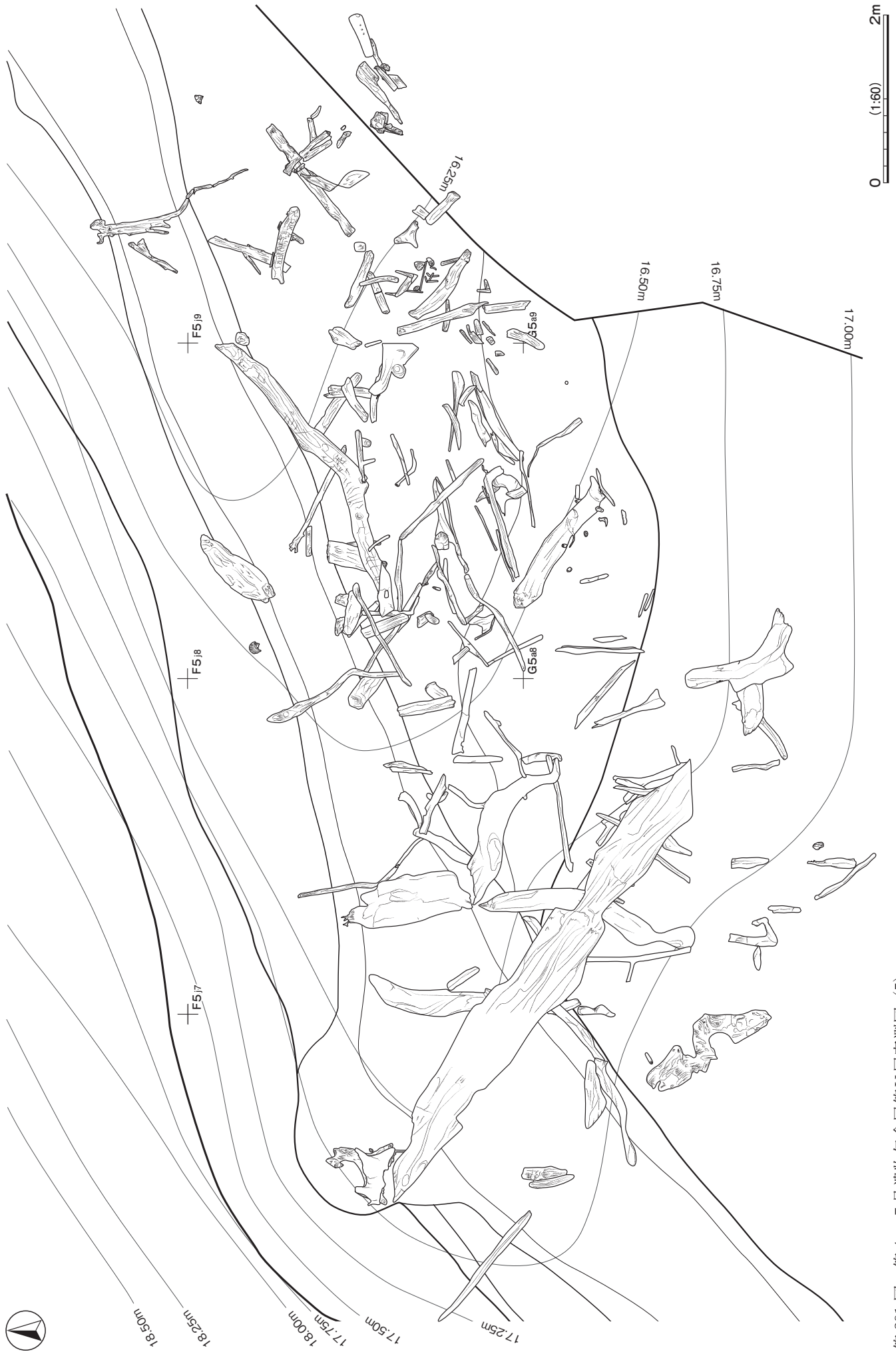
第388図 第4・5号遺物包含層第V層実測図(2)



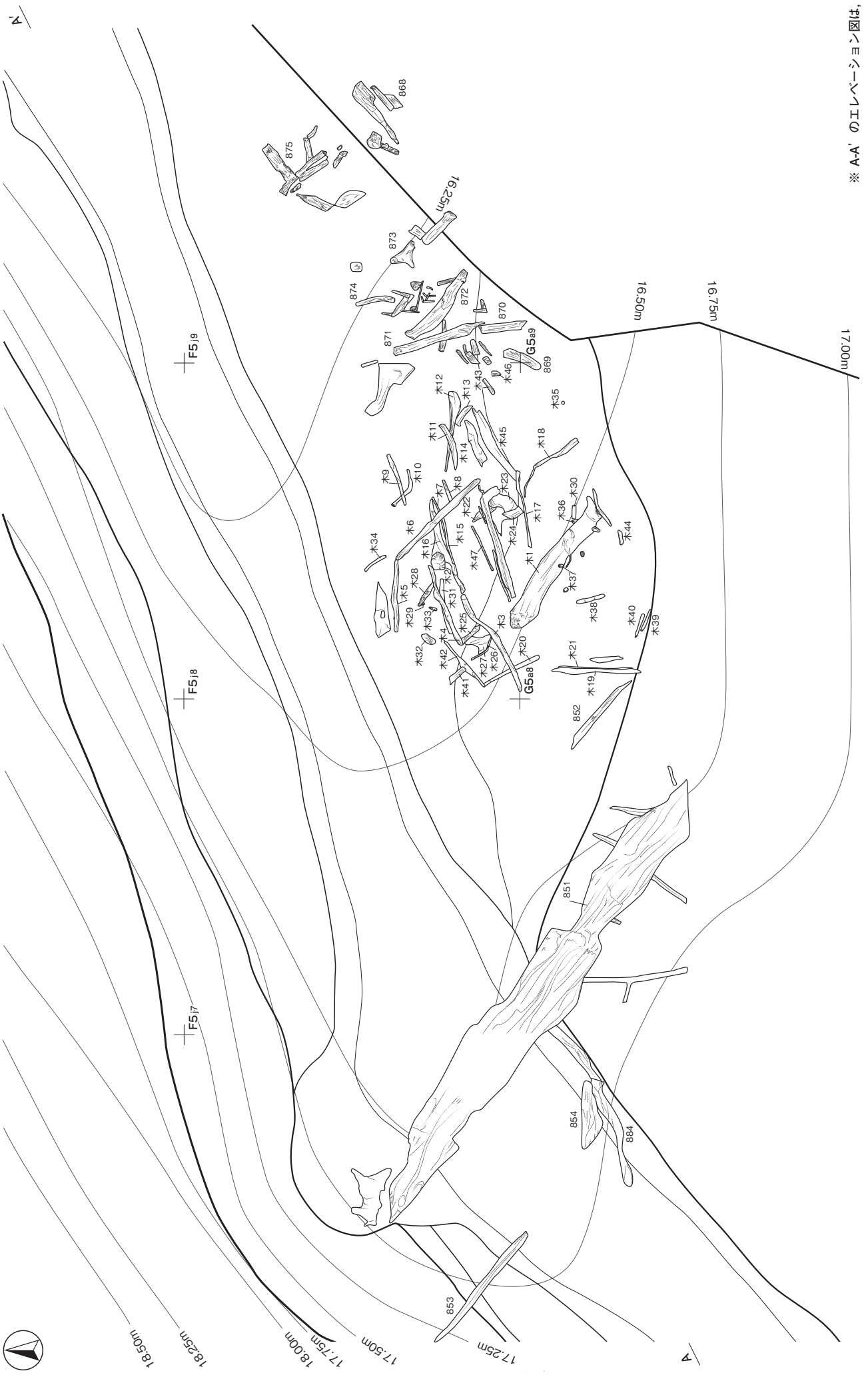
第389図 第4・5号遺物包含層第V層実測図(3)



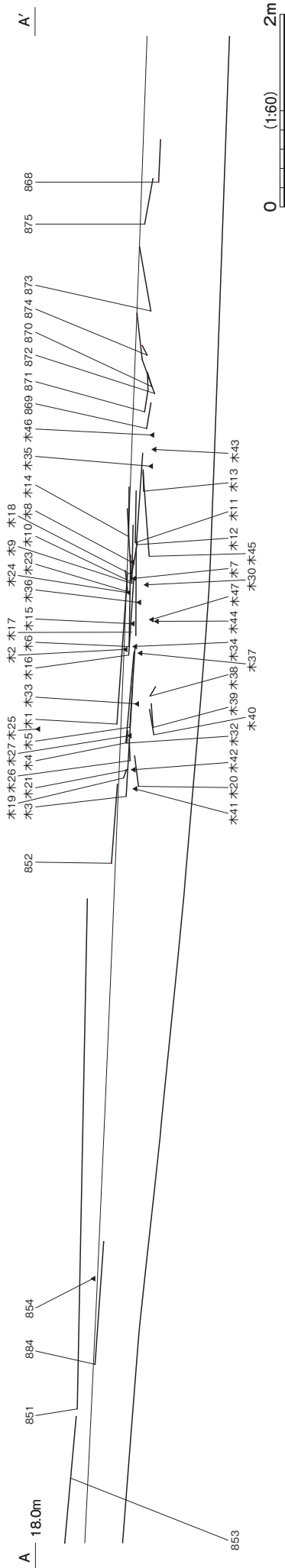
第390図 第4・5号遺物包含層第V層実測図(4)



第391图 第4·5号遺物包含層第V層実測图(5)



※ A-A' のエレベーション図は、
X軸に投影



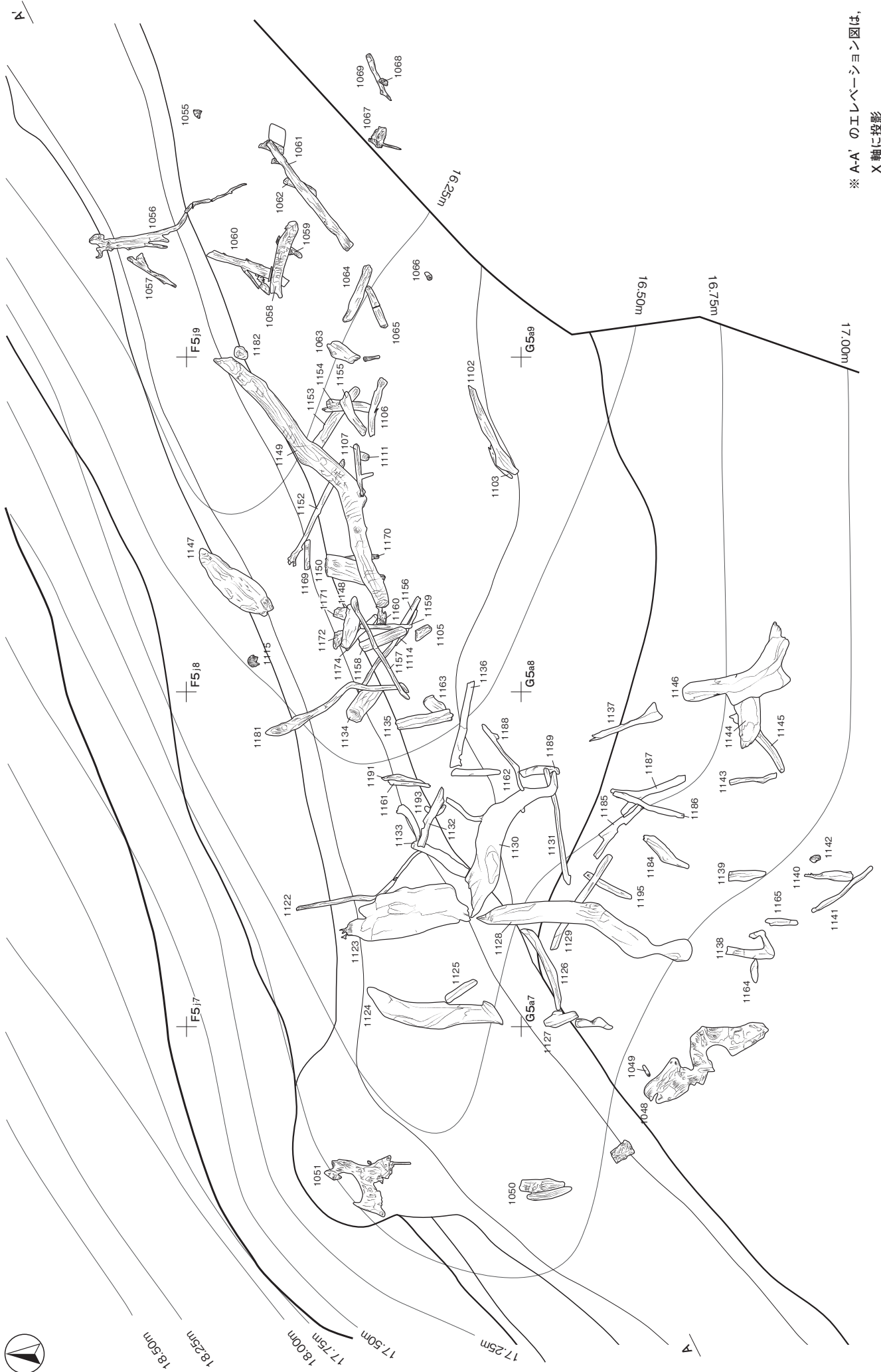
第392図 第4・5号遺物包含層第V層実測図(6)

第247表 第4・5号遺物包含層第V層出土木材一覧(第391～395図)

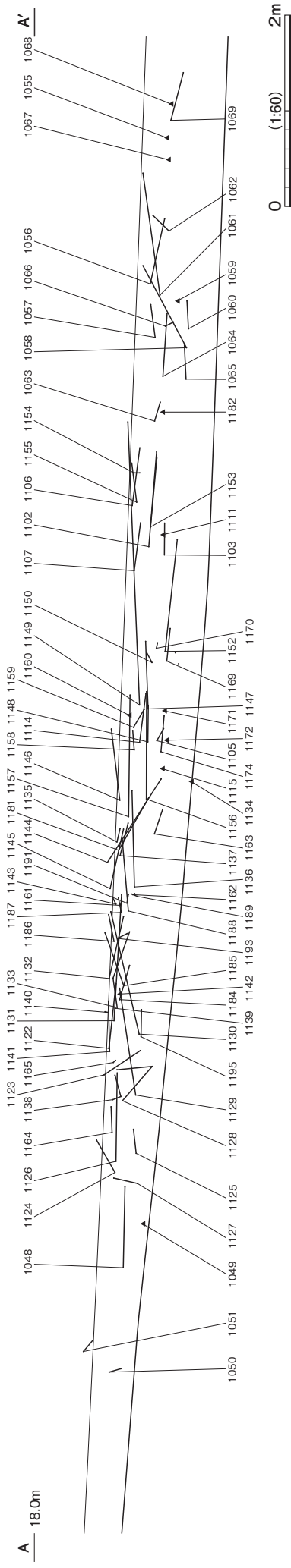
単位 (cm)					
番号	樹種	部位	長さ	幅・径	試料番号
木1	-	枝・幹材	170	27	-
木2	-	枝・幹材	22	16	-
木3	-	枝・幹材	134	7	-
木4	-	枝・幹材	121	7	-
木5	-	枝・幹材	86	8	-
木6	-	枝・幹材	137	9	-
木7	-	枝・幹材	85	3	-
木8	-	枝・幹材	42	4	-
木9	-	枝・幹材	65	6	-
木10	-	枝・幹材	61	6	-
木11	-	枝・幹材	56	7	-
木12	-	枝・幹材	95	12	-
木13	-	枝・幹材	32	7	-
木14	-	枝・幹材	58	12	-
木15	-	枝・幹材	83	3	-
木16	-	枝・幹材	121	18	-
木17	-	枝・幹材	93	4	-
木18	-	枝・幹材	109	7	-
木19	-	枝・幹材	105	7	-
木20	-	枝・幹材	74	6	-
木21	-	枝・幹材	95	9	-
木22	-	枝・幹材	36	8	-
木23	-	枝・幹材	37	16	-
木24	-	枝・幹材	25	10	-

単位 (cm)					
番号	樹種	部位	長さ	幅・径	試料番号
木25	-	枝・幹材	30	6	-
木26	-	枝・幹材	35	3	-
木27	-	枝・幹材	32	22	-
木28	-	枝・幹材	33	6	-
木29	タラノキ	枝・幹材	5	4	IB-2984
木30	-	枝・幹材	16	5	-
木31	-	枝・幹材	70	6	-
木32	-	枝・幹材	21	8	-
木33	-	枝・幹材	18	6	-
木34	-	枝・幹材	31	4	-
木35	-	枝・幹材	8	5	-
木36	-	枝・幹材	20	8	-
木37	-	枝・幹材	12	4	-
木38	-	枝・幹材	35	5	-
木39	-	枝・幹材	30	3	-
木40	-	枝・幹材	30	4	-
木41	-	枝・幹材	26	8	-
木42	-	枝・幹材	70	4	-
木43	-	枝・幹材	22	5	-
木44	-	枝・幹材	18	6	-
木45	-	枝・幹材	114	14	-
木46	-	枝・幹材	13	6	-
木47	-	枝・幹材	60	3	-
木48	トチノキ	枝・幹材	638以上	64	IB-2828

単位 (cm)					
番号	樹種	部位	長さ	幅・径	試料番号
852	クワ属	枝・幹材	107	10	IB-2829
853	イヌガヤ	枝・幹材	117	9	IB-2830
854	カエデ属	枝・幹材	81	25	IB-2831
867	クリ	枝・幹材	86	19	IB-2844
868	クリ	枝・幹材	36	7	IB-2845
869	クリ	枝・幹材	48	11	IB-2846
870	クリ	枝・幹材	56	10	IB-2847
871	クリ	枝・幹材	115	8	IB-2848
872	クリ	枝・幹材	102	16	IB-2849
873	クリ	枝・幹材	37	23	IB-2850
874	クリ	枝・幹材	45	5	IB-2851
875	クリ	枝・幹材	48	12	IB-2852
884	-	枝・幹材	220	13	-
1042	オニグルミ	枝・幹材	43	17	IB-2853
1043	クリ	枝・幹材	75	29	IB-2854
1044	クリ	枝・幹材	109	15	IB-2855
1045	クリ	枝・幹材	35	13	IB-2856
1046	クリ	枝・幹材	97	18	IB-2857
1047	サケラ属(広義)	枝・幹材	90	16	IB-2858
1048	ムクロジ	枝・幹材	167	40	IB-2863
1049	イヌガヤ	枝・幹材	43	6	IB-2859
1050	クリ	枝・幹材	61	23	IB-2860
1051	トチノキ	枝・幹材	83	74	IB-2864
1053	エノキ属	枝・幹材	109	52	IB-2862



※ A-A' のエレベーション図は、
X 軸に投影

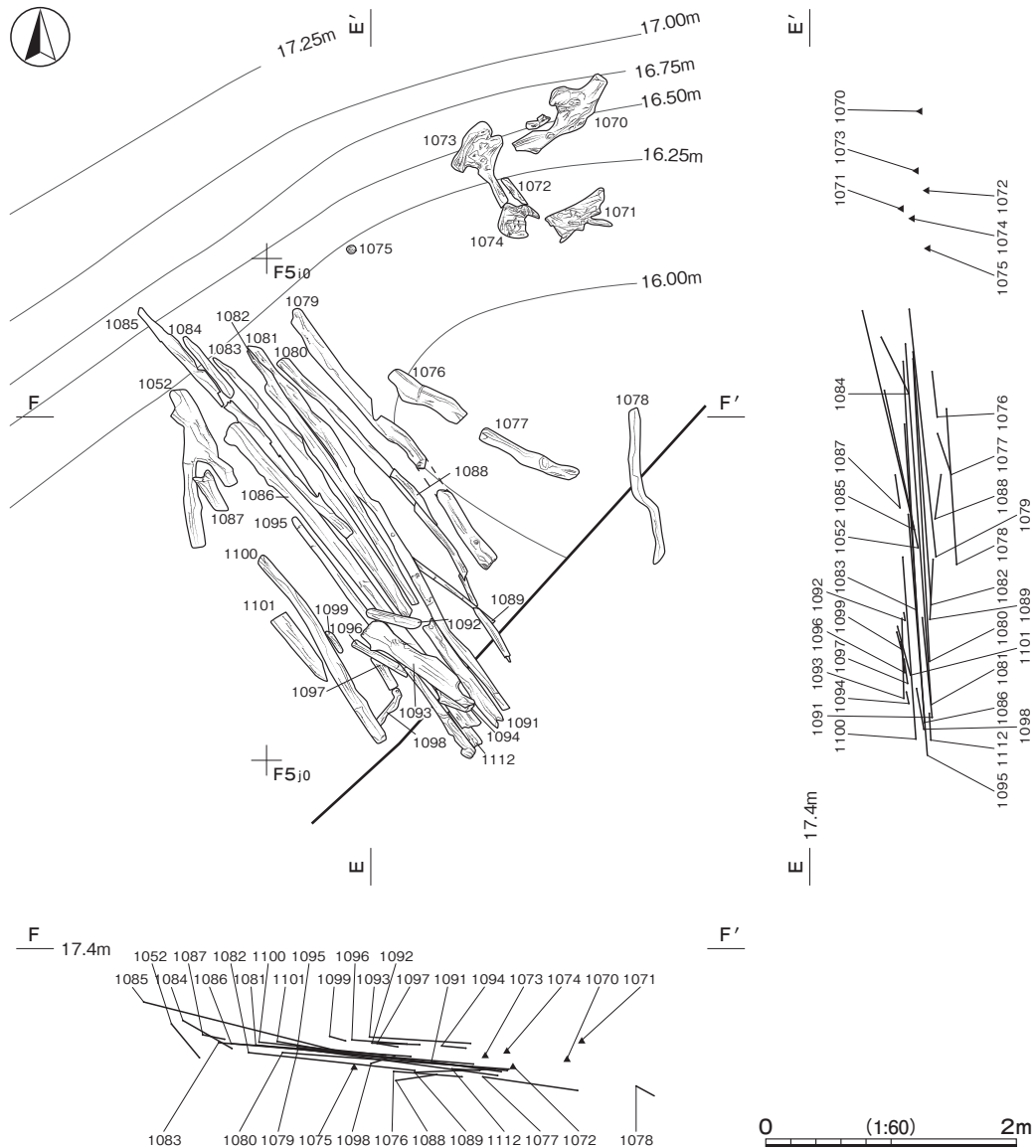


第393図 第4・5号遺物包含層第V層実測図(7)

番号	樹種	部位	長さ	幅・径	試料番号	備考
1054	クワ	枝・幹材	27	6	IB-2991	
1055	クワ	枝・幹材	19	7	IB-2992	
1056	-	枝・幹材	198	13	-	
1057	-	枝・幹材	68	6	-	
1058	トチノキ	枝・幹材	90	15	IB-2867	
1059	クルミ	枝・幹材	35	8	IB-2868	
1060	スルヅ	枝・幹材	99	8	IB-2869	
1061	クワ	枝・幹材	165	12	IB-2870	
1062	トネリコ(薪)	枝・幹材	39	10	IB-2871	
1063	クワ	枝・幹材	42	18	IB-2872	
1064	クワ	枝・幹材	72	10	IB-2873	
1065	トネリコ(薪)	枝・幹材	48	11	IB-2874	
1066	クワ	枝・幹材	11	5	IB-2875	一部炭化
1067	クワ	枝・幹材	34	12	IB-2993	
1068	クワ	枝・幹材	18	10	IB-2876	
1069	オニグルミ	枝・幹材	63	6	IB-2877	
1070	トチノキ	根株材	88	33	IB-2878	
1071	クワ	枝・幹材	46	21	IB-2879	
1072	ケヤキ	枝・幹材	28	4	IB-2880	
1073	トチノキ	根株材	48	11	IB-2881	
1074	トチノキ	根株材	32	22	IB-2882	
1102	クワ	枝・幹材	124	11	IB-2908	
1103	ニワトコ	枝・幹材	46	6	IB-2909	
1104	カヤ	枝・幹材	40	7	IB-2910	
1105	クワ	枝・幹材	23	11	IB-2990	両端伐採材

番号	樹種	部位	長さ	幅・径	試料番号	備考
1106	クワ	枝・幹材	72	10	IB-2911	
1107	クワ	枝・幹材	62	6	IB-2912	
1108	カヤ	枝・幹材	57	9	IB-2913	
1109	オニグルミ	枝・幹材	24	11	IB-2914	
1110	オニグルミ	枝・幹材	27	19	IB-2915	
1111	コナラ(薪)	枝・幹材	10	9	IB-2916	
1114	クワ	枝・幹材	53	7	IB-2918	
1115	クワ	枝・幹材	10	18	IB-2919	
1122	クワ	枝・幹材	140	7	IB-2920	
1123	クワ	枝・幹材	150	55	IB-2921	1128・1130と同一
1124	クワ	枝・幹材	160	30	IB-2922	
1125	クワ	枝・幹材	45	10	IB-2923	
1126	カエデ	枝・幹材	110	13	IB-2924	
1127	ムクロジ	枝・幹材	90	15	IB-2925	
1128	クワ	枝・幹材	260	25	IB-2926	1123・1130と同一
1129	クワ	枝・幹材	130	10	IB-2927	
1130	クワ	枝・幹材	200	35	IB-2928	1123・1130と同一
1131	クワ	枝・幹材	140	5	IB-2930	
1132	クワ	枝・幹材	80	10	IB-2931	
1133	クワ	枝・幹材	120	15	IB-2932	
1134	オニグルミ	枝・幹材	106	22	IB-2933	
1135	クワ	枝・幹材	70	15	IB-2934	
1136	ムクロジ	枝・幹材	106	10	IB-2935	
1137	クワ	枝・幹材	90	10	IB-2936	
1138	クワ	枝・幹材	60	10	IB-2937	

番号	樹種	部位	長さ	幅・径	試料番号	備考
1139	クワ	枝・幹材	45	15	IB-2938	
1140	クワ	枝・幹材	60	10	IB-2939	
1141	クワ	枝・幹材	90	6	IB-2940	
1142	クワ	枝・幹材	31	8	IB-2941	
1143	クワ	枝・幹材	60	8	IB-2942	
1144	トチノキ	枝・幹材	60	25	IB-2943	
1145	クワ	枝・幹材	90	10	IB-2944	
1146	カエデ	枝・幹材	150	35	IB-2945	
1147	オニグルミ	枝・幹材	110	35	IB-2946	
1148	クワ	枝・幹材	65	15	IB-2947	
1149	トチノキ	枝・幹材	360	30	IB-2948	
1150	クワ	枝・幹材	50	30	IB-2949	薪材
1152	ニワトコ	枝・幹材	140	8	IB-2950	
1153	ニガキ	枝・幹材	90	10	IB-2951	
1154	クワ	枝・幹材	60	10	IB-2952	
1155	カエデ	枝・幹材	15	10	IB-2954	
1156	トチノキ	枝・幹材	85	10	IB-2953	
1157	クワ	枝・幹材	130	5	IB-2955	
1158	クワ	枝・幹材	80	14	IB-2956	
1159	ムクロジ	枝・幹材	60	8	IB-2957	
1160	トチノキ	枝・幹材	20	10	IB-2958	
1161	オニグルミ	枝・幹材	50	5	IB-2959	
1162	ムクロジ	枝・幹材	60	7	IB-2960	
1163	クワ	枝・幹材	30	15	IB-2961	
1164	カエデ	枝・幹材	30	10	IB-2962	



第 395 図 第 4・5号遺物包含層第 V 層木道 2 実測図

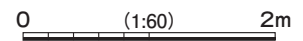
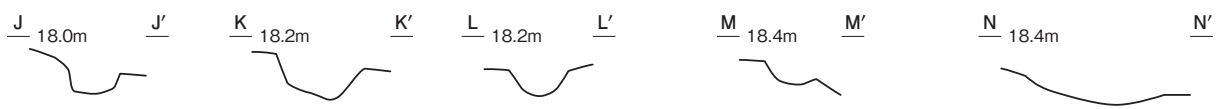
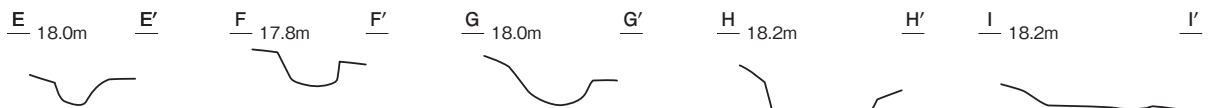
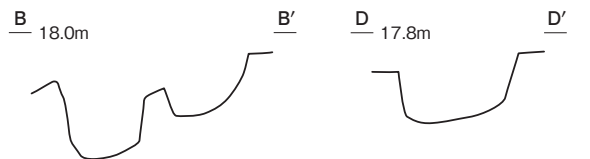
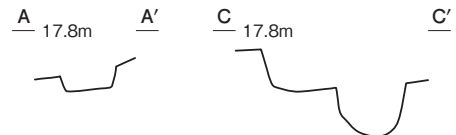
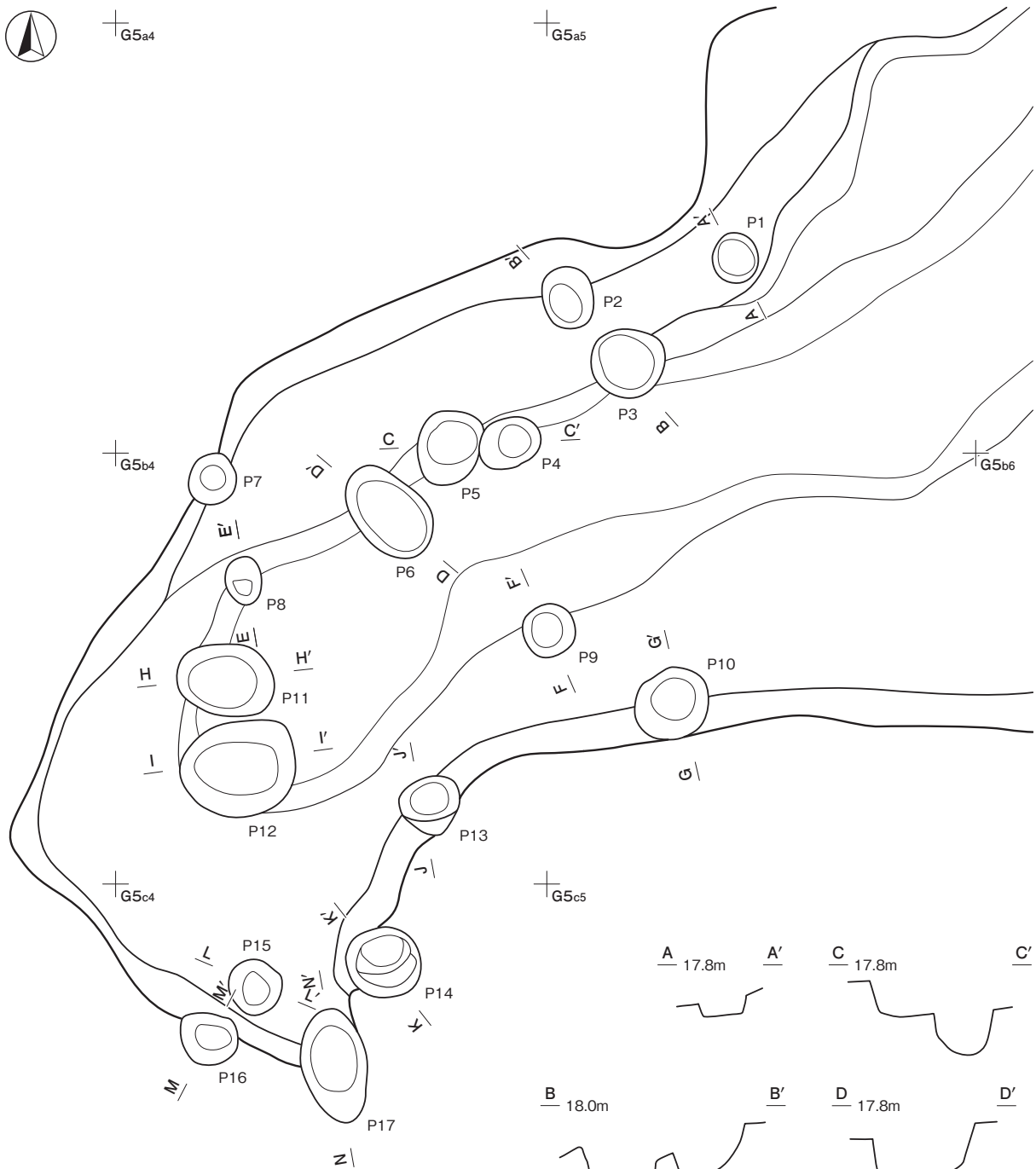
木道 2 北東部の F 5 i9 ~ j0 区に位置し、木道 1 及び第 V - 4・5 層を除去した段階で確認でき、第 V - 6 層の上面に敷設されている。自然木 27 本が、北西 - 南東方向 (N - 39° - W) に並んでおり、南東部が調査区域外へ延びている。確認できた規模は、長さ 4.42 m 以上、幅 2.65 m である。上面の標高は 16.78 ~ 16.97 m で、傾斜角は 9 度である。自然木は、長さ 29 ~ 355 cm、径 4 ~ 19 cm で、樹種はクリが 19 点、オニグルミが 3 点、クワ属が 2 点、イヌガヤ、トネリコ属トネリコ節、ヌルデが各 1 点である。

小土坑群 (第 8 号ピット群) 17 か所。南西部の G 5 a4 ~ c4 区、谷頭部周辺に掘り込まれている。長径 0.45 ~ 1.07 m、短径 0.34 ~ 0.88 m の円形または楕円形で、深さは 13 ~ 57 cm である。底面は皿状で、壁は外傾している。覆土は、最下層の第 V - 8 層と同質の黒褐色粘土層で、水成堆積層である。木組遺構に伴う柱穴の痕跡や水さらし場のような堅果類の集積は確認できず、自然湧水を得るための掘り込みと考えられる。



G5a4

G5a5



第396図 第4・5号遺物包含層第V層第8号ピット群実測図

第 248 表 第 4・5号遺物包含層第V層第8号ピット群ピット一覧

番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	番号	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)
P 1	45	42	18	P 7	48	44	29	P 13	55	55	20
P 2	58	47	45	P 8	45	34	20	P 14	67	65	34
P 3	69	67	57	P 9	48	47	22	P 15	50	47	19
P 4	59	45	42	P 10	72	64	30	P 16	57	48	18
P 5	70	58	30	P 11	91	68	46	P 17	106	62	22
P 6	96	63	52	P 12	107	88	13				

遺物出土状況 縄文土器 26,749 点 (715,916 g)、土製品 49 点 (耳飾り 1、土偶 8、有孔円盤 1、土錘 1、土器片円盤 38)、石器・石製品 289 点 (ナイフ形石器 1、尖頭器 1、石鏃 1、打製石斧 15、磨製石斧 7、石皿 35、磨石 105、敲石 53、凹石 58、砥石 5、石錘 1、浮子カ 3、石剣 1、石棒 3)、剥片 8 点 (瑪瑙 1、チャート 7)、石核 1 点 (石英)、漆器 28 点 (鉢 9、把手付片口鉢 3、片口鉢 1、脚付鉢 4、杓子 2、把手 2、飾弓 7)、木製品 11 点 (把手 1、弓 2、瘤付木製品 2、不明 1、未成品 2、加工木 3)、編組製品 3 点 (漏斗状製品、袋状製品、紐)、骨 18.2 g のほか、自然木、種子類が出土している。土器は、前期の黒浜式・浮島式、中期の五領ヶ台式・阿玉台式・加曽利 E 式のものが見られるほか、称名寺 I 式～堀之内 2 式のものも多く、加曽利 B 1 式～安行 3 b 式のもの少量出土している。また、文様構成が不明な破片で、詳細時期が不明なもの (第 9 群) とした沈線文・地縄文の土器片は、器厚や縄文の特徴から、ほとんどが堀之内 1 式～堀之内 2 式の精製土器の一部ないし粗製土器であり、集計表で示した点数以上に当該型式の土器が主体を占めている。層位別にみると、最上～中層 (1～3 x) では堀之内 1 式～堀之内 2 式のもの混在しているが、下層 (4 x) では堀之内 1 式が中心である。また、加曽利 B 式～安行 3 b 式ものは、主に L J 4～6 区の最上層 (1 x) から出土しており、上部の第Ⅲ層の浸食が及んでいた範囲と一致していることから、混入した可能性が高い。土器片などの人工遺物は、中央部の L J 4・5 区最上～中層から多量に出土しており、残存率が高い大型破片や接合関係が認められるものも一定量出土していることから、至近から投棄された可能性がある。また、自然木は、木道 1・2 以外、倒木あるいは流れ込み、種子類は、周囲から落果したものと考えられる。

自然科学分析 珪藻化石分析は、パリノ・サーヴェイ株式会社へ委託し、詳細を「第 3 章第 4 節 自然科学分析 4」に掲載している。樹種・花粉化石・植物遺体等は、明治大学教授阿部芳郎氏を代表者とする明治大学黒曜石研究センターによる分析結果が、当財団『研究ノート』第 15 号で先行報告されている。以下にその概要を記載する。

土壌の堆積環境については、第 V-2・3・6・8 層の 4 試料について珪藻化石分析を行っている。第 V-8 層は、淡水生種群の混合群集を呈していることから、多少の流れ込みを受けるような低地部の湿地の状態、第 V-6 層では、陸生珪藻の産出率が高くなり、次第に乾いた状態へと変化している。第 V-2・3 層では、珪藻化石の産出量が少なく、堆積後に大気に曝されて分解・消失した可能性が指摘されている。

樹種は、漆器・木製品については第 250 表に記載し、自然木については出土状況を第 391～393 図、同定結果を第 247 表に示した。漆器・木製品は、漆器鉢がサクラ属 (広義)、漆器杓子がイヌガヤ、飾弓がニシキギを使用しており、器種による樹種選択が明瞭である。自然木は、木道 1・2 にクリが多用されている。また、倒木や流れ込みと思われるものは、クリが 50% を占め、その他、クワ属、オニグルミ、カエデ属、トチノキ、ムクロジなどがあり、トチノキについては根株材が確認できた。谷の周辺は、人為的に維持されたクリ林が広がり、その周囲にその他の落葉広葉樹林が存在する森林環境が復元されている。

植生変遷については、花粉分析と植物遺体の同定分析により、3期に区分されている。最下層の第V-8層段階ではコナラ亜属、クリ、クルミ属を主とし、中層の第V-6・7層段階ではクリが増加し、上層の第V-1~5層段階ではクリが減少してトチノキが増加していることが明らかにされた。これらの堅果類に加え、土器付着炭化材物でも確認されたキハダ、ミズキ、ニワトコのほか、ヤマブドウやクワ属、コウゾ属、サンショウ、マタビ属などの漿果類といった有用植物が多く産出されていることから、谷の周辺には、当初から人為的に管理された二次林が広がっていた可能性が指摘されている。また、各層でアサの出現率が高いことから、アサ畑の存在が推定されている。

漆器鉢(210)については、明治大学教授阿部芳郎氏を代表者とする明治大学黒曜石研究センターにより、自然科学分析等が実施されている(『研究ノート』第15号)。以下にその概要を記載する。

210の漆の層構造は、クロスセッション分析による断面観察により、外面が生漆層と3層の赤色顔料、素地を含む5層構造、内面が生漆層と3~4層の赤色顔料、素地を含む5~6層構造で、外面の文様部分の凸部は、3層の赤色顔料を塗布した後に黒色の生漆層が露出するまで研ぎが行われたことが考察されている。

顔料の成分は、ED-XRF(エネルギー分散型蛍光X線分光分析)により、外面は表層から水銀朱、パイプ状ベンガラと水銀朱の混合、パイプ状ベンガラの3種類、内面は外面と同様に3種の赤色顔料が使用され、その上にパイプ状ベンガラで文様が描かれていることが判明している。

漆の樹種は、Py-GC/MC(熱分解ガスクロマトグラフ質量分析)により、日本、中国、韓国に生息している *Toxicodendron vernicifluum* であることが示唆されている。

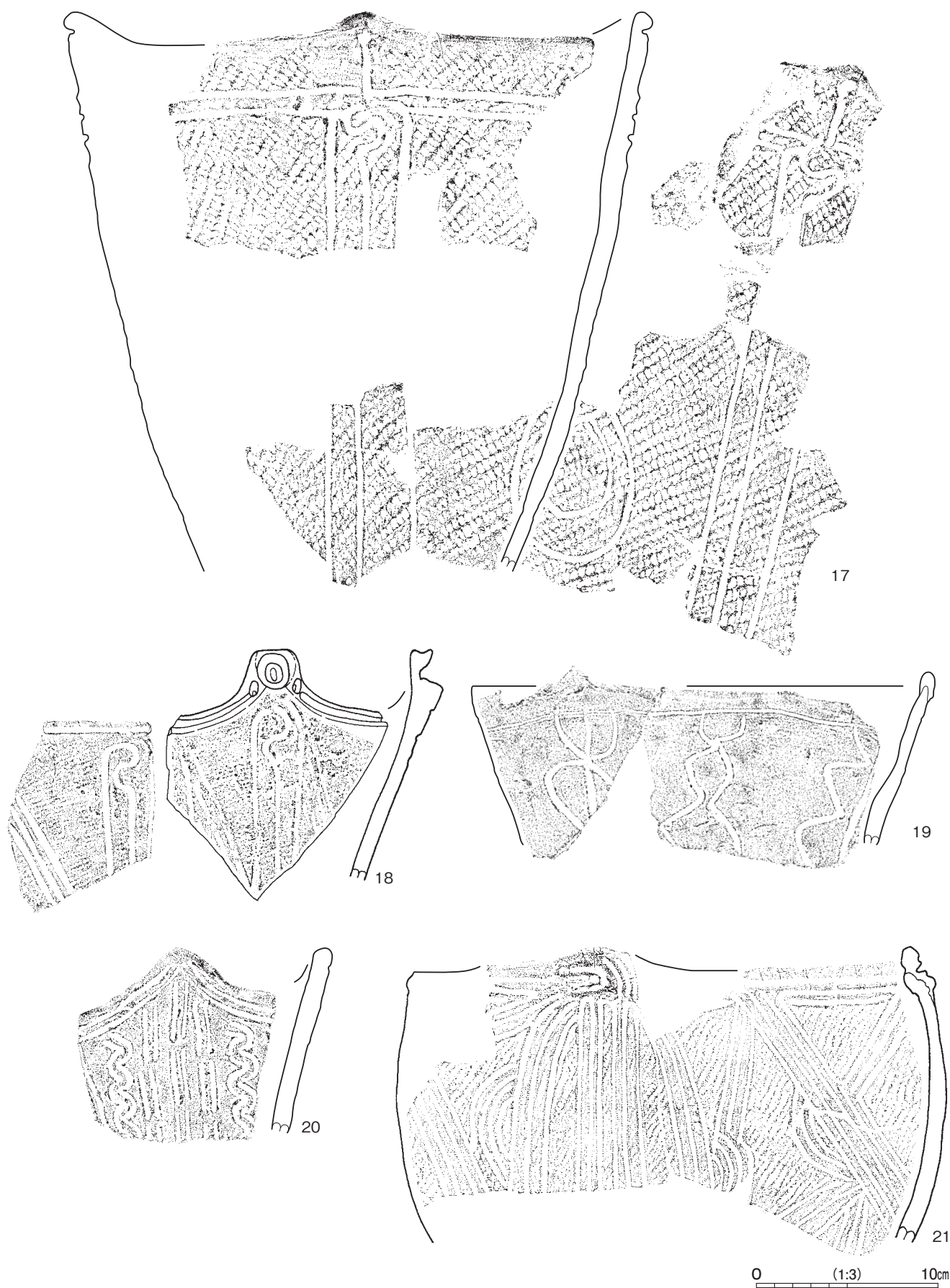
漆器の年代は、漆塗膜の加速器質量分析装置(AMS)による放射性炭素同位体比の測定により、 ^{14}C 年代が $3,366 \pm 29\text{BP}$ 、較正年代が $3,638 \sim 3,574\text{cal BP}$ (IntCal13)と推定され、縄文時代後期中葉の加曾利B2式期($3,680 \sim 3,530\text{cal BP}$)に相当するとされている。類似例としては、埼玉県寿能遺跡、大木戸遺跡などの鉢形の木胎漆器が挙げられる。大木戸遺跡の有脚鉢と東京都権現台貝塚出土土器との形態や文様構成の類似性を参考に、有脚の鉢形の器形に復元され、「細線格子目文有脚木胎漆器」と命名されている。

所見 谷部の自然湧水を利用した水場で、谷頭部に生活用水を確保するための小土坑が掘り込まれている。水場が機能した時期は、下層の出土土器から後期前葉(堀之内1式期)と考えられる。自然科学分析から、当初は湿地の環境で、埋積が進むにつれて乾いた状態へ変化している様子が明らかになった。出土土器から堀之内2式期には機能が停止し、土器や漆器などが廃棄され、周辺から自然木が流れ込む環境に変化したと推定される。谷部に伴う構造物は、木道1・2を確認した。谷と直交する方向に並んだ木材が、異なる層位のはほぼ同じ位置に敷設されており、耐水性の高いクリ材が選択的に使用されていることから、人為的な構造物と判断した。水深の浅い湿地を渡るための簡易な足場と考えられる。古環境については、樹種同定や花粉・植物遺体の分析から、コナラ亜属・クリ・クルミ属の林から、クリ林へと変化し、やがてトチノキが増加する植生変遷が明らかになり、人為的に維持、管理された森林環境が復元されている。出土遺物では、漆器・木製品・編組製品が目される。210は、外面に「細線格子目文」が施された大型の鉢で、他県での出土例と比べて最も残存状態が良好であり、全形が復元できる貴重な例である。漆塗膜の放射性炭素年代測定により加曾利B2式期と推定される数値が得られているが、調査所見では相伴する土器から堀之内1式~堀之内2式期と考えられることから、検討が必要である。211、244・245は把手付片口鉢とその未成品と考えられ、粗調整→仕上げ→製品の製作工程が分かる良好な資料である。今回の調査では、141・142の漆容器や188のベンガラが付着した磨石が出土しており、当集落において漆器の生産が行われていた可能性が高い。

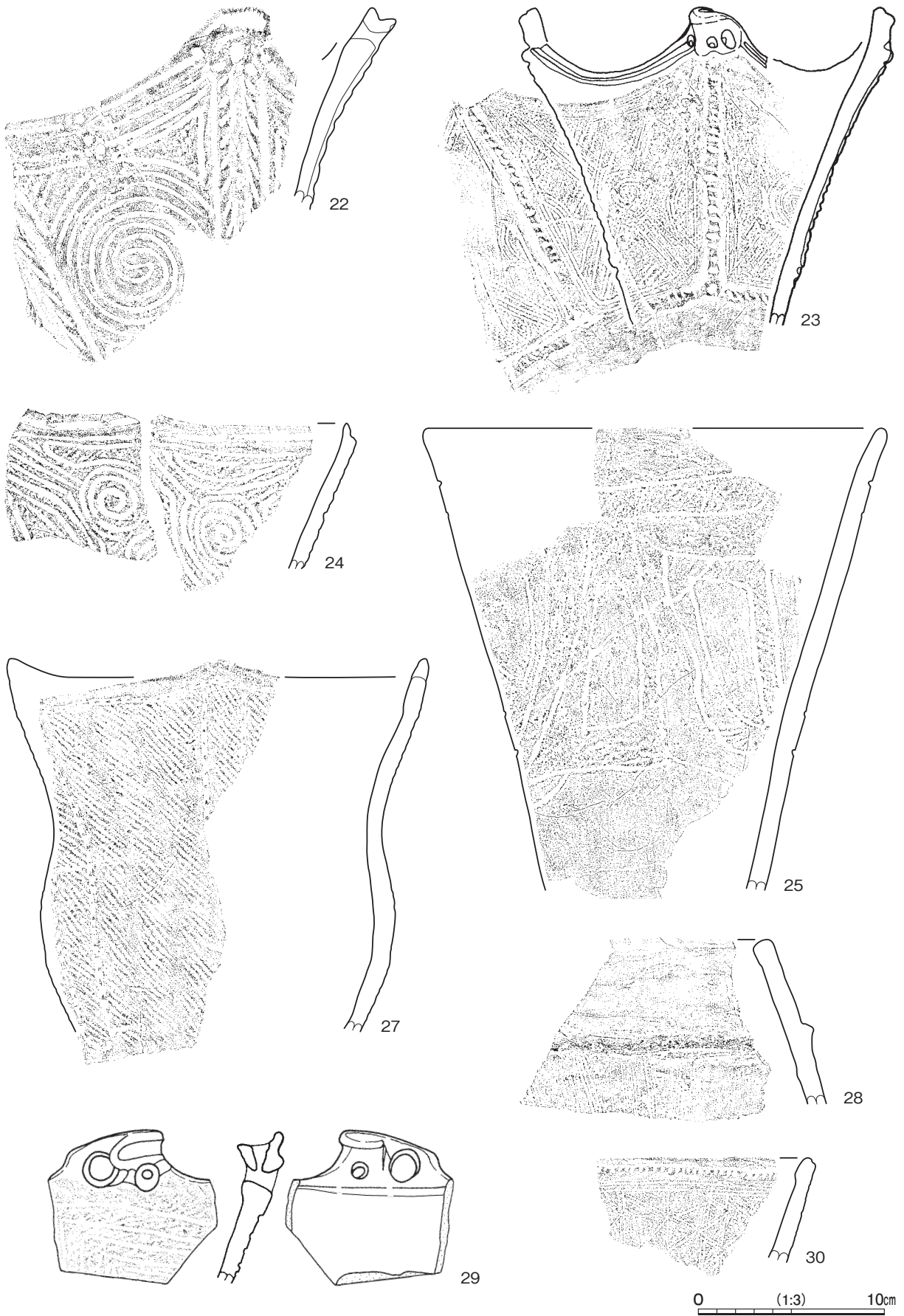


0 (1:3) 10cm

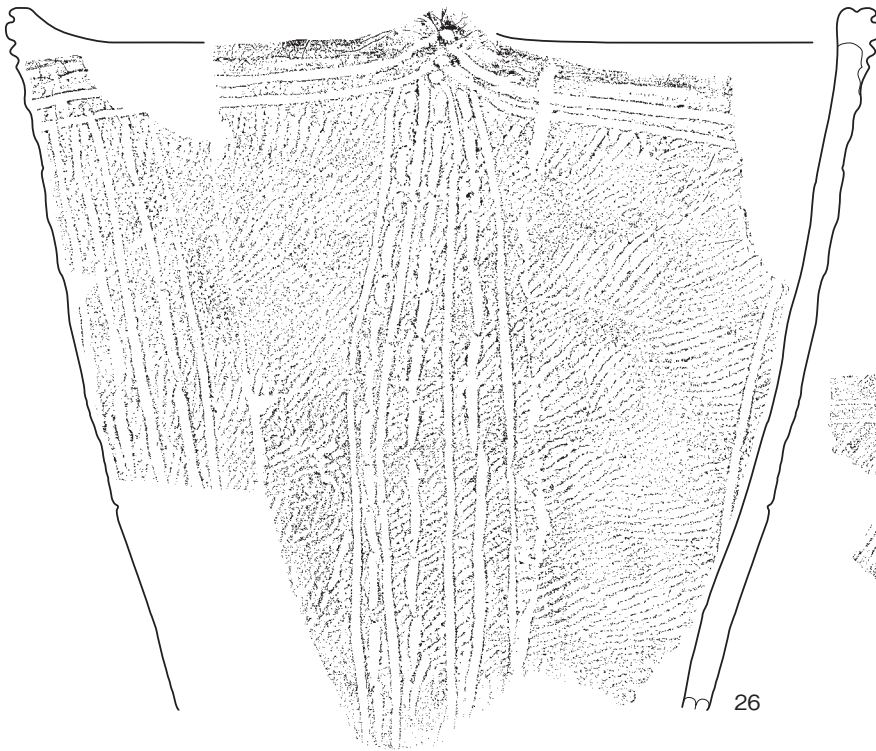
第 397 图 第 4 · 5 号遗物包含層第 V 層出土遺物実測图 (1)



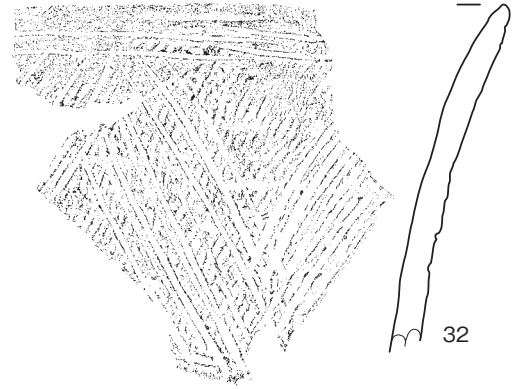
第 398 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (2)



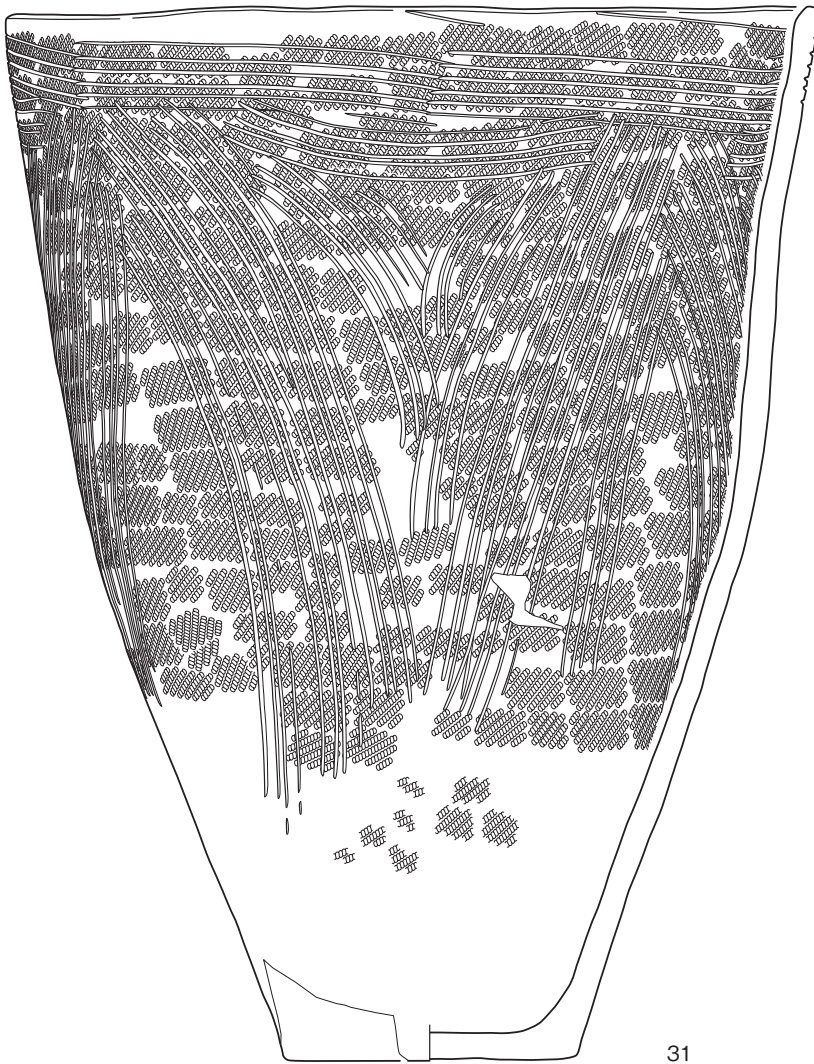
第 399 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (3)



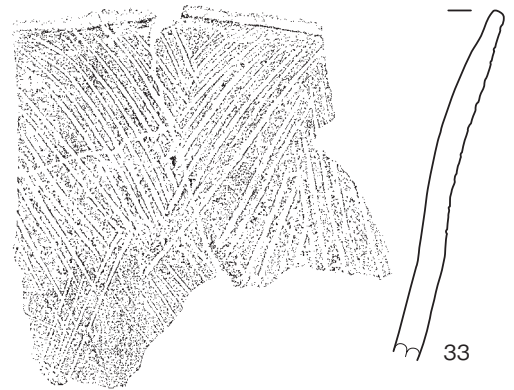
26



32



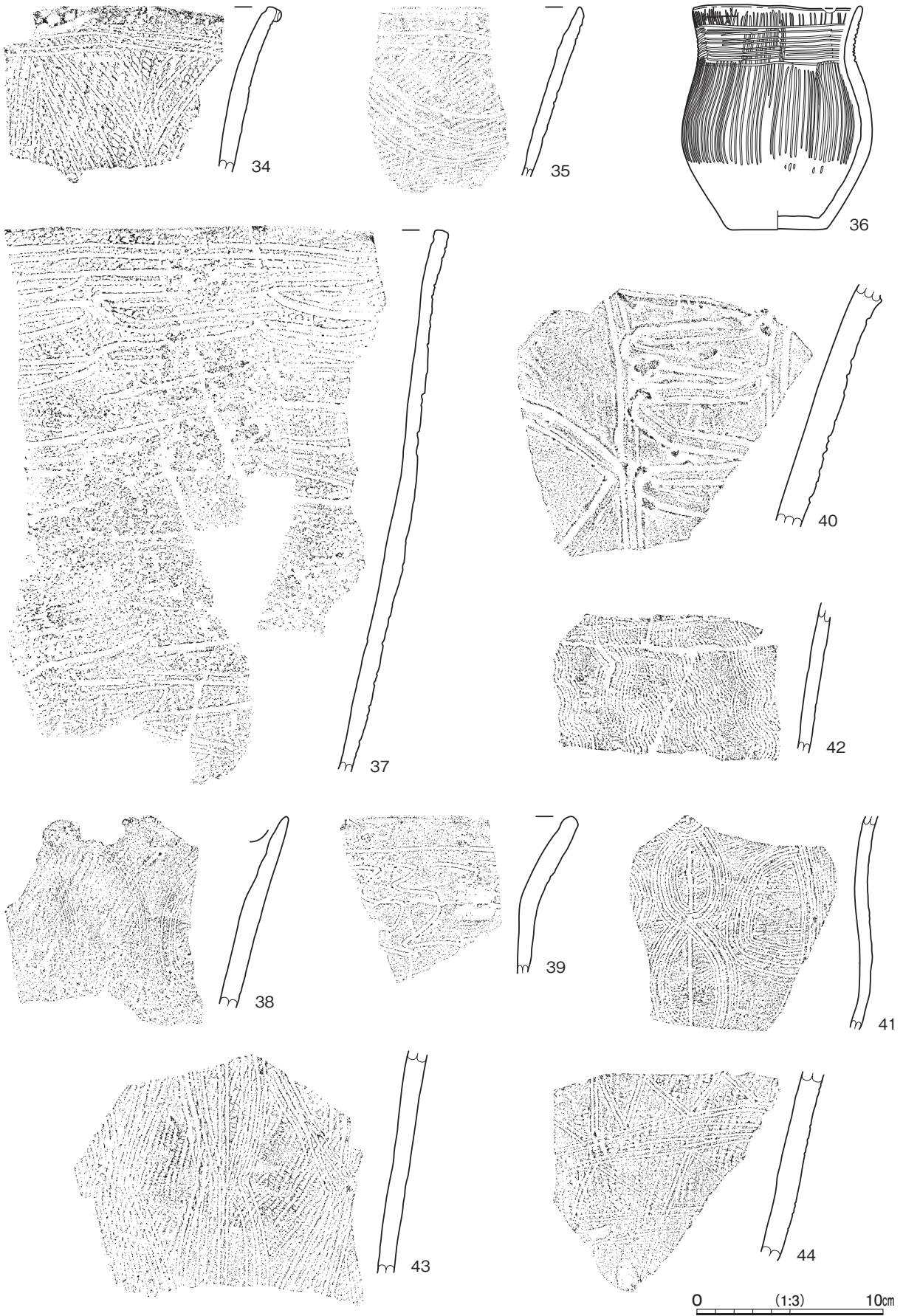
31



33

0 (1:3) 10cm

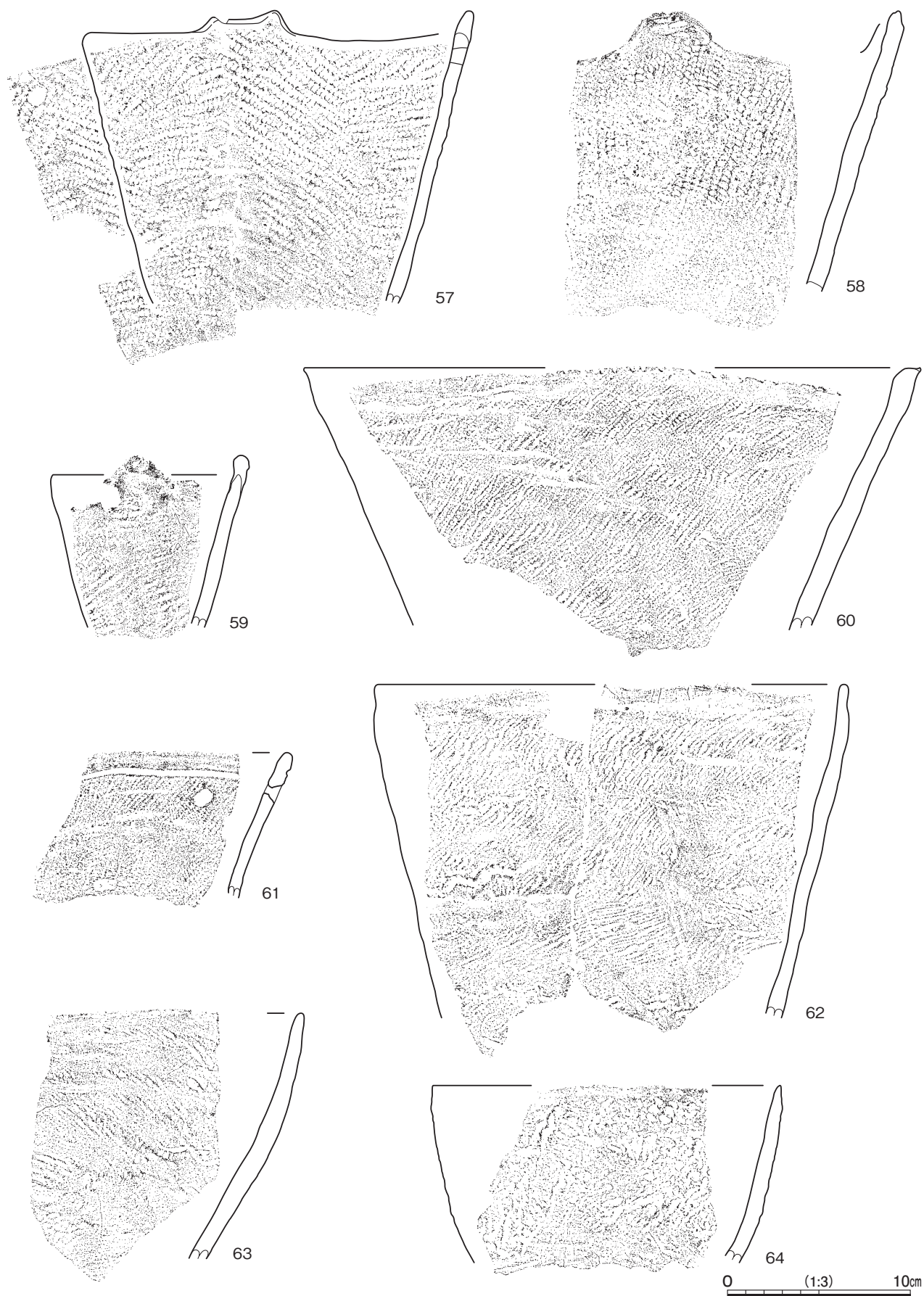
第400図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(4)



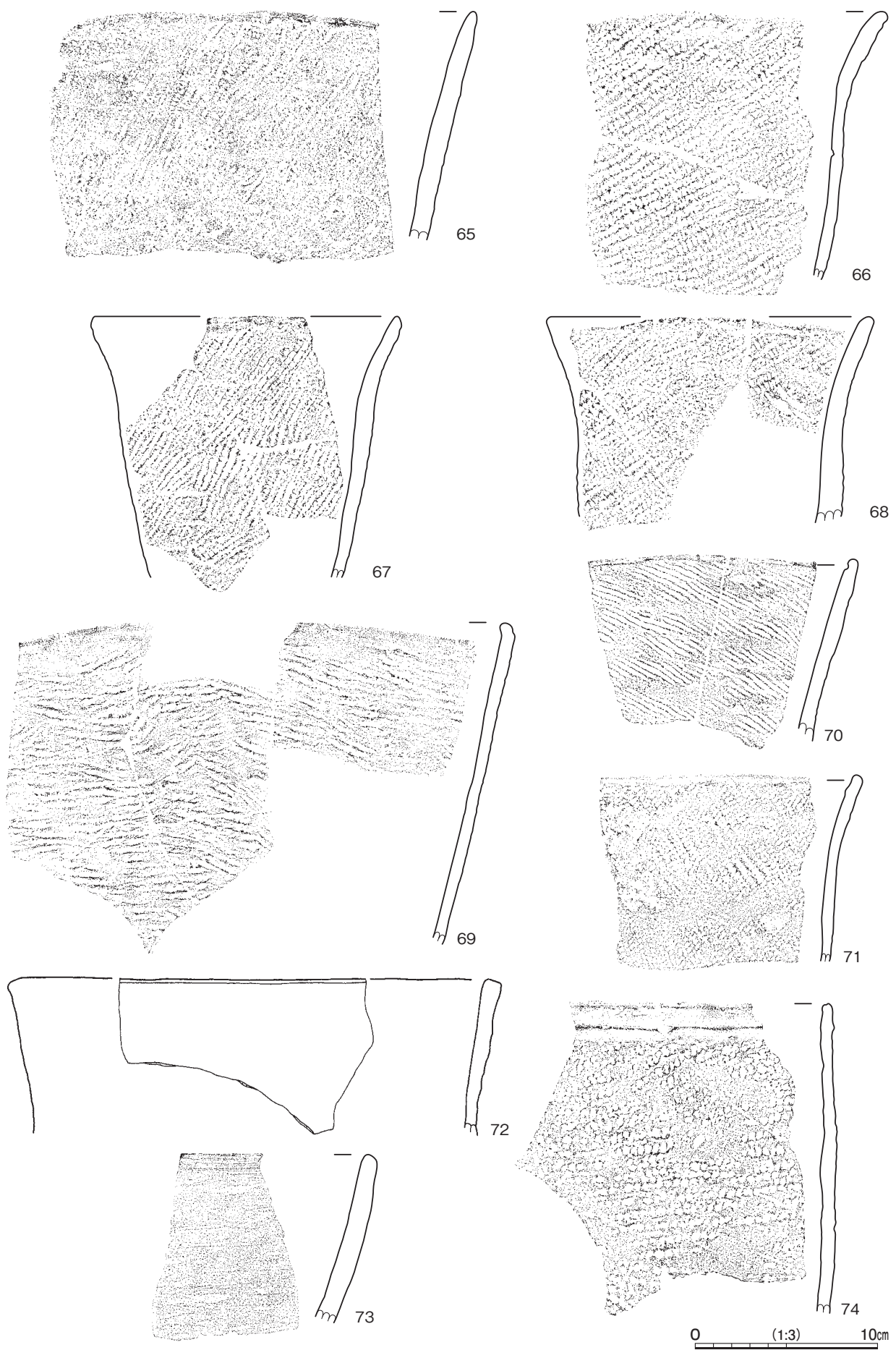
第 401 图 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (5)



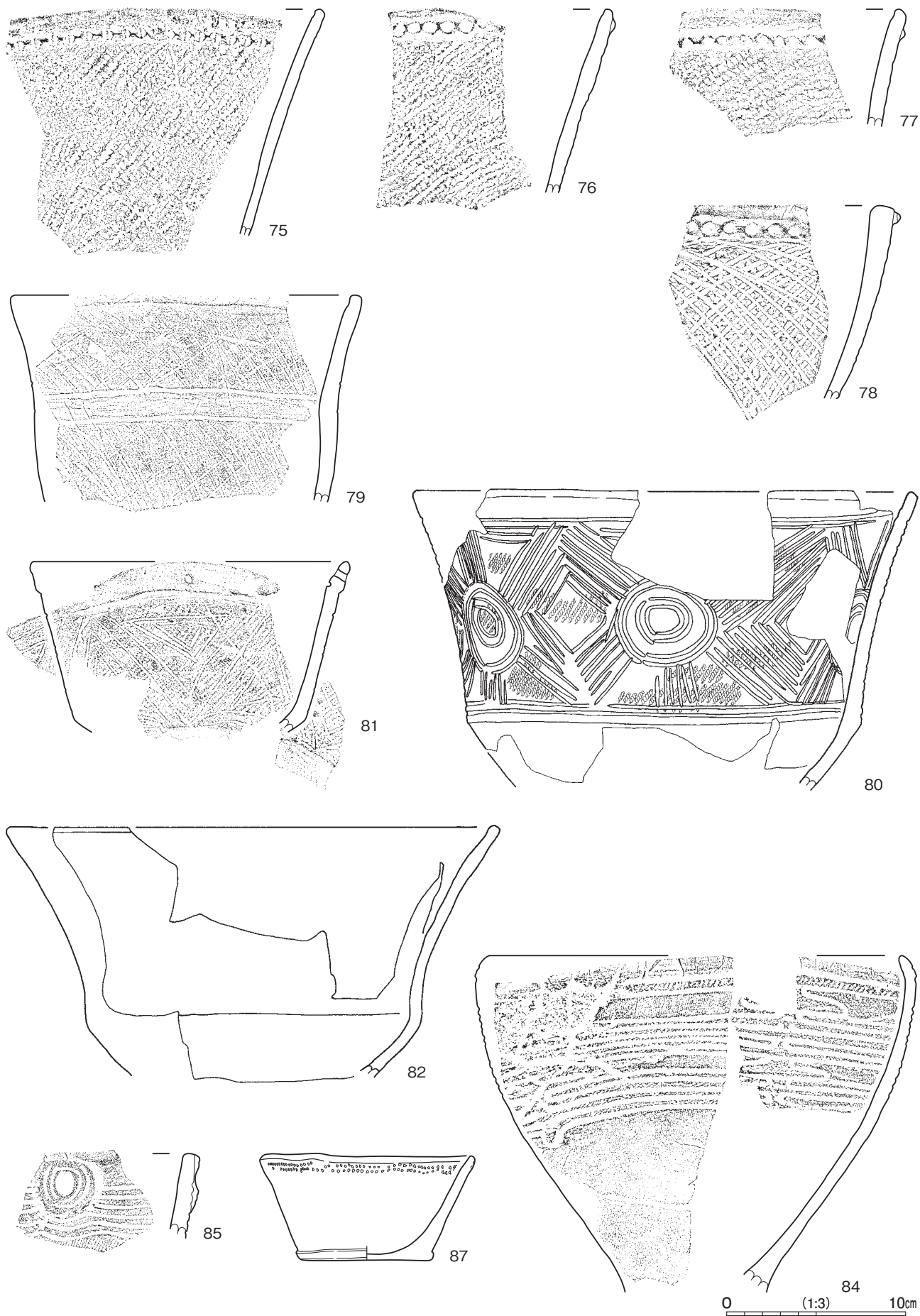
第402図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(6)



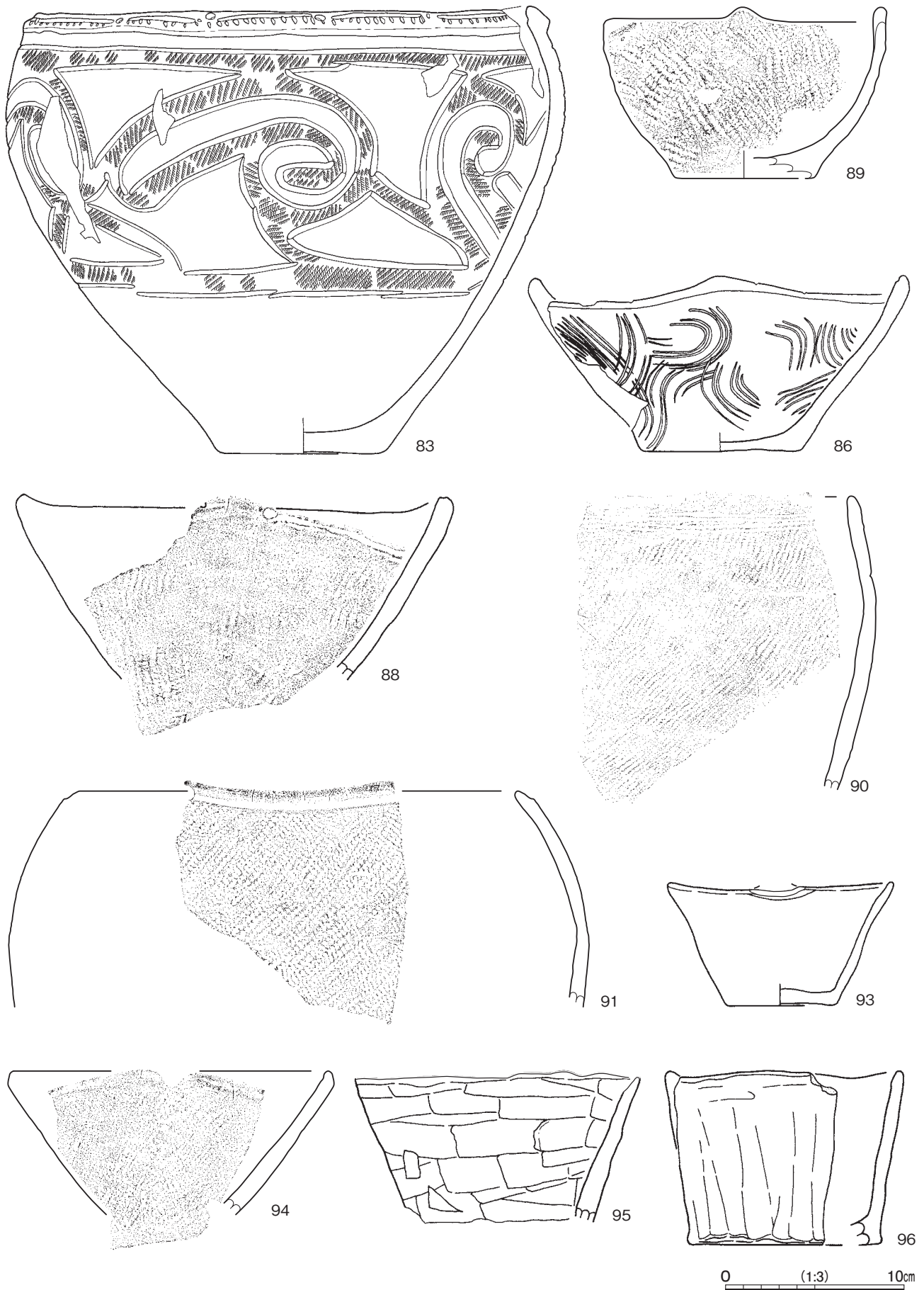
第403図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(7)



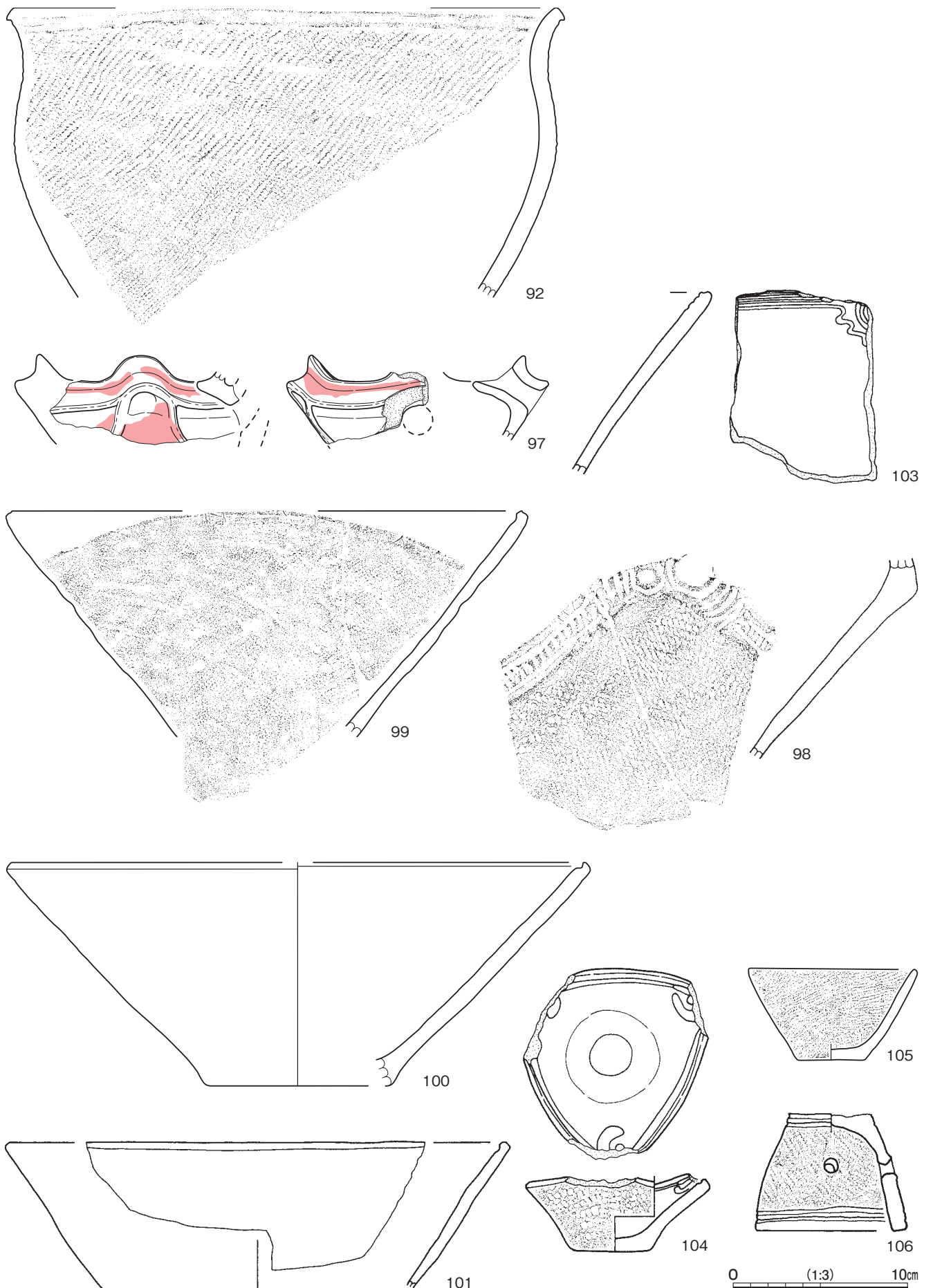
第404図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(8)



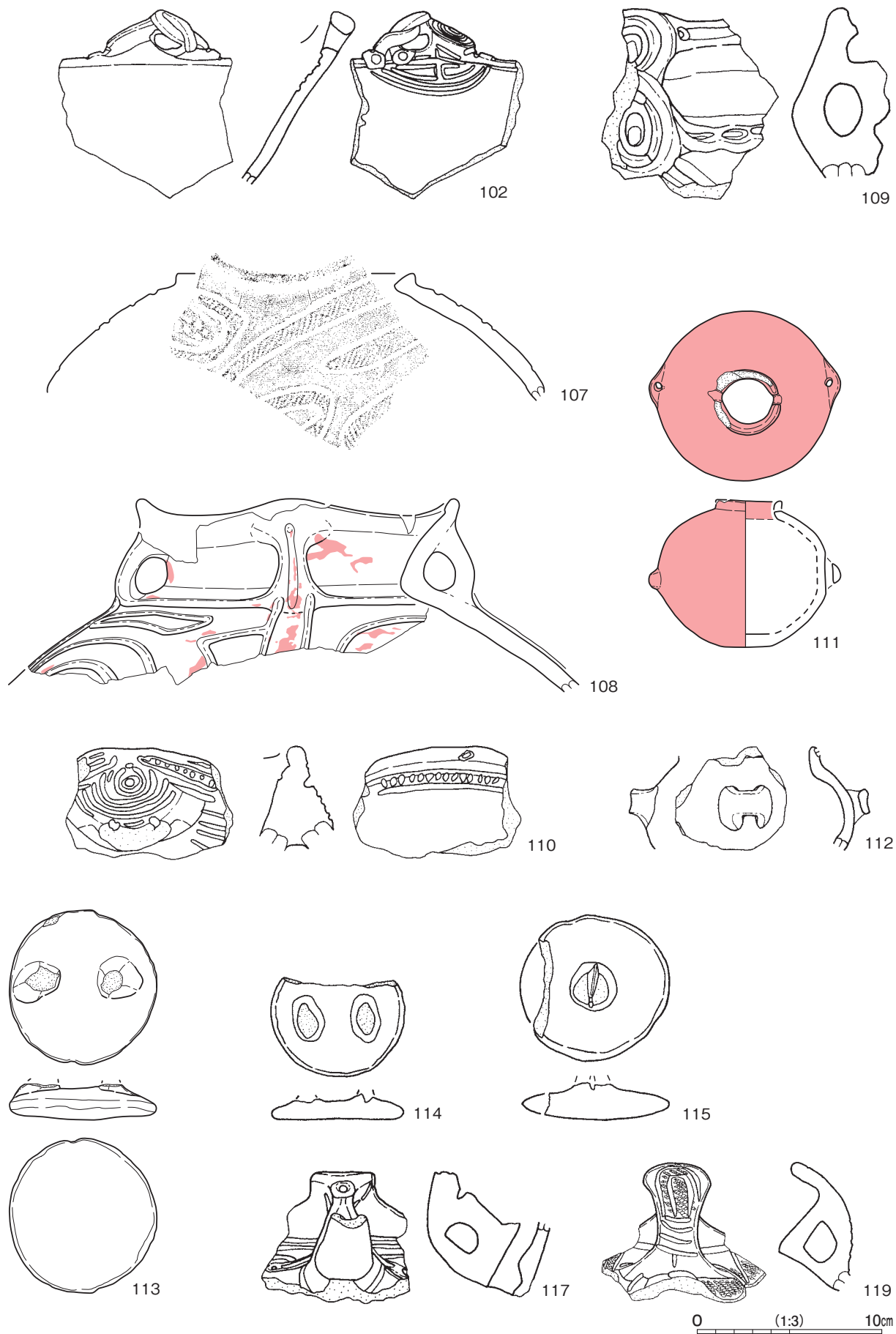
第 405 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (9)



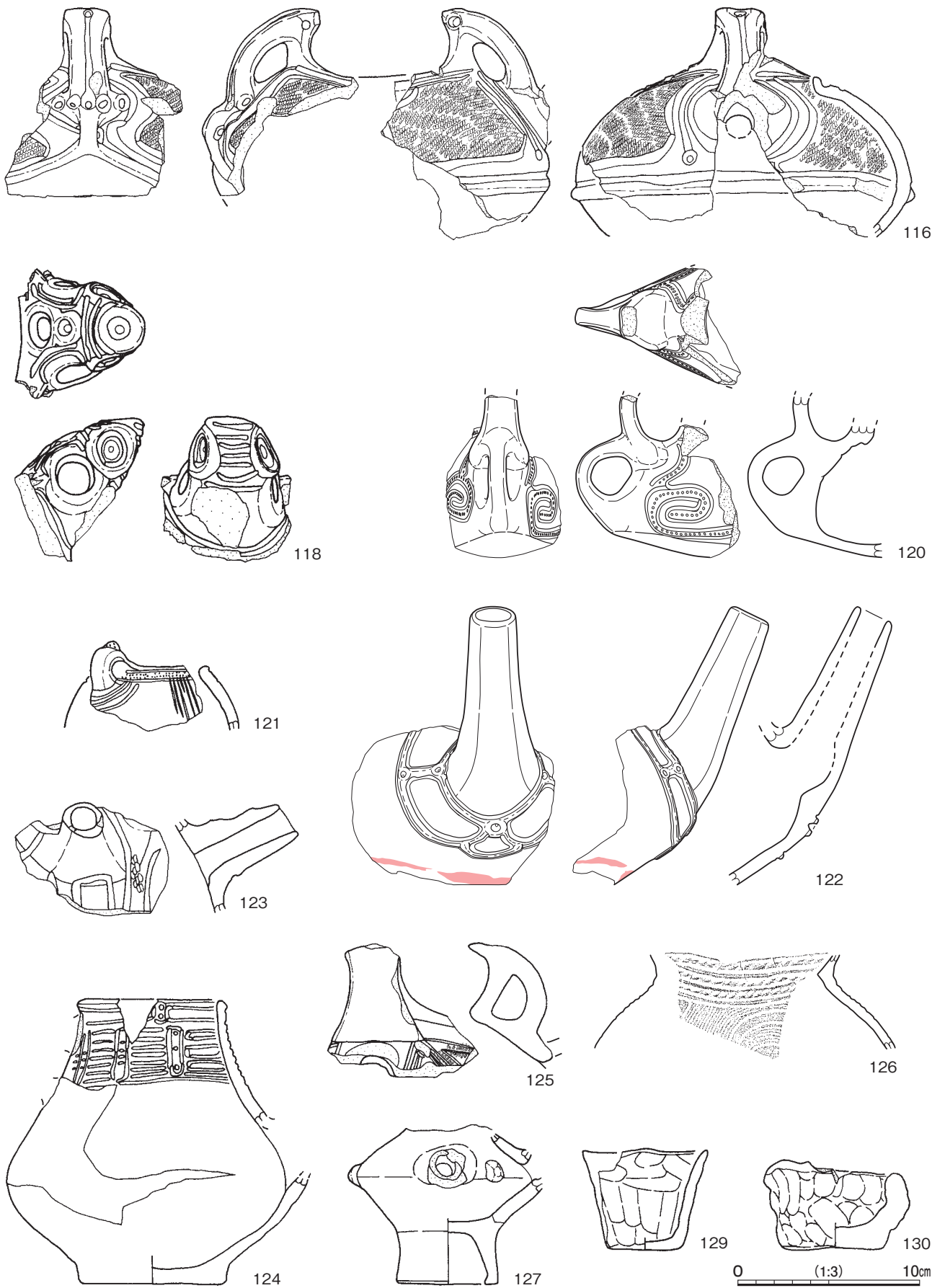
第406図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(10)



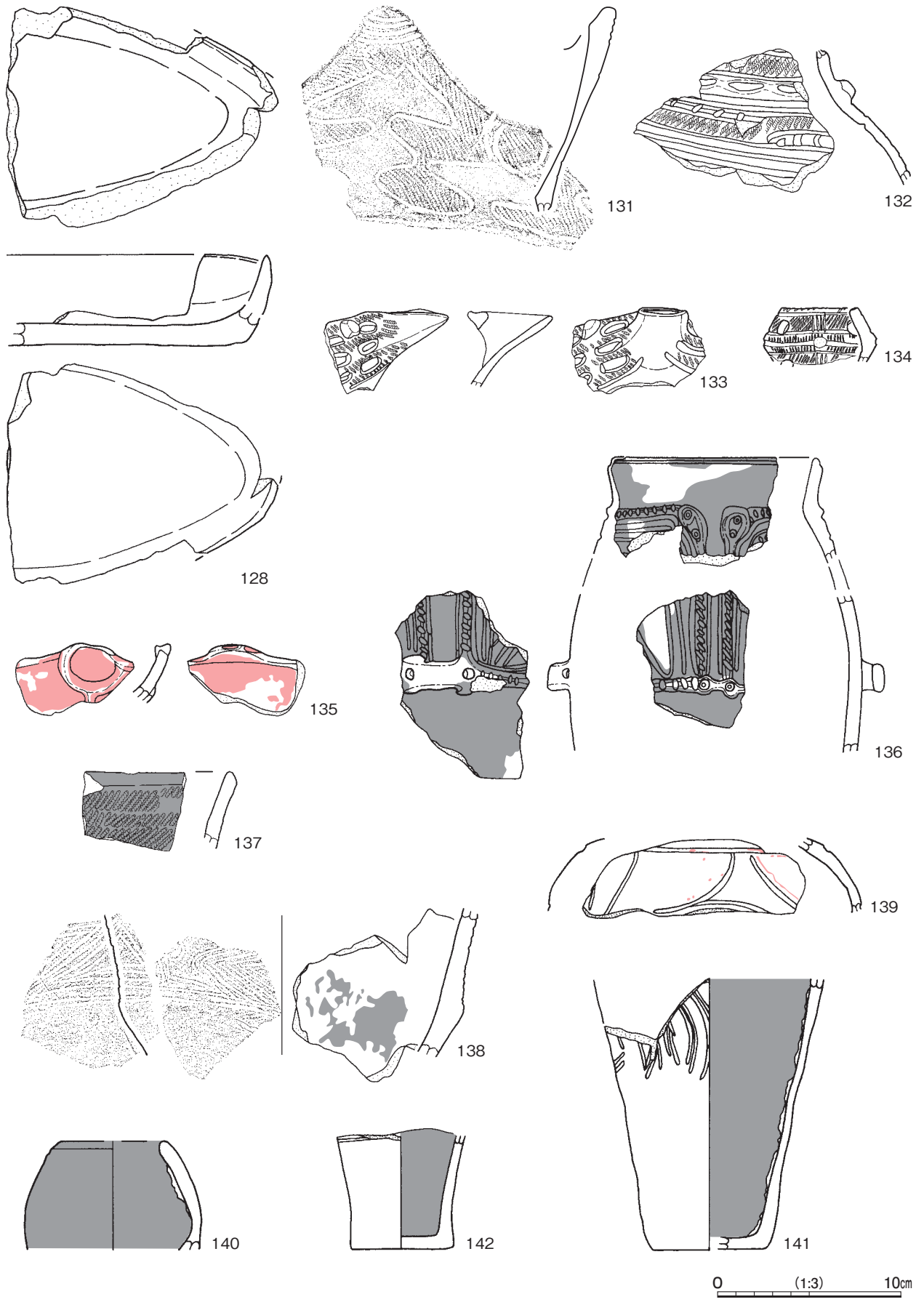
第 407 图 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (11)



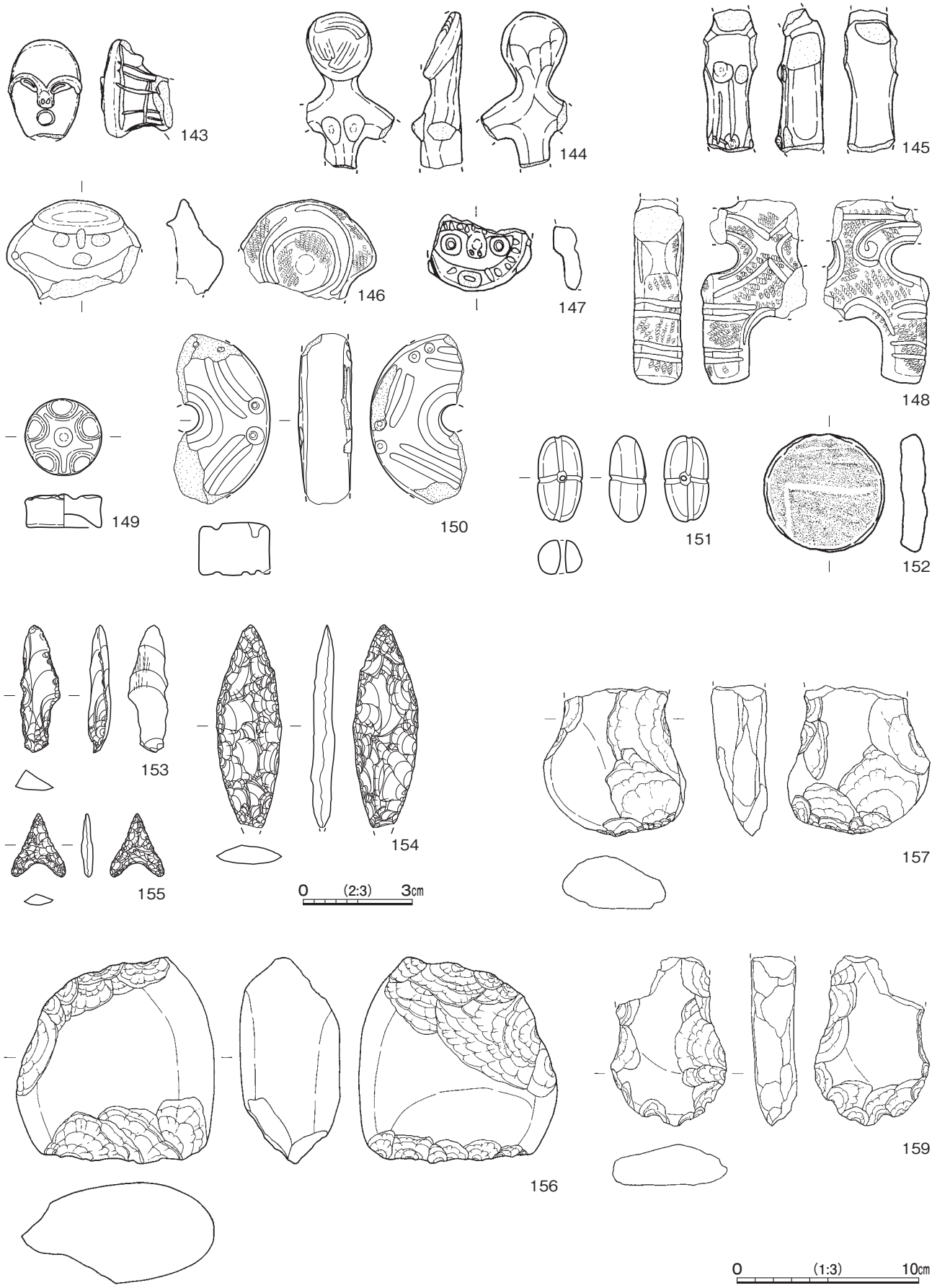
第408図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(12)



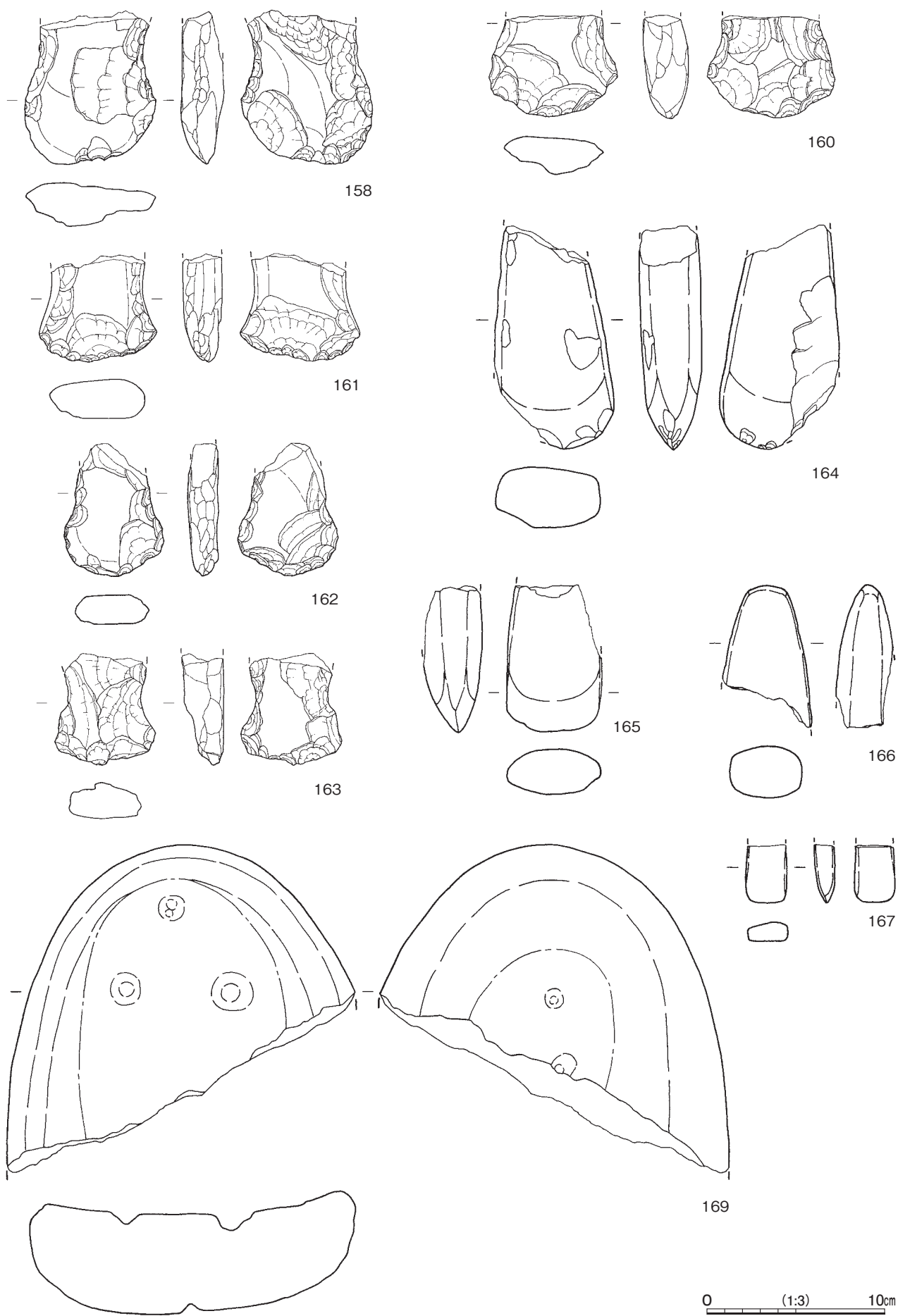
第 409 图 第 4 · 5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測图 (13)



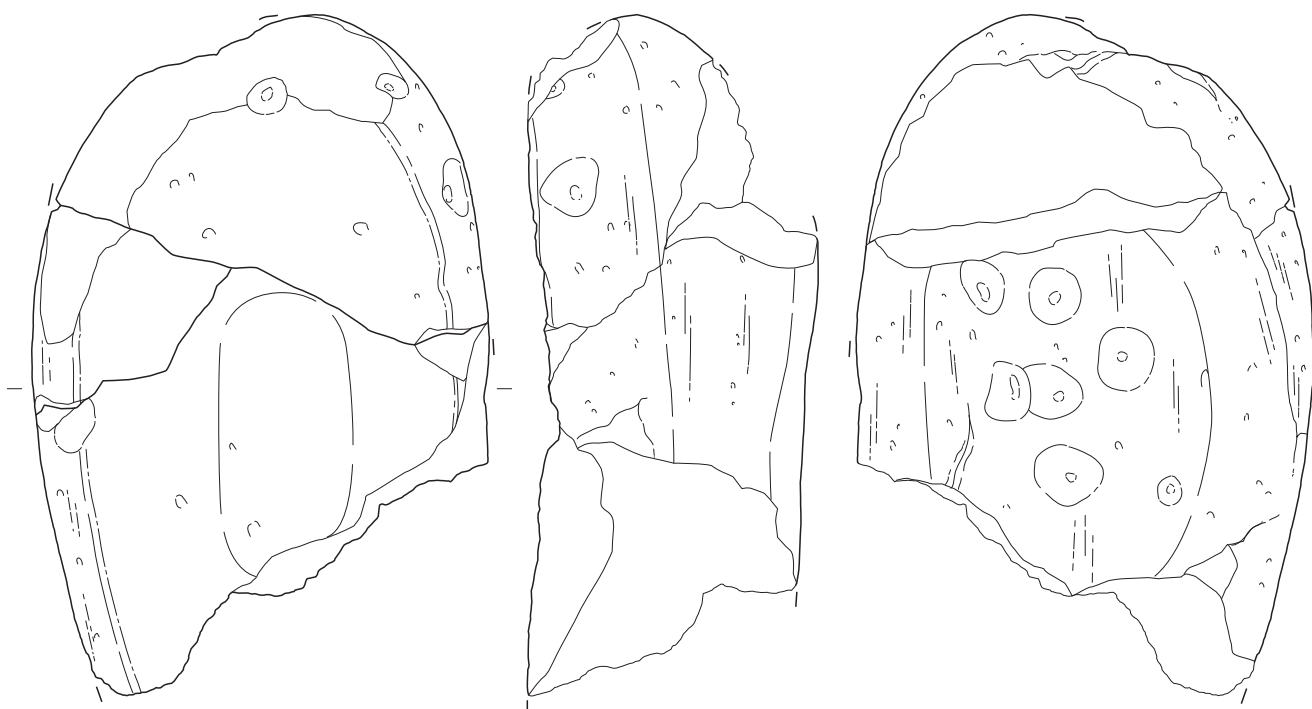
第410図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(14)



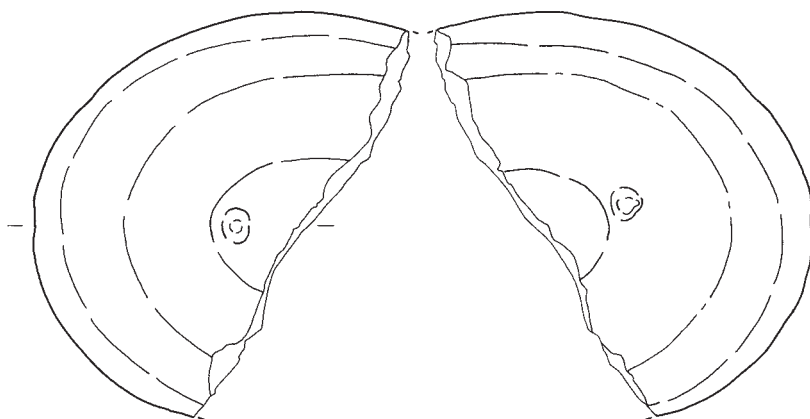
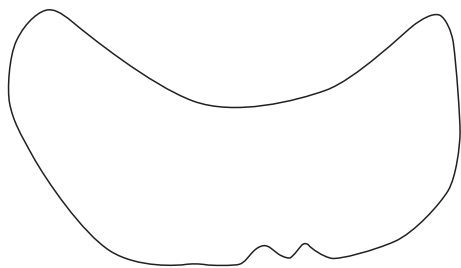
第 411 图 第 4 · 5 号遗物包含层第 V 层出土遗物实测图 (15)



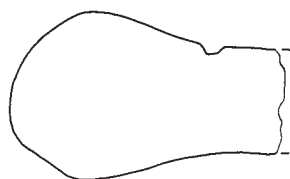
第412図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (16)



168

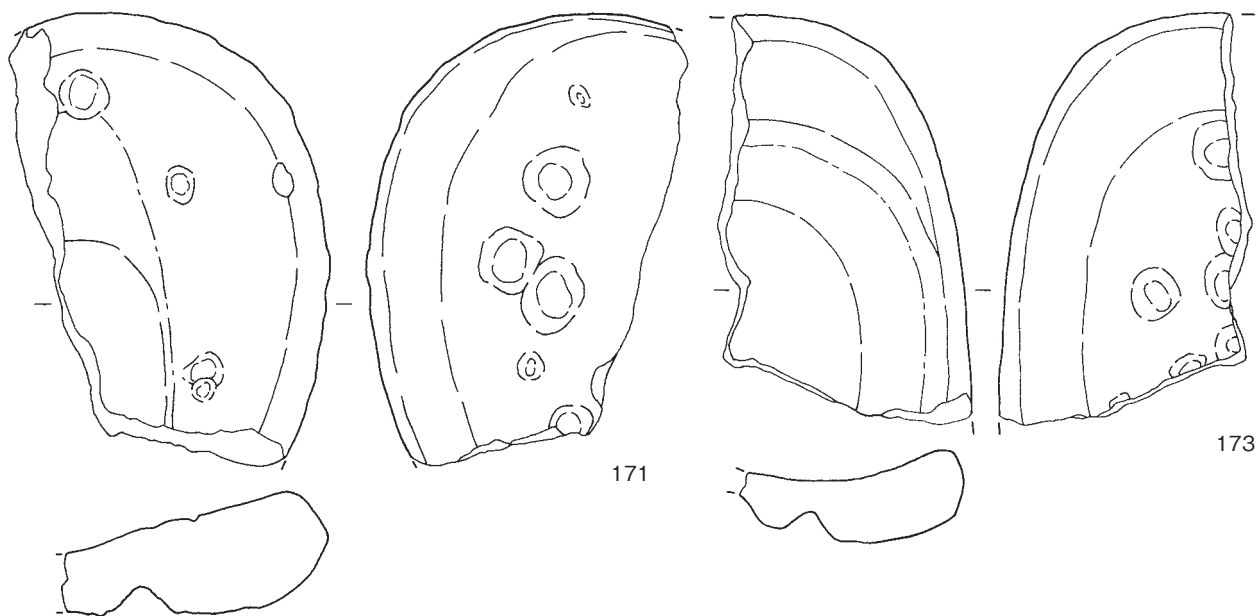


170



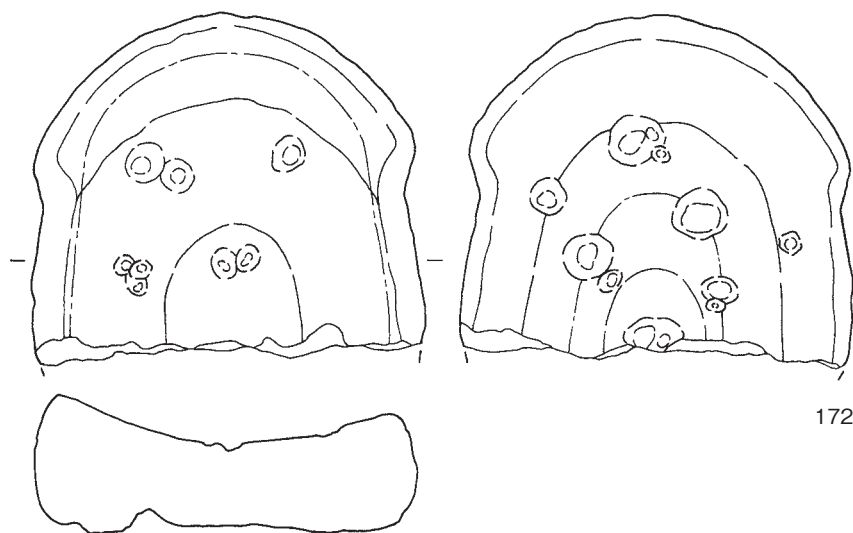
0 (1:3) 10cm

第 413 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (17)

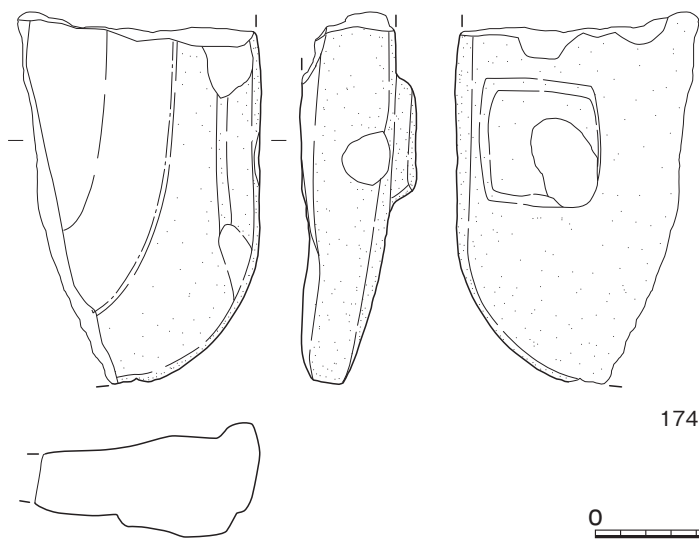


171

173



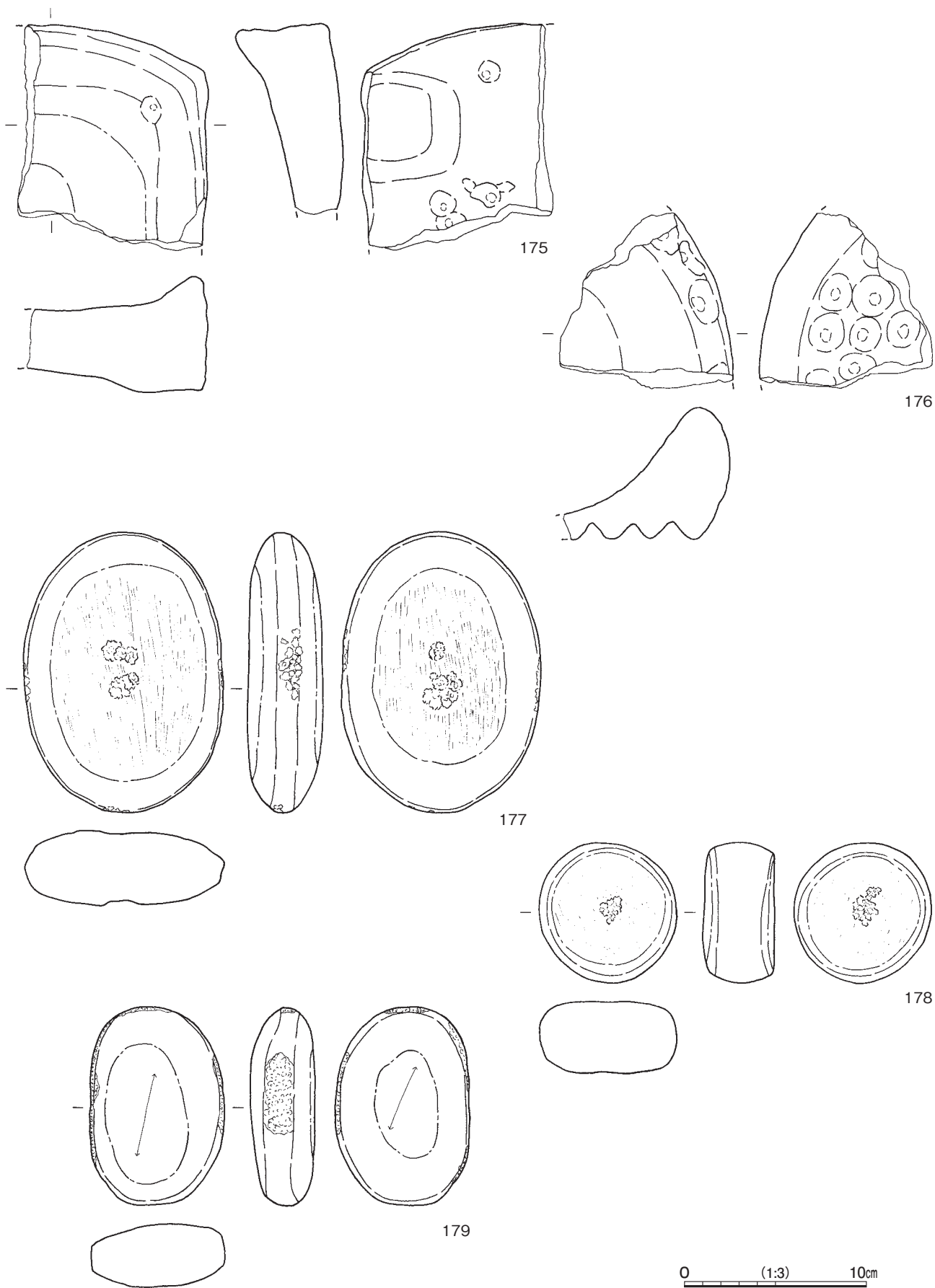
172



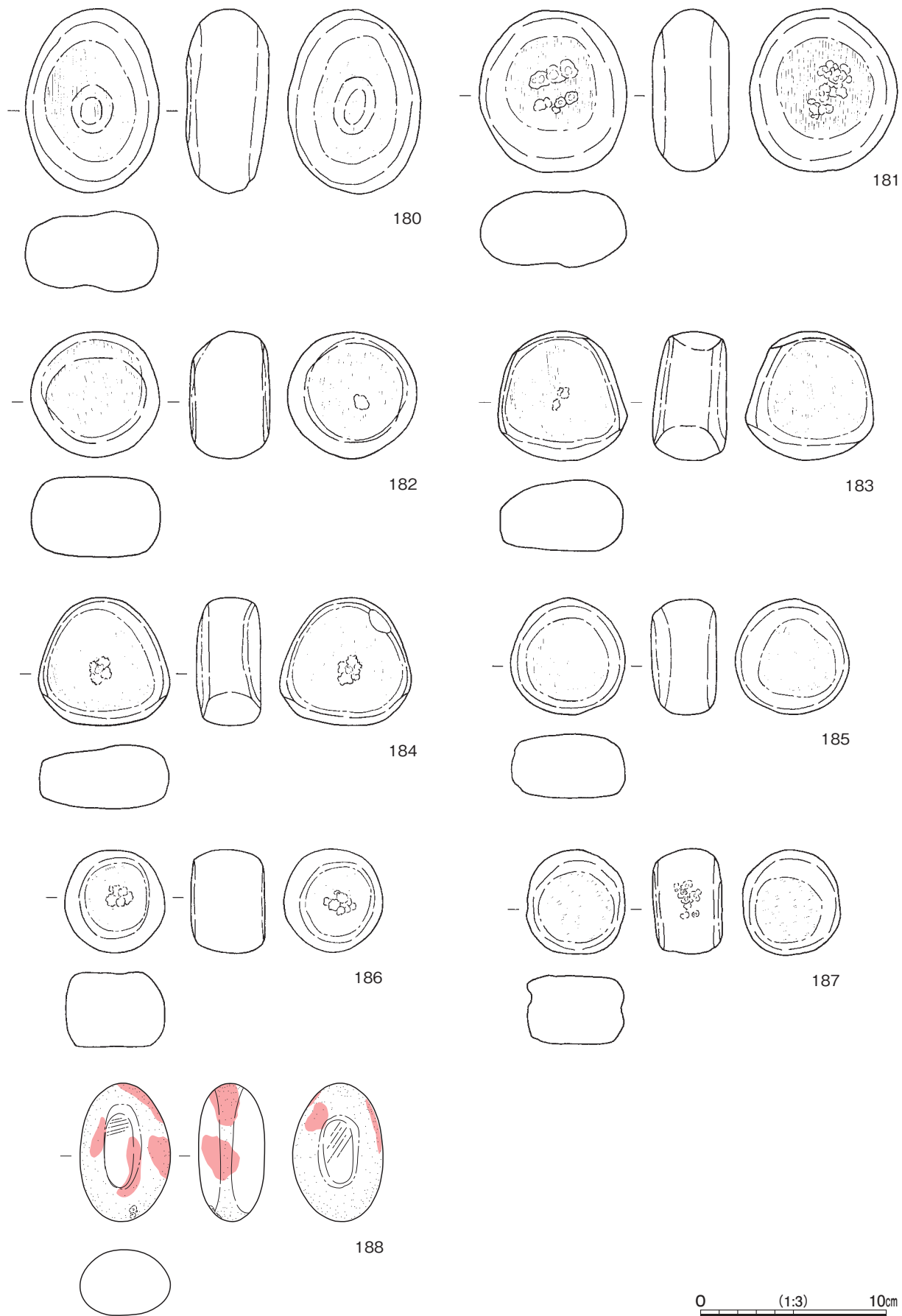
174

0 (1:3) 10cm

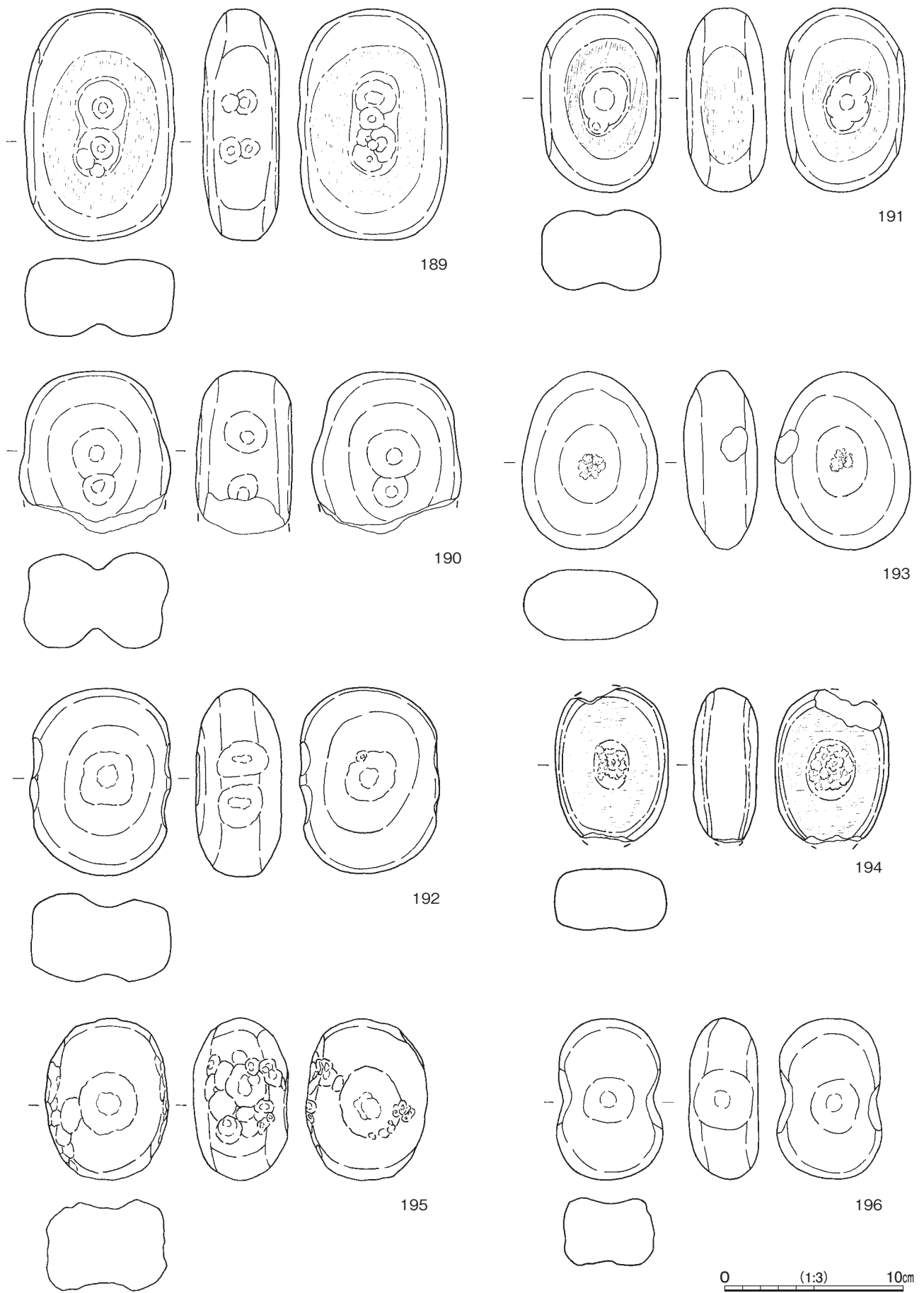
第414図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (18)



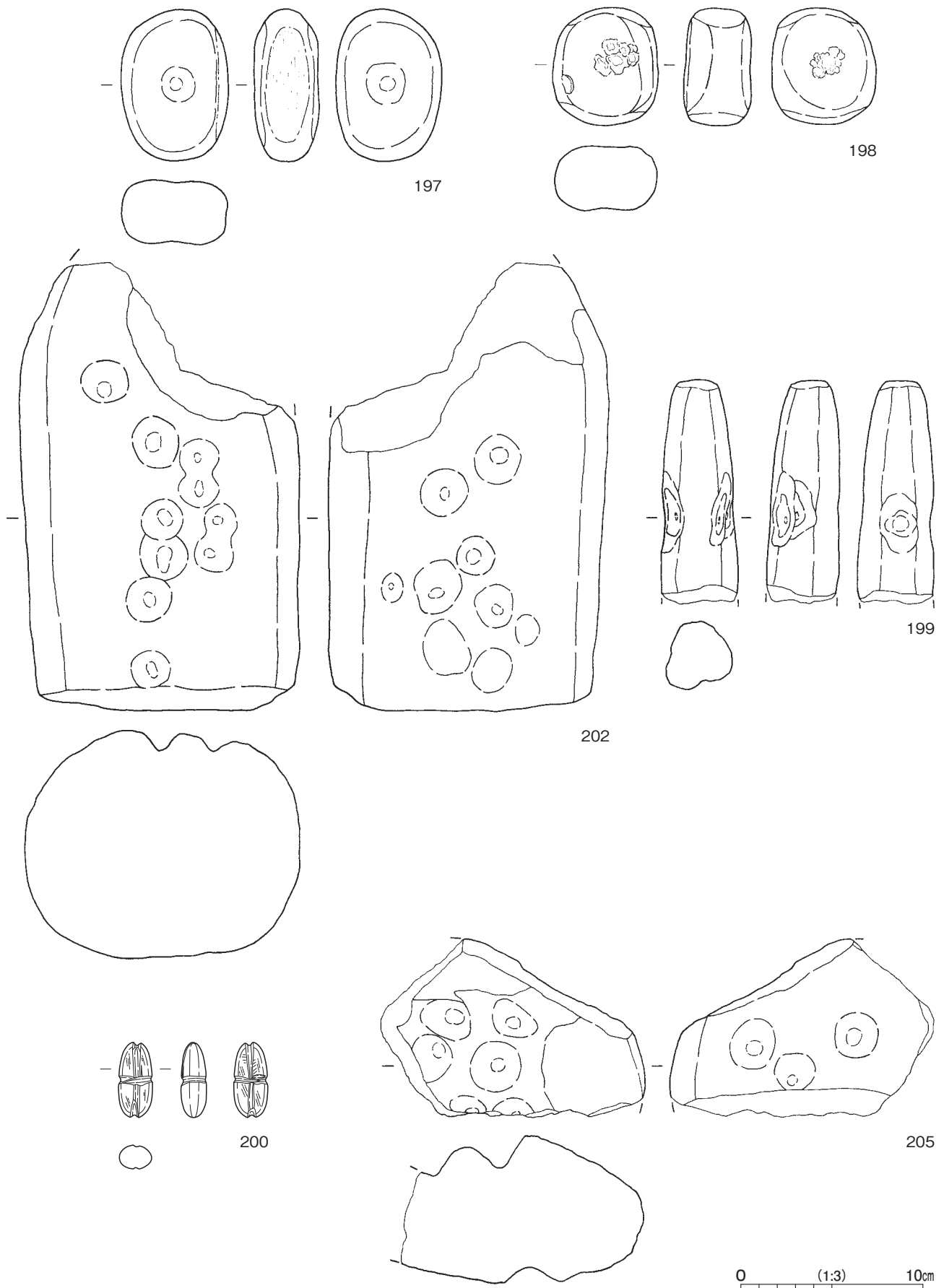
第 415 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (19)



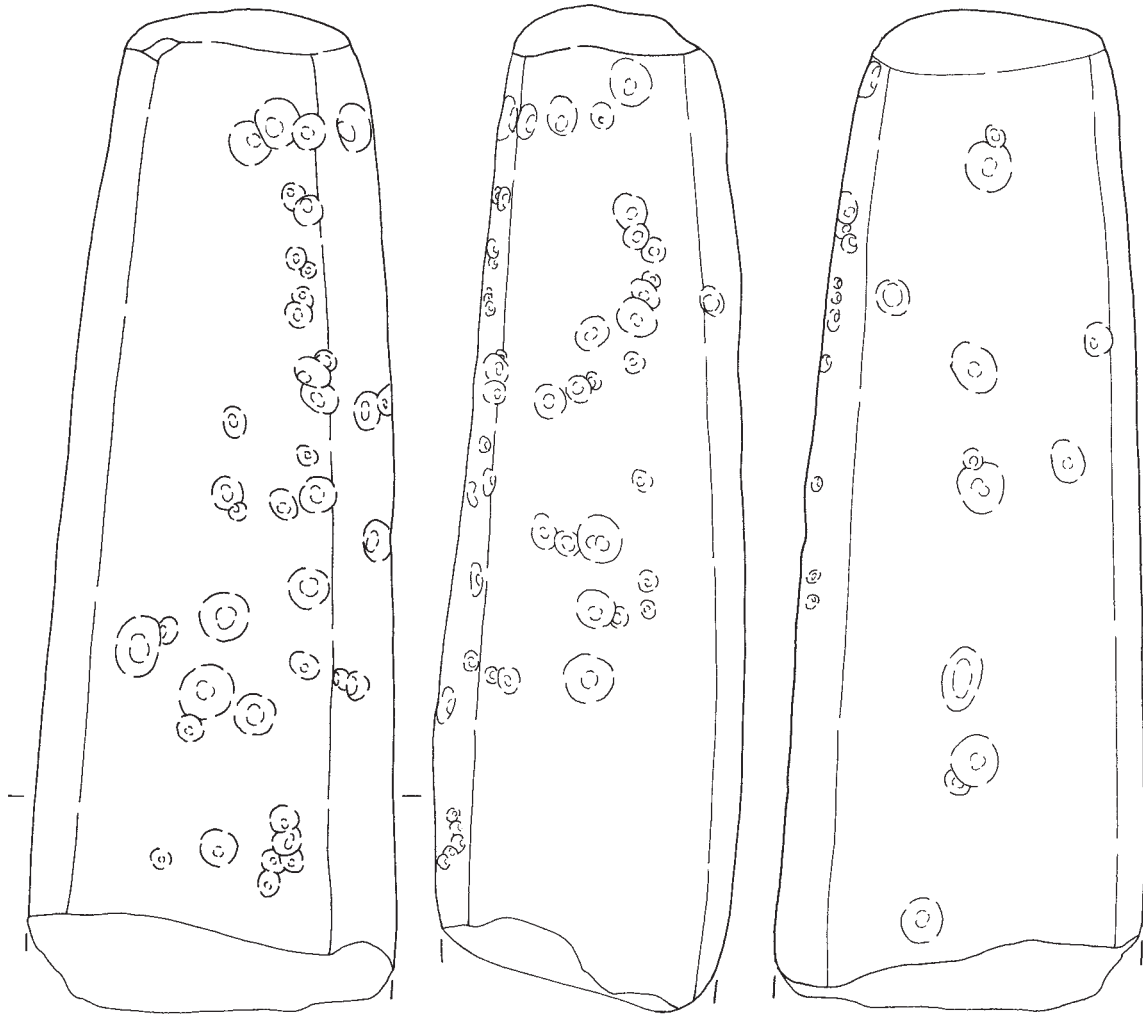
第416図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (20)



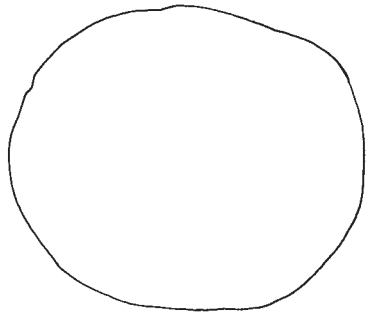
第 417 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (21)



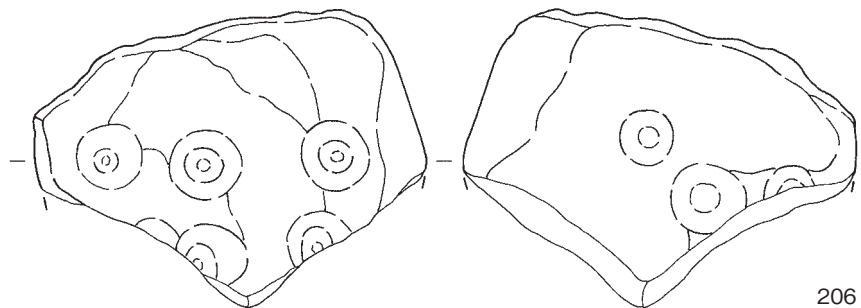
第418図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (22)



201



0 (1:4) 10cm

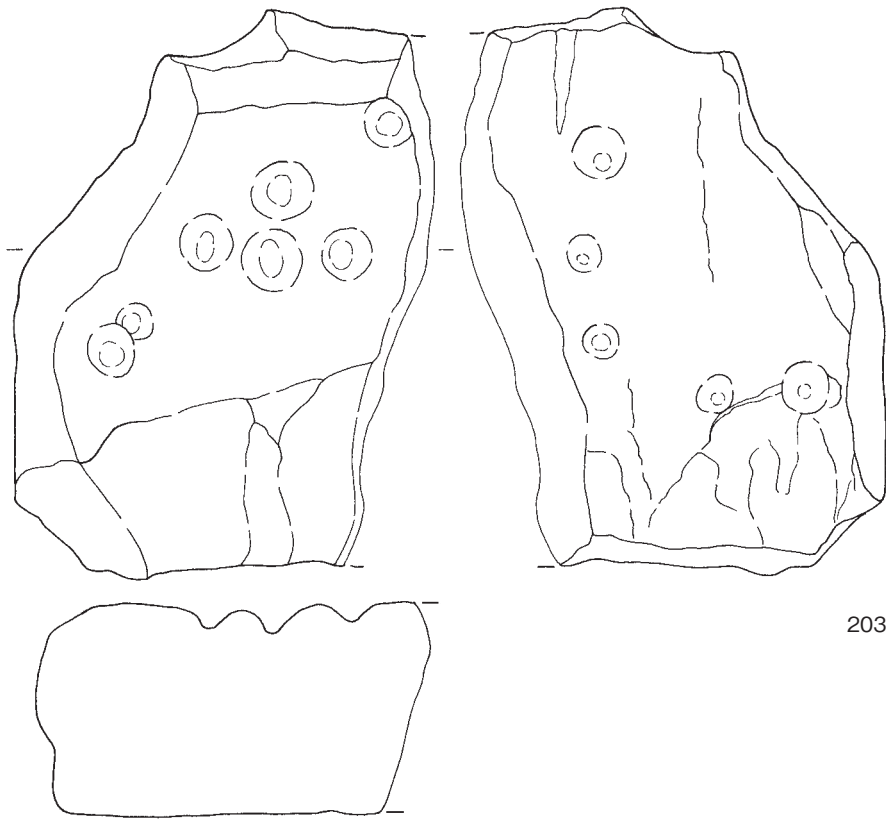


206

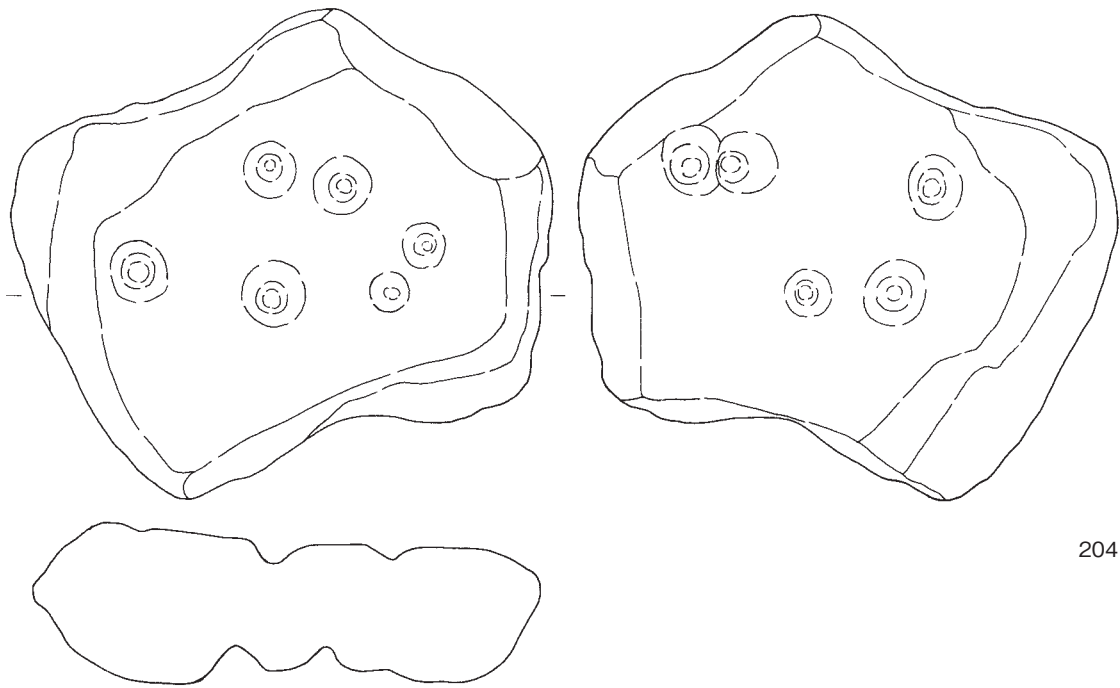


0 (1:3) 10cm

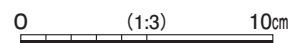
第 419 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (23)



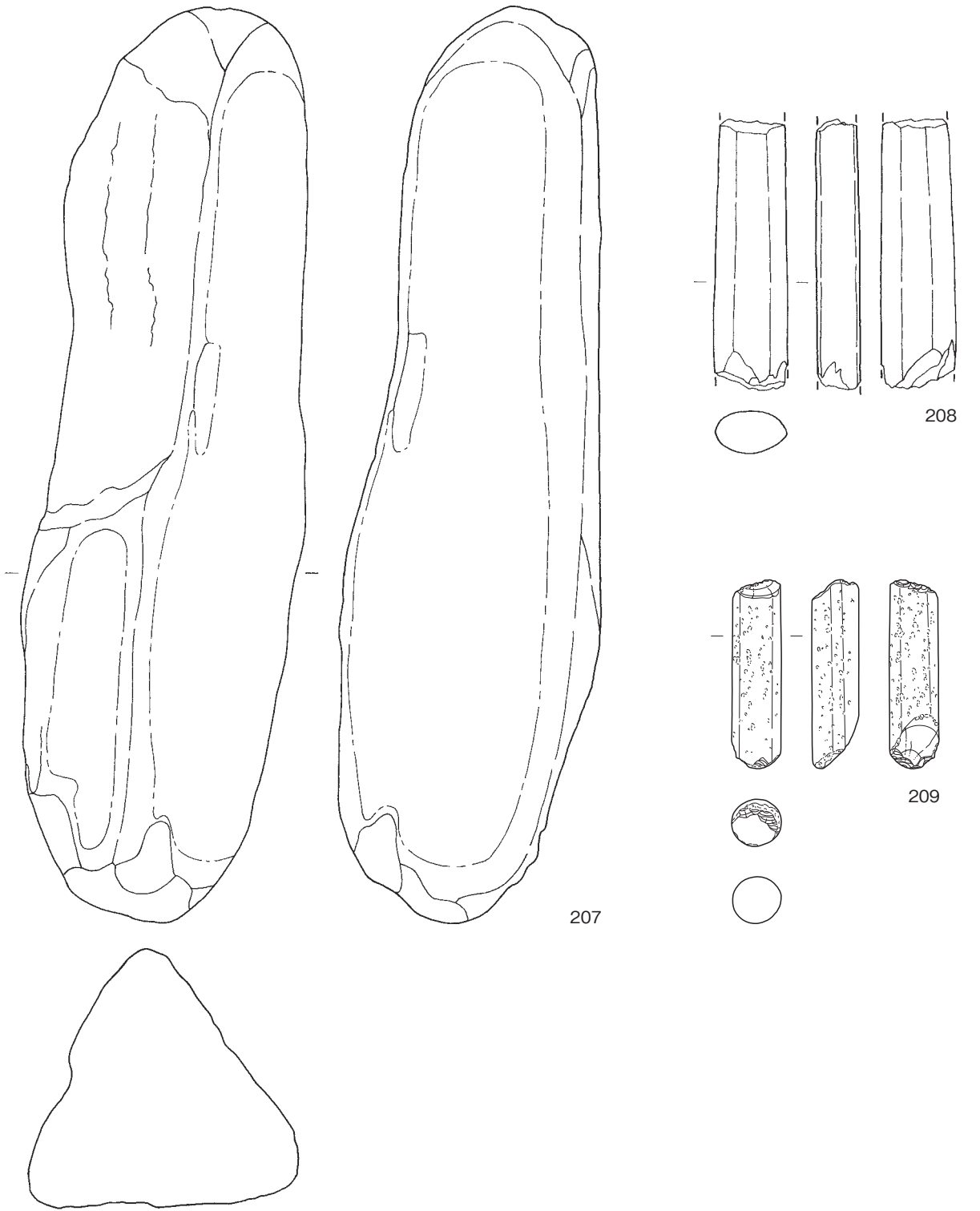
203



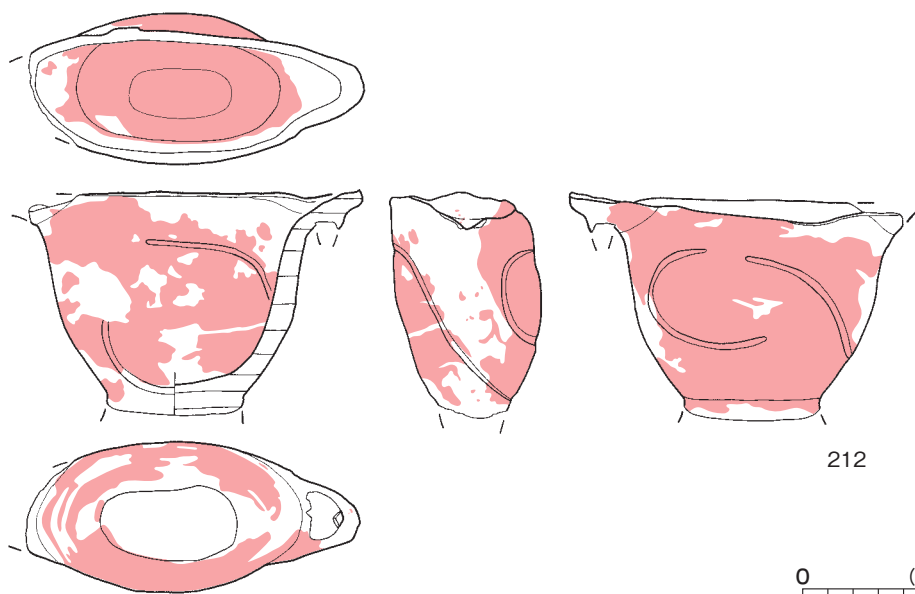
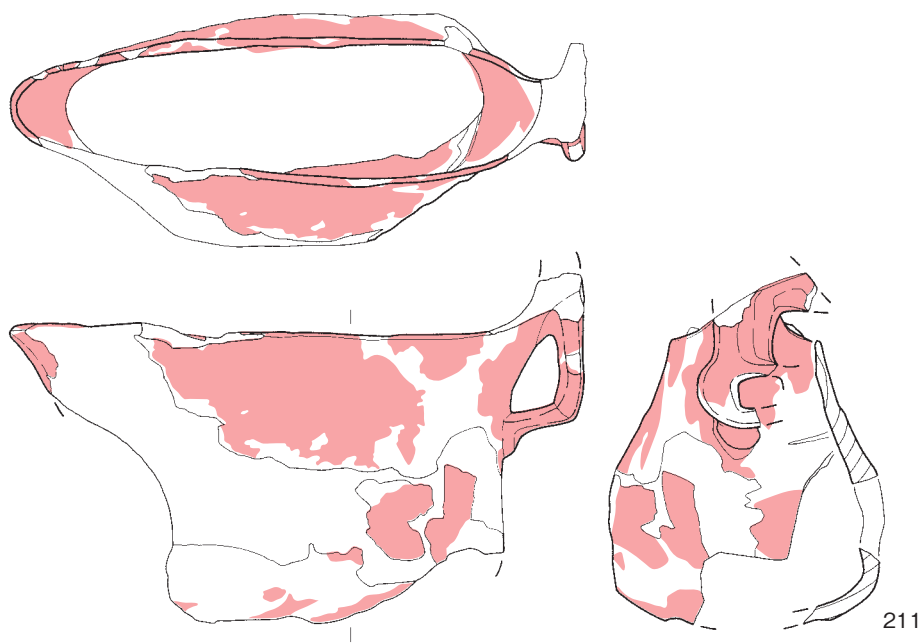
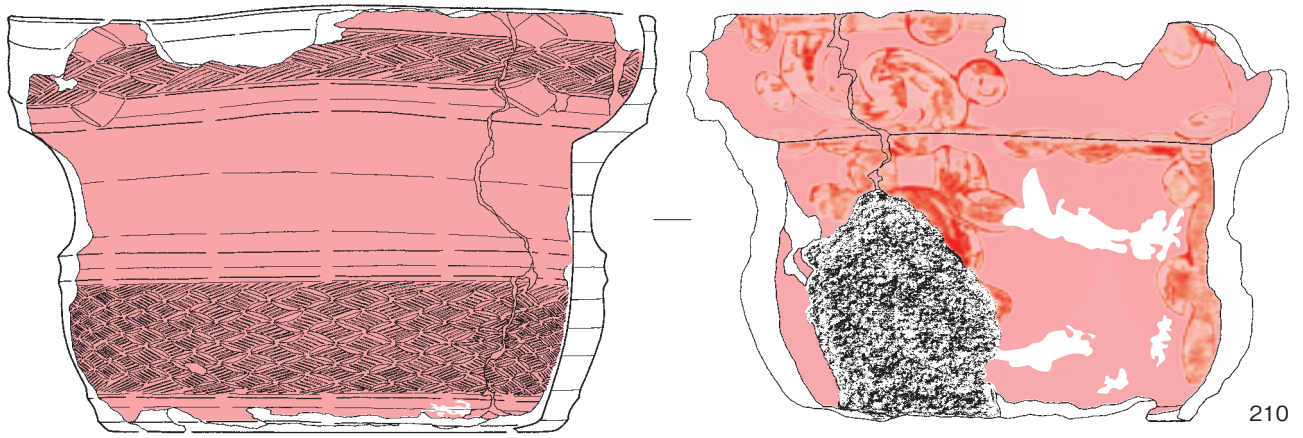
204



第 420 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (24)

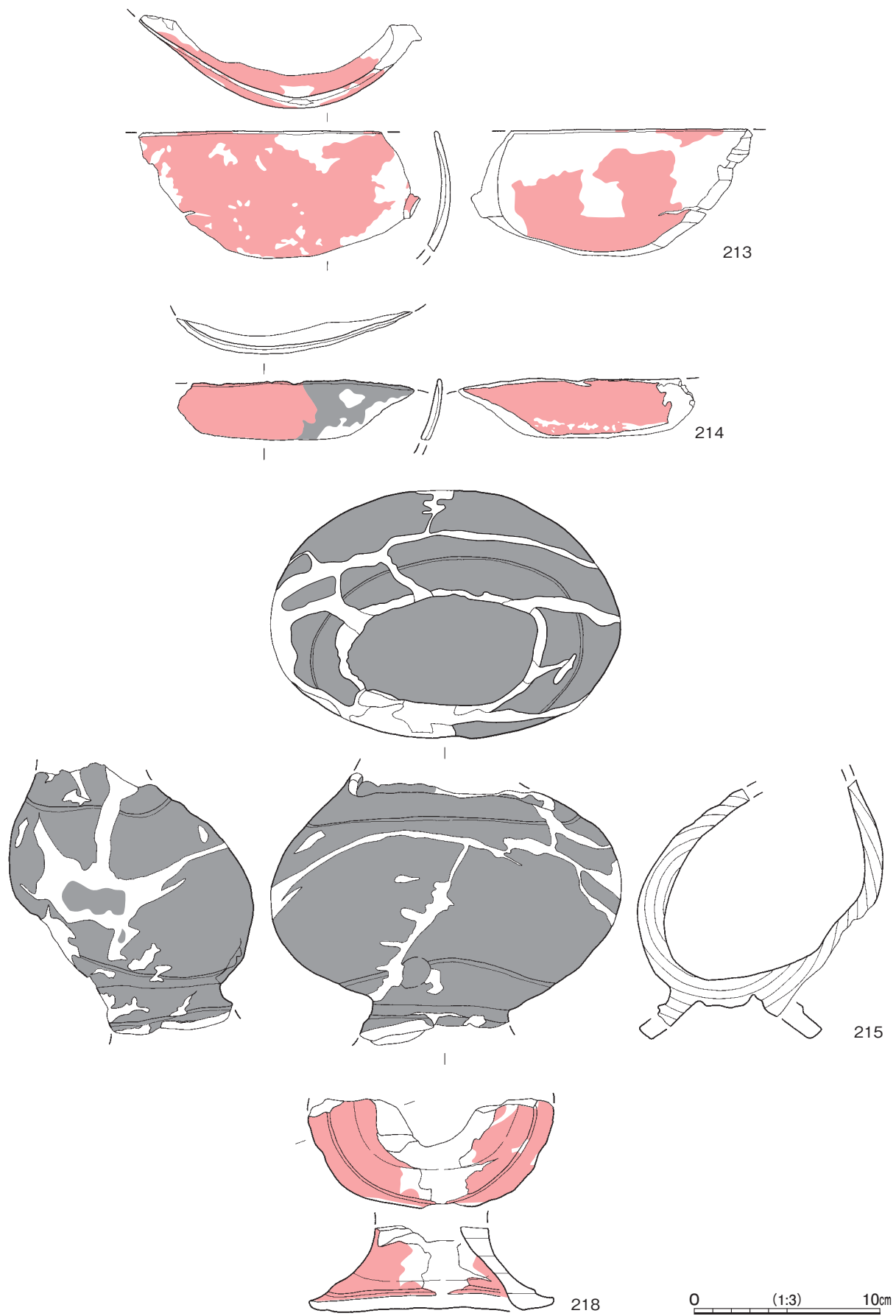


第 421 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (25)

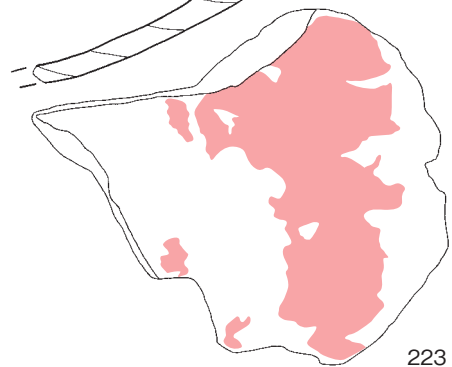
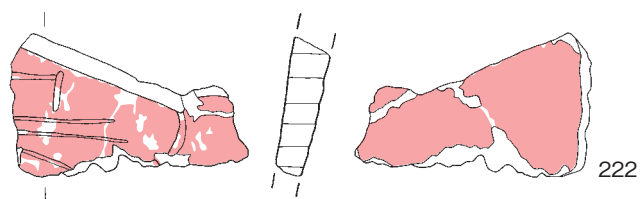
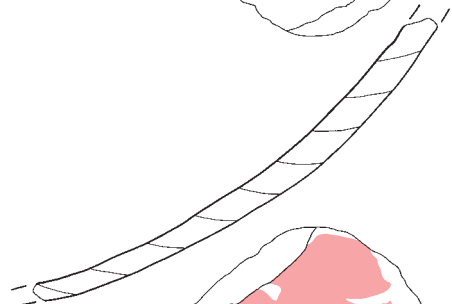
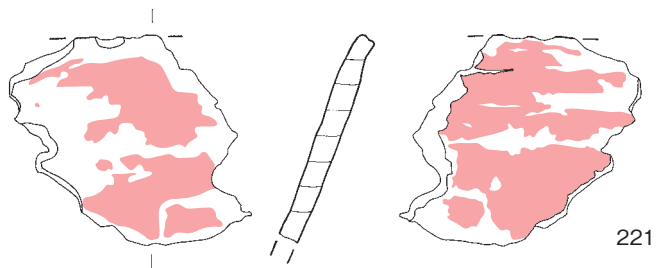
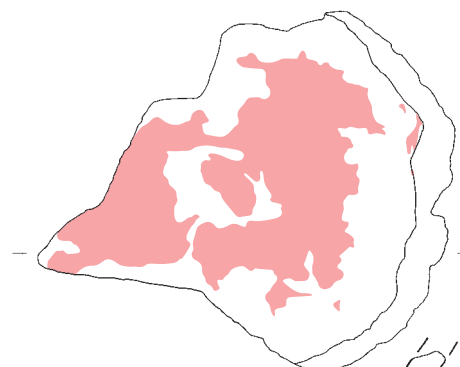
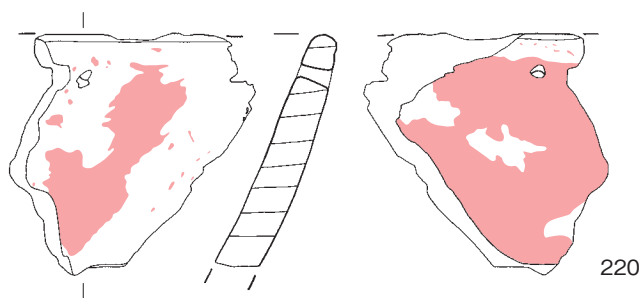
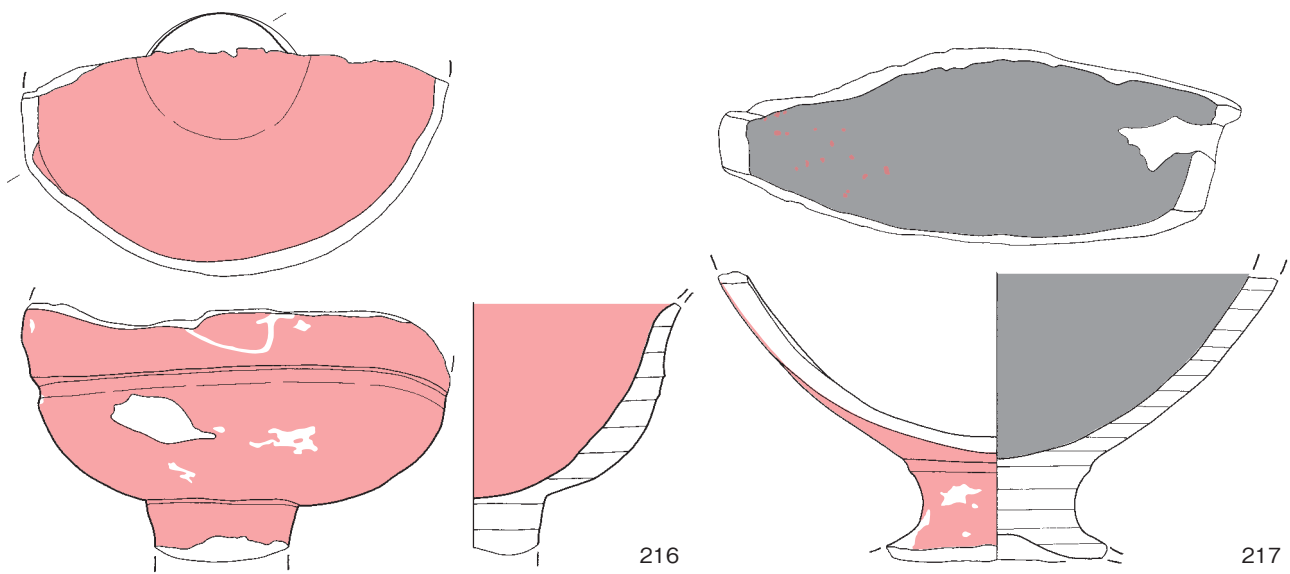


0 (1:3) 10cm

第422図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (26)

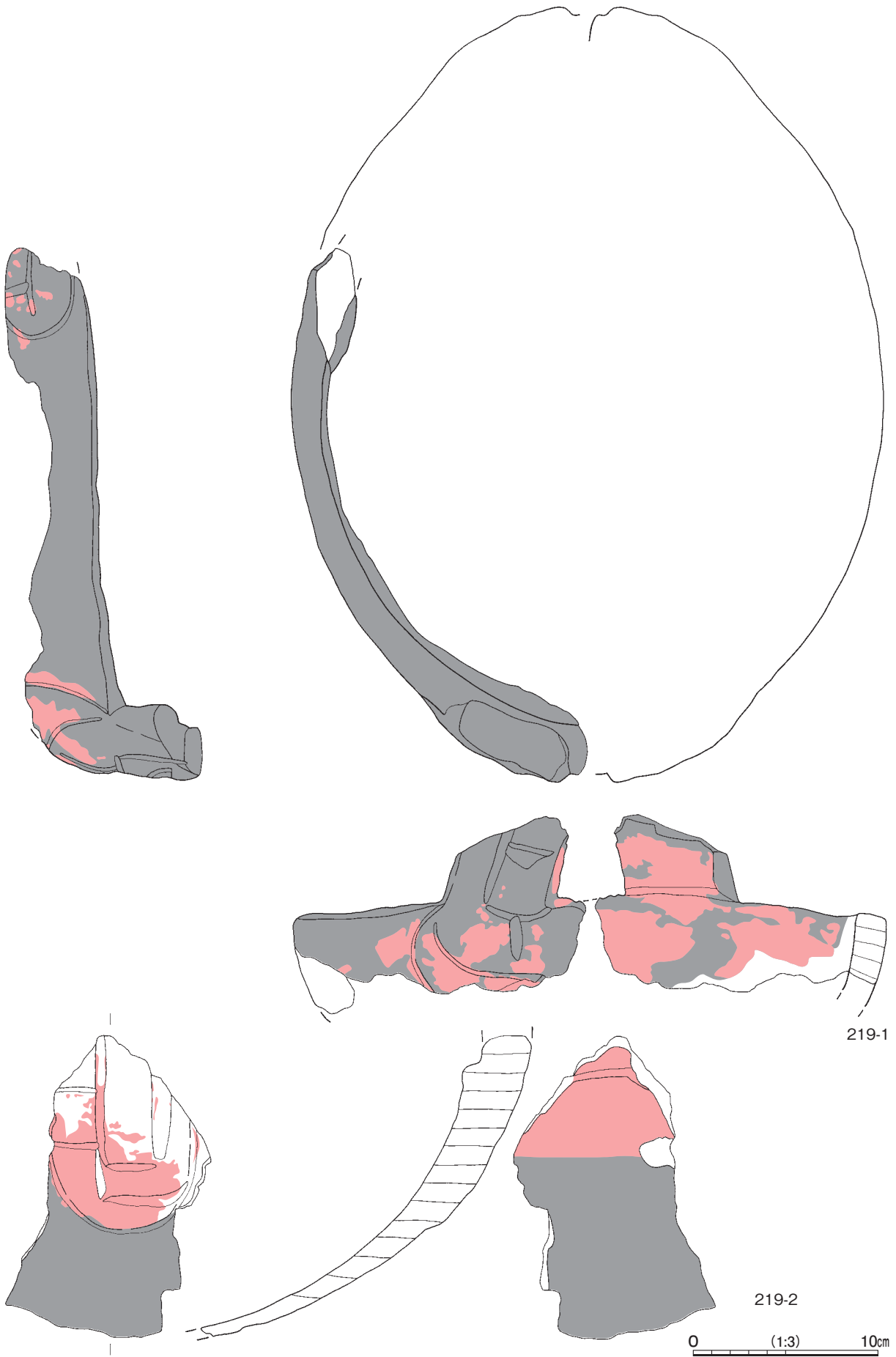


第 423 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (27)

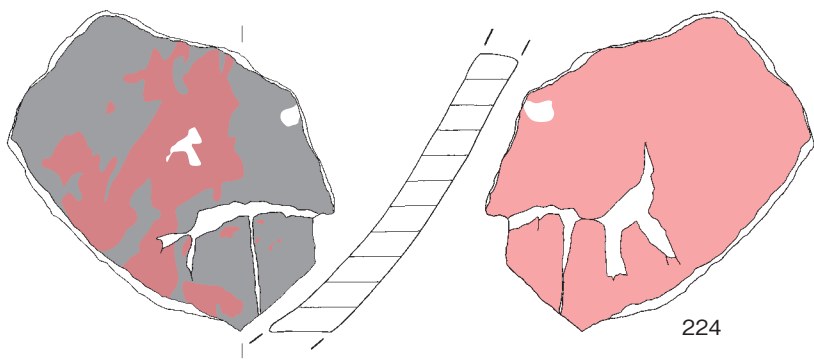


0 (1:3) 10cm

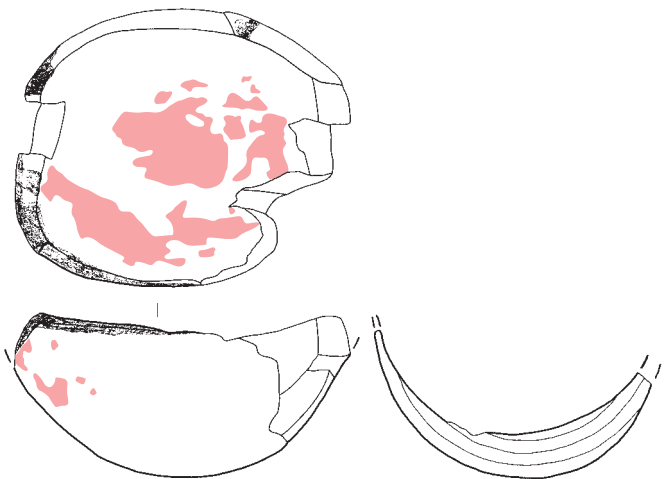
第424図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (28)



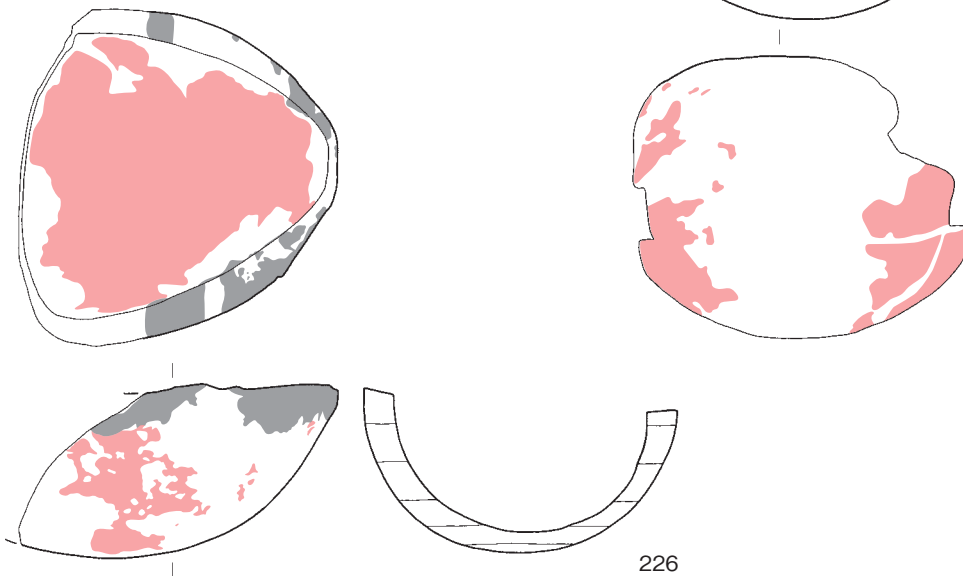
第 425 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (29)



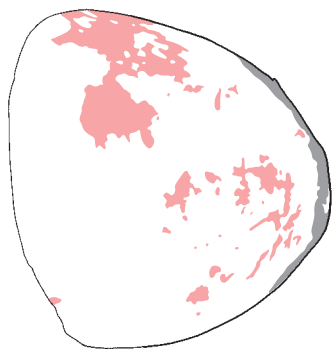
224



225

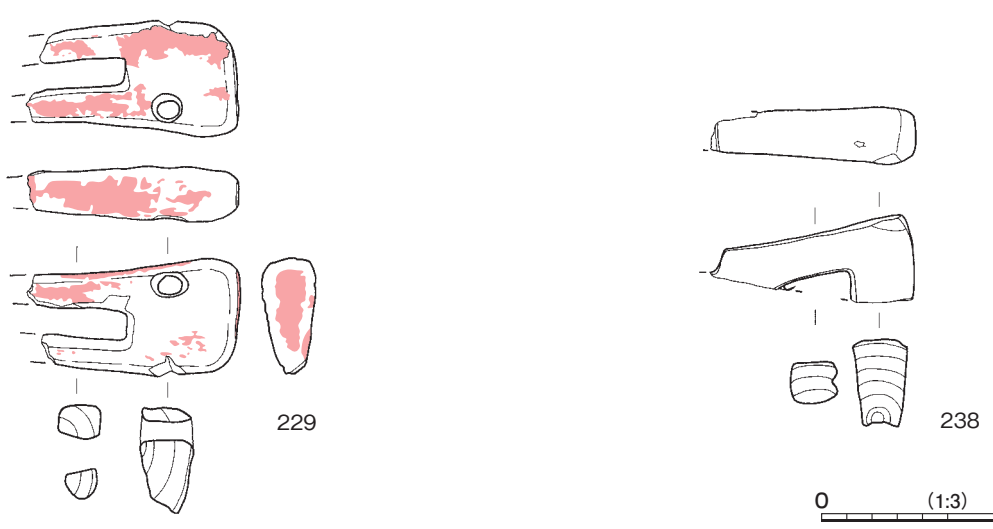
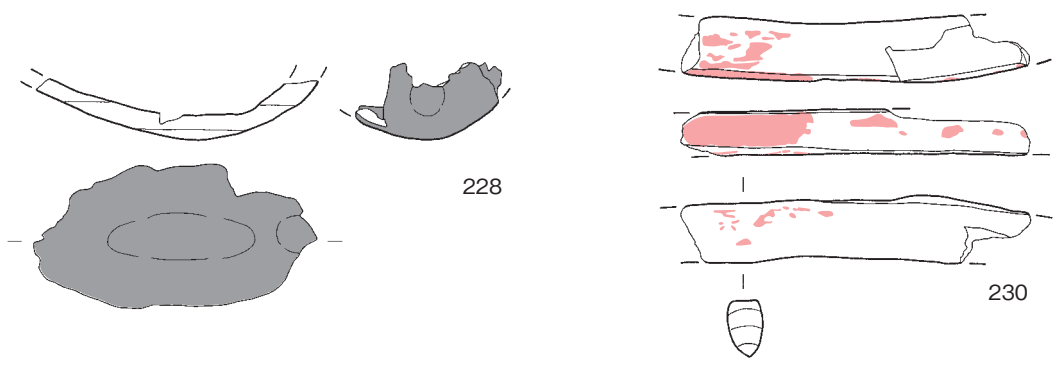
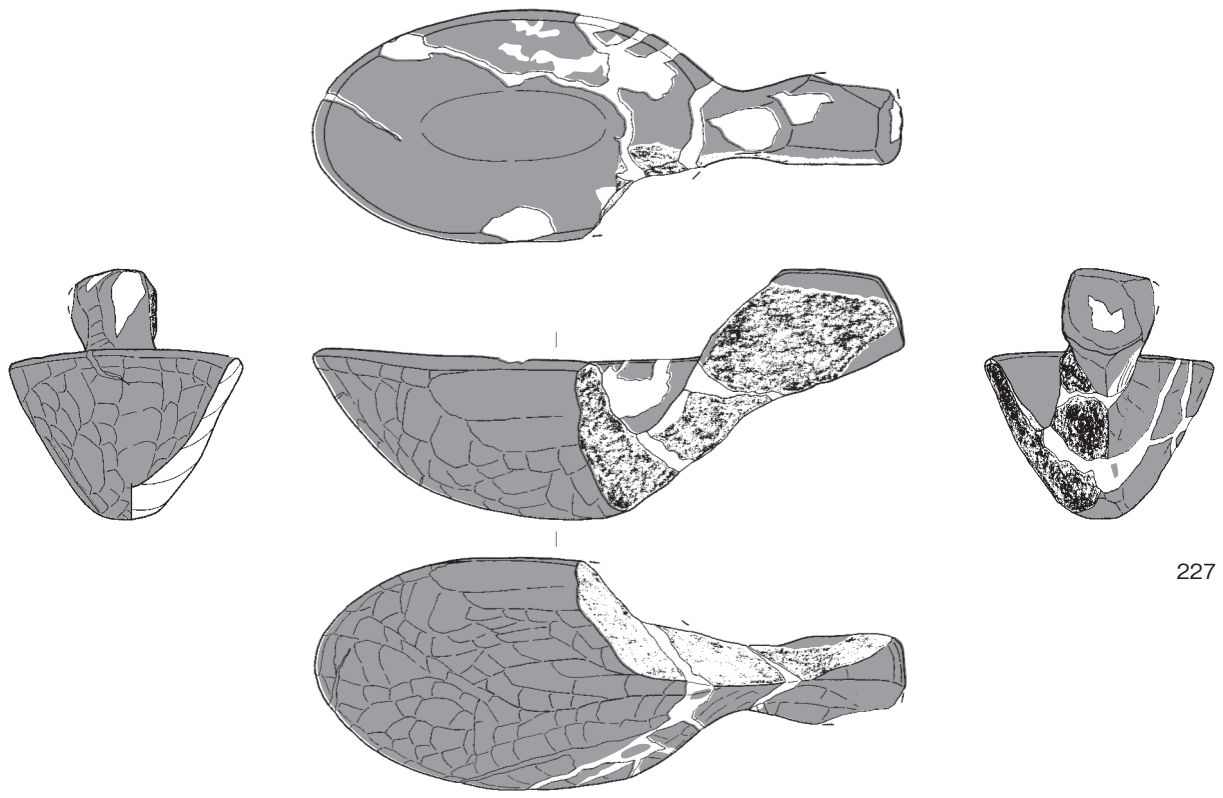


226



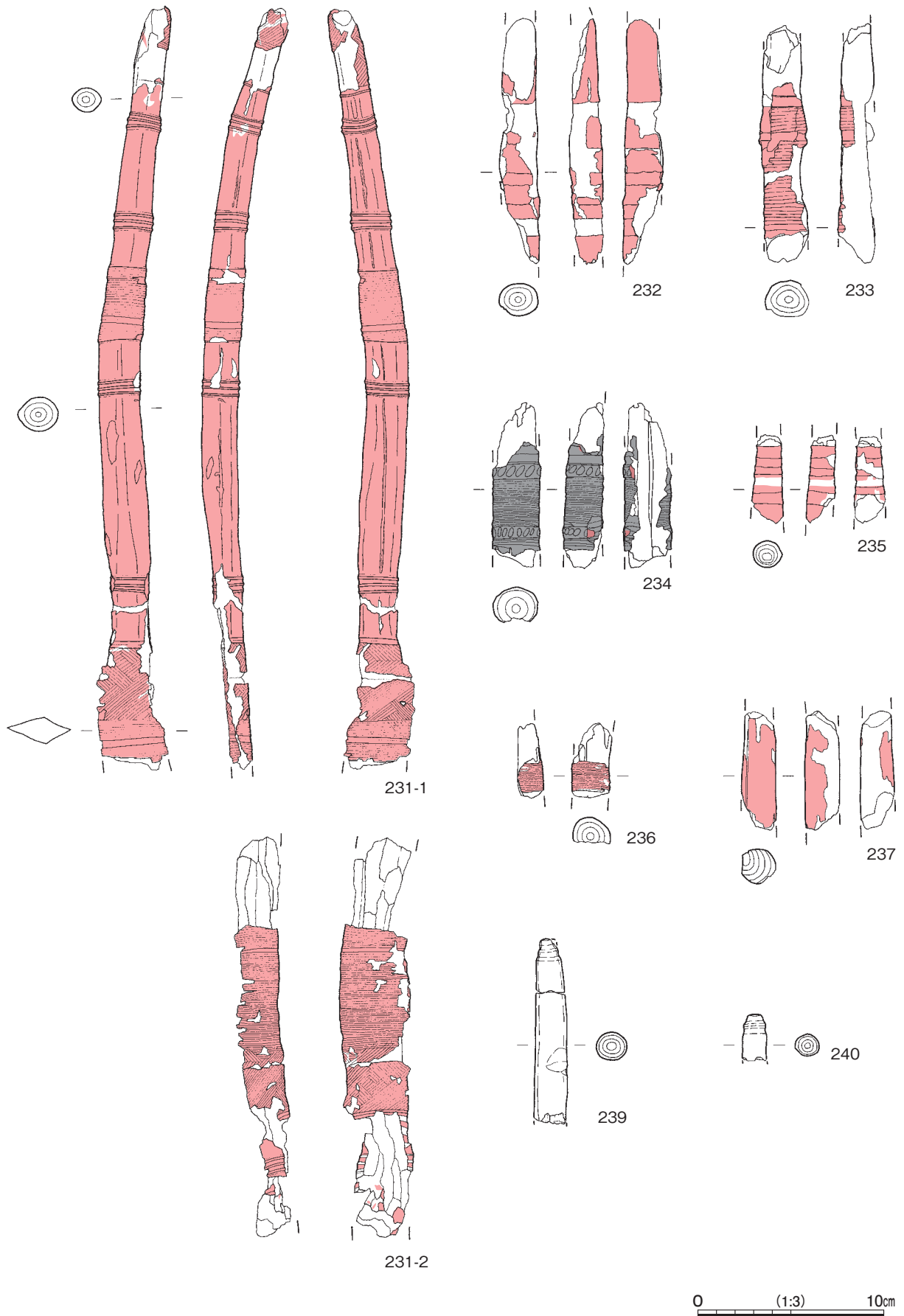
0 (1:3) 10cm

第426図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図(30)

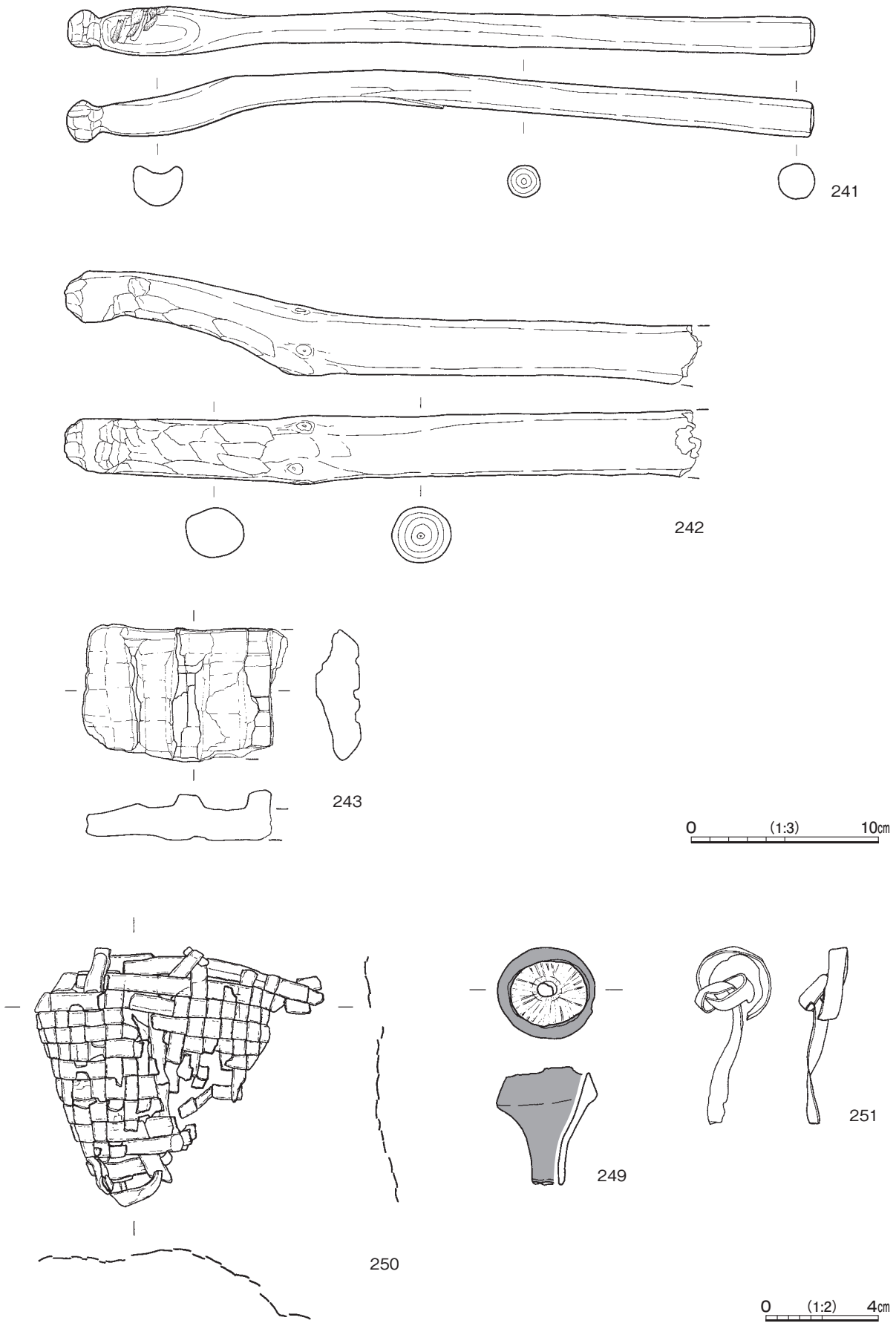


0 (1:3) 10cm

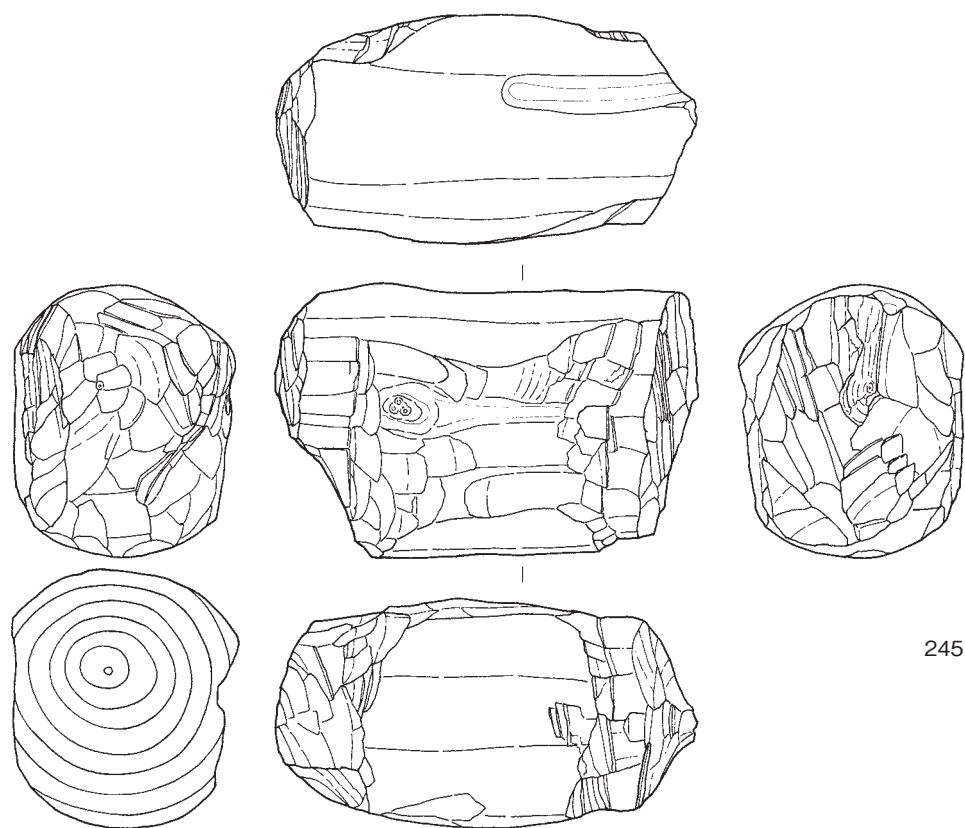
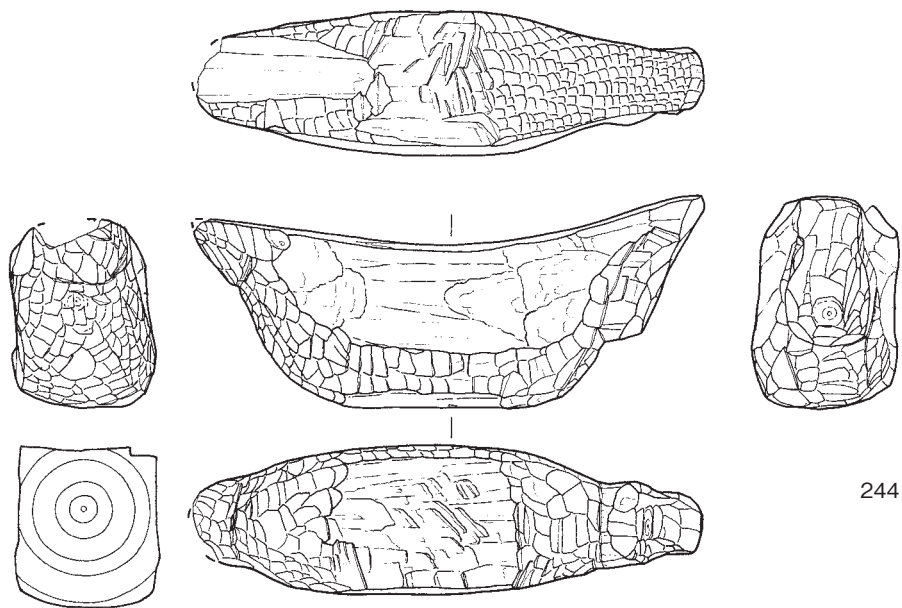
第 427 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (31)



第 428 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (32)

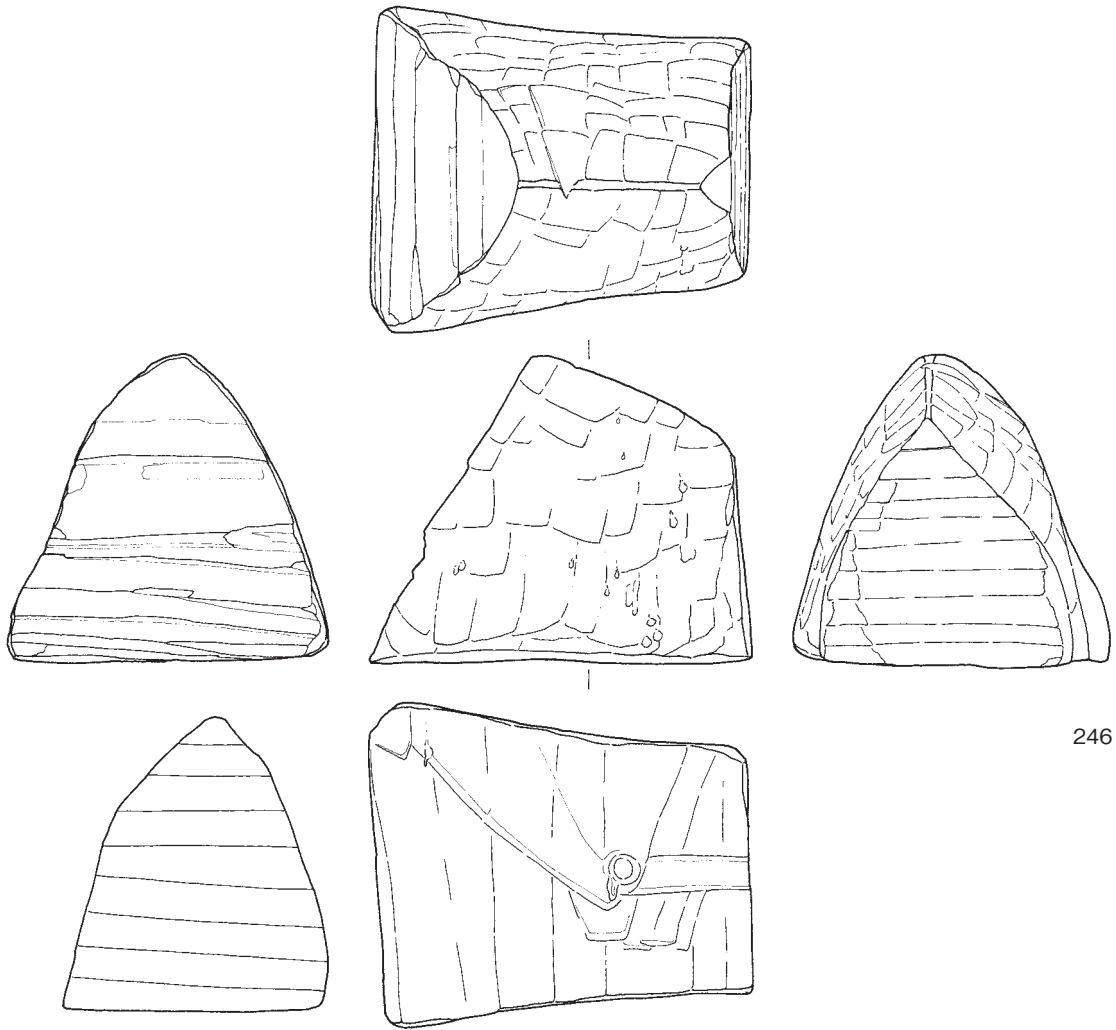


第 429 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (33)

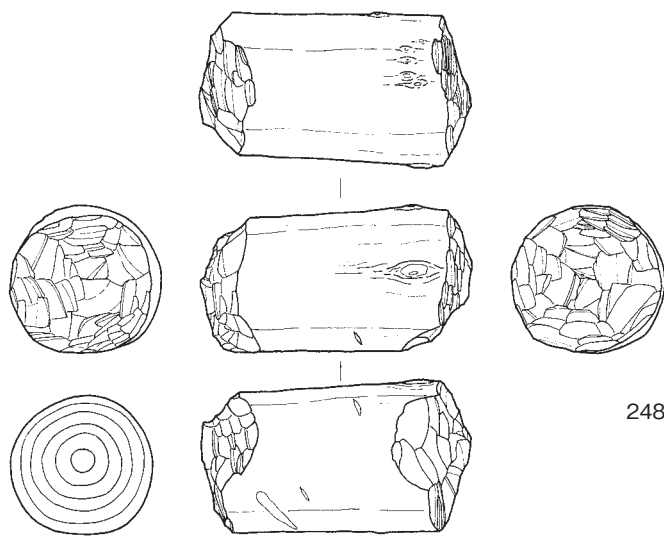


0 (1:4) 10cm

第430図 第4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (34)



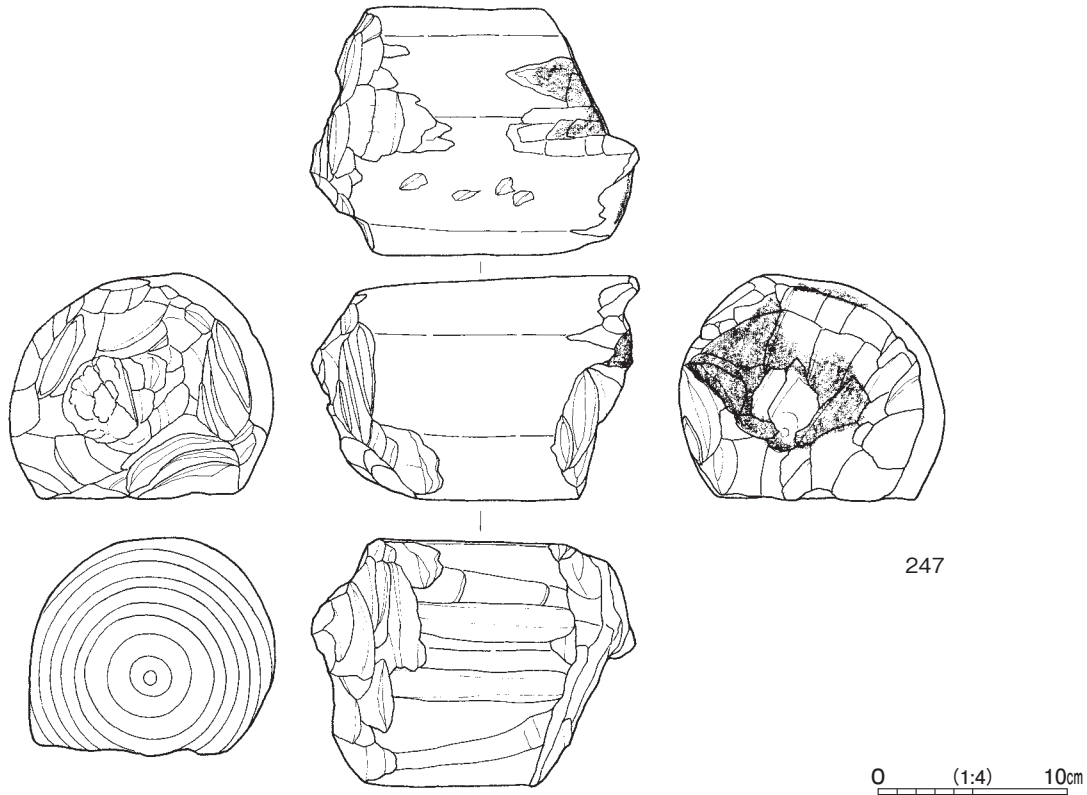
246



248

0 (1:4) 10cm

第 431 図 第 4・5 号遺物包含層第 V 層出土遺物実測図 (35)



247

第 432 図 第 4・5号遺物包含層第V層出土遺物実測図 (36)

第 249 表 第 4・5号遺物包含層第V層出土未掲載土器集計表

群	第1群		第2群		第3群		第4群		第5群			第6群			第7群		第8群	第9群				
	前期前半	中期後半	称名寺I式	称名寺II式	堀之内1式	堀之内2式	加曾利B1式	加曾利B2式	加曾利B3式	曾谷式	安行1式	安行2式	安行3a式	安行3b式	姥山II式	晚期縣系土器	沈線文	刺突文	磨消文	隆起帯縄文	紐線文(古)	紐線文(新)
点数	23	4	73	142	29	144	5	6	5	20	20	18	37	19	28	9	7,462	328	589	299	359	158
重量(g)	422	291	2,391	4,218	1,163	3,902	158	130	328	848	961	720	1,468	477	372	160	20,142	6,937	15,030	6,619	11,104	4,064

群	第9群				第10群		第11群											第12群	第13群	合計		
	倍子目文	条線文	縄文	無文	底部(古)	底部(新)	浅鉢	鉢	台付鉢	注口土器	壺	有耳壺	角底土器	舟底形土器	異形台付土器	把手	蓋				ミニチュア土器	漆附着土器
点数	38	894	6,821	7,061	1,414	139	169	107	16	50	16	12	1	1	3	23	2	6	21	36	-	26,607
重量(g)	909	16,232	173,423	141,858	83,674	6,871	7,016	5,526	924	2,434	616	953	35	138	21	575	82	211	567	456	10,212	715,916

第 250 表 第 4・5号遺物包含層第V層出土遺物一覧 (第 397 ~ 432 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・繊維	灰褐	普通	外面縄文 LR → 半截竹管状工具による斜行文	LH7区1x	黒浜式
2	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄	普通	外面付加条1種 (RL+ r と LR+ 1) の羽状縄文	LI7区4x	黒浜式
3	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石	にぶい橙	普通	外面貝殻文	LI6区2x	浮島式
4	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	キャリパー形の口縁部に橋状把手 短沈線充填の渦巻状文 三角形印刻 口唇部に横位の沈線と短沈線列	LI7区4x	PL122 五領ヶ台式
5	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	隆帯脇に爪形文 (隆帯剥離)	LK5区2・4x	阿玉台Ⅲ式
6	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	波状口縁 波頂部内面に窩紋連携沈文を持つC字貼付文	LJ5区2x	称名寺Ⅱ式
7	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・雲母	褐灰	普通	口縁部に窩紋連携沈文を持つC字貼付文 充填刺突文によるJ字文 内面磨き	LI6区4x	称名寺Ⅱ式
8	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英	褐灰	普通	沈線間にLR縄文と刺突文を充填 内面ナデ	LI7区4x	称名寺Ⅱ式
9	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・雲母	黒	普通	充填刺突文によるJ字文カ 無文部・内面磨き	LJ5区4x	称名寺Ⅱ式
10	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口唇部に窩紋連携沈文 RL地縄文→紡錘文→沈線間磨き	LI5区1x	堀之内1式
11	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英	褐灰	普通	LR地縄文→2本1単位の沈線文 内面ナデ	LI5区2x	PL122 堀之内1式

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
12	縄文土器	深鉢	[28.0]	(9.5)	-	長石・石英・雲母・針状物質	黒	普通	口唇部に短沈線と凹形窩文 頸部・屈曲部に紐線文 胴部LR地縄文→単沈線による懸垂文 内面磨き	L K 4区2x	20% PL122 堀之内1式
13	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部に横転した窩紋連携沈文を持つC字貼付文 頸部紐線文 内面磨き	L I 7区3x	堀之内1式
14	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口縁突起部から紐線垂下 頸部LR地縄文→沈線文 内面磨き	L I 6区1x	堀之内1式
15	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英	灰褐	普通	口縁部に狭い無文部 窩紋連携沈文 RL地縄文→紐線文垂下→集合沈線文 磨減	L J 6区x	PL122 堀之内1式
16	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	口唇部に凹線と凹形窩文 LR地縄文→口縁部から紐線垂下・紐線脇に沈線文	L I 7区2x	堀之内1式
17	縄文土器	深鉢	[31.4]	(30.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	LR地縄文→口縁部窩紋連携沈文 胴部懸垂文 内面磨き	L J 4区4x	20% 網取1式
18	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口唇部に窩紋連携沈文 LR地縄文→懸垂文 焦げの付着顕著 内面磨き	L I 7区4x	10% PL122 堀之内1式
19	縄文土器	深鉢	[25.2]	(9.5)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面ナデ後沈線による蛇行懸垂文 内面ナデ	L J 4区4x	25% 堀之内1式
20	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面ナデ後半載竹管状工具による単沈線文・蛇行懸垂文 焦げの付着顕著 内面磨き	L K 4区2x	堀之内1式
21	縄文土器	深鉢	[27.4]	(14.9)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部に窩紋連携沈文 RL地縄文→集合沈線による懸垂文と連携文 沈線間一部磨き 内面磨き	L I 5・L J 5区4x	15% PL122 堀之内1式
22	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	波頂部に横転したC字文 口唇部に窩紋連携沈文 LR地縄文→紐線垂下→渦巻文 沈線間一部磨き 焦げ付着	L H 8区4x	10% 堀之内1式
23	縄文土器	深鉢	[18.4]	(16.8)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	4単位の波状口縁 口唇部に窩紋連携沈文 LR地縄文→紐線区内に半載竹管状工具による集合沈線でX字文 内面粗い磨き	L K 4・5区2~4x	70% PL123 堀之内1式
24	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	口唇部に沈線 LR地縄文→単沈線による渦巻文 内面粗い磨き	L J 5・7区3・4x	堀之内1式
25	縄文土器	深鉢	[24.6]	(24.9)	-	長石・雲母	黒	普通	無節L充填縄文で三角文施文 焦げの付着顕著	L J 6区2x	70% 堀之内2式
26	縄文土器	深鉢	[32.0]	(28.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部2条の沈線 胴部無節L縄文→4条の縦位沈線・沈線間に短沈線充填の紡錘状文 焦げ付着	L I 6・7区4x	40% PL122 堀之内1式
27	縄文土器	深鉢	[22.4]	(20.0)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒	普通	面前段多条のLR→半載竹管状工具の押し引きによる懸垂文 口縁部磨き 内面磨き	L I 7・L H 7区2~4x	10% PL124 堀之内1式
28	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	口縁部無文帯 胴部櫛歯状工具による条線文 内面粗い磨き	L J 4区x	後期前葉
29	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部に2孔の貫通孔を持つ渦巻状の突起 LR地縄文→単沈線による集合沈線文	L I 5区3x	堀之内1式
30	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・雲母	灰黄褐	普通	口唇部に沈線と紐線 LR地縄文→半載竹管状工具によるほしご状懸垂文 内面磨き 口縁部凹線状	L H 8区2x	堀之内2式
31	縄文土器	深鉢	30.4~32.3	41.8	11.3~11.7	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面縄文LR→櫛歯状工具による集合沈線→胴部下半部磨き 内面磨き 外面にスス少量付着	L J 5区3x	95% PL123 堀之内1式
32	縄文土器	深鉢	-	(13.8)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部沈線 無節L地縄文→3本1単位の沈線による集合沈線文 内面磨き	L I 6区4x	堀之内1式
33	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	半載竹管状工具によるX字状の集合沈線	L H 8・9区1・2x	堀之内1式
34	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	LR地縄文→半載竹管状工具による紡錘状の集合沈線文 口縁部に紐線貼付(剥離) 内面口縁部に沈線	L J 4区2x	堀之内1式
35	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英	灰褐	普通	無節L地縄文→弧線文 内面ナデ 口縁部に凹線	L I 6区3x	堀之内1式
36	縄文土器	深鉢	9.2	12.1	5.5	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部縦位→横位・胴部縦位に櫛歯状工具による条線文 内面磨き 底面ナデ 外・内面に煤付着	L J 5区3x	95% PL123 堀之内1式
37	縄文土器	深鉢	-	(29.1)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	RL地縄文→半載竹管状工具による蛇行文 焦げの付着顕著 内面磨き 口縁部沈線	L J 5区2x	10% PL122 堀之内1式
38	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	LR地縄文→櫛歯状工具による条線で紡錘文施文 焦げの付着顕著 内面磨き	L J 6区x	堀之内1式
39	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	短沈線による蛇行文 内面磨き 口縁部に凹線	L K 3区2x	堀之内1式
40	縄文土器	深鉢	-	(13.1)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	半載竹管状工具による蛇行文と縦位区画文 内面磨き	L I 6区4x	堀之内1式
41	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英	黒褐	普通	無節L地縄文→櫛歯状工具による条線で紡錘文 焦げ付着 内面磨き	L I 6区1x	堀之内1式
42	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	櫛歯状工具による縦位の蛇行条線	L J 4区3x	堀之内1式
43	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	LR地縄文→半載竹管状工具によるX字状文 内面磨き	L I 7区2x	堀之内1式
44	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	LR地縄文→半載竹管状工具によるジグザグ文 内面磨き	L J 7区1x	堀之内1式
45	縄文土器	深鉢	[14.8]	(17.0)	[8.8]	長石・石英・雲母	黄灰	普通	口縁部突起剥離 8字状貼付文 胴部LR充填の三角文 下半磨き 内面磨き 口縁部に凹線	L J 5区4x	50% PL124 堀之内2式
46	縄文土器	深鉢	[12.7]	17.3	6.0	長石・石英・雲母	黒	普通	口縁部に耳状突起 口縁部に2条の紐線文 胴部LR充填の三角文 下半磨き 内面磨き 口縁部に沈線	L I 5区1x	70% PL123 堀之内2式
47	縄文土器	深鉢	(13.7)	16.4	6.4	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部に耳状突起1か所 胴部櫛歯状工具による縦位の弧線文 内面口縁部に沈線 外面口縁部にスス付着	L J 5区2x	70% PL123 堀之内2式
49	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	口縁部に2条の紐線文と8字状貼付文 胴部LR充填の渦巻文カ 内面磨き 口縁部に沈線	L K 3区2x	堀之内2式
50	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・雲母	黒	普通	口縁部に2条の紐線文と8字状貼付文 LR地縄文→半載竹管状工具による集合沈線文 内面磨き 口縁部に沈線	L K 5区3x	堀之内1式
51	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部階段状 紐線文と8字状貼付文 2段のLR縄文帯 無文部・内面磨き 口縁部に沈線	L H 8区2x	堀之内2式
52	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英	黒	普通	口縁突起部に貫通孔 無節L縄文帯+8字状貼付文 外・内面焦げ付着	L H 9区1x	堀之内2式
53	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部に紐線文+8字状貼付文 無節L充填の横帯文	L J 5区3x	堀之内2式
54	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	LR磨消縄文と沈線の渦巻文 外・内面焦げ付着	L H 8区2x	堀之内2式
55	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	波頂部外・内面に狭い無文部 LR縄文	L J 4区2x	後期前葉
56	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	波頂部に凹線のある台形状の突起 口縁部に狭い無文部 RL縄文	L J 4区4x	後期前葉
57	縄文土器	深鉢	[20.2]	(16.0)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口唇部に台形状の突起 LR縄文施文 焼成前穿孔1か所 焦げ付着 内面磨き	L J 4区x	20% PL124 後期前葉
58	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	口唇部に山形状の突起 LR縄文 焦げ付着	L I 6・L J 6区2~4x	20% 後期前葉
59	縄文土器	深鉢	[10.2]	(9.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁突起部にノの字状貼付文 RL縄文	L I 4区2x	10% 後期前葉
60	縄文土器	深鉢	[34.0]	(14.3)	-	長石・石英	黒	普通	摘み上げたような口唇部に刻み LR縄文 外面全体が煤で黒変	L I 6・L K 4区2・3x	10% PL124 後期前葉

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
61	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英	灰褐	普通	LR 縄文→口縁部に沈線→口縁部磨き 焼成後穿孔の貫通孔1か所	LH8区3x	後期前葉
62	縄文土器	深鉢	[25.5]	(18.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部に狭い無文部 直前段反燃のL 綾線文	L16区3・4x	10% PL124 後期前葉
63	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	無節R 綾線文 下半削り	LK2区x	後期前葉
64	縄文土器	深鉢	[19.0]	(9.7)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	直前段反燃のLR 下半削り	LJ6区2x	10% 後期前葉
65	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	LR 縄文 外面焦げ付着	LJ4区2x	PL124 後期前葉
66	縄文土器	深鉢	-	(14.7)	-	長石・石英	黒褐	普通	LR 縄文 内面磨き	LJ5区3x	後期前葉
67	縄文土器	深鉢	[17.0]	(14.3)	-	長石	黒	普通	LR 縄文 外面焦げ付着 内面磨き	L17区3x	10% 後期前葉
68	縄文土器	深鉢	[17.3]	(11.2)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	LR 縄文 外面焦げ付着 内面磨き	L16区3x	10% 後期前葉
69	縄文土器	深鉢	-	(17.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	無節L 縄文 内面磨き 口縁部に凹線	LH8区1x	10% PL125 後期前葉
70	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	無節R 縄文 外面全体に煤付着 内面磨き 口縁部に沈線	L16区2x	後期前葉
71	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	RL 縄文 内面磨き 口縁部に凹線	LJ4区3x	後期前葉
72	縄文土器	深鉢	[25.5]	(8.5)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面削り 焦げ付着 内面粗い磨き	L17区1x	20% 後期前葉
73	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	外・内面磨き	L16区1x	後期前葉
74	縄文土器	深鉢	-	(17.2)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	外面LR 縄文 口縁部に微隆起文 内面磨き 口縁部に沈線	LJ5区2x	後期前葉
75	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・雲母	黒	普通	外面LR 縄文 口縁部に紐線文 焦げ付着 内面磨き 口縁部に沈線	LJ5区2x	PL124 後期前葉
76	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 0段多条のLR→紐線貼付 内面ナデ 口縁部に沈線	LJ5区2x	後期前葉
77	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	外面LR 縄文→紐線貼付 内面ナデ 口縁部に凹線	L15区1x	後期前葉
78	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面地縄文→格子目文→紐線貼付 内面磨き	LK3区x	後期前～中葉
79	縄文土器	深鉢	[19.6]	(11.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外面格子目文→屈曲部磨き 内面磨き 口縁部沈線	LJ41x	20% PL125 加曽利B3式
80	縄文土器	鉢	[27.5]	(16.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面頸部LR 地縄文→半截竹管状工具による内文+菱形区画文 胴部磨き 内面磨き 口縁部沈線	LH8・9・L16区2~4x	70% PL126 堀之内2式
81	縄文土器	鉢	[18.0]	(9.5)	-	長石・石英	灰褐	普通	口縁部に横長の突起 焼成前穿孔の貫通孔1か所 LR 地縄文→三角文 胴部磨き 内面磨き 口縁部に沈線	L16区2x	25% PL125 堀之内2式
82	縄文土器	鉢	[26.9]	(13.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部が外反する鉢 外・内面磨き 内面口縁部に沈線	LH8・L18区1x	20% 堀之内2式
83	縄文土器	鉢	27.3	25.0	9.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部窩文+沈線+刻み列 胴部無節L 充填の渦巻文 内面口縁部に沈線	LK5区3x	95% PL126 堀之内2式
84	縄文土器	鉢	[23.0]	(18.9)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面口縁部に刻み列 区切り文を持つ横帯文→RL 縄文 胴部磨き 内面磨き	LK2・LK3区1x	20% PL125 加曽利B1式
85	縄文土器	鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	口縁部に貼付文 6条の沈線文→無節L 縄文 内面磨き	LK4区3x	堀之内2式カ
86	縄文土器	鉢	[20.7]	9.7	9.0	長石・石英・雲母	褐灰	普通	4単位の波状口縁 櫛歯状工具による蛇行文 内面口縁部に凹線	L16区3x	90% PL123 堀之内2式
87	縄文土器	鉢	120~124	6.0	7.4	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部の一部に2条の細かい刺突列 外面削り後ナデ 内面ナデ	LJ51x	100% 堀之内2式
88	縄文土器	鉢	[24.0]	(10.1)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	口縁部に山形状突起1か所 口唇部に窩文連携沈文 外面LR 縄文 内面粗い磨き	L17区3x	10% 後期前葉
89	縄文土器	鉢	[15.8]	9.6	[7.9]	長石・石英	黒褐	普通	口縁部に山形状の突起 RL 縄文 内面磨き	LJ5区3x	50% PL125 後期前葉
90	縄文土器	鉢	-	(16.2)	-	長石・石英	黄灰	普通	LR 縄文→口縁部に半截竹管状工具による沈線文 内面磨き	LJ7区2x	PL125 堀之内1式
91	縄文土器	鉢	[24.5]	(12.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部に沈線文 LR 縄文 内面磨き	LK6区1x	10% 堀之内1式
92	縄文土器	鉢	[31.0]	(16.6)	-	長石・石英	灰褐	普通	口唇部外削き状でナデ 外面LR 縄文 内面磨き	LJ5区3x	30% PL125 後期前葉
93	縄文土器	鉢	[12.5]	6.9	6.0	長石・石英・雲母	黒	普通	口縁部突起1か所(剥離) 外・内面無文 磨き調整 内面口縁部に沈線	L15区1・2x	70% 堀之内2式
94	縄文土器	鉢	[18.0]	(8.1)	-	長石・石英・雲母	オリブ黒	普通	口縁部に焼成後に抉り 直前段反燃のLR 内面ナデ	LK3区2x	後期前葉
95	縄文土器	鉢	-	(8.4)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口縁部剥離 外・内面削り	L17区4x	70% 後期前葉
96	縄文土器	鉢	[12.7]	9.7	[10.6]	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面縦位の削り 内面粗い磨き	LJ4区3x	10% 後期前葉
97	縄文土器	注口土器	(6.5)	(5.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	瓢形注口土器 1か所 微隆起による文様描出 懸垂孔 赤彩	LJ4区4x	10% 称名寺式
98	縄文土器	浅鉢	-	(11.5)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	波頂部に貫通孔 短く内屈した口縁部に窩文と沈線・刻み列 頸部RL 縄文 内面磨き	L16区2・3x	堀之内1式
99	縄文土器	浅鉢	[29.3]	(13.0)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	外面LR 縄文 内面口縁部に凹線 磨減顕著	L16区2x	20% PL125 後期前葉
100	縄文土器	浅鉢	[32.8]	13.0	[11.0]	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外・内面無文 磨き調整 内面口縁部に沈線	LK6区1x	25% 堀之内2式
101	縄文土器	浅鉢	[28.5]	(8.3)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外・内面無文 磨き調整 内面口縁部に沈線	LK2・LJ5区1・2x	10% 堀之内2式
102	縄文土器	浅鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面無文 磨き調整 口唇部にねじれ棒状と渦巻文 施文の蓋状突起 内面に沈線文 磨き調整	LK3区2x	PL125 堀之内2式
103	縄文土器	浅鉢	-	(10.4)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	外面無文 磨き調整 内面沈線文 口唇部に沈線	LK4区1x	堀之内2式
104	縄文土器	浅鉢	[10.3]	(4.5)	4.7	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	3単位の波状口縁 外面RL 縄文 内面口縁部沈線 波頂部にノの字文 磨き調整	LK4区1x	PL126 加曽利B1式
105	縄文土器	浅鉢	9.5	5.3	3.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面LR 縄文 内面磨き	LH8区1x	70% PL126 後期前葉
106	縄文土器	台付鉢	-	(6.7)	8.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	台部 外面RL 縄文 内面ナデ	LJ5区1x	50% 加曽利B2式
107	縄文土器	壺	[12.8]	(6.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面LR 充填縄文による渦巻状の文様 円形竹管文 施文の瘤貼付 内面ナデ	L16区1x	後期前葉

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
108	縄文土器	壺	(17.5)	(10.4)	-	長石・石英・白色針状物質	灰黄褐	普通	4単位の橋状把手 胴部微隆起による渦巻状の文様赤彩	LJ6区1x	20% PL126 10層内1式カ
109	縄文土器	壺	-	(9.1)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	8の字の橋状部 口唇部に窩文沈線文 橋状部から鎖状隆帯 胴部は懸垂文カ	LJ6区1x	堀之内1式
110	縄文土器	壺	-	(6.0)	-	長石・石英	暗灰褐	普通	外面口縁部集合沈線文 一部刻み充填 胴部地縄文→集合沈線文 内面刻み列 口唇部に盲孔	LJ5区3x	堀之内1式
111	縄文土器	壺	3.5	8.0	2.8	長石・石英	褐灰	普通	口縁部に穿孔 胴部に把手 外面全面赤漆 内面口縁部赤色顔料残存	LJ4区4x	95% 堀之内式併行
112	縄文土器	壺	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	外面無文 磨き調整 ブリッジ1か所 内面ナデ焦げ付着	LH8区3x	堀之内式併行
113	縄文土器	蓋	長さ8.4	幅8.0	厚さ(1.9)	長石・石英	灰黄褐	普通	把手欠損 器面ナデ成形 内側に磨耗あり	LJ5区3x	90% 後期前半
114	縄文土器	蓋	長さ(4.8)	幅7.3	厚さ(1.4)	長石・石英	にぶい黄	普通	橋状把手欠損 外・内面ナデ調整	LH9区1x	90% 後期初～前葉
115	縄文土器	蓋	長さ[7.9]	幅[7.9]	厚さ(2.0)	長石・石英	褐灰	普通	つまみ状の把手欠損 外・内面ナデ調整	LJ6区1x	90% 後期初～前葉
116	縄文土器	注口土器	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	窩文沈線施文の橋状把手 口縁部短く外反 胴部上半LR縄文 注口部・把手部周囲磨り消し 胴部下半磨き	LJ6・LK3区4x	40% 堀之内1式
117	縄文土器	注口土器	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	窩文沈線施文の橋状把手	LJ2区2x	堀之内1式
118	縄文土器	注口土器	-	(7.9)	-	長石・石英	褐灰	普通	上部に貫通孔のある橋状把手 磨き調整	LJ5区2x	加曾利B1式
119	縄文土器	注口土器	-	(6.8)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	靴べら状の把手 短く立ち上がる口縁部 把手・胴部にRL充填縄文で文様施文	LJ6区2x	堀之内2式
120	縄文土器	注口土器	-	(8.9)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	舟形状 把手部に沈線間刺突文で渦巻文 無文部磨き	LH8区1x	20% 堀之内2式
121	縄文土器	注口土器	-	(4.8)	-	長石・石英	黒褐	普通	把手部分に刺突充填の瘤 口縁部に2条の細かい刺突列 半截竹管状工具による集合沈線 無文部磨き	LJ5区2x	堀之内2式
122	縄文土器	注口土器	-	(15.3)	-	長石・石英	にぶい黄褐	普通	注口部周囲に8字状貼付文と細隆帯 無文部磨き 外面に赤漆塗布	LK5区2x	10% 堀之内2式
123	縄文土器	注口土器	-	(5.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	鉢形の注口土器カ LR磨消縄文	LK5区4x	称名寺I式
124	縄文土器	注口土器	[7.4]	15.5	[8.0]	長石・石英	黒褐	普通	口縁部に柁状文+8字文 頸部に7～9条の沈線→刺突充填の縦位区画9単位 横長の柁状文を充填する部分あり	LK5区1・2x	80% PL123 堀之内2式
125	縄文土器	注口土器	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	注口部欠損 胴部LR充填の三角文	LJ5区2x	堀之内2式
126	縄文土器	注口土器	-	(5.1)	-	長石・石英	褐灰	普通	頸部に3条の刺突列 胴部櫛歯状工具による渦巻文	LJ4区1x	加曾利B1式
127	縄文土器	注口土器	-	(8.7)	5.5	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	台付 外面無文 丁寧な磨き調整 胴部に4単位の瘤貼付	LJ5・LJ5区1x	70% PL126 加曾利B2式カ
128	縄文土器	舟形土器	-	(5.0)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外・内面丁寧な磨き	LJ7区4x	50% PL126 後期前～中葉
129	縄文土器	ミニチュア土器	[6.8]	5.4	4.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外・内面ナデ	LJ6区3x	60% 後期
130	縄文土器	ミニチュア土器	7.0	4.8	5.8	長石・石英	にぶい褐	普通	外・内面指頭によるナデ	LJ5区1x	90% PL126 後期
131	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	波頂部にRL充填の稲妻状磨消縄文 無文部磨き 内面磨き	LJ5区1x	10% 安行2式
132	縄文土器	壺	-	(7.3)	-	長石・石英	黄灰	普通	頸部LR縄文帯と鎖状隆帯 胴部にLR充填の羊歯状文	LJ5区1x	大洞BC式
133	縄文土器	注口土器	-	(4.5)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	鉢に片口状の注口部が付いた形状 RL隆起帯縄文4段	LJ5区1x	安行1式
134	縄文土器	異形台付土器	[4.0]	(3.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	口唇部刻み 鉢部に透かし孔3か所確認 屈曲部に刻み隆帯上下に無筋L縄文と4条1単位の沈線による縦位区画	LJ5区1x	20% 安行2式
135	縄文土器	浅鉢	-	(3.2)	-	長石・石英	灰褐	普通	外・内面赤漆塗布 微隆帯による円文	LJ4区4x	PL127 堀之内2式
136	縄文土器	壺	[11.0]	(16.1)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	胴部上下を細線で横位区画 縦位の細線文2条で縦位区画 橋状把手1か所 区画内集合沈線文 外・内面黒漆塗布	LJ6・7・LJ7区1～3x	10% PL127 堀之内2式
137	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英	黒	普通	外面LR縄文 外・内面黒漆塗布	LJ5区2x	PL127 後期前葉
138	縄文土器	鉢	-	(9.4)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面LR地縄文→三角文 外・内面黒漆塗布	LJ5区2x	20% PL127 堀之内1式
139	縄文土器	注口土器	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	挟り込むような沈線による入り組み帯状文 外面に赤漆塗布	LJ5区1x	加曾利B2式 東北系
140	縄文土器	漆容器	[5.6]	(5.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部に突起 外面ナデ後漆塗布 内面赤漆→黒漆塗布 裏面に漆膜が付着	LJ6区4x	10% PL127 後期前～中葉
141	縄文土器	漆容器	-	(14.7)	6.2	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面半截竹管状工具による懸垂文 内面襷状の漆膜付着	LJ2・LJ4・LK3区2～4x	30% PL127 堀之内1式
142	縄文土器	漆容器	-	(6.5)	5.6	長石・石英・雲母	黒褐	普通	外面磨き 内面襷状に漆膜付着	LJ6区2x	20% PL127 堀之内1～2式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
143	土偶	(5.4)	(4.0)	(4.0)	(57.6)	長石・雲母	灰黄	ハート形 頭部片 隆帯による眉・鼻 円形刺突による口 背面格子目文 橋状部は欠損	LH8区2x	PL127 後期前葉
144	土偶	(8.6)	(4.7)	(2.8)	(62.1)	長石・石英・雲母・針状物質	にぶい黄橙	ハート形 頭～胴部片 顔面表現省略 胴部無文で正中線は隆帯による	LJ4区1x	PL127 後期前葉
145	土偶	(7.8)	(2.9)	(2.7)	(62.2)	長石・石英	にぶい褐	ハート形 胴部片 断面方形 左胸欠損 正中線は沈線 下端割れ口は接合痕	LJ5区3x	後期前葉
146	土偶	(5.5)	(7.5)	(3.1)	(67.7)	長石・石英	にぶい黄褐	山形 頭部片 眉の隆帯以外剥離 背面瘤状の突出部 RL縄文充填	LJ5区1x	後期後葉
147	土偶	(4.2)	(5.7)	(1.5)	(23.9)	長石・石英・雲母	灰白	ミミズク形 頭部片 輪郭は刻み隆帯 眉・鼻・目を隆帯表現 口は輪郭内で凹点状 焼成やや不良カ	LJ5区1x	PL127 晩期前葉
148	土偶	(10.1)	(5.8)	(2.8)	(140.6)	長石・石英・雲母	黒褐	山形 胴～脚部片 胴部輪郭に沿ってRL隆起帯縄文RL地縄文 脚部2条沈線による横帯文 背面渦巻文	LJ5区1x	PL127 後期後葉
149	耳飾り	4.2	4.2	1.9	34.6	長石・石英	にぶい黄橙	滑車形 貼付と押圧による成形 器面磨き	LJ5区1x	
150	有孔円盤	(9.3)	(5.3)	(2.9)	(143.1)	長石・石英	灰黄褐	弧線文と円形刺突文 器面磨き調整	LK5区3x	
151	土錘	4.7	2.5	1.9	25.0	長石・石英	にぶい黄橙	有溝 中央に焼成前穿孔1か所	LJ7区3x	
152	土器片円盤	6.5	6.7	1.4	67.6	長石・石英	灰黄	称名寺I式深鉢胴部片利用 周縁研磨	LJ6区3x	称名寺I式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
153	ナイフ形石器	3.6	1.2	0.7	1.9	頁岩	小型の縦長剥片を素材とし、背面の基部・両側縁部に歯潰し加工	L J 4区 x	PL128
154	尖頭器	(5.6)	1.8	0.7	(6.3)	チャート	木葉形 基部欠損 両面調整	L J 6区1 x	PL128
155	石鏃	1.8	1.5	0.3	0.5	チャート	凹基無茎鏃	L L 2区1 x	PL128
156	打製石斧	(11.3)	10.9	5.5	(867.0)	流紋岩	上下端に両面加工の刃部	L J 5区3 x	
157	打製石斧	(8.3)	7.9	3.1	(203.6)	安山岩	分銅形 括れ部に摩擦痕 被熱	L J 5区4 x	PL128
158	打製石斧	(8.6)	7.4	2.4	(181.9)	安山岩	分銅形 刃部背面は剥離加工なし	L J 4区2 x	PL128
159	打製石斧	(9.3)	6.4	2.4	(158.4)	安山岩	分銅形 括れ部に摩擦痕 被熱	L K 4区2 x	PL128
160	打製石斧	(5.8)	7.5	2.6	(113.9)	安山岩	分銅形 被熱カ	L H 8区3 x	
161	打製石斧	(6.0)	6.7	2.2	(111.3)	安山岩	分銅形カ 刃部のみ両面加工 他は加工無し	L H 7区1 x	
162	打製石斧	(7.5)	5.6	1.7	(76.3)	安山岩	分銅形カ 括れ部に摩擦痕	L J 5区4 x	
163	打製石斧	(6.2)	5.8	2.4	(88.1)	チャート	分銅形カ 右側縁部剥離調整後細かい敲打	L J 5区2 x	
164	磨製石斧	(12.5)	(6.8)	3.5	(418.9)	流紋岩	定角式 基部欠損 刃部に剥離痕	L I 6区1 x	PL128
165	磨製石斧	(8.2)	(5.3)	3.3	(197.0)	蛇紋岩	定角式 基部欠損 刃部に古い剥離痕→研磨	L I 5区1 x	PL128
166	磨製石斧	(8.0)	(5.0)	(3.2)	(142.8)	安山岩	定角式 刃部欠損 頭部に細かい敲打痕 被熱	L H 7区1 x	
167	磨製石斧	(3.2)	(2.4)	(1.2)	(16.8)	蛇紋岩	小型 丁寧な研磨	L J 4区1 x	PL128
168	石皿	(27.0)	(18.2)	11.6	(3883.1)	安山岩	表面磨り面 縁辺部に凹痕 裏面凹痕 被熱	L I 6・L K 3区 1・2 x	
169	石皿	(18.5)	(19.7)	6.9	(2066.8)	安山岩	表面磨り面+凹痕 裏面凹痕 被熱	L I 5区2 x	PL128
170	石皿	(15.1)	(16.0)	6.7	(1335.5)	安山岩	表裏面磨り面+凹痕 被熱	L J 4区1 x	
171	石皿	(17.9)	(12.7)	4.9	(1222.0)	安山岩	表面磨り面+凹痕 裏面凹痕	L I 6区1 x	
172	石皿	(14.0)	15.6	5.5	(1136.6)	安山岩	短辺弧状となる長方形 表面磨り面+凹痕 裏面凹痕 被熱	L I 5区2 x	PL128
173	石皿	(16.3)	(10.1)	3.7	(709.5)	安山岩	表面磨り面+凹痕 裏面凹痕 被熱	L I 7区3 x	
174	石皿	(14.8)	(9.7)	4.6	(517.0)	安山岩	方形縁あり 脚付き 表面磨り面 光沢のある研磨痕 裏面凹痕	L J 5区 x	
175	石皿	(12.4)	(10.5)	(6.3)	(758.0)	安山岩	方形縁あり 脚付き 表面磨り面+凹痕 裏面凹痕	L I 7区1 x	
176	石皿	(9.6)	(9.5)	7.2	(503.4)	安山岩	表面磨り面 縁辺部に凹痕 裏面凹痕 被熱	L I 6区1 x	
177	磨石	15.3	10.8	4.1	987.9	安山岩	表裏面に磨り面+敲打痕 下端・両側面に敲打痕	L I 5区3 x	
178	磨石	7.6	7.6	3.9	364.6	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩擦痕 被熱	L J 5区1 x	
179	敲石	10.7	7.5	3.6	351.9	安山岩	表裏面に敲打痕 両側縁・下端部敲打痕	L J 5区1 x	
180	磨石	9.9	7.2	4.5	470.3	砂岩	表裏面敲打痕→光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩擦痕	L I 6区2 x	
181	磨石	8.8	8.0	4.2	389.5	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕	L H 8区3 x	
182	磨石	6.8	7.0	4.3	324.6	アブライト	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩擦痕 被熱	L I 6区1 x	
183	磨石	6.9	6.9	4.0	275.0	安山岩	表面光沢のある磨り面+敲打痕 上下・下端・左側面ざらつきのある摩擦痕 右側面敲打痕 被熱	L I 5区1 x	
184	磨石	7.0	7.0	3.4	242.7	砂岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩擦痕 被熱	L J 4区1 x	
185	磨石	6.2	6.1	3.5	187.6	安山岩	表裏面やや光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩擦痕	L J 5区1 x	
186	磨石	5.5	5.4	4.0	149.4	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩擦痕 被熱	L I 5区1 x	
187	磨石	5.7	5.3	3.8	173.9	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩擦痕 両側縁・下端部敲打痕 被熱	L J 5区4 x	
188	磨石	7.5	4.9	3.6	192.5	砂岩	全体を丁寧に研磨 赤色顔料付着	L J 4区1 x	
189	敲石	13.0	8.5	4.4	806.2	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+凹痕 両側縁に凹痕→周縁ざらつきのある摩擦痕	L I 5区2 x	
190	敲石	(9.1)	8.5	5.4	(629.7)	安山岩	表裏面・周縁ざらつきのある磨り面+凹痕 被熱	L I 5区3 x	
191	敲石	10.2	6.6	4.5	494.3	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+凹痕 左側縁部光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩擦痕で左側縁部・下端部に敲打痕	L J 5区2 x	
192	敲石	10.5	7.9	4.8	466.9	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 周縁ざらつきのある摩擦痕で左右両側縁部に凹痕 被熱	L I 6区1 x	
193	敲石	10.0	7.7	4.0	437.1	ホルンフェルス	表裏面に敲打痕 左側縁部にざらつきのある摩擦痕 全体的に磨滅している	L J 5区2 x	
194	敲石	(8.5)	6.4	3.6	(310.8)	安山岩	表裏面に光沢のある磨り面+敲打痕 両側縁部ざらつきのある摩擦痕 被熱	L I 5区2 x	
195	敲石	9.1	7.0	5.3	255.1	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 上下端ざらつきのある摩擦痕 両側縁敲打痕	L I 7区3 x	
196	敲石	9.0	5.9	4.0	246.5	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 両側縁凹痕 被熱	L I 6区1 x	
197	敲石	8.4	5.9	3.6	249.1	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+凹痕 周縁ざらつきのある摩擦痕	L K 4区2 x	
198	敲石	6.4	5.8	3.8	133.9	安山岩	表裏面ざらつきのある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩擦痕 被熱	L I 6区1 x	
199	敲石	(12.2)	4.3	4.1	(232.8)	花崗岩	石棒の転用 3面と下端部に敲打痕	L J 5区4 x	
200	石錘	4.1	1.9	1.5	13.7	砂岩	有溝 十字	L J 4区1 x	
201	凹石	(53.4)	19.4	16.4	(17880.0)	花崗岩	大形石棒の転用	L J 7区 x	
202	凹石	(24.5)	(15.5)	12.5	(6878.7)	花崗岩	大形石棒の転用 表裏面に凹痕	L I 6区4 x	PL128
203	凹石	(22.6)	(16.8)	8.5	(4733.6)	花崗岩	表裏面とも磨り面+凹痕	L K 5区1 x	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
204	凹石	(19.3)	(22.5)	6.5	(3522.7)	雲母片岩	表裏面に凹痕 磨減	L J 5区1 x	
205	凹石	(14.6)	(9.8)	8.1	(1345.7)	花崗岩	表面凹痕 裏面磨り面と凹痕	L I 7区1 x	
206	凹石	(11.8)	(15.7)	5.2	(1216.8)	雲母片岩	表裏面に凹痕 磨減	L I 7区1 x	
207	砥石	45.4	14.3	12.8	9480.0	緑色片岩	両端部整形 研磨痕は不明瞭	L K 4区1 x	PL128
208	石剣	(13.3)	3.8	2.1	(184.9)	緑色片岩	研磨整形	L J 4区1 x	
209	石棒	9.4	2.5	2.3	89.7	長石質片岩	表面に細かい敲打の整形痕	L I 7区1 x	

番号	種別	器種	長さ	幅	器高	材質	特徴	出土位置	備考
210	漆器	鉢	口径 [25.7]	(16.8)	18.7	サクラ属	横木取り 口縁部・胴部外面対向する半月形の切り込みを交互に組み合わせた菱形の小区画 区画内斜線刻を異方向に充填 口縁部上・下一対の無文の菱形区画2か所(4単位 _上) 内面縦位の円文を伴う入り組み文 頸部横位の紡錘形連続文 外・内面赤漆塗布 内面異なる赤漆による描画	L J 4区2 x	PL129 IB-2809
211	漆器	把手付片口鉢	(22.6)	(9.2)	(13.9)	サクラ属	芯無し 横木取り 外・内面赤漆塗布	L J 5区2 x	PL130 IB-2808
212	漆器	把手付片口鉢	(13.0)	6.0	(9.0)	サクラ属	横木取り 把手部欠損 台部削り出し 沈線による入組文 外・内面赤漆塗布	L H 8区1 x	PL130 IB-2821
213	漆器	把手付片口鉢	(15.2)	(5.0)	(6.8)	イヌガヤ	芯持ちカ 横木取り 外・内面黒漆後、赤漆塗布	L J 6区2 x	PL130 IB-2806
214	漆器	片口鉢	(12.3)	(2.0)	(3.3)	イヌガヤ	横木取り 外・内面黒漆後、赤漆塗布 213と同一カ	L I 6区2 x	PL130 IB-2813
215	漆器	脚付鉢	(18.8)	(13.4)	(14.6)	トチノキ	芯持ち 横木取り 内湾する壺状の胴部 脚部削り出し 口頸部・脚部と胴部の境を段差で表現 外・内面黒漆塗布	L J 5区3 x	PL130 IB-2796
216	漆器	脚付鉢	(16.9)	(10.4)	(10.3)	サクラ属	横木取り 脚部片 高環状の器形カ 外面赤漆塗布	L J 4区3 x	PL130 IB-2795
217	漆器	脚付鉢	(22.0)	(7.8)	(11.6)	サクラ属	横木取り 高環状の器形 外面赤漆・内面黒漆塗布	L J 5区2 x	PL130 IB-2814
218	漆器	脚付鉢	(13.2)	(5.8)	(4.6)	サクラ属	横木取り 高環状の器形 外・内面赤漆塗布	L J 5区2 x	PL130 IB-2794
219	漆器	鉢	(28.5) (17.8)	(15.8) (11.0)	(10.6) (16.4)	サクラ属	横木取り大型の浅鉢ないし盤状の器形カ 長径方向に把手2か所 短径方向に陽刻風の裝飾 4単位カ 外・内面黒漆後、赤漆塗布	L I 8区2 x	PL131 IB-2819・2820
220	漆器	鉢	(9.8)	(4.9)	(9.6)	サクラ属	横木取り 大型鉢の口縁部片カ 穿孔1か所 外・内面赤漆塗布	L J 7区1 x	PL131 IB-2812
221	漆器	鉢	(9.6)	(3.2)	(8.3)	サクラ属	横木取り 大型鉢の口縁部片カ 外・内面赤漆塗布	L I 5区4 x	PL131 IB-2816
222	漆器	鉢	(9.4)	(2.2)	(5.7)	サクラ属	横木取り 大型鉢の胴部片カ 陽刻風の裝飾 外・内面赤漆塗布	L I 7区1 x	PL131 IB-2811
223	漆器	鉢	(16.5)	(14.0)	(16.1)	サクラ属	横木取り 大型鉢の胴部片カ 外・内面赤漆塗布	L I 5区4 x	PL131 IB-2817
224	漆器	鉢	(9.8)	(12.8)	(12.6)	サクラ属	横木取り 大型鉢の胴部片カ 外・内面黒漆後、赤漆塗布	L J 6区 x	PL131 IB-2810
225	漆器	鉢	(13.3)	(11.0)	(6.4)	イヌガヤ	横木取り 丸底碗状 外・内面赤漆塗布 一部炭化	L I 7区 x	PL131 IB-2822
226	漆器	鉢	(12.7)	(13.3)	6.9	イヌガヤ	横木取り 丸底碗状 外・内面黒漆後、赤漆塗布 口縁端部に黒漆附着	L H 8区1 x	PL131 IB-2823
227	漆器	杓子	23.5	9.2	10.0	サクラ属	芯無し 横木取り 削り加工 外・内面黒漆塗布 一部炭化	L J 5区3 x	PL132 IB-2807
228	漆器	杓子	(11.1)	(5.8)	(2.3)	イヌガヤ	横木取り 杓子底部片 外・内面黒漆塗布	L J 6区2 x	PL132 IB-2805
229	漆器	把手	(8.4)	2.3	4.5	シキミ	横木取り 円孔・方形透かし 外面赤漆塗布	L J 7区3 x	PL132 IB-2826
230	漆器	把手	(13.9)	1.9	2.2	シキミ	横木取り 断面三角形 外面赤漆塗布	L J 7区4 x	PL132 IB-2815
231	漆器	飾弓	(42.0) (21.4)	(3.8) (3.8)	(1.9) (2.4)	ニシキギ属	芯持ち丸木 撚糸巻きによる3条1単位の凸線・多条の横線・格子状の裝飾 全面赤漆塗布	L I 6区1 x	PL132 IB-2801・2802
232	漆器	飾弓	(13.2)	(2.2)	(1.8)	ニシキギ属	芯持ち丸木 凹線 全面赤漆塗布	L J 6区3 x	PL132 IB-2798
233	漆器	飾弓	(12.7)	(2.7)	(1.9)	ニシキギ属	芯持ち丸木 撚糸巻きによる多条の横線 全面赤漆塗布	L H 8区4 x	PL132 IB-2803
234	漆器	飾弓	(8.9)	(2.7)	(2.2)	ニシキギ属	芯持ち丸木 撚糸巻きによる多条の横線 列点文 全面黒漆塗布 一部剥離箇所にて下地の赤漆みられる	L J 5区4 x	PL132 IB-2804
235	漆器	飾弓	(4.7)	(1.7)	(1.6)	ニシキギ属	芯持ち丸木 凹線 全面赤漆塗布	L J 6区 x	PL132 IB-2800
236	漆器	飾弓	(4.0)	(2.1)	(1.4)	ニシキギ属	芯持ち丸木 撚糸巻きによる多条の横線 全面赤漆塗布	L J 7区1 x	PL132 IB-2799
237	漆器	飾弓	(6.4)	(2.0)	(1.9)	ニシキギ属	芯無し 削り出し 全面赤漆塗布	L H 8区 x	PL132 IB-2797
238	木器	把手	(8.2)	(2.3)	(3.6)	ツゲ	芯無し 削り出し 三角形透かし 丁寧な研磨	L H 9区 x	PL132 IB-2825
239	木器	弓	(10.0)	1.8	1.5	ニシキギ属	芯持ち丸木 弭部	L K 5区 x	PL132
240	木器	弓	(2.6)	1.4	1.2	ニシキギ属	芯持ち丸木 弭部	L J 6区1 x	PL132
241	木器	瘤付木製品	39.8	3.8	2.7	イヌガヤ	芯持ち丸木 円形瘤状の削り出し 端部平坦に加工	L L 4区1 x	PL132 IB-2824
242	木器	瘤付木製品	(33.9)	4.0	5.6	イヌガヤ	芯持ち丸木 部分的な削り加工	L J 5区2 x	PL132 IB-2827
243	木器	不明	(11.0)	7.4	2.7	不明	横木取り 削り出しによる凸部3か所	L J 7区4 x	PL132
244	木器	未成品	26.9	7.9	9.9	イヌガヤ	把手付片口鉢カ 芯持ち丸木 横木取り 微細な削り調整	L I 6区4 x	PL133 IB-2793
245	木器	未成品	22.4	14.4	12.0	イヌガヤ	把手付片口鉢カ 芯持ち丸木 横木取り 粗い削り整形	L I 6区2 x	PL133 IB-2789
246	木器	加工木	20.2	17.2	16.4	カヤ	割材 荒い削りにより三角柱状に整形	L I 7区2 x	PL133 IB-2790
247	木器	加工木	17.3	12.0	13.1	イヌガヤ	芯持ち丸木 両端伐採痕 端部一部炭化	L J 7区3 x	PL133 IB-2791
248	木器	加工木	14.5	7.8	8.2	イヌガヤ	芯持ち丸木 両端伐採痕	L J 5区4 x	PL133 IB-2792
249	編組製品	漏斗状	4.2	3.5	3.3	タケ材タケ亜科 ヨコ材双子葉類	タケ亜科の稈部を割裂いたタケ材に双子葉植物からなる右寄りの紐を編み込んで内形とし、表面に砂粒を含む生漆を塗布	L I 6区4 x	PL132 IB-2994
250	編組製品	袋状製品	(10.3)	(9.2)	-	サクラ属	樹皮紐 テープ状(幅6.0~7.5mm 平均7.0mm 厚さ0.5mm) 4つ目(石畳み)編み	L J 7区1 x	PL132 IB-2996・2997
251	編組製品	不明	(6.3)	(2.7)	1.8	サクラ属	樹皮紐 部材片カ テープ状(幅6.0~7.0mm 厚さ1.0~1.5mm 残存長約17cm) 結び目あり	L I 7区1 x	PL132 IB-2995

※ 備考には、『年報』第15号(能代 2017)の試料番号を記載した。

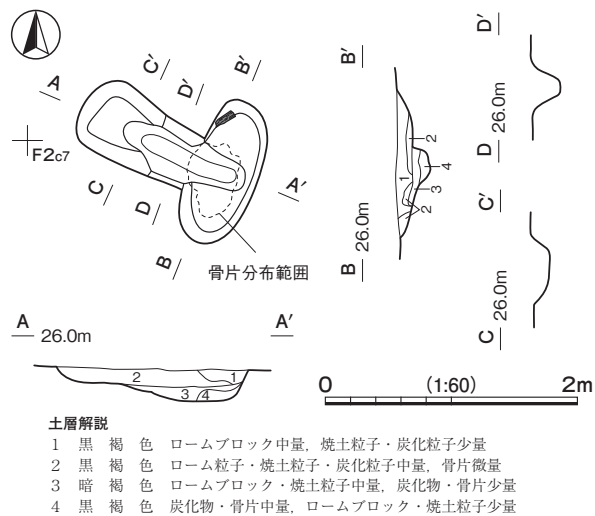
3 その他の遺構と遺物

(1) 火葬施設

第2号火葬施設 (第433図 PL35)

位置 調査I区のF2c7区, 標高約26mの平坦な台地上に位置している。

規模と形状 平面形は全長1.51mの呂字形で, 主軸方向はN-118°-Eである。焚口部は, 長軸0.60m, 短軸0.54mの隅丸方形で, 深さ12cmであり, 底面はほぼ平坦である。通風溝は焚口部の中央部から燃焼部の中央部まで延びており, 長さ1.05m, 幅0.47mで, 確認面からの深さは12~27cmであり, 焚口部から燃焼部に向かって緩やかに下降している。燃焼部は長径1.16m, 短径0.53mの楕円形で, 深さは13cmである。底面は皿状で, 壁は外傾している。



第433図 第2号火葬施設実測図

覆土 4層に分層できる。通風溝から燃焼部にかけて

て焼土粒子や炭化物, 焼骨片が, 各層にはロームブロックが多く含まれていることから, 人為堆積である。

遺物出土状況 通風溝から燃焼部にかけての覆土下層から, 焼骨片64.5gが出土している。

所見 時期は, 出土遺物が無いため明確でないが, 遺構の形状から中・近世の可能性はある。

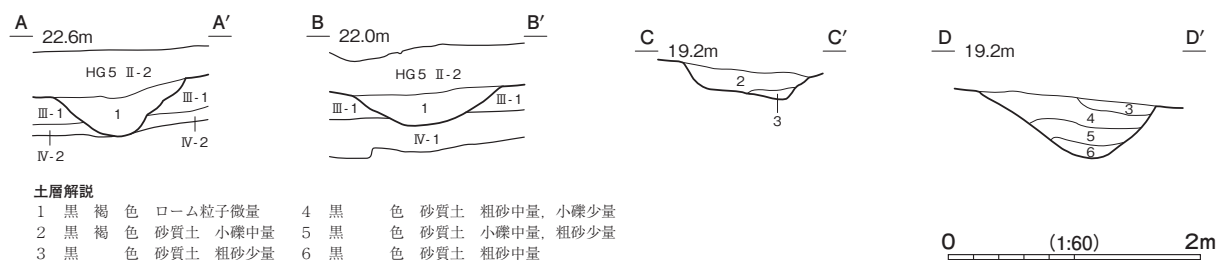
(2) 溝跡

今回の調査で, 時期不明の溝跡7条を確認した。形状や出土遺物が特徴的な第11号溝跡については, 土層断面図と出土遺物実測図, 出土遺物一覧を示し, 文章で解説する。その他の溝跡6条については, 土層断面図と一覧表で掲載した。なお, 平面図は遺構全体図で示した。

第11号溝跡 (第434~436図 第251表 PL35・90)

位置 調査K区からL区にかけてのG4b4区~G5d8区, 標高19~22mの谷部に位置している。K区から西側は平成21年度調査(『第364集』所収)で第1号流路跡として, K区とL区の間は平成22年度調査(『第397集』所収)で第11号溝跡として報告されており, 今回の調査で, 連続していることが明らかになった。

確認状況 第5号遺物包含層第II層を除去した第III層の上面で確認した。



第434図 第11号溝跡実測図

規模と形状 東方向（N - 97° - E）へ直線的に延びており、確認できた総延長は156 mで、東部は調査区域外へ延びており、西端部は平成21年度調査区のG3a5区で、掘り込みが不鮮明になっている。今回の調査では、全長58.2 mを確認し、上幅は0.98～1.37 m、下幅は0.25～0.66 mで、深さは20～46cmである。断面形は浅いU字形で、壁は外傾している。底面の標高は19.38～22.95 mで、東部に向かって緩やかに下降しており、平成21年度調査区の西端部との比高差は3.60 mである。

覆土 6層に分層できる。調査K区（A・Bライン）では第5号遺物包含層第Ⅱ層起源の黒褐色土が、調査L区（C・Dライン）では地山の砂礫層を含む黒色土が堆積しており、自然堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片3,005点（深鉢2,966, 鉢1, 浅鉢8, 壺1, 異形台付土器1, 製塩土器28 59,617 g）、土製品7点（土偶1, 土版3, 土器片円盤3）、石器・石製品22点（石鏃2, 磨石15, 敲石3, 石皿1, 石棒1）、剥片8点（頁岩1, 瑪瑙2, チャート5）が出土している。縄文時代晚期中葉以降の第5号遺物包含層第Ⅲ層を掘り込んでいることから、出土遺物はいずれも後世の流れ込みと考えられる。

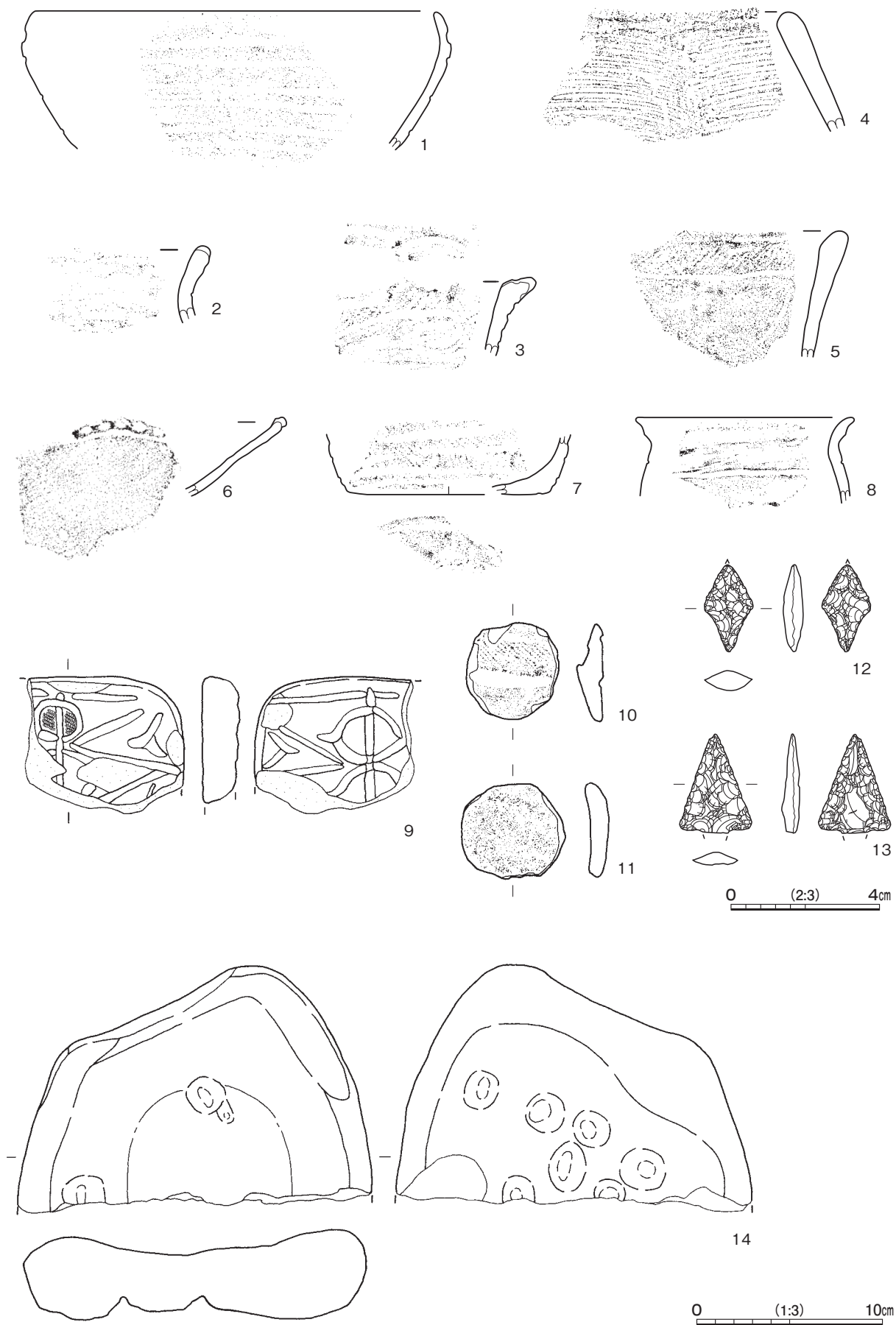
所見 時期は、上部に古墳時代前期～中世の第5号遺物包含層第Ⅱ層が堆積していることから、その形成過程で掘削されたと考えられる。遺跡南部の亜支谷の谷底部に位置し、低地部に向かって直線的に延びていることから、人工的な排水溝と考えられる。

第251表 第11号溝跡出土遺物一覧（第435・436図）

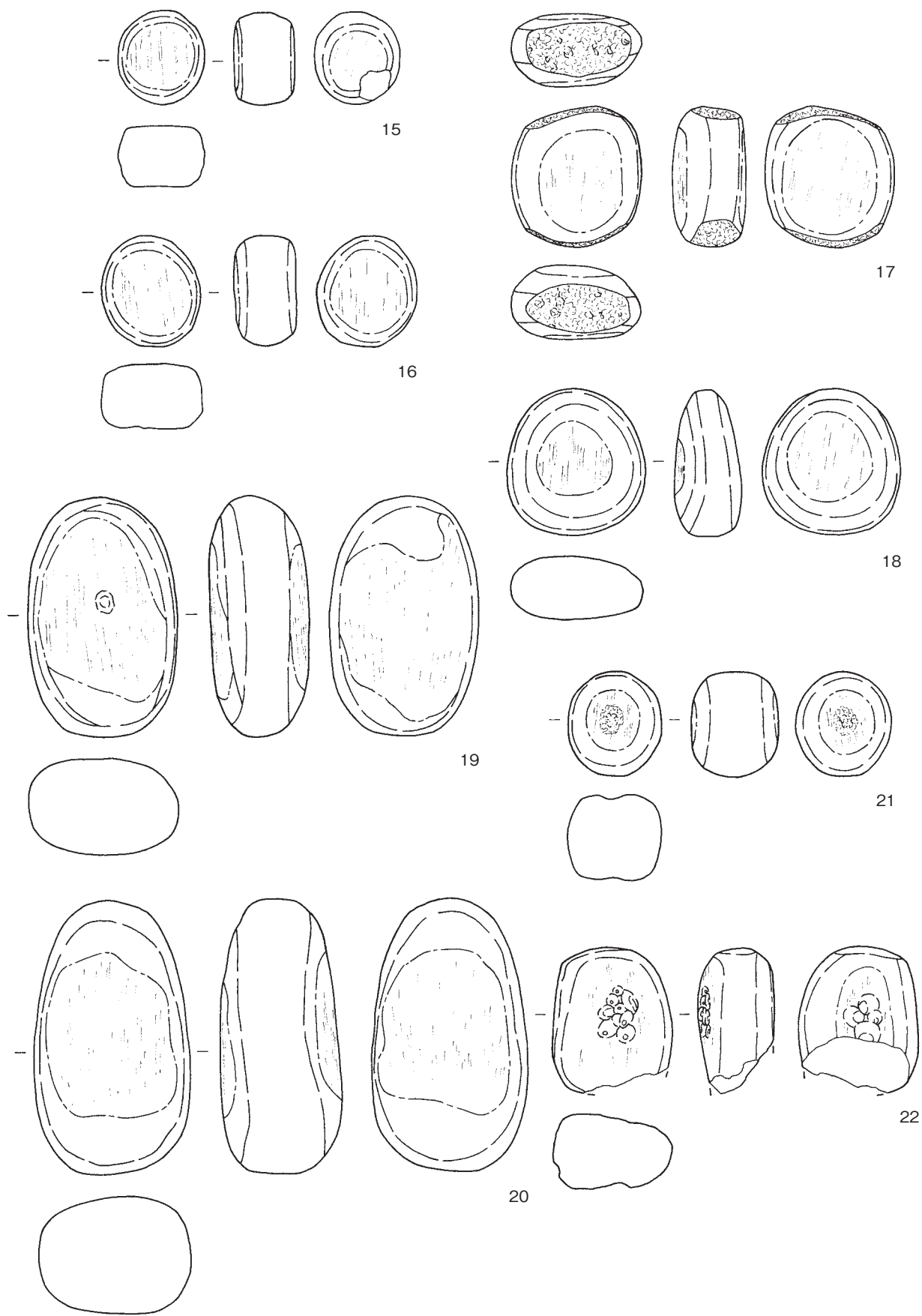
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[21.6]	(7.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線・区切り文→縄文RL→無文部磨き 内面磨き	K区東部下層	加曽利B2式
2	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→列点文 内面磨き	K区中央部下層	PL90 安行3c式
3	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口唇部B突起貼付 外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面磨き	K区西部下層	PL90 前浦式
4	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面条線 内面ナデ	K区中央部下層	PL90 晩期前葉
5	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面沈線→縄文LR→無文部磨き 内面ナデ	K区中央部下層	晩期前葉
6	縄文土器	浅鉢	-	(4.3)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部一部紐線貼付 外・内面磨き	K区西部下層	安行3c式
7	縄文土器	鉢	-	(3.3)	[10.4]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文RL→無文部磨き 底面磨き→沈線 内面ナデ	K区中央部上層	大洞系
8	縄文土器	壺	[11.6]	(4.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線→磨き 内面ナデ	K区中央部下層	大洞系

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
9	土版	(8.6)	(7.4)	1.9	(150.2)	長石・石英・雲母・針状鉱物	にぶい橙	表面沈線→LR縄文 裏面沈線	K区東部中層	PL90
10	土器片円盤	5.2	5.0	1.4	31.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	周縁部打ち欠き 表面隆起帯輪沈線→RL縄文 裏面ナデ	K区西部下層	
11	土器片円盤	5.1	5.6	1.2	32.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	周縁部打ち欠き 表裏面ナデ	K区西部下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
12	石鏃	2.3	1.3	0.6	1.2	チャート	凸基有茎鏃	K区東部底面	PL90
13	石鏃	(2.7)	1.9	0.6	(1.6)	頁岩	平基有茎鏃 茎部欠損	K区西部上層	PL90
14	石皿	(13.3)	(19.1)	(4.8)	(786.4)	安山岩	表面磨痕 表裏面凹痕	K区東部中層	PL90
15	磨石	5.0	4.6	3.3	89.7	安山岩	表裏面磨痕	K区中央部上層	
16	磨石	5.8	5.3	3.3	158.5	安山岩	表裏面磨痕	K区西部中層	
17	磨石	7.4	6.8	3.9	299.6	安山岩	表裏面磨痕 両側面敲打痕	K区西部中層	
18	磨石	7.8	7.4	3.7	272.2	安山岩	表裏面磨痕	K区中央部下層	
19	磨石	12.7	7.9	5.3	763.3	安山岩	片面敲打痕→表裏面磨痕	K区西部下層	
20	磨石	14.5	8.4	6.5	1200.8	安山岩	表裏面磨痕	K区中央部下層	
21	敲石	5.0	4.5	5.5	168.7	安山岩	表裏面磨痕→敲打痕	K区西部下層	
22	敲石	(7.6)	6.5	4.1	(249.1)	安山岩	表裏面磨痕→敲打痕	K区東部上層	

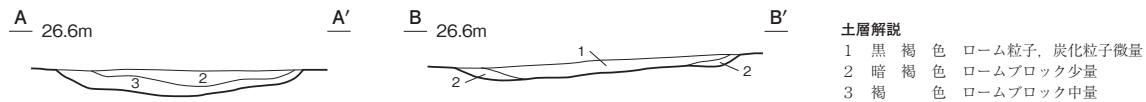


第 435 图 第 11 号溝跡出土遺物実測図 (1)

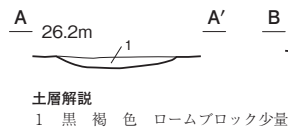


第 436 图 第 11 号沟迹出土遗物实测图 (2)

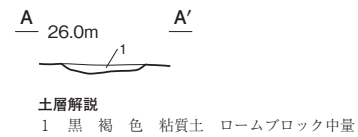
SD1



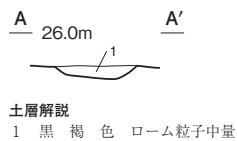
SD3



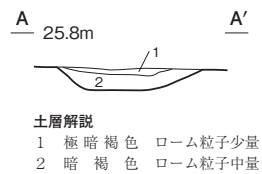
SD12



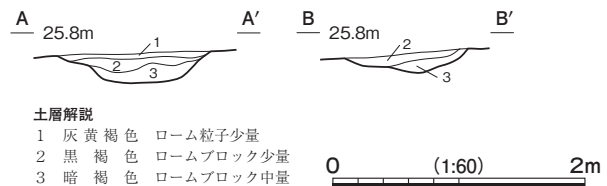
SD13



SD14



SD15



第 437 図 時期不明の溝跡実測図

第 252 表 時期不明溝跡一覧

番号	位置	方向	平面形	規模				断面	壁面	覆土	主な出土遺物	備考
				長さ(m)	上幅(m)	下幅(m)	深さ(cm)					
1	D 4a3 ~ D 4d1	-	半円形	(14.0)	0.50 ~ 2.50	1.50 ~ 1.90	10 ~ 21	逆台形	外傾	人為	深鉢 16	SK337 → 本跡 PL35 [第 325 集] 所収
3	E 2h0 ~ F 2e6	N - 26° - E	直線状	30.6	0.20 ~ 0.90	0.40 ~ 0.70	8 ~ 10	U 字形	外傾	自然	深鉢 36, 陶器碗 1	SI23・SK311 → 本跡 全長 74m [第 325 集] 所収
11	G 4b4 ~ G 5b8	N - 97° - E	直線状	58.2	0.98 ~ 1.37	0.25 ~ 0.66	20 ~ 46	U 字形	外傾	自然	深鉢 2966, 鉢 1, 浅鉢 8, 蓋 1, 異形台付土器 1, 製塩土器 28, 土罎 1, 土版 3, 土器片円盤 3, 石 鏝 2, 磨石 15, 敲石 3, 石皿 1, 石椎 1, 剥片 8	SK302・357 → 本跡 全長 156m [第 364・397 集] 所収
12	F 2a0 ~ F 2c9	N - 23° - E	直線状	(6.9)	0.40 ~ 0.75	0.50	6 ~ 8	U 字形	外傾	人為		
13	E 4f4 ~ E 4h3	N - 25° - E	直線状	7.2	0.50 ~ 0.70	0.42	8 ~ 12	逆台形	外傾	人為	深鉢 8, 平瓦 1	PL35
14	E 4g5 ~ E 4i4	N - 30° - E	直線状	10.0	0.50 ~ 1.20	0.50	14 ~ 18	逆台形	外傾	人為	深鉢 14, 浅鉢 1	SK1117・1118 → 本跡 → SK1183 PL35
15	E 4f5 ~ E 4g8	N - 72° - W	直線状	10.5	0.55 ~ 1.20	0.60 ~ 0.70	16 ~ 23	逆台形	外傾	人為	深鉢 249, 台付鉢 1, 磨石 1, 剥片 2	

(3) 土 坑

今回の調査で、時期不明の土坑 111 基を確認した。形状や遺物出土状況などが特徴的な第 335・337・1090・1217 号土坑については、実測図と出土遺物一覧を示し、文章で解説する。その他の土坑 108 基については、実測図と一覧表で掲載する。

第 335 号土坑 (第 438 図 PL35)

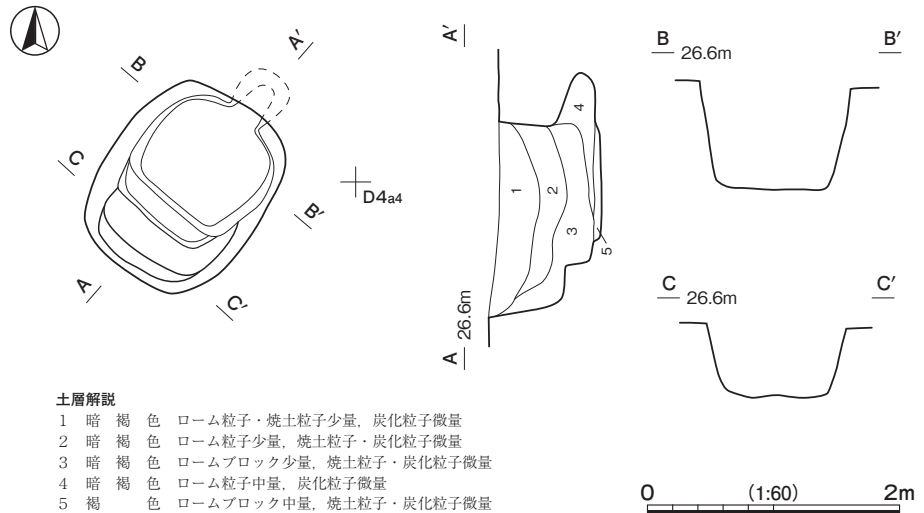
位置 調査 H 区の C 4j3 区, 標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

規模と形状 長軸 1.61 m, 短軸 1.30 m の長方形で, 長軸方向は N - 39° - E である。深さは 88cm で, 底面は平坦である。壁は南西部が 3 段の階段状で, その他は直立している。北東壁の中央部が横穴状に掘り込まれており, 開口部は高さ 0.30 m, 幅 0.40 m の楕円形で, 奥行 0.42 m である。

覆土 5 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多く含まれていることから, 人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 7 点 (深鉢), 土師質土器片 3 点 (小皿 2・搦鉢 1) が出土している。いずれも細片であり, 図示できなかった。

所見 時期は、出土土器から近世以降と考えられる。類例は、つくば市島名一町田遺跡の第1号地下式坑、境町井草本田遺跡群の第5・6号土坑などがあり、骨片や人歯^カ、銅鏡や煙管、六文銭（寛永通寶）が出土していることから、墓坑の可能性が考えられている。



- 土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子微量
 - 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
 - 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
 - 4 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
 - 5 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量

第438図 第335号土坑実測図

第337号土坑（第439図 第253表）

位置 調査H区のD4c1区、標高約26mの平坦な台地上に位置している。

重複関係 第1号溝に掘り込まれている。

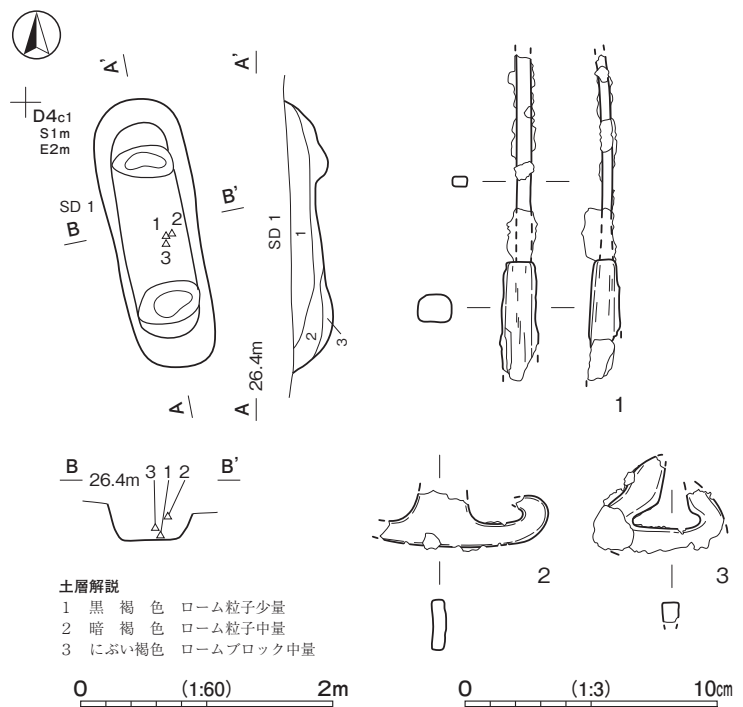
規模と形状 長軸2.16m、短軸0.73mの隅丸長方形で、長軸方向はN-9°-Wである。上部を第1号溝跡に掘り込まれており、残存している深さは32cmである。底面は平坦で、壁は外傾している。底面の北部と南部には、短軸方向に長さ48~50cm、幅25~32cm、深さ7~10cmの楕円形の凹みがあり、凹み間の間隔は120cmである。

覆土 3層に分層できる。上部は含有物が少ない黒褐色土で、自然堆積である。下部は、ロームのブロックや粒子が多く含まれていることから、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片2点（深鉢）、鉄製品3点（鎗^カ1、火打金2）、剥片5点（瑪瑙 19.3g）が出土している。

1~3は、中央部の覆土上~下層からまともに出て出土している。

所見 時期は、伴出する土器が無いため不明である。底面の北部と南部に楕円形の凹みがあり、木棺の棺台の痕跡と考えられることから、墓坑の可能性はある。



- 土層解説**
- 1 黒褐色 ローム粒子少量
 - 2 暗褐色 ローム粒子中量
 - 3 にぶい褐色 ロームブロック中量

第439図 第337号土坑・出土遺物実測図

第 253 表 第 337 号土坑出土遺物一覧 (第 439 図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
1	鎗鉋力	(12.9)	0.5	0.4	14.7	鉄	刃部欠損 断面長方形 柄部木質残存 長さ(4.7)・幅1.4・厚さ1.3	覆土下層	
2	火打金	(6.6)	(2.4)	0.5	(8.5)	鉄	山形 断面長方形	覆土上層	
3	火打金	(5.2)	(3.8)	0.7	(14.2)	鉄	山形 断面長方形	覆土下層	

第 1090 号土坑 (第 440 図 PL35)

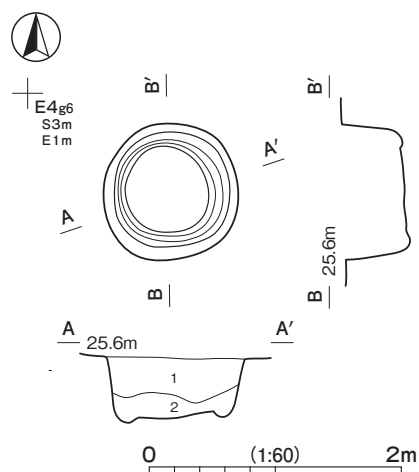
位置 調査 C 区の E 4 g6 区, 標高約 26 m の平坦な台地上に位置している。

規模と形状 径 1.06 ~ 1.08 m の円形で, 深さは 46cm である。底面は平坦で, 壁は直立している。壁下には, 外径 0.90 ~ 0.95 m の円形で, 幅 8 ~ 17cm, 深さ 4 cm の溝状の凹みが巡っている。

覆土 2 層に分層できる。各層にロームのブロックや粒子が多く含まれていることから, 人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 55 点 (深鉢 54, 浅鉢 1), 土製品 1 点 (土器片円盤) が出土しているが, いずれも摩滅した細片で, 後世に混入したものである。

所見 時期は, 伴出する遺物が無いため不明である。底面に円形の溝状の凹みがあり, 樽形の桶棺の圧痕と考えられることから, 墓坑の可能性がある。



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子多量
- 2 極暗褐色 ロームブロック多量

第 440 図 第 1090 号土坑実測図

第 1217 号土坑 (第 441 図 第 254 表 PL80)

位置 調査 K 区の G 4 a7 区, 標高約 23 m の斜面部に位置している。

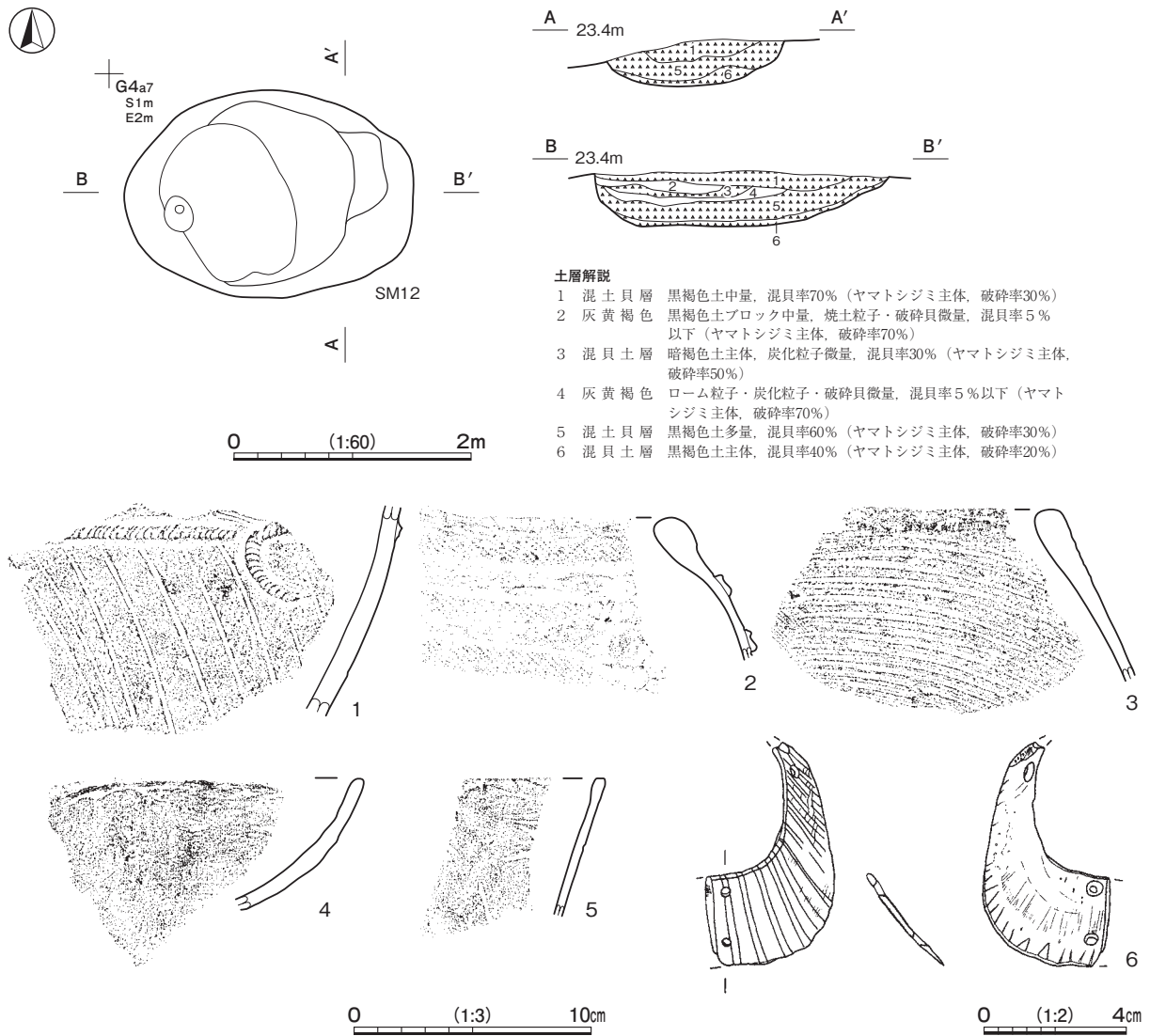
重複関係 第 12 号斜面貝層を掘り込んでいる。

規模と形状 長径 2.48 m, 短径 1.75 m の不整楕円形で, 長径方向は N - 79° - E である。深さは 46cm で, 底面は皿状であり, 壁は外傾している。

覆土 6 層に分層できる。混土貝層が主体であるが, 第 12 号斜面貝層から混入した人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片 1,313 点 (深鉢 1125, 浅鉢 5, 鉢 3, 台付鉢 1, 製塩土器 179), 土製品 1 点 (土器片円盤), 石器・石製品 4 点 (磨製石斧, 磨石, 砥石, 石棒), 貝製品 1 点 (貝輪), 平瓦 1 点, 貝殻 2,500 点 (アカニシ片, アラムシロガイ 1, カノコガイ 1, カワアイ 1, ハマグリ 39, マツカサガイ片, ヤマトシジミ 2,458, 3,777.1 g), 骨 64.5 g, 腐朽した木片が出土している。縄文時代の遺物は, いずれも第 12 号斜面貝層から混入したものである。

所見 時期は, 燻し瓦が出土していることから, 近世以降と考えられる。



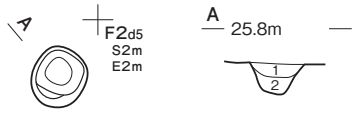
第 441 図 第 1217 号土坑・出土遺物実測図

第 254 表 第 1217 号土坑出土遺物一覧 (第 441 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面条線→紐線貼付 内面磨き	覆土中	後期末葉
2	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面沈線→縄文 RL→無文部磨き→瘤貼付 内面磨き	覆土中	安行 3 a 式
3	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面条線 内面磨き	覆土中	晩期前葉
4	縄文土器	鉢	-	(5.6)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	外面ナデ 内面磨き	覆土中	晩期前葉
5	縄文土器	製塩土器	-	(5.7)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	外面削り 内面ナデ	覆土中	晩期前葉

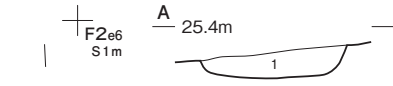
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
6	貝輪	(6.3)	3.6	2.1	(9.7)	サルボウ属	組み合わせ式 孔 3か所 研磨整形	覆土中	PL80

SK297



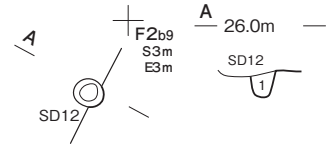
土層解説
1 暗褐色 ロームブロック少量
2 暗褐色 ローム粒子中量

SK298



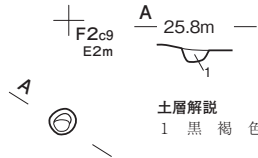
土層解説
1 暗褐色 粘質土

SK302



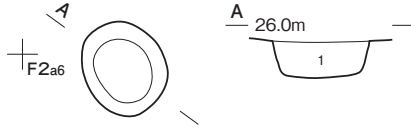
土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量

SK303



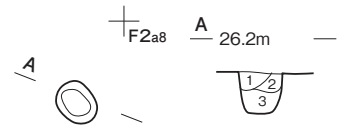
土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量

SK304



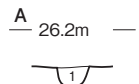
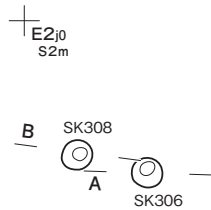
土層解説
1 黒褐色 ローム粒子微量

SK305



土層解説
1 暗褐色 ローム粒子微量
2 暗褐色 ロームブロック微量
3 黒褐色 ローム粒子微量

SK306・308

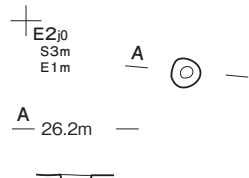


第306号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



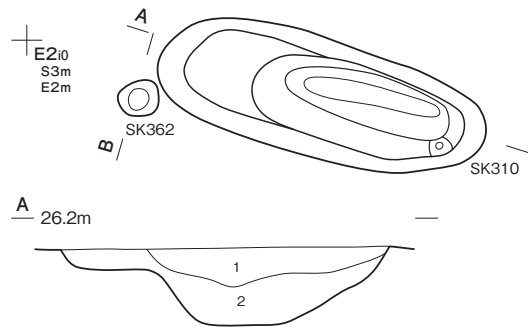
第308号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量

SK307

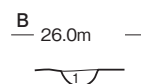


土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量

SK310・362

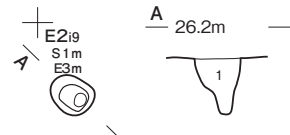


第310号土坑土層解説
1 暗褐色 ロームブロック中量
2 にぶい褐色 ロームブロック少量



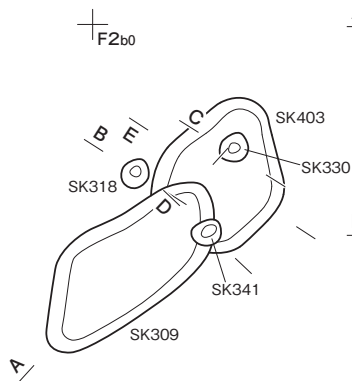
第362号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量

SK312

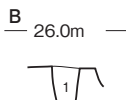


土層解説
1 黒褐色 ロームブロック中量

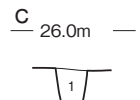
SK309・318・330・341・403



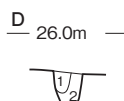
第309号土坑土層解説
1 暗褐色 ローム粒子中量
2 にぶい褐色 ロームブロック中量



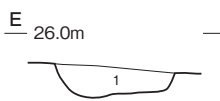
第318号土坑土層解説
1 にぶい褐色 ローム粒子中量



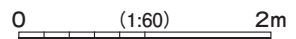
第330号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子中量



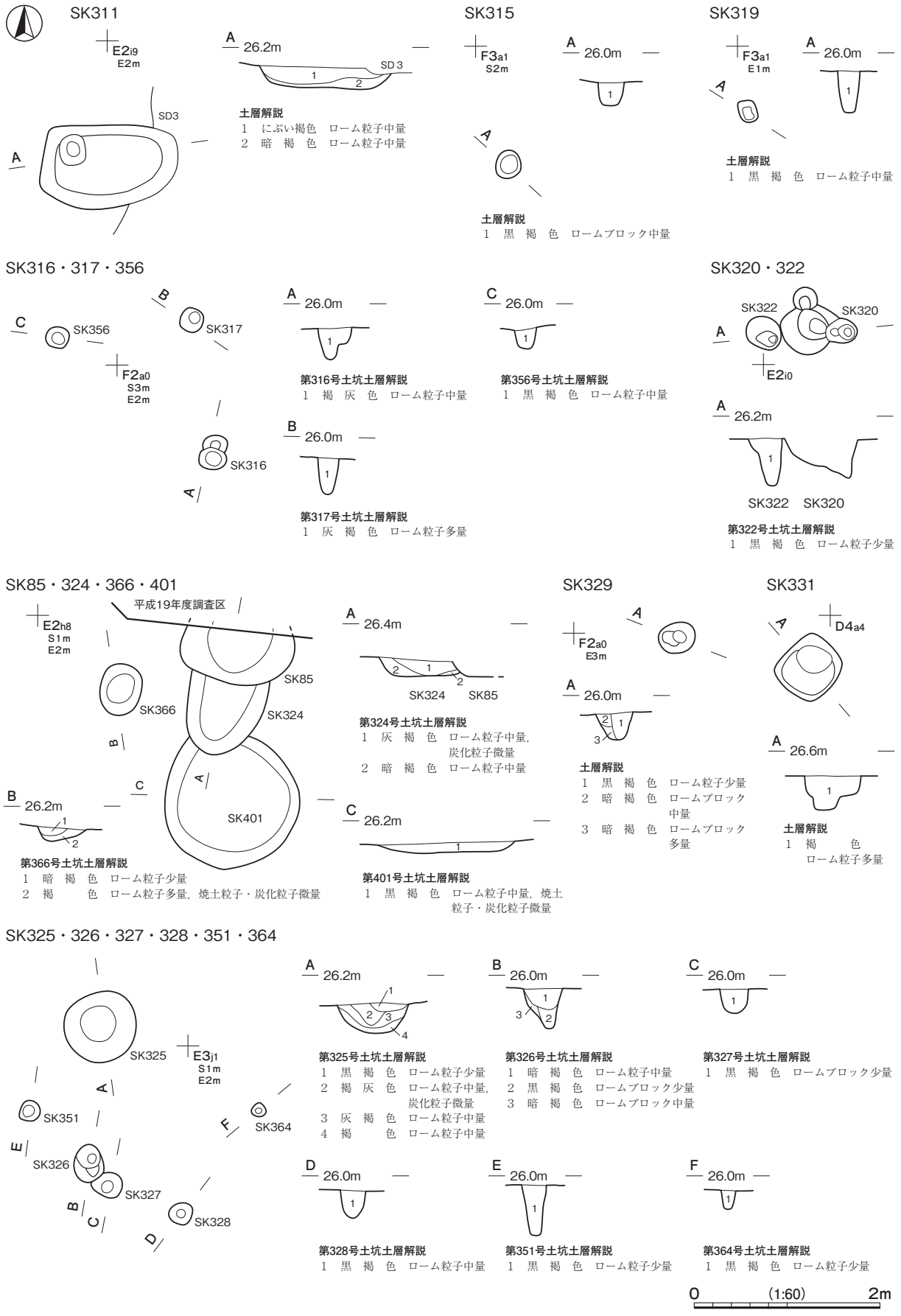
第341号土坑土層解説
1 黒褐色 ローム粒子少量
2 黒褐色 ロームブロック少量



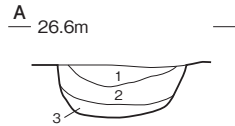
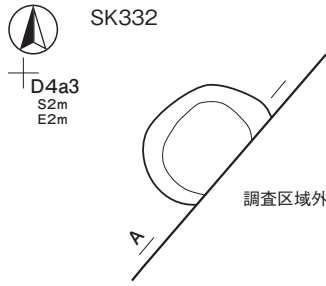
第403号土坑土層解説
1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量



第 442 図 時期不明の土坑実測図 (1)

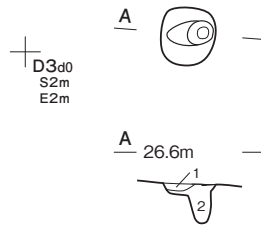


第 443 図 時期不明の土坑実測図 (2)



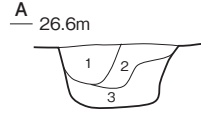
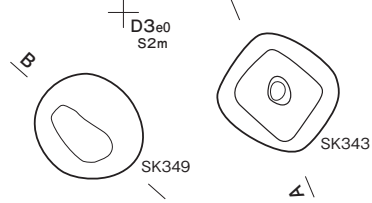
土層解説
 1 にぶい褐色 ロームブロック少量
 2 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子少量
 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

SK339

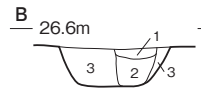


土層解説
 1 暗褐色 ロームブロック少量
 2 褐色 ロームブロック中量

SK343・349

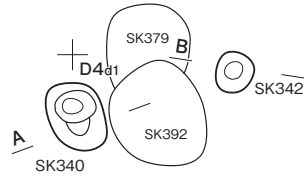


第343号土坑土層解説
 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック少量
 3 暗褐色 ローム粒子中量

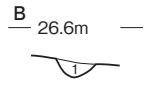


第349号土坑土層解説
 1 灰褐色 ローム粒子少量
 2 褐色 ローム粒子少量
 3 にぶい褐色 ロームブロック中量

SK340・342

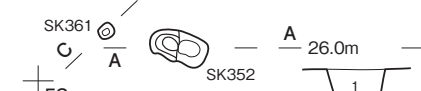


第340号土坑土層解説
 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

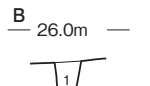
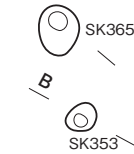


第342号土坑土層解説
 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

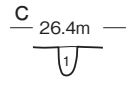
SK352・353・361・365



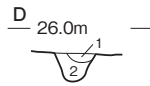
第352号土坑土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子中量



第353号土坑土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子中量

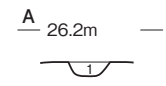
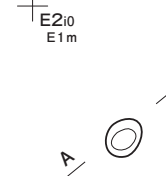


第361号土坑土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量



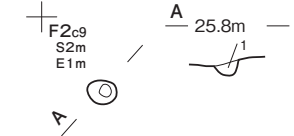
第365号土坑土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子少量
 2 黒褐色 ローム粒子中量

SK354



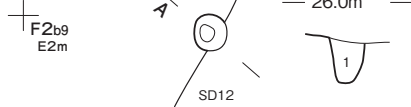
土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子中量

SK358



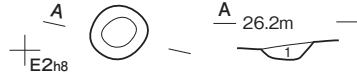
土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子中量

SK357



土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子中量

SK359



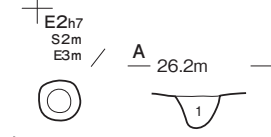
土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子中量

SK360



土層解説
 1 黒褐色 ローム粒子中量

SK367



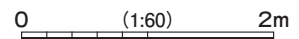
土層解説
 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

SK368・369



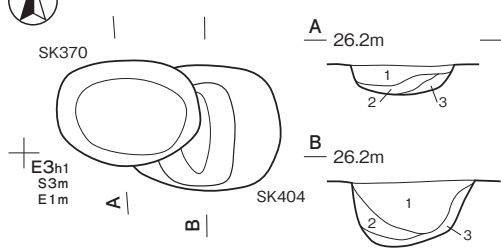
第368号土坑土層解説
 1 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第369号土坑土層解説
 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量



第 444 図 時期不明の土坑実測図 (3)

SK370・SK404



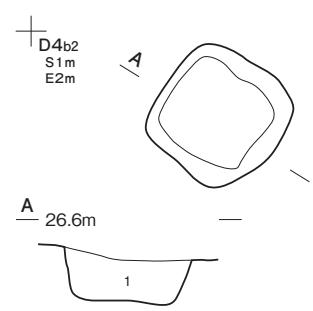
第370号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第404号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量

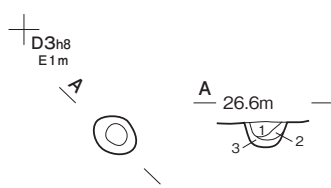
SK372



土層解説

- 1 褐灰色 ロームブロック中量

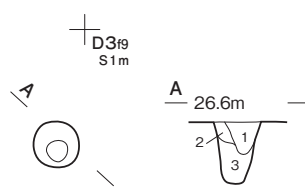
SK388



土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

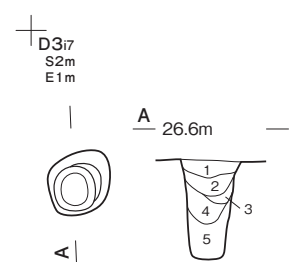
SK389



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量

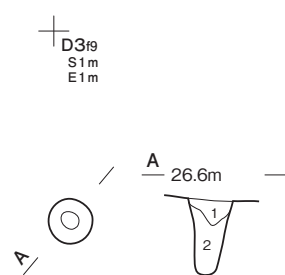
SK395



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

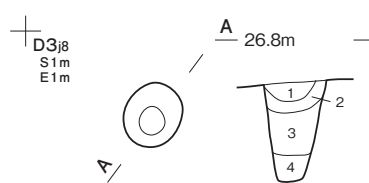
SK390



土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

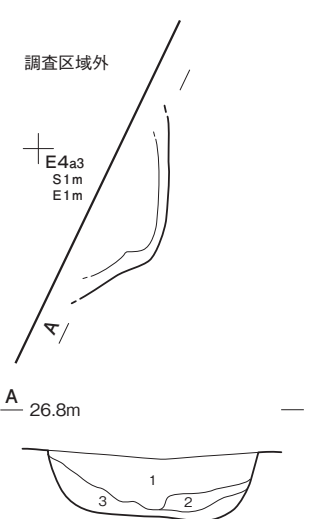
SK434



土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

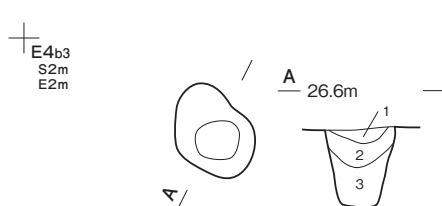
SK721



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

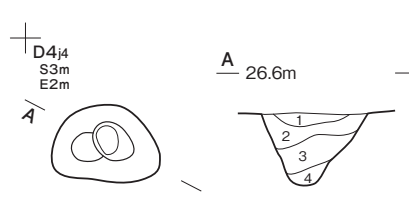
SK679



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

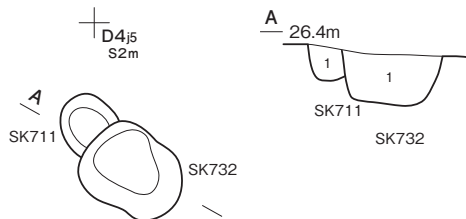
SK690



土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量

SK711・732

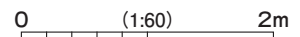


第711号土坑土層解説

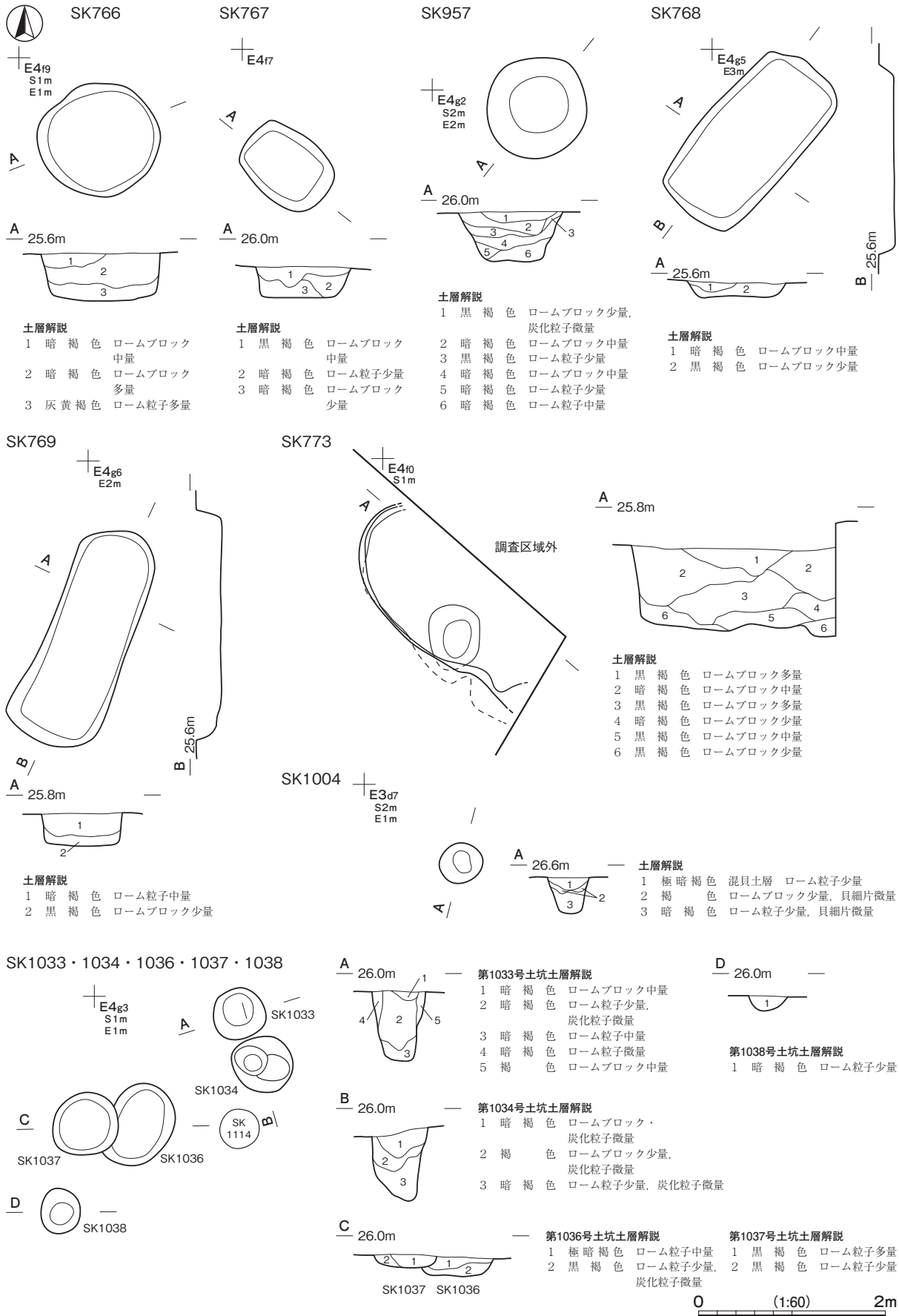
- 1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・貝殻微量

第732号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

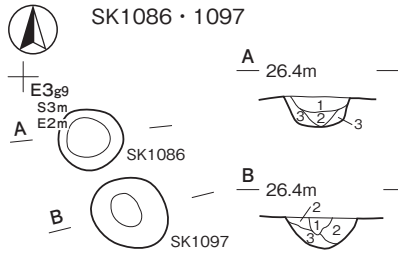


第 445 図 時期不明の土坑実測図 (4)



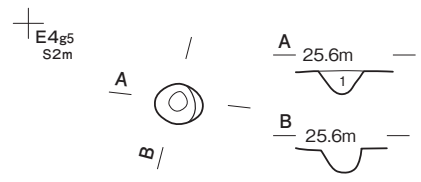
第 446 図 時期不明の土坑実測図 (5)

SK1086・1097



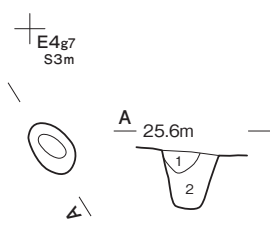
- 第1086号土坑土層解説**
 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック中量
 3 褐色 ロームブロック中量
- 第1097号土坑土層解説**
 1 極暗褐色 ロームブロック微量
 2 暗褐色 ローム粒子少量, 貝細片微量
 3 褐色 ロームブロック中量

SK1087



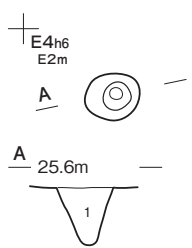
- 土層解説**
 1 褐色 ロームブロック中量

SK1094



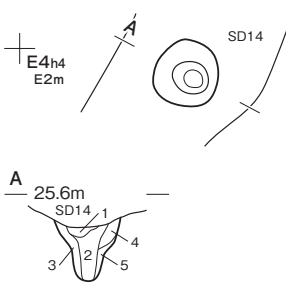
- 土層解説**
 1 黒褐色 ローム粒子中量
 2 暗褐色 ロームブロック中量

SK1095



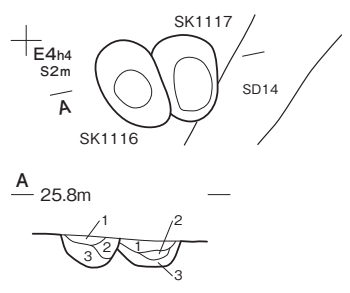
- 土層解説**
 1 暗褐色 ローム粒子多量

SK1118



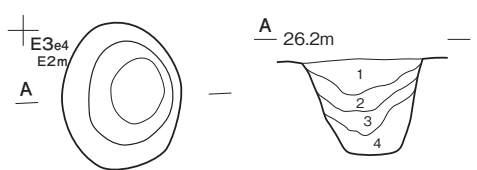
- 土層解説**
 1 黒褐色 ローム粒子少量
 2 暗褐色 ロームブロック中量
 3 極暗褐色 ロームブロック少量
 4 黒褐色 ロームブロック中量
 5 褐色 ロームブロック中量

SK1116・1117



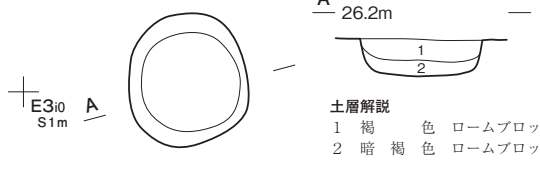
- 第1116号土坑土層解説**
 1 暗褐色 ローム粒子微量
 2 黒褐色 ローム粒子微量
 3 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 第1117号土坑土層解説**
 1 黒褐色 ローム粒子微量
 2 褐色 ロームブロック多量
 3 黒褐色 ロームブロック中量

SK1121



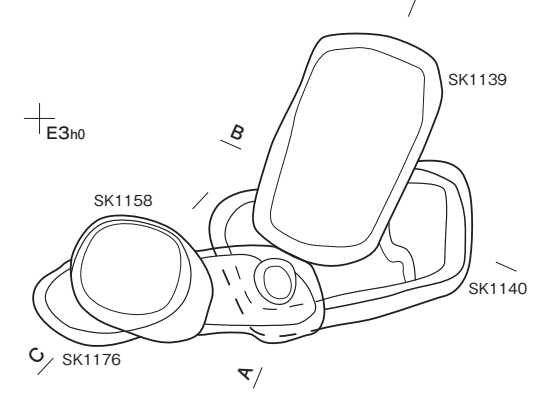
- 土層解説**
 1 極暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
 2 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
 3 黒褐色 ロームブロック微量
 4 暗褐色 ローム粒子中量

SK1138



- 土層解説**
 1 褐色 ロームブロック中量
 2 暗褐色 ロームブロック中量

SK1139・1140・1158・1176

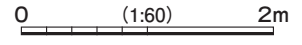


- 第1139号土坑土層解説**
 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化物微量
 2 暗褐色 ロームブロック多量
 3 黒褐色 ローム粒子少量
 4 暗褐色 ローム粒子中量

- 第1140号土坑土層解説**
 1 暗褐色 ロームブロック多量, 炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
 3 黒褐色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量
 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
 5 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
 6 暗褐色 ロームブロック中量

- 第1158号土坑土層解説**
 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック少量
 3 黒褐色 ローム粒子中量

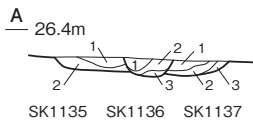
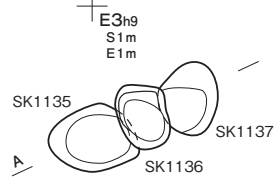
- 第1176号土坑土層解説**
 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
 2 褐色 ロームブロック微量



第 447 図 時期不明の土坑実測図 (6)



SK1135~1137

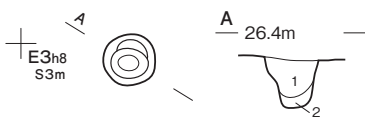


- 第1135号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
 - 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子・骨片微量

- 第1136号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子少量
 - 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
 - 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

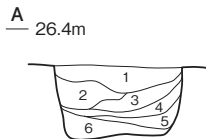
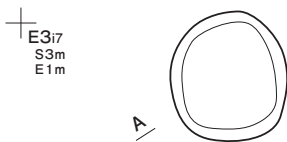
- 第1137号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
 - 2 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
 - 3 褐色 ロームブロック中量

SK1142



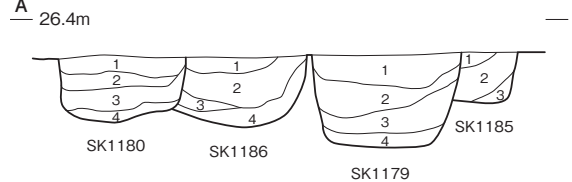
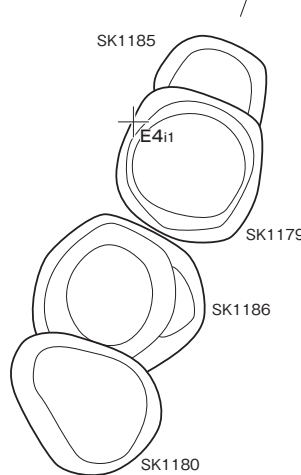
- 土層解説**
- 1 黒褐色 ローム粒子微量
 - 2 暗褐色 ロームブロック少量

SK1177



- 土層解説**
- 1 暗褐色 ロームブロック中量
 - 2 暗褐色 ローム粒子中量
 - 3 暗褐色 ロームブロック少量
 - 4 極暗褐色 ロームブロック少量
 - 5 褐色 ローム粒子多量
 - 6 黒褐色 ロームブロック中量

SK1179・1180・1185・1186



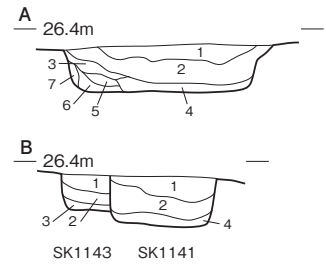
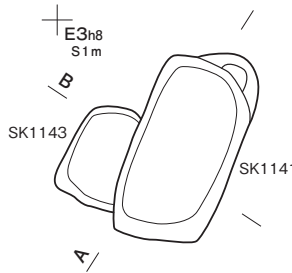
- 第1179号土坑土層解説**
- 1 褐色 ローム粒子多量
 - 2 暗褐色 ローム粒子中量
 - 3 暗褐色 ロームブロック中量
 - 4 暗褐色 ローム粒子少量

- 第1180号土坑土層解説**
- 1 黒褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
 - 2 暗褐色 ローム粒子少量
 - 3 暗褐色 ローム粒子中量
 - 4 褐色 ロームブロック中量

- 第1185号土坑土層解説**
- 1 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
 - 2 暗褐色 ローム粒子中量
 - 3 黒褐色 ロームブロック微量

- 第1186号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子中量
 - 2 暗褐色 ロームブロック多量
 - 3 暗褐色 ロームブロック中量
 - 4 褐色 ロームブロック少量

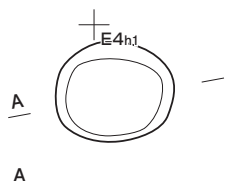
SK1141・1143



- 第1141号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ロームブロック多量
 - 2 暗褐色 ロームブロック少量
 - 3 暗褐色 ロームブロック中量
 - 4 暗褐色 ローム粒子少量
 - 5 極暗褐色 ローム粒子少量
 - 6 黒褐色 ロームブロック少量
 - 7 褐色 ロームブロック少量

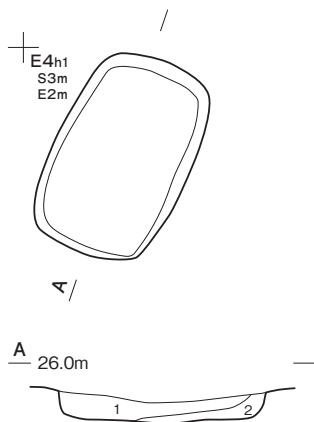
- 第1143号土坑土層解説**
- 1 暗褐色 ローム粒子中量
 - 2 暗褐色 ローム粒子少量
 - 3 暗褐色 ロームブロック少量

SK1178



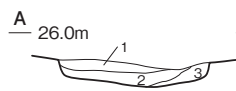
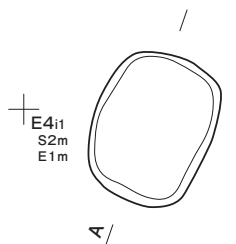
- 土層解説**
- 1 褐色 ローム粒子中量
 - 2 褐色 ローム粒子多量

SK1181



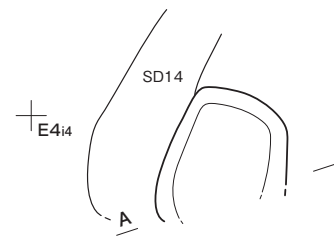
- 土層解説**
- 1 褐色 ロームブロック中量
 - 2 暗褐色 ローム粒子中量

SK1182

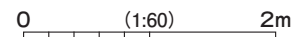


- 土層解説**
- 1 黒褐色 ロームブロック中量
 - 2 暗褐色 ロームブロック中量
 - 3 黒褐色 ローム粒子中量

SK1183



- 土層解説**
- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
 - 2 黒褐色 ローム粒子多量



第 448 図 時期不明の土坑実測図 (7)

第 255 表 時期不明土坑一覽

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主 な 出 土 遺 物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(軸) (m)	短径(軸) (cm)						
85	E 2h8	N - 81° - W	[楕円形]	1.20 × (0.58)	81	外傾	平坦	人為			SK324 → 本跡
297	F 2d5	N - 29° - E	楕円形	0.48 × 0.42	24	外傾	平坦	人為			
298	F 2e5	N - 6° - W	楕円形	1.18 × 0.74	25	外傾	平坦	人為			
302	F 2b9	N - 58° - W	楕円形	0.26 × 0.22	20	直立	平坦	人為			本跡 → SD12
303	F 2c9	-	円形	0.22 × 0.22	8	直立	平坦	人為	深鉢 2		
304	F 2a6	N - 21° - W	楕円形	0.76 × 0.64	27	外傾	平坦	人為			
305	F 2a7	N - 44° - W	楕円形	0.36 × 0.28	30	直立	平坦	人為	深鉢 2		
306	E 2j0	-	円形	0.24 × 0.24	14	外傾	平坦	人為			
307	E 2j0	-	円形	0.24 × 0.22	16	外傾	平坦	人為			
308	E 2j0	-	円形	0.26 × 0.24	16	直立	平坦	人為			
309	F 2b0	N - 44° - E	楕円形	1.76 × 0.80	22	外傾	平坦	人為	剥片 1		SK403 → 本跡 → SK341
310	E 2i0	N - 75° - W	楕円形	2.64 × 0.96	62	外傾	凹凸	人為	深鉢 4		
311	E 2i9	N - 86° - E	楕円形	1.48 × 0.90	24	外傾	平坦	人為	深鉢 1, 剥片 1		本跡 → SD3
312	E 2i9	N - 46° - W	楕円形	0.34 × 0.30	42	直立	平坦	人為			
315	F 3a1	-	円形	0.30 × 0.28	24	直立	皿状	人為			
316	F 2a0	N - 13° - E	楕円形	0.36 × 0.30	33	外傾	凹凸	人為			
317	F 2a0	-	円形	0.26 × 0.24	40	直立	平坦	人為			
318	F 2b0	N - 26° - E	楕円形	0.26 × 0.22	36	直立	平坦	人為			
319	F 3a1	N - 17° - W	楕円形	0.24 × 0.20	46	直立	平坦	人為	深鉢 1		
320	E 2h0	N - 83° - W	不整形	0.82 × 0.70	40	外傾・直立	凹凸	人為	深鉢 2, 剥片 1		
322	E 2h9	N - 53° - W	楕円形	0.40 × 0.34	52	直立	平坦	人為			
324	E 2h8	N - 9° - E	[楕円形]	(0.80) × 0.82	22	外傾	平坦	人為	深鉢 2		SK401 → 本跡 → SK85
325	E 3j1	-	円形	0.80 × 0.76	34	外傾	平坦	人為	深鉢 1		
326	E 3j1	N - 2° - E	楕円形	0.42 × 0.32	42	直立・外傾	平坦	人為			SK327 → 本跡
327	E 3j1	N - 78° - W	楕円形	0.34 × 0.28	26	直立	平坦	人為	深鉢 4, 剥片 2		本跡 → SK326
328	E 3j1	-	円形	0.26 × 0.24	30	直立	皿状	人為	深鉢 2, 剥片 2		
329	F 3a1	N - 72° - E	楕円形	0.40 × 0.32	28	外傾	平坦	人為	土師質土器小皿 1, 剥片 2		
330	F 2b0	-	円形	0.24 × 0.22	34	直立	皿状	人為	深鉢 2		SK403 → 本跡
331	D 4a3	N - 42° - E	方形	0.65 × 0.61	37	直立	凹凸	人為	深鉢 1, 土師質土器小皿 1		
332	D 4a3	N - 41° - E	[楕円形]	1.03 × (0.69)	40	外傾	皿状	人為	深鉢 4, 須恵器坏 1, 土師質土器小皿 1		
335	C 4j3	N - 39° - E	長方形	1.61 × 1.30	88	階段状・直立・剥込	平坦	人為	深鉢 7, 土師質土器小皿 2・播鉢 1		
337	D 4c1	N - 9° - W	隅丸長方形	2.16 × 0.73	32	外傾	平坦	人為	深鉢 2, 槍鉋 ₉ 1, 火打金 2, 剥片 5		本跡 → SD 1
339	D 3d0	-	円形	0.49 × 0.48	31	直立	凹凸	人為	土器片円盤 1		
340	D 3d0	N - 28° - W	楕円形	0.58 × 0.43	17	外傾	皿状	人為			
341	F 2b0	N - 85° - E	楕円形	0.24 × 0.20	28	直立	皿状	人為	深鉢 1		SK403・309 → 本跡
342	D 4d1	N - 20° - E	楕円形	0.33 × 0.29	12	外傾	皿状	人為			
343	D 3e0	N - 56° - W	方形	0.87 × 0.83	49	直立	平坦	人為	深鉢 4		
349	D 3e9	N - 44° - W	楕円形	0.87 × 0.79	30	直立	平坦	人為	深鉢 2		
351	E 3j1	-	円形	0.21 × 0.21	54	直立	平坦	人為			
352	F 2a0	N - 36° - W	楕円形	0.42 × 0.26	36	外傾	凹凸	人為	深鉢 2		
353	F 2a9	N - 50° - E	楕円形	0.26 × 0.22	30	直立	平坦	人為			
354	E 2i0	N - 46° - E	楕円形	0.32 × 0.26	12	外傾	平坦	人為			
356	F 2a0	-	円形	0.26 × 0.24	22	直立	平坦	人為			
357	F 2b9	-	円形	0.28 × 0.26	34	直立	平坦	人為			本跡 → SD12
358	F 2c9	N - 67° - W	楕円形	0.24 × 0.20	12	外傾	平坦	人為			
359	E 2g8	-	円形	0.46 × 0.42	10	外傾	皿状	人為			

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規 模			壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(軸) (m)	短径(軸)	深さ (cm)						
360	E 2 j0	N - 38° - W	楕円形	0.26 × 0.20		6	外傾	平坦	人為			
361	F 2 a9	N - 30° - E	楕円形	0.14 × 0.12		22	直立	平坦	人為			
362	E 2 i0	N - 74° - E	楕円形	0.32 × 0.28		12	外傾	皿状	人為			
364	E 3 j1	-	円形	0.16 × 0.16		20	直立	平坦	人為			
365	F 2 a9	N - 13° - W	楕円形	0.40 × 0.32		22	外傾	平坦	人為			
366	E 2 h8	N - 13° - E	楕円形	0.54 × 0.44		14	直立・外傾	平坦	人為			
367	E 2 h7	-	円形	0.33 × 0.32		24	直立	皿状	人為	深鉢 1		
368	E 2 i7	-	円形	0.50 × 0.46		13	外傾	平坦	人為	深鉢 1		
369	E 2 i8	-	円形	0.40 × 0.40		26	直立・外傾	平坦	人為			
370	E 3 h1	N - 88° - E	楕円形	1.12 × 0.84		24	外傾	皿状	人為	深鉢 11		SK404 → 本跡
372	D 4 b2	-	円形	1.03 × 1.01		39	直立	平坦	人為	深鉢 2		
388	D 3 h8	N - 51° - W	楕円形	0.36 × 0.29		18	直立	平坦	人為	深鉢 1		
389	D 3 f8	-	円形	0.36 × 0.36		48	直立	平坦	人為			
390	D 3 f9	-	円形	0.35 × 0.35		57	直立	平坦	人為			
395	D 3 i7	N - 35° - E	楕円形	0.58 × 0.47		79	直立	平坦	人為	深鉢 2		
401	E 2 h8	-	円形	1.52 × 1.44		14	外傾	平坦	人為	製塩土器 1, 剥片 1		本跡 → SK324
403	F 2 b0	N - 22° - E	楕円形	1.28 × 1.00		24	外傾	平坦	人為			本跡 → SK309・330・341
404	E 3 h1	N - 85° - W	[楕円形]	(0.64) × 1.00		51	外傾	平坦	人為	深鉢 14, 磁器碗 1, 剥片 1		本跡 → SK370
434	D 3 j8	N - 35° - E	楕円形	0.50 × 0.44		79	直立	平坦	人為	骨 7.6 g		
555	E 2 h0	N - 83° - W	楕円形	0.22 × 0.14		18	直立	平坦	人為			
679	E 4 b3	N - 21° - W	楕円形	0.82 × 0.60		62	直立	平坦	人為	深鉢 94, 陶器碗 1, 鉢 1, 骨 3.8 g		
690	D 4 j4	N - 65° - W	不整形	0.86 × 0.60		54	外傾	平坦	人為	深鉢 55, 陶器碗 1, 骨 89.5 g		
711	D 4 j4	N - 48° - E	[楕円形]	0.44 × 0.36		26	直立	平坦	人為	深鉢 18, 陶器鉢 2, 骨 21.8 g		本跡 → SK732
721	E 4 a3	N - 2° - W	不明	(1.65) × (0.40)		51	外傾	平坦	人為	深鉢 37, 釘 1		SK720・722 → 本跡
732	D 4 j5	N - 41° - W	不整形	0.80 × 0.68		40	外傾	平坦	人為	深鉢 10, 陶器碗 1, 剥片 1		SK711・733 → 本跡
766	E 4 f9	-	円形	1.26 × 1.18		50	直立	平坦	人為			
767	E 4 f7	N - 49° - W	長方形	1.01 × 0.76		32	直立・外傾	平坦	人為	深鉢 16, 瓦 1		
768	E 4 g5	N - 41° - E	長方形	2.06 × 1.03		20	外傾	皿状	人為	深鉢 15		
769	E 4 g6	N - 23° - E	楕円形	2.46 × 1.00		36	直立	平坦	人為	深鉢 76		
773	E 4 f0	N - 48° - W	[楕円形]	(2.30) × (1.00)		92	内傾	凹凸	人為	深鉢 12, 須恵器甕 1, 土師質土器 焙烙 1, 陶器皿 1, 瓶 1, 釘 1		
957	E 4 g2	-	円形	1.07 × 1.07		49	外傾	平坦	人為	深鉢 24		
1004	E 3 d7	-	円形	0.47 × 0.44		34	直立・外傾	皿状	人為	深鉢 10, 陶器蓋 1, 貝殻 277, 骨 12.8 g		
1033	E 4 g3	-	円形	0.56 × 0.52		79	直立	平坦	人為	深鉢 22		
1034	E 4 g3	N - 66° - W	楕円形	0.70 × 0.60		76	直立	凹凸	人為	深鉢 7		
1036	E 4 g3	N - 25° - E	楕円形	0.91 × 0.65		20	直立	平坦	人為	深鉢 11		本跡 → SK1037
1037	E 4 g3	-	円形	0.70 × 0.70		12	外傾	平坦	人為	深鉢 8		SK1036 → 本跡
1038	E 4 g3	-	円形	0.47 × 0.43		17	直立・外傾	平坦	人為	深鉢 5		
1086	E 3 g9	-	円形	0.50 × 0.50		27	直立・外傾	平坦	人為	深鉢 1		
1087	E 4 g5	N - 83° - W	楕円形	0.40 × 0.34		19	外傾	平坦	人為			
1090	E 4 g6	-	円形	1.08 × 1.06		46	直立	平坦	人為	深鉢 54, 浅鉢 1, 土器片円盤 1		
1094	E 4 g7	N - 45° - W	楕円形	0.46 × 0.30		47	直立	皿状	人為			
1095	E 4 h6	N - 79° - E	楕円形	0.47 × 0.38		50	直立	皿状	人為	深鉢 3		
1097	E 3 g9	N - 49° - W	楕円形	0.65 × 0.52		27	外傾	皿状	人為	深鉢 7, 剥片 1		
1116	E 4 h4	N - 35° - W	楕円形	0.76 × 0.50		28	外傾	皿状	人為	深鉢 16, 剥片 1		SK1117 → 本跡
1117	E 4 h4	N - 15° - W	楕円形	0.68 × (0.46)		24	外傾	平坦	人為	深鉢 2		本跡 → SK1116
1118	E 4 h4	-	円形	0.54 × 0.50		49	直立	平坦	人為			本跡 → SD14
1121	E 3 e4	N - 9° - W	楕円形	1.14 × 0.95		76	外傾	平坦	人為	深鉢 23, 磁器碗 1		

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規 模		壁 面	底 面	覆 土	主な出土遺物	時 期	備 考 (新旧関係)
				長径(軸) (m)	短径(軸) (cm)						
1135	E 3 h9	N - 87° - E	[楕円形]	[0.77] × 0.54	10	外傾	平坦	人為	深鉢 1, 製塩土器 1		本跡→SK1136
1136	E 3 h9	N - 26° - W	楕円形	0.54 × 0.38	22	外傾	凹凸	人為	磁器碗 1		SK1135・1137→本跡
1137	E 3 h9	N - 15° - E	楕円形	0.65 × 0.47	10	外傾	平坦	人為	深鉢 3		本跡→SK1136
1138	E 3 i0	-	円形	1.04 × 0.96	30	外傾	平坦	人為	深鉢 16		
1139	E 3 h0	N - 23° - E	長方形	1.90 × 1.12	87	直立	平坦	人為	深鉢 42, 磁器碗 1		SK1140・1176→本跡
1140	E 3 h0	N - 80° - E	長方形	2.10 × 1.10	80	直立	平坦	人為			本跡→SK1139・1176
1141	E 3 h8	N - 18° - E	長方形	1.56 × 0.83	38	直立	平坦	人為	深鉢 22, 土師質土器小皿 1, 磁器碗 1		SK1104・1143→本跡
1142	E 3 h8	N - 88° - E	楕円形	0.42 × 0.36	40	直立	平坦	人為			
1143	E 3 h8	N - 20° - E	長方形	0.82 × (0.47)	26	直立	平坦	人為	深鉢 17		SK1104→本跡 →SK1141
1158	E 3 h0	N - 70° - W	楕円形	1.20 × 0.90	34	直立・外傾	平坦	人為	深鉢 15, 陶器皿 1, 瓦 1		SK1176→本跡
1176	E 3 h0	N - 87° - E	楕円形	2.34 × 0.68	30	外傾	平坦	人為	深鉢 8		SK1140→本跡 →SK1139・1158
1177	E 3 i7	N - 4° - W	楕円形	1.02 × 0.94	54	直立	平坦	人為	深鉢 13, 陶器碗 1, 瓦 2		
1178	E 4 h1	N - 80° - W	楕円形	0.94 × 0.82	26	直立	平坦	人為	深鉢 7		
1179	E 4 i1	-	円形	1.16 × 1.14	82	直立	平坦	人為	深鉢 38, 陶器皿 1, 磁器瓶 1, 瓦 2		SK1185→本跡
1180	E 3 i0	N - 60° - W	楕円形	1.28 × 1.02	49	直立	平坦	人為	深鉢 21, 製塩土器 4, 磨石 1		SK1186→本跡
1181	E 4 h1	N - 20° - E	長方形	1.68 × 1.08	18	直立	平坦	人為	深鉢 28, 土師質土器焙烙 1, 陶器皿 1		
1182	E 4 i1	N - 22° - E	長方形	1.20 × 0.94	23	直立	平坦	人為	深鉢 19, 磁器碗 1		
1183	E 4 i4	N - 20° - E	[楕円形]	(0.96) × 0.96	27	外傾	平坦	人為	深鉢 19		SD14→本跡
1185	E 4 h1	N - 71° - W	[楕円形]	0.90 × (0.45)	38	直立	平坦	人為	深鉢 8		本跡→SK1179
1186	E 3 i0	-	[円形]	1.36 × [1.26]	62	直立	平坦	人為	深鉢 17		本跡→SK1180
1217	G 4 a7	N - 79° - E	不整楕円形	2.48 × 1.75	46	外傾	皿状	人為	深鉢 1125, 浅鉢 5, 鉢 3, 台付鉢 1, 製塩土器 179, 土器片円盤 1, 磨製石斧 1, 磨石 1, 砥石 1, 石権 1, 平瓦 1, 貝輪 1, 貝殻 2300, 骨 645 g		SM12→本跡

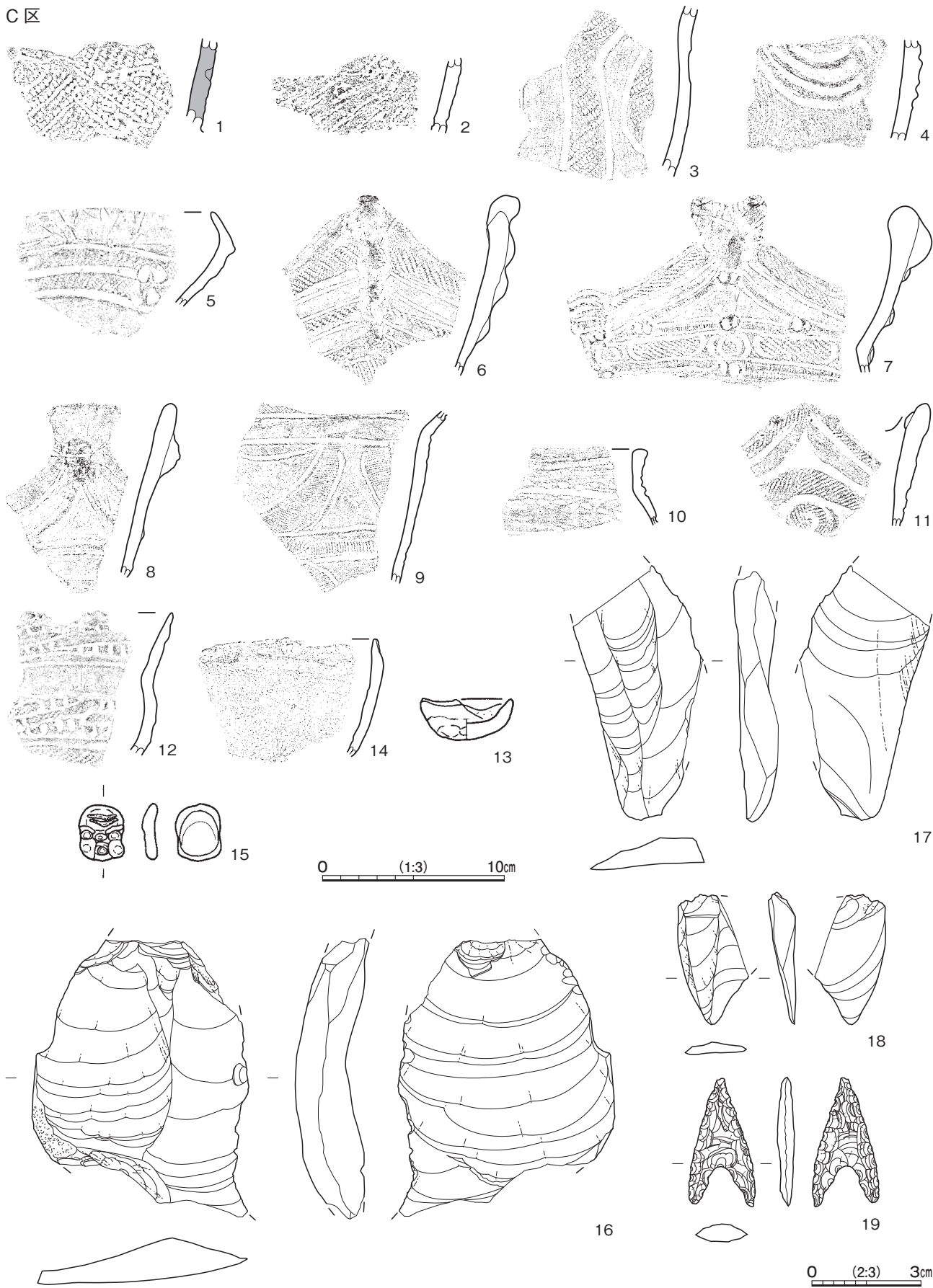
(4) 遺構外出土遺物 (第 449 ~ 453 図 第 256 表 PL134)

遺構に伴わない遺物や出土層位が不明な遺物のうち、特徴的なものについて、調査区ごとに実測図及び出土遺物一覧で掲載する。

第 256 表 遺構外出土遺物一覧 (第 449 ~ 453 図)

番号	種 別	器種	口径	器高	底径	胎 土	色 調	焼成	手 法 の 特 徴 ほ か	出土位置	備 考
1	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・繊維	褐灰	普通	付加条 1 種 (RL+ r と LR+ 1) の羽状構成	C 区	黒浜式
2	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面波状貝殻文	C 区	浮島式
3	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・黒色 粒子	橙	普通	外面 RL 充填縄文帯による J 字文 内面磨き	C 区	称名寺 I 式
4	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英	橙	普通	外面微隆起による窩文連携沈文の C 字文貼付 櫛歯状工具による条線 内面粗い磨き	C 区	後期前葉
5	縄文土器	鉢	-	(5.2)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部内屈 胴部 LR 充填の横帯文 対弧の区切り文 施文 内面磨き	C 区	加曾利 B 2 式
6	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 口頸部に 3 段の RL 隆起帯縄文 内面磨き	C 区	安行 1 式
7	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英	黒褐	普通	口縁部 RL 隆起帯縄文 口頸部刻み隆起の三角形 区画文 頸部 RL 縄文帯→弧線文 内面粗い磨き	C 区	安行 2 式
8	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	魚鱗状の波頂部 口縁部隆起帯 頸部に RL 隆起帯 縄文 内面ナデ	C 区	安行 3 a 式
9	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	細密沈線紋充填 無文部ナデ 内面粗い磨き	C 区	安行 3 b 式
10	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・黒色 粒子	明赤褐	普通	広口壺状 頸部に刺突を伴う沈線施文	C 区	安行 3 c 式
11	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	波状口縁 波頂部に鉢巻状貼付文 無節 L 充填の の字文と三叉文 内面ナデ	C 区	前浦 2 式
12	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・赤色 粒子	にぶい褐	普通	口唇部欠損 口縁部・胴部に LR 充填の羊歯状文 胴部下半 内面ナデ	C 区	大洞 B C 式
13	縄文土器	ミニチュア 土器	[4.8]	2.3	-	長石・石英	橙	普通	指頭によるナデ整形	C 区	
14	縄文土器	製塩土器	-	(6.4)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	口唇部未調整 外面削り 内面ナデ	C 区	

C区

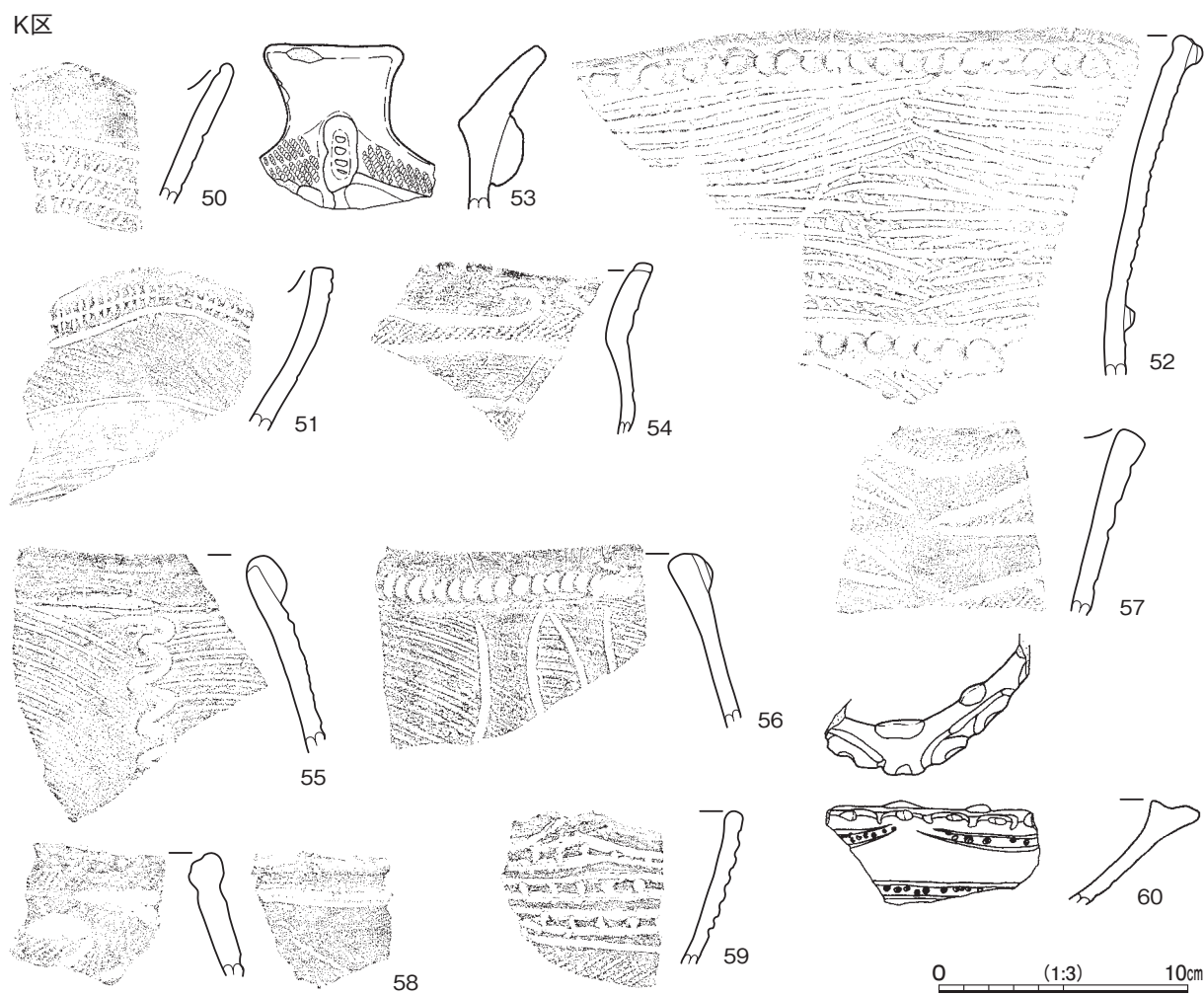
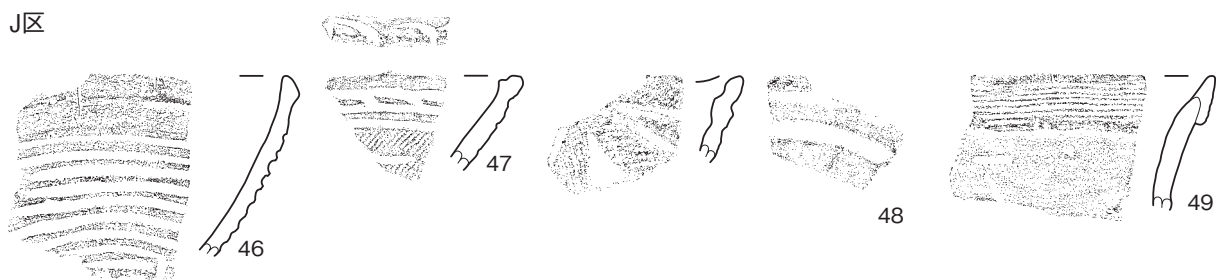
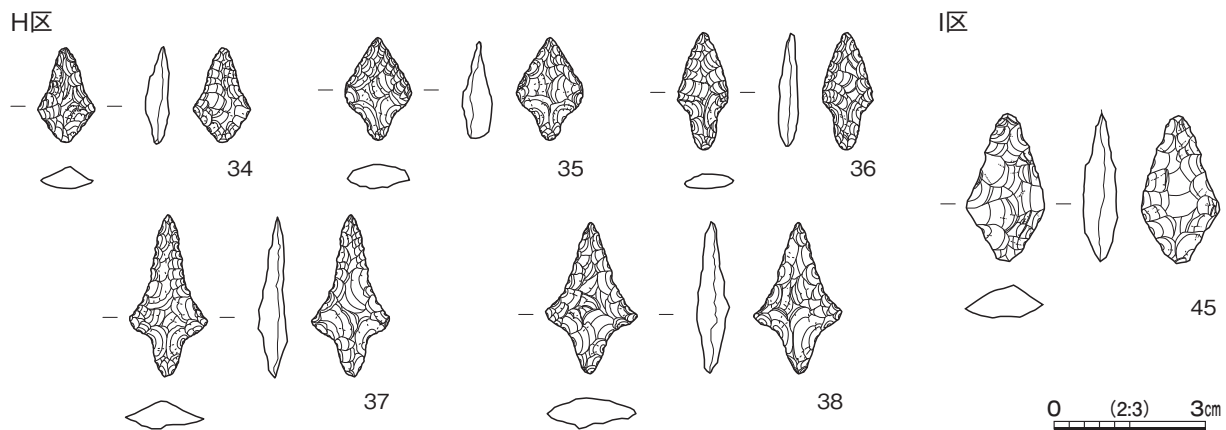


第 449 图 C 区遺構外出土遺物実測図

H区

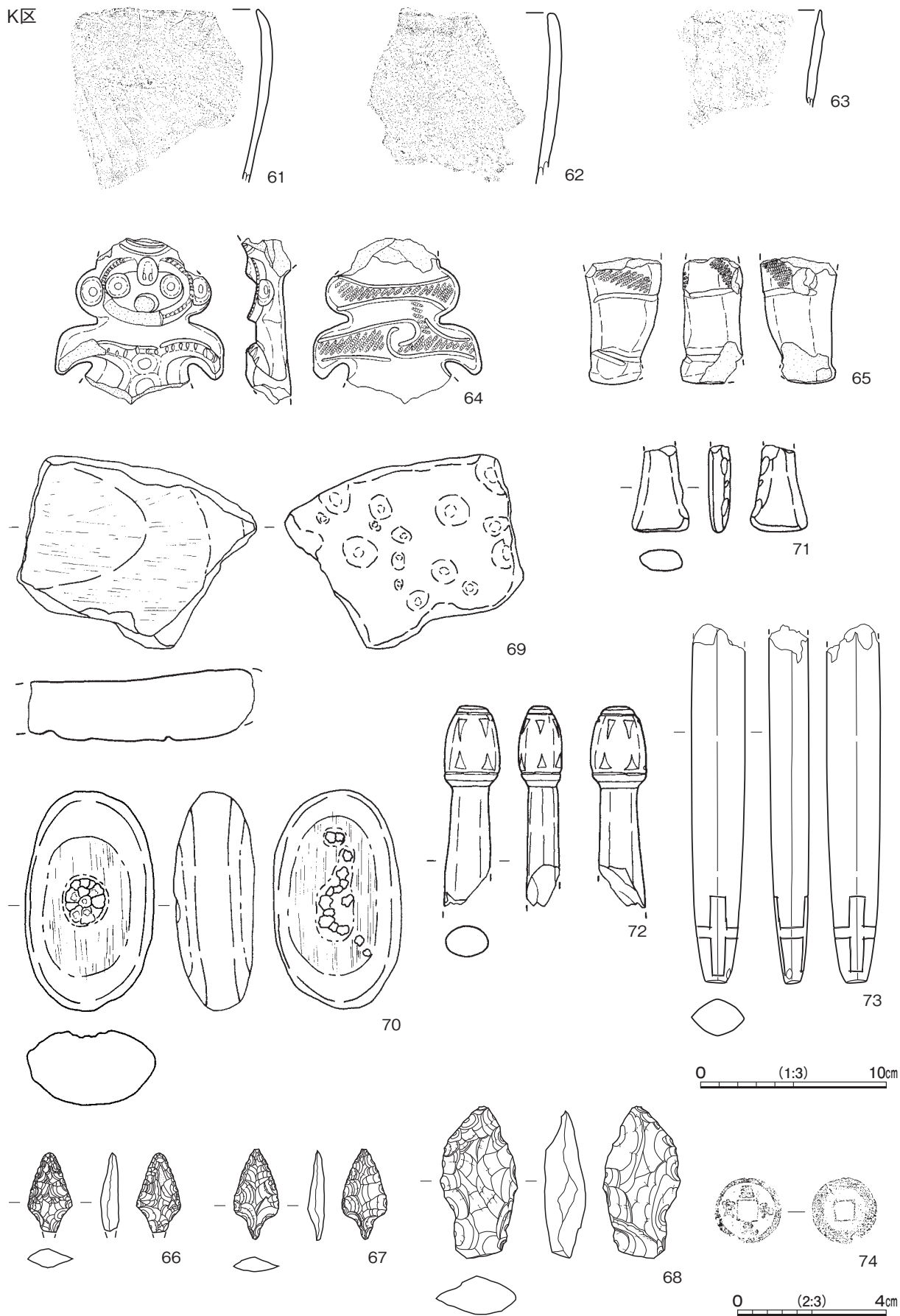


第 450 图 H区遺構外出土遺物実測図

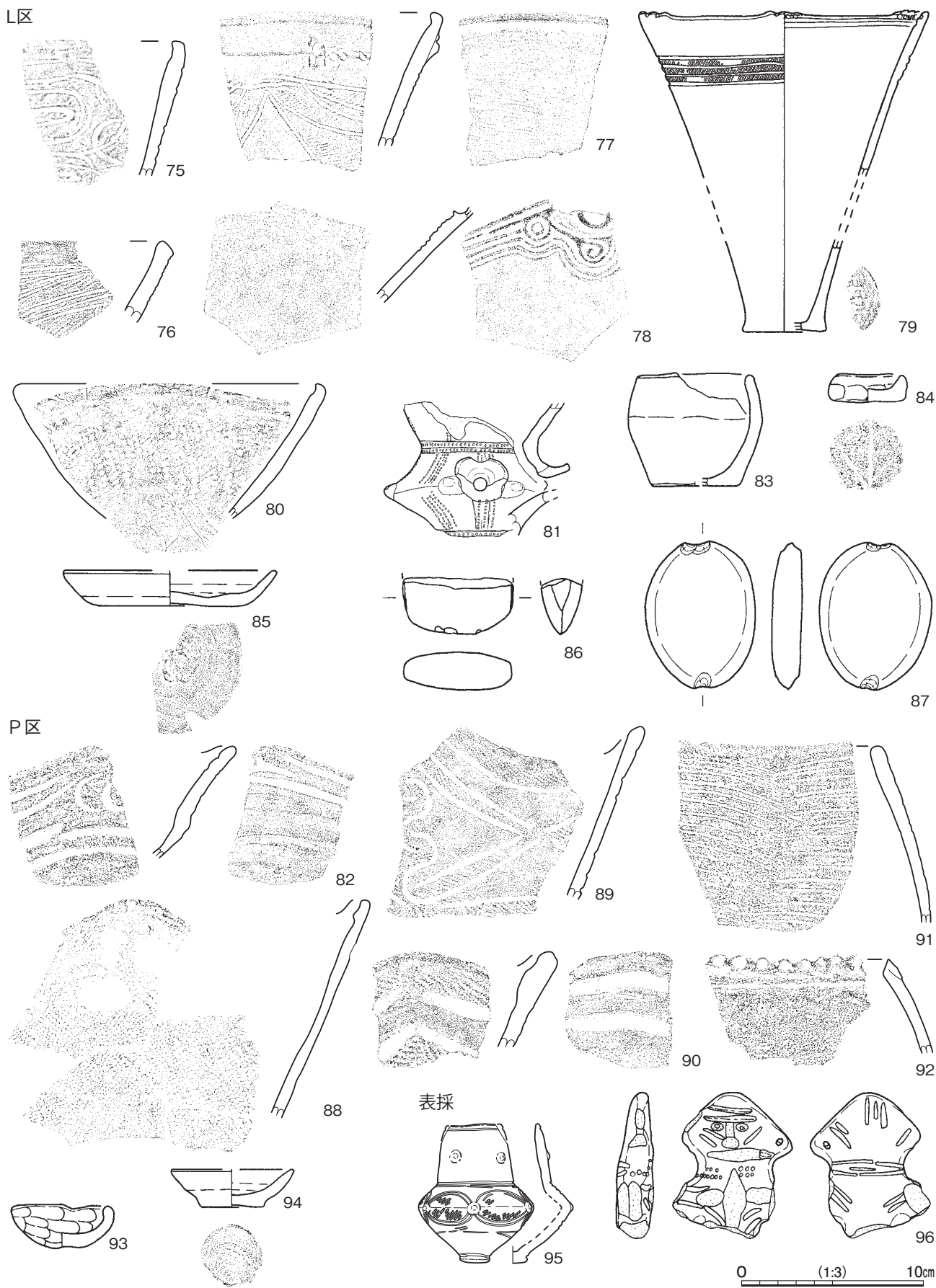


第451图 H·J·K区遺構外出土遺物実測図

K区



第 452 图 K 区遺構外出土遺物実測図



第 453 图 L·P 区遺構外出土遺物実測図

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴ほか	出土位置	備考
20	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部に窩文連携沈文 LR 縄文のJ字文 内面波頂部に窩文	H区	称名寺1式
21	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英	黒褐	普通	波状口縁 LR 縄文→口縁部に2条の刻み列 内面磨き	H区	加曾利B3式
22	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	RL地縄文→横位の条線→紐線貼付・縦位区画 内面磨き 口縁部に凹線	H区	後期中～後葉
23	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部に二瘤突起 胴部LR充填の入り組み三叉帯縄文 内面磨き	H区	安行3a式
24	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英	橙	普通	口縁部LR充填の弧線文 頸部LR充填の弧線文とS字状入り組み文 胴部LR縄文帯 下半条線 内面磨き	H区	安行3b式
25	縄文土器	浅鉢	-	(4.5)	-	長石・石英	暗褐	普通	外面充填刺突文 焼成後穿孔1か所 内面磨き	H区	安行3c式
26	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	外面RL充填縄文 内面ナデ 口縁部に三叉文と凹線	H区	前浦2式
27	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	波状口縁 外面LR充填縄文 内面磨き 口縁部に三叉文と凹線	H区	前浦2式
28	縄文土器	浅鉢	-	(4.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面口縁部に3条の沈線 胴部削り 内面磨き	H区	曾谷～安行1式
46	縄文土器	浅鉢	-	(7.1)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面口縁部下無文帯 工字文 内面磨き	J区	大洞A式
47	縄文土器	浅鉢	-	(3.7)	-	長石・石英	橙	普通	口唇部に弧線文 口縁部に二溝間のサイ痕 胴部LR充填の雲形文 内面磨き	J区	大洞C1式
48	縄文土器	深鉢	-	(3.4)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	波状口縁 LR 充填縄文 内面凹線	J区	前浦2式
49	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	付帯口縁上に櫛歯状工具による条線文 外・内面ナデ	J区	晩期後葉
50	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	外面無節L→横帯文→区切り文 内面磨き 口縁部沈線	K区HG5 K D 4区x	加曾利B1式
51	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部に2条の刻み列 口頸部口縁形状に沿ったRL縄文帯 無文部・内面磨き	K区HG5 表土	加曾利B3式
52	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	地縄文RL→口頸部横位・胴部縦位の沈線文→紐線貼付 内面磨き 口縁部に凹線	K区HG5 表土	10% 後期中葉
53	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	靴筒状の波頂部 RL 隆起帯縄文 波頂部刻みのある縦長瘤 内面磨き	K区HG5 x	安行1式
54	縄文土器	鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口唇部に二瘤突起 外傾する口縁部にLR縄文充填のステッキ状入り組み文 内面磨き	K区HG5 x	安行3b式
55	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	付帯口縁状 口頸部横位の条線→蛇行沈線文 内面ナデ	K区HG5 x	晩期前葉
56	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口頸部横位の条線→紐線貼付・縦位の対弧文 内面ナデ	K区HG5 x	晩期前葉
57	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	波状口縁 無節L充填縄文で稲妻状区画文 無文部・内面磨き	K区HG5 x	安行3b式
58	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部凹線 LR 充填のの字文 内面磨き 口縁部凹線	K区HG5 K D 4区x	前浦2式
59	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部にB突起 口縁部に2段の横帯化した羊歯状文 胴部LR縄文 内面ナデ	K区HG5 表土	大洞C1式
60	縄文土器	浅鉢	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	波状口縁 口唇部に二瘤突起と弧線文 口頸部凹形刺突充填の弧線文 無文部磨き 内面磨き	K区HG5 x	安行3c式
61	縄文土器	製塩土器	-	(9.3)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部未調整 外面口縁部横位・胴部縦位の削り剥離 内面ナデ	K区HG5 表土	
62	縄文土器	製塩土器	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口唇部未調整 外面縦位の削り 内面ナデ	K区HG5 x	
63	縄文土器	製塩土器	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口唇部未調整 外面縦位の削り 内面ナデ	K区HG5 K E 3区x	
75	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	黒褐	普通	外面地縄文→渦巻文カ 内面磨き 口縁部に凹線	L区	堀之内1式
76	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	LR地縄文→半截竹管状工具による集合沈線文 外・内面に漆塗彩	L区HG4・5 表土	堀之内1式
77	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英	褐	普通	口縁部に紐線・8字状文貼付 胴部撚糸文L充填の菱形文カ 内面磨き 口縁部に沈線	L区HG4・5	堀之内2式
78	縄文土器	浅鉢	-	(5.3)	-	長石・石英	灰褐色	普通	口唇部沈線 外面ナデ 内面磨き 波頂部を中心に渦巻状の沈線文	L区	堀之内2式
79	縄文土器	深鉢	[15.6]	[17.8]	[4.6]	長石・石英	黒褐	普通	外面3条のLR充填縄文帯 口唇部に刺突文を伴う横長の突起と沈線文 外・内面磨き	L区	20% 加曾利B1式
80	縄文土器	浅鉢	[16.5]	(7.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面RL縄文 内面ナデ 口縁部に凹線	L区	後期前～中葉
81	縄文土器	異形台付土器	-	(7.4)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	外面細かい刺突文による縦位区画文	L区	PL134 後期後葉カ
83	縄文土器	ミニチュア土器	[6.0]	6.1	[4.9]	長石・石英	灰黄褐	普通	外・内面ナデ 外面に煤付着	L区	60% 後期
84	縄文土器	ミニチュア土器	3.6	1.5	4.0	長石・石英・雲母	橙	普通	ナデ整形 底部木葉痕	L区HG4・5 表土	95%
85	土師質土器	小皿	[11.6]	1.9	(8.6)	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	外・内面クロロナデ 底部回転ヘラ切り	L区HG4・5 表土	40% 14世紀代
82	縄文土器	浅鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	外面波頂部から弧線文 波頂部下にの字文 縄文の充填無し 内面磨き 口縁部に三叉文と沈線文	P区HG4 E 6h3区x	前浦2式
88	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	波状口縁 口縁部下無文 外面縄文RL 内面磨き 口縁部に凹線	P区HG4 E 6j5区x	後期前～中葉
89	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐	普通	外面口頸部にRL充填の菱形状区画文 内面磨き	P区HG4 E 6j5区x	安行3b式
90	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	外面RL充填状文で菱形状文施文カ 内面磨き 口縁部に2条の凹線	P区HG4 F 6b3区x	前浦2式
91	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	外面横位の条線 内面ナデ	P区HG4 表土	晩期前葉
92	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	付帯口縁 口唇部に押圧 外面削り 内面ナデ	P区HG4 E 6i4区x	晩期中葉
93	縄文土器	ミニチュア土器	5.3	2.4	-	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面ナデ	P区HG4 E 6a4区x	80%
94	土師質土器	小皿	[6.7]	2.0	3.4	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面クロロナデ 底部回転糸切り	P区HG4 表土	70% 16世紀代
95	縄文土器	ミニチュア土器	[2.8]	7.6	1.7	長石・石英	にぶい黄橙	普通	瓢形 頸部に遮光器状弧線文カ 胴部にLR充填のレンズ状弧線文	表採	95% 曾谷式

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
15	泥面子	3.2	2.5	0.9	4.9	長石	にぶい橙	芥子面 火男	C区	
29	土偶	6.2	4.5	1.3	(17.4)	長石・石英	にぶい褐	目は貼付文 頭部平坦 細かい刺突文 胴部刺突列による横帯構成カ 臀部～脚部にも刺突文	H区	PL134
30	土偶	(6.4)	(3.7)	(3.5)	(54.6)	長石・石英	黒褐	ミミズク形 左脚部片 RL 縄文充填 足先に刻み	H区	
31	土鍾	3.8	2.5	1.5	17.1	長石・石英	にぶい褐	長・短軸方向に有溝	H区	
32	土器片円盤	3.1	3.1	0.7	8.6	長石・石英・赤色粒子	橙	粗製土器胴部破片利用 周縁研磨	H区	
33	土器片円盤	4.4	4.8	1.2	28.7	長石・石英・雲母・赤色粒子	暗赤褐	安行1式深鉢口縁部片利用 周縁打ち欠き	H区	
64	土偶	(8.9)	9.1	(2.6)	(140.2)	長石・石英・雲母	黒褐	ミミズク形 頭～胴部片 輪郭・肩～胴部・脚部に刻み隆帯 腹部ボタン状 背面LR充填の入り組み文	K区HG5 KD6	PL134
65	土偶	(6.8)	(4.1)	(3.4)	(93.1)	長石・石英・雲母	灰黄褐	左脚部片 LR 帯縄文	K区HG5 KD8	
96	土偶	(8.0)	(6.6)	(2.0)	(82.6)	長石・石英	橙	山形 頭～胴部片 顔面は眉の隆帯以外剥離 正中線・胸剥離 首に2条の刺突列 胴部・背面弧線文	表採	PL134

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
16	剥片	(7.7)	(6.0)	2.0	(61.4)	東北産頁岩	大型剥片 背面に1本の稜線 縁端部の一部に自然面を残す	C区	PL134
17	石刃	(6.9)	(3.5)	1.8	(18.7)	東北産頁岩	大型の縦長剥片 背面に2本の稜線 基端部欠損	C区	PL134
18	石刃	3.6	(1.9)	0.8	(3.3)	東北産頁岩	小型の縦長剥片 背面に3本の稜線 基端部一部欠損	C区	PL134
19	石鏃	3.5	1.8	0.5	2.1	チャート	凹基有茎鏃	C区	PL134
34	石鏃	1.8	1.2	0.3	0.7	チャート	凸基有茎鏃	H区	PL134
35	石鏃	2.0	1.3	0.6	0.9	瑪瑙	凸基有茎鏃	H区	PL134
36	石鏃	2.2	1.0	0.4	0.6	チャート	凸基有茎鏃	H区	PL134
37	石鏃	3.0	1.8	0.8	1.6	チャート	凸基有茎鏃	H区	PL134
38	石鏃	3.2	1.1	0.5	1.2	瑪瑙	凸基有茎鏃	H区	PL134
39	磨製石斧	(7.4)	4.4	3.2	(129.3)	凝灰岩	定角式 刃部欠損	H区	
40	磨石	4.8	4.8	4.0	95.2	安山岩	表裏面凹痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	H区	
41	磨石	6.2	5.5	2.5	123.8	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 周縁ざらつきのある摩耗痕	H区	
42	磨石	7.9	7.8	3.4	338.5	安山岩	表裏面光沢のある磨り面 上下端ざらつきのある摩耗痕	H区	
43	磨石	8.5	7.7	3.9	392.9	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 周縁ざらつきのある摩耗痕	H区	
44	垂飾	4.4	5.5	1.6	32.3	蛇紋岩	孔2か所 二方向からの穿孔	H区	PL134
45	石鏃	3.0	1.6	0.8	2.2	チャート	凸基有茎鏃	I区	PL134
66	石鏃	(2.2)	1.2	0.5	(1.0)	瑪瑙	凸基有茎鏃 基部欠損	K区HG5 表土	
67	石鏃	2.4	1.3	0.5	1.0	チャート	凸基有茎鏃	K区HG5 KD8	PL134
68	石鏃未成品	4.0	2.1	1.1	8.7	チャート	両面押圧剥離	K区HG5 表土	PL134
69	石皿	(10.4)	(12.9)	(3.9)	(487.7)	安山岩	表面磨り面 裏面凹痕 被熱	K区HG5 KE7	
70	敲石	11.8	7.0	4.3	492.7	安山岩	表裏面光沢のある磨り面+敲打痕 上下端部敲打痕	K区HG5 KE9	
71	砥石	(4.6)	3.1	1.2	(14.7)	砂岩	全面研磨 へら状 被熱	K区HG5 表土	
72	石棒	(10.7)	3.0	2.4	(89.0)	粘板岩	頭部～胴部片 6単位の対向三叉文施文	K区HG5 KD4	PL134
73	石剣	(19.3)	2.9	2.2	(163.9)	粘板岩	胴部～先端部 鎗明瞭 先端部に十字の区画文	K区HG5 KE7	
74	銭貨	2.4	2.4	0.7	2.3	銅	至和元寶 北宋銭 初鑄1054年 楷書	K区HG5 表土	PL134
86	磨製石斧	(3.1)	(6.1)	(2.3)	(54.0)	流紋岩	定角式 刃部のみ 研磨 刃部先端部敲打痕	L区HG4・5 表土	
87	石鍾	8.1	6.2	1.6	122.2	安山岩	礫石鍾 長軸側打ち欠き 被熱	L区HG4・5 表土	

印刷仕様

編集	OS	Microsoft Windows 10 Pro
	編集	Adobe InDesign 2020
	図版作成	Adobe Illustrator 2020
	写真調整	Adobe Photoshop 2020
	Scanning	RICOH MP W4002, EPSON DS-G20000
使用Font	OpenType	リュウミンPro L-KL, 太ゴB101 Pro Bold 中ゴシックBBB Pro Medium
写真	線数	カラー210線以上
印刷		印刷所へは, Adobe InDesign 2020 でデータ入稿

茨城県教育財団文化財調査報告第459集

つくば市

上境旭台貝塚5

中巻

中根・金田台特定土地区画整理
事業地内埋蔵文化財調査報告書XXV

令和4(2022)年 1月20日 発行

発行 公益財団法人茨城県教育財団

〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2
茨城県水戸生涯学習センター分館内

TEL 029-225-6587

H P <http://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 八幡印刷株式会社

〒310-0911 水戸市見和3丁目1528-38

TEL 0120-23-1473

